

# StorageTek Host Software Component (MVS 対応版)

---

メッセージおよびコード解説書

バージョン 6.2



パート番号 : E28890-01  
2012 年 2 月  
リビジョン 02

このドキュメントに関するコメントは [STP\\_FEEDBACK\\_US@ORACLE.COM](mailto:STP_FEEDBACK_US@ORACLE.COM) に送信してください。

HSC (Host Software Component) メッセージおよびコード解説書  
E28890-01

Oracle は、このマニュアルを改善するためのコメントや提案を歓迎いたします。STP\_FEEDBACK\_US@ORACLE.COM にご連絡ください。タイトル、パート番号、発行日、およびリビジョンを含めてください。

Copyright ©1987, 2012, Oracle and /or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

## ドキュメントの有効性

---

EC 番号	日付	ドキュメント キット番号	種別	有効性
132519	2007 年 3 月	---	リビジョン A	このマニュアルは MVS 対応版 Host Software Component(HSC)、バージョン 6.2 に適用されます。
---	2008 年 4 月	---	リビジョン B	
---	2008 年 9 月	---	リビジョン C	
---	2010 年 6 月	---	リビジョン CA	
---	2011 年 9 月	---	リビジョン 01	
---	2012 年 2 月	---	リビジョン 02	



# 目次

---

はじめに .....	ix
Oracle Support へのアクセス .....	ix
<b>第 1 章 一般情報 .....</b>	<b>1</b>
はじめに .....	1
メッセージの形式 .....	1
メッセージの解説 .....	2
メッセージ番号 .....	2
メッセージテキスト .....	2
メッセージの説明 .....	2
システム動作 .....	2
ユーザー応答 .....	2
変数の定義 .....	3
<b>第 2 章 HSC システムメッセージ .....</b>	<b>5</b>
はじめに .....	5
メッセージリストと説明 .....	5
<b>第 3 章 異常終了理由コードリストとその説明 .....</b>	<b>415</b>
はじめに .....	415
オペレータコマンドによって出される理由コード .....	416
マウントまたはディスマウントによって出される理由コード .....	418
ユーティリティーによって出される理由コード .....	421
CAP 共通によって出される理由コード .....	424
サブシステム割り振りモジュールによって出される理由コード .....	425
ボリュームまたはセルによって出される理由コード .....	426
構成制御によって出される理由コード .....	427
初期設定または終了によって出される理由コード .....	428
導入システムコンポーネントによって出される理由コード .....	429
TMS またはユーザーインタフェースによって出される理由コード .....	430
LMU ドライバーによって出される理由コード .....	431
サブシステムデータベースモジュールによって出される理由コード .....	433
WTO サーバーによって出される理由コード .....	436
ASCOMM によって出される理由コード .....	437
サブシステムサービスモジュールによって出される理由コード .....	438
回復コンポーネントによって出される理由コード .....	441
ホスト通信によって出される理由コード .....	443

<b>第 4 章 HSC 戻りコード</b> .....	<b>445</b>
はじめに .....	445
戻りコードリストと説明 .....	446
<b>付録 A メッセージルートコードおよび記述コード</b> .....	<b>473</b>
<b>付録 B メッセージの変更点の要約 – HSC 6.2</b> .....	<b>495</b>
メッセージの変更点 .....	496
追加されたメッセージ .....	496
削除されたメッセージ .....	496
変更されたメッセージ .....	497
置き換えられたメッセージ .....	497
<b>用語集</b> .....	<b>499</b>
<b>索引</b> .....	<b>515</b>

## 表目次

---

表 1.	変数データの定義 .....	3
表 2.	オペレータコマンドの戻りコード .....	446
表 3.	初期設定または終了の戻りコード .....	446
表 4.	マウントまたはディスマウントの戻りコード .....	446
表 5.	ユーティリティーの戻りコード .....	448
表 6.	AUDIT ユーティリティーの戻りコード .....	449
表 7.	CAP 処理の戻りコード .....	449
表 8.	ボリュームまたはセルの戻りコード - パラメーターリストなし .....	452
表 9.	ボリュームまたはセルの戻りコード - パラメーターリスト付き .....	453
表 10.	構成の戻りコード .....	454
表 11.	LMU サーバーの戻りコード .....	457
表 12.	データベースサーバーの戻りコード .....	461
表 13.	アドレス空間通信の戻りコード .....	462
表 14.	アドレス空間通信の機能コード .....	463
表 15.	回復の戻りコード .....	464
表 16.	サービスコンポーネントの戻りコード .....	465
表 17.	ホスト通信サービスの戻りコード .....	469
表 18.	統合ユーザーインターフェイス (UI) の戻りコード .....	471
表 19.	統合ユーザーインターフェイスの理由コード .....	472
表 20.	メッセージ経路コードと記述子コード .....	473



# はじめに

---

このマニュアルでは、Oracle の StorageTek の自動カートリッジシステム (ACS) の Host Software Component (HSC) から出力されるメッセージとコードについて説明します。

このメッセージおよびコード解説書は、オペレータ、システムプログラマ、システムアナリスト、記憶デバイス管理担当者、システム専門家、運用担当者など、HSC のすべてのユーザーを対象としています。

- HSC の初期設定
- HSC の日常の活動のモニター
- システムに生じた問題の診断と解決
- HSC の正常稼働の維持

## Oracle Support へのアクセス

Oracle サポートサービスでは、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細については、<http://www.oracle.com/support/contact.html> にアクセスするか、または聴覚障害をお持ちの場合は <http://www.oracle.com/accessibility/support.html> にアクセスしてください。



# 第 1 章 一般情報

---

## はじめに

この章では、HSC メッセージの形式、変数の定義、および番号付けの規則について、一般的な用語を用いて説明します。

このマニュアルに記載の情報は、システムプログラマおよびオペレータが、次の処理を行なう場合に役立ちます。

- HSC の正しい維持と実行
- HSC のアクティビティのモニター
- HSC の問題の診断と訂正

これらの情報はプログラミングインタフェース情報としての使用を目的としたものではありません。

## メッセージの形式

HSC システムメッセージは、操作中に HSC により出力される通知メッセージ、診断メッセージ、およびエラーメッセージを解釈し、それらに応答するのに役立ちます。

各メッセージは、次のものからなります。

- メッセージを出したコンポーネントを識別する 3 文字の接頭辞、個々のメッセージを識別する 4 文字のメッセージシリアル番号、および 1 文字のメッセージ識別子。
- 情報の提供、エラーの説明、またはオペレータによる処理の要求に使用されるメッセージテキスト。

メッセージは、SLSNNNX という、従来の MVS と同じ形式で示されます。

以下はその説明です

- SLS は、Host Software Component を示します。
- NNNN は、4 桁の数字です。
- X はメッセージタイプ識別子で、次のいずれかの文字が入ります。

および

A = 処理  
D = 判断  
E = 最終処理  
I = 通知

各メッセージには、記述と、説明、システム処理、およびユーザーの応答 (メッセージタイプによる) などの追加情報が含まれます。

## メッセージの解説

各メッセージの記述は、次の 5 つの部分に分かれています。

- メッセージ番号
- メッセージテキスト
- メッセージの説明
- システム動作
- ユーザーの処置

### メッセージ番号

SLS メッセージ番号は、受け取ったほかのメッセージと HSC メッセージを区別するものです。HSC メッセージのメッセージ番号は、「SLS」という接頭辞とそれに続く 4 桁の数字と 1 文字のメッセージタイプ識別子からなります。

### メッセージテキスト

メッセージテキストとは、実際にコンソールに表示されるメッセージのことをいいます。イタリック体で示された語は変数であり、メッセージが表示されるときには、実際の値が入っています。

### メッセージの説明

各メッセージの意味と重要度について説明します。

### システム動作

メッセージ出力の原因となるイベントが起こったときに、HSC ソフトウェアの行なう処理、または動作について説明します。

### ユーザー応答

メッセージに対応して取るべき処置について説明します。多くの場合、ユーザー応答は必要ありません。

## 変数の定義

メッセージ特有の情報は、次のように記号化されます。

表 1. 変数データの定義

変数データ	定義
<i>AA</i>	ACSid
<i>AA:LL</i>	LSMid
<i>AA:LL:CC</i>	CAPid
<i>AA:LL:PP:NN</i>	DRIVEid ( <i>PP</i> は、LSM に関連付けられたパネル番号 [01-10] を示し、 <i>NN</i> は、パネル上のドライブ番号 [0-19] を示します)。
<i>AA:LL:PP:RR:CC</i>	カートリッジ位置 (LSMid、パネル、行、および列)
<i>D</i>	10 進数の値を示します。
<i>LL</i>	LSM 番号
<i>volser</i>	ボリュームシリアル番号
<i>X</i>	16 進数の値を示します。
各種の文字 (下記の注参照)	変数情報 (文字データ)
{ }	使用可能な選択項目を示します。
[ ]	任意指定のフィールドを示します (メッセージは表示されない場合もあります)。
注: 各種の文字は、変数文字データを表します。これらの文字には、 <i>C</i> 、 <i>S</i> 、 <i>N</i> 、 <i>L</i> 、 <i>P</i> 、 <i>Y</i> 、 <i>F</i> 、 <i>O</i> 、 <i>Z</i> などがあります。	



## 第 2 章 HSC システムメッセージ

---

### はじめに

この章では、HSC によって出されるメッセージを示します。この章の情報は、これらの通知メッセージ、診断メッセージ、またはエラーメッセージを解釈し、それらに回答する際に役立つものです。

各メッセージは、番号順に示してあります。各メッセージに対応する記述は次のとおりです。

- コンポーネントがメッセージを出した理由の説明
- システムまたはコンポーネントの処理の説明
- メッセージに回答してユーザーが取るべき処理に関する指示 (適用できる場合)

### メッセージリストと説明

<b>SLS0000I</b>	command string
	説明：このメッセージは、オペレータが入力したコマンド文字列を返すものです。
	システムの処理：HSC の処理は続行されます。
	ユーザーの処置：なし
<b>SLS0001I</b>	Invalid Command CCCCCCCC
	説明：有効なサブシステムコマンドではないコマンド (CCCCCCCC) の入力がありました。
	システムの処理：コマンドは実行されません。
	ユーザーの処置：正しいコマンドを入力してください。
<b>SLS0002I</b>	Keyword CCCCCCCC1 must have a value for CCCCCCCC2 command
	説明：キーワード CCCCCCCC1 が入力されましたが、CCCCCCCC2 コマンド用の値が指定されていませんでした。
	システムの処理：コマンドは実行されません。
	ユーザーの処置：キーワードの値を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0003I** No value allowed for keyword CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

説明：コマンド CCCCCCCC2 のキーワード CCCCCCCC1 に値が入力されましたが、このキーワードには値を指定できません。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：値なしでコマンドキーワードを再入力してください。

**SLS0004I** CCCCCCCC1 mutually exclusive with CCCCCCCC2 for CCCCCCCC3 command

説明：同時には指定できない2つのパラメータ (CCCCCCCC1、CCCCCCCC2) が CCCCCCCC3 コマンドに入力されました。定位置パラメータは、POSxx の形式 (xx はパラメータ位置) で表示されます。キーワードパラメータについては、パラメータ名が表示されます。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：いずれかのパラメータを削除して、コマンドを再入力してください。

**SLS0005I** Parameter error on CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明：CCCCCCCC1 で示される定位置パラメータに、コマンドで無効な構文が含まれています。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しいパラメータで再入力してください。

**SLS0006I** Syntax error at parm offset DDDDDDDD for CCCCCCCC1 command-----CCCCCCCCCCCCC2

説明：CCCCCCCC1 コマンドのパラメータオフセット DDDDDDDD に構文エラーが検出されました。エラーの理由は、CCCCCCCCCCCCC2 に示されます。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：構文エラーなしでコマンドを再入力してください。

**SLS0007I****データベースの状況：****現在に設定されているデータセット**

Primary.....	{ONLINE  OFFLINE}	{ONLINE  OFFLINE}
Secondary.....	{ONLINE  OFFLINE}	{ONLINE  OFFLINE}
Standby.....	{ONLINE  OFFLINE}	{ONLINE  OFFLINE}
Journal.....	{ONLINE  OFFLINE}	{ONLINE  OFFLINE}

**説明：**構成済みの回復技法と、現在の回復技法がリスト表示されます。行技法と構成済み技法との間に対立がある場合、それは I/O エラーによるものか、または CDs Enable/Disable コマンドによるものです。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0008I**

*CCCCCCCC1* name changed from *CCCCCCCC2* to *CCCCCCCC3*

**説明：**CDS オブジェクト (レコード) 名が変更されました。

- *CCCCCCCC1* は次のいずれかになります。
  - ACS
  - LSM
  - CAP をアクティブにできませんでした
- *CCCCCCCC2* は変更前の名前を表しています
- *CCCCCCCC3* は変更後の名前を表しています

**システムの処理：**要求されるアクションはありません。処理を継続します。

**ユーザーの処置：**通知メッセージのため、必要な操作はありません。

**SLS0009I****NULL は予約語で使用できません**

**説明：**使用できない予約語「NULL」を使用しようとしています。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます

**ユーザーの処置：**ほかの単語を選択してから、このコマンドを再サブミットしてください

## SLS0010I - SLS0015I

**SLS0010I** Invalid value for CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

**説明**：指定パラメータ (CCCCCCCC1) に対して入力されたデータは、CCCCCCCC2 コマンドでは無効です。

**システムの処理**：コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

**SLS0011I** Mandatory parameter CCCCCCCC1 missing for CCCCCCCC2 command

**説明**：必須パラメータ (CCCCCCCC1) が、コマンド (CCCCCCCC2) に入力されませんでした。

**システムの処理**：コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：必須パラメータを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS0012I** LIST ID NAME

**説明**：NAME LIST コマンドからの出力。

**システムの処理**：要求されるアクションはありません。処理を継続します。

**ユーザーの処置**：通知メッセージのため、必要な操作はありません。

**SLS0013I** Command CCCCCCCC not implemented

**説明**：有効なサブシステムコマンドが入力されましたが、このコマンドはまだ導入されていません。

**システムの処理**：コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0015I** Host to Host Broadcast failed for MODIFY command; RC=XXXXXXXX

**説明**：すべてのオンラインホストにコマンドをブロードキャストしようとした。しかし、ブロードキャストは失敗しました。

**システムの処理**：コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：メッセージに出力された戻りコード (XXXXXXXX) を書きとめた後、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0016I** ACS subsystem command rejected; ASCOMM RC=XXXXXXXX

**説明：**ACS サブシステムコマンドが入力されましたが、HSC のアドレス空間通信コンポーネントの障害が原因で処理できませんでした。

**システムの処理：**コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置：**メッセージに出力された戻りコード (XXXXXXXX) を書きとめた後、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0017I** MODIFY command failed; LSM lock not available

**説明：**LSM ロックは、LSM の状態の変更を直列化するために使用されるソフトウェア構成です。LIBGEN には、各 LSM ごとに 1 つの LSM ロックが定義されています。

LSM ロックは、オンライン/オフライン処理中には HSC の「MODify lsm」コマンドによって、HSC サブシステム起動中には構成制御初期設定タスクによって保有されます。

メッセージ SLS0017I は、同じ LSM に対する別の MODify コマンドが処理中である場合に、このホストか、またはシステム内の別のホスト上で出されます。前の MODify コマンドは、アクティブな場合も、LSM が作動可能になるまで待ち状態に置かれている場合もあります。

また、このメッセージは、構成制御初期設定が、システム内の別のホスト上で処理中の場合にも出されることがあります。

**システムの処理：**コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置：**待ち状態にあるコマンドがすべて完了するまで、または HSC サブシステムの初期設定がシステム内のどれか別のホストで完了するまで数秒待ってから、コマンドを再実行してください。

それでも問題が解消されないときは、HSC Display Request コマンドを出してください。コマンド出力に、「Vary lsm」というタイプの要求と「WAITING」または「TEMP OUT」という状態が示された場合は、LSM にハードウェアの問題が発生している可能性があります。LSM を調べて、それが作動可能状態にあり、HSC と通信を行なっていることを確認してください。

ハードウェアの問題をすぐに訂正できない場合は、HSC コマンドの「MODify lsm OFFline FORCE」を出すことができます。ハードウェアの問題が解消されたら、新たに MODify コマンドを出して、LSM をオンラインにできます。

MODify lsm OFFline FORCE コマンドに続いて、メッセージ SLS0057I が表示されて、SLSFCNF からの戻りコード 45344534 を示すことがあります。このメッセージは、アクティブであった、または待ち状態にあった MODify コマンドの保有する LSM ロックが、MODify FORCE コマンドによって「盗まれた」ために出されたものです。このメッセージは、無視できます。



**注：**MODify lsm OFFline FORCE コマンドは、細心の注意を払って使用してください。LSM が強制的にオフラインにされると、その LSM に対する未解決の要求はすべて除去されてしまうため、LSM を IML する必要が生じることがあります。

**SLS0018I** Invalid keyword CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明：指定のコマンド (CCCCCCCC2) に対して入力されたキーワード (CCCCCCCC1) が、無効であったか、または長さが9文字以上でした。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しいキーワードを指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0019I** DISPLAY data unavailable; database I/O error

説明：Display コマンドの入力が試みられましたが、情報の収集中に、制御データセットのエラーが起きました。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。しかし、場合によっては、若干の情報が表示されることもあります。

ユーザーの処置：制御データセットのエラーの原因を判別し、それを訂正してから、コマンドを再入力してください。

**SLS0020I** CCCCCCCC1 co-requisite CCCCCCCC2 missing for CCCCCCCC3 command

説明：あるパラメータ (CCCCCCCC1) に相互に必要なもう1つのパラメータ (CCCCCCCC2) が、CCCCCCCC3 コマンドに入力されていません。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しい相互に必要なパラメータを指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0021I** Value for CCCCCCCC1 parameter contained invalid data for CCCCCCCC2 command

説明：CCCCCCCC2 コマンドのパラメータ (CCCCCCCC1) に無効な値 (例えば、NUMERIC ではなく HEX) が入力されました。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

**SLS0022I** Invalid value length for CCCCCCCC1 parameter on the CCCCCCCC2 command

説明：CCCCCCCC2 コマンドのパラメータ (CCCCCCCC1) に、指定可能な長さを超えた値が入力されました。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

**SLS0023I** Invalid {CCCCCCC} range (CCCCCC-CCCCC) for {CCCCCCCC} command

**説明：**CCCCCCCC コマンドに、無効な範囲の入力が試みられました。2 番目の要素が最初の要素よりも大きくないか、または CAP 範囲の場合、PCAP が指定されました。

**システムの処理：**コマンドが実行されない場合も、無効な部分が無視されて、コマンドが実行される場合もあります。

**ユーザーの処置：**2 番目の要素を最初の要素よりも大きくするか、CAP 範囲であれば、いずれの CAPid も PCAP を指定していないような、有効な値を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0024I** EJECT volser volser ignored; volume is {SELECTED|ERRANT|NOT FOUND|NOT in ACS|in OFFLINE LSM|INVALID}

**説明：**Eject コマンドが SELECTED、ERRANT、NOT FOUND、NOT IN ACS、in OFFLINE LSM または INVALID であったボリュームに対して入力され、回復できませんでした。

SELECTED	イジェクトが行なわれたときにボリュームが使用中であったことを示します。例えば、ボリュームがマウントされていた場合などです。ボリュームが間違っって選択されている場合は、UNSELECT ユーティリティーを実行してから、コマンドを再入力してください (UNSELECT ユーティリティーについての詳細は、『HSC システムプログラマーズガイド』を参照してください)。
ERRANT	エラーが起こったときに、ボリュームがある場所から別の場所への移動中であったことを示します。ボリュームの場所はわかりません。ボリュームがエラントとなった場合、(1) セル位置に対して AUDIT を実行する、(2) CAP および以前の MVSSYSLOG/SCP CONSLOG をチェックして、ボリュームがエラントになった理由を判別する、(3) Vlew コマンドによって、取られた処理に関連するさまざまな場所を調べるなどのほかの処理をする必要があります。
NOT FOUND	ボリュームがどの LSM 内にもないことを示します。ほかのライブラリ外の保管場所を調べてください。
NOT in ACS	ボリュームが、指定された CAP と同じ ACS がないことを示します。適切な ACS 内の CAP を指定して、Eject コマンドを入力してください。ボリュームの位置は、Display Volume コマンドを使用して判別してください。
OFFLINE LSM	ボリュームが、オフラインの LSM 内にあることを示します。
INVALID	ボリュームシリアル番号またはメディアラベルが無効です。イジェクトは続行されません。

**システムの処理：**INVALID のボリュームはイジェクトされます。ほかの場合は、ボリュームはイジェクトされません。

**ユーザーの処置：**ボリューム状態によって、次の処置を行なってください。

SELECTED	ボリュームの選択が解除されるまで待つってから、コマンドを再入力してください。
----------	--

ERRANT	エラー回復を呼び出してボリュームを探し、コマンドを再入力してください。
NOT FOUND	応答する必要はありません。
NOT in ACS	ボリュームを含む ACS を判別し、正しい CAPid を指定して、Eject コマンドを再入力してください。
OFFLINE	LSM をオンラインしてから、コマンドを再入力してください。
INVALID	応答する必要はありません。

**SLS0028I** Volume *volser* {ENTER|EJECT} error; {ACS IN PATH OFFLINE| LSM IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID| CARTRIDGE MADE ERRANT}

**説明**：ボリューム *volser* に、コマンド ENTER または EJECT のエラーが発生しました。理由は、CAP IN PATH OFFLINE、LSM IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH INVALID または CARTRIDGE MADE ERRANT 状態のいずれかです。

**システムの処理**：コマンドは続けられますが、ボリューム *volser* に対しては作動しません。

**ユーザーの処置**：エラーの原因を訂正してください。

**SLS0029I** CAP preference value for CAPid *AA:LL:CC* = *D*

**説明**：CAPPref コマンドの実行が完了しました。優先順位の値は、表示のとおりを設定されています。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0030I** メッセージ ID *DDDD* ヘルプ情報：{NO HELP AVAILABLE| ヘルプのテキスト }

**説明**：Display コマンドの Msg パラメータが入力されました。制御行 (最初の行) に続いて表示されるデータは、Display Msg コマンドに入力されたメッセージ ID に関する情報です。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0031D** CCCCCCCC command in progress; to continue termination reply DRAIN, else reply WAIT

**説明：**オペレータコマンド終了処理において、CAP を使用しているアクティブなタスクが1つ以上あることがわかりました。これらのタスクは直前の SLS2628E メッセージで識別されています。DRAIN を応答して HSC にこれらすべてのタスクに対して即時に DRAIN を実行させるか、WAIT を応答して、タスクが通常どおり終了するまで待機できます。

WAIT を応答すると、このメッセージが、アクティブなタスクを記述する SLS2628E メッセージと一緒に3分以内に再表示されます。DRAIN を応答すると、HSC は、各タスクに対して DRAIN コマンドを入力したように処理を行いません。アクティブなタスクを記述する SLS2628E メッセージは3分ごとに表示されますが、SLS0031D メッセージは発行されません。

EJECT は CAP ごとに現在の処理中のテープを処理した後で停止します。CAP がオープンされ、カートリッジがイジェクトされてクローズされるとタスクが終了します。ENTER は、CAP 内のすべてのカートリッジの処理を完了してから停止します。

**システムの処理：**タスクは、DRAIN または WAIT が応答されるのを待ちます。

**ユーザーの処置：**Display Status コマンドを発行して、未解決な処理を判別します。「DRAIN」または「WAIT」を応答してください。

**SLS0032I** Operator Command Termination in progress

**説明：**オペレータコマンド終了処理は、コマンドが終了するのを待ってから、続けられます。

**システムの処理：**終了処理は、オペレータコマンドが終了するまで待ちます。

**ユーザーの処置：**また、Display Status コマンドを発行して、未解決な処理を判別してください。

**SLS0033A** Enter password for EJECT command

**説明：**EJECT コマンドの入力を試みましたが、「EJECTPAS=」パラメーターが HSC LIBGEN の SLILIBRY マクロで指定されていました。処理を続けるには、パスワードを入力する必要があります。

**システムの処理：**コマンドは応答を待ちます。パスワードが確認されると、コマンドは続行されます。

**ユーザーの処置：**正しいパスワードを入力してください。

**SLS0034I** Password not accepted; CCCCCCCC command rejected

**説明：**コマンドは、無効なパスワードが入力されたため拒否されました。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**正しいパスワードを指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0035A** ENTER scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明：SENter コマンドが、CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENter はスケジュールされました。このメッセージは強調表示され、CAP 上で進行中の Eject が割り込まれて ENter が行なわれるまで、画面に表示され続けます。

システムの処理：次の Eject のあとで CAP のロックを解除して、ユーザーがカートリッジを挿入できるようにします。

ユーザーの処置：CAP がイジェクトのために次にオープンされたとき、CAP の最初のスロットに必要なカートリッジを入れてください。

**SLS0036I** {ENTER|EJECT} ended on CAPid AA:LL:CC

説明：このコマンドが、CAPid AA:LL:CC の制御を解放しました。

システムの処理：CAP は、ほかの操作のために使用可能にされます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0037I** CAPid AA:LL:CC has been allocated to the {ENTER|EJECT} command

説明：指定された CAPid AA:LL:CC が、ENter または Eject のいずれかのコマンドに割り振られました。

システムの処理：表示された操作を実行するために、CAP が割り振られました。

ユーザーの処置：なし

**SLS0040I** {ENTER|EJECT|MODIFY|RELEASE} command rejected; CAPid AA:LL:CC is busy

説明：HSC が、特定の CAPid (AA:LL:CC) に対して、ENter、Eject、MODify、または RElease コマンドを実行しようとしたのですが、CAP は使用中でした。

システムの処理：Eject、ENter、MODify、または RElease コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：指定されたコマンドが Eject、ENter、または MODify の場合、別の処理で CAP が動的に使用されています。CAP が使用可能になった場合または異なる CAPid を指定する場合は、コマンドを再入力します。

指定されたコマンドが RElease の場合は、別の RElease コマンドがアクティブになっているか、別の処理が CAP を解放しています。

**SLS0041I** Command CCCCCC Help Info:

説明：Display CMd が入力されました。制御行 (最初の行) に続いて表示されるデータは、指定のコマンド (CCCCCC) に関する情報です

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0042I** {ENTER|EJECT} volser failed; LMU/LSM error (XXXX)

**説明：**ボリューム *volser* の ENter または EJect が失敗しました。次の LMU/LSM エラーが考えられます。

6510 - 転送用のパススルーポートがありません  
 6511 - LMU がオフラインになっています  
 6512 - LMU との通信が失われました  
 6514 - LSM のハードウェアエラーです  
 6515 - LMU のハードウェアエラーです  
 6528 - LMU サーバーが停止しています  
 6592 - LSM がオフラインになっています  
 65FF - 要求が除去されました

**システムの処理：**進行中の処理 (ENter、EJect) は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラーになる場合があります。

**ユーザーの処置：**エラーの原因を判別してそれを訂正し、コマンドを再実行してください。

**SLS0045I** CCCCCCCC command ignored; subsystem is shutting down

**説明：**コマンド CCCCCCCC は、サブシステムの終了処理が進行中であるため実行されませんでした。

**システムの処理：**このコマンドは無視されます。

**ユーザーの処置：**HSC が再び操作可能になるまで待つ、コマンドを再入力してください。

**SLS0046I** RECOVER CCCCCCCC ignored; recovery already active for specified host

**説明：**RECover コマンドが、現在別のホストによって回復中のホストに対して入力されました。

**システムの処理：**RECover コマンドは無視されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0047I** ONLINE or OFFLINE required on {VARY|MODIFY} command

**説明：**Vary または MODify コマンドが入力されましたが、ONline か OFFline かが指定されていません。

**システムの処理：**コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置：**ONline か OFFline を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0048I** Vary {ACS AA|station C...C} {ONLINE|OFFLINE} failed; command timed out

説明：すべてのステーションの Vary Station コマンドまたは Vary ACS がタイムアウトとなり、完了しませんでした。ハードウェアエラーまたは通信エラーの可能性があります。

システムの処理：Vary コマンドは失敗しました。

ユーザーの処置：ハードウェア (LMU) との通信の問題を訂正して、コマンドを再実行してください。

**SLS0049I** CCCCCCCC1 set to CCCCCCCC2

説明：コマンドに指定された機能が、示された値に設定されています。CCCCCCCC1 は、コマンドに入力された機能を示します。CCCCCCCC2 は、コマンドに入力された値です。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0050I** Invalid {DEVICE XXXX|UNIT XXXX|STATION XXXX|LSMid AA:LL|ACSid AA|CAPid AA:LL:CC|DISPLAY TYPE CCCCCCCC|HOSTid CCCCCCCC} for {ACS|CAPPREF|CLEAN|DISMOUNT|DISPLAY|DRAIN|LSM|MODIFY|MOUNT|MNTD|RECOVER|RELEASE|SENDER|VARY} command

説明：入力されたコマンドに、無効な ID が含まれています。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：正しい ID を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0053I** {MODIFY|VARY|ENABLE|DISABLE|JOURNAL} rejected; {LSMid AA:LL|ACS AA|Station C...C|DATA SET DSNNAME|EVERY CDS COPY|ABEND OPTION|CONTINUE OPTION} is already {ONLINE|OFFLINE|ENABLED|DISABLED|ON}

説明：MODify、Vary、Enable、Disable または Journal 要求が、すでに ONline、OFFline、Enabled、Disabled または ON になっている LSMid、ACS、STATION、CDs または OPTion に対して出されました。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0054I** CC..CC1 CC..CC2 now CC..CC3

**説明：**このメッセージは、ACS、LSM、ステーション、またはCAPの接続/切断、オンライン/オフライン、割り振り解除、またはスタンバイ状況を示します。

CC..CC1 ACS、LSM、STATION、またはCAP

CC..CC2 ACSid、LSMid、ステーション番号、またはCAPid

CC..CC3 CONNECTED は、示された ACS に対して、少なくとも1つのステーションがオンラインになっていることを示します。  
 DISCONNECTED は、示された ACS に対して、ステーションが1つもオンラインになっていないことを示します。  
 ONLINE は、LMU への伝送作業にステーションを使用できるということ、または LSM に HSC のための作業を実行できるよう要求できるということ、あるいは、CAP が現在 ENter または Eject 処理に使用できるということを意味します。  
 STANDBY は、ステーションがデュアル LMU 構成のスレーブ LMU に接続されていることを意味します。  
 OFFLINE は、ステーションまたは LSM を実働作業に使用できないことを意味します。  
 「UNALLOCATED ACS」は、その ACS がプレースホルダー ACS であることを意味します。ACS は「F CONFIG ADD ACSType」(SL8500 または SL3000) コマンドによって HSC 構成に戻されません。  
 「UNALLOCATED CAP」は、その CAP が物理的にインストールされていないか、別のパーティション専用になっているかのいずれかを意味します。

**システムの処理：**オペレータコマンドは、指定のコンポーネントに、示された状態となるようにさせました。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0055I** {ENTER|MODIFY|EJECT|DISPLAY LSM} rejected; ACSid AA is not CONNECTED

**説明：**オフラインの ACS (AA) に対してコマンドの入力を試みました。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**Vary コマンドを出して ACS をオンラインにしてから、コマンドを再入力してください。

**SLS0056I** {ENTER|SEnTER|EJECT} rejected; {ACsId AA}|{LSMid AA:LL}|{CAPid AA:LL:CC}|{TLsM AA:LL} is {OFFLINE|INVALID|UNAVAILABLE|NOT EJECTING|RELEASING}

**説明**：ENter、SENter、または Eject コマンドは、要求された操作を完了しませんでした。

**システムの処理**：このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置**：ACsId、LSMid、または CAPid がオフラインであるというメッセージが表示される場合は、要素をオンラインに変更してからコマンドを再入力します。

ACsId、LSMid、または CAPid が無効であるというメッセージが表示される場合は、正しい識別子を指定してコマンドを再入力します。

ACsId、LSMid、または CAPid が使用不可であるというメッセージが表示される場合は、CAP がドレインされていることを確認してから ENter または Eject コマンドを再入力します。

CAPid はイジェクト処理を行っていないというメッセージが表示される場合は、ENter コマンドを発行することで ACS にカートリッジを入れることができます。

CAPid が解放されているというメッセージが表示される場合は、RELEase コマンドが完了のを待ってから Enter、SENter、または Eject コマンドを発行します。

**SLS0057I** Unknown RC XXXXXXXX from {SLSFCNF SLSFATHS SLSFLSMV LMURQST MRQST CAPRQST}

**説明**：アクティブな HSC コンポーネントが、下位のコンポーネントから戻りコードを受け取りましたが、それをメッセージに変換できませんでした。

**システムの処理**：要求は拒否されます。

**ユーザーの処置**：戻りコードについての詳細は、このマニュアルの第4章「HSC 戻りコード」を参照してください。

**SLS0059I** Cleaning {HAS BEEN|WAS NOT} scheduled for drive DDD

**説明**：DDD に対して、CLEan コマンドが入力されました。クリーニングがスケジューリングされていない場合、メッセージ SLS0069I も表示されて、クリーニング要求が失敗した理由を示します。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0060I** Error parsing *CCCCCCCC* command; SLSSPARS RC=*XXXXXXXX*

説明：構文エラーではない解析戻りコードは、このように報告されます。

RC = 4            解析プログラムに渡された文字列の長さはゼロでした。  
 RC = 12          解析プログラムに渡されたパラメータリストに無効な形式がありました。  
 RC = 16          解析プログラムに渡された解析テーブルに無効な形式がありました。

システムの処理：コマンドは実行されません。内部理由コードによって、さらにメッセージが生成されるはずはです。

ユーザーの処置：コマンドを再実行してください。それでも失敗する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0061I** Structure *CCCCCCCC1* not allocated; *CCCCCCCC2* command rejected

説明：指定された構造 (*CCCCCCCC1*) に対して、アドレス可能でなければならないコマンド (*CCCCCCCC2*) の入力を試みました。構造 (データ域) ポインタはゼロになっていたため、アクセスは不可能でした。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：正しい構造名を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0062I** Invalid structure or equate name *CCCCCCCC1*; *CCCCCCCC2* command rejected

説明：特定のデータ域へのアクセスを必要とするコマンド (*CCCCCCCC2*) の入力を試みましたが、そのデータ域名 (*CCCCCCCC1*) を記号テーブル内で検出できませんでした。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：正しい構造名またはそれに等しい名前を指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS0063I** LIST {*CCCCCCCC|XXXXXXXX*} accepted

説明：LIST コマンドが、指定のアドレスまたはデータ域に入力されました。

システムの処理：コマンドによって、示されたアドレスまたは構造名にあるデータがリスト表示されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0068I** Current TRACE Status: **コンポーネント名 {Traced|Not Traced}**

説明：TRace コマンドが正常に完了しました。ACS サブシステムコンポーネントとそのトレース状況のリストが続けて表示されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS0069I** Host to Host Broadcast failed: **CCCCCCCC**

説明：LMU サーバーのホストからホストへのブロードキャスト要求が、Clean drive コマンドによって出されましたが、この要求は失敗しました。CCCCCCCC は、障害の性質を説明するテキストです。

システムの処理：障害が回復可能なものである場合、メッセージ SLS0059I が出されて、要求されたデバイスに対してクリーニングがスケジューリングされなかったことを示します。そして、Clean コマンドの処理は続けられます。障害が回復不能なものである場合、Clean コマンドは、理由コード 0018 を出して異常終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS0070I** {ENTER|EJECT} rejected; CAPid AA:LL:CC recovery failed, RC XXXXXXXX

説明：ENter または EJect コマンドのいずれかを入力しましたが、コマンドは拒否されました。これは、指定の CAP (AA:LL:CC) の回復が必要であるが、回復に失敗して戻りコード XXXXXXXX を返したためです。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：RElease CAPid コマンドを使用して、CAP を回復してください。解放後、ENter コマンドを使用して CAP をオープンし、カートリッジがあるかどうかを確認してください。カートリッジがあればそれを CAP から取り出し、前のコマンド (ENter|Eject) を再入力してください。

**SLS0071I** Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明：コンポーネント CCCCCCCC から予期しない戻りコード XXXXXXXX が返されました。

システムの処理：要求は実行されません。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0072I** EJECT failed; unable to recover errant volume *volser*

**説明** : Eject 処理中、エラントボリュームを回復できませんでした。

**システムの処理** : ボリュームはイジェクトされません。

**ユーザーの処置** : MVS SYSLOG/SCP CONSLOG を調べて、エラント状況の原因を見つけてください。ホーム位置および宛先位置を見るには、View コマンドを使用してください。必要に応じて AUDIt または UNSELECT ユーティリティ (あるいはその両方) を実行して、ボリュームを回復してください。

**SLS0073I** Length *LLLL* is greater then the 4096 byte limit

**説明** : 4096 バイトの制限以上にダンプしようとしてしました。LLLL は、無効な長さです。コマンドは終了します。

**システムの処理** : 有効な長さを指定して、LIST コマンドを再発行してください。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0076I** SLS - software failure - XXXXXXXX *volser*

**説明** : HSC がソフトウェアエラーを検出しました。指定のエラーが発生しました。

XXXXXXXX に 3 桁の 16 進数が表示される場合は、システムの異常終了コードです。

XXXXXXXX に 8 桁の 16 進数が表示される場合は、そのコードは HSC 異常終了理由コードです。

*volser* が表示される場合、これには処理中のボリュームシリアル番号が入ります。? が表示される場合、ボリュームは未知のものです。

**システムの処理** : ERDS エントリが作成され、ダンプが生成されます。影響を受けるボリュームの処理は停止します。

**ユーザーの処置** : ダンプを保存します。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0077I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume is selected

**説明** : トランSPORT *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をディスマウントしようとしてしましたが、このボリュームはすでに選択されていました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : マウント解除は実行されません。

**ユーザーの処置** : ボリュームをマウントしたホストからライブラリに DISMount を発行するか、またはホスト間回復を実行して、その回復を行なったホストからライブラリに DISMount を発行してください。

**SLS0078I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume is errant

説明：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をディスマウントしようとしたが、エラーが発生しました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。ボリューム *volser* は見つかりませんでした。

システムの処理：マウント解除は終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS0080I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume at *AA:LL:PP:RR:CC*

説明：*XXXX* または *AA:LL:PP:NN* 上のマウントすべきボリューム *volser* が *AA:LL:PP:NN* (LSMid: パネル番号: 行番号: 列番号) に見つかりました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：マウントが続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0081I** Volume *volser* found mounted on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - attempting dismount

説明：HSC が、別のボリュームのマウントを試みたときに、トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* がマウントされていました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。ドライブ上のボリュームに読み取り不能なラベルがある場合、*volser* は ? マークとして表示されます。

システムの処理：マウントが続行されます。HSC は、マウントされているボリュームをマウント解除しようとします。

ユーザーの処置：なし

**SLS0082I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LSMid *AA:LL* is in manual mode; manual mount is required

説明：ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたが、指定の LSM *AA:LL* は手動モードになっています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。手動でのマウントが必要です。

システムの処理：マウントは失敗します。

ユーザーの処置：ボリュームを手動でマウントしてください。

- SLS0083I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - ACS *AA* is disconnected; library mount is required
- 説明:** ボリューム *volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたますが、指定した ACS *AA* は切断されています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ ID を示します。
- システムの処理:** マウントは失敗します。
- ユーザーの処置:** ACS に接続されたホストから、ライブラリの Mount コマンドを入力してください。
- SLS0085I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - ACS *AA* is disconnected; library dismount command is required
- 説明:** トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をディスマウントしようとしたますが、指定の ACS *AA* が切断されています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。
- システムの処理:** マウント解除は失敗します。
- ユーザーの処置:** ACS に接続されたホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力してください。
- SLS0086I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LSMid *AA:LL* is in manual mode; manual dismount is required
- 説明:** トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をディスマウントしようとしたますが、指定の LSM *AA:LL* は手動モードになっています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。手動でのマウント解除が必要です。
- システムの処理:** マウント解除は失敗します。
- ユーザーの処置:** ボリュームを手動でマウント解除して、LSM から出庫してください。
- SLS0087I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume is not on drive
- 説明:** HSC がトランスポート {*XXXX*|*AA:LL:PP:NN*} からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたますが、ドライブが空であるか別のカートリッジがマウントされているかのいずれかです。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。
- システムの処理:** マウント解除は失敗します。
- ユーザーの処置:** 現在ドライブにマウントされているボリュームがある場合、Display DRives コマンドを発行して、ボリュームを判別してください。現在マウントされているボリュームをマウント解除する必要がある場合、HSC DISMount コマンドを発行します。

**SLS0088D** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Intervention required; Mount or Ignore (M/I)

説明：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、オペレータの介入が必要です (例えば、このドライブに対して IEC512I I/O ERR 表示の場合)。 *XXXX* はドライブ、 *AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：マウント処理は、オペレータが M または I のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの処置：次のいずれかで応答してください。

M      マウントを続行する場合。

I      マウントを無視する場合。HSC は、マウントを保留のままにします。

**SLS0089E** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Unable to allocate cell in ACS *AA*

説明：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたが、ACS *AA* に空のセルがありませんでした。 *XXXX* はドライブ、 *AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：マウント解除は失敗します。

ユーザーの処置：セルを解放して (Eject を指定して)、DISMount コマンドを再入力してください。

**SLS0090I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Unable to insert volume in the database

説明：制御データセットにボリュームを登録できなかったために、指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をマウント解除できませんでした。 *XXXX* はドライブ、 *AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：マウント解除は失敗します。

ユーザーの処置：制御データセットに重複がないことを確認してから、DISMount コマンドを再入力してください。

**SLS0091I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Complete

説明：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からの *volser* のマウント解除が完了しました。 *XXXX* はドライブ、 *AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。このメッセージが表示されても、必ずしもマウント解除が成功したとは限りません。

システムの処理：正常に処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0092I** Swap of *volser* to {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LSMid *AA:LL* is in manual mode; manual mount is required

**説明**：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をスワップしようとしたますが、LSM *AA:LL* は手動モードになっています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。手動でのマウントが必要です。

**システムの処理**：スワップは失敗します。

**ユーザーの処置**：ボリュームを手動でスワップしてください。

**SLS0093I** Swap of *volser* to {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - ACS *AA* is disconnected; library dismount command is required

**説明**：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をスワップしようとしたますが、ACS *AA* が切断されています。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。このため、ライブラリの DISMount コマンドが必要です。

**システムの処理**：スワップは失敗します。

**ユーザーの処置**：スワップを実行するには、ACS に接続されたホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力してください。

**SLS0094E** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - DRIVEid is *AA:LL:PP:NN*

**システムの処理**：トランスポート DISMount コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：トランスポートから手動でボリュームをマウント解除し、LSM からそのボリュームを取り除いてください。

**SLS0096I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - volume not dismounted

**説明**：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたますが、エラーが発生しました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します

**システムの処理**：マウント解除は失敗します。

**ユーザーの処置**：エラーを訂正して、DISMount コマンドを再入力してください。

**SLS0098A** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - No non-zero priority CAPs in ACS *AA*; reply C to cancel wait

説明 : ACS *AA* にゼロ以外の優先順位を持つ CAP がないときに、*XXXX* または *AA:LL:PP:NN* のボリューム *volser* の永続的または一時的入力とマウントが行なわれました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理 : マウント処理は、オペレータが「C」と応答するか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

ユーザーの処置 : CAPPref コマンドを使用して CAP を使用可能にするか、アクティブな CAP を DRAin してください。マウント処理が必要ない場合は、「C」と応答してください。

**SLS0099I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume at *AA:LL:PP:RR:CC*

説明 : *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除されているボリューム *volser* が、現在 *AA:LL:PP:RR:CC* にあります。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理 : マウント解除は続行されます。

ユーザーの処置 : なし

**SLS0101I** CCCCCCCC invalid reply

説明 : CCCCCCCC は、WTOR への無効な応答です。

システムの処理 : WTOR が再び表示されます。

ユーザーの処置 : 有効な値で応答してください。

**SLS0103E** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Drive unload error

説明 : ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除するとき、ドライブのアンロードエラーがありました。

システムの処理 : マウント解除は失敗します。

ユーザーの処置 : エラーを訂正してから、指定のトランスポートと VOLSER に対して、ライブラリの DISMOUNT コマンドを入力してください。

**SLS0105A** Dismount of {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - drive is loaded;  
reply I to cancel wait

**説明**：マウント解除に対するボリュームシリアル番号を判別しようとしたのですが、カートリッジがトランスポートにロードされていました。

**システムの処理**：マウント解除は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：マウント解除を無視する場合は、「I」と応答してください。ボリュームがドライブにあり、しかもどのプロセッサのジョブにも割り振られていないことが分かっている場合、そのボリュームをドライブからアンロードしてください。(MVSでドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを発行します。ドライブを VM でアンロードするには、ドライブを仮想計算機に ATTACH し、そのあとで DETACH します)ドライブが使用中の場合は、ジョブがドライブ上のボリュームに対する処理を終了するまで待ってください。誤動作のためにドライブをアンロードできない場合、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアお客様サービスに連絡して、このメッセージには「I」と応答してください。

**SLS0107D** Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - drive has loaded cartridge; reply Dismount, Retry or Ignore (D/R/I)

**説明**：ボリュームをマウント解除する要求が出されましたが、ボリュームが巻き戻しおよびアンロードされていません。マウント解除は、オペレータが「D」(マウント解除)、「R」(再試行)、または「I」(無視)のいずれかを応答するか、ドライブがボリュームを巻き戻してアンロードされるまで待ち状態になります。

**システムの処理**：

**ユーザーの処置**：巻き戻してアンロードが終了するまで待つか、または次のいずれかで応答してください。

**D**

ボリュームを巻き戻ししてアンロードする場合。

**R**

強制的に巻き戻ししないで、マウント解除を再実行する場合。

**I**

要求を無視する場合。



**注**：「D」と応答すると、トランスポートに対する介入を必要とするメッセージが出されて、そのトランスポートが使用中であればジョブが異常終了する可能性があります。MVS では、このトランスポートに UNLOAD コマンドを出す必要があります。それがオンラインになっている場合、UNLOAD コマンドは、デバイスの割り振りが解除されるまで、そのアンロードを延期します。VM では、デバイスがテープ管理仮想計算機 (VMTAPE など) に ATTACH されている場合は、「D」と応答してください。デバイスがどの仮想計算機にも ATTACH されていない場合は、デバイスを仮想計算機に一度 ATTACH してから DETACH することにより、テープをアンロードする必要があります。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、ATTACH は失敗します。

「R」と応答すると、ボリュームを巻き戻しせずにマウント解除要求が再発行されます。

「I」と応答すると、マウントされたカートリッジをトランスポートに入れたままの状態にできます。MVSでは、システムがマウントされたカートリッジを使用する場合、そのトランスポートが、マウント要求なしに割り振られます。トランスポートが別のカートリッジに必要な場合は、マウント解除要求の後で新しいマウント要求が出されます。VMでは、デバイスがテープ管理システム以外の仮想計算機に ATTACH されている場合、そのデバイスは、DETACH されるときにアンロードされます。

**SLS0108D** Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - External label is unreadable; reply Mount, Bypass, or Ignore (M/B/I)

**説明:** トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、外部ラベルを読み取れませんでした。

**システムの処理:** マウント処理は、オペレータが Mount、Bypass、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** 次のいずれかで応答してください。

- M ボリュームをマウントする場合。外部ラベルチェックは、このマウント処理中、一時的にバイパスされます。
- B ボリュームをマウント解除する場合。ここでは、読み取り不能な外部ラベルを持つことを示すマークが永続的に付けられます。
- I 要求を無視する場合。必要であれば、Eject コマンドを出して、ボリュームをイジェクトできます。

**SLS0109D** Swap of XXXX1 to XXXX2 - Volume *volser* is in the library; reply Eject, Dismount, or Ignore (E/D/I)

**説明:** ライブラリの外部にあるトランスポートにボリュームをスワップしようとした。

**システムの処理:** スワップは、オペレータが Eject、Dismount、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** 次のいずれかで応答してください。

**Eject 「E」**  
ボリュームをイジェクトする場合。

**Dismount (D)**  
ボリュームをマウント解除して、ライブラリ内に保存する場合。

**Ignore 「I」**  
要求を無視する場合。

**SLS0110I** Eject of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Unable to eject, volume errant

**説明**：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、エラーによってボリュームがエラントになりました。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：ボリュームがエラントになった理由を判別して、適切な訂正処置をとってください。

**SLS0112E** Swap of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LMU error *XXXXXXXX ACS AA*

**説明**：*XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からのボリューム *volser* のスワップ中に LMU エラー *XXXXXXXX* が受け取られました。

**システムの処理**：スワップは失敗します。

**ユーザーの処置**：ボリュームに対して、ライブラリの DISMount および Mount command を入力してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0113D** Mount of *volser1* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - OCR *volser mismatch (volser2)*; Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)

**説明**：ボリューム *volser1* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたが、LMU が (*volser2*) という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* は DRIVEid を示します。

**システムの処理**：マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：次のいずれかで応答してください。

- R     マウントを再試行する場合。
- E     ボリュームをイジェクトする場合。ボリューム *volser1* は、制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
- I     マウントを無視する場合。

**SLS0114D** Enter of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - *volser* invalid; reply E,*volser* or I to Enter a different volume, or Ignore

**説明** : 指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* の入力を試みましたが、このボリュームシリアル番号は受け付けられませんでした。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* は DRIVEid を示します。

**システムの処理** : マウントは、オペレータが「E,*volser*」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

**E,*volser***

異なるボリュームシリアル番号を入力する場合。

**I**

マウントを無視する場合。

**SLS0115I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Overridden by a dismount request

**説明** : ボリューム *volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたますが、そのマウントは、マウント解除要求によって無効にされました (同じトランスポートに対して、マウント要求とマウント解除要求が出されていました)。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : Mount コマンドも DISMount コマンドも実行されません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0116I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Newly unreadable *volser*; Ejecting

**説明** : *volser* のマウント解除中に、LMU が、以前読み取り可能であった外部ラベルが現在読み取り不能であることを示しました。

**システムの処理** : ボリュームは、ライブラリからイジェクトされます。

**ユーザーの処置** : カートリッジのラベルを調べて、ラベルが読み取り不能な理由を判別してください。問題が解決されると、カートリッジをライブラリに挿入できます。メッセージ SLS0116I 内の *volser* が #URBL または SCRTCH である場合は、カートリッジからの *volser* を使用して DISPLAY VOLUME DETail コマンドを発行してください。表示されたボリュームがライブラリ内にある場合は、ホームセルを監査してください。

**SLS0117E** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LMU error  
XXXXXXXX ACS AA

**説明**：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、LMU エラーの *XXXXXXXX* が起こりました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理**：マウント解除は失敗します。

**ユーザーの処置**：ボリュームに対して、ライブラリの DISMOUNT コマンドを入力してください。それでもすぐにこの問題が再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0118D** Enter of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*}; bad CAPid  
*AA:LL:CC*; reply "T,capid", "U", or "I" - Try another/Use any/Ignore

**説明**：ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* に入力しようとしたのですが、不良な CAPid (*AA:LL:CC*) が指定されていました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのいずれかです。

**システムの処理**：ENter は、オペレータが T,capid、U、または I を応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：次のいずれかで応答してください。

**T,capid (Try another CAP)**

ボリュームの入力を進める場合。ここで CAPid は、使用する CAP を示します。

**U (Use any CAP)**

サブシステムに CAP を選択させる場合。

**I (Ignore)**

ボリュームの入力を無視する場合。

**SLS0119D** Enter of *volume* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - volume already  
in database; reply "M,volser", or "I" to Mount or Ignore

**説明**：ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* に入力しようとしたのですが、*volser* がすでに制御データセット内にありました。

**システムの処理**：ENter は、オペレータが「M,volser」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：次のいずれかで応答してください。

**M,volser (Mount)**

ボリュームの入力を進める場合は、制御データセット内にはないボリュームシリアル番号を指定してください。

**I (Ignore)**

ボリュームの入力を無視する場合。

**SLS0120E** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - LMU error  
*XXXXXXXX ACS AA*

**説明** : 指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、ACS *AA* に対して LMU エラーの *XXXXXXXX* が起こりました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : マウントは失敗します。ボリュームがそのセルにない場合、そのボリュームはエラントになります。

**ユーザーの処置** : 問題を訂正して、ライブラリの **Mount** をそのボリュームに対して入力してください。

**SLS0121I** Invalid library {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*}

**説明** : オペレータコマンドにより、ボリュームのマウントまたはマウント解除を試みたときに、無効なライブラリトランスポートが指定されていました。

**システムの処理** : マウントまたはマウント解除は失敗します。

**ユーザーの処置** : 有効なトランスポートを指定して、コマンドを再発行してください。

**SLS0122D** Enter of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - no cell space available in ACS *AA*; Retry or Ignore (R/I)

**説明** : 指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* を入力しようとしたが、この ACS に使用可能なセルスペースがありません。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : ENter は、オペレータが **Retry** または **Ignore** を応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

R        ボリュームの入力を進める場合は、「R」と答える前に、ボリュームのいくつかをイジェクトしてください。

I        ボリュームの入力を無視する場合。

**SLS0123I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Suppressed; mount was not initiated

**説明** : *volser* のマウント解除は、それに先行するマウントが抑止されていて、ボリュームがトランスポートに配置されていなかったために、抑止されていました。

**システムの処理** : マウント解除は実行されません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0124I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Complete

**説明** : マウント要求に応じて、ボリューム *volser* は、指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントされました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : 正常に処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0125D** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume not in cell *AA:LL:PP:RR:CC*; Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)

**説明** : ボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、セル *AA:LL:PP:RR:CC* にボリュームが見つかりませんでした。

**システムの処理** : マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

- R     マウントを再試行する場合。
- E     見つかったボリュームを制御データセットから削除する場合。ボリュームが ACS の外部にあって、入力処理を行なう必要がある場合は、Eject と応答してください。それから、HSC オペレータコマンドを使用して、ボリュームを入力およびマウントしてください。
- I     マウントを無視して、ボリュームを制御データセットから削除しない場合。

- SLS0127I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Error doing scan
- 説明：ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしたとき、ドライブまたはホーム位置のいずれかのスキャンが必要とされました。しかし、LMU が、移動エラーの発生を示したか、あるいはドライブと通信できませんでした。
- システムの処理：マウント解除は実行されません。
- ユーザーの処置：必要であれば、コマンドを再入力してください。
- SLS0128A** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Waiting for volume; reply "I" to cancel wait
- 説明：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、ボリュームが使用中でした。
- システムの処理：マウントは、ボリュームが使用可能になるまで待ち状態になります。
- ユーザーの処置：マウントを無視する場合は、「I」と答えてください。
- SLS0129I** Non-zero Return Code From STIMERM - *XXXX*
- 説明：特定の時間間隔と待ち時間 (STIMERM) を設定するためにマクロが使用されましたが、ゼロ以外の戻りコード (*XXXX*) が受け取られました。
- システムの処理：システムは、ボリュームが使用可能になるまで待ちません。システムは、オペレータの応答を待ちます。
- ユーザーの処置：必要に応じて、関連する WTOR に応答してください。
- SLS0130I** {Drive *XXXX*|Driveid *AA:LL:PP:NN*} found full while attempting mount of *volser*
- 説明：指定されたトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、トランスポートがいっぱいでした。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。
- システムの処理：システムは、トランスポート上のカートリッジをマウント解除して、マウントを再試行します。マウント解除に失敗すると、マウントは中止されるか、または SLS0105A が発行されます。
- ユーザーの処置：なし

**SLS0131I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Error doing scan

**説明** : ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたとき、ドライブまたはホーム位置のいずれかのスキャンが必要とされました。しかし、LMU が、移動エラーの発生を示したか、あるいはドライブと通信できませんでした。

**システムの処理** : マウントは実行されません。

**ユーザーの処置** : 必要であれば、コマンドを再入力してください。

**SLS0132I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Suppressed; prior dismount queued or active

**説明** : ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしたのですが、そのドライブに対する前のマウント解除がアクティブかまたは待ち状態にあるため、マウント解除は抑止されました。

**システムの処理** : マウント解除は実行されません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0133I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Mount active; attempting suppression

**説明** : ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしたのですが、そのドライブにあるボリューム *volser* に対して、マウント要求がすでにアクティブでした

**システムの処理** : システムは、マウントを抑止しようとしています。マウントの抑止が正常に終了すると、マウント解除も抑止されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0134D** Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume and drive are in different ACSs; Eject, Retry, or Ignore (E,R,I)

**説明** : ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、異なる ACS 内にあるボリュームが必要とされました。

**システムの処理** : マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

E 必要なボリュームをイジェクトする場合。

R マウントを再試行する場合。

I マウントを無視する場合。

**SLS0136D** Eject of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - bad CAPid AA:LL:CC; reply "T,capid","U", or "I"; Try another/Use any/Ignore

**説明** : ボリューム *volser* をイジェクトして、トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたが、不良な CAPid が指定されていました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのいずれかです。

**システムの処理** : イジェクトは、オペレータが T,capid、U、または I を応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

**T,capid (Try another CAP)**

イジェクトを進める場合。ここで CAPid は、使用する CAP を示します。

**U (Use any CAP)**

サブシステムに CAP を選択させる場合。

**I (Ignore)**

マウント解除要求を無視する場合。

**SLS0137E** Eject of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LMU error XXXXXXXX ACS AA

**説明** : ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からイジェクトしようとしたが、LMU エラー (XXXXXXX) が発生しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

**システムの処理** : イジェクトは失敗します。

**ユーザーの処置** : ボリュームに対してライブラリの DISMount コマンドを入力して、Eject コマンドを再試行してください。それでもすぐに問題が再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0138D** Eject of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - No non-zero priority CAPs in ACS *AA*; reply C to cancel wait

**説明**：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、ゼロ以外の優先順位を持つ使用可能な CAP がありませんでした。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理**：マウント解除は、オペレータが C と応答するか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：CAPPref コマンドを入力するか、またはアクティブな CAP を DRAin して CAP を使用可能にしてください。イジェクト処理が必要ない場合は、C と応答してください。

**SLS0140I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Suppressed

**説明**：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、マウント解除によって抑止されました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理**：マウントは実行されません。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0141I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Suppressed; prior scratch request active or queued

**説明**：スクラッチ要求に対してボリューム *volser* をマウントしようとしたが、それに先行する非特定の要求が、そのドライブで待ち状態かアクティブでした。

**システムの処理**：2 番目のマウント要求は実行されません。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0142I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Unable to recover volume - *XX*

**説明**：エラントボリューム *volser* をマウントしようとしたが、それを見つけれませんでした。*XX* は、次のように、ボリュームを見つけれなかった理由を示します。

- 04 - 回復でボリュームを見つけれませんでした
- 08 - 制御データセットのエラーが起きました
- 0C - 回復が異常終了しました
- 10 - LMU エラーが起きました

**システムの処理**：マウント処理は終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0143I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Cancelled due to operator request

説明：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、オペレータ要求によって取り消されました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：マウント処理は終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS0144I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Overriding a mount scratch request

説明：*volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたとき、システムは、そのドライブに対するマウント *SCRATCH* 要求を検出し、それを無効にしました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：*SCRATCH* のマウントは実行されません。

ユーザーの処置：なし

**SLS0145I** Mount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Mount scratch active; attempting suppression

説明：トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、そのドライブに対するマウント *SCRATCH* 要求がアクティブ状態にありました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：システムは、*SCRATCH* のマウントを抑止しようとします。

ユーザーの処置：なし

**SLS0147I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} suppressed - prior mount request queued

説明：指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、そのボリュームへの先行するマウント要求が、そのドライブで待ち状態になっていました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

システムの処理：2 番目のマウント要求は実行されません。

ユーザーの処置：なし

**SLS0148I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Cancelled by overdue response handler

**説明** : ボリューム *volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたが、未完了応答ハンドラが、要求に時間がかかり過ぎていると判断して、その要求を無効にする許可をオペレータから得ました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : マウント要求は取り消されました。

**ユーザーの処置** : 必要であれば、マウント要求を再入力してください。

**SLS0149I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Cancelled by overdue response handler

**説明** : ボリューム *volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしたが、未完了応答ハンドラが、要求に時間がかかり過ぎていると判断して、その要求を無効にする許可をオペレータから得ました。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ id を示します。

**システムの処理** : マウント解除要求は取り消されます。

**ユーザーの処置** : 必要であれば、マウント解除要求を再入力してください。

**SLS0150I** Missing or invalid SLSIN DD statement

**説明** : SLUADMIN ユーティリティープログラムが、必要なユーティリティー制御ステートメントファイル (DD 名 SLSIN) を、正しく OPEN できませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : 80 バイトのカードイメージ制御文を含む SLSIN データセットを供給して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0151I** Value in JCL PARM field *PPPPPPPP* is invalid

**説明** : SLUADMIN ユーティリティージョブが PARM = パラメータを指定してサブミットされ、キーワード *PPPPPPPP* に無効な値が指定されました。有効なキーワードと値は、

MIXED、NOHDR、LINECNT==nn、DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}、および XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD}

で、nn は 10 から 99 の間の値です。NOHDR と LINECNT は、いずれか一方しか指定できません。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : JCL PARM フィールドの値を訂正するか、PARM 値をすべて削除してから、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0152I** SLUCON\_\_must be authorized when specifying "LIBONLY" parameter

**説明** : 表示された SLUCONDB ユーティリティーは、「LIBONLY」実行時パラメータが指定された場合、APF 許可モードで実行される必要があります。

**システムの処理** : ユーティリティーは戻りコード 8 で終了します。

**ユーザーの処置** : ユーティリティーが存在するライブラリが APF 許可を受けていることを確認して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0153I** Conflicting utility is currently active on the system -- try again later

**説明** : もう 1 つの SLUADMIN ユーティリティージョブがシステム上でアクティブであり、この SLUADMIN ユーティリティージョブで要求されたユーティリティーの機能と対立するユーティリティー機能を実行していました。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : もう 1 つの SLUADMIN ユーティリティージョブが終了してから、この SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0154A** A CCCCCCCCCCCCCC library utility active during termination; waiting for completion

**説明** : HSC サービスレベルの一方または両方を終了させようとしたが、CCCCCCCCCCCCCCCC SLUADMIN ユーティリティージョブが、システムでアクティブなライブラリソフトウェアを必要としています。

**システムの処理** : 終了処理は、ユーティリティー機能が終了するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 現状に基づいて次のいずれかの処置を実行してください。

- SLUADMIN ユーティリティージョブが完了するまで待ち、そのあとで、ライブラリソフトウェアの終了処理が行なわれます。
- SLUADMIN ユーティリティージョブがキャンセルされ、ライブラリの終了処理が続けられます。
- ライブラリソフトウェアを取り消し、異常終了します。

**SLS0155I** Condition code for utility function is DD

**説明：**SLUADMIN ユーティリティージョブ内で単一の制御文によって表されるユーティリティー機能が完了し、指定された条件コードが返されました。次の条件コードがあります。

- 0 ユーティリティー機能は正常に完了しました。
- 4 エラーが検出されましたが、ユーティリティー機能は完了しました。
- 8 エラーが検出され、ユーティリティー機能は取り消されました。
- 12 エラーが検出されて、ユーティリティープログラム (すべてのユーティリティー機能) が取り消されました。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は、戻りコードに示されたとおりに終了します。

**ユーザーの処置：**条件コードがゼロ (0) ではない場合は、そのほかのユーティリティーメッセージ (複数の場合もあります) を参照して、エラーの真の原因を解決し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットする必要があるかどうかを判断してください。

**SLS0156I** No qualifying SMF records found

**説明：**SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーが、すべての SMF レコードを読み取りましたが、指定の日付および時刻のレコードがありませんでした。

**システムの処理：**アクティビティーレポートユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**与えられた SMF データ (DD 名 SLSSMF) または必要なレポート期間 (制御ステートメント上の BEGIN パラメータと END パラメータ)、あるいはその両方をチェックし、エラーを修正してから、この SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0157I** ホストソフトウェア構成要素がアクティブでないか、NCO イベントが一時的にユーティリティーを無効にしました

**説明：**ライブラリソフトウェアを必要とする SLUADMIN ユーティリティー関数が試行されましたが、ライブラリソフトウェアがアクティブでないか、動的再構成 (NCO) がアクティブになっていて、一時的にユーティリティーが無効にされました。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は実行されません。

**ユーザーの処置：**

1. アクティブになっていなければホストライブラリソフトウェアを起動し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。
2. または、NCO イベントが発生した場合はユーティリティーのジョブログを調べて、どの時点で SLUADMIN ユーティリティーを再サブミットするかを判断してください。

### SLS0158I Conflicting audit in progress on this Host

**説明：**別の SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが監査中のライブラリーコンポーネントに対して SLUADMIN AUDIT ユーティリティーを実行しようとしたか、「アクティブ」な AUDIT ユーティリティー (パラメータ APPLY(YES)) を「レポートのみ」の AUDIT ユーティリティー (パラメーター APPLY(NO)) と同時に実行しようとしています。

**システムの処理：**要求されたユーティリティー機能は実行されません。

**ユーザーの処置：**もう 1 つの AUDIT ユーティリティージョブが終了するまで待つて、この SLUADMIN AUDIT ジョブを再サブミットしてください。あるいは、この AUDIT 制御ステートメントのパラメータを、もう 1 つの AUDIT ユーティリティーと対立しないように変更してください。

### SLS0159I Conflicting audit in progress within the LSM

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、現在の AUDIT ユーティリティー、INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティー (MVS)、または ENTER ユーティリティー (VM) の LSM と同じ LSM 内で処理されています。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティーか、一連の並行 AUDIT ユーティリティーが完了するまで待つてから、この SLUADMIN ユーティリティーを再サブミットしてください。

### SLS0160I All DD journals are successfully sorted

**説明：**これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージで、DD (アクティブジャーナルの数) ファイルからのすべてのジャーナルレコードが、正常にソートされたことを示すものです。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

### SLS0161I Control database is successfully copied from the backup copy

**説明：**これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージで、制御データセットが、バックアップデータセットの制御データセットと正しく置き換えられたことを示すものです。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0162I** P P P P P P P P parameter value V V V V V V V V V V invalid

**説明：**示された VOLRpt パラメータ値が、無効なパラメータ値で指定されました。

**システムの処理：**VOLRPT ユーティリティーは、戻りコード 8 で終了します。

**ユーザーの処置：**ボリュームレポート (VOLRpt) 制御文上の示されたパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0163I** Volume *volser* not in library

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能の VOLSER パラメータに、特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) が与えられましたが、これは、ライブラリに定義されていません。このため、ユーティリティー機能は、そのボリュームシリアル番号を処理できませんでした。このメッセージは、内部モジュールによる特定ボリュームシリアル番号情報要求に対し、特定ボリュームシリアル番号を与えない場合に表示されることもあります。この状態は無視されず、ユーザーに異常事態を通知するためにこのメッセージが出されます。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーではユーティリティー機能は取り消されませんが、ユーザーは、指定のボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットできます。

**SLS0164I** Volume *volser* already defined in library as scratch

**説明：**SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、ライブラリスクラッチプールに、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を追加しようとしたますが、ボリュームはすでにスクラッチとして定義されていました。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS0165I** Control database is successfully restored by applying sorted journals

**説明：**これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージであり、バックアップで置き換えられた制御データセットが、すべてのアクティブジャーナルファイルからのレコードで更新されたことを示します。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0166I** Volume *volser* not defined in library as scratch

説明：SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、ライブラリスクラッチプールから指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を除去しようとしたましたが、そのボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

システムの処理：ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの処置：このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されませんが、ユーザーは、指定のボリュームシリアル番号をチェックし、それを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS0167I** Volume *volser* successfully added to library as scratch

説明：SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーにより、ライブラリスクラッチプールに指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が追加されました。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0168I** Volume *volser* successfully deleted from library scratch pool

説明：SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーにより、ライブラリスクラッチプールから、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が削除されました。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0169I** Secondary is successfully copied from the restored control database

説明：これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージで、制御データセットのセカンダリコピーが、回復した制御データセットの内容と正しく置き換えられたことを示すものです。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0170I** Volume *volser* in use; unavailable for processing

説明：SLUADMIN ユーティリティー機能が、ユーティリティー固有の処理を、特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して試みましたが、そのボリュームは、別の処理によって現在選択されているか、すでに使用されているかのいずれかで、スクラッチできませんでした。ユーティリティーの処理は実行できません。

システムの処理：処理は続けられますが、このボリュームは無視されます。

ユーザーの処置：これはエラーとはみなされませんが、ユーザーは、競合する処理/ジョブがこのボリュームを解放してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットできます。

**SLS0171I** CAPid AA:LL:CC is invalid

**説明：**カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の CAPid (AA:LL:CC) をユーティリティ制御文に指定しましたが、この CAPid は無効でした。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**CAPid の指定を変更して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0172I** CAP could not be successfully allocated

**説明：**カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の CAP (ユーティリティ制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別の処理で使用されていたために割り振ることができなかったか、または、ゼロ以外の優先順位を持つ予約されていない CAP が、CAP の要求された ACS 内にありませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは、CAP 操作を行わずに終了します。

**ユーザーの処置：**異なる CAPid を指定するか、またはその特定の CAP を使用する処理が完了するまで待ってから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。CAP が指定されていない場合は、ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先順位をゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0173I** Missing or invalid SLSTAPE DD statement

**説明：**SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、SLSTAPE DD 文を見つけられなかったか、または SLSTAPE DD 文がトランスポートを正しく参照しなかったかのいずれかです。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**JCL に、有効なライブラリトランスポートを表わす SLSTAPE DD ステートメントが含まれていることを確認してください。また、特定の CAP が必要な場合は、SLSTAPE DD 文で表わされたライブラリトランスポートと同じ ACS 内に、その CAP があることも確認してください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0174I** Volume volser successfully ejected from library

**説明：**カートリッジのイジェクトに関する SLUADMIN ユーティリティ機能が、指定のボリュームシリアル番号 (volser) を、カートリッジアクセスポート (CAP) に正しく移動させました。

**システムの処理：**カートリッジは、制御データセットからイジェクトされます。

**ユーザーの処置：**なし (オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知されます。また、CAP がいっぱいの場合、あるいは SLUADMIN ユーティリティ機能が完了した場合には、CAP を空にする必要があります)

### SLS0175I Missing or invalid SLSCNTL DD statement

説明：SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは RESTORE ユーティリティが、SLSCNTL DD 文で表わされた制御データセットを、正しく開けませんでした。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：SLUADMIN ユーティリティ機能のための制御データセットを正しく参照する SLSCNTL DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

### SLS0176I Missing or invalid SLSBKUP DD statement

説明：SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは RESTORE ユーティリティが、SLSBKUP DD 文で参照されたバックアップデータセットを、正しく開けませんでした。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：SLUADMIN ユーティリティ機能のためのバックアップデータセットを正しく参照する SLSBKUP DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

### SLS0177I Missing or invalid SLSJR $nn$ DD statement

説明：SLUADMIN BACKUP ユーティリティが、SLSJR $nn$  文 ( $nn = 01 - 32$ ) で参照されたジャーナルを、正しく開けませんでした。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：SLUADMIN BACKUP ユーティリティのための、すべてのアクティブジャーナルファイルを正しく参照する SLSJR $nn$  文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

### SLS0178I APPLY(YES) specified or defaulted, but journaling not active

説明：SLUADMIN RESTORE ユーティリティが、ジャーナルレコードが復元された制御データセットに対して適用されることを意味する APPLY(YES) パラメータを指定するか、または暗黙指定した状態でサブミットされましたが、ジャーナル処理が、ライブラリソフトウェアに対して有効になっていませんでした。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：制御データセットを、参照されたバックアップデータセット (SLSBKUP DD 文) の状態に実際に復元しなければならない場合は、RESTORE ユーティリティの制御文に APPLY(NO) を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

### SLS0179I I/O error reading backup file specified by SLSBKUP DD statement

説明：CDS バックアップデータセットで I/O エラーが起きました。

システムの処理：ユーティリティは終了します。CDS は影響を受けません。

ユーザーの処置：別のバックアップデータセットを設定し直して、CDS BACKUP ユーティリティを再実行してください。

**SLS0180I** I/O error processing control database

**説明 :** SLUADMIN ユーティリティー機能の処理中に、制御データセット I/O エラーが起きました。

**システムの処理 :** ユーティリティーは、要求された機能を完了せずに終了します。

**ユーザーの処置 :** I/O エラーの原因を判別してください。制御データセットの問題を解決したら、ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0181I** I/O error reading journal specified by SLSJRNNn DD statement

**説明 :** SLUADMIN BACKup ユーティリティーまたは RESTore ユーティリティーの実行中に、SLSJRNNn 文で定義されたジャーナルファイルを読み取る際に、入出力エラーが起きました (BACKup の場合は nn = 01 - 32、RESTore の場合は 01 - 99)。

**システムの処理 :** ユーティリティーは、機能を果たさないまま終了します。

**ユーザーの処置 :** ローカル回復手順を参照してください。

BACKup でジャーナル I/O エラーがある場合は、SLICREAT を使用して、新しい (リセットされた) ジャーナルファイルを作成してください。

RESTore でジャーナル I/O エラーがある場合は、ジャーナルファイルの別のコピーがあるかどうかを調べて、そのコピーを使用してください。

コピーがない場合は、復元を不完全なまま終わるか、ライブラリ全体の監査を行なうかを選択してください。

**SLS0182I** I/O error writing journal specified by SLSJRNNn DD statement

**説明 :** SLUADMIN BACKUP ユーティリティーまたは OFFLOAD ユーティリティー実行中に、SLSJRNNn 文で定義されたジャーナルファイルを書き込むときに、入出力エラーが起きました (OFFLoad の場合は nn = 01 - 02、BACKup の場合は 01 - 32)。

**システムの処理 :** ユーティリティーは、ジャーナルファイルのリセットしないで終了します。

**ユーザーの処置 :** OFFLOAD ユーティリティーで I/O エラーがあった場合は、ただちにバックアップを作成してください。バックアップでジャーナル I/O エラーがある場合は、SLICREAT を使用して、ジャーナルファイルを作成 (リセット) してください。

**SLS0183I** Cartridge *volser* in cell AA:LL:PP:RR:CC:NN has an unreadable external label; Ejecting

**説明 :** *volser* のセルへのマウント解除後に、LMU が、以前読み取り可能であった外部ラベルが現在読み取り不可であることを示しました。

**システムの処理 :** ボリュームは、ライブラリからイジェクトされます。

**ユーザーの処置 :** カートリッジのラベルを調べて、ラベルが読み取り不能な理由を判別してください。問題が解決されると、カートリッジをライブラリに挿入できます。カートリッジからの *volser* を使用して DISPLAY VOLUME DETail コマンドを入力してください。表示されたボリュームがライブラリ内にある場合は、ホームセルを監査してください。

**SLS0184I** DD1 hosts defined, but only DD2 SLSJRNnn DD statements supplied

説明：SLUADMIN RESTORE ユーティリティが、定義されたホストの数 DD1 から、SLSJRNnn 文の数が不足していると判断しました。DD2 は、存在する SLSJRNnn 文の数を表しています。ライブラリに接続された各ホストには、2つのジャーナルファイルがなければなりません。(BACKup の場合は =01 - 32、RESTore の場合は 01 - 99)。

システムの処理：RESTORE ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：ライブラリに接続された各ホストに2つの SLSJRNnn 文を与えて、SLUADMIN RESTORE ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0191I** Journal specified by SLSJRNnn DD statement successfully reset

説明：SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは OFFLOAD ユーティリティによって出されたチェックポイントメッセージで、SLSJRNnn (OFFLoad の場合は、nn = 01 - 02、BACKup の場合は 01 - 32) DD 文で定義されるジャーナルファイルが正しくリセットされたことを示しています。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0194I** I/O error writing to control database specified by SLSCNTL DD statement

説明：SLUADMIN RESTORE ユーティリティの実行中、バックアップのコピー中、または制御データセット (DD 名 SLSCNTL) へのジャーナルの適用中に、I/O エラーが起きました。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：制御データセットを再作成し、SLSCNTL DD 文にその新しいデータセットを指定してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0195I** I/O error reading from data set specified by SLSDELTA DD statement

説明：SLUADMIN RESTORE ユーティリティの実行中、一時作業ファイル (DD 名 SLSDELTA) 上のソートされたジャーナルレコードの読み取り時に、I/O エラーが起きました。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：SLSDELTA DD 文で定義された、ソート済み一時ジャーナルレコードファイルを再割り振りしてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0196I** LSM LL is invalid

**説明** : SLUADMIN ユーティリティー機能制御文の「LSM」パラメータを介して得られた LSMid (LL) が無効です。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : ライブラリの構成をチェックし、「LSM」パラメータを指定し直してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0197I** LSMid AA:LL がオフラインであるか、割り振り解除されています

**説明** : SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の LSMid (AA:LL) への機能経路を必要としましたが、その LSM は、ユーティリティーの実行されたホストに対してオフラインであるか割り振られていないことがわかりました。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : LSM がオフラインの場合は、このホストに対して LSM をオンラインにして (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。LSM が割り振られていない場合は、LSM をユーティリティーの制御ステートメントから削除し、SLUADMIN のユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0198I** Panel index DD is invalid

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティーで、AUDIt 制御文の PANel パラメータに指定されたパネル索引 (DD) が無効でした。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : PANel パラメータのパネル索引を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0199I** Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is in control database at cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、制御データセット位置と異なるライブラリ位置にある、ボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを見つけました (最初のセルはカメラによって確認された位置で、2 番目のセルは制御データセット位置です)。監査が「アクティブ」であった場合 (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、または省略されていた場合)、データセットは更新されています。

**システムの処理** : APPLy パラメータに従って、AUDIT ユーティリティーは、制御データセット内のボリュームの位置を変更します。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0200I** Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* is not in control database

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、制御データセット内に存在しない、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを、指定位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に見つけました。監査が「アクティブ」である場合 (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのボリュームは制御データセットに加えられます。

**システムの処理** : APPLy パラメータの指定に従って、ボリュームは制御データセットに加えられます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0201I** Cartridge in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has an unreadable or illegal external label

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不能なカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に検出しました。監査が「アクティブ」である場合 (APPLy(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのカートリッジはイジェクトされます。

**システムの処理** : APPLy(YES) が指定されている場合、カートリッジは、ライブラリから物理的にイジェクトされます。

**ユーザーの処置** : APPLy(YES) が指定されている場合、カートリッジを CAP から取り出し、そのボリュームシリアル番号を確認してから再び挿入してください。APPLy(NO) が指定されている場合は、元のボリュームに対するエラー回復を呼び出して、そのカートリッジを論理的にイジェクト (制御データセットから削除) しなければならない場合もあります。エラー回復は、そのボリュームに対して Mount コマンドまたは Eject コマンドを発行することによって、呼び出すことができます。

**SLS0202I** Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* is a duplicate with volume in cell *AA:LL:PP:RR:CC*

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能において、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つ複数のライブラリカートリッジが検出されました。最初の位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。監査がアクティブである場合 (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、または省略されている場合) 重複したボリュームはイジェクトされます。

**システムの処理** : 監査がアクティブである場合、重複したボリュームは、ライブラリから物理的にイジェクトされます。

**ユーザーの処置** : ライブラリ内にあるべきボリュームがどちらかによって、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトし、もう一方のボリュームを再入力しなければならない場合があります。

**SLS0203I** ACS AA is invalid

**説明** : SLUADMIN ユーティリティ機能において、ユーティリティ制御ステートメント上の ACS パラメータの指定が無効でした。

**システムの処理** : ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置** : ACS を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0204I** ACS AA is disconnected

**説明** : LUADMIN ユーティリティ機能が、ACS (AA) への機能経路を必要としましたが、その ACS はユーティリティの実行されたホストから切断されていました。

**システムの処理** : ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置** : このホストに ACS を接続して (Vary コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0205I** Missing or invalid SLSINIT DD statement

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、必要なプロトタイプ初期設定制御文ファイル (DD 名 SLSINIT) を正しく開けませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置** : ボリュームシリアル番号に対する 6 文字の置換えフィールド (「\*\*\*\*\*」) を含む、80 バイトのカードイメージ制御文レコードを持つ SLSINIT DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0206I** Missing or invalid initialization control statement (CCCCCCCC DD statement)

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティで、必要な初期設定制御文ファイル (DD 名は CCCCCCCC、IEHINITT では SYSIN) を正しく開けませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置** : 初期設定カートリッジ制御文 (省略時 DD 名は SYSIN) の CNTLDD パラメータで指定された DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0207I** Invalid SLSINIT prototype initialization control statement

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) が、SLSINIT ファイルに、無効なプロトタイプ初期設定制御文を見つけました。ファイルが空 (カードイメージレコードを含まない) か、または7つ以上のカードイメージレコードがあるか、あるいは6文字のボリュームシリアル番号置換えフィールド (「\*\*\*\*\*」) がないかのいずれかです。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : ボリュームシリアル番号に対する6文字の置換えフィールド (「\*\*\*\*\*」) と、80バイトのカードイメージ制御文レコードを持つ SLSINIT DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0208I** OPTION parameter value invalid; must be SCRatch or EJEct

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーが、カートリッジ初期設定 (INITialize) 制御文の OPTion パラメータに無効な値を見つけました。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : カートリッジ初期設定制御文の OPTion パラメータを指定しなおすか、または除去してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0209I** Initialize cartridge program CCCCCCCC not found

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーが、初期設定カートリッジ制御文の PROGRAM パラメータに指定されているか、または省略時解釈値として取られる IEHINITT に指定されている初期設定プログラム (CCCCCCCC) をロードしようとして失敗しました。

**システムの処理** : ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置** : PROGRAM パラメータの初期設定プログラムの指定をチェックし、それが SLUADMIN のリンクリストからアクセス可能であることを確認してください。

**SLS0210I** Library scratch list deletion completed successfully

**説明** : これは、REPLaceall 制御文を持つ SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーによって出されるチェックポイントメッセージです。現在のスクラッチリストから、すべてのスクラッチボリュームが削除されたことを示します。

**システムの処理** : 通常の処理が続けられます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0211I** Volume *volser* successfully entered into library

**説明：**SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) が、外部ラベル (*volser*) を持つカートリッジをライブラリに挿入しました。MVS INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティは、初期設定プログラムを呼び出す前にこのメッセージを出します。

**システムの処理：**カートリッジはライブラリに挿入されています。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0212I** Missing or invalid SLSSMF DD statement

**説明：**SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティが、必要な SMF レコードファイル (DD 名 SLSSMF) を正しくオープンできませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**SLSSMF DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0213I** Volume *volser* not located by Audit

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査されたライブラリ要素内に、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を見つけられませんでした。制御データセットには、監査されたライブラリ要素内に位置を持つそのボリュームが含まれています。監査が「アクティブ」である (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている) 場合、そのボリュームはデータベースから削除されます。

**システムの処理：**APPLY(YES) が指定されていれば、ボリュームは論理的にイジェクト (制御データセットから削除) されます。

**ユーザーの処置：**ボリュームがライブラリにあると思われる場合は、LSM 全体、または LSM の ACS を含むように、監査の対象となるライブラリ項目を増やしてください。ACS 内にもそのボリュームが見つからない場合は、SMF データと MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べ、ボリュームがイジェクトされたか、あるいは手動でライブラリにマウントされた後に取り出されたのかを判別してください。

**SLS0214I** 'APPLY' parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ機能に、YES または NO 以外の値が APPLY パラメータとして指定されました。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**ユーティリティ制御文の APPLY パラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0215I** An error occurred in the initialize cartridge program CCCCCCCC

**説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーが、カートリッジ初期設定プログラム (CCCCCCCC) を呼び出して、ゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

**システムの処理** : ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : カートリッジ初期設定プログラムからのエラーメッセージをチェックして、原因を解決してください。次にカートリッジをイジェクトして、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0216I** Invalid date and/or time specified on SLSIN control statement

**説明** : SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティーが、ACTivities 制御文の BEGIN または END パラメータの日付または時刻、あるいはその両方の形式が間違っていることを見つけました。

**システムの処理** : ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : ACTIVITIES 制御文の BEGIN または END パラメータ (あるいはその両方) を指定し直してください。日付の場合は、「MM/DD/YY」または「YYYYMMDD」(01 =< MM =< 12, 01 =< DD =< 31)、時刻の場合は「HH:MM:SS」(00 =< HH =< 23, 00 =< MM, SS =< 59) という形式で指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0217I** BEGIN date and/or time is the same or later than END date and/or time

**説明** : SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティーが、BEGIN パラメータの日付 / 時刻が、ACTivities 制御文の END パラメータと同じか、それよりも後であることを見つけました。

**システムの処理** : ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : ACTIVITIES 制御文の BEGIN または END、あるいはその両方のパラメータを指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0218I** Invalid date specified in PARM parameter of JCL statement

**説明** : SLUCONDB ユーティリティーの PARM フィールドに指定された日付が無効です。

**システムの処理** : ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : 日付の値を訂正して、SLUCONDB ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0219I** Missing or invalid SLSTMS DD statement

**説明：**SLUCONDB SLUCONDB ユーティリティープログラムが、必要なユーティリティー制御文ファイル名 (DD 名 SLSTMS) を正しく開けませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**処理するテープ管理システムデータベースを含む SLSTMS データセットを指定して、SLUCONDB ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0220I** Invalid command

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが、SLSIN 制御文に、認知できないコマンドを見つけました。

**システムの処理：**このコマンド文は無視されます。

**ユーザーの処置：**制御文のコマンドを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0221I** CCCCCCCC1 parameter mutually exclusive with CCCCCCCC2 parameter

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが同時には指定できない2つのパラメータ (CCCCCCCC1 と CCCCCCCC2) が指定されている SLSIN 制御文を見つけました。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**参照されたパラメータのいずれかを除去することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0222I** CCCCCCCC1 parameter requires corequisite parameter CCCCCCCC2

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが、パラメータ (CCCCCCCC2) の指定を必要とするパラメータ (CCCCCCCC1) を持つ SLSIN 制御文を見つけましたが、パラメータが制御文にありませんでした。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**必要なパラメータを与えることにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。このエラーは、無効な連結と関連していることがあります。

要求された欠落パラメータは、使用できる唯一のパラメータと限らないことに注意してください。パラメータによっては、相互に必要なパラメータが要件を満たすことがあり、メッセージでは一方のパラメータだけを表示していることがあります。

**SLS0223I** Parameter `CCCCCCCC` is an unknown parameter

**説明** : SLUADMIN ユーティリティー機能が、コマンドに対して許可されていないパラメーター (`CCCCCCCC`) または 9 文字以上のパラメータが指定されている SLSIN 制御ステートメントを見つけました。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 無効なパラメータを除去するか、または有効なパラメータのスペルを訂正することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0224I** `CCCCCCCC` parameter has a value with a length error

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーが、許可された値よりも長い、または短い値のパラメータ (`CCCCCCCC`) が指定されている SLSIN 制御文を見つけました。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0225I** `CCCCCCCC` parameter requires a value

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーが、値のないパラメータ (`CCCCCCCC`) が指定されている SLSIN 制御文を見つけましたが、このパラメータには値が必要です。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文上のこのパラメータに値を与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0226I** Value not allowed with `CCCCCCCC` parameter

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーが、値のあるパラメータ (`CCCCCCCC`) が指定されている SLSIN 制御文を見つけましたが、このパラメータには値を指定できません。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文のこのパラメータから値を除去して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0227I** Parameter `CCCCCCCC` has an illegal value

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーが、不当な値を含むパラメータ (`CCCCCCCC`) が指定されている SLSIN 文を見つけました。リストが許可されていない箇所にリストがあるか、値のタイプ (すなわち、16 進値、数字、英字) が許可されているものと異なるかのいずれかです。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文のこのパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0228I** CCCCCCCC parameter has too many values

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが、値リストの項目の数が多すぎるパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を見つけました。たとえば、PANel パラメータに指定可能なパネル索引の数は最大 20 個です。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**制御文のこのパラメータの値リストを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0229I** PANEL parameter not allowed with LSM value list parameter

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、PANel パラメータと、値リスト (複数の LSM 索引) を含む LSM パラメータが指定されている制御文を見つけました。PANel パラメータが与えられている場合、AUDIt 制御文には、1 つの LSM しか指定できません。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0230I** Parameter ALL or ACS required

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能が、2 つのパラメータ (ALL または ACS) のいずれかが必要な制御文を見つけました。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**制御文にいずれかのパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0231I** Audit phase 1 (Registration) completed

**説明：**これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティーのチェックポイントメッセージで、監査の登録フェーズを完了したことを示しています。要求された監査は有効で、そのほかのどのライブラリユーティリティーとも対立しないことが確認されました。カートリッジアクセスポート (CAP) は、エラーのあった ACS 用に予約されています。

**システムの処理：**監査処理は続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0232I**      Audit phase 2 (Volumes Check) completed

**説明：**これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査のボリューム検査フェーズを完了したことを示しています。制御データセット内のすべてのボリュームレコードは読み取られ、監査済みライブラリ要素内のボリュームの項目が監査済みボリュームテーブルに作成されました。最後のアクティブ監査が完了すると、見つからなかったボリュームはすべて、制御データセットから削除されます。

**システムの処理：**監査処理は続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0233I**      Audit phase 3 (Cell Scan) completed

**説明：**これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査のセル操作フェーズが完了したことを示しています。監査されるべきライブラリ要素は、LSM カメラによってすべてスキャンされました。「アクティブ」監査の場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、制御データセットは、これらの要素の実際の内容を反映するように更新されています。また、重複するラベルや読み取り不能なラベルを持つカートリッジは、すべてイジェクトされました。

**システムの処理：**監査処理は続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0234I**      Audit phase 4 (Finish) completed

**説明：**これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査の最終フェーズが完了したことを示しています。この監査で予約されたすべてのカートリッジアクセスポート (CAP) が解放されました。これが最後の「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、監査済みボリュームテーブルがスキャンされ、監査で見つけられなかったボリュームはすべて、制御データセットから削除されました。

**システムの処理：**Final} 開始の場合、監査処理は続けられます。そうでない場合、処理は終了し、終了戻りコードメッセージ (SLS0155I) が出されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0235I** Audited volume *volser* is errant (lost)

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査済みライブラリ要素内のボリュームに対して、「エラント」(失われた)とマークされたボリュームレコードを制御データセット内に検出しました。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのボリュームがセルスキャンフェーズで見つければ、ボリュームレコードは更新されます。

**システムの処理：**APPLY(YES) が指定されていて、ボリュームが LSM セルスキャンフェーズ中に見つければ、ボリュームは、エラントセットから取り除かれます。

**ユーザーの処置：**ボリュームが見つからなかった場合は、そのボリュームを表示して、その最後の位置を判別してください。最後の位置を調べるには、Vlew コマンドを使用します。それでもライブラリ内にボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがイジェクトされたか、または手動でマウントされた後に ACS から取り出されたのかを判別してください。監査の範囲を拡大してください。

**SLS0236I** Audited volume *volser* has a cell index mismatch

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査済みライブラリ要素内にホーム位置があるボリュームレコードを制御データセットに検出しました。しかし、その位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を何も反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。

**システムの処理：**制御データセットのセル索引部分は、APPLY(YES) が指定されていれば更新されます。

**ユーザーの処置：**APPLY(NO) が指定されている場合、監査された時または実際にセル内にあるボリュームがイジェクトされた時、あるいは、その LSM 外に移動させられた時にのみ解消される、セル索引の不一致が起こります。(ACS または LSM パラメータを指定して) 範囲を限定したボリュームレポートを実行すれば、セル索引の不一致が表示できます。

**SLS0237I** Audited volume *volser* is errant (lost) and has a cell index mismatch

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、エラント (失われた) とマークされたボリュームレコードを制御データセットに検出しましたが、そのホーム位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を何も反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。また、ボリュームが、監査のセルスキャンフェーズで見つかった場合、制御データセットは更新されて、ボリュームは非エラント状態になります。

**システムの処理**：セル索引は、アクティブ監査であれば更新されます。LSM セルスキャン中にボリュームが見つかって、それがアクティブ監査であれば、ボリュームのエラント状態は解消されます。

**ユーザーの処置**：ボリュームが見つからない場合は、監査の範囲を拡大してみてください。それでもボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがいつイジェクトされたか、または手動でマウントされたかを判断してください。

**SLS0238I**      Audit scan for LSMid AA:LL, panel DD has completed

これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージであり、指定の LSMid (AA:LL) とパネル (DD) の物理セルスキャンが完了したことを示しています。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0239I**      Audit scan for panels in LSMid AA:LL has terminated

**説明**：これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージであり、指定の LSMid の物理セルスキャンが正常に完了したか、あるいは SLSPRINT 出力の別のメッセージに示されたエラーが原因で未完了で終了したことを示しています。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0240I**      Control data set configuration does not match the hardware configuration

**説明**：SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、制御データセット構成と、物理セルスキャンで検出されたハードウェア構成との間に相違を見つけました。

**システムの処理**：AUDIT ユーティリティは取り消されます。

**ユーザーの処置**：LIBGEN によって制御データセットの構成を変更するか、または CSE に LMU に保管された ACS 構成を変更させてください。

**SLS0241I**      Invalid utility control statement

**説明**：SLUADMIN ユーティリティが、ユーティリティ制御文の継続やそのほかの一般的な構文エラー（かっこの不一致など）を見つけたか、あるいは連結された制御文が 32767 文字の最大長を超えました。

**システムの処理**：この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置**：構文エラーを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0242I** Required parameter CCCCCCCC is missing

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ機能が、必要なパラメータ (CCCCCCCC) の欠落している制御文を見つけました。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置：**欠落しているパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0243I** LMU or LSM failure during operation in LSMid AA:LL, RC=XXXXXXXX

**説明：**SLUADMIN ユーティリティが、自身の要求した LMU または LSM 操作からエラー応答を受け取りました。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**障害の起こったおおよその時刻を記録して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。修理 / 調節処理の実行後、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0244I** Scratch Redistribution completed successfully for ACS AA

**説明：**SLUADMIN SCREDIST ユーティリティが、指定の ACS (AA) でのスクラッチボリュームの分配 (導入時に定義された許容範囲内の) を完了しました。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0245I** Specified ACS has fewer than two LSMs online; Scratch Redistribution will not run

**説明：**SLUADMIN SCREDIST ユーティリティが、スクラッチ分配中の ACS 内に、オンライン LSM が 1 つしかないと判別しました。スクラッチ再分配は、この構成ではスクラッチボリュームを再分配できません。

**システムの処理：**再分配処理は、スクラッチカートリッジを移動させないままで終了します。

**ユーザーの処置：**指定の ACS 内に複数の LSM が存在する場合は、少なくとも 2 つの LSM をオンラインにしてから (MODIFY コマンドを参照)、SCREDIST ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0246I** No scratch volumes exist; Scratch Redistribution will not run

**説明 :** SLUADMIN SCREDIST ユーティリティーが、スクラッチ分配処理中の ACS 内に、スクラッチボリュームがないと判別しました。

**システムの処理 :** ユーティリティーは、スクラッチカートリッジを移動させないまま終了します。

**ユーザーの処置 :** スクラッチ更新ユーティリティーを使用して、ACS にスクラッチボリュームを定義してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0247I** Offline LSM in path for ejecting volume *volser*

**説明 :** SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、カートリッジをイジェクトしようとしたが、カートリッジがオフライン LSM 内にあるか、またはオフライン LSM を通過しなければなりません。

**システムの処理 :** ユーティリティーの処理は、カートリッジをイジェクトしないまま続けられます。

**ユーザーの処置 :** すべての LSM がオンラインになってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0248I** CAP is in offline LSM (LSMid AA:LL); eject utility terminating

**説明 :** SLUADMIN EJECT ユーティリティーがカートリッジをイジェクトしようとしたが、カートリッジがイジェクトされる CAP が、オフライン LSM 内にありました。

**システムの処理 :** ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置 :** すべての LSM がオンラインになってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0249I** Invalid scratch pool specified in PARM parameter of JCL statement

**説明 :** 指定されたスクラッチプールが、SLUADMIN ユーティリティーに認識可能なものではありません。

**システムの処理 :** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置 :** スクラッチプールに AL、SL、NL、または NSL を指定して、ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0250D** Unnamed Cartridge in CAP cell AA:LL:CC:RR:C; reply "V,volser" or "Eject"

**説明：**光学ラベルのないカートリッジが、CAPセル AA:LL:CC:RR:Cに見つかりました。ここで、RRはCAPの行を、CはCAPの列を示します。オペレータは、そのカートリッジのボリュームシリアル番号を提供するように要求されています。カートリッジは、このボリュームシリアル番号によって「認識」されます。

**システムの処理：**カートリッジの挿入処理は、オペレータが照会に応答するまで待ち状態になります。ボリュームシリアル番号が、別のライブラリカートリッジと重複していなければ、カートリッジはライブラリに挿入されます。

無効な応答を入力すると、メッセージ SLS0926I が出されます。そのあと、メッセージ SLS0250D がもう一度出されます。

**ユーザーの処置：**これには、次のいずれかを応答してください。

**V,volser**

ここで *volser* は、問題のカートリッジに割り当てるボリュームシリアル番号です。

**Eject**

カートリッジをイジェクトする場合。

**SLS0251E** Cartridge *volser* in CAP cell AA:LL:CC:RR:C is a duplicate and cannot be entered

**説明：**重複カートリッジ *volser* が、CAPセル AA:LL:CC:RR:Cに見つかりました。ここで、RRはCAPの行を、CはCAPの列を示します。重複カートリッジは、ライブラリに挿入できません。

**システムの処理：**カートリッジの挿入処理は、カートリッジの見つかったCAPセル内にそれを残したまま、そのCAP内の次のカートリッジに進みます。

**ユーザーの処置：**CAPから重複カートリッジを取り出してください。カートリッジを挿入する必要がある場合は、同じボリュームシリアル番号の別のカートリッジをイジェクトして、カートリッジの挿入を再実行してください。

**SLS0252I** Cartridge *volser* entered into LSMid AA:LL

**説明：**ボリュームシリアル番号 *volser* がライブラリに入力されました。その位置は、指定のACSおよびLSM内にあります。

**システムの処理：**カートリッジは、挿入されてそのボリュームシリアル番号が光学的に確認されてから、新しい位置に移動できます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0254I** Cartridge *volser* ejected to CAP cell *AA:LL:CC:RR:C*

説明：ボリュームシリアル番号 *volser* がイジェクトされ、指定の CAP 内にあります。

システムの処理：カートリッジは、イジェクトされ、そのボリュームシリアル番号は、制御データセットから削除されます。

ユーザーの処置：カートリッジを手動で CAP から取り出してください。

**SLS0255E** Cartridge *volser* in CAP cell *AA:LL:CC:RR:C* has an invalid *volser* and cannot be entered

説明：ボリュームシリアル番号 *volser* に無効な文字が含まれているため、ACS で受け付けられません。

システムの処理：カートリッジ CAP に残されるため、CAP のオープン時に取り出す必要があります。

ユーザーの処置：CAP からカートリッジを除去してください。

**SLS0256I** Scheduled Enter (SEnTER) cancelled

説明：SEnTER コマンドが、イジェクト処理中の CAP に対して入力されましたが、カートリッジが挿入されなかったため、EJECT は、カートリッジを挿入させないで完了します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：オペレータは、必要なカートリッジを挿入するために、CAP 上で ENter を開始できます。

**SLS0257I** {ENTER|EJECT|END|BEGIN} failed; CAPid AA:LL:CC; DDDD1-DDDD2, CCC...CCC

**説明** : ENTER、EJECT、END または BEGIN が、指定の CAPid (AA:LL:CC) 上で LMU エラーのために失敗しました。DDDD1 は LMU の戻りコードであり、そのあとの DDDD2 は LMU エラーのカテゴリとコードを示します。CCC...CCC は 32 バイトのエラー記述です。LMU 戻りコードには、次のものが考えられます。

#### LMU/LSM 説明

##### エラー

- 6500 – ソースが無効です
- 6501 – ソースが空です
- 6502 – ソースのボリュームシリアル番号が一致しません
- 6503 – ソースのボリュームシリアル番号が読み取り不能です
- 6504 – 予期しないボリュームシリアル番号がソースにあります
- 6505 – ターゲットが無効です
- 6506 – ターゲットがいっぱいです
- 6507 – ソース/ターゲットが同じ ACS 内ではありません
- 6508 – ソース/ターゲットが同じ LSM 内ではありません
- 6509 – ソース/ターゲットが同じタイプではありません
- 6510 – LSM 接続使用経路が使用不能です
- 6511 – LMU がオンラインになっていません
- 6512 – LMU との通信に失敗しました
- 6513 – 未完了応答ハンドラによって終了しました
- 6514 – LSM のハードウェアエラーです
- 6515 – LMU エラーです
- 6516 – CAP が保守モードにあります
- 6517 – CAP のドアが開いています
- 6518 – エンター要求が保留になっています
- 6519 – イジェクト要求が保留になっています
- 6520 – CAP カタログが保留になっています
- 6521 – ドライブのロードエラーです
- 6522 – ドライブのアンロードエラーです
- 6524 – CAP はこのホストにすでに予約されています
- 6525 – CAP が別のホストに予約されています
- 6526 – CAP がこのホストに予約されていません
- 6527 – CAP との間の移動が保留になっています
- 6528 – LMU が停止しています
- 6529 – 無効なオプションフラグが指定されました
- 6530 – オプションコードが無効です
- 6532 – ボリュームシリアル番号が予想に反して読み取り可能です
- 6541 – LMU リスナーの接続に失敗しました
- 6542 – LMU タイマーの接続に失敗しました
- 6543 – LMU ステーションドライバーの接続に失敗しました
- 6544 – LMU ステーションシミュレーターの接続に失敗しました
- 6545 – LMU シミュレーターの接続に失敗しました
- 6546 – LMU ワーカーの接続に失敗しました
- 6548 – LVT に HCT アドレスが見つかりませんでした

- 6549 - オフライン要求がすでに進行中です
- 6550 - ステーションがオフラインになっていません
- 6551 - ステーションがオンラインになっていません
- 6552 - LMU が存在しません
- 6553 - ステーションが存在しません
- 6554 - ソース / ターゲットが同じパネル内にありません
- 6555 - ステーションがオフラインになっています
- 6558 - 機能が無効です
- 6568 - ブロードキャストメッセージがありません
- 6574 - ボリュームシリアル番号に無効な文字があります
- 6575 - メッセージに無効な文字があります
- 6578 - ステーションをオンラインに変更する際の通し番号がありません
- 6579 - ステーションをオンラインに変更する際のタイムアウトです
- 6582 - ボリューム動作が完了しました
- 6584 - ブロードキャスト ID が無効です
- 6586 - ドライブがアクティブかまたは巻き戻されていません
- 6587 - 特殊使用カートリッジのドライブのロードに失敗しました
- 6590 - ステーションを割り振れません
- 6591 - ステーションのオープンに失敗しました
- 6592 - LSM がオフラインになっています
- 6593 - ホスト経路グループ設定が失敗しました
- 6595 - エンター操作が終了しました
- 6596 - 関連する要求に対するエンターを取り消すことができません
- 6598 - LMU から受け取られた応答が無効です
- 65A0 - LSM がオンラインになっています
- 65A1 - LSM がオンライン保留になっています
- 65A2 - LSM がオフライン保留になっています
- 65A3 - LSM が作動不能です
- 65A4 - LSM がオフラインになっていません
- 65A5 - LSM が保守モードにあります
- 65A6 - LMU の I/O エラーです
- 65A7 - 取り消し要求が無効です
- 65A8 - 要求が取り消されました
- 65A9 - 取り消されるべき要求がアクティブではありません
- 65AA - もはや要求の取り消しができません
- 65AC - メディアが一致しません
- 65AD - メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
- 65AE - 非互換のメディアまたはドライブです
- 65AF - CAP マガジンが欠落しています
- 65FF - 要求が除去されました

**システムの処理：**進行中の処理 (ENTER、EJECT、END、または BEGIN) は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラーになる場合があります。このメッセージが表示されると、続いて SDUMP または SVC ダンプが出力される場合があります。

**ユーザーの処置：**問題の解決を試みてください。不可能な場合はダンプと MSP SYSLOG および SCP CONSLOG のコピーを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0258I** Request allowed selection of CAPid AA:LL:CC

**説明：**ENter 要求または Eject 要求は、システムによって選択された CAP (AA:LL:CC) 省略時解釈値として使用します。このメッセージは、要求に対してシステムの選択した CAP を示すものです。

**システムの処理：**要求されたカートリッジは、メッセージに示された CAP を介して挿入またはイジェクトされます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0261A** Open CAPid AA:LL:CC for entering when unlocked

**説明：**CAP 処理で、CAP AA:LL:CC を介してカートリッジの挿入が行なわれようとしています。LSM 表示ライトが点灯しているとき、CAP のドアはロック解除されており、オペレータは、ドアを開けてカートリッジを挿入できます。CAP は AA:LL:CC で示されます。ここで AA は ACSid を、LL は LSMid を、また CC は LSM 内の特定の CAP 番号を示します。

**システムの処理：**システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。このとき、CAP の確認と CAP 内に見つかったカートリッジの挿入が行なわれます。

**ユーザーの処置：**CAP のドアを開けて、CAP 内に挿入すべきカートリッジを入れてから、CAP ドアを閉めてください。

**SLS0262I** Volume *volser* made errant

**説明：**ボリュームの現在位置を確認できませんでした。

**システムの処理：**ボリュームはエラントになります。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0263D** No storage space available for enter; reply Retry or Abort (R,A)

**説明：**次のいずれかの状況のために入力要求が完了しません。

- TLSM パラメータが ENter コマンドで指定されましたが、要求された LSM 内に十分な格納スペースがないか、またはオフラインかオフライン保留になっています。
- 要求された ACS 内に十分な格納スペースがないか、または ACS 内のすべての LSM がオフラインかオフライン保留です。

**注：**監査が進行中の場合、新しいセルの割り振りは一時的に停止されます。

**システムの処理：**カートリッジは、ユーザーが応答するまで、CAP 内に残ります。

**ユーザーの処置：**必要な格納スペースを解放してから要求を再実行するか、要求を中止してからカートリッジを CAP から取り出してください。

LSM がオフライン保留の場合は、エンター処理を中止して LSM をオフラインにしてください。カートリッジの挿入が必要な場合は、LSM を一時的にオンラインにして、再度挿入を試行してください。

**SLS0265A** More than one cartridge in CAPid AA:LL:CC; expected only cartridge *volser*

**説明：**トランスポート挿入処理は、挿入とマウントの対象となるカートリッジを一度に1つしか受け付けません。CAP には、LSM がスキャンしたときに、複数のカートリッジがありました。

**システムの処理：**トランスポート挿入は、CAP 内にすべてのカートリッジを残して、ドアのロックを解除し、指定されたカートリッジ以外のものすべてを取り出せるようにします。

**ユーザーの処置：**CAP ドアを開けて、*volser* 以外のカートリッジすべてを取り出してから、CAP のドアを閉めてください。

**SLS0266I** Invalid function code (XX) passed in parm list

**説明：**CAP エラーハンドラプログラム、SLSCASET に、無効な機能コード (XX) が渡されました。有効な機能コードは次のとおりです。

- 01 - ENTER
- 02 - EJECT
- 03 - END
- 04 - BEGIN

**システムの処理：**このメッセージは、ユーザー異常終了 U0196, RC=262 の前に表示されます。

**ユーザーの処置：**SDUMP と MVSSYSLOG/SCP CONSLOG のコピーを保存しておいてください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0267A** CAP processing {ejecting|terminating}; empty CAPid AA:LL:CC

**説明：**CAP のイジェクト処理で、除去する CAP にカートリッジがロードされたか、CAP の挿入処理で CAP からライブラリにボリュームを入力できませんでした。オペレータは CAP のドアを開けて、示された CAP からカートリッジを取り出せます。

**システムの処理：**システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。このとき、ロボットは CAP が空であるかどうかを確認します。CAP が空であることをシステムが確認した後、CAP 処理が終了していない場合、エンター処理またはイジェクト処理が続行します。CAP 内にカートリッジが残されている場合は、再びこのメッセージが出されます。

**ユーザーの処置：**CAP のドアを開けて、すべてのカートリッジを取り出してから、CAP のドアを閉めてください。CAP エンター処理を続行するには、CAP が空であることをシステムが確認するまで待機し、CAP ドアのロックを解除してからカートリッジを CAP に挿入します。

**SLS0268I** UNSELECT failed for volser, RC=XXXX; volume is still selected

**説明：**EJect 要求を出したときに、ソース位置が空であることがわかり、オペレータはその操作を無視するよう要求しました。ボリューム (*volser*) の選択を解除しようとしたましたが、戻りコード (XXXX) により、この要求は失敗しました。

**システムの処理：**ボリュームは選択されたままになります。ボリュームが完全にイジェクトされなかったため、この制御データセット項目はそのまま存在します。

**ユーザーの処置：**戻りコードに従って、適切な一連の処理を判別してください。

**SLS0269I** CAP termination found CAPid AA:LL:CC still active; will attempt Drain

**説明：**HSC が終了しようとしています。CAP 処理で、このホストに対してアクティブな CAP が検出されたため、その CAP 処理は停止しつつあります。

**システムの処理：**システムは内部終了 CAP を呼び出して、CAP 内にあるすべてのカートリッジをイジェクトさせます。

**ユーザーの処置：**オペレータ処理を要求するメッセージが表示されるまで待ってください。

**SLS0270I** Attempt to enter duplicate volume volser rejected

**説明：**SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) で、すでにライブラリ内にあるボリューム (*volser*) を入力しようとした。

**システムの処理：**SLUADMIN ユーティリティジョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

**ユーザーの処置：**特定のボリュームを入力する必要がある場合は、カートリッジのラベルを変更してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0271I** Specified CAPid is not within ACS of Audit

**説明：** SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、指定の ACS 内での監査において、特定の CAPid を要求しましたが、その CAP は、監査が行なわれる ACS 以外の ACS 内にありました。

**システムの処理：** 監査処理は終了します。

**ユーザーの処置：** AUDIT ユーティリティー制御文をチェックしてください。指定の ACS が、実際に監査の実行されるべき要素を含む ACS であるかどうかを確認してください。それであれば、その ACS 内の CAPid を参照するように CAP パラメーターを変更するか、あるいは CAP パラメーターを指定しないで、ユーティリティーが使用可能な最も優先順位の高い CAP を選択できるようにしてください。そして、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0272I** Volume *volser* is not in same ACS as CAP

**説明：** SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、イジェクト用に選択された CAP がある ACS ではない ACS 内のカートリッジのボリュームシリアル番号を指定しました。

**システムの処理：** ボリュームはイジェクトされません。ユーティリティーは、指定された次のボリュームに処理を進めます。

**ユーザーの処置：** 要求されたボリュームシリアル番号のある ACS の CAP を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0273I** Attempt to enter unlabeled cartridge rejected

**説明：** SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティー (MVS) または ENTER ユーティリティー (VM) が、ラベルのないカートリッジをライブラリに挿入しようという試みを見つけました。このとき、オペレータは挿入処理を中止しました。

**システムの処理：** SLUADMIN ユーティリティージョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

**ユーザーの処置：** 特定のカートリッジを挿入する必要がある場合は、カートリッジに外部ボリュームラベルを付けるか、またはオペレータに対して、オペレータメッセージに受け付け可能なボリュームシリアル番号を応答するよう指示してください。そして、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0274I** Attempt to enter cartridge with invalid label *volser* rejected

**説明：** SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティー (MVS) または ENTER ユーティリティー (VM) が、無効なボリュームシリアル番号またはメディアラベルを持つカートリッジを挿入しようとする試みを見つけました。

**システムの処理：** SLUADMIN ユーティリティージョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

**ユーザーの処置：** 特定のボリュームを入力する必要がある場合は、受け付け可能な外部ラベルをカートリッジのラベルをカートリッジに付け直してから、ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0275I** One or more requested volumes not in library

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ機能の VOLSER パラメータに、特定ボリュームシリアル番号が与えられましたが、これは、ライブラリに定義されていません。このため、ユーティリティ機能は、そのボリュームシリアル番号を処理できませんでした。この状態は無視されず、ユーザーに異常事態を通知するためにこのメッセージが出されます。

VTCS の初期化が終了するまで、ライブラリー内で仮想ボリュームが見えないことに注意してください。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーではユーティリティ機能は取り消されませんが、ユーザーは、ユーティリティによる出力をチェックして SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットする必要があるかどうかを判別できます。

**SLS0276I** HSC server task abend; completion code XXXXXX

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ機能が、HSC アドレス空間で実行される関連サーバータスクの ABEND によって、終了しました。完了コード (XXXXXX) は、異常終了コードを示します。ABEND コードは、システムアベンドの場合、最初 3 桁の 16 進数として、ユーザーアベンドの場合は最後 3 桁の 16 進数として示されます。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。また、「UTILITIES ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連するサーバータスクの異常終了に対する SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管して、問題の診断の助けにしてください。

**SLS0277I** All journals are logically empty

**説明：**指定のジャーナルに、最後のバックアップ以降に書き込まれた差分がありませんでした。このため、これらは復元処理中に制御データセットに適用されませんでした。この事態は、バックアップのあとでただちに復元が実行されたときに起こるもので、ジャーナルを制御データベースに適用する必要がないことを示しているだけです。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0278I** LSM server subtask servicing LSMid AA:LL abended

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、HSC アドレス空間内の LSM サーバーサブタスクの異常終了を検出し、監査を終了しました。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。また、「AUDIT LSM SERVER ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連するサーバータスクの異常終了に対する SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管して、問題の診断の助けにしてください。

**SLS0279I** An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明** : SLUADMIN ユーティリティ機能が、制御データセット内に割り振られたセルを検出しました。ユーティリティが VOLRpt の場合は、セルにボリュームが割り当てられていません。ユーティリティが AUDIt の場合、物理セルスキャンでセルが空であることが見つかりました

**システムの処理** : ユーティリティの処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : このメッセージが、APPLY(YES) の指定された監査から出された場合、セルは解放されます。そうでない場合は、APPLY(YES) を指定して、当該セルを含むパネルに監査を実行して、セルを解放してください。

**SLS0280I** Journaling is not active; journal offload is not performed

**説明** : SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、導入システムの HSC ジャーナルに対して実行されました。しかし、制御データセットは、この導入システムに対してジャーナル処理が LIBGEN オプションとして選択されていないことを示していました。

**システムの処理** : ジャーナルオフロードは実行できません。

**ユーザーの処置** : 『HSC システムプログラマーズガイド』のユーティリティの章を参照して、通常の BACKUP ユーティリティを実行するかどうか、あるいは SET ユーティリティを実行して回復技法を変更するかどうかを決めてください。

**SLS0281I** Missing or invalid SLSOFFdd DD statement

**説明** : SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、SLSOFFdd DD 文 (dd = 01 - 02) で表されるオフロードファイルを正しく開けませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : オフロードファイルを正しく参照する、正しい SLSOFFdd DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0282I** Journal at DDname SLSJRnnn1 successfully off-loaded to data set defined by SLSOFFnn2 DD statement

**説明** : これは、SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージで、ジャーナルファイルが、指定されたオフロードファイルに正しくオフロードされたことを示しています (nn1 = 01 - 02; nn2 = 01 - 02)。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0283I** Offload of journal at DDname SLSJRNnn failed

**説明：**SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、ジャーナルファイルの内容を、オフロードデータセットに正しくコピーできませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**先行するメッセージでエラーの原因を調べて、その説明とそのため  
の処理を参照してください。

**SLS0284I** SLSOFF02 DD statement specified, but no corresponding SLSJRN02 DD statement

**説明：**SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティに対してオフロードファイルが指定されましたが、対応するジャーナルファイルを見つけられませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**SLUADMIN ジョブの JCL に、対応するオフロードおよびジャーナル  
ファイル DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットして  
ください。

**SLS0285I** SORT failure; No records were selected for sorting

**説明：**SORT プログラムを必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、SORT する  
レコードがないことを検出しました。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。RC=4.

**ユーザーの処置：**レポート選択基準を再評価し、レポート要求を再サブミットして  
ください。

**SLS0286I** DDDDD volumes have been selected for scratching

**説明：**数字は、スクラッチ用に選択されたボリュームの総数を表しています。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0287I** VOLSER parameter has a range value error

**説明：**SLUADMIN ユーティリティが、範囲形式の値を含む VOLSER パラメータを持つ  
SLSIN 制御文を検出しましたが、その範囲が正しくありませんでした。低い値の長さ  
と高い値の長さが等しくなかったか、低い値と高い値の非同一値部分が同じでは  
なかったか、または低い範囲の可変値部分が高い範囲の可変値部分と同じか大き  
かったかのいずれかです。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**制御文の VOLSER パラメータの範囲値を訂正して、SLUADMIN ユー  
ティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0288I** User not authorized to use this utility function

**説明**：許可ライブラリから実行される必要のある SLUADMIN ユーティリティ機能が、非許可ライブラリから呼び出されたことを検出しました。非許可ユーザーが SLUADMIN ユーティリティ機能を使用しようとしたか、あるいはユーティリティソフトウェアが間違っって導入されているかのいずれかです。

**システムの処理**：ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置**：システムプログラミング要員に問い合わせ、StorageTek の自動ライブラリユーティリティ機能を使用する場合の要件を明確にする必要があります。また、システムプログラミング要員は、許可ライブラリに、ライブラリソフトウェアが正しく導入されていることを確認する必要があります。

**SLS0289I** SORT failure; refer to the sort message data set or job log

**説明**：SORT プログラムを必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、SORT からのエラー戻りコードを検出しました。

**システムの処理**：ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置**：分類メッセージデータセット (SYSOUT DD) またはジョブログ (SYSOUT DD が無い場合) 内の SORT からのメッセージを参照して問題を解決し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0290I** Subsystem is active on this host; restore terminated

**説明**：RESTORE ユーティリティが、復元操作を実行中のホスト上で、HSC ソフトウェアサブシステムがアクティブであることを検出しました。復元操作を行なう場合、サブシステムが実行されてはなりません。

**システムの処理**：ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置**：サブシステムを停止させて、RESTORE ユーティリティを再実行してください。

**SLS0291I** Volume *volser* is currently errant; unavailable for processing

**説明**：SLUADMIN ユーティリティ機能が、ユーティリティ固有の処理を、特定のボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して実行しようとしたましたが、その時点でボリュームはエラント状態にあった (失われていた) ため、ユーティリティ処理は実行できませんでした。

**システムの処理**：ユーティリティは、引き続き次のボリュームシリアル番号に処理を進めます。

**ユーザーの処置**：これは、エラーとは見なされませんが、ユーザーは、次の HSC サブシステム初期設定が実行されてから、またはボリュームのエラント回復が完了してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットできます。

- SLS0292I** Scratch Redistribution failed - target LSM AA:LL has no available cells
- 説明** : SLUADMIN ユーティリティー機能が、SCREdist (スクラッチ再分配) を実行しようとしたが、指定の LSM スクラッチボリュームの移動先として使用可能なセルがありませんでした。スクラッチ再分配を行なうためには、各ターゲット LSM に、少なくとも 1 つの空きセルがなければなりません。
- システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。
- ユーザーの処置** : 指定の LSM 内のセルを解放してユーティリティージョブを再サブミットするか、または、少なくとも 1 つの空きセルを持つ LSM に、再分配の範囲を縮小してください。
- SLS0293I** SLSTAPE DD statement does not identify a library transport
- 説明** : SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーが、ライブラリトランスポートと対応しない SLSTAPE DD 文を検出しました。
- システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。
- ユーザーの処置** : JCL を変更して、SLSTAPE DD 文が、有効なライブラリトランスポートを識別するようにしてください。そして、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。
- SLS0294I** SLSTAPE DD statement identifies a library transport in a different ACS than the specified CAPid
- 説明** : 特定の CAP を要求している SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーが、指定の CAPid とは異なる ACS 内のライブラリトランスポートを割り当てている SLSTAPE DD 文を検出しました。
- システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。
- ユーザーの処置** : JCL を変更して、SLSTAPE DD 文が、指定の CAP と同じ ACS 内の特定のライブラリトランスポートを識別するようにするか、あるいは、INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティーの制御文の CAP パラメータを変更してください。そして、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。
- SLS0295I** Scratch Redistribution failed; too many LSMids specified
- 説明** : LIBGEN に定義されているよりも多くの LSMid が、SCREDIST ユーティリティーへのパラメータとして使用されています。
- システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。
- ユーザーの処置** : LSMid の数を正しく指定して、ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0296I** Scratch Redistribution prematurely ended; even distribution may not have occurred

**説明** : SCREDIST ユーティリティーの終了以前に、特定の LSM 内にあるスクラッチボリュームの数が、予期された値よりも多いことがわかりました。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : 指定の ACS 内にある LSM 全体のスクラッチボリュームの分布を評価して、十分に行き渡っているかどうかを判別してください。十分な場合は、何も行なう必要はありません。不十分な場合は、ボリュームの分布が、予期されたとおりでない理由を判別してください (LSM あたりのスクラッチボリュームの平均数とスクラッチ許容レベルとの和または差)。処理を完了させる必要がある場合は、ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0297I** VOLSER parameter not present with SCRATCH or UNSCRATCH option

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、スクラッチまたはアンスクラッチすべきボリュームを識別するために必要な VOLser パラメータを持たない、SCRATCH または UNSCRATCH 制御文を検出しました。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : SCRATCH または UNSCRATCH 制御文に VOLser パラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0298I** Missing or invalid SLSSOUT DD statement

**説明** : ユーティリティー機能が、選択されたトランザクションを入れるために必要な出力ファイルを見つけられませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : SLSSOUT DD 文を与えて、ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0299I** Unexpected return code; RC=XXXXXXXX

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーが、予期しない戻りコードを HSC アドレス空間構成要素から受け取りました。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は続けられ、最終条件コードの 4 が返されました。

**ユーザーの処置** : オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0303I** All nonlibrary drives are offline or allocated

**説明：**スワップメッセージが出されましたが、非ライブラリドライブにスワップは実行できません。

**システムの処理：**このメッセージが出された場合、スワップを実行するライブラリドライブを選択すると、処理が完了します。

**ユーザーの処置：**メッセージの指示に従って処理を実行してください。

**SLS0306I** Swap to nonlibrary: XXXX1 {XXXX2 XXXX3 XXXX4 XXXX5 XXXX6 XXXX7 XXXX8}

**説明：**スワップが要求されています。スワップ元のトランスポートはライブラリトランスポートではないため、非ライブラリトランスポートである、スワップ先トランスポート (XXXX1 - XXXX8) のリストが、ライブラリによって表示されました。

**システムの処理：**システムは、オペレータがスワップメッセージに応答するまでスワップ処理を保留します。

**ユーザーの処置：**オペレータは、非ライブラリトランスポートの1つを指定するか、それ以外のトランスポートにスワップを実行するかのいずれかを選択できます。

**SLS0308I** Swap to library: XXXX1 {XXXX2 XXXX3 XXXX4 XXXX5 XXXX6 XXXX7 XXXX8}

**説明：**スワップが要求されています。スワップ元のトランスポートはライブラリトランスポートであるため、ライブラリにより、スワップ先のライブラリトランスポート (XXXX1 - XXXX8) のリストが表示されました。

**システムの処理：**システムは、オペレータがスワップメッセージに応答するまでスワップ処理を保留します。

**ユーザーの処置：**オペレータは、ライブラリトランスポートの1つを指定するか、それ以外のトランスポートにスワップを実行するかのいずれかを選択できます。

**SLS0310I** Swap will be automated

**説明：**スワップが要求されています。スワップ元およびスワップ先トランスポートは、いずれも同じ ACS 内にあります。スワップは、ライブラリシステムによって自動的に処理されます。

**システムの処理：**SWAP PROCEEDING (IGF502E) メッセージが表示されたとき、ライブラリシステムはスワップを実行します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0312D** Allow mount of *volser* on *XXXX*; Reply 'Y' or 'N'

**説明:** *volser* をトランスポート *XXXX* 上にマウントするための、動的割り振り要求が受信されました。Y = はい; N = いいえ

**システムの処理:** ジョブは待機します。

**ユーザーの処置:** 動的割り振りをそのジョブについて許可する場合は Y を応答し、許可しない場合は N を応答してください。

**SLS0313E** SLS WTO intercept not enabled; Code - *D*

**説明:** サブシステムが、WTO サブシステム要求を割り込み可能にできませんでした。D は問題を説明するものです。

4 - SSVT に使用可能なスロットがありません。

**システムの処理:** 処理は続行されます。自動カートリッジ処理は使用不能です。

**ユーザーの処置:** オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0315I** Job Processing user exit function code invalid; code = *XX*

**説明:** ユーザーエラーの可能性ががあります。ジョブ処理ユーザー出口からの戻りコードが、次のいずれでもありませんでした。

C"1" - UX01MNT - マウント機能

C"2" - UX01DMNT - ディスマウント機能

C"3" - UX01SWAP - ドライブのスワップ

C"4" - UX01RPLY - メッセージへの応答

C"5" - UX01NOP - 何も実行しない

**システムの処理:** ユーザー出口の機能コードの妥当性をチェックし、訂正します。

**ユーザーの処置:** ユーザー出口を使用可能にして、その機能コードが正しいかどうかを確認してください。

**SLS0316I** Job Processing user exit return code invalid; RC = XX

**説明：**制御がジョブ処理に返され、ジョブ処理ユーザー出口から返された、レジスター 15 内の戻りコードが無効であると判定されました。

**システムの処理：**ユーザーエラーの可能性があります。ジョブ処理ユーザー出口からの戻りコードが、次のいずれでもありませんでした。

- 0 HSC がメッセージを解釈します。
- 4 ユーザー出口によって、メッセージが解釈されます。ユーザー出口の指示に従って動作します。
- 64 ユーザー出口が動作不可。メッセージは HSC によって解釈されます。

ユーザー出口 SLSUX01 が作動不能です。

**ユーザーの処置：**ユーザーエラーを訂正してください。ユーザー出口をもう一度使用可能にして、ユーザー出口が正しく機能するかどうかを判別してください。

**SLS0317I** Mount of library volume *volser* on nonlibrary device XXXX

**説明：**ライブラリボリュームを、非ライブラリトランスポートにマウントしようとした。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**オペレータは、ボリュームをイジェクトして、マウント要求に応えられます。

**SLS0318I** Subpool CCCCCCCCCCCC invalid in User Exit 01; subpool not defined

**説明：**制御がジョブ処理に返されました。ユーザー出口 01 から返されたサブプールは、システム内に見つからなかったため無効です。

**システムの処理：**ユーザーエラーの可能性があります。ユーザー出口 01 から返されたサブプールがシステム内に見つからず、ユーザー出口は使用不能とマークを付けられました。問題が解決されて、ユーザー出口が使用可能になるまで、ユーザー出口 01 への呼び出しは行なわれません。

**ユーザーの処置：**ユーザーエラーを訂正してください。ユーザー出口をもう一度使用可能にして、ユーザー出口が正しく機能するかどうかを判別してください。

**SLS0319I** Invalid Drive ID XXXX from User Exit 01

**説明：**システム内に一致する UCB を見つけれなかったために、ユーザー出口 01 からジョブ処理に返されたドライブアドレスは無効と見なされました。

**システムの処理：**ユーザーエラーの可能性がります。HSC は、ユーザー出口 01 に間違ったドライブアドレスを返させる原因となったメッセージを処理しようとしています。このメッセージが HSC によって処理可能で、ユーザー出口によってスクラッチサブプールが選択されている場合、HSC はそのサブプールを使おうとします。

**ユーザーの処置：**ユーザー出口 01 の保守を担当するシステムプログラマに報告してください。エラー発生時からのコンソールログを保管し、できれば、エラーを起こしたジョブの JCL のコピーも保管しておいてください。システムプログラマは、デバッグを行なう際に、ユーザー出口 01 パラメーターリストに関する GTF トレースの設定について、StorageTek ソフトウェアサポートの助言を求められます。

**SLS0320I** Parse error RC NN on message CCCCCC for job JJJJJJJJ

**説明：**ジョブ JJJJJJJJ から出されたメッセージ CCCCCC を解析しようとしているときに、HSC がエラーを受信しました。解析戻りコードは NN でした。

**システムの処理：**HSC は、このメッセージに基づくそれ以上の処理を行ないません。処理は実行されますが、HSC はジョブ JJJJJJJJ に必要な機能 (例えばマウントやマウント解除など) を実行しない可能性があります。

**ユーザーの処置：**これは、オペレーティングシステムまたは HSC のいずれかの重大エラーの警告です。エラー発生時からのコンソールログを保管し、できれば、エラーを起こしたジョブの JCL のコピーも保管しておいてください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0350I** Invalid TMS specified in PARM parameter of JCL

**説明：**スクラッチ更新機能の SLUCONDB ユーティリティーの PARM フィールドに指定された名前が、TMS または TLMS のいずれでもありません。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**値を訂正して、スクラッチ更新機能の SLUCONDB ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS0351I** Scratch cartridges are within scratch tolerance level - Scratch Redistribution completed successfully

**説明：**SCREDIST ユーティリティー機能が正しく完了して、処理に關与する LSM には、スクラッチ許容レベル内の数のスクラッチカートリッジが含まれています。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0352I** Audit unable to physically scan cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能で、指定のセル (AA:LL:PP:RR:CC) の物理スキャンを実行できませんでした。監査が「アクティブ」な場合 (制御文に APPLY(YES) が指定、または省略時指定されている場合)、そのセルに対する訂正処理は何も行われません。

**システムの処理：**この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置：**セルの内容および制御データセットの条件によっては、示されたセルを含むライブラリ要素に対して、2 度目の監査を実行しなければならない場合があります。

**SLS0353I** Audit unable to eject volume volser at cell AA:LL:PP:RR:CC which is a duplicate with volume in cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能において、指定のボリュームシリアル番号 (volser) を持つ複数のライブラリカートリッジが検出されました。最初の位置 (AA:LL:PP:RR:CC) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。重複カートリッジをイジェクトしようとしたましたが、監査は LMU エラーのために、重複ボリュームを正しくイジェクトできませんでした。

**システムの処理：**この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置：**エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。ライブラリ内にあるべきボリュームがどれかによって、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトしてから、重複カートリッジの方を再度挿入しなければならない場合があります。

**SLS0354I** Audit unable to eject cartridge at cell AA:LL:PP:RR:CC which has an unreadable or illegal external label

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不能なカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) に検出しました。そのカートリッジをイジェクトしようとしたましたが、監査に LMU エラーがあったため、カートリッジを正常にイジェクトできませんでした。

**システムの処理：**この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置：**エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。カートリッジを見つけて、ラベルを調べる必要があります。ラベルが破壊されている場合は、ラベルを付け直してライブラリに再挿入するか、その元の位置に戻してから、そのセル位置を含むライブラリ要素に対して、もう一度監査を実行しなければなりません。

**SLS0355I** ROW parameter not allowed with PANEL value list parameter

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、ROW パラメータと、値リスト (複数の Panel id) を含む PANEL パラメータが指定されている制御文を検出しました。PANEL パラメータが与えられている場合、AUDIT 制御文には、1 つの LSM しか指定できません。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0356I** COLUMN parameter not allowed with ROW value list parameter

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、COLUMN パラメータと、値リスト (複数の ROW id) を含む ROW パラメータが指定されている制御文を検出しました。COLUMN パラメータが与えられている場合、AUDIT 制御文には、1 つの ROW しか指定できません。

**システムの処理** : この制御文は無視されます。

**ユーザーの処置** : 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0357I** Row index XX is invalid

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティーの機能制御文の、ROW パラメータで得られた行番号 (XX) が無効です。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : ROW パラメータを指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0358I** Column index XX is invalid

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティーの機能制御文の、COLUMN パラメータで得られた列番号 (XX) が無効です。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : COLUMN パラメータを指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0359I** Volume *volser* successfully ejected from library via CAPid *AA:LL:CC*

**説明：**カートリッジのイジェクトを行なう SLUADMIN ユーティリティ機能で、示されたボリュームシリアル番号 (*volser*) が指定のカートリッジアクセスポート (CAP) に正常に移動されました。

**システムの処理：**カートリッジは、制御データセットからイジェクトされます。

**ユーザーの処置：**なし (オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知されます。また、CAP がいっぱいの場合、あるいは SLUADMIN ユーティリティ機能が完了した場合には、CAP を空にする必要があります)

**SLS0360E** {EJECT|AUDIT} Utility unable to reserve CAPid *AA:LL:CC*; utility waiting

**説明：**カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の CAP (ユーティリティ制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別の処理で使用されていたために割り振ることができなかったか、または、ゼロ以外の優先順位を持つ予約されていない CAP が、CAP の要求された ACS 内にありませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは、ゼロ以外の優先順位を持つ CAP が使用可能になるか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**異なる CAPid を指定するか、またはその特定の CAP を使用する処理が完了するまで待つてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。ユーティリティは、継続的に CAP を獲得しようとします。CAP が指定されていない場合は、ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先順位をゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS0361I** Duplicate CAPid *AA:LL:CC* specified; duplicate is ignored

**説明：**SLUADMIN EJECT ユーティリティが、ユーティリティ制御文に、同じ CAPid (*AA:LL:CC*) を複数回指定しました。

**システムの処理：**SLUADMIN ユーティリティジョブは続けられますが、以前に指定された CAPid が重複して指定された場合、それらは無視されます。

**ユーザーの処置：**ユーティリティ制御文上にある重複の CAPid 指定を除去してください。

**SLS0362I** HSC server task abended for CAPid AA:LL:CC; remaining ejects for this CAPid not performed

**説明：**SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、HSC アドレス空間で実行される関連のサーバタスクの異常終了を検出して、その CAPid (AA:LL:CC) でのイジェクト処理を終了させました。

**システムの処理：**この CAPid でのユーティリティーの処理は終了します。この EJECT ユーティリティーに関連するそのほかのアクティブな CAPid については、処理が続けられます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。また、「MULTI-CAP EJECT SUBTASK; ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた SDUMP が、関連するサーバタスクの異常終了について作成されます。問題の診断を行なうときのためにこのダンプのコピーを保管しておいてください。

**SLS0363I** Invalid specification of MIXED in PARM field of JCL statement

**説明：**レポートの見出しおよびメッセージを Mixed モードにするために PARM フィールドに指定された名前が無効です。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**Mixed を正しく指定して、SCRAtch 更新変換プログラムを再サブミットしてください。

**SLS0364I** Volume *volser* not ejected from library due to HSC server abend

**説明：**SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、HSC アドレス空間内で実行される関連のサーバタスクの異常終了を検出し、ボリウム (*volser*) がイジェクトされないまま終了しました。このメッセージは、エラーメッセージ SLS0362I に関連して出力されます。

**システムの処理：**ボリウム (*volser*) はイジェクトされません。

**ユーザーの処置：**SLUADMIN EJECT ユーティリティーを、ボリウム (*volser*) に対して実行する必要があります。

**SLS0365I** An audit of LSM AA:LL, panel *PP* is recommended

**説明：**SCREDIST ユーティリティーの実行中、制御データセット位置と、ライブラリー内の物理的位置の間に違いがありました。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**少なくとも指定のパネルに対する監査を実行して、不一致を訂正してください。

- SLS0366I** Volume *volser* not found in location (AA:LL:PP:RR:CC) specified in Control Data Set
- 説明：**ボリュームとその位置の検証処理中に、ボリュームが、制御データセットで指定されている場所にはないことがわかりました。
- システムの処理：**この操作中、ボリュームの移動は行なわれませんでした。
- ユーザーの処置：**問題のあるボリュームを見つけてください。必要に応じて、このボリュームのあったパネルに対する監査を行なってください。
- SLS0367I** External label on volume *volser* is unreadable
- 説明：**SCREDIST ユーティリティの実行中、メッセージに示されたボリュームのラベルを読み取れませんでした。
- システムの処理：**この操作中、ボリュームの移動は行なわれませんでした。制御データセットには、この状態を反映するマークが付けられました。
- ユーザーの処置：**メッセージに示されたボリュームをライブラリからイジェクトし、その外部ラベルを調べて、ラベルが読み取り不能であった理由を判別してください。この状態が、いくつかのボリュームで起こっている場合は、StorageTek の CSE にその状態を報告してください。
- SLS0368I** Cell AA:LL:PP:RR:CC is empty - found during Scratch Redistribution
- 説明：**SCREDIST ユーティリティの実行中、問題のセルが空であることがわかりました。この状態が見つかったときに、制御データセットは、そのセルにスクラッチボリュームがあることを示しており、それを移動させようとしていました。
- システムの処理：**なし
- ユーザーの処置：**メッセージテキスト内に表示されたセルを監査して、この状態を解消してください。
- SLS0369I** Volume *volser* is a cleaning cartridge; labelling ignored
- 説明：**INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティの実行中、クリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号に一致するボリュームシリアル番号を持つカートリッジが挿入されました。このテープは初期設定されませんが、LSM にエンターされます。
- システムの処理：**なし
- ユーザーの処置：**クリーニングカートリッジを挿入するつもりであれば、何も行なう必要はありません。クリーニングカートリッジを間違えて挿入した場合は、カートリッジをイジェクトできます。

**SLS0370I** Volume *volser* is a cleaning cartridge; cannot be entered into Scratch List

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を、ライブラリスクラッチプールに追加しようとしたますが、そのボリュームシリアル番号は、ライブラリクリーニングカートリッジとして定義されているため、スクラッチボリュームとして取り扱うことはできません。

**システムの処理** : ユーティリティの処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : このエラーでは、スクラッチ 更新ユーティリティは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS0373I** DDname *CCCCCCCC* failed to open

**説明** : 指定されたファイルをオープンしようとしたますが、失敗しました。

**システムの処理** : オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行いません。

**ユーザーの処置** : 必要に応じて訂正を行ない、ユーティリティを再実行してください。

**SLS0374I** Cleaning cartridge prefix has been set to *CCC*

**説明** : 自動クリーン変換ユーティリティが正常に実行され、自動クリーンカートリッジの接頭辞が *CCC* に設定されました。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0375I** Duplicate Data Set names have been found

**説明** : ユーティリティを実行しようとしたますが、実行中、複数の DD ステートメントに重複するデータセット名が見つかりました。

**システムの処理** : すべての DD 文のデータセット名を確認します。

**ユーザーの処置** : 必要な訂正を行なって、ユーティリティを再実行してください。

**SLS0376I** Volume *volser* is now unselected; owning host was *CCCCCCCC*

**説明** : UNSELECT ユーティリティが正しく実行されて、指定のボリュームの選択は解除されました。そのボリュームを所有していたホストは、メッセージに示されます。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0377I** Volume *volser* was not selected

**説明：**UNSELECT ユーティリティが、指定のボリュームが選択されていなかったことを検出しました。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0378I** *volser* not ejected, not found in cell; IGNORED

**説明：**EJECT 処理中、イジェクトされるべきボリュームが、そのセル内にありませんでした。SLS0698I、SLS0699I、および SLS0925D のメッセージが HSC のコンソールに表示される場合もあります。オペレータは、SLS0925D に対して「I」と応答しました。

**システムの処理：**EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。条件コードの 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際は、AUDIT ユーティリティを実行した方がよいでしょう。

**SLS0379I** *volser* not ejected, not found in cell; DELETED FROM CONTROL DATA SET

**説明：**EJECT 処理中、イジェクトされるべきボリュームが、そのセル内にありませんでした。

**システムの処理：**EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。該当するボリュームレコードは、制御データセットから削除されます。

**ユーザーの処置：**必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際は、AUDIT ユーティリティを実行した方がよいでしょう。

**SLS0380I** Unable to communicate with *CCCCCCCC* to unselect *volser*

**説明：**UNSELECT ユーティリティが、選択解除要求をメッセージに表示されたホストに送って、メモリー内テーブルのいくつかが更新されたことを確認しようとしたが実行できませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**メッセージに表示されたホストとの通信を再確立するか、またはそのホストから UNSELECT ユーティリティを実行してください。

**SLS0381A** {AUDit|Eject|INITialize} Utility unable to reserve a CAP in ACS AA;  
utility waiting

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ機能が、指定 ACS 内の CAP を割り振れませんでした。これは、すべての CAP がほかの処理によって使用されていたか、あるいは CAP の必要な ACS 内にゼロ以外の優先順位を持つ、予約されていない CAP がなかったためです。

**システムの処理：**ユーティリティは、ゼロ以外の優先順位を持つ CAP が使用可能になるか、または指定 ACS 内にある優先順位ゼロの CAP がゼロ以外に変更されるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先順位をゼロ以外の値に設定してください (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)。ユーティリティは、継続的 CAP を獲得しようとしているため、新しく優先順位を設定された CAP が選択されます。

**SLS0382I** SMF input file is not sorted by SMF record type, Date and Time;  
utility terminated

**説明：**HSC ACTIVITIES ユーティリティを実行する要求が出されましたが、SMF 入力データが、SMF レコードタイプ、日付および時間でソートされていませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**次のようにソート制御文を指定して、SMF 入力データをソートしてください。

```
INCLUDE COND=(6,1,BI,EQ,'FF')
SORT FIELDS=(15,4,CH,A,11,4,PD,A,7,4,BI,A)
SUM FIELDS=NONE
```



**注：**X の 'FF' は SMFid デフォルトの 255 です。SMFid の範囲は 00 から FF までで、使用している SMFid と一致する必要があります。

SMF データをソートしたら、必要であれば新しくソートされたファイルを指すようにアクティビティレポートの JCL を変更し、ジョブを再実行してください。

**SLS0383I** I/O error CCCCCCCC

**説明：**ユーティリティデータセットの 1 つに入出力エラーが起きました。CCCCCCCC は、エラーを説明するメッセージです。このメッセージには、ジョブ名、デバイスアドレス、DD 名、DECB ECB の 16 進ダンプ、および相対ブロック番号が含まれます。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**問題を訂正して、ユーティリティを再実行してください。

**SLS0384I** CCCCCCCC parameter changed from DDDDDDDD to EEEEEEEE

説明：SET ユーティリティによって、パラメータ CCCCCCCC が、DDDDDDDD から EEEEEEEE に正しく変更されました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS0385I** Hostid CCCCCCCC is active

説明：ユーティリティが、指定ホストがアクティブであることを判別しました。しかし、要求された機能では、対象となるホストは停止していなければなりません。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：指定ホストが非アクティブであることを確認してから、ユーティリティを再実行してください。

**SLS0386I** HOSTid CCCCCCCC is active

説明：SET ユーティリティが、指定ホストがアクティブであることを判別しました。しかし、要求された機能では、対象となるホストは停止していなければなりません。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：アクティブなホスト ID を指定してユーティリティを再実行してください。

**SLS0387I** Parameter CCCCCCCC1 would create duplicate values of CCCCCCCC2

説明：SET ユーティリティが、指定パラメータの値が重複することを判別しました。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：重複するパラメータを指定しないで、ユーティリティを再実行してください。

**SLS0388I** Hostid CCCCCCCC not found.

説明：Hostid CCCCCCCC がデータベースで見つかりませんでした。

システムの処理：ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの処置：有効な CDS ホストとなるように Hostid を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0389I** Database not formatted for dynamic Host addition.

**説明:** 新しいホストをデータベースに追加するには、データベースが HSC リリース 2.1.0 以上である必要があります。

**システムの処理:** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** 最新のリリースである HSC をインストールして、ユーティリティージョブを再実行してください。

**SLS0390I** Database already contains maximum number of Hostids.

**説明:** データベースにはすでに 16 のホスト ID が含まれています。

**システムの処理:** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** データベースにあるすべてのホストが現在の設定に必要であるかどうかを検証してください。必要であれば、この設定に別のホストを追加することはできません。必要でなければ、LIBGEN を再実行し、非アクティブであるホストを削除して、新しいホストを追加してください。

**SLS0391I** All host DHBEFLAGS reset in CDS

**説明:** SLUADMIN RESTORE ユーティリティーの実行中、プライマリ CDS が再構成されてから、セカンダリコピーにコピーされるまでに、すべてのホストのすべての DHBEFLAGS が空白にリセットされました。これにより、すべてのホストが、残余状況情報なしで通常どおりに開始されます。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** なし

**SLS0392I** Option CCC...CCC is invalid

**説明:** 指定されたオプション (CCC...CCC) が無効です。

**システムの処理:** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** オプションを指定し直して、ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0393I** Cell location parameter contains non-hex value

**説明:** セル位置パラメータの値が有効な 16 進データではありません。

**システムの処理:** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** セル位置パラメータの値を訂正して、ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0394I** Audit at ROW or COLUMN level of non-existent cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能で、指定のセル (AA:LL:PP:RR:CC) の ROW または COLUMN レベルの監査を実行できませんでした。これは、指定されたセル位置が、存在しないセルであったためです。

**システムの処理：**訂正処理は必要ありませんが、ユーザーは、存在しないセル (複数の場合もあります) を除外するように、AUDIT 制御文を変更できます。これは、条件コード 4 のエラーとして処理され、監査ジョブは、続けられます。

**ユーザーの処置：**必要ありません。ただし、類似の AUDIT ユーティリティの制御ステートメントは、その監査が ROW または COLUMN レベルの場合には、存在しないセルを除外するように修正変更した方がよいでしょう。

**SLS0395I** Panel free-cell count corrected for LSMid AA:LL, panel PP

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、LSM AA:LL 内のパネル PP に対する空きセルカウントが、監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査がパネルレベル以上のレベル (すなわち LSM または ACS など) で実行された場合にのみ出されます。カウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

**システムの処理：**訂正処理は必要ありません。監査ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0396I** LSM free-cell count corrected for LSMid AA:LL

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、LSM AA:LL 内の空きセルカウントが、監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査が LSM または ACS レベルで実行された場合にのみ出されます。カウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

**システムの処理：**訂正処理は必要ありません。監査ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0397I** Volume *volser* not found in library; not ejected

**説明：**SLUADMIN INIT ユーティリティ機能が、EJECT 処理を、特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して実行しようとしたましたが、そのボリュームシリアル番号がライブラリ内にありませんでした。

**システムの処理：**これは、INIT ジョブが完了する前に、別の CAP を介してボリュームシリアル番号 (*volser*) がイジェクトされているためです。戻りコード 4 が設定され、残りのほかの EJECT 要求について処理が続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0398I** Host CCCCCCCC added to database.

説明：新しいホスト CCCCCCCC がデータベースに追加されました。

システムの処理：ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの処置：必要ありません。

**SLS0399I** Parameter CCCCCCCC has an invalid syntax

説明：SLUADMIN ユーティリティーが、閉じかっこの欠落といった、無効な構文を含むパラメータ (CCCCCCCC) のある SLSIN 制御文を検出しました。

システムの処理：この制御文は無視されます。

ユーザーの処置：制御文のパラメータの構文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS0404I** Volume Serial volser found selected at HSC Termination

説明：Host Software Component の終了中に、ライブラリボリューム (volser) が選択されていることがわかりました。これは、ボリュームがまだ使用中であるか、または Host Software Component (HSC) 機能がそのボリュームを「所有」しているときに (すなわちそれを選択しているときに) 異常終了して、オペレータがその HSC を停止させたことを示します。

システムの処理：HSC の終了によって、そのボリュームの選択は解除されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0410I** Free-Cell count error detected for LSM AA:LL, Panel PP

説明：LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、パネル PP に関するエラーがありました。HSC は、この LSM 内の別のパネルに空きセルを割り振ろうとします。

システムの処理：すぐに処理が行なわれることはありません。ただし、LSM AA:LL 内のパネル PP に対して監査をスケジューリングし、CDS エラーを訂正する必要があります。

ユーザーの処置：なし

**SLS0411I** Free-Cell count error detected for LSM AA:LL

説明：LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、エラーがありました。LSM 空きセルのカウン트는ゼロではないのに、いずれのパネル空きセルマップにも使用可能な空きセルがありませんでした。HSC は、LSM 空きセルのカウンートをゼロにします。

システムの処理：すぐに処理が行なわれることはありません。しかし、LSM AA:LL の監査をスケジュールして、CDS セル割り振り情報を確認する必要があります。

ユーザーの処置：なし

**SLS0451I** No matching HOSTid

**説明：**LVTにあるホスト識別子が、LCTにあるホスト識別子のいずれとも一致しません。構成初期設定は完了しませんでした。

**システムの処理：**HSCの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**おそらくLIBGENエラーか、またはLIBGENの行なわれていないホスト上でHSCを実行しようとしたかのいずれかです。LIBGENマクロの入力をチェックして、エラーが見つかったら、LIBGENを再実行して制御データセットを再生成してください。

**SLS0452I** Attach failed for module SLSFLSMC

**説明：**構成制御初期設定が、SLSFLSMC (LSM変換機能リスナータスク) ロードモジュールを接続しようとした際に、ATTACHからのエラー戻りコードを受け取りました。

**システムの処理：**HSCの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**SLSFLSMCロードモジュールが、JOB LIB またはリンクリストを介して、HSCにとって使用可能なライブラリにあることを確認してください。

**SLS0453I** LMU error XXXXXXXX varying {ACS AA|station C...C} online

**説明：**構成制御機能が、ステーション (デバイスアドレス C...C) または ACS AA をオンラインに変更しようとした際に、LMU ドライバーからエラー (戻りコード = XXXXXXXX) を受け取りました。

**システムの処理：**構成制御機能は異常終了します。これにより、そのほかの上位機能も異常終了することもあります。

**ユーザーの処置：**同じ時間帯中に起こった、LMU 入力エラーがあるか MVS SYSLOG を調べて、LMU デバイスのエラーかソフトウェアの問題かを判別してください。ソフトウェアの問題と考えられる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0454I** Error reading LMU configuration

**説明：**構成制御機能が LMU 構成の読み取り中に、LMU ドライバーからエラーを受け取りました。

**システムの処理：**構成検査は異常終了し、ACS は切断された状態のままです。

**ユーザーの処置：**MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べて、問題が LMU 入出力エラーかソフトウェアの問題かを判別してください。ソフトウェアの問題と考えられる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0456I** Station XXX varied offline

**説明：**構成制御機能において以前報告されたエラーが原因で、ステーション (XXX) がオフラインに変更されました。

**システムの処理：**HSC はステーションをオフラインに変更します。

**ユーザーの処置：**以前の構成制御と LMU のエラーメッセージを調べて、ステーションがオフラインに変更された理由を判別してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0457I** LMU error XXXXXXXX modifying LSMid AA:LL online

**説明：**構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオンラインに変更しようとした際に LMU ドライバーからエラー戻りコード (XXXXXXX) を受け取りました。

**システムの処理：**LSM はオフラインのままにされます。

**ユーザーの処置：**LMU がホストとの通信を行っており、かつオンラインで LSM が作動可能であることを確認してから、コマンドを再実行してください。

**SLS0458I** LMU error XXXXXXXX modifying LSMid AA:LL offline

**説明：**構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオフラインに変更しようとした際、おそらく、FORCE オプションを指定したオペレータコマンド MODify lsm OFFline を出した後に、LMU ドライバーからエラー戻りコード (XXXXXXX) を受け取りました。

**システムの処理：**変更要求は中止されます。LSM は以前の状態のままです。

**ユーザーの処置：**LMU がホストとの通信を行っており、かつオンラインで LSM が作動可能であることを確認してから、コマンドを再実行してください。これがうまくいかない場合は、LMU ステーションをオフラインに変更して、コマンドを再実行してください。

**SLS0460I** LSM AA:LL Mismatch - LMU Value T CDS Value T

**説明：**構成制御検査機能が、LMU に定義された LSM 構成定義と、LSM AA:LL の制御データセットにある構成との間に不一致を検出しました。それぞれの T は、次のいずれかの値と置き換えられます。

X - LSM は 4410 または 9310 として定義されます

3 - LSM は 9360 として定義されます

6 - LSM は 9740 として定義されます

7 - LSM は SL8500 として定義されます

8 - LSM は SL3000 として定義されます

. - LSM は定義されていません

**システムの処理：**構成制御検査機能は、すべての不一致を報告するための処理を続けます。HSC は起動したままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままです。

**ユーザーの処置：**2 つの LSM タイプの値を比較すると、LSM 構成内のどこに相違があるかがわかります。

実際の物理構成に基づき、(1) LMU 構成に合わせて LIBGEN パラメータを変更し、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成する、(2) StorageTek CSE に依頼して、LIBGEN パラメータに合わせて LMU 構成を変更する、のいずれかを行なってください。

**SLS0500I** COPYRIGHT (C) YYYY, YYYY, ORACLE AND/OR ITS AFFILIATES. ALL RIGHTS RESERVED.

**説明：**このメッセージは、ホストソフトウェアの初期設定中に出されます。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0501I** Module CCCCCCCC return code XXXXXXXX

**説明：**呼び出されたモジュールが、初期設定または終了リスト処理中に、戻りコード XXXXXXXX とともに完了しました。

**システムの処理：**初期設定中にエラーがあると、HSC は、ほとんどの場合次のレベルに移ります。いくつかの重大なエラーの場合は、HSC は終了します。終了中にエラーがあると、HSC は終了処理を続けます。

**ユーザーの処置：**問題が初期設定時あるいは終了中に常に起こり、戻りコードで問題解決に十分な情報が得られない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0503I** SMF subtype *XX* is invalid and is ignored

**説明：**このサブシステムの SUBPARM パラメータに、無効なサブタイプが指定されました。有効な値は、「1」から指定の最大値までの間の値です。

**システムの処理：**この値は無視され、次のサブタイプがある場合はその処理に進みます。

**ユーザーの処置：**導入システムで、記録されたサブタイプを変更したい場合は、「SYS1.PARMLIB」の該当する SMFPRMxx メンバーを編集して、SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...))) に正しいサブタイプを指定してください。次に SET SMF コマンドを入力してそれらのサブタイプをシステムに反映させてください。

**SLS0504I** Error processing *CCCCCCCC1*; abend *CCCC2* RCXXXXXXXX

**説明：**モジュール *CCCCCCCC1* への呼び出しが、初期設定または終了リスト処理中に、ユーザーまたはシステムの異常終了 (*CCCC2*) により、理由コード RC XXXXXXXX を返して終了しました。

**システムの処理：**異常終了のタイプによって、初期設定 / 終了は続けられる場合があります。

**ユーザーの処置：**SYSLOG およびジョブログ内に、関連するメッセージがあるかどうかを調べてください。問題がシステム異常終了である場合は、『IBM MVS Extended Architecture Message Library: System Codes Manual』を参照してください。問題がユーザー異常終了である場合、MVS 環境の場合はこのマニュアルの第 3 章を、VM 環境の場合は『SCP Messages and Codes Manual』を参照してください。これらのマニュアルを読んでも問題が解決しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0505I** SSCVT *CCCC* not allocated for HSC subsystem

**説明：**初期設定中、HSC サブシステムが、そのサブシステムの呼び出しに対して、SSCVT が作成されていないことを見つけました。

**システムの処理：**HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置：**HSC サブシステムが SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバー内に正しく定義されていて、モジュール SLSBPRESI が、システムリンクリストのライブラリ内にあるようにしてください。

**SLS0506I** Modify commands not supported by *CCCC* HSC subsystem

**説明：**A MODify (F) コマンドが HSC サブシステムに対して出されましたが、この時点では、モディファイインタフェースはサポートされていません。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0507I** HSC preinitialization failure

**説明**：初期設定中に、HSC サブシステムが初期設定の前処理のエラーを見つけました。

**システムの処理**：HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0508I** Multiple subsystem start not allowed; ACS CCCC  
{ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING| RECONFIGURING|INVALID FLAG} in  
single mode

**説明**：複数の HSC サブシステムを起動するという試みが拒否されました。これは、もう 1 つの HSC サブシステムが、単一モードで実行されているからです。

**システムの処理**：新しいサブシステムの処理は終了し、現在実行されているサブシステムの処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：実行するサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止させてください。

**SLS0509I** Single mode HSC start rejected; another HSC subsystem is active

**説明**：HSC サブシステムを起動するという試みが拒否されました。これは、もう 1 つの HSC サブシステムが実行中であったからです。

**システムの処理**：新しいサブシステムの処理は終了し、現在実行されているサブシステムの処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：実行するサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止させてください。

**SLS0510I** Multiple SSCVTs exist for HSC subsystem CCCC

**説明**：サブシステムの初期設定中、サブシステムが、同じ SSCTSNAME フィールドを持つ 2 つの HSC SSCVT を見つけました。

**システムの処理**：HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置**：サブシステム名テーブルは、HSC サブシステムに対して項目を必ず 1 つだけ持つようにしてください。再 IPL を行なって SSCVT チェーンを再作成してください。

**SLS0511I** All keywords following error are ignored

**説明：** EXECParm 文に無効なキーワードが含まれていました。解析は、前のメッセージに表示されたキーワードで停止し、サブシステムは初期設定を続けます。

**システムの処理：** HSC 初期設定は、解析済みの PARM 文字列のみを使用して続けられます。

**ユーザーの処置：** 前のエラーメッセージに示されたエラーを訂正して、サブシステムを再起動してください。

**SLS0512E** HSC subsystem CCCC is {ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING|RECONFIGURING|INVALID FLAG|NOT ALLOWED}

**説明：** サブシステムが起動され、CCCC という名前の別の HSC サブシステムが ACTIVE、TERMINATING、INITIALIZING、または RECONFIGURING であることがわかりました。または、その他の HSC サブシステムが、HSC の SSCVT 制御ブロック内で INVALID FLAG をオンにしたか、初期化が NOT ALLOWED であったほど SSCVT コンテンツを破壊しました。

**システムの処理：** 新しいサブシステムの処理は終了します。

**ユーザーの処置：** ACTIVE、TERMINATING、INITIALIZING、または RECONFIGURING の場合は、もう一度 HSC の起動を試みる前に、そのアクティビティーが終了するのを待ってください。メッセージが誤って発行されたとオペレーターが判断した場合（つまり、他にアクティブな HSC は存在しない）、起動パラメータに RESET オプションを指定してサブシステムを再起動してください。

INVALID FLAG または NOT ALLOWED の場合は、HSC の SSCVT 制御ブロックが破壊されていて、HSC はサブシステムの初期化を完了できなかったことを示します。これはより重大な状況であり、注意深い回避策が必要となります。異なる名前のサブシステムとして HSC を再起動する必要があります。これは MVS オペレータが SETSSI コマンドを使用して、起動パラメータ SSYS を変更することで実現できます。詳細については StorageTek サポートにお問い合わせください。

**SLS0516I** License Key definition not found; trial period processing begins

**説明：** HSC の初期化中に、ソフトウェアライセンスキーの定義が存在しないことが判明しました。LKEYDEF 制御文が HSC パラメータファイルから脱落したか、LKEYDEF 処理中にエラーが発生したかのいずれかです。いずれの場合でも HSC は試用期間の処理を開始します。そのあとのメッセージは、試用期間の状況を反映した SLS4800I または SLS4801I のいずれかです。

**システムの処理：** 試用期間の処理が開始します。

**ユーザーの処置：** 75 日間の試用期間が終了する前に、StorageTek 社より有効なライセンスキーを取得してください。

- SLS0518D** \*WARNING\* The HSC subsystem is not in key 1-7; results may be unpredictable; reply YES to continue or NO to terminate execution
- 説明:** HSC プロテクトキーが 1-7 以外であることが検出されました。正しく動作するためには HSC サブシステムのキーが 1-7 である必要があります。
- システムの処理:** 初期設定処理は応答待ち状態になります。
- ユーザーの処置:** 「NO」と応答すると、HSC は終了します。「YES」と応答すると、初期設定は続けられますが、HSC は機能が制限されたかたちで実行されます。このため、予期できないイベントがいくつか起こる可能性があります。例えば、HSC が SLS0107D メッセージを異常に多く生成したり、EDL (適格デバイスリスト) が正しく変更されないことがあります。担当のプログラマか、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。プログラム特性テーブル (PPT) について詳しくは、『NCS インストールガイド』を参照してください。
- SLS0519I** HSC subsystem CCCC terminating abnormally
- 説明:** サブシステムが、異常終了またはオペレータの取消し要求により、異常終了しようとしています。
- システムの処理:** HSC の処理は終了します。
- ユーザーの処置:** 終了がオペレータの取消し要求によるものではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。
- SLS0520I** {GTF EID|GTF FID} invalid or not provided, defaulting to XXXX
- 説明:** GTF EID または GTF FID が指定されていなかったか、あるいは、PARMLIB の EXECParm 制御文または HSC 起動手順の EXEC 文のパラメータとして正しく指定されていませんでした。
- システムの処理:** 省略時値の EID または FID である XXXX が使用されます。
- ユーザーの処置:** 正しい GTF EID または GTF FID を、HSC EXECParm 制御文、あるいは起動プロシージャの EXEC 文のパラメータとして指定してください。次に HSC を起動したときに新しい値が有効になります。
- SLS0521I** CCCCCCCC failed to open; no automatic commands issued
- 説明:** HSC 自動コマンドコンポーネントには SLSSYScc メンバーまたは DD 名を指定する必要があります。cc は DD 文名のサフィックスまたはメンバーを指します。CCCCCCCC は、データセット名とメンバーまたは DD 文名を示します。
- システムの処理:** HSC は、自動コマンドリストなしで開始されます。
- ユーザーの処置:** 導入先で、サブシステム起動時に自動コマンドを発行する必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc または SLSSYScc DD 文を作成して、起動プロシージャの MEMBER パラメータに接尾部 (cc) を指定してください。

**SLS0522I** Allocation of SYS1.PARMLIB(SLSSYScc) failed; no automatic commands issued; RC=XXXX

**説明：**HSC 自動コマンドコンポーネントには発行側の SLSSYScc メンバーを指定する必要があります。または、EXEC パラメータでメンバー名が誤って指定されました。cc は DD 文名のサフィックスまたはメンバーを指します。XXXX は、動的割り振りエラーの理由コード (S99ERROR) を示します。

**システムの処理：**システムは、自動コマンドリストなしで開始されます。

**ユーザーの処置：**導入システムで、サブシステム起動時に自動コマンドを出す必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc を作成して、起動手順の MEMBER パラメータに接尾部を指定するか、または SLSSYScc DD 文を指定してください。

**SLS0523I** Volume volser found errant during reconfiguration, home location is AA:LL:PP:RR:CC

**説明：**再構成機能が、古い制御データセットに、AA:LL:PP:RR:CC をホーム位置とする エラントボリューム (volser) を見つけました。

**システムの処理：**見つけたエラントボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) エラントとマークされました。

**ユーザーの処置：**上記の状況を解消するために、指定セルの監査を、新しい制御データセットで行なう必要があります。

**SLS0524I** Volume volser found selected during reconfiguration, home location is AA:LL:PP:RR:CC

**説明：**再構成機能が、古い制御データセットに、AA:LL:PP:RR:CC をホーム位置とする 選択ボリューム (volser) を見つけました。

**システムの処理：**選択ボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) 選択解除済みとマークされます。

**ユーザーの処置：**ボリューム状況を検証するために、指定セルの監査を、新しい制御データセットで実行してください。さらに、再構成を実行中、別のホストにおいて、ほかの HSC サブシステムがアクティブでないことを確認してください。別のホストで HSC がアクティブであると、新しく作成された制御データセットは破壊される可能性があります。HSC が別のホストでアクティブでない場合は、新しく作成された制御データセットは、正しいものと見なすことができます。

**SLS0525I** Reconfiguration completed successfully

**説明：**再構成機能が正常に終了しました。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**サブシステムは、新しく作成された制御データセットを使用して起動しなければなりません。次に、VOLRPT ユーティリティー機能を実行し、そのレポートの内容を確認してください。

**SLS0527I** Reconfiguration function is currently executing; DO NOT START other HSC subsystems

**説明**：再構成機能が現在実行されています。変更や非同期状態が起こるのを防ぐため、同じ CDS を共有するホストでそのほかの HSC サブシステムを稼働させたり、起動しないでください。

**システムの処理**：再構成処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0529I** An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明**：再構成機能の実行中に、割り振り済みのセルが空であることがわかりました。

**システムの処理**：再構成機能の処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：再構成機能によってエラーメッセージが出されていないければ、新しいデータセットは、正常であると考えられます。割り振り済みのセルが空である状態を解消するために、HSC ソフトウェアを新しく構成されたデータセット (複数の場合もあります) で起動して、上記のメッセージに示されたセルに対して、監査を実行してください。

**SLS0530I** Reconfiguration completed having found the above control data set conditions

**説明**：再構成機能が完了しました。しかし、制御データセットの破壊につながる可能性のある状況が、機能の実行中に見つかりました。

**システムの処理**：再構成機能で出されたほかの出力メッセージを調べて、メッセージの重大度を判別してください。

**ユーザーの処置**：新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行ない、エラー状況を訂正してください。

**SLS0531E** Database mismatch; Volume *volser*, Cell Index AA:LL:PP:RR:CC, VAR Location AA:LL:PP:RR:CC

**説明**：再構成機能が、セル索引位置とボリュームホーム位置を比較して、不一致を見つけました。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行ない、エラー状況を訂正してください。

**SLS0539I** Unknown volume found, review prior SLS0874A Messages; 'Y' to acknowledge

**説明：**HSC の起動中に、HSC にとって未知のボリュームが見つかり、LSM から手動でマウント解除する必要があることを知らせるメッセージ SLS0874A が発行されました。このメッセージはそのボリュームが削除されないかぎり、HSC の起動のたびに発行されます。このメッセージへの処置は、メッセージを確認したことを示すだけです。LSM にカートリッジを放置しておいても HSC の通常の機能を妨げることはありません。

**システムの処理：**応答を受け、処理は正常に続けられます。カートリッジは発見された場所に放置されます。

**ユーザーの処置：**LSM を開き、メッセージ SLS0874A の指示に従って、ライブラリから該当のカートリッジをマウント解除します。このメッセージは、HSC の起動、および HSC サービスレベルが BASE から FULL になるたびに発行されます。

**SLS0545I** HSC subsystem CCCC STOP (P) command received

**説明：**オペレータコマンドの STOP (P) が、指定のサブシステムに対して出されました。

**システムの処理：**サブシステムは終了処理を開始します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0548I** LMURQST error XXXXXXXX for Read ACS statistics

**説明：**パフォーマンスモニターが、READ ACS STATISTICS コマンドを出し、メッセージに示された戻りコードを受け取りました。

**システムの処理：**SMF 統計レコードは書き込まれません。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0551I** {SMF|COMPRFX|MAJNAME|EJCTPAS| HOSTID(CCCCCCCC)|NNLBDRV(CCCCCCCC)| ADJACNT(CCC)} parameter outside valid range

**説明：**LIBGEN パラメータの SMF、COMPRFX、MAJNAME、EJCTPAS、HOSTID(CCCCCCCC)、NNLBDRV(CCCCCCCC) または ADJACNT(CCC) の値が、有効範囲内にありません。

**システムの処理：**処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

**ユーザーの処置：**エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0552I**

```
STATION(XXXX1)|LSM(AA:LL)|SYSLIST(CCCCCCCC1)|
HOSTDRV(CCCCCCCC2)|HOSTID| PASTHRU(D)|LSMDRV(CCCCCCCC3)|
ADJACNT(CCCCCCCC4)|DRIVE(DD)| DRVELST(CCCCCCCC5)| ADDRESS(XXXX2)|
ACSDRV(CCCCCCCC6) parameter not found
```

説明：必要な LIBGEN パラメータの STATION(XXXX1)、LSM(AA:LL)、SYSLIST(CCCCCCCC1)、HOSTDRV(CCCCCCCC2)、HOSTID、PASTHRU(D)、LSMDRV(CCCCCCCC3)、ADJACNT(CCCCCCCC4)、DRIVE(DD)、DRVELST(CCCCCCCC5)、ADDRESS(XXXX2) または ACSDRV(CCCCCCCC6) が指定されていません。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0553I**

```
{ACSDRV=(CCCCCCCC1)|ADDRESS| LSMDRV=(CCCCCCCC2)|PASTHRU=(D)|
DRIVE=(CCCCCCCC3)|TYPE/WINDOW|
WINDOW=(D)|TYPE=(CCC4)|DELDISP|SCRLABL|TCHNIQE|DOOR=(CCC5)|
VSMONLY=CCCCCCC6|FUTRACS=(DD,DD)|FUTRLSM=(8500,CCC7)} parameter
invalid value
```

説明：LIBGEN パラメータの {ACSDRV=(CCCCCCCC1)、ADDRESS|LSMDRV=(CCCCCCCC2)、PASTHRU(D)|DRIVE=(CCCCCCCC3)、TYPE/WINDOW、WINDOW=(D)、TYPE=(CCC4)、DELDISP、SCRLABL、TCHNIQE|DOOR=(CCC5)、VSMONLY=CCCCCCC6、FUTRACS=(DD,DD)、FUTRLSM(8500,CCC7)} パラメータに指定された値が無効です。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0554I** TOO MANY {ACSDRV|LSM|LSM=(CCCCCCCC1)|ADDRESS|  
ADDRESS=(XXXX1)|HOSTID(CCCCCCCC2)|NNLBDRV|  
LSMDRV|DRIVE|PASTHRU|'PASTHRU=(D)'|'ADJACNT=(CCCCCCCC3)'|SYSLIST|  
DRIVE=(CCCCCCCC4)|'DRVELST=(CCCCCCCC5)'|  
HOSTID|ADDRESS(XXXX2)|WINDOW=(D)|SYSLIST(CCCCCCCC6)} values  
specified

説明：ACSDRV、LSM、LSM=(CCCCCCCC1)、ADDRESS、ADDRESS=(XXXX1)、  
HOSTIDCCCCCCCC2、NNLBDRV、LSMDRV、DRIVE、PASTHRU、PASTHRU=(D)、  
ADJACNT=(CCCCCCCC3)、SYSLIST、DRIVE=(CCCCCCCC4)、  
DRVELST=(CCCCCCCC5)、HOSTID、ADDRESS(XXXX2)、WINDOW=(D) または  
SYSLIST(CCCCCCCC6) に指定されている値の数が多すぎます。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

**SLS0555I** Too many CCCCCCCC macros specified

説明：LIBGEN に指定されている CCCCCCCC マクロの数が多すぎます。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0556I** CCCCCCCC macro missing or out of sequence

説明：CCCCCCCC が LIBGEN に指定されていないか、または指定された順序が間違っ  
ています。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0557I** Database successfully initialized; total cartridge capacity:  
DDDDDDDDDDDD volumes

説明：制御データセットおよびジャーナル、あるいはその両方が正しく初期設定されま  
した。DDDDDDDDDDDD は、データベースのカートリッジ容量の合計を示します。

SL3000 または SL8500 に対して LIBGEN を実行するときには、DDDDDDDDDDDD はラ  
イブラリの実際の容量ではありません。LSM をオンラインにしたあと、Display ACS ま  
たは Display LSM オペレータコマンドを使用して実際の容量を確認します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS0558I** CLNPRFX operand must be three VOLSER characters, Valid values are (A-Z, 0-9, and \$#@)

説明：CLNPRFX オペランドが、A-Z、0-9、\$、#、または @ で構成された 3 文字ではありません。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

**SLS0559I** DRIVE PANEL numbers must be in ascending order

説明：DRIVE PANEL 番号が、昇順で指定されていません。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS0560E** CCCCCCCC errors encountered

説明：CCCCCCCC 機能にエラーがありました。

システムの処理：ユーティリティは終了して、ゼロ以外の戻りコードが返されます。

ユーザーの処置：エラーを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0562I** CCCCCCCC - Installation verified

説明：導入システムが CCCCCCCC によって検査されました。ここで、CCCCCCCC は、実行されていた IVP を示します。

システムの処理：ユーティリティは終了して、戻りコード 00 が返されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0563E** Host SID CCCCCCCC, UNITNAME CCCCCCCC is not in EDT or has no supported tape devices

説明：ユーティリティ ( ホスト SID CCCCCCCC で実行されている ) が、SLILIBRY マクロの>NNLBDRV パラメータ、または SLIACS マクロの ACSDRV パラメータのいずれかに指定されたデバイス名がこのホストの EDT になかったか、あるいはデバイス名は存在したけれどもサポートされているテープデバイスが含まれていなかったことを判別しました。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 08 が設定されます。

ユーザーの処置：次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行してデバイス名を変更する。
- SET ユーティリティを使用する。
- ホストに EDTGEN を実行して、デバイス名を追加する。

### SLS0564E Host SID CCCCCCCC was not defined in LIBGEN

**説明：**ユーティリティー (ホスト SID CCCCCCCC で実行されている) が、ホスト SID CCCCCCCC が LIBGEN に定義されていなかったことを判別しました。

**システムの処理：**処理は終了します。戻りコード 08 が設定されます。

**ユーザーの処置：**次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して SLILBRY マクロの HOSTID パラメータに CCCCCCCC を指定する。
- SET ユーティリティーを使用する。
- LIBGEN に定義されているホストでジョブを実行する。

### SLS0565E HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a supported tape device

**説明：**ホスト ID (CCCCCCCC) は、デバイス番号 XXXX が SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに指定されているサポート対象のテープデバイスではないことを判別しました。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して、SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除する。
- SET ユーティリティーを使用する。
- HCD を使用してユニットをサポート対象のテープデバイスとして定義する。

### SLS0566E HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a 3278

**説明：**ホスト ID (CCCCCCCC) は、デバイス番号 XXXX が SLISTATN マクロの ADDRESS パラメータに指定されている 3278 ではないことを判別しました。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して、SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除する。
- SET ユーティリティーを使用する。
- IOGEN または MVSCP を実行してデバイス番号を 3278 にする。

- SLS0567E** Unable to allocate drive *XXXX1*; SVC 99 = *XXXX2*, *XXXX3*
- 説明：ユーティリティーが、デバイス番号 *XXXX1* を割り振れませんでした。*XXXX2* は情報理由コードで、*XXXX3* はエラー理由コードです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：動的割り振り障害の理由を解決して、ジョブを再サブミットしてください。
- SLS0568I** Message *DDDD* does not exist
- 説明：LIBGEN マクロが、メッセージ *DDDD* を出すよう要求しました。
- システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 14 が設定されます。
- ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。
- SLS0569E** Invalid LIBGEN load module specified
- 説明：LIBGEN ロードモジュールに対して出されたロードマクロが失敗しました。
- システムの処理：処理は終了します。
- ユーザーの処置：LIBGEN ロードモジュールを使用できるようにしてください。
- SLS0570I** Macro *CCCCCCCC* already specified
- 説明：メッセージに表示された LIBGEN マクロはすでに発行されています。
- システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。
- ユーザーの処置：ラベルを訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
- SLS0571I** Number of values for {STATION|HOSTDRV} parameter must equal number of hosts
- 説明：メッセージに表示された LIBGEN パラメータには、SLILIBRY マクロの HOSTID パラメータに指定されたホスト識別子の数と等しい数の値を指定しなければなりません。
- システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。
- ユーザーの処置：パラメータの数を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0572I** Number of values for {PASTHRU|DRIVE} parameter must equal number of values for {ADJACNT|DRVELST} parameter

説明：メッセージに表示された LIBGEN パラメータには、ADJACNT パラメータに指定された数と等しい数の値を指定しなければなりません。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

ユーザーの処置：パラメータの数を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0573E** Parameter list is missing or invalid

説明：ユーティリティの実行中、このユーティリティに指定されたパラメーターが欠落しているか、または無効であることがわかりました。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：一連のパラメータを指定してください。

**SLS0574E** CCCCCCCC program not permitted to do Dynamic Allocation

説明：このユーティリティは、導入システム検証ルーチン (IEFDB401) によって、動的割り振りの実行を許可されていません。

システムの処理：処理は停止します。

ユーザーの処置：動的割り振りを実効する許可をプログラムに与えて、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0575E** CCCCCCCC DD statement missing

説明：メッセージに表示された DD 文が見つかりませんでした。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：メッセージに表示された DD 文を定義して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS0576E** Unable to load LIBGEN module CCCCCCCC (XXXX1 - XXXX2)

説明：ロードモジュール CCCCCCCC をロードできませんでした。XXXX1 - XXXX2 はシステムから出される異常終了コードと理由コードです。

システムの処理：処理は停止します。

ユーザーの処置：CCCCCCCC を含むライブラリが STEPLIB に指定されていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

- SLS0577I** Panel number 10 must be specified as the last operand for the DRIVE= parameter
- 説明 :** SLILSM マクロの DRIVE= パラメータには、ドライブパネルとしてパネル 10 を指定する必要があります。このパネルが DRIVE= オペランドから欠落しているか、または DRIVE= パラメータの最後のオペランドとして指定されていません。
- システムの処理 :** 処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。
- ユーザーの処置 :** エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。
- SLS0578E** Invalid ACSid
- 説明 :** SLIEXERS プログラムの EXEC 文の PARM= パラメータに指定された ACSid が無効、または範囲外です。
- システムの処理 :** 処理は停止します。
- ユーザーの処置 :** 正しい ACSid を指定して、ジョブを再サブミットしてください。
- SLS0579I** Number of CCCCCC values specified is less than the number of hosts
- 説明 :** CCCCCC に指定されたマクロパラメータは、SLILIBRY HOSTID パラメータに指定されたホストの数と同数のオペランドを持つ必要があります。あるホストについてオペランドを意図的に省略する場合は、代わりにコンマを使用する必要があります。
- システムの処理 :** LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 04 に設定されます。
- ユーザーの処置 :** パラメータの数を訂正して、ジョブを再サブミットしてください。
- SLS0580I** The RESERVE= parameter has been discontinued and is ignored; it should be removed
- 説明 :** RESERVE= パラメータは、初期の保守サイクルで除去されたため、現在では使用されていません。
- システムの処理 :** LIBGEN のアセンブリーは通常どおりに続行し、結果の LIBGEN モジュールは影響を受けません。
- ユーザーの処置 :** 適当なときに、SLIRCVRY マクロから RESERVE= パラメータを除去してください。LIBGEN のアセンブリーを再実行する必要はありません。

**SLS0581I** SLIPTPCK - PASTHRU parameter #*N* of *BBB* does not have a corresponding ADJACENT parameter specified

説明 : *BBB* というラベルの、SLILSM マクロに定義された「*N*」番目の PASTHRU パラメータに、適合する ADJACNT パラメータエントリがありません。

システムの処理 : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

ユーザーの処置 : パススルーポートが定義されている LSM に対応する ADJACNT パラメータエントリを追加してください。LIBGEN アセンブリーを再実行してください。

**SLS0582I** SLIPTPCK - *AAA* is adjacent to *BBB*, but *BBB* is not adjacent to *AAA*

説明 : LSM *AAA* は、LSM *BBB* の SLILSM マクロ内に、隣接するものとして定義されていますが、*BBB* は、LSM *AAA* の SLILSM マクロ内では、隣接するものとして定義されていません。

システムの処理 : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

ユーザーの処置 : *AAA* の SLILSM マクロの ADJACNT パラメータに、LSM *BBB* のエントリを設定してください。LIBGEN アセンブリーを再実行してください。

**SLS0583I** SLIPTPCK - Adjacent parameter *N* (*VVV*) of *AAA* does not have a corresponding PASTHRU parameter specified

説明 : *AAA* というラベルの、SLILSM マクロの ADJACNT キーワードにある「*N*」番目のパラメータには、値として *VVV* が定義されていますが、これには、対応する PASTHRU パラメータがありません。

システムの処理 : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

ユーザーの処置 : LSM *AAA* の「*N*」番目の ADJACNT パラメータに対応する PASTHRU パラメータ項目を追加してください。LIBGEN アセンブリーを再実行してください。

**SLS0584I** SLIPTPCK - PASTHRU parameter *N* of *AAA* and PASTHRU parameter *O* of *BBB* are both defined as type *TTT*

説明 : LSM *AAA* の *N* および LSM *BBB* の *O* という対応する PASTHRU パラメータは、いずれも同じ PTP タイプの *TTT* (MASTER または SLAVE) に定義されています。

システムの処理 : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

ユーザーの処置 : 対立している PASTHRU パラメータの一方を、反対のタイプに変更してください。

**SLS0585I** SLILSM - SLILSM macro labeled *CCCCCCC* has a drive/pasthru port/window assigned to number *NN*

**説明** : *CCCCCCC* というラベルの付いたマクロに、ドライブ、パススルーポート、またはウィンドウに割り当てられているのと同じパネル番号があります。

**システムの処理** : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

**ユーザーの処置** : PASTHRU、DRIVE、または WINDOW パラメータを変更して、パネル番号を訂正してください。

**SLS0586I** SLISTATN ADDRESS *dddd* WILL NOT BE USED BY HSC

**説明** : SLISTATN マクロはステーションアドレスを 0 に定義しました。HSC は、アドレスが 0 のステーションを「偽」ステーションであると見なし、それを使用しません。

**システムの処理** : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 8 に設定されます。

**ユーザーの処置** : そのステーションが使用される場合は、アドレスを 0 以外に変更してください。

**SLS0587I** PASTHRU PARAMETER REQUIRED WHEN DEFINING AN ACS WITH MULTIPLE LSMS

**説明** : SLIACS マクロは複数の LSM を定義しました。SLILSM マクロは、PASTHRU パラメータをコーディングし、隣接する LSM の間のパススルーポートを定義する必要があります。

**システムの処理** : LIBGEN アセンブリーは続けられ、アセンブリー戻りコードは 12 に設定されます。

**ユーザーの処置** : SLILSM マクロで PASTHRU パラメータをコーディングし、隣接する LSM の間のパススルーポートを定義してください。

**SLS0600I** Volume *volser*; *AA:LL:PP:RR:CC*, {Selected|Unselected},  
{Scratch|Nonscratch}<, Mounted>

**説明** : Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームのホームセルは、*AA:LL:PP:RR:CC* です。ここで、*AA* は ACS id、*LL* は LSM id、*PP* は 10 進数のパネル番号、*RR* は 10 進数の行番号を、そして *CC* は 10 進数の列番号を示します。表示には、ボリュームが現在選択されているかどうかを示します。ボリュームのスクラッチ状況も表示されます。「マウント」メッセージは、ボリュームがドライブにマウントされた場合にのみ表示されます。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0601I** Volume *volser* - detail:

```

Home cell:AA:LL:PP:RR:CC
Scratch:{YES|NO}
Selected:{YES|NO}
<Mounted:{drive DDDD|driveid AA:LL:PP:NN}>
<Owning host:CCCCCCCC>
External label:{YES|NO}
<Label readable:{YES|NO}>
Inserted:YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Last selected:YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Select count:DDDD
Media type:MMMMMMMM
Rectech:RRRRRRRR
Media Label:LLLLLLLL
Media Match:{YES|NO|VOLATTR Only|Label Only|Undefined}
Warranty Life:{NNN%|UNKNOWN}
<Not eligible for SCRATCH>

```

**説明** : DDetail オペランドを指定した Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームに関する使用可能な情報すべてが、複数行の WTO に表示されます。

「home cell」行の、*AA* は ACS id、*LL* は LSM id、*PP* は 10 進数のパネル番号、*RR* は 10 進数の行番号を、そして *CC* は 10 進数の列番号を示します。

「Mounted」行は、ボリュームがマウントされている場合にのみ表示されます。drive *DDDD|driveid AA:LL:PP:NN* は、ボリュームのマウント先ドライブを示します。

「Owning host」(*CCCCCCCC*) 行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。

「Label readable」行は、ボリュームに外部ラベルがある場合にのみ表示されます。

「Inserted」と「Last Selected」の行はそれぞれ、ボリュームがライブラリに入力された日時と、最後に選択された日時を示します。日付は、YYYY-MM-DD 形式です。

*MMMMMMMM* と *RRRRRRRR* は、メディアタイプとボリュームの記録技法です。*LLLLLLLL* は、外部ラベルのメディアタイプが読み取り可能かどうかを示します。表示されたメディア値が LMU から読み取られたものでない場合、値 *N/A* (該当しません) が表示されます。

Media Match の値は、ボリュームのメディアタイプがどのように判別されたかを示します。

YES LMU はメディアラベルを読み取りました。そのボリュームには VOLATTR または VOLPARM が定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致します。

NO	LMU はメディアラベルを読み取りました。そのボリュームには VOLATTR または VOLPARM が定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致していません。
VOLATTR Only	ボリュームの VOLATTR または VOLPARM は存在しますが、LMU はメディアタイプを判別できませんでした。これは、ライブラリ外にあるボリュームに対して VOLATTR が定義されているときに生じることがあります。
Label Only	LMU はメディアタイプを判別しましたが、そのボリュームに対する VOLATTR または VOLPARM は存在しません。
未定義	LMU はメディアタイプを判別しませんでした。そのボリュームに対する VOLATTR または VOLPARM は存在しません。

「No」、「Label Only」、または「Undefined」の値は、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。ライブラリ内のボリュームの場合の「VOLATTR Only」の値も、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。いずれの状況でも、DISPLAY SCRATCH コマンドで無効なスクラッチカウントが生じることがあります。

「Warranty Life」は、ボリュームをマウント解除したときに表示される、% 単位の比率で、LMU 互換性レベルが 21 以上のテープライブラリに使用されます。サポートされていないライブラリにあるボリュームや、MWL サポート適用以降にマウント解除されていないボリュームに対しては、「Unknown」が表示されます。

「Not eligible for SCRATCH」は、ボリュームが VSM MVC の場合に表示され、また、ボリュームをスクラッチできないことを示します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

## SLS0602I

```
Volume volser - errant:
Scratch:                {YES|NO}
Selected:               {YES|NO}
<Owning Host:         CCCCCCCC>
```

```
Last known locations:
Home:                   CELL AA:LL:PP:RR:CC
Source:                 {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
Destination:           {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
<Lost in:               LSM AA:LL>
```

**説明 :** Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームが、エラーであることがわかりました。このボリュームの最後にわかっている位置が、メッセージに示されます。ボリューム位置行の、*AA* は ACSid、*LL* は LSMid、*PP* は 10 進数のパネル番号、*RR* は 10 進数の行番号、*CC* は 10 進数の列番号を、*NN* は 10 進数のドライブ番号を、そして *XXXX* はデバイスアドレスを示します。「owning host」行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。「Lost in」行は、LSM 内でボリュームが失われた場合にのみ表示されます。

**システムの処理 :** ボリュームは、エラー回復処理が行なわれるか、またはライブラリから論理的にイジェクトされるまでは、エラー状態のままです。

**ユーザーの処置 :** ボリュームに対して、エラー回復機能を呼び出してください。エラー回復を呼び出すには、ボリュームをマウントしたり、LSM をオンラインに変更する方法があります。

### SLS0603I Volume(s) *volser1*<-*volser2*> not in ACS

**説明 :** Display Volume コマンドで要求された 1 つまたは複数のボリュームが、ACS 内に見つかりませんでした。コマンドにボリューム範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合は、この一連のボリュームに対して、1 つのメッセージが表示されます。

**システムの処理 :** なし

**ユーザーの処置 :** なし

### SLS0604I Invalid volser range (*volser1*-*volser2*) for *CCCCCCCC* command, CC=*XX*

**説明 :** *CCCCCCCC* コマンドにボリュームの範囲 (*volser1*-*volser2*) が指定されましたが、その範囲が構文的に無効でした。*XX* は、構文エラーの性質を示す条件コードで、次のものがあります。

- 08 VOLOSER の増加時にオーバーフローが発生しました。結果、その数字が、そのボリュームシリアル番号の増分よりも大きくなりました。
- 12 指定された範囲内のボリュームシリアル番号の 1 つに、増やせない部分があります。
- 16 指定された範囲内のボリュームシリアル番号の 1 つに、無効文字があります。
- 20 範囲を示す 2 つのボリュームシリアル番号のうち、2 番目のボリュームシリアル番号が最初のボリュームシリアル番号以下です。
- 24 範囲を示す 2 つのボリュームシリアル番号の増分可能部分に、互換性がありません。
- 28 *volser* 名が英字の場合は、比較対象となる *volser* が必要です。

なし

**ユーザーの処置 :** VOLSER の範囲を指定して、*CCCCCCCC* コマンドを再入力してください。

**SLS0605I** Volser range (*volser1-volser2*) for *CCCCCCCC* command exceeds *NNN* volumes

**説明:** *CCCCCCCC* コマンドにボリュームの範囲 (*volser1-volser2*) が指定されましたが指定の範囲には *NNN* を超えるボリュームが含まれています。*CCCCCCCC* コマンドのボリューム範囲内にあるボリュームの数は、最大 *NNN* に限られています。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** *NNN* 次のボリュームを含む範囲を指定して複数の *CCCCCCCC* コマンドを入力するか、あるいは、*volser* の範囲に限界のない関連バッチユーティリティを実行してください。

**SLS0607I** Invalid *CCCCCCCC1* option - *CCCCCCCC2*

**説明:** 指定のコマンドのキーワードに無効なオプションが指定されました。*CCCCCCCC1* は、入力されたキーワードを示しています。*CCCCCCCC2* は、*CCCCCCCC1* キーワードのオプションを示しています。

**システムの処理:** コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** 『*HSC オペレータガイド*』を参照するか、HSC 「Display CMd」コマンドを発行して、指定のコマンドキーワードでサポートされているオプションを判別してください。

**SLS0609I** Invalid {OPTION} *CCCCCCCC1 CCCCCCCC2* value - *DDDDDDDD1*; value must be within range *DDDDDDDD2-DDDDDDDD3*

**説明:** OPTion コマンドのオプションに数値が指定されました。しかし、この指定の値は、このオプションで使用できる最小値を下回るか、またはこのオプションで使用できる最大値を上回ります。*CCCCCCCC1* は、OPTion コマンドに入力された機能を示します。*CCCCCCCC2* は、OPTion コマンドに入力されたオプションを示します。*DDDDDDDD1* は、OPTion コマンドに入力された値です。*DDDDDDDD2* はこのオプションで使用できる最小値を、*DDDDDDDD3* はこのオプションで使用できる最大値を示します。

**システムの処理:** OPTion コマンド処理は終了します。

**ユーザーの処置:** 『*HSC オペレータガイド*』を参照するか、HSC 「Display CMd OPTion」コマンドを発行して、指定のコマンドキーワードでサポートされているオプションを判別してください。

**SLS0612I** The *CCCCCCCC1* command is at a command Service Level unknown to the HSC

**説明:** オペレータコマンドが入力されましたが、HSC はそのコマンドのサービスレベルを認知しませんでした。*CCCCCCCC1* は、入力されたオペレータコマンドを示します。

**システムの処理:** コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置:** これは、HSC の内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0613I** The *CCCCCCCC1* command cannot be processed at the current HSC Service Level

**説明**：オペレータコマンドが入力されましたが、HSCは、そのコマンドを実行できるサービスレベルにありませんでした。*CCCCCCCC1*は、入力されたオペレータコマンドを示します。

**システムの処理**：コマンドは実行されません。

**ユーザーの処置**：HSCを適切なサービスレベルに変更した後で、*CCCCCCCC1* コマンドを再入力してください。

**SLS0651I** Allocation of station device *XXXX* failed - *XX1*, *XX2*

**説明**：メッセージに表示されたステーションの割り振り中に、エラーが起きました。*XX1*にはSVC 99のエラーコードが、*XX2*には情報コードが含まれます。

**システムの処理**：ステーションは、オンラインに変更されません。

**ユーザーの処置**：問題を解決して、Vary Station コマンドを再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0652I** Open of station device *XXXX* failed

**説明**：メッセージで表示されたステーションのオープン中に、エラーが起きました。

**システムの処理**：ステーションは、オンラインに変更されません。

**ユーザーの処置**：問題を解決して、Vary Station コマンドを再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0653I** SHPG of station *C...C* failed -*CCCCCCCC*

**説明**：指定のステーションに対するホスト経路グループの設定 (SHPG) が失敗しました。

**システムの処理**：ステーションはオフラインにマークされています。

**ユーザーの処置**：LMU 接続と状況を確認してください。HSCのすべての初期設定が完了していることを確認した後、ステーションまたはACSをオンラインに変更してください。エラー (CCCCCCCC)の最後の4文字が「A214」の場合、HSCはACSと互換性がありません。HSCをリリース 6.1 またはそれ以上に更新してからこのACSに接続してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0655I** ACS AA station *C...C* communicating

**説明**：指定のステーションが通信を開始しました。

**システムの処理**：LMU 待機中のすべての要求は、再実行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0657E** ACS AA station C...C not communicating

**説明**：ステーションは、ACS AA との通信に使用できません。

**システムの処理**：すべての要求が、ほかのステーション(ある場合)に経路指定されま  
す。

**ユーザーの処置**：問題を診断して解決してください。3270 ステーションに入出力エラー  
メッセージが生成された場合は、ステーションをオフラインに変更する必要があります。

**SLS0660I** ERR BCST - CCCCCCCC

**説明**：無効な通知が受け取られました。このメッセージはブロードキャストを示すもの  
です。

**システムの処理**：処理は続行されます。このブロードキャストは無視されます。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0661E** ACS AA not communicating

**説明**：ACS AA との通信に使用できるステーションが、いずれも応答しません。

**システムの処理**：すべての要求が、LMU ハードウェアエラー (6515) とともに戻されま  
す。

**ユーザーの処置**：Vary コマンドを使用してステーションをオフラインにしてから、オン  
ラインに変更してください。ステーションがオンラインにならない場合は、StorageTek  
ハードウェアサポートに連絡してください。

**SLS0662I** LMU Response error - AA,XXXX,XX,DD

説明：エラー状態の応答が受け取られました。AA は、ブロックの送信先、または送信元である ACS の ACSid を示します。

XXXX は、使用されているステーションデバイス番号を表します。

XX は、次のエラーコードのいずれかを示します。

- 04 - 複数の応答タイプが無効です
- 08 - 通し番号が数値ではありません
- 0C - 応答は予期されていませんでした
- 10 - 応答が無効です (理由コードを参照)
- 14 - 応答タイプが数値ではありません
- 18 - エラー応答が受け取られました
- 20 - ブロードキャストタイプが未知のものです
- 28 - ブロードキャストが無効です (理由コードを参照)

DD は、次の理由コードのいずれかを示します。

- 00 - 何もありません
- 01 - 応答コードが無効です
- 02 - 応答サイズが無効です
- 03 - ホスト ID が無効です
- 04 - スレーブ ID が無効です
- 05 - 無効な LSM 変更状況が見つかりました
- 06 - パススルーポートカウントが無効です
- 08 - 応答の長さが無効です - 短すぎます
- 09 - 応答の長さが無効です - 均等に分割できません
- 0A - 月が無効です
- 0B - 日が無効です
- 0C - 時間が無効です
- 0D - 分が無効です
- 0E - 秒が無効です
- 0F - アームの使用率が無効です
- 10 - パススルーカウントが無効です
- 11 - 応答の長さが無効です - 長すぎます
- 12 - LRQ の応答が欠落しています
- 13 - LSM が無効です
- 14 - ドライブパネルが無効です
- 15 - ドライブ行が無効です
- 17 - ソフト障害の回復カウントが無効です
- 80 - 構成状況が無効です
- 81 - マスター LSM が無効です
- 82 - マスターパネルが無効です
- 83 - スレーブ LSM が無効です
- 84 - スレーブパネルが無効です
- 90 - LSM カウントが無効です

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### SLS0663I LMU Block error - AA,XXXX,XX,DDD

説明：エラーのあるブロックが受信されたか、または送信されました。

AA	ブロックの送信先、または送信元である ACS の ACSid を示します。
XXXX	使用されているステーションデバイス番号を表します。
XX	次のエラーコードのいずれかを示します。
1C	-非ブロック化エラーです。LMU が不良なブロックを送信しました。
24	-ACK エラーです。LMU または HSC が不良なブロックを送信しました。
DDD	次の理由コードのいずれかを示します。
1	有効なブロック標識が受け取られませんでした
2	伝送の始まりが見つかりません
3	伝送の終わりが見つかりません
4	トランザクションの始まりが見つかりません
5	トランザクションの終わりが見つかりません
6	インタフェースがどのホストに対してもグループ化されていません
7	ホスト ID が不当です
8	ホスト経路グループ設定オプションが不当です
9	インタフェースがほかのホストに連結しています
10	ホスト ID が所有ホストと一致しません
11	ブロック見出しに非数値データがあります
12	スタンバイ LMU は、要求のブロックを受け付けられません
13	切り替えはすでにアクティブです
14	接続できません、サポートされていない互換レベルです
15	接続できません、パーティション ID がゼロ以外でライブラリが区分されていません
16	接続できません、パーティション ID がゼロでライブラリが区分されています
17	パーティション ID がライブラリに定義されていません
18	SHPG 伝送ヘッダーがホストの互換レベルと一致していません

- 50           ブロックの通し番号が間違っています No. (予期しない ACK 上)
- 51           スタンバイ LMU からの要求ブロックの ACK が不当です
- 52           ACK エラータイプが数値ではありません
- 124          LMU からの ACK のブロック長が数値ではありません
- 136          ブロックの通し番号が間違っています No. (LMU からの ACK 上)

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および PM2 ACS 非ブロック化レポートを、StorageTek お客様サービスに送ってください。

**SLS0664I**      ACS AA Busy; station C...C offline pending

説明：Vary OFFline が、指定のステーションまたは ACS に対して発行されました。ステーション C...C は、LMU でオンラインにされている最後のステーションであり、LMU に対してアクティブな作業がありました。

システムの処理：LMU に対するアクティブな作業が完了するまで、要求は待ち状態になります。

ユーザーの処置：なし

**SLS0665E**      ACS AA Degraded; LSM AA:LL, Condition D, FSC XXXX

説明：パフォーマンス低下の原因となった障害の起こった ACS AA から、メッセージが受け取られました。ACS は通常どおりに機能し続けます。

LL は LSM を示します。「FF」の場合、障害のあったデバイスは LMU です。

D は条件コードです。「1」は、デバイスの作動不能を示します。「2」は、パフォーマンスの低下を示します。

XXXX は次のような障害徴候コード (FSC) を示します指定するエラーコードの障害徴候コードディクショナリーを参照してください。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。このときに FSC (XXXX) をあわせて連絡してください。

**SLS0666A** LSM AA:LL access door has been opened

**説明**：指定された LSM アクセスドアが開いていました。

**システムの処理**：この LSM に関与するすべての要求は、ドアが閉められて作動可能な状態になるか、LSM がオフラインに強制変更されるまで、待ち状態に置かれます。

**ユーザーの処置**：LSM ドアを閉め、LSM をオフラインに強制変更して、手動モードにしてください。

**SLS0667I** LSM AA:LL access door has been closed

**説明**：指定された LSM のアクセスドアが閉められていました。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0668I** LSM AA:LL CCC...CCC

**説明**：LSM が、メッセージの可変テキスト部分に示されるように、正常にオンラインまたはオフラインに変更されました。

次に CCC...CCC のテキストとその説明を示します。

**Is Offline; Temp Outage Queue has been purged.**

LSM はすでにオフラインになっており、MODify lsm ONline は一時停止待ち行列上にありませんでした。

**Ready; Temp Outage Queue Will Be Re-Driven.**

MODify lsm ONline コマンド、LSM 作動可能イベント、または LMU 作動可能イベントのいずれかが正常に処理されて、一時停止待ち行列上の保留要求はすべて、待機要求待ち行列に再び入れられます。

**システムの処理**：システムは、メッセージのテキストに示されたように、一時停止待ち行列を処理します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0669A** LSM AA:LL not ready (C)

**説明：**特定の LSM が作動不能です。C は LSM が作動不能である理由を示します。理由には次のものがあります。

- 0 - 応答は LSM が作動不能であることを示しています
- 1 - 構成の不一致です
- 2 - 初期設定が失敗しました
- 3 - 通信が失われました
- 4 - 機構に障害があります
- 5 - LSM が初期化を行なえません - CAP のドアが開いています
- 6 - LSM が初期化を行なえません - プレイグラウンドを空にする必要があります
- 7 - LSM の容量の不一致があります
- 8 - キードアが開いています

**システムの処理：**LSM に関与する要求はすべて、LSM が作動可能になるか、または LSM がオフラインに強制変更されるまで、待ち状態に置かれます。

**ユーザーの処置：**LSM を作動可能にしてください。これが不可能な場合は、LSM をオフラインに強制変更して、手動モードにしてください。

**SLS0670I** Modify of LSM AA:LL pending (DDDDDDDD)

**説明：**LSM に対する変更処理がアクティブであるときに、さらに MODify lsm 要求が出されました。保留待ち行列は現在 DDDDDDDD の段階にあります。

**システムの処理：**変更処理は待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0671I** Vary of ACS {AA/AA station C...C} pending (DDDDDDDD)

**説明：**ACS に対する別の Vary 処理がアクティブであるときに、さらに Vary STation 要求または ACS 要求が出されました。Vary 処理保留待ち行列は現在 DDDDDDDD の段階にあります。

**システムの処理：**Vary 処理は、待ち行列の一番上に達するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0672E** LSM AA:LL {Drive XXXX|Driveid AA:LL:PP:NN} - needs cleaning

**説明**：指定のドライブに、クリーニングカートリッジを挿入する必要があります。トランスポートは、デバイスアドレス (XXXX) か、ドライブがホストに定義されていない場合はドライブ id (ドライブ AA:LL:PP:NN の ACS、LSM、パネル、および番号) で識別されます。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：トランスポートにクリーニングカートリッジをマウントします。



**注**：HSC の自動クリーニング機能は使用不能に設定されています。このメッセージが発行されないようにするには、HSC MNTD AUtocln(ON) コマンドで自動クリーニング機能を使用可能にしてください。

**SLS0673I** LSM AA:LL pending offline

**説明**：MODify lsm OFFline 要求が指定の LSM に出されましたが、その LSM は使用中でした。要求 (Mount 要求、DISMount 要求など) がアクティブであるか、または CAP が予約されたいたのかのいずれかです。

**システムの処理**：オフライン要求は待ち状態になります。使用中ではなくなった時点で、MODify lsm OFFline 要求は完了します。必要であれば、FORCE オプションを指定して MODify lsm OFFline を発行し、アクティビティーに関係なく、LSM をオフラインにしてください。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0674I** ACS AA Station C...C driver cannot run without ESTAE

**説明**：ステーションが、ESTAE 環境の確立に 3 回失敗しました。通常、回復可能エラーは、再試行ルーチンをスケジューリングする ESTAE ルーチンなしには回復できません。ステーションの動作が停止している場合は、HSC の停止 / 再起動をスケジューリングしてください。

AA は ACS 番号を指定します。

C...C は、ステーションアドレスを指定します。

**システムの処理**：処理は HSC については続行されますが、ステーションは非アクティブのままになります。

**ユーザーの処置**：この問題は、ACS をオフラインに変更したり、オンラインに戻すと、解決する場合があります。

**SLS0675E** LSM AA:LL CCC...CCC

**説明** : LSM の障害または部分的障害が、メッセージの可変テキスト部分に示されるように検出されました。

次に CCC...CCC のテキストとその説明を示します。

**Try MODIFY Again; Config Request Failed.**

上記の場合、SLSLCLSM が、データベースから LSM の現在の状況を入手するのに 3 回失敗しました。データベースが、LSM は自動モードにあることを示している場合でも、LSM は依然論理的にはオフラインになっています。

**Try MODIFY Again; Read LSM Status Failed.**

上記の場合、SLSLCLSM が、LSM から LMU の現在の状況を入手するのに 3 回失敗しました。データベースが、LSM は自動モードにあることを示している場合でも、LSM は依然論理的にはオフラインになっています。

**Try Modify Again When LSM Is Ready.**

上記の場合、SLSLCLSM が、LSM が作動不能であることを検出し、現在の状態では、LSM を論理的にオンラインにすることはできません。データベースが、LSM は自動モードにあることを示している場合でも、LSM は依然論理的にはオフラインになっています。

**Try MODIFY Again; Modify LSM Online Failed.**

上記の場合、SLSLCLSM が、LSM が作動可能であることを検出しながら、LSM をオンラインに変更するのに 3 回失敗しました。データベースが、LSM は自動モードにあることを示している場合でも、LSM は依然論理的にはオフラインになっています。

**Is Online, But CAP Query Failed.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、LSM のすべての CAP レコードに対する構成照会に失敗しました。CAP の予約 / 解放処理を行なうことはできません。

**Is Online, But Failed To Re-Reserve CAP CC.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、CAP CC はアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSM は、このホストに CAP CC を再予約するのに 3 回失敗しました。

**Is Online, But Failed To Lock CAP CC.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、CAP CC はアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSM は、CAP CC をロックするのに 3 回失敗しました。

**Is Online, But Failed To Unlock CAP CC.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、CAP CC はアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSM は、CAP CC をロック解除するのに 3 回失敗しました。

**Is Online, But Failed To Release CAP CC.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、CAP CC はアクティブではありません。LMU はこのホストが CAP CC を所有しているとみなし、SLSLCLSM は、それを解放するのに 3 回失敗しました。

**Is Online, But Carts. In Motion Not Resolved.**

上記の場合、LSM は現在オンラインになっていますが、SLSLCLSM は、転送中セットの読み取りに 3 回失敗しました。この LSM で失われたカートリッジが残っている可能性があります。

**システムの処理：**システムはすぐには処理を行いませんが、ホームセルに見つからなかったカートリッジには、後で自動的にエラント回復が呼び出されます。

**ユーザーの処置：**メッセージテキストの可変部分によって異なります。

次に CCC...CCC のテキストとその説明を示します。

**Try MODIFY Again ...**

この場合は、LSM ドアを開けてから閉めるか、または MODify lsm ONLINE を実行してください。これに失敗するか、すでに失敗している、あるいは LSM ロック不能というメッセージが出された場合は、ハードウェアが作動していることを前提として、MODify lsm OFFline(おそらく FORCE) と MODify lsm ONLINE を実行する必要があります。

**Is Online, But ...**

LSM はオンラインになっていますが、CAP が正しく再初期設定されなかったか、転送中セットを読み取れなかったかのいずれかです。エラント回復により、回復されなかったボリュームが自動的に見つけられます。これは、ただちにスケジューリングする必要はありませんが、オペレータは、エラーなしで、最終的に LSM をオフラインにしてからもう一度オンラインにする必要があります。

**SLS0676I Can't process requests; LMU server is terminating**

**説明：**LMU サーバーが、要求の処理に使用できません。タイミングによっては、LMU への要求を待ち行列に入れようとするタスクもあり得ますが、これらの要求は受け付けられません。

**システムの処理：**終了処理が続行します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0677I** LMU I/O Error *XXXX*, *XX1*, *XX2*, *XX3*, *XX4*, *XX5*

説明：LMU への出入力中に、入出力エラーが起きました。

<i>XXXX</i>	ステーションデバイス番号
<i>XX1</i>	発行された <i>CCW</i>
<i>XX2</i>	デバイス状況
<i>XX3</i>	チャンネル状況
<i>XX4</i>	センスバイト 0
<i>XX5</i>	センスバイト 1

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：必要であれば、StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。

**SLS0678I** LMU Attention Error *DDD*, *SS*

説明：デバイス *DDD* が、LMU アテンション割り込み処理中に、チャンネルまたはデバイス状況 *SS* を戻しました。

システムの処理：状況がアテンション標識を含む場合は、そのアテンションは処理されます。

ユーザーの処置：デバイスの問題が起きている可能性があります。StorageTek お客様サービス技術員に連絡してください。

**SLS0679E** Restart HSC sometime; an LMU server subtask has abended

説明：重要ではない資源が異常終了しました。HSC の再起動を適宜スケジューリングしてください。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：問題を起こしているステーションをいったんオフラインに変更してから、再びオンラインに変更してください。問題が続く場合は、当該異常終了を StorageTek に報告し、都合のよいときに HSC を再起動するようスケジュールしてください。

**SLS0680I** ABEND *XXX1*, *CCC1*, *XXX2*, *XXX3*, *CCC2*

**説明** : LMU サーバータスクが異常終了しました。

*XXX1* は、異常終了コードを示します。

*CCC1* は、異常終了した CSECT の名前を示します。

*XXX2* は、異常終了した CSECT の開始アドレスを示します。

*XXX3* は、異常終了した TCB のアドレスを示します。

*CCC2* は、異常終了した RB のアドレスで異常終了した PRB 名を示します。

**システムの処理** : 障害のあったタスクを終了させます。

**ユーザーの処置** : このメッセージは、LMU サーバー内で起こった異常終了について生成されます。別の HSC メッセージ内に、この *XXX1* 異常終了の重大度が示されます。

**SLS0681I** ORH interval expired: ACS *AA*, SEQNO *BBCCC*, *CCC1*, *CCCCCCCCCCCCCCCC*

**説明** : 要求の応答待ち時間間隔の期限が切れました。

*AA* ACSid

*BB* host-id

*CCC* アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。

*CCC1* 要求待ち状態にあった待ち行列名。  
**ACT** アクティブ要求待ち行列  
**WTG** 待機要求待ち行列  
**TMP** 一時停止待ち行列

*CCCCCCCCCCCCCCCC* EBCDIC 形式の LMU 要求データ

**システムの処理** : 処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0682D** ORH: ABORT/EXTEND/REDRIVE? ACS AA, SEQNO BBCCC, CCC1, CCC2, volser

**説明:** HSC が、応答待機時間間隔を過ぎた要求に対するシステムオペレータの処置を求めています。この要求の前に、メッセージ SLS0681I が出されます。

<i>AA</i>	ACSid
<i>BB</i>	host-id
<i>CCC</i>	要求の通し番号
<i>CCC1</i>	要求が応答を待っている問い合わせ。 <b>ACT</b> アクティブ要求待ち行列 <b>WTG</b> 待機要求待ち行列 <b>TMP</b> 一時停止待ち行列
<i>CCC2</i>	要求の種類。次のものがあります。 <b>DMT</b> デイスマウント <b>MNT</b> マウント <b>MOV</b> 移動 <b>SWP</b> スワップ
<i>volser</i>	カートリッジのボリュームシリアル番号

**システムの処理:** タスクは、オペレータが応答を入力するのを待ちます。

**ユーザーの処置:** 次に示す単語の最初の 1 文字以上を応答として入力できます。

<b>ABORT</b>	HSC は選択されたボリュームを解放して、オペレータが手動で指定変更コマンドを入力してカートリッジを移動できるようにします。
<b>EXTEND</b>	HSC は、LMU がこの要求を処理できるように、再び同じ応答待機時間間隔だけ待機します。
<b>REDRIVE</b>	HSC は、一時停止待ち行列の要求を、待機要求待ち行列に移動させ、要求を再実行できるようにします。要求が一時故障待ち行列にない場合、HSC は応答待ち時間間隔を延長し、オペレータは SLS0684I メッセージを受け取ります。

**SLS0683I** ORH aborted request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

**説明** : 要求は、未完了応答ハンドラによって異常終了しました。

*AA* ACSid

*BB* host-id

*CCC* アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。  
**ACT** アクティブ要求待ち行列  
**WTG** 待機要求待ち行列  
**TMP** 一時停止待ち行列

**システムの処理** : HSC は、選択されたボリュームを解放して、エラントボリュームにします。

**ユーザーの処置** : オペレータは、必要であれば指定変更コマンドを入力できます。

**SLS0684I** ORH interval extended: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

**説明** : 要求の応答待ち時間間隔は、未完了応答ハンドラによって延長されました。

*AA* ACSid

*BB* host-id

*CCC* アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。  
**ACT** アクティブ要求待ち行列  
**WTG** 待機要求待ち行列  
**TMP** 一時停止待ち行列

**システムの処理** : HSC は、LMU にさらに時間を与えて、この要求の処理を終了できるようにします。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0685I** ORH completed request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明：未完了応答ハンドラによって、要求は完了したものとマークされました。

AA ACSid

BB host-id

CCC アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。  
ACT アクティブ要求待ち行列  
WTG 待機要求待ち行列  
TMP 一時停止待ち行列

システムの処理：HSC は、要求を完了したものとマークします。

ユーザーの処置：なし

**SLS0686I** ORH redrive request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明：未完了応答ハンドラによって、要求が再び作動させられました。

AA ACSid

BB host-id

CCC アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。  
ACT アクティブ要求待ち行列  
WTG 待機要求待ち行列  
TMP 一時停止待ち行列

システムの処理：要求が再び一時停止待ち行列上に置かれた場合、必要なステーション経路、LMU、または LSM が作動不能であることを意味しています。

ユーザーの処置：適切な処理を行なって、必要なステーション (LMU または LSM) を作動可能にしてください。

**SLS0687I** Invalid reply <CCCCCCCC>

説明：文字列が、HSC によって認識されませんでした。

CCCCCCCC は、認識されなかった文字列を示します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS0688I** Invalid broadcast message received - *XX* (ignored)

**説明**：無効なブロードキャストメッセージが受け取られました。

*XX* は、ブロードキャストメッセージの無効な部分を説明するものです。

- 04 - 無効なタイプが受け取られました。
- 08 - 無効な番号が受け取られました。
- 0C - 無効な ACS が受け取られました。
- 10 - 無効な ACS が受け取られました。
- 14 - 無効なドライブ番号が受け取られました。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0689I** ORH request not on queue: ACS *AA*, SEQNO *BBCCC*, {ACT|WTG|TMP}

**説明**：要求が、もはや示された待ち行列上にありません。SLS0682D が未応答の状態、未完了応答が受け取られました。

<i>AA</i>	ACSid
<i>BB</i>	host-id
<i>CCC</i>	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 <b>ACT</b> アクティブ要求待ち行列 <b>WTG</b> 待機要求待ち行列 <b>TMP</b> 一時停止待ち行列

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0690E** ORH: no stations ready for redrive: ACS *AA*

**説明**：オペレータが、メッセージ SLS0682D に対して「REDRIVE」と応答しました。POST のために使用可能なステーションドライバーが探されましたが、HSC は、どのステーションも作動不能であると判別しました。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：オペレータは、ステーションの状況を調べる必要があります。HSC は、LMU との通信のために、作動可能なステーションを 1 つ必要とします。

**SLS0691I** Invalid UCB for station XXXX

**説明** : OPEN で無効なデバイスタイプが与えられました。SMS が導入されているシステムでは、ACS ルーチンが OPEN 要求を間違って変更した可能性があります。

**システムの処理** : ステーションは、オンラインに変更されません。

**ユーザーの処置** : ACS ルーチンが、デバイス優先スキームからステーション用デバイスを除外したところを確認してください。ACS ルーチンが存在しない場合は、StoregeTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0692I** Physical audit in progress for LSM AA:LL

**説明** : LSM の物理的監査が進行中であることが検出されました。これは LSM が作動可能になったとき、または Display LSM コマンドが発行されたときに発生する可能性があります。

**システムの処理** : LSM の物理的監査が完了すると、SLS0693I メッセージが表示されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0693I** Physical audit has completed for LSM AA:LL

**説明** : LSM の物理的監査が完了しました。

**システムの処理** : 行なわれたシステム動作はありません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0695I** CAPid AA:LL:CC CAP reserve overridden by the CLI/SLC

**説明** : 指定された CAP 用の CAP 予約は、サイトの管理者によって CLI または SLConsole を介して取り消されます。

**システムの処理** : この CAP に対するアクティビティーは、終了します。

**ユーザーの処置** : CAP が再び利用可能になった場合は、新しい要求に対して利用できます。

**SLS0696I** CAPid AA:LL:CC CAP door opened

**説明** : 指定の CAP が開かれました。

**システムの処理** : ENter または Eject は待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : CAP を空にするか、カートリッジを挿入してから閉めてください。

**SLS0697I** CAPid AA:LL:CC CAP door closed

説明：指定の CAP が閉じられました。

システムの処理：ENter または Eject は続けられます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0698I** Req ACS AA SEQ DD/DDD REQ CC CCCCCCCCCC Basic info.

```

LSM LL CCCCCC          A suffix
VOL volser SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX
TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX      B C D E suffix
LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC
                                K suffix
VOL volser                M suffix
TXT CCCCC....(X53)....CCCCC P suffix
HST DD CCCCCC            Q suffix
LSM LL                    R S ZG suffix
SEQ DD/DDD                V W suffix
LSM LL CAP CC             ZA ZB ZC ZD ZE suffix
LSM LL PNL PP             ZH suffix

```

説明：このメッセージは、正常に処理されなかった要求を表示するものです。LMU は、この要求を完了できませんでした。関連する SLS0699I メッセージが、障害の理由を含むエラー応答を記述しています。すべてのタイプの要求に対して、基本情報が示されます。要求のタイプによっては、接尾部が付加されて表示されるものもあります。また、接尾部がないものもあります。

基本情報 (すべての要求の):

Req ACS AA SEQ DD/DDD REQ CC CCCCCCCCCC

AA	ACSid
DD/DDD	ホスト ID/ 要求通し番号
CC	要求コード (下の表を参照)
CCCCCCCCC	要求する機能の記述 (下の表を参照)

要求コード要求する機能:

A	LSM の変更
B	マウント
C	マウント解除
D	スワップ
E	移動
K	カタログ
L	構成の読み取り
M	Volser 状況の読み取り
N	ACS 統計情報

P	ホスト間ブロードキャスト
Q	ホスト静止
R	移動カートリッジ読み取り
S	LSM 状況
T	LMU 状況
V	要求状況クエリー
W	要求の取り消し
X	要求の表示
ZA	CAP の予約
ZB	CAP の解放
ZC	CAP ロック解除
ZD	CAP ロック
ZE	CAP 状況
ZG	LSM PTP 状況
ZH	パネルによる LSM トランスポート状況
-	Unknown Req (未知の要求)

タイプ A 接尾部 (LSM 変更):

“LSM LL CCCCCC”

LL	LSM 番号 (10 進数)
CCCCCC	ONline/OFFline/FORCE

タイプ B、C、D、E 接尾部 (マウント、マウント解除、スワップ、移動):

“VOL *volser* SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX  
TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX”

<i>volser</i>	ボリュームシリアル番号
LL/PP:RR:CC	ソース / ターゲット LSM 番号 (10 進数) / パネル / CAPid: 行 : 列
CCC	CAP/CEL/DRV/RDO
CAP	CAP セル
CEL	標準ストレージセル
DRV	書き込み可能ドライブ
RDO	読み取り専用ドライブ
XXXX	ドライブチャンネル / デバイスアドレス (DRV/RDO のみ)

タイプ K 接尾部 (カタログ / セルスキャン):

“LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC”

LL	LSM 番号 (10 進数)
PP:RR:CC	開始 / 終了パネル : 行 : 列
CCC	CAP/CEL/DGN/DRV/PNL
CAP	CAP 走査
CEL	セル走査
DGN	診断セル
DRV	ドライブ走査
PNL	パネル全体のスキャン

**タイプ M 接尾部 (VOLSER 状況の読み取り) :**

“VOL *volser*”

*volser* ボリュームシリアル番号

**タイプ P (ホスト間の通知) :**

“TXT CCCCCC.....(x53).....CCCCCC”

CCC...CCC 最大 53 文字の通知メッセージ

**タイプ Q 接尾部 (ホスト静止) :**

“HST DD CCCCCCCC”

DD HOSTid  
CCCCCCCC 通常 / 指定変更

**タイプ R、S、ZG 接尾部 (移動カートリッジ読み取り、LSM 状況、LSM PTP 状況) :**

“LSM LL”

LLSM 番号 (10 進数)

**タイプ V、W 接尾部 (要求状況照会、取消し) :**

“SEQ DD/DDD”

DD/DDD ホスト ID/ 要求通し番号

**タイプ ZA、ZB、ZC、ZD、ZE 接尾部 (CAP 予約、解放、ロック、ロック解除、CAP 状況) :**

“LSM LL CAP CC”

LL LSM 番号  
CC CAP 番号

**タイプ ZH 接尾部 (パネルによる LSM トランSPORT 状況) :**

“LSM LL PNL PP”

LL LSM 番号 (10 進数)  
PP パネル番号 (10 進数)

**システムの処理 :** SLS0699I エラー応答を参照して、要求を自動的に再実行させるタイプのエラーがあるかどうかを調べます。それ以外の場合は、処理が HSC によって自動的に行なわれることはありません。

**ユーザーの処置 :** 対応は、障害のタイプによって異なります。続いて表示される同じ ACS、ホスト ID、および要求通し番号を持つメッセージ SLS0699I を参照して、このエラーからの回復を行なうために必要なタイプを判別してください。

**SLS0699I** Response ACS AA SEQ DD/DDD ERR DD/DD CCC...(x28)...CCC CCCCCCCCCCCC  
 LSM LL Cartridge Status Suffix  
 CCC DD/D Manual Recovery Suffix

**説明：**このメッセージは、以前に出されたメッセージ SLS0698I に示されている要求の完了を妨げるエラーについて説明するものです。すべてのタイプのエラーに対して、基本情報が示されます。「Cartridge Status」接尾部は、障害にあったカートリッジ移動要求に対して付加されます。「Manual Recovery」接尾部は、カートリッジが LSM の機構内でスタックした場合に付加されます。

基本情報 (すべてのエラータイプに対するもの):

AA	ACSid
DD/DDD	ホスト ID/ 要求通し番号
DD/DD	エラーカテゴリ / エラーコード (下記を参照)
CCC..(x28)..CCC	エラー記述テキスト (下記を参照)

エラー カテゴリ / コード エラーテキストの説明

01/xx — 無効パラメータエラーコード

01/01	プライマリ LSM が無効です
01/02	セカンダリ LSM が無効です
01/05	オプションまたは修飾子が定義されていません
01/06	LSM が無効です
01/07	パネルが無効です
01/08	行が無効です
01/09	列が無効です
01/10	ドライブが無効です
01/11	CAP 行が無効です
01/12	CAP 列が無効です
01/13	セルアドレスが無効です
01/14	ラベル修飾子が無効です
01/15	ソース修飾子が無効です
01/16	ソースタイプが不当です
01/17	宛先タイプが不当です
01/18	カタログセル範囲が不当です
01/19	VOLSER の文字が不当です
01/20	要求コードが無効です
01/21	トランザクション長が無効です
01/22	ホスト ID が無効です
01/23	要求の文字が不当です
01/24	ホスト ID が一致しません
01/25	通し番号が重複しています

01/26	予期しない要求またはメッセージ応答です
01/27	取り消し要求が不正です
02/xx - 構成エラーコード	
02/01	LSM が LMU 構成の中にありません
02/02	ドライブが存在しません
03/xx - CAP 操作手順エラーコード	
03/01	CAP が予約されていません
03/02	CAP がすでに予約されています
03/03	CAP が ENTER モードにあります
03/04	CAP が EJECT モードにあります
03/05	CAP 移動がアクティブです
03/06	CAP ドアが開いています
03/07	CAP カタログが進行中です
03/08	REL 要求による ENTER 中止ができません
03/09	CAP を解放できません。ドアが開いています (ドアが完全に閉まっていない可能性があります)
03/10	ENTER を取り消すことができません
03/11	CAP マガジンがありません
04/xx - 一般手順エラーコード	
04/01	LSM が作動不能です
04/02	LSM が保守モードにあります
04/03	LSM がオフライン保留中です
04/04	LSM がオフラインです
04/05	ドライブがいっぱいです
04/06	接続しようとした LSM が利用不能です
04/07	複数の LSM 要求が保守モードにあります
04/08	経路が拒否されました、完全な PTP デッドロックです
04/10	カートリッジ Volser が回復不良です
04/11	要求が最大数を超えました
04/12	静止ホストがすでにアクティブです
04/13	静止ホストが指定変更されました
04/14	最大のボリュームシリアル番号読み取り要求がアクティブです
04/15	要求の取り消しが保留になっています
04/16	取り消し要求によって取り消されました
04/19	VOLSER が予測に反して読み取り可能です
04/20	VOLSER の読み取り不良です
04/21	VOLSER が一致していません
04/22	セルがいっぱいです
04/23	セルが空です
04/24	ドライブが空です
04/25	ドライブがアクティブです
04/26	ドライブが巻き戻されていません
04/27	カートリッジがマウントされていません
04/28	メディアが一致しません

- 04/29       メディアとボリュームシリアル番号が一致しません  
04/30       メディア/ドライブに不整合が存在します
- 05/xx – LMU ハードウェアエラーコード
- 05/01       拒否されました。ノードに LSM がありません  
05/02       拒否されました。LSM ID が不正です  
05/03       拒否されました。LSM が通信を行なっていません  
05/04       拒否されました。伝送エラーです  
05/05       拒否されました。応答がありません  
05/06       拒否されました。LAN が稼働していません  
05/07       拒否されました。バッファが不足しています  
05/08       拒否されました。オーバーフローです  
05/09       拒否されました。コマンドに対し応答がありません  
05/10       拒否されました。LSM が強制的にオフラインにされました  
05/11       CAP ロック解除がすでにアクティブです
- 06/xx – LMU 論理エラーコード
- 06/01       定義されていない割り振り要求です  
06/02       修飾バイト 0 が不正です  
6/03       修飾バイト 1 が不正です  
6/04       修飾バイト 2 が不正です  
6/05       LSM がオンラインになっています  
06/06       オフライン保留が指定変更されました  
06/10       LMU 構成に未知のパネルタイプがあります  
06/11       LMU 論理問題が検出されました  
06/12       パススルーポートセルがいっぱいです  
06/13       パススルーポートセルが空です  
06/15       動的タスクがメールボックスがいっぱいになったことを検出しました  
06/16       割り振りの保留がタイムアウトしました  
06/17       LSM コマンド保留のタイムアウトです  
06/20       経路が論理的に使用できません
- 07/xx – LSM ロボットエラーコード
- 07/01       アームの誤動作です  
07/02       ハンドの誤動作です  
07/03       パススルーポートの誤動作です  
07/04       パススルーポートが存在しません  
07/05       CAP の誤動作です  
07/06       たどりつく方法がありません  
07/07       要求された要素の誤動作です  
07/08       ロボット動作が失敗しました  
07/09       Put が不正です  
07/10       Get が不正です  
07/11       リーチリトラクションが不正です  
07/12       リーチエクステンションが不正です  
07/13       パススルーポート位置のエラーです  
07/14       作動可能なハンドがありません

07/15      ドライブがカートリッジを見つけられませんでした  
 07/16      移動先の特定に失敗しました  
 07/17      リーチが危険な位置にあります  
 07/18      セル再統合が失敗しました

## 08/xx – LSM ハードウェアエラーコード

08/01      LSM が応答しませんでした  
 08/04      CAP ロック解除スイッチの過負荷です  
 08/05      ロック解除が失敗しました  
 08/06      ロックが失敗しました  
 08/07      ドライブが通信を行なっていません  
 08/08      テープデバイスインタフェースの障害です  
 08/09      メモリーへのイメージのコピーが失敗しました

## 09/xx – LSM 論理エラーコード

09/01      Get 応答での LSM が間違っています  
 09/02      応答パケットタイプがありません  
 09/03      応答のタスク ID が間違っています  
 09/04      応答の機能 ID が間違っています  
 09/05      応答のセルアドレスが間違っています  
 09/06      LSM がオフラインです  
 09/07      セル位置が不正です  
 09/08      未知の終了状況です  
 09/09      LSM が無効な応答を返しました  
 09/10      CAP メッセージが非論理的です  
 09/16      終了状況が障害を示しています  
 09/17      終了状況が使用中を示しています  
 09/18      コマンドが不正です  
 09/19      コマンドのパラメータが不正です  
 09/20      アドレスタイプが不正です  
 09/21      パネル、行、または列が不正です  
 09/22      アームは現在予約されています  
 09/23      CAP は現在予約されています  
 09/24      ポート 1 は現在予約されています  
 09/25      ポート 2 は現在予約されています  
 09/26      プレイグラウンドは現在予約されています  
 09/43      LSM がオンラインになっています  
 09/44      LSM が保守モードにあります  
 09/45      LSM がオフラインです  
 09/46      LSM アクセスドアが開いています  
 09/47      LSM が初期設定されていません  
 09/50      セル位置が存在していません  
 09/51      ハンドがいっぱいです  
 09/52      ハンドが空です  
 09/53      ドライブがいっぱいです  
 09/55      ドアはすでにロック解除されています  
 09/56      アイドルモードではロック解除できません

09/57 ドアが開いています  
 09/58 ドアはすでにロックされています  
 09/60 すでにアイドルモードにあります  
 09/61 すでに EJECT モードにあります  
 09/62 すでに ENTER モードにあります  
 09/63 ENTER モードではイジェクトできません  
 09/64 EJECT モードではエンターできません  
 09/60 アイドルモードでドアはロックされません  
 09/70 ドライブパネルではありません  
 09/71 指定のアドレスに使用可能なドライブがありません  
 09/72 ドライブコマンドの指定が無効です  
 09/75 アクティブなままデータを渡しています  
 09/76 巻き戻しできません  
 09/77 アンロードできません  
 09/78 ドライブは書き込み保護を処理できません  
 09/79 ドライブは現在予約されています

10/xx - ドライブエラーコード

10/01 ドライブが通信を行なっていません  
 10/02 ドライブが作動していません  
 10/03 ドライブへの要求が保留になっています  
 10/04 ドライブが割り振られています  
 10/05 ライブがカートリッジをロードしました  
 10/10 ドライブがカートリッジをロードできません  
 10/11 ロード/アンロードが進行中です  
 10/12 特殊使用カートリッジでのロード障害です  
 10/13 メディアエラーによってマウント障害が発生しました  
 10/14 ドライブの保守が必要です

カートリッジ状況接尾部 ( カートリッジ移動要求の場合 ):

"CCCCCCCCCCCC LSM LL"

CCCCCCCCCCCC カートリッジ状況記述子 :

Cart Not Mvd	カートリッジが移動されたことはありません
In Recovery	カートリッジを回復中です
Retd To Src	カートリッジはソースに返されました
Stuck In Mch	カートリッジは機構内でスタックしています
Unk End Stat	未知のカートリッジ終了状況です
LL	カートリッジが現在ある LSMid

手動復旧の接尾辞 ( 機械的障害後 )

CCC DD/	機構のカートリッジがスタックしています。
HND D	ロボットハンド (0/1)
PTP DD	パススルーポートパネル (01-11)
DRV DD/D	パネル (01-11) とドライブ (0/3)

**システムの処理** : HSC によって、自動的に処理が行なわれることはありません。



**注** : 04/01 エラーで終了する要求は一時停止待ち行列に入れられ、影響を受けた LSM が再び作動可能になったときに、自動的に再実行されます。04/11 または 10/03 エラーで終了する要求は、待機要求待ち行列に入れられ、10 秒後に再実行されます。これらの要求は、最終的に別のエラーで終了しないかぎり、SLS0698I および SLS0699I メッセージでは報告されません。

**ユーザーの処置** : 起こったエラーのタイプによって異なります。

エラーが CAP のドアが開いていることによるものである場合は、その CAP ドアを確実に閉めてラッチしてください

SWitch ACS が出されたあとに CAP の 03/01 エラーが発生した場合は、Enter または Eject が進行中にライブラリコントローラを切り替えるため、CAP の手動回復の手順について『HSC 6.2 オペレータガイド』を参照してください。

SWitch ACS が出されたあとに CAP の 07/05 エラーが発生した場合は、CAP が自動モードの間にライブラリコントローラを切り替えるため、CAP の手動回復の手順について『HSC 6.2 オペレータガイド』を参照してください。

パラメータエラーがあった場合は、適切なパラメータを変更して、要求を再実行してください。

タイミングの問題があった場合は、問題のデバイスが使用可能になってから、要求を再実行してください。

ハードウェアの問題が示された場合は、障害のあった要求を再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

HSC または LMU のソフトウェアの問題が示された場合は、障害のあった要求を再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

## SLS0702I DDname CCCCCCCC failed to open

**説明** : 指定のファイルをオープンしようとしたましたが、失敗しました。

**システムの処理** : オープンしようとするファイルのデータセット名の妥当性を検査します。

**ユーザーの処置** : ACS サブシステムを再起動してみてください。それでもエラーが起これる場合は、システムプログラマに相談して援助を求めてください。さらにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

## SLS0704E Unable to acquire any ITT blocks; all are owned by host CCCCCCCC

**説明** : プライマリ制御データセットの探索によって、ITT ブロックの大半が、指定のホストに所有されていることがわかりました。

**システムの処理** : ITT ブロックを解放するよう、リストされたホストを起動しようとします。

**ユーザーの処置** : HSC サブシステムを再起動させてください。

### SLS0707I VARINUSE flag off

説明：ACS 制御データセットのボリュームレコードを更新しようとしたのですが、使用中のフラグが設定されていませんでした。

システムの処理：この試みは中止されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### SLS0708I VARVOL mismatch

説明：ボリュームレコードの書き込みを試みましたが、そのレコード内のボリュームシリアル番号が、パラメータリスト内のボリュームシリアル番号と一致しませんでした。

システムの処理：この試みは中止されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### SLS0712I DCH invalid

説明：制御データセットの更新を試みましたが、エラーが起きました。

システムの処理：更新処理は終了します。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### SLS0713I VAR area overflow

説明：制御データセットへのボリュームの追加を試みましたが、エラーが起きました。

システムの処理：ボリュームの追加処理は終了します。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### SLS0714I DCHFOLL invalid

説明：次の待ち行列項目を見つけようとしたときに、エラーが起きました。

システムの処理：制御データセット要求は中止されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0715I** Database {switch|expand} complete

**説明：**CDS コピーの追加、削除、名前の変更、再配置などの作業 (switch)、または CDS の拡張作業 (expand) が完了しました。マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、このメッセージが出力されます。

**システムの処理：**CDS 切り替えまたは拡張作業が、すべての HSC アクティブホスト上で完了します。

**ユーザーの処置：**切り替えがエラーによって起こる場合は、エラーを訂正してから、CDS Enable オペレータコマンドを入力して、データセットを HSC から使用可能となるように戻します。また、切り替えまたは拡張作業は、オペレータコマンドを使用して意図的に行なうこともできます。

**SLS0717I** Database reconfiguration required; expecting *V1.R1.M1.bb* and found *V2.R2.M2.bb*

**説明：**制御データセット再構成が、HSC の現在のリリースには必要ですが、まだ実行されていません。

*V1.R1.M1.bb* = このソフトウェアに必要なバージョン、リリース、および変更レベル  
*V2.R2.M2.bb* = 制御データセットに指定されているバージョン、リリース、および変更レベル

**システムの処理：**サブシステムは終了して、7004 戻りコードが返されます。

**ユーザーの処置：**HSC ソフトウェアの現在のリリースに必要な再構成プログラムを実行してください。

**SLS0719I** Attach for Insert/Delete User Exit 06 Server failed, RC=XX

**説明：**挿入 / 削除ユーザー出口サーバールーチン (SLSDXIT6) が接続されようとしてしました。XX は ATTACH マクロからの戻りコードを示します。

**システムの処理：**ユーザー出口 06 コードは使用できません。

**ユーザーの処置：**接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。出口ルーチンをアクティブ化するには、HSC を再起動する必要があります。問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS0720I Insert/Delete server routine - CCC...CCC

**説明：**挿入 / 削除ユーザー出口 06 サーバルーチン (SLSDXIT6) の ESTAE が、異常終了のため呼び出されました。CCC...CCC は、30 バイトのフィールドで、次のいずれかが含まれます。

#### SLSDXIT6 EXIT SERVER ABEND

- SLSDXIT6 挿入 / 削除サーバーで異常終了が検出されました。

#### ABEND WITHOUT SDWA

- SLSDXIT6 挿入 / 削除ユーザー出口サーバタスクで異常終了が検出されましたが、システムが、SDWA を持つ ESTAE ルーチンを提供しませんでした。

**システムの処理：**ユーザー出口 06 は使用不能になります。

**ユーザーの処置：**すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS0721I Insert/Delete User Exit 06 DISABLED, "Invalid Function" Return Code

**説明：**挿入 / 削除ユーザー出口は、ユーザー出口 06 コードが、HSC 出口サーバタスクによってユーザー出口に無効な入り口タイプ (機能コード) が渡されたことを示す戻りコードを返したため、使用不能になりました。

**システムの処理：**ユーザー出口 06 は使用不能になります。

**ユーザーの処置：**ユーザー出口 06 のユーザー作成コードを調べて、戻りコードの 16 進値 FF がコーディングエラーでないことを確認してください。該当する場合は、ユーザー出口 06 を修正して動的に再ロードしてください。コーディングエラーがない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。



**注：**ユーザー出口 06 の動的ロード / 再ロードは、HSC JCL デッキに「SLSUEXIT」DD カードが含まれている場合にのみ可能です。

### SLS0723I ESTAE creation failed in SLSDXIT6

**説明：**挿入 / 削除ユーザー出口サーバルーチン (SLSDXIT6) が、ESTAE を確立しようとしたのですが、ESTAE の作成は失敗しました。異常終了への入口レジスター 2 には、ESTAE 戻りコードが含まれます

**システムの処理：**ユーザー出口 06 は使用不能になります。

**ユーザーの処置：**レジスター 2 の戻りコードをチェックして MVS ESTAE マクロからの戻りコードを調べ、エラーがあればそれを訂正してください。問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0724I** Invalid entry type passed to user exit SLSUX06

**説明：**これは内部エラーです。挿入 / 削除ユーザー出口サーバルーチン (SLSDXIT6) が、SLSUX06 に無効な機能入りロタイプを渡しました。異常終了への入口のレジスター 2 には、無効なコードが含まれます。

**システムの処理：**ユーザー出口 06 は使用不能になります。

**ユーザーの処置：**すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0725E** Too many errant volumes in ACS AA

**説明：**ACS AA に含まれるエラントボリュームが多すぎます。エラントボリュームの数を減らさないと、ボリュームを追加できません。

**システムの処理：**エラント情報セットへの追加は行なわれません。

**ユーザーの処置：**LSM を OFFline/ONline に変更するか、あるいはボリュームレポートにリストされたエラントボリュームを Mount または EJECT して、エラントボリューム回復を呼び出してください。ボリュームが見つからない場合は、それらをライブラリから論理的にイジェクトしてください。

**SLS0726I** Invalid ACSid in DESAD

**説明：**エラント情報レコードを追加するための計算で、使用中の ACSid が無効であることがわかりました。

**システムの処理：**エラント情報セットの追加は中止されます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0730I** Permanent error attempting to write database

**説明：**HSC が CDS へのハートビートレコードの書き込みを行なおうとして、永続 I/O エラーが起きました。

**システムの処理：**HSC は異常終了します。

**ユーザーの処置：**コンソールログをチェックして、I/O エラーの原因を判別してください。エラーが見つからず訂正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0738D** Confirm RECOVER for host CCCCCCCC, reply YES or NO

説明：RECOVER ホスト ID FORCE がオペレータによって要求されました。

システムの処理：このメッセージは、RECOVER ホスト ID が要求されたことの確認を求めています。

ユーザーの処置：ホスト CCCCCCCC が本当にダウンしているか判別してください。

本当にダウンしている場合は、回復を行なうには YES と応答してください。



注：アクティブホストの回復を行なうと、制御データセットを破壊する場合があります。

回復を取り消すには、NO と応答してください。

次のメッセージが表示されます。

SLS085II Cross Host Recovery not needed for host CCCCCCCC.

これは、障害を起こしたホストのために回復する資源はないことを示しています。適切な回復フラグが設定され、障害を起こしたホストは、再起動されるまで制御データセットの更新はできません。

**SLS0745I** Duplicate volume volser found in database is being deleted

説明：VOLSER *volser* のボリュームレコードがハッシュシャッフル中に重複作成されました。

システムの処理：重複するボリュームレコードは自動的に削除されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0746I** Stray footprint volser found in database is being erased

説明：VOLSER *volser* のボリュームレコードは、ハッシュ圧縮のために移動されます。重複は見つかりませんでした。

システムの処理：フットプリントは自動的に消去されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS0747I** Unexpected empty VAR block

説明：ボリューム削除中に、深刻な論理エラーが起きました。

システムの処理：異常終了コードの 1096 と理由コードの 747 を出します。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0750I** SLSWMRT INTERFACE ERROR; PLIST=XXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXX2, REASON=XX

**説明：**サブシステムメッセージ書き出しルーチンで、インタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。

XXXXXXXX1 は、メッセージ書き出しルーチンに与えられたパラメータリストのアドレスを示します。

XXXXXXXX2 は、レジスタ保管域のアドレスで、メッセージ書き出しルーチンのエントリポイントにおけるレジスタ内容を含みます。

XX は、次のような特定のエラー理由コードを示します。

- 01 - 制御ブロックの頭字語が無効です
- 02 - 処理要求タイプが無効です
- 03 - 応答域アドレスが無効です
- 04 - 応答 ECB アドレスが無効です
- 05 - 応答長が無効です
- 06 - 未知のメッセージ ID です
- 07 - MLWTO のラベルテキストが与えられていません

**システムの処理：**メッセージ要求は中止されます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0751I** SLSWMRT MLWTO ERROR; PLIST=XXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXX2, R15=XX

**説明：**複数行の出力を要求しているときに、WTO からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。これは内部エラーです。

XXXXXXXX1 は、メッセージ書き出しルーチンに与えられたパラメータリストのアドレスを示します。

XXXXXXXX2 は、レジスタ保管域のアドレスで、メッセージ書き出しルーチンのエントリポイントにおけるレジスタ内容を含みます。

XX は、WTO からの戻りコードです。

**システムの処理：**メッセージ要求は中止されます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0752I** SLSWMRT Unknown message SLSNNNN from module CCCCCC

**説明：**メッセージ NNNN を出すよう要求されましたが、このメッセージは、SLSWMRT に指定されたメッセージテーブル内にありませんでした。

**システムの処理：**ダンプが取られ、処理は続けられます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0760I** {DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} BDAM parm error; Unit XXXX; Vol  
volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD

**説明**：メッセージテキスト内に表示された制御データセット、またはジャーナルに対する READ または WRITE 中に、入出力エラーが起きました。処理は正しく完了しませんでした。制御データセットがオンラインでアクセス可能な状態にあるかどうかを確認してください。

**システムの処理**：サブシステムが ABEND を発行します。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0761E** {DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} Permanent error; Unit XXX; Vol  
volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD

**説明**：メッセージテキスト内に表示された制御データセットまたはジャーナルファイルに対し、I/O エラーが起きました。

**システムの処理**：制御データセットまたはジャーナルの切り替えが、自動的に行なわれます。

**ユーザーの処置**：各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

**SLS0762E** DATABASE {READ|WRITE|INVALID DATA} error RC= XX

**説明**：制御データセットファイルの 1 つに対する READ または WRITE 処理中に、I/O エラーが起きました。制御データセットファイルの 1 つが正常に READ 処理された可能性もありますが、データブロックは誤っていると判別されました。RC は、DECB 完了コードフィールド (DECCC2) の 2 番目のバイトにある、I/O 操作からの 16 進数の戻りコードを示します。このファイルに対する、I/O 操作は完了しませんでした。

**システムの処理**：制御データセットの切り替えが自動的に行なわれ、SDUMP が作成されますが、HSC の処理は続けられます。このメッセージのあとには、エラーが発生した制御データセットを示す別のメッセージが続きます。データブロックが誤りと判別された場合、SDUMP は取られません。SLS0761E が生成され、データベースの切り替えが呼び出されます。

**ユーザーの処置**：不良制御データセットを回復する場合は、各導入システムでの障害回復手順に従ってください。SDUMP を保存してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0764I** Switching journals; either backup the database or offload the  
journal(s)

**説明**：2 つのジャーナルのうち現在のものがいっぱいであるため、もう一方のジャーナルが、新しい現在のジャーナルになりつつあります。ジャーナルが使用不能の場合、BACKUP または OFFLOAD ユーティリティが実行されるまでは、記録は中断されません。BACKUP または OFFLOAD ユーティリティを実行すると、ジャーナルデータセットはリセットされて、トランザクション記録が自動的に使用可能になります。

**システムの処理**：ジャーナル切り替えが行なわれます。

**ユーザーの処置**：制御データセットのバックアップを作成するか、またはいっぱいになったジャーナルをオフロードしてください。

**SLS0765E** Journal DSname CCCCCCCC is DDD% full

**説明**：現在アクティブなジャーナルの使用率が DDD% です。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：現在使用中のジャーナルファイルは、いっぱいになろうとしています。代替ジャーナルがいっぱいになった場合、制御データセットのバックアップを作成するか、またはジャーナルをオフロードしてください。

**SLS0766E** Cannot switch journals; both journals have now had I/O errors

**説明**：現在のジャーナルに I/O エラーがありましたが、もう一方のジャーナルにも入出力エラーがあるため、ジャーナルの切り替えを行なうことができませんでした。

**システムの処理**：異常終了コードの 1096 と理由コードの 733 を出します。

**ユーザーの処置**：各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

**SLS0767E** Cannot switch journals; journal DSname CCCCCCCC has not been reset

**説明**：両方のジャーナルがいっぱいです。ジャーナル処理を続けられません。

**システムの処理**：PARMLIB で JRNDEF FULL=Abend が指定されている場合、HSC は異常終了 1096、理由コード 736 を発行します。JRNDEF FULL=Continue が指定されている場合、ジャーナル処理は中止されます。HSC は、ジャーナル処理を行わずに通常通り処理を続けます。

**ユーザーの処置**：異常終了コードを受け取ったら、制御データセットのバックアップを前よりも頻繁に行なってください。Continue が指定されている場合は、すべてのデータセットのバックアップを実行してください。ジャーナル処理は自動的に続けられます。

**SLS0768E** Error follows journal switch

**説明**：ジャーナル切り替えの直後にジャーナル処理の I/O エラーが起きました。

**システムの処理**：異常終了コードの 1096 と理由コードの 735 を出します。

**ユーザーの処置**：各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

**SLS0769I** Neither journal has been reset; you must backup the database to reset them

**説明**：HSC 初期設定時に、ジャーナル初期設定ルーチンが、いずれのジャーナルもいっぱいであることを判別しました。

**システムの処理**：FULL=ABEND が JRNDEF に指定されていると、HSC は終了します。FULL=CONTINUE が JRNDEF に指定されていると、HSC はジャーナル処理が使用不能のまま続行します。詳細は、『HSC システムプログラマーズガイド』の「JRNDEF」の項を参照してください。

**ユーザーの処置**：HSC BACKup ユーティリティーを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。HSC サブシステムを再起動させてください。

**SLS0770I** One journal is full; you must backup the database to reset the journals

**説明** : HSC 初期設定時に、ジャーナル初期設定ルーチンが、ジャーナルの1つがいっぱいであることを判別しました。

**システムの処理** : HSC の初期設定は、もう一方のジャーナルを使用して続けられます。

**ユーザーの処置** : HSC BACKup ユーティリティを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。

**SLS0805I** {LET|EET|EOM} Subsystem Exit Not Used; RC=XXXXXXXX

**説明** : HSC サブシステム初期設定中、アドレス空間通信コンポーネント (ASCOMM) が、サブシステム機能ルーチンを、指定の SSREQ サブシステム出口/ブロードキャストに導入できませんでした。

LET - タスクの遅い終了、機能コード 4

EOM - メモリーの不足、機能コード 8

EET - タスクの早い終了、機能コード 50

XXXXXXXX=12 - サブシステムの機能コードスロットの数がゼロでした。8 - サブシステムに定義された機能コードスロットは、すべて使用されています。

**システムの処理** : ASCOMM は初期設定されますが、回復機能、{LET|EET|EOM} のいくつかが使用不能になります。

**ユーザーの処置** : 各導入システムのプログラミングスタッフに問題を報告してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS0810I** XXXXXXXX1 Abend CCCCCCCC, XXXXXXXX2, XXXXXXXX3

**説明** : アドレス空間通信 (ASCOMM) コンポーネントが異常終了を検出しました。

XXXXXXXX1 異常終了の完了コード

CCCCCCCC モジュール名

XXXXXXXX2 エラー時の PSW の下半分

XXXXXXXX3 エラー時の現行 TCB.

**システムの処理** : ASCOMM 要求は終了します。

**ユーザーの処置** : StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。この ABEND に関連する SDUMP が取られている場合もあります。ダンプがある場合は、問題の診断を行なうときのために、このダンプのコピーを保管しておいてください。

**SLS0850I** Host CCCCCCCC is active

**説明：**ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストはアクティブであると識別されました。

**システムの処理：**ホスト間回復は実行されません。

**ユーザーの処置：**当該ホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。ホストが非アクティブな場合にかぎり、RECOVER ホストコマンドに FORCE オプションを指定してもう一度実行してください。



**注意：**FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定する前に、指定したホストが実際に非アクティブであることを確認してください。

アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上の HSC を再起動する必要があります。テーブルアクティビティが行なわれたとき、またはそのホスト上で HSC が再起動されたときに異常終了の原因となるので、回復されたホスト上では、データベースアクティビティは禁止されています。

**SLS0851I** Cross host recovery not required for host CCCCCCCC

**説明：**ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストで進行中の作業がありませんでした。

**システムの処理：**ホスト間回復は実行されません。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0852I** Cross host recovery in progress for host CCCCCCCC

**説明：**指定されたホストで、ホスト間回復が実行中です。

**システムの処理：**ホスト間回復が実行中です。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0853I** Cross host recovery complete for host CCCCCCCC

**説明：**ホスト間回復が、指定されたホストで完了しました。

**システムの処理：**ホスト間回復が完了しました。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0854D** Volume *volser* not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)

**説明：**回復処理において、指定されたボリュームが、ライブラリ内に存在しないことがわかりました。ボリュームをデータベースから論理的に削除するかどうかを決めなければなりません。

**システムの処理：**回復処理は、オペレータが Delete または Ignore を応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

- D この応答により、ボリュームは CDS から削除されます。ボリュームがライブラリ内にないことが確実な場合、これが最善の応答です。

**注意：**

ボリュームがまだライブラリにある場合、欠落したボリュームを見つけるには、AUDIT または手動介入が必要なことがあります。

ほかの処置メッセージが出されることもあり、その場合、指定ボリュームを論理的に削除した結果としてオペレータの応答が必要になります。

- I この応答では、ボリュームに対する要求は無視されます。ボリュームの位置が不確実な場合、これが最善の応答です。このメッセージは、ボリュームが見つからなければ再表示されます。さしあたってジョブは、ボリュームが見つけれマウントされるまで待ち状態になります。

**SLS0856D** No available CAP in ACS AA for LSM LL; Retry or Cancel (R/C)

**説明：**回復処理において、ボリュームをイジェクトするために CAP が必要となりましたが、選択できる CAP がありませんでした。CAP はオフライン LSM にあるか、優先順位がゼロであるか、またはすべて割り振られているかのいずれかです。

**システムの処理：**回復処理は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**CAP を使用可能にできる場合、CAP を DRAIN する、LSM をオンライン状態に変更する、または CAPPREF コマンドを使用して CAP にゼロ以外の優先順位を与えるなどの処理を行ない、そのあとで「R」と応答してください。

どの CAP も使用可能にできない場合は、「C」と応答してください。

初期設定中にこの状態が発生して、CAP を使用可能にできない場合は、「C」と応答してください。

サブシステムが初期設定を完了したら、CAP を使用可能にして、LSM をオフラインに変更してからオンラインにしてください。

**SLS0857I** Invalid reply C

**説明：**メッセージに対する応答が無効でした。

**システムの処理：**応答を必要としていた元のメッセージが、再表示されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0858I** Invalid HOSTid CCCCCCCC

**説明：**指定したホストにホスト間回復が要求されましたが、そのホストが同一のホストであるか、あるいはライブラリソフトウェアに定義されていないホストです。

**システムの処理：**ホスト間回復は実行されません。

**ユーザーの処置：**正しいホスト ID を指定してコマンドを再実行してください

**SLS0860D** Non-OCR volume *volser* not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)?

**説明：**回復処理において、非 OCR ラベルの付いたボリューム (*volser*) が、ライブラリー内に存在しないことがわかりました。ボリュームをデータベースから削除するかどうかを決定しなければなりません。

**システムの処理：**回復処理は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**ボリュームをデータベースから削除する場合は「D」、それ以外の場合は「I」と応答してください。回復処理を再び呼び出したときに、ボリュームがまだ見つかっていないと、このメッセージが再表示される可能性があります。

**SLS0863I** Subtask attach failure; RC=XXXXXXXX; Subsystem not started

**説明：**サブシステムの開始時に、タスクの ATTACH が失敗して、メッセージテキスト内に表示の戻りコードが返されました。

**システムの処理：**サブシステムは終了します。

**ユーザーの処置：**システムプログラマに通知してください。

**SLS0864I** Errant recovery of *volser* - Unable to scan {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; it is loaded

**説明：**エラントボリューム *volser* の位置を調査中、ドライブにカートリッジがロードされていることがわかりました。

**システムの処理：**ボリュームのエラント回復処理は終了します。

**ユーザーの処置：**ドライブからカートリッジをアンロードしてから、エラント回復を再実行してください。MVS において、ドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM 環境においてドライブをアンロードするには、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

**SLS0865I** Attached task failure; RC=XXXX

**説明**：回復処理中、指定された機能の実行を受け持つタスクが正常に終了せず、メッセージテキスト内に表示の戻りコードが返されました。

**システムの処理**：システムダンプが取られます。そのほかの回復処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：システムプログラマに通知してください。問題の診断を行なうときのためにこのダンプのコピーを保管しておいてください。

**SLS0866I** Host recovery already in progress for HOSTid CCCCCCCC

**説明**：RECover host コマンドが指定のホストに対して出されたとき、そのホストに対するホスト回復処理がすでに行なわれていました。

**システムの処理**：2 番目の RECover host コマンドは終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0867E** Attempting to locate errant volume volser

**説明**：HSC は位置が不明確となったボリュームをエラントボリュームとして認識しました。この原因は多数考えられます。例えば、LSM がオフラインに変更された、HSC がキャンセルされた、あるいは LMU または LSM でエラーが起こったなどです。HSC は現在、このボリュームの位置を調査中であり、このメッセージが出されました。

**システムの処理**：処理は続行されます。このメッセージは、探索処理が完了すると、消滅 (DOM) します。

HSC は、ACS 内にそのボリュームがないことを確認すると、メッセージを出して、ボリュームを制御データセットから削除できるようにします。



**注**：メッセージは、HSC がボリュームのあると思われる位置をスキャンできない場合には、出されません。例えば、ボリュームがオフライン LSM 内またはカートリッジがロードされたドライブ上にあると考えられ、そのボリュームがほかのどこにも見つからなかった場合は、メッセージは出されません。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS0868I** LMU error XXXXXXXX ACS AA

**説明**：HSC が ACS AA への要求を出す際にエラー XXXXXXXX が発生しました。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS0869D** Errant recovery of *volser* - {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} is loaded; reply Retry, Ignore, or Dismount (R/I/D)

**説明：**ボリューム *volser* の回復処理中、ドライブ XXXX またはドライブ IDAA:LL:PP:NN にカートリッジがロードされていることがわかりました。これは、外部ラベルがロボット視認制御機構によって読み取れないことを示しています。

**システムの処理：**回復処理はオペレータが応答するまで、待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**巻き戻しおよびアンロードの処理をドライブが終了している場合、「R」と応答してディスマウントを再実行してください。

ボリュームがドライブにあり、しかもどのプロセッサのジョブにも割り振られていないことが分かっている場合、「D」と応答してそのボリュームを強制的にディスマウントしてください。

ドライブが使用中の場合は、このメッセージには「I」と応答し、ジョブがドライブ上のボリュームに対する処理を終了するまで待ってください。

誤動作のためにドライブをアンロードできない場合、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアお客様サービスに連絡して、このメッセージには「I」と応答してください。

ボリュームがドライブ上に存在しない場合は、「I」と応答してください。



**注：**「I」と答えると、HSC はボリュームに対する現在のエラント回復の試みを中止し、エラントのまま残します。この応答は持続的効果を持ちません。このメッセージは、ドライブがロードされ、ボリュームがそのドライブ上にあるかぎり、以後にエラント回復を行なおうとすると再び出されます。

**SLS0870I** Errant recovery of *volser* - an audit of the locations associated with the volume may be required

**説明：**エラントボリューム *volser* の位置を調査するためにエラント位置をスキャンしましたが、ボリュームの位置を特定できませんでした。エラント回復ルーチンが、2つの位置に同じ OCR 可読ボリュームシリアル番号を見つけたか、または、両方の位置に読み取り不能なボリュームシリアル番号があったかのいずれかです。

**システムの処理：**ボリュームのエラント回復処理は終了します。

**ユーザーの処置：**そのボリュームに関連するエラント位置の監査を、都合を見てスケジューリングしてください。位置は、Display Volume コマンドを出すことによって判別できます。

**SLS0871I** Errant recovery of *volser* - unable to scan (D)

**説明** : エラントボリューム *volser* を見つけようとしたのですが、エラント回復ルーチンは、位置のスキャンを実行できませんでした。

D は次の理由コードを示します。

- 7       ドライブが通信を行なっていません。LMU がドライブと通信できませんでした。
- 8       移動が正しく行なわれませんでした。LMU は、ある位置に移動しようとしてエラーを受け取りました。

**システムの処理** : ボリュームのエラント回復処理は終了します。

**ユーザーの処置** : Display Volume コマンドを出すと、エラントボリュームの位置が表示されます。StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。

**SLS0873I** Errant recovery of *volser* - Volume at {cell AA:LL:PP:RR:CC|drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}

**説明** : エラント回復ルーチンが、指定された位置にボリュームを見つけました。

**システムの処理** : ボリュームが、そのホーム位置にない場合、エラント回復ルーチンは、そのボリュームをホーム位置に移動させようとしています。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0874A** Manually remove cart XXXXXX from ACS AA LSM LL

**説明** : HSC の起動中に、プレイグラウンド、ロボットハンド、またはパススルーポートにおいて、ACS AA LSM LL でカートリッジ XXXXXX が見つかりました。HSC は、回復モードになり、カートリッジの処理を試行します。ただし、この場合、HSC にはこのカートリッジのボリュームレコードがありません。HSC は、そのままそのカートリッジを放置します。カートリッジは LSM から手動で取り出すことができ、HSC 5.0 もしくはそれ以降のバージョンの場合は INTRANS パラメータで AUDIT ユーティリティを実行することもできます。これらのカートリッジは、通常はプレイグラウンドにあります。

**システムの処理** : 処理は通常どおりに続行されます。カートリッジは発見された場所に放置されます。

**ユーザーの処置** : LSM を開き、ライブラリから該当のカートリッジを取り出すか、INTRANS パラメータで AUDIT ユーティリティを実行します。LSM からカートリッジがマウント解除されない場合は、このメッセージが、HSC の起動、および HSC サービスレベルが BASE から FULL になるたびに発行されます。

**SLS0898I** Recovery of *volser1* - found *volser2* in cell AA:LL:PP:RR:CC; new cell assigned for *volser1*

**説明**：回復処理中、*volser1* のホームセルに *volser2* が見つかりました。

**システムの処理**：*Volser1* に新しいホームセルが割り当てられます。

**ユーザーの処置**：ホームセルロケーションの監査 AA:LL:PP:RR:CC は、*volser2* を見つけて CDS にエンターします。

**SLS0899I** Recovery of *volser* - cell AA:LL:PP:RR:CC requires auditing

**説明**：指定されたボリュームの回復時にエラーが発生しました。ボリュームの移動先のセルにはほかのカートリッジが入っています。

**システムの処理**：回復を行なうには、ほかのセルを選択して移動を再実行します。

**ユーザーの処置**：メッセージテキストに表示されたセルを監査します。

**SLS0901D** Mount of *volser1* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - *volser* readable (*volser2*); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

**説明**：ボリューム *volser1* をマウントしようとしたとき、LMU が、*volser2* という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。最初このボリュームは、外部ラベルを持たないものとして、制御データセットに登録されていました。

**システムの処理**：マウント処理は待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。ボリュームをバイパスラベル処理とマークしてから、マウントを再実行する場合は、「B」と応答してください。ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。VOLSER *volser1* が制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。

マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

**SLS0902D** Dismount of *volser1* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - *volser* readable (*volser2*); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

**説明**：*volser1* をマウント解除しようとしたとき、LMU は *volser2* という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。最初、このボリュームは外部ラベルを持たないものとして制御データセットに登録されていました。

**システムの処理**：マウント解除処理は待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：マウント解除を再実行する場合は、「R」と応答してください。

ボリュームをバイパスラベル処理とマークしてから、マウント解除を再実行する場合は、「B」と応答してください。

ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。

**ユーザーの処置**：マウント解除を無視する場合は、「I」と応答してください。

**SLS0904I** Swap of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

**説明：***volser* のスワップ処理中にドライブのスキャンを要求されましたが、LMU が、移動エラーの発生を示したか、またはそのドライブと通信を行なうことができませんでした。

**システムの処理：**スワップは実行されません。

**ユーザーの処置：**ドライブ XXXX または driveid AA:LL:PP:NN (スワップ元ドライブ) に DISMount コマンドを入力して、スワップ処理のディスマウント部分を再実行してください。次に、Mount コマンドを入力して、スワップ先ドライブにボリューム *volser* をマウントしてください。

**SLS0905D** No cartridges to clean {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} ACS AA; Reply "I", "T,capid,volser", or "R" (Ignore, Temp Enter or Retry)

**説明：**ACS AA にあるドライブと互換性のあるクリーニングカートリッジがありませんでした。



**注：**トランスポートのタイプごとに、異なるメディアタイプのクリーニングカートリッジが必要になります。例えば、水平記録方式トランスポート (4480、4490、および 9490) には Standard クリーニングカートリッジが必要で、RedWood トランスポートには DD3D クリーニングカートリッジが必要です。

**システムの処理：**マウントが応答を待ちます。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

- |                |   |
|----------------|---|
| I              | マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングのスケジュールがされません。   |
| T,capid,volser | 特定の CAP の特定のクリーニングカートリッジを一時的に指定して、ドライブをクリーニングします (注：一時的に指定するクリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号は、クリーニング接頭辞から入力し始める必要はありません)。 |
| R              | クリーナーの検索を再試行します (新しくクリーニングカートリッジを挿入した場合に選択します)。   |



**警告：**自動クリーニングを行なうには、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジを挿入する必要があります。『HSC システムプログラマーズガイド』の「第 2 章 Host Software Component の機能」、「マウント/ディスマウント機能」の節にある「テープトランスポートのクリーニング」を参照してください。

**SLS0906E** Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Unable to mount

**説明：**このホストの HSC がボリュームをマウントできませんでした。これ以外にも、問題の原因を示すメッセージが出されます。

**システムの処理：**マウントは失敗します。

**ユーザーの処置：**この ACS に接続されたすべてのシステムのエラーメッセージをチェックしてください。問題を訂正してから、マウント要求を再発行してください。

**SLS0907I** Mount of *volser1* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Overriding mount *volser2* request

**説明：***volser1* をマウントしようとしたしましたが、ボリューム *volser2* に対するマウント要求が待ち状態になっていることがわかりました。

**システムの処理：***volser2* のマウントは実行されません。*volser1* のマウントが実行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0908I** Mount of *volser1* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Mount of *volser2* active; attempting suppression

**説明：***volser1* をマウント処理中に、*volser2* に対するマウント要求がアクティブになっていることがわかりました。

**システムの処理：**システムは、スクラッチマウントを抑止しようとしします。抑止が成功するかどうかに関係なく、*volser1* のマウントは実行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0909D** Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LSM AA:LL in manual mode; reply Delete or Ignore (D/I)

**説明：**手動モード LSM にあるボリュームに対するマウント解除要求が受け取られました。

**システムの処理：**ディスマウント処理は、オペレータが「D」または「I」と応答する、LSM をオンラインに変更する、あるいは MNTD Dismount Auto コマンドを出すまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**ボリュームを手動でマウント解除する場合は、「D」と応答してください。それ以外の場合は「I」と応答してください。

「D」の場合、ボリュームは制御データセットから除去されます。ENTER 処理が実行可能となるまでの間、ライブラリからそのボリュームを除去してください。

「I」の場合、ボリュームは制御データセットから除去されません。

LSM がオンラインに変更された場合、マウント解除処理は続けられます。

**SLS0910I** {Mount|Dismount} of *volser* {on|from} driveid *AA:LL:PP:NN* - Request terminated

**説明** : テープのマウント要求またはマウント解除要求が受け取られました。要求は終了中であり、そのほかのメッセージは出されませんでした。ほかの未解決のメッセージや、ボリュームをロックしている操作がないかどうかを確認してください。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS0911D** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Manual volume at *AA:LL:PP:RR:CC*; reply Delete or Ignore (D/I)

**説明** : マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

**システムの処理** : マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。マウント処理は、オペレータが「D」または「I」と応答するか、あるいは LSM をオンラインに変更するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : ボリュームを手作業でマウントする場合は、位置 *AA:LL:PP:RR:CC* からボリュームを除去してください。ボリュームが手元にある場合は、「D」と応答して、それを制御データセットから削除してください。マウント解除した場合、入力処理が実行可能となるまでの間、ライブラリーからそのボリュームを除去してください。

要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

LSM をオンラインにすると、マウント処理は通常どおりに進められます。

**SLS0912I** Dismount of *volser* from {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Drive is loaded; mount request is being aborted

**説明** : マウント処理で、ドライブにボリュームがマウントされていることがわかったために、マウント解除要求が出されました。マウント解除処理では、ドライブにカートリッジがロードされていて、マウント解除すべきボリュームとマウントすべきボリュームが一致することがわかりました。

**システムの処理** : マウント解除要求は取り消されます。マウント要求も中止されます。

**ユーザーの処置** : ボリュームをマウント解除する必要があるため、ドライブが使用中でない場合は、ドライブからボリュームをアンロードして、マウント要求を再び出してください。MVS において、ドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM 環境においてドライブをアンロードするには、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

**SLS0913I** Robotics request active for {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - unable to mount

**説明：**上記のドライブに対するロボット要求が、別のシステムによってアクティブになっていました。1つのドライブに対して2つのマウント要求が出されており、このシステムからのマウント要求は、もう一方のシステムからのマウント要求が最初に処理されていることを判別しました。

**システムの処理：**このシステムからのマウント要求は取り消されます。

**ユーザーの処置：**マウントを必要とするジョブをキャンセルして、再サブミットする必要があります。これは HSC が、ほかのシステムにより同じドライブでマウント処理が進行中であることを判別したためです。このシステムによるマウント要求は、再発行されません。

**SLS0917I** Dismount transaction complete

**説明：**ディスマウントメッセージまたは HSC DISMount コマンドによるディスマウント操作が、すでに除去されたボリュームに対して処理されています。HSC は、ドライブ上のそのボリュームを、ディスマウント要求の対象になったボリュームではないと判別しました。このメッセージは、1つのドライブおよび1つのボリュームに対して、2つのディスマウント要求が受け取られると出されます。

**システムの処理：**HSC はこのメッセージを出して、ディスマウント要求を無視します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0923I** {Drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} has been cleaned using *volser*

**説明：**ドライブのクリーニングが、メッセージテキスト内に表示のボリュームシリアル番号によって自動的に行なわれました。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS0925D** Eject of *volser* - Volume not in cell AA:LL:PP:RR:CC; Reply (Logically) Delete or Ignore (D,I)

**説明：**イジェクト操作で、制御データセット内のボリューム位置がわかりましたが、その位置は空でした。

**システムの処理：**オペレータは、制御データセットの項目を削除 (D) するか、要求を無視 (I) するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**「D」と答えると、制御データセットの内容が更新されて、ボリュームはライブラリーにないものと見なされます。

「I」と答えると、操作は終了します。

**SLS0926I** C invalid reply

説明：オペレータからの応答が、WTOR で提供されるオプションと一致しません。オペレータからの応答 C は無効です。

システムの処理：WTOR が再び出されて、オペレータにもう一度応答を求めます。

ユーザーの処置：正しいオプションを応答してください。



注：C は 1 バイトの長さにはできません。

**SLS0927A** Wrong cartridge entered; expected *volser1* and found *volser2*

説明：オペレータは、一時入力に対して、特定ボリュームシリアル番号 (*volser1*) を入力するよう要求されていました。しかし、CAP には間違ったボリュームシリアル番号 (*volser2*) がありました。

システムの処理：CAP ドアはロック解除されて、オペレータがアクセスできるようになります。

ユーザーの処置：CAP ドアを開けて、間違ったカートリッジ (*volser2*) を取り出し、正しいもの (*volser1*) と置き換えてから、CAP ドアを閉めてください

**SLS0928A** ENTER processing interrupted; empty CAPid AA:LL:CC

説明：エンター処理が中断されました。カートリッジが CAP に残っています。CAPid AA:LL:CC は、空にする必要があります。

システムの処理：システムは、CAP が空であることを確認したオペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。CAP 内にカートリッジが残されている場合は、再びこのメッセージが出されます。CAP を空にすると、挿入処理は続けられます。

ユーザーの処置：CAP ドアを開けて、そこにあるカートリッジをすべて取り出してください。

**SLS0929I** {Enter|Eject} of *volser* - CCC...CCC; run a utility audit against cell AA:LL:PP:RR:CC

説明：ENTER 操作が、空であるべきセルが空でなかったことを検出しました。または、イジェクト操作が失敗し、CAP コンポーネントがボリュームをエラント状態にできませんでした。*volser* は、入力されたボリュームのボリュームシリアル番号です。CCC...CCC は 32 バイトのエラー記述です。

システムの処理：挿入/イジェクト操作は終了します。

ユーザーの処置：報告されたセル位置に対して監査を実行して、CDS を正しい状態にしてください。

**SLS0931I** LSM AA:LL is {NOT READY|OFFLINE PENDING|OFFLINE}

**説明：**指定された LSM は、オフライン、オフライン保留、または作動不能のいずれかです。

**システムの処理：**要求の処理中に、オンラインにも作動可能にもなっていない LSM が見つかりました。

**ユーザーの処置：**指定された LSM を、オンライン作動可能にしてください。

**SLS0934D** EJECT of volser, Drive not rewound; reply Dismount, Retry or Ignore (D,R,I)

**説明：**ドライブからのイジェクト操作で、ドライブが巻き戻しもアンロードもされていないことがわかりました。

**システムの処理：**オペレータは、操作の再試行「R」するか、カートリッジをマウント解除「D」するか、または要求を無視「I」するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**MVS においては、MVS Unload コマンドを使用してボリュームをアンロードしてください。VM においては、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

「R」と応答すると、巻き戻しオプションなしでのイジェクトが再実行されます。

「D」と応答すると、巻き戻しオプションとともに操作が再実行されます。

「I」と応答すると、ボリュームは条件付でエラントになり、操作は終了します。

**SLS0935D** EJECT of volser - volser not readable; reply Bypass label checking or Ignore (B,I)

**説明：**ボリュームに対してイジェクト操作が要求されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

**システムの処理：**オペレータは、要求をバイパス「B」するか、または無視「I」するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**「B」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにイジェクトが再実行されます。

「I」と応答すると、ボリュームは条件付でエラントになり、操作は終了します。

**SLS0936D** EJECT of volser - SOURCE VOLSER DOES NOT MATCH DB; reply Ejector Ignore (E,I)

**説明：**イジェクト操作が行なわれましたが、制御データセットで指定された位置にあるボリュームシリアル番号が、要求されたボリュームシリアル番号と一致しませんでした。

**システムの処理：**オペレータは、イジェクト「E」するか、または要求を無視「I」するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**「E」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにイジェクトが再実行されます。

「I」と応答すると、ボリュームが無条件でエラントになり、操作は終了します。

**SLS0937D** ENTER of *volser* - Source *volser* not readable; reply Bypass label checking or Eject (B,E)

**システムの処理** : あるボリュームに対して入力が必要されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

**システムの処理** : オペレータは、要求をバイパス「B」するか、またはボリュームをイジェクト「E」するよう要求されます。

**ユーザーの処置** : 「B」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにエンターが再実行されます。「E」と応答すると、ボリュームはバイパスラベル処理でイジェクトされます。

**SLS0938I** Enter failed; requested LSM # is frozen.

**説明** : ENTER コマンドは、凍結されている LSM を要求しました。

**システムの処理** : ENTER コマンドは終了します。

**ユーザーの処置** : 凍結されていない TLSM を使用して、ENTER コマンドを再発行します。凍結されている LSM を凍結解除するには、SLUADMIN SET FREEZE(OFF) ユーティリティを使用します。

**SLS0953I** Unknown RC XXXXXXXX from ASCOMM

**説明** : ボリューム検索ルーチンが、HSC アドレス空間に対する要求を出しました。これに対し、HSC アドレス空間通信サービス (ASCOMM) から、予期しない戻りコードが返されました。

**システムの処理** : 要求は中断されます。

**ユーザーの処置** : システムプログラマに通知してください。

**SLS0954D** JES3 C/I waiting for HSC to initialize; start the HSC or reply "GO" to continue

**説明** : HSC のアドレス空間が初期化されていません。JES3 コンバーター/インタープリターは、オペレータ応答 (「GO」) が出るか、または HSC が初期化されるまで、処理の続行を待機します。

**システムの処理** : JES3 コンバーター/インタープリターは待機状態になります。

**ユーザーの処置** : HSC が必要であれば、HSC アドレス空間を起動します。そうでない場合は、「GO」と応答します。このメッセージにより、C/I DSP が 1 つだけ待機状態になります。HSC JCL の変換に使用できる他の C/I DSP がない場合は、JES3 コマンドの \*F,X,D=CI,MC=(n) を発行して C/I DSP を 1 つ起動してください。

SLS1000I ACS AA status: CCCCCCCCC1

Compatibility levels: HSC=DD1, LMU=DD2  
 (Partition ID=DDD3)  
 (Waiting Queue elements DDDDDDDD4)  
 (Active Queue elements DDDDDDDD5)  
 (Temporary Outage Queue elements DDDDDDDD6)  
 Dual LMU CCC2 Configured  
 Redundant Electronics CCC2 Configured  
 (Master Is C3; Standby Is CCCCC4)  
 Station DDDD7 CCCCCCCC5  
 Scratch Volumes available DDDDDDDD8  
 Free Cells available DDDDDDDD9

----- Detail Addition -----

Library Summary:  
 Lib LC Mode Status IP Addr/Host Name  
 C7 C8 CCCCCC9 CCCCCC10 DDD.DDD.DDD2/CCCCCCC11

説明 : Display Acs または Display ACS acsid コマンドに対して出されました。  
 0 より大きい値のパーティション ID は、パーティション済み ACS を表します。  
 待ち行列カウントは、ゼロではない場合にのみ表示されます。  
 マスター/スタンバイ LMU の行は、デュアル LMU がアクティブな場合にのみ表示され  
 ます。

Redundant Electronics 行は、HLI 互換性レベル 23 から表示されます。

定義されているステーションごとに 1 行表示されます。

ACS が切断または割り振り解除されている場合、空きセルの数は不明になります。

Redundant Electronics については、Display ACS acsid が発行されると、詳細追加の一部と  
 して、ACS 構成を反映する Library Summary 行が表示されます。

変数 :

AA ACSid: "00"-""-"FF"

CCCCCCCCI ACS の可用性。

CONNECTED 少なくとも 1 つのステーションがオンラインです

DISCONNECT 現在オンラインのステーションはありません

UNALLOCATED ACS プレースホルダーを示します

DD1 HSC 互換性レベル

10 は HSC 2.0 を意味します

11 は マルチメディアに対する HSC 2.0.1 サポートを意味します

12 は HSC 2.1 以降を意味します

13 は HSC 6.0 以降を意味します

20 は 6.1 以降を意味します

21 は 6.1 以降を意味します

22 は 6.2 以降を意味します

23 は 6.2 以降を意味します

DD2 LMU 互換性レベル

00 は LMU が接続されていないことを意味します

05 は拡張 CAP をサポートする LMU 3.2 u ソフトウェアを意味します

06 は 4430 マルチメディアをサポートする LMU 3.8 u ソフトウェアを  
 意味します

10 は Wolfcreek をサポートする LMU 1.0 u ソフトウェアを意味します  
 11 は 93xx マルチメディアをサポートする LMU 1.1 u ソフトウェアを意味します  
 12 は 9840 および 97xx をサポートする LMU 1.5+ u ソフトウェアを意味します  
 13 は SL8500 ベースのサポートを意味します  
 20 は SL8500 ベースとパーティション分割のサポートを意味します  
 21 は SL8500 および SL3000 のサポートを意味します  
 22 は SL8500 と SL3000 のサポートを意味します  
 23 は SL8500 と SL3000 RE のサポートを意味します

DDD3 パーティション ID が「000」 - 「999」  
 DDDDDDDD4 待機要求待ち行列要素の数  
 DDDDDDDD5 アクティブ要求待ち行列要素の数  
 DDDDDDDD6 一時故障停止待ち行列要素の数  
 CCC2 デュアル LMU が構成されているかどうか: 「Is」または「Not」  
 CCC2 冗長電子回路が構成されているかどうか: 「Is」または「Not」  
 C3 マスター LMU の指示文字: 「A」または「B」  
 CCCCC4 スタンバイ LMU の状況: 「ready」または「not ready」  
 「ready」の場合、自動切り替えを発生できるようにスタンバイステーションが存在する必要があります  
 DDDD7 ステーション装置番号  
 DDD.DDD.DDD1 ステーションの IP アドレス  
 CCCCCC5 ステーションのホスト名  
 CCCCCC6 ステーション状況:  
 ONLINE マスター LMU への経路は使用可能です。  
 OFFLINE ACS への経路は使用不能です。  
 STANDBY スタンバイ LMU への経路は使用可能です。  
 PENDING ONLINE 経路をオンラインに変更中です。  
 PENDING OFFLINE 経路をオフラインに変更中です。  
 PENDING FORCE 経路はオフラインに強制変更中です。  
 NOT READY ネットワークに接続された LMU が初期化されていません。  
 NETWORK RECONNECT ネットワークの回復がアクティブです。  
 TCP/IP Con ERR ネットワークの回復に失敗しました。  
 UNKNOWN ステーションの状況または空きセルの数です。  
 DDDDDDDD8 使用可能なスクラッチボリュームの数です。  
 DDDDDDDD9 使用可能な空きセルの数です。

「Detail Addition」の一部としての RE ライブラリの概要:

C7 ライブラリ ID: 「1」 - 「9」または「A」 - 「Z」です。  
 C8 ライブラリコントローラ ID: 「A」または「B」です。  
 ライブラリコントローラモード: 「active」または「standby」です。  
 CCCCCC10 状況: ステーション状況 CCCCCC6 と同じです。  
 DDD.DDD.DDD2 ライブラリコントローラ IP アドレスです。  
 CCCCCC11 ライブラリコントローラホスト名です。



注：HSC で使用可能な機能は、互換性レベル行に指定されている最小番号で示されることに注意してください。

システムの処理：システムの処理は続けられます。

ユーザーの処置：なし

#### **SLS1001I** ENTER not scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明：SENter コマンドが、CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENter はスケジュールされませんでした。EJect コマンドは中断されません。「NOT ACCEPTED」の理由としては、次のことが考えられます。

- 1) CAP がこのホストによって割り振られていない。
- 2) CAP からのイジェクト処理が行なわれていない。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

#### **SLS1002I** ACS AA: Switch already active

説明：指定の ACS に対して、SWitch コマンドがすでに入力されていました。

AA は ACSid です。

システムの処理：この SWitch コマンドは終了しますが、以前の SWitch コマンドの処理は続けられます。

ユーザーの処置：以前に SWitch コマンドが入力されている場合は、処置は不要です。そうでない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートにこの事態を連絡してください。

#### **SLS1003I** Switch failed, {ACSid|LIBid} is required

説明：構成内に複数の ACS があるため、ACSid を指定する必要があります。または、ACS 内に複数のライブラリがあるため、LIBid を指定する必要があります。

システムの処理：SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置：

ACSid が要求される場合：

ACS パラメータおよび ACSid 値とともに SWitch コマンドを再入力します。すなわち SW ACS 00

LIBid が要求される場合：

ACS パラメータ、ACSid 値、および LIB パラメータとともに SWitch コマンドを再入力します。すなわち SW ACS 00 LIB 1。

## SLS1004I - SLS1005I

**SLS1004I** ACS AA cannot switch; CCCCCC1 CCCCCC2 C3

**説明：**

LMU 互換性レベル 22 以下の場合：

指定の ACS がデュアル LMU ACS であっても、HSC をこの ACS のスタンバイ LMU に接続しているスタンバイステーションが現在存在しません。

冗長電子回路の場合 (互換性レベル 23 以上)：

指定の ACS に冗長電子回路が導入されていても、切り替えが起きなかった理由として、以下の理由が当てはまる場合があります。

1. HSC に接続されたスタンバイネットワーク接続がない。
2. 冗長電子回路がライセンスされていない。
3. スタンバイライブラリコントローラが通信を行っていない。

**変数：**

AA ACSid: 「00」 - 「FF」  
CCCCC1 理由：  
スタンバイ接続がない  
RE がライセンスされていない  
スタンバイが通信を行っていない：  
CCCCC2 「LIBID」または空白の場合  
C3 ライブラリ ID: 「1」 - 「9」または「A」 - 「Z」、あるいは空白

**システムの処理：** SWitch コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**

LMU 互換性レベル 22 以下の場合：

オンラインのステーションをスタンバイ LMU に変更し、SWitch コマンドを再入力してください。

冗長電子回路の場合 (互換性レベル 23 以上)：

スタンバイ接続を接続するか、冗長電子回路の導入またはライセンスを行なってください。あるいは、スタンバイライブラリコントローラを修理してください。

**SLS1005I** ACS AA cannot switch; ACS disconnected or not Dual LMU

**説明：** 指定の ACS がデュアル LMU ACS でないか、またはこの ACS へのステーションがすべてオフラインであるために、スタンバイ LMU で使用できるステーションがありません。

**システムの処理：** SWitch コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置：** なし

**SLS1007I** ACS AA: Initiating switch via CCCCCC1 C2 CCC3 CCCCC4 C5

**説明:** SWitch コマンドパラメータが検証され、アクティブなライブラリコントローラを通知するスタンバイライブラリコントローラに SWitch コマンドを送信するために、使用可能なスタンバイステーションまたはライブラリのスタンバイが選択されました。

変数:

AA ACSid: 「00」 - 「FF」  
 CCCCCC1 「ステーション」または「LIBID」の場合  
 C2 ライブラリ ID: 「1」 - 「9」または「A」 - 「Z」、あるいは空白  
 CCC3 「for」または空白  
 CCCCC4 「LIBID」または空白  
 C5 ライブラリ ID: 「1」 - 「9」または「A」 - 「Z」、あるいは空白

**システムの処理:** 選択されたスタンバイステーションドライバまたはライブラリコントローラに対し、切り替え処理を開始するよう通知されます。

**ユーザーの処置:** なし

**SLS1010I** CCCCCCCC1 value list not allowed with CCCCCCCC2 value list on CCCCCCCC3 command

**説明:** 値リスト (複数の値がカンマまたはダッシュで区切られた) を持つ CCCCCCCC1 パラメータと、値リストを持つ CCCCCCCC2 パラメータを指定した CCCCCCCC3 コマンドが入力されました。CCCCCCCC2 パラメータが値リストとともに与えられる場合、コマンドでは、CCCCCCCC1 の値 1 つしか識別できません。

**システムの処理:** このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置:** コマンドのパラメータを訂正して、コマンドを再入力してください。

**SLS1011I** The range specified on the CCCCCC1 parameter of the CCCCCCCC2 command is invalid or not allowed

**説明:** オペレータコマンドである範囲のセルが指定されましたが、指定の範囲に 100 を超えるボリュームが含まれるか、あるいはこのパラメータで範囲を使用できません。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** 100 次のボリューム範囲を指定して複数のコマンドを入力するか、該当するバッチ HSC ユーティリティ (セル範囲に制限がない) を実行するか、または無効な範囲を削除してください。

## SLS1012I - SLS1015I

**SLS1012I** The value list specified for the *CCCCCCCC1* parameter of the *CCCCCCCC2* command exceeds the maximum number of list items

**説明**：コマンドまたはユーティリティー機能がリスト項目の最大数を超える値リストを指定した *CCCCCCCC2* コマンドの *CCCCCCCC1* パラメータとともに入力されました。

**システムの処理**：要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置**：項目の数が最大数以下になるように値リストを指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

**SLS1014I** SCRATCH SUBPOOL SUMMARY:  
ACS(AA)  
LSM(LL) SUBPOOL(CCCCCCCCCCCCCC1) SCRATCH  
COUNT=DDDDDDDD1  
SUBPOOL(CCCCCCCCCCCCCC2) SCRATCH  
COUNT=DDDDDDDD2  
LSM(LL) SUBPOOL(CCCCCCCCCCCCCC3) SCRATCH  
COUNT=DDDDDDDD3 SUBPOOL(CCCCCCCCCCCCCC4) SCRATCH  
COUNT=DDDDDDDD4  
TOTAL SCRATCH=DDDDDDDD

**説明**：Display SCRatch コマンドが正常に終了しました。アクティブサブプールで使用できるスクラッチボリュームの数が表示されます。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：なし

**SLS1015I** ACS AA LSM LL:CC...CC1|DD..DD1 invalid for CC...CC2 parameter on CC...CC3 command

**説明**：指定のコマンドに入力されたデータが無効です。

<i>AA</i>	ACSid (16 進数 00-FF)
<i>LL</i>	LSMid (16 進数 00-FF)
<i>CC...CC1 DD...DD1</i>	コマンドで入力したデータが誤りです。
<i>CC...CC2</i>	コマンドで指定したオプションが誤りです。
<i>CC...CC3</i>	コマンドの構文規則に違反するコマンド名です。

**システムの処理**：Vlew 時間が無効な場合に、省略時値を使用してコマンドを続行する以外、システムはそれ以上の処理を行いません。

**ユーザーの処置**：正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS1016I** ACS AA LSM LL: CCCCCCCC1 rejected, CCC...CCC2 CCC...CCC3

**説明** : テキスト内に表示された状態が原因で、指定したコマンドは拒否されました。 .

AA	ACSid (16 進数 00-FF)
LL	LSMid (16 進数 00-FF)
CCCCCCCC1	コマンドの名前 (View など)
CCC...CCC2	オブジェクトの名前 (ACS、ACS ID、ADDRESS、CAP 列、CAP 行、セル列、セル行、COLUMN、接続する LSM、HOST、HSC、LMU、LSM、LSM ID、PANEL、PLAYGRND、PTP 列、ROW、XLSTM) または LMU 要求戻りコード (論理エラー条件の場合)
CCC...CCC3	オブジェクトの状態 (存在しない、下位レベルのマイクロソフトウェア、切断されている、無効である、オフラインである、シャットダウンしている、見つからない、指定されていない、指定パラメータが無効、別のパラメータと同じ) または論理エラー

**システムの処理** : このコマンドは拒否されます。システムはそれ以上の処理を行いません。

**ユーザーの処置** : 原因となった状況の解消後、コマンドを再実行できます。

**SLS1018D** ACS AA LSM LL; holding camera <N> for <time> seconds on <component> <location>

AA ACSid (16 進数 00-FF)

LL LSMid (16 進数 00-FF)

<N> カメラ番号 (10 進数 0-1)

<time> View コマンドでの入力による。  
または Viewtime コマンドでの省略時の値による。  
5-120。

<component> View コマンドで入力した CAPid、CELL、HOSTid、  
および Drive PPlaygrnd、  
または PTP。

<location> View コマンドで指定したアドレス (ROW RR COL CC、  
PP:RR:CC、XXX、CC、または LL:CC)。

**説明：**View コマンドが正常に終了しました。カメラは要求された位置に保持されています。

**システムの処理：**カメラは、要求された時間間隔の間、所定の位置に保持され、そのあと、ロボットは解放されてほかの作業に使用されます。このイベントをログに記録するために、レコードを任意選択で SMF データセットに書き込むことができます。

**ユーザーの処置：**ACS、LSM、およびカメラ識別子によって示されたモニターを見て、検査中の要素の状況を調べてから、未決の WTOR に (任意の) 応答をして、ほかの作業を行なうためにハンドを解放してください。WTOR に応答しない場合、指定または省略時の時間間隔が経過すると、ハンドは自動的に解放されます。

**SLS1021I** VOLSER and SUBPOOL are mutually exclusive

**説明：**SUBpool パラメータが特定ボリュームシリアル番号で指定されました。SUBpool パラメータは、SCRTCH の指定時にのみ指定可能です。

**システムの処理：**システムはそれ以上の処理を行いません。

**ユーザーの処置：**SUBpool パラメータと SCRTCH を指定して、EJect コマンドを再入力するか、特定ボリュームシリアル番号のみを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS1022I** VOLSER *volser* remains selected

**説明：**上記のボリュームをスクラッチとしてライブラリに入力した後で、そのボリュームを選択解除しようとしてしました。ボリュームを選択解除しようとしてエラーが発生し、そのボリュームが選択されたままになりました。

**システムの処理：**ENter 処理は終了します。

**ユーザーの処置：**コンソールログを調べて、ENter 処理または LMU エラーの結果としてほかのエラーが起きていないか判別してください。Display Volume により、ボリュームの状況が分かります。UNSELECT ユーティリティーを実行する必要がある場合もあります。

**SLS1023I** VOLSER *volser* was not made scratch

**説明：**SCRatch オプションを指定してボリュームがライブラリに入力されましたが、ボリュームをスクラッチリストに入れることができない問題が発生しました。

**システムの処理：**ENter 処理は終了します。

**ユーザーの処置：**コンソールログを調べて、ENter 処理または LMU エラーの結果としてほかのエラーが起きていないか判別してください。Display Volume により、ボリュームの状況が分かります。スクラッチ更新ユーティリティーを実行して、ボリュームをユーザーのスクラッチリストに入れる必要がある場合もあります。

**SLS1024I** Unable to select VOLSER *volser*

**説明：**上記のボリュームをライブラリに入力した後で、そのボリュームを選択しようとしてしました。ボリュームを選択しようとしてしましたが、そのボリュームが選択解除されたままの結果となるエラーが発生しました。

**システムの処理：**ENter 処理は終了します。ボリュームは正常にライブラリに入力されましたが、スクラッチボリュームとしてみなされません。

**ユーザーの処置：**コンソールログを調べて、ENter 処理または LMU エラーの結果としてほかのエラーが起きていないか判別してください。Display Volume により、ボリュームの状況が分かります。スクラッチ更新ユーティリティーを実行して、ボリュームをユーザーのスクラッチリストに入れる必要がある場合もあります。

**SLS1026I** CCCCCCCC of EXIT successful

**説明：**CCCCCCCC は機能を示します。ロード機能では、要求された出口ルーチンが正常にロードされたことを意味します。出口ルーチンが使用可能な場合、その出口ルーチンが呼び出されると新しいモジュールも呼び出されます。使用可能化機能では、出口ルーチンの最新モジュールが正常に使用可能になったことを示します。出口ルーチンが呼び出されると、このモジュールが使用されます。使用禁止機能では、出口ルーチンの最新モジュールが、正常に使用不能になったことを示します。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

## SLS1027I CCC...CCC1 of EXIT failed, CCC...CCC2

**説明：**CCC...CCC1 は要求された機能を示します。ロード機能では、要求された出口ルーチンが正常にロードできなかったことを意味します。使用可能化機能では、最新の出口ルーチンが正常に使用可能にできなかったことを示します。使用禁止機能では、最新の出口ルーチンが、正常に使用不能にできなかったことを示します。

CCC...CCC2 は、エラーメッセージの理由を示します。

### 理由の説明

- all user exits are inactive-- すべてのユーザー出口が非アクティブです。
- user exit number invalid-- ユーザー出口の番号は UX01 - UX99 形式でなければなりません。
- module not found-- ロードモジュールがロードライブラリにありません。
- load error occurred-- ロード時の HSC 内部エラーです。再実行してください。
- function is invalid-- 機能が「LOAD」、「ENABLE」、または「DISABLE」のいずれでもありません。
- exit status invalid-- 出口ルーチンの状態が「ACTIVE」または「DISABLE」のいずれでもありません。
- lock attempt failed-- ロック時の HSC の内部エラーです。再実行してください。
- program error occurred-- プログラムの HSC 内部エラーです。再実行してください。
- exit is not dynamic-- 出口ルーチンは動的ではないので、再ロードできません。

**システムの処理：**HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**ロード機能の場合は、要求されたモジュールが、HSC 起動手順の SLSUEXIT DD 文で記述されたロードモジュールライブラリ内、または STEPLIB データセット連結内にあるかどうかを確認してください。使用可能化機能の場合は、モジュールが正常にロードされていて使用不能な状態にあるかどうかを確認してください。使用禁止機能の場合は、モジュールが正常にロードされていて使用可能な状態にあるかどうかを確認してください。

## SLS1028I

```

User exit status:
EXIT STATUS LOAD-TIMESTAMP MODNAME SEQ # STATUS-CHANGED
ccc1 ccccccc2 ccccccccccccc3 ccccccc4 nnnnn ccccccccccccc5
      .
      .
      .
QUERY of EXIT successfu1

```

**説明：** UEXIT QUERY コマンドが入力されました。要求されたユーザー出口の状況が表示されます。次のような形式で、要求された各出口ルーチンにつき 1 行ずつ情報が表示されます。

<i>ccc1</i>	ユーザー出口識別子
<i>cccccc2</i>	ユーザー出口の状況を表します。次のうちのいずれかです。 ACTIVE            出口ルーチンはロードされてアクティブです。 INACTIVE          出口ルーチンはロードされていません。 DISABLED          出口ルーチンはロードされましたが、使用不能状況のままロードされたか、または使用不能にされています。 ABENDED          出口ルーチンはロードされましたが、異常終了のため非アクティブ化されました。 PENDING          出口ルーチンはロードされましたが、UEXIT DISABLE コマンドが出されました。使用不能化コマンドは完了していません。
<i>cccccccccccc3</i>	ユーザー出口がロードされた日時を表します。値は <i>yyyy-mm-dd hh:mm:ss</i> または NEVER LOADED になります。
<i>cccccc4</i>	該当出口ルーチン用にロードされているモジュールの名前を示します。ただし、出口ルーチンがロードされていない場合は N/A と示されます。
<i>nnnnn</i>	該当出口ルーチンがロードされた回数です。ただし、出口ルーチンがロードされていない場合、NONE と示されます。
<i>cccccccccccc5</i>	ユーザー出口が最後に変更された日時を示します。出口ルーチンがロードされていない場合、値は <i>yyyy-mm-dd hh:mm:ss</i> または NEVER CHANGED になります。

**システムの処理：** ユーザー出口の状況に関する情報が表示されます。

**ユーザーの処置：** なし

**SLS1030I** HSC service level {BASE|FULL} active

**説明：** コマンド Display SRVlev は正常に終了しました。HSC は指示されたサービスレベルを実行しています。

このメッセージは、BASE または FULL サービスレベルに対し、Display SRVlev コマンドが終了すると表示されます。

**システムの処理：** なし

**ユーザーの処置：** なし

**SLS1031I** SUBpool(CCCCCCCCCCCCC) not found; operator command ended

**説明：** 任意選択パラメータ SUBpool を指定してオペレータコマンドを入力しましたが、要求されたサブプールが HSC に定義されていませんでした。

**システムの処理：** オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

**ユーザーの処置：** SUBpool 名の妥当性検査を行ない、オペレータコマンドを再入力してください。

**SLS1032I** No match found for ACSid AA; operator command ended

**説明：** 表示された ACSid に対してオペレータコマンドの入力を試みましたが、その ACSid に一致するものが見つかりませんでした。

**システムの処理：** オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

**ユーザーの処置：** 正しい ACSid を入力して、オペレータコマンドを再入力してください。

**SLS1033I** No match found for LSMid AA:LL; operator command ended

**説明：** 表示された LSMid に対してオペレータコマンドの入力を試みましたが、入力された LSMid が見つかりませんでした。

**システムの処理：** オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

**ユーザーの処置：** LSMid を修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

**SLS1034I** No subpool data found for SUBpool XXXXXX

**説明：**Display SCRatch コマンドが、ACSid、LSMid、または SUBpool などの任意選択パラメータを指定して入力されましたが、指定のデータに一致するのものが見つかりませんでした。XXXXXX は SUBpool 名です。

**システムの処理：**情報は表示されません。

**ユーザーの処置：**適切な入力パラメータを修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

**SLS1035I** CCCCCC of EXIT failed; user exit index is not valid

**説明：**CCCCCC は UEXIT コマンドの機能の 1 つを示します。この機能には、ロード、使用可能化、使用禁止、または照会があります。UEXIT コマンドに渡された出口番号が、現在の既存の出口番号内にありませんでした。

**システムの処理：**コマンドは終了します。

**ユーザーの処置：**正しいユーザー出口番号を与えてください。

**SLS1036I** No scratch volumes exist for subpool CCCCCCCCCCCC in ACS AA

**説明：**EJect コマンドを要求して特定のサブプールからスクラッチボリュームをイジェクトしようとしたのですが、ACS 内のそのサブプールに使用可能なスクラッチボリュームがありませんでした。

**システムの処理：**コマンドは終了します。

**ユーザーの処置：**スクラッチボリュームをイジェクトすべき別のサブプールを選択するか、または SCRATCH ユーティリティを実行してボリュームをスクラッチにしてください。

**SLS1037I** THRESHOLD VALUE SUMMARY:

```
ACS AA Threshold DDDDDD LSM LL Threshold DDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
.
.
.
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
```

**説明：**Warn コマンドは、正常に終了しました。限界値とは、Warn コマンドによって設定された値のことをいいます。

**システムの処理：**システムはそれ以上の処理は行わず、通常の操作が続けられます。

**ユーザーの処置：**ユーザーの処置は必要ありません。

**SLS1038I** Scratch Subpooling not in effect; Operator command terminated

**説明**：スクラッチサブプールを特定して扱うオペレータコマンドの入力を試みましたが、スクラッチサブプール処理が実施されていませんでした。

**システムの処理**：オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

**ユーザーの処置**：スクラッチサブプール処理がアクティブな場合にのみ、このコマンドを入力してください。

**SLS1039I** Invalid Subpool name XXXXXX specified in CCCCCC - Operator command terminated

**説明**：オペレータコマンド CCCCCC が出されましたが、指定されたサブプール名が無効でした。

**システムの処理**：オペレータコマンドは、要求機能を実行せずに終了します。

**ユーザーの処置**：正しいサブプール名を指定して、オペレータコマンドを再実行してください。

**SLS1040I** CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 confirmed

**説明**：このメッセージは、CCCCCCC1 の値が CCCCCCCC2であることを示します。

例えば、HSC の起動時に呼び出された、各種のオプションを設定するコマンドに、HOSTid キーワードが与えられている場合があります。HOSTid がある場合、これはコマンドの実行に先立って確認されます。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：なし

**SLS1041I** A keyword must be provided for the CCCCCCCC command

**説明**：コマンド CCCCCCCC がキーワードなしで入力されました。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：正しいキーワードを指定して、コマンドを再入力してください。

**SLS1042I** CCCCCCCC ACS List:

ACSID(s): (AA,AA,AA-AA)

説明：このメッセージが、CCCCCCCC キーワード ACS リストの設定を表示します。ここで、AA は ACS 識別子を示します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1050I** CCCCCCCC information is not available; subsystem is not at the proper service level

説明：サブシステムが正しいサービス (機能) レベルにないため、Display コマンドは、CCCCCCCC の情報を獲得できませんでした。このメッセージは、HSC が完全に初期化される前、またはサービスレベルが SRVlev コマンドによって変更されたときに表示される場合があります。Display SRVlev は、現在の HSC のサービスレベルを表示させるために使用できます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：サブシステムが正しいレベルにあるときに、Display 要求を再入力してください。

**SLS1051I** CCCCCCCC1 command not executed; HSC is at service level CCCC2

説明：サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) で示された正しいサービスレベルになかったため、CCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

**SLS1052I** CCCCCCCC1 command not executed; HSC service level CCCC2 change in progress

説明：サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) に対する変更を現在処理しているため、CCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

## SLS1053E - SLS1074I

**SLS1053E** CCCCCCCC1 command not executed; VSM not active

説明：仮想記憶マネージャー（VSM）の仮想テープ制御システム（VTCS）サポートがこのシステムで実行中でないため、CCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：VTCS がアクティブであるときに、要求を再入力してください。

**SLS1071D** RELEASE CAP AA:LL:CC requested; reply N to cancel, or Y to continue

説明：RELease CAP コマンドが入力されました。このメッセージに「Y」と答える場合は、システムがCAPを使用していないことを確認してください。CAPの解放を取り消す場合は、「N」と答えてください。

システムの処理：「Y」と応答すると、CAPの解放処理が続けられます。「N」と応答すると、CAPは解放されません。

ユーザーの処置：「Y」または「N」と応答してください。

**SLS1072I** CAP AA:LL:CC released

説明：RELease CAP コマンドが正常に終了しました。CAP AA:LL:CCは解放されました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1074I** HSC CCCCCCCCCCCCCC1 options:  
CCCCCCCCC2 - CCCCCCCC3 (for downlevel SMC)

説明：このメッセージは、コンポーネントに関連するオプション設定コマンドの1つに対するすべてのキーワードの設定を表示します。個々のキーワードの設定に「(for downlevel SMC)」というテキストが続く場合、そのオプションは下位レベル SMC クライアントからの要求を処理する場合にのみ有効であることを示します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1075D** Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Error on Tape; Ignore or Eject (I/E)

**説明：**エラー (メッセージ IEC512I など) によって、ボリューム *volser* がマウント解除されました。

**システムの処理：**オペレータは、テープボリューム上のエラーを無視 (I) するか、またはライブラリーからそのテープボリュームをイジェクト (E) するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**「I」と応答すると、ボリュームは通常どおりにマウント解除されます。「E」と応答すると、ボリュームはマウント解除され、ライブラリーからイジェクトされます。いずれの場合も、オペレータはシステムログを見て、テープエラーを説明するメッセージ (IEC512I、IEC502E など) がないかどうかを調べる必要があります。このメッセージは、ジョブの実行を進める方法を決定する上で重要な場合があります。

**SLS1150I** Volume(s) *volser*<-*volser*> not in Library

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能に要求された 1 つ以上のボリュームが、ライブラリーに定義されていませんでした。ユーティリティーコマンドにボリュームの範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合、この一連のボリュームについて、1 つのメッセージが表示されます。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1151I** Scratch subpool definitions not available

**説明：**スクラッチサブプール定義を判別する際、HSC を利用できませんでした。あるいは、サブプールが定義されていませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。スクラッチサブプールの合計が利用できません。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1152I** NOVOLIST parameter specified; No SUMMARY or VOLDATA present

**説明：**ユーザーが NOVOLIST パラメータを指定しました。ただし、SUMMARY と VOLDATA のいずれのキーワードも指定されませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは処理を停止します。ユーティリティーに対し、戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1153I** CCCCCCCC1 parameter list not allowed with parameter CCCCCCCC2 value list, on CCCCCCCC3 function

説明：CCCCCCCC3 機能が処理され、CCCCCCCC1 パラメータと、値リスト ( 複数の値をカンマまたはダッシュで区切ったもの ) を持つ CCCCCCCC2 パラメータが検出されました。CCCCCCCC2 パラメータが値リストとともに与えられても、この機能では、CCCCCCCC1 の値を1つしか識別できません。

システムの処理：リストされた機能のユーティリティー制御文は拒否されます。

ユーザーの処置：リストされた機能のユーティリティー制御文上のパラメータを訂正して、コマンドを再実行してください。

**SLS1154I** The range specified on the CCCCCCCC1 parameter of the CCCCCCCC2 function is invalid or not allowed.

説明：ユーティリティーコマンド文の機能にセルの範囲が指定されました。指定された範囲は、このパラメータに対して使用できません。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：無効な範囲を削除してください。

**SLS1155I** DDDD volume(s) moved to LSM AA:LL

説明：DDDD 本のボリュームが、MOVE 機能によって、LSM AA:LL に移動されました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1156I** DDDD volume(s) moved

説明：DDDD 本のボリュームが、MOVE 機能中に移動されました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1157I** DDDD volume(s) not moved

説明：MOVE 機能によって移動されなかったボリュームは DDDD 本です。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1158I** SCRATCH misspelled on ENTER utility control statement

**説明：**SLUADMIN ENTER ユーティリティの実行が試みられましたが、ENTER 制御ステートメントに指定された SCRatch オプションの綴りが間違っています。

**システムの処理：**要求されたユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置：**制御文に必要な訂正を行ない、ユーティリティを再サブミットしてください。

**SLS1159I** SUBpool (CCCCCCCCCCCC) is invalid - not known to system

**説明：**EJECT ユーティリティがサブプール (CCCCCCCCCCCC) からスクラッチボリュームをイジェクトしようとしたましたが、このサブプールはシステムに定義されていません。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**スクラッチボリュームをイジェクトするための別のサブプールを選択してください。

**SLS1160I** HSC Address Space Communications is not active

**説明：**SCREDIST ユーティリティが ASCOMM タスクを起動できませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS1161I** Invalid keyword detected on PARM input

**説明：**SLUADMIN ユーティリティジョブが、無効なキーワードを含む PARM= パラメーターを指定してサブミットされました。有効なキーワードと値は、

MIXED、NOHDR、LINECNT==nn、DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}、および XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD} で、nn は 10 から 99 の間の値です。NOHDR と LINECNT は、いずれか一方しか指定できません。

**システムの処理：**ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置：**JCL PARM フィールドの値を訂正し、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS1162I** Parm values LINECNT and NOHDR are mutually exclusive

**説明：**SLUADMIN ユーティリティジョブが、NOHDR と LINECNT の両方を含む PARM= 値を指定してサブミットされました。この 2 つのパラメータを同時に指定することはできません。

**システムの処理：**ユーティリティ機能は終了します。

**ユーザーの処置：**NOHDR か LINECNT のいずれか一方を指定し、SLUADMIN ジョブを再サブミットしてください。

### SLS1163I Invalid LINECNT on PARM input

**説明：**SLUADMIN ユーティリティージョブが、LINECNT に無効な値を含む PARM= 値を指定してサブミットされました。LINECNT の値は 10 から 99 までです。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置：**JCL PARM の LINECNT の値を訂正し、ジョブを再サブミットしてください。

### SLS1177I The CDS specified on the CDS keyword is inactive

**説明：**CDS キーワードが、エラーの原因となったデータセットを指定しています。これ以外に示されているはずのユーティリティーメッセージを参照してください。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**CDS に入出力エラーがあった場合は、そのほかの CDS があればそのバックアップを作成し、できるだけ早く CDS を復元してください。

### SLS1178I Volser volser CCCCCCCC1 location indicated CAP AA:LL:CC

**説明：**指定されたボリュームが、ソースまたは宛先 CCCCCCCC1 によって示されたように、移動中かまたはエラントになっていました。現在の位置はわかりませんが、AA:LL:CC で示された CAP 内にある可能性があります。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。

**ユーザーの処置：**ボリュームの状態を表示してください。ボリュームが現在そのホームセル位置にある場合は、処理は必要ありません。しかし、ボリュームがエラントである場合は、EJECT コマンドまたは Mount コマンドを使用して、エラント回復ルーチンを呼び出してください。RESTORE が必要であれば、HSC の初期設定中にエラント回復が起こります。

### SLS1179I Volser volser CCCCCCCC1 location indicated DRIVE CCCCCCCC2

**説明：**指定されたボリュームである volser が、ソースまたは宛先 CCCCCCCC1 によって示されたように、移動中かまたはエラントになっていました。現在の位置はわかりませんが、CCCCCCC2:CC で示されたドライブ内にある可能性があります。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。

**ユーザーの処置：**ボリュームの状態を表示してください。ボリュームが現在そのホームセル位置にある場合は、処理は必要ありません。しかし、ボリュームがエラントである場合は、EJECT コマンドまたは Mount コマンドを使用して、エラント回復ルーチンを呼び出してください。RESTORE が必要であれば、HSC の初期設定中にエラント回復が起こります。

**SLS1180I** The block count between the primary and secondary control data sets do not match

**説明 :** BACKUP ユーティリティーのデータセット妥当性検査で、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間に、ブロック数の不一致が見つかりました。

**システムの処理 :** CDS パラメータがセカンダリを示している場合、ユーティリティーは終了します。そうでない場合、ユーティリティーは、プライマリデータセットを使用して続けられます。

**ユーザーの処置 :** 正しいデータセットが使用されていることを確認してください。データセットが正しければ、エラーは、2つのデータセットの間で、相対位置アドレス指定が矛盾していることを示しています。データセットを分析して、ブロックカウントが同じであるかどうか確認してください。この状態を解決するためには、データセットを復元しなければならない場合があります。その場合、セカンダリ CDS をバックアップするために、SLSCNTL にセカンダリ、SLSCNTL2 にプライマリを指定してください。これにより、セカンダリ制御データセットのバックアップ中、プライマリ制御データセットに対して正しく予約が行なわれます。

**SLS1181I** Open failed for SLSCNTL

**説明 :** 指定されたファイルをオープンしようとしたましたが、失敗しました。

**システムの処理 :** オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行ないます。

**ユーザーの処置 :** 必要に応じて訂正を行ない、ユーティリティーを再実行してください。

**SLS1182I** Open failed for SLSLIBGN

**説明 :** 指定されたファイルをオープンしようとしたましたが、失敗しました。

**システムの処理 :** オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行ないます。

**ユーザーの処置 :** 必要に応じて訂正を行ない、ユーティリティーを再実行してください。

**SLS1183E** Wrong format CDS

**説明 :** LISTCDS が、V1.0.4 以前の CDS を見つけました。

**システムの処理 :** ユーティリティーは、それ以上処理を行なわないで終了します。

**ユーザーの処置 :** エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS1184I** Read error on CDS

**説明 :** SLSCNTL DD 文によって示されたファイルを読み取ろうとしたましたが、失敗しました。

**システムの処理 :** ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置 :** 必要に応じて訂正を行ない、ユーティリティーを再実行してください。

**SLS1185I** LSM has no drives or passthru ports

説明：SLSCNTL によって示された HSC CDS に、ドライブまたはパススルーポートの指示がありません。

システムの処理：ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：SLSCNTL DD カードが正しい CDS を指定しているかどうか確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1186I** LIBGEN record CCCCCCCCCC

説明：レコード (CCCCCCCC) が、LIBGEN (データベースデコンパイル) ユーティリティーの SLSPRINT ファイルに複製されています。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1187I** Possible invalid CDS - (CCC...CCC)  
where (CCC...CCC) is:  
No host count found  
No TECHNIQUE specified  
Unknown panel type  
LSM configuration error

説明：SLUDBMAP が、SLSCNTL DD 文によって示された HSC CDS の問題を検出しました。メッセージテキストに「LSM configuration error」が現れた場合は、ACS に定義されている SL8500 LSM の数が誤っています。ACS に定義される SL8500 LSM の数は、4 で割り切れてはいけません。

システムの処理：ユーティリティーは終了して、ゼロ以外の戻りコードが返されます。

ユーザーの処置：SLSCNTL DD カードが正しい CDS を指定しているかどうか確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1188I** Control Data Set updated for volume *volser* with observed cell location *AA:LL:PP:RR:CC*

説明：SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、セルスキャンフェーズで制御データセットの位置と一致しない (異なっているか存在しない) 位置で、ボリューム (*volser*) を見つけました。制御データセットは、ボリュームが存在するセルの位置に従って更新されました。このメッセージは、監査出力に問題レベルの詳細を示すよう要求されている (PROBLEM が指定されている) 場合に出されます。

システムの処理：監査処理は続けられます。

ユーザーの処置：なし

**SLS1189I** Cartridge in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has been ejected to CAP *AA:LL:CC*

**説明 :** SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、重複したボリュームシリアル番号を持つカートリッジ、または読み取り不能なラベルを持つカートリッジを、セル *AA:LL:PP:RR:CC* で見つけました。このカートリッジは、CAP *AA:LL:CC* を使用してライブラリからイジェクトされました。このメッセージは、AUDIT 出力に問題レベルの詳細を示すよう要求されている (PROBLEM が指定されている) 場合に出されます。

**システムの処理 :** カートリッジは、ライブラリから物理的にイジェクトされます。

**ユーザーの処置 :** CAP からカートリッジを除去してください。このメッセージの前に、同じセルのボリュームのラベルを読み取ることができないというメッセージが出力されている場合は、読み取り可能なラベルを付けてから、ボリュームを再入力してください。また、このセルのボリュームが重複していることを示すメッセージが出力されている場合は、必要に応じてセルに残されているボリュームをイジェクトし、正しい方のボリュームを入力してください。

**SLS1190E** Maximum *CCCCCCC* discrepancy count reached

**説明 :** BACKup 分析ルーチンで、矛盾カウントが *CCCCCCC* の最大値に達したことが検出されました。*CCCCCCC* は、SCRATCH、SELECT、AUDIT のいずれかになります。これらの各矛盾タイプの限界値は次のとおりです。

AUDIT = 96,000  
SELECT = 10,000  
SCRATCH = 10,000

**システムの処理 :** ユーティリティーは、矛盾の保管および矛盾タイプの出力を中止します。このタイプに関するそれ以前の矛盾はすべてそのまま保管され、RESTore 処理のために出力されます。

**ユーザーの処置 :** 矛盾タイプが AUDIT である場合は、RESTore のあとで、完全な AUDIT を実行する必要があります。

矛盾タイプが SCRATCH である場合は、RESTore のあとで、SCRATCH ユーティリティーを実行する必要があります。

矛盾タイプが SELECT である場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS1191E (...error text...)

説明：LISTCDS が問題を検出しました。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

- Premature end of file (ファイルの終わりに到達するにはまだ早すぎます)
- No DPV record found (DPV レコードが何も見つかりません)
- Invalid record in CDS (CDS のレコードが無効です)
- OBTAIN failed on CDS (CDS で OBTAIN に失敗しました)
- No VOLSERS in PARM (PARM に VOLSER が 1 つもありません)
- No VOLSERS matched CDS (CDS と一致する VOLSER が 1 つもありません)
- Invalid count (カウントが無効です)
- SLSCNTL DD not present (SLSCNTL DD がありません)
- Track calculation error (トラック計算エラーです)
- Parameter syntax error (パラメータの構文エラーです)
- Too many record types in CDS (CDS のレコードタイプが多すぎます)
- Range not allowed (範囲が許容範囲外です)
- List max exceeded (リストの最大限度を超えました)
- DVAR max of 1000 exceeded (DVAR の最大値 1000 を超えました)

システムの処理：ユーティリティーは、それ以上処理を行なわないで終了します。

ユーザーの処置：エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。「Too many record types in CDS」というメッセージが表示される場合、内部エラーが存在する可能性があるため、StorageTek サポートにお問い合わせください。

### SLS1192I CCCCCCCC1 parameter CCCCCCCC2 invalid

説明：SLUADMIN ユーティリティーが、入力パラメータ CCCCCCCC1 に結合された有効なキーワード CCCCCCCC2 を認知しませんでした。

システムの処理：ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの処置：正しい入力キーワードとパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブをサブミットしてください。

### SLS1193I Recovery techniques do not match

説明：DPV 回復技法フラグが、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間で一致しませんでした。

システムの処理：ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの処置：与えられたデータセットが正しいものであることを確認してください。誤ったデータセットであった場合は、正しいものを使用して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。正しいデータセットを使用している場合は、SET ユーティリティーを実行して技法を再設定するか、または RESTore を実行して、DPV フラグを訂正する必要があります。

**SLS1194I** A CCCC mismatch occurred in block XXXX1 at offset XXXX2

**説明：**制御データセットのプライマリコピーとセカンダリコピーの不一致が検出されました。このエラーメッセージは、両方のブロックのビットが一致しない場合に出されます。これは、いずれかのデータセットが不良であることを示すものではなく、ブロックの分析が行なわれることを示すものです。CCCC はブロック名です。XXXX1 は、エラーのあったブロックの番号を示す 16 進数です。XXXX2 は、最初にエラーのあったブロックのオフセットを示す 16 進数です。

**システムの処理：**ブロックは分析されます。

**ユーザーの処置：**この情報は、メッセージに示されたブロックでの問題を診断するために使用できます。

**SLS1197I** CCCCCCCC is indicated but the DD statement is not present

**説明：**これは警告メッセージであり、回復技法がセカンダリデータセットまたはスタンバイデータセットを指示していることを示しています。しかし、必要な DD 文のどれかが存在しません。正しいセカンダリ DD 文は、SLSSHDW、SLSCNTL2、および DBASESHD です。正しいスタンバイ DD 文は SLSSTBY です。

**システムの処理：**ユーティリティは続行されます。

**ユーザーの処置：**必要に応じて DD 文を定義し、SLUADMIN BACKUP ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS1198I** The CCCCCCC control data set DD statement is invalid or not present

**説明：**制御データセットの DD 文が無効であることがわかりました。正しい DD 文名は、プライマリ制御データセットの場合は SLSCNTL または DBASEPRM、セカンダリ制御データセットの場合は SLSSHDW、SLSCNTL2、または DBASESHD です。

**システムの処理：**これがプライマリ制御データセットであれば、ユーティリティは終了します。

**ユーザーの処置：**必要に応じて DD 文を定義し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS1199I** The Backup being restored is from DDDDDDDD at HH:MM:SS

**説明：**RESTORE ユーティリティで、復元中のバックアップが、日付 DDDDDDDD、時刻 HH:MM:SS に取られたものであることがわかりました。DDDDDDDD のフォーマットは、BACKUP ユーティリティの DATE=4YR|2YR パラメーターによって変わります。DATE=4YR (省略時値) の場合は、日付は YYYYMMDD のフォーマットになります。また、DATE=2YR の場合は、日付は MM/DD/YY のフォーマットになります。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**これが必要なバックアップでない場合は、正しいバックアップを使用して、SLUADMIN RESTORE ユーティリティを再サブミットしてください。

### SLS1200I Invalid eyecatcher EBCDIC(CCCC) HEX(XXXX) found in CCCCCCCC

**説明：**無効なブロック目印が見つかりました。このメッセージは、EBCDIC の CCCC 値と EBCDIC 形式 16 進値 XXXX の両方を示して、CCCCCCCC DD 文によって示されたデータセットの実際の 4 バイトフィールドを見られるようにしています。

**システムの処理：**この条件が見つかったデータセットは、非アクティブにされます。ほかの制御データセットを使用できない場合、ユーティリティーは終了します。これが BACKUP ユーティリティーであり、CDS パラメータが、非アクティブになったデータセットに指定されている場合、処理は終了します。そうでない場合、他に制御データセットがあればそれに対して処理が続けられます。

**ユーザーの処置：**正しい制御データセットが指定されていることを確認してください。指定のデータセットをスキャン探索して、問題のあるブロックを見つけてください。このデータセットが正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS1201I SLUDRTLML could not find the VMF control record

**説明：**SLUDRTLML が TLMS VMF 制御レコードを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

**システムの処理：**SLUCONDB は、TLMS VMF の処理をそれ以上試みません。

**ユーザーの処置：**SLUDRTLML のアセンブルに使用した TLMS ソースライブラリのバージョンが、TLMS VMF と同じであることを確認してください。例えば、TLMS 5.4 VMF を使用している場合、SLUDRTLML はアセンブルステップの SYSLIB 連結時に、TLMS 5.4 を使用してアセンブルする必要があります。

### SLS1202I Utility incomplete, make corrections and rerun

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが、ほかの SLSxxxx メッセージに示されたエラーのために、完了しませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**訂正を行なって、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

### SLS1203I Missing or invalid CCCCCCCC DD statement

**説明：**SLUADMIN ユーティリティーが必要な CCCCCCCC DD 文を見つけられなかったか、または与えられた情報 ( デバイスタイプやデータセットなど ) が無効でした。または、VOLRPT を実行して HSC からデータセットを参照した場合は、HSC が非アクティブであったか、HSC が VOLRPT と同じリリースレベルにありませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**正しい DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS1204I** I/O error reading the *CCCCCCCC* data set

**説明：***CCCCCCCC* DD 文によって示されたデータセットへの読み込み中に I/O エラーが起きました。

**システムの処理：**この条件が見つかったデータセットは、非アクティブにされます。ほかの制御データセットを使用できない場合、ユーティリティは終了します。これが BACKUP ユーティリティであり、エラーが生じて非アクティブになったデータセットに CDS パラメータが指定されている場合、処理は終了します。そうでない場合、他に制御データセットがあればそれに対して処理が続けられます。

**ユーザーの処置：**正しい *CCCCCCCC* データセットを示して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS1205I** I/O error writing the *CCCCCCCC* data set

**説明：***CCCCCCCC* DD 文によって示されたデータセットへの書き込み中に I/O エラーが起きました。

**システムの処理：**この条件が見つかったデータセットは、非アクティブにされます。ほかの制御データセットを使用できない場合、ユーティリティは終了します。これが BACKUP ユーティリティであり、エラーが生じて非アクティブになったデータセットに CDS パラメータが指定されている場合、処理は終了します。そうでない場合、他に制御データセットがあればそれに対して処理が続けられます。

**ユーザーの処置：**正しい *CCCCCCCC* データセットを示して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS1207I** Not enough space in the *CCCCCCCC* data set

**説明：**SLUADMIN ユーティリティは、十分なスペースがなかったために、*CCCCCCCC* データセットに対する処理を続けられませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**必要な量のスペースを与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

**SLS1208I** The *CCCCCCCC1* data set was made inactive; processing will continue on the *CCCCCCCC2* data set

**説明：**BACKUP ユーティリティで、*CCCCCCCC* DD 文によって示された制御データセットの 1 つが非アクティブになったために、もう一方のデータセットで BACKUP が続けられたことがわかりました。*CCCCCCCC1* データセットのエラー発生以前に検出されたデータの矛盾は、すべて保管されます。セル情報を収集して、DSEL (選択解除)、DSCR (スクラッチ解除)、DAUD (監査) のブロックを生成するために、*CCCCCCCC2* でも比較が実行されます。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は、2 つのデータセットのかわりに、1 つのデータセットで続けられます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1209I** All Control data set copies found inactive; CCCCCCCC terminated

説明：SLUADMIN ユーティリティーで、制御データセットのすべてのコピーが非アクティブになったことがわかりました。入出力エラーまたはブロックエラーが発生しました。

システムの処理：ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：エラーの原因を示す、もう1つの SLSxxxx メッセージを調べてください。

**SLS1210I** Processing has started for the CCCC block

説明：BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの分析を開始しました。

システムの処理：詳しいブロック解析が行なわれます。

ユーザーの処置：なし

**SLS1211I** Processing complete for the CCCC block

説明：BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの分析を完了しました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1212I** CCCCCCCC1 has been verified for the CCCCCCCC2 utility

説明：SLUADMIN ユーティリティー CCCCCCCC2 の情報 CCCCCCCC1 が検査されました。CCCCCCCC1 の例としては JCL があります。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1213I** Discrepancy blocks have been generated

説明：バックアップ中、少なくとも1つの矛盾するブロックが生成されました。ボリュームシリアル番号かセル位置が無効であることがわかりました。ブロックは、SLSBKUP データセットに置かれ、復元での処理 (AUDIt、UNSELECT、UNSCRATCH) を実行できます。

システムの処理：矛盾するブロックは、SLSBKUP データセットに出力されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS1214I** No discrepancy blocks were generated

説明：バックアップ中、矛盾するブロックは生成されませんでした。ユーティリティは、ボリュームシリアル番号またはセルの矛盾を検出ませんでした。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1215I** CCCCCCCC1 was successfully copied to CCCCCCCC2

説明：CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 で指定されたデータセットに正しくコピーされました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1216I** CCCCCCCC was selected as the control data set to output

説明：CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットが、SLSBKUP データセットへの出力用に選択されました。これは、最新と考えられるデータセットに基づいて、BACKUP ユーティリティのキーワード CDS(プライマリまたはセカンダリ)、または BACKUP ユーティリティプログラムのいずれかによって行なわれます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1217I** CCCCCCCC data set was not on DASD

説明：CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットは、直接アクセス記憶デバイス上にないことがわかりました。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：直接アクセスデバイスに CCCCCCCC データセットを置いて、ユーティリティを再起動させてください。

**SLS1218I** DHBEFLAGS may not have been reset in a CDS

説明：DHBE ホストアクティブフラグが、以前のエラー条件が原因でリセットされていません。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：以前のエラーのレポートをチェックして、そこに示されたメッセージに従った処理を行なってください。

**SLS1219I** CCCCCCCC1 data set was successfully restored from CCCCCCCC2

説明：CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 で指定されたデータセットから復元されました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1220I** The HSC is not at the proper service level

説明：指定のユーティリティを実行しようとしたが、HSC がこのユーティリティを実行するための適切なレベルにありませんでした。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：HSC を正しいサービスレベルに設定し、ユーティリティを再実行してください。

**SLS1221I** No scratch volumes available for subpool CCCCCCCCCCCCCC

説明：EJECT ユーティリティがサブプール (CCCCCCCCCCCC) からスクラッチボリュームをイジェクトしようとしたが、このサブプールには使用できるスクラッチボリュームがありませんでした。

システムの処理：ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置：スクラッチボリュームをイジェクトすべき別のサブプールを選択するか、または SCRATCH ユーティリティを実行してボリュームをスクラッチにしてください。

**SLS1222I** Parameter CCC invalid with HSCLEVEL

説明：HSCLEVEL キーワードに指定されたパラメータが無効です。

システムの処理：このコマンドは無視されます。

ユーザーの処置：指定のホストが停止していることを確認し、有効な HSCLEVEL パラメータを付けて SET ユーティリティを再実行してください。

**SLS1223I** HSCLEVEL set to CCC for Host CCCCCCCC

説明：ホスト (CCCCCCCC) の CDS ホストアクティブフラグおよび HSC レベルフラグは、ホストが非アクティブであることを示すように設定されました。

システムの処理：指定のホストが実際にアクティブである場合以外は、何も行なわれません。この場合、実行中のホストにより、「ホストアクティブ」表示フラグと HSC レベル状況フラグが再びオンにされます。

ユーザーの処置：なし

**SLS1224I** Cells AA:LL:PP:RR:CC- AA:LL:PP:RR:CC found empty or invalid

**説明：**問題のセル(複数の場合もあります)が、空であるか、またはボリュームを保持できるセルでないことがわかりました。過去の監査と比較して、妥当性を確認してください。

**システムの処理：**ボリュームはエラントになります。

**ユーザーの処置：**必要に応じて指示されたセルを監査し、正しいかどうかを確認してください。

**SLS1227I** RESTORE is required before running SET TCHNIQE

**説明：**SLUADMIN ユーティリティ(SET TCHNIQE)は、制御データセット回復 TCHNIQE を SET しようとしたが、RESTore が稼働していないことを知らされました。SET TCHNIQE を実行する前に、BACKup と RESTore を稼働させなければなりません。

**システムの処理：**ユーティリティの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**CDS コピーを RESTore 後、SLUADMIN ユーティリティ(SET TCHNIQE) ジョブを再サブミットします。

**SLS1250D** ENTER of volume volser encountered missing duplicate volser; (Logically) Delete, or Ignore (D,I)?

**説明：**ENTER 操作中、制御データセット内に重複ボリュームが見つかりましたが、そのボリュームをライブラリ内で物理的に見つけられませんでした。

**システムの処理：**オペレータは、制御データセットのボリューム項目を削除(D)するか、入力要求を無視(I)するよう要求されます。

**ユーザーの処置：**「D」と応答すると、制御データセットからボリューム項目が削除されるため、カートリッジを挿入できます。「I」と応答すると、新しいボリュームの入力処理は終了します。

**SLS1251E** CAPid AA:LL:CC (CCCCCCCC1): CCCCCCCC2

**説明：**指定の要求元(CCCCCCCC1)が、CAP がオープンまたはロック解除されるときに、文字列 CCCCCCCC2 を表示するよう要求しました。

**システムの処理：**なしこのメッセージは、CAP のドアを閉めると強調表示が解除されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1252I** EJECT of volser - Volume deleted from the CDS

**説明：**オペレータが、メッセージ SLS0925D に「I」と応答しました。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1253I** CCC...CCC rejected - CCC...CCC is CCC...CCC

説明：CAP 操作に失敗しました。次の SLS1253I メッセージが表示される可能性があります。

- ENTER|EJECT rejected - ACSid AA is invalid
- ENTER|EJECT rejected - ACSid AA is not connected
- ENTER|EJECT rejected - CAP AA:LL:CC is busy
- ENTER rejected - CAP AA:LL:CC is unavailable
- ENTER|EJECT rejected - LSMid AA:LL is invalid
- ENTER|EJECT rejected - LSMid AA:LL is offline
- ENTER of *volser* rejected - LSMid AA:LL is full
- ENTER of *volser* rejected - Operation is aborted by operator
- EJECT of *volser* rejected - Volume is busy
- EJECT of volume *volser* rejected - CAP AA:LL:CC is not in the same ACS as the volume

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1254I** {ENTER|EJECT} rejected; non-zero return code XXXXXXXX

説明：CAP 処理から、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処理：要求は拒否されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS1255I** OPTion DUPOFL set to ON, enter of dup *volser* allowed, scan of dup *volser* cell returned LMU RC - XXXX

説明：*volser* を ENter した際、制御データセットが *volser* の重複と思われるものをライブラリ内に検出しました。ハードウェアに問題があり、*volser* がある場所のセルに何があるかを制御データセットが物理的に検証するのを妨げています。LMU RC が、物理的に *volser* を参照できないようにしているハードウェア問題を定義しています。LMU RC の説明については、『HSC メッセージおよびコード解説書』の「戻りコード」の章を参照してください。

システムの処理：OPTion DUPOFL 設定を ON にすることで、重複 *volser* を処理できるようになりました。重複 *volser* は、制御データセットから論理的に削除されました。ENter 処理中に重複が見つかった *volser* は、ライブラリに入力されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS1300D** CAPid AA:LL:CC allocated to AUDIT Utility; KEEP or RELEASE the CAP?(K or R)

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能に割り振られているカートリッジアクセスポート (CAP) は、解放されて、CAP の使用を必要とする別の機能に割り振れます。この CAP を解放した場合、ユーティリティー機能はしばらくした後はその CAP の再割り振りを試みます。

**システムの処理：**ユーティリティーは、有効な応答が与えられるまで最大で 5 分間処理を保留します。

**ユーザーの処置：**CAP を解放する場合は、「R」と応答してください。そのあとで CAP を空にして、ドアを閉めてください。監査が再開されます。

ユーティリティーの実行中、CAP を割り振られた状態にしておく場合は、「K」と応答してください。

5 分以内に応答しないと、省略時の応答である「K」が想定されます。

**SLS1301I** Invalid reply C

**説明：**メッセージに対する応答が無効でした。

**システムの処理：**応答を必要としていた元のメッセージが、再表示されます。

**ユーザーの処置：**もう一度メッセージが出されたら、有効な応答を行なってください。

**SLS1302I** Unable to allocate CAPid AA:LL:CC, RC=XXXXXXXX

**説明：**カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、ユーティリティー制御文に指定された CAP を割り振れませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**メッセージに示された CAP エラー戻りコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS1303I** Unable to allocate CAP in ACSid AA, RC=XXXXXXXX

**説明：**カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、指定の ACS 内の CAP を割り振れませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**メッセージに示された CAP エラー戻りコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS1304I** No scratch volumes exist for subpool CCCCCCCC in ACS AA

説明：EJECT ユーティリティーが指定のサブプールからスクラッチボリュームをイジェクトするように要求しましたが、ACS AA にスクラッチボリュームはありませんでした。

システムの処理：ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：スクラッチボリュームをイジェクトすべき別のサブプールを選択するか、または SCRATCH ユーティリティーを実行してボリュームをスクラッチにしてください。

**SLS1310I** Invalid LIBONLY specified in PARM parameter of JCL

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムが、呼び出し元の JCL で誤って指定されている LIBONLY 定位置パラメータを検出しました。

システムの処理：パラメータにエラーがあることが表示され、ユーティリティーは戻りコード 8 を返して終了します。

ユーザーの処置：パラメータを正しく指定し直してください。

**SLS1311I** Program interface error encountered while processing volume volser;  
RC=XXXXXXXX

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムが、HSC プログラムインタフェースによってボリュームをスクラッチ状況に設定しているときに、エラーが起きました。

システムの処理：メッセージにボリュームと戻りコードが示されます。ユーティリティーは、戻りコード 8 を返して終了します。

ユーザーの処置：このマニュアルを参照してエラーの原因を判別し、エラーを訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS1312I** DDDDDDDD volumes successfully scratched

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムが、メッセージに表示された本数のボリュームを、スクラッチ状況に正しく設定しました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1313I** No valid parameters specified for the CCCCCCCC utility

説明：CCCCCCCC で示されたユーティリティーには、少なくとも 1 つの有効なキーワードかパラメータが必要です。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：適切なキーワードを与えて、ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS1314I** CDS CCCCCCCCCC was not provided in the JCL

**説明** : CDS データセット名 (CCCCCCCCC) が見つかりましたが、このデータセット名はユーティリティー JCL に与えられていません。

**システムの処理** : SET ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : 適切な CDS DD 文をユーティリティー JCL に追加してください。

**SLS1315I** DDDDDDDD was selected as the CCCCCCCC control data set

**説明** : ユーティリティー機能は、DHB ブロックまたは JCL から、データセット DDDDDDDD が CCCCCCCC CDS であると検出しました。

**システムの処理** : ユーティリティーは続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1316I** Standby control data set not used during analysis

**説明** : ユーティリティー機能により、BACKup OPT(Analyze) の実行中にスタンバイ DD 文が与えられたことがわかりました。

**システムの処理** : ユーティリティーはスタンバイデータセットの使用を中止します。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1317I** No DES record found for errant volume *volser*

**説明** : AUDIt 処理中、ボリューム *volser* がエラントであることを示す VAR レコードが見つかりました。しかし、該当するエラントボリュームに対する DES レコードが、CDS 内で見つかりませんでした。SLUADMIN AUDIt レポートにこのメッセージが表示される場合は、メッセージ SLS0180I が同時に表示されます。

**システムの処理** : ユーティリティーは、要求された機能を完了せずに終了します。

**ユーザーの処置** : このメッセージは、CDS での重大な論理的問題を示すもので、データベースの破壊が起こったことを示していると考えられます。すべてのコンソールログ (SYSLOG) を保管し、CDS のバックアップコピーを問題の資料として提供できるように用意してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS1318I** Volume *volser* now has a readable label

**説明** : AUDIt 処理中、ボリューム *volser* に読み取り不能外部ラベルが付いていることを示す VAR レコードが見つかりました。しかし、実際にそのボリュームをスキャンしたら、OCR ラベルは読み取り可能であって VAR 内のボリュームシリアル番号と一致することが示されました。

**システムの処理** : ユーティリティーは、ボリュームに読み取り可能な外部ラベルが付いていることを示すよう CDS を更新します。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1320I** Unrecoverable mount error on device *DDD* volser *volser* for JOB *NNNNN*

説明：メッセージ IAT5210 で要求されたマウント操作のためのメッセージ IAT5310 に応答する際、HSC がボリュームマウントエラーを検出しました。

システムの処理：HSC はマウントループを中断し、デバイス (*DDD*) に対してディスマウントを実行します。ジョブは、MDS VERIFY Q のままです。

ユーザーの処置：メッセージ IAT5310 を参照してマウントエラーの原因を調べ、適切な処理を行なってください。

**SLS1321I** Invalid parameter found at end of PARM parameter of JCL

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムが、JCL の起動で指定された有効なパラメーターのあとに追加の文字を検出しました。

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：PARM パラメータを正しく指定しなおしてください。そのあと、ユーティリティーを再度実行してください。

**SLS1403I** Parmlib control statement value *CCCCCCCC* invalid for SCRPOOL=*CCCCCCCC*

説明：SCRPOOL 制御文の処理で、指定のエラーが見つかりました。「value *CCCCCCCC*」の「*CCCCCCCC*」には、次の文字が入ります。

<i>RANGE</i>	「RANGE」の使用に問題があることを示しています
<i>RANGE=(11111-22222)</i>	「RANGE」リストに問題があることを示しています
<i>11111</i>	指定の SCRPOOL 範囲リストの最初の値
<i>22222</i>	指定の SCRPOOL 範囲リストの 2 番目の値
<i>NAME</i>	「NAME」の使用に問題があることを示しています
<i>LABEL</i>	「LABEL」の使用に問題があることを示しています
<i>HOSTID</i>	「HOSTID」の使用に問題があることを示しています

システムの処理：エラーのある SCRPOOL 制御文は処理されず、そのサブプール定義はシステムに置かれません。

ユーザーの処置：必要に応じて訂正を行ない、HSC を停止 / 再起動してから、変更を反映させてください。

- SLS1404I** Duplicate definition(s) for SCRPOOL CCCCCCCCCCCCCC ignored
- 説明：**すでに定義されているサブプール名に対する SCRPOOL 文が見つかりました。
- システムの処理：**重複する定義は無視されます。
- ユーザーの処置：**HSC 起動パラメータから、サブプール CCCCCCCCCCCCCC に対する重複した定義を削除してください。
- SLS1405I** The scratch threshold task could not be reinstated
- 説明：**スクラッチ限界値タスクが終了しましたが、HSC はそのタスクを正常に回復できませんでした。
- システムの処理：**HSC の処理は続行されます。
- ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。
- SLS1406I** Label Type CCC is already assigned to SUBPOOL CCCCCCCCCCCCCC
- 説明：**HSC の初期設定中に、同じサブプールに複数のラベルタイプが割り当てられていることがわかりました。
- システムの処理：**ユーザーエラーの可能性がります。HSC にサブプールを定義する際、サブプールごとに、ラベルタイプが必ず 1 つだけ指定されるようにします。
- ユーザーの処置：**HSC ユーザー出口 03、またはスクラッチサブプールを定義する HSC PARMLIB メンバーのいずれかにあるユーザーエラーを訂正してください。
- SLS1407I** User SCRATCH subpool definition from CCCCCCC initiated
- 説明：**CCCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が開始されました。
- CCCCCCC が「PARMLIB」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義ソースは、「SLSSYSnn」DD カードです。「UEXIT03」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。
- システムの処理：**ユーザー SCRATCH サブプールが定義されます。通常このメッセージに続いて、メッセージ SLS1969I および SLS1408I が表示されます。
- ユーザーの処置：**なし

## SLS1408I - SLS1410I

### SLS1408I User SCRATCH subpool definition from CCCCCC complete

**説明：**CCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が完了しました。

CCCCCC が「PARMLIB」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義ソースは、「SLSSYS00」DD カードです。「UEXIT03」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。

**システムの処理：**なし通常このメッセージの前に、メッセージ SLS1407I および SLS1969I が表示されます。

**ユーザーの処置：**なし

### SLS1409I Subpool XXXXXX has duplicate volser range volser-volser - range ignored

**説明：**サブプール (XXXXXX) の定義の中のボリュームシリアル番号の範囲が重複しています。

**システムの処理：**重複したボリュームシリアル番号の範囲を使用しないでサブプールの定義が続けられます。

**ユーザーの処置：**サブプール XXXXXX のユーザー出口 03 または SCRPOOL 定義のボリュームシリアル番号の範囲を、重複しないように訂正してください。

### SLS1410I VCAM cleaner error detected for LSM AA:LL

**説明：**LSM AA:LL のクリーナーカートリッジを記録する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、エラーがありました。カートリッジの低位シリアル番号の方が、高位シリアル番号より大きいです。HSC は、クリーナーカートリッジの選択にこの LSM を使用しません。

**システムの処理：**診断のためにダンプが取られます。隣接する LSM 内に使用可能なクリーニングカートリッジがある場合、このクリーニング要求でそれらが選択されることがあります。

**ユーザーの処置：**この LSM 内のクリーニングカートリッジをイジェクトしてから挿入すれば、エラーが訂正されることがあります。HSC RECONFIG が、クリーニングカートリッジ情報を再作成します。

**SLS1411I** SCRPFDEF cmd(s) disabled by PARMLIB SCRPOOL(s) or USER EXIT03**説明 :**

1. 『システムプログラマーズガイド』で説明されているように、SCRPOOL コマンド、またはユーザー出口 03 処理によって、HSC STARTUP の間に SCRPFDEF コマンドが無効になっています。
2. SLS1411I メッセージは、HSC STARTUP 処理を行なうときに発行され、SCRPFDEF コマンドを使用不能にします。
3. このメッセージは、SCRPFDEF コマンドが使用不能になった後に SCRPFDEF コマンドが要求された場合にも発行されます。

**システムの処理 :** SCRPFDEF コマンドがバイパスされます。

**ユーザーの処置 :**

1. SCRPFDEF コマンドが正しい HSC PARMLIB および HSC の起動処理を必要とした場合は、次の処理を行なってください。
  - SCRPOOL コマンドを削除する。
  - ユーザー出口 03 処理を除去する。
2. SCRPFDEF コマンドが必要とされない場合は、訂正処置は必要ありません。

**SLS1450I** CAP cannot be released.LSM AA:LL is not available

**説明 :** HSC が LSM AA:LL と通信できなかったため、その LSM 上の CAP の解放要求が処理されませんでした。

**システムの処理 :** CAP は、HSC によっては解放されません。

**ユーザーの処置 :** LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージに対するコンソールログを調べてください。LMU エラーまたはハードウェアエラーが示されている場合があります。おそらく、LSM が非アクティブか、作動不能です。ハードウェアエラーが見つかった場合は修正し、もう一度 CAP を解放してみてください。

**SLS1500I** Error copying primary data base to secondary and/or standby data base

**説明 :** セカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットが無効である可能性があります。

**システムの処理 :** 再構成処理は停止します。

**ユーザーの処置 :** 導入システムで、IEBGENER のようなユーティリティーを使用して、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーできます。

### SLS1501I      SYNAD Error Message text

**説明：**再構成処理の最後で、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーした際に、SYNAD エラールーチンに制御が渡されました。このメッセージテキストは、SYNAD 処理によって提供されたテキストです。

**システムの処理：**再構成処理は停止します。

**ユーザーの処置：**エラーの原因を判別してください。そのあと、導入システムで、IEBGENER のようなユーティリティを使用して、プライマリ制御データセットを、セカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーできます。

### SLS1502I      SMF subparameter CCCCCCCC; no SMF data will be recorded

**説明：**このサブシステムの SUBPARM パラメータが指定されていないか、または無効です。

**システムの処理：**サブシステムは SMF の記録が行なわれないデフォルトに設定されます。

**ユーザーの処置：**導入システムで、SMF 記録を追加したい場合は、「SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...)))」を指定して、SET SMF または SETSMF コマンドを入力できます。

### SLS1503E      Could not establish ESTAE (rc XX); User exit 7 not invoked

**説明：**ユーザー出口 7 を呼び出す前に、回復ルーチンを確立しようとしてしました。この操作は、戻りコード (XX) で失敗します。

**システムの処理：**ユーザー出口 7 が呼び出されていません。システムは初期設定を行なうか、終了します。

**ユーザーの処置：**ESTAE を呼び出すことができなかった原因を調べ、問題を解決してください。

### SLS1504I      Initialization control statement CCCCCCCC is invalid, default values used

**説明：**CCCCCCCC で指定された初期設定制御文の構文が間違っています。

**システムの処理：**文が CDS または JOURNAL 以外の場合、HSC サブシステムは、その文の省略解釈値を使用し、初期設定を続けます。CDS、JOURNAL のいずれかの制御文にエラーがある場合、HSC サブシステムは初期設定を行なうことができません。

**ユーザーの処置：**無効な制御文を訂正し、必要に応じて HSC サブシステムを再起動させてください。

**SLS1505I** HSC service level {BASE|FULL} initialization complete

**説明：**HSC の初期化が表示されているサービスレベルについて終了しました。

このメッセージは、BASE または FULL サービスレベルについての初期化が終了すると表示されます。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1506I** HSC service level {BASE|FULL} termination in progress

**説明：**HSC は表示されているサービスレベルの終了処理を開始しました。このメッセージは、BASE または FULL サービスレベルについての終了処理が開始されると表示されます

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1507I** Command starting at line *NN* has excessive length

**説明：**HSC が、パラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとした際に、長すぎるコマンドを見つけました。オペレータコマンドの場合、この制限値は 126 です。その他のコマンドの場合、この制限値は 32767 です。

**システムの処理：**処理は続行されます。コマンドは無視されます。

**ユーザーの処置：**パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

**SLS1508I** Unknown command *CCCCCCCC* at line *NN*

**説明：**HSC が、パラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとした際に、定義されていないコマンドを見つけました。

**システムの処理：**処理は続行されます。コマンドは無視されます。

**ユーザーの処置：**パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

## SLS1509I - SLS1512I

### SLS1509I I/O error CCCCCCCC

**説明：**入出力エラーが起きました。CCCCCCCCは、エラーを説明するメッセージです。MVSの場合、これはSYNADAFメッセージバッファからの情報です。VMの場合、これには、ジョブ名、デバイスアドレス、DD名、DECB ECBの16進ダンプ、相対ブロック番号が含まれます。

**システムの処理：**パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。システムは、可能であれば、初期設定を続けます。しかし、CDS文またはJOURNAL文がない場合、処理を続けることは不可能です。

**ユーザーの処置：**パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS文またはJOURNAL文の場合は、エラーを訂正して、HSCを再起動させてください。

### SLS1510I Comment not terminated near line NN

**説明：**パラメータデータセットの処理中に、/\* で始まった注釈が \*/ で終わっていませんでした。これは、行 NN の近くで見つかりました。

**システムの処理：**コマンドの /\* の後ろの部分は無視されます。エラーのあったコマンドの後続のコマンドは処理されますが、さらにエラーが起こる可能性があります。

**ユーザーの処置：**注釈の終わりを示す標識(\*)/を、パラメータデータセットに加えてください。

### SLS1511I CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

**説明：**HSCが資料として使用するために、パラメータデータセットからハードコピーログに情報を送っています。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

### SLS1512I Error occurred processing CCC...CCC

**説明：**パラメータデータセット(CCC...CCC)の処理中にエラーが起きました。

**システムの処理：**パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。システムは、可能であれば、初期設定を続けます。しかし、CDS文またはJOURNAL文がない場合、処理を続けることは不可能です。

**ユーザーの処置：**パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS文またはJOURNAL文の場合は、エラーを訂正して、HSCを再起動させてください。

**SLS1513I** HSC service level {BASE|FULL} termination complete

**説明：**メッセージに示されたサービスレベルの HSC が終了しました。この終了処理は、オペレータコマンドによって開始された場合は正常です。一方、回復できないソフトウェア障害が原因で HSC そのものによって開始された場合は異常です。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1515I** MVS 4.1.0 services are not present

**説明：**必要なサービスをサポートしていない (CVTH4410 がオンになっていない) MVS 上で、HSC の MVS 4.1.0 版の初期設定が行なわれようとなりました。

**システムの処理：**HSC は初期設定を行ないません。

**ユーザーの処置：**正しいバージョンの HSC を開始してください。

**SLS1516I** HSC Version CCCCCCCC

**説明：**CCCCCCCC には、初期設定中の HSC のバージョンが表示されます。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1517A** The HSC task name does not match a subsystem name or the SSYS keyword was not provided

**説明：**初期設定中、サブシステム名は、起動手順名、または起動プロシージャ内の PARM="SSYS(CCCC)" 定義のいずれかと一致しなければなりません。CCCC は、1-4 文字のサブシステム名を示します。

SSYS パラメータが指定されている場合、HSC は SSYS パラメータの値に一致するサブシステム名を探索します。SSYS パラメータが指定されていない場合、HSC は起動手順の名前 (スターテッドタスク名) を使用して探索を行ないます。

MVS では、サブシステム名は、IEFSSNxx で定義されます。VM の場合、起動手順は HSC 起動用 SLKJCL ファイルです。システムプロファイル (SYSPROF) の LIBSUBSYS パラメータ値が HSC 起動 SLKJCL ファイルのジョブ名と一致するか、または SSYS パラメータ値が LIBSUBSYS パラメータ値と一致しなければなりません。

**システムの処理：**HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置：**正しいサブシステム名かジョブ名を与えて、HSC を再起動させてください。

## SLS1518I - SLS1600I

### SLS1518I Pre-initialization complete

説明：INIT パラメータを使用して呼び出された HSC 起動手順が完了しました。

システムの処理：INIT パラメータは、ジョブ入力サブシステム (JES) サービスを使用するために、サブシステムを起動させます

ユーザーの処置：なし

### SLS1519I PARMLIB command CCCCCCCC at line NN is not supported in this environment - ignored

説明：HSC がパラメータデータセットからコマンドを読み取っているときに、この環境 (MVS または VM) ではサポートされていないコマンドが見つかりました。

システムの処理：処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの処置：なし

### SLS1600I Host-to-Host Summary:

	Hostid	Method	MethLim	VTAMname	LMUpath
[>>]	<i>host1</i>	<i>meth1</i>	<i>methlim1</i>	[ <i>name1</i> ]	[ <i>acsid1</i> ]
	<i>host2</i>	<i>meth2</i>	<i>methlim2</i>	[ <i>name2</i> ]	[ <i>acsid2</i> ]
	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.
	<i>hostn</i>	<i>methn</i>	<i>methlimn</i>	[ <i>namen</i> ]	[ <i>acsidn</i> ]

説明：定義されている HSC ホスト ID のリストが、対応する現在の方式とその限界値とともに表示されます。「>>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。定義されている場合は、VTAMpath 名が表示されます。現在の方式が LMU である場合、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1601I** Host-to-Host Detail:

```
[>>]Hostid=hostid1
      Method=meth
      Method limit=methlim
      [VTAMname=name]
      [Active LMU path=acsid]
      [LMU path(s) defined:
        acsid1  acsid2   acsid3   acsid4
        acsid5  acsid6   acsid7   acsid8
        .        .        .        .
        .        .        .        .
        .        .        .        acsidn ]
```

**説明：**定義済みの HSC ホスト ID の現在の設定値が表示されます。「>>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。定義されている場合は、VTAMpath 名が表示されます。現在の方式が LMU である場合、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。LMUpath ACSids が定義されている場合は、探索順に ACSids のリストが表示されます。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1602I** Method *CCCC* invalid; no *CCCCpath* defined

**説明：**指定された通信方式に対応する経路が定義されていません。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**前もって経路を定義してある通信方式を指定するか、または必要な経路を定義して、コマンドを再実行してください。

**SLS1603I** Cannot delete all *CCCCpath* definitions while current method is *CCCC*

**説明：**現在アクティブな通信方式に対する経路定義のすべてを削除することはできません。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**現在の通信方式に非アクティブである経路定義を指定してコマンドを再実行するか、または新しい通信方式を指定するコマンドを入力してください。

**SLS1604I** Cannot {delete|modify} active *CCCCpath* definition

説明：現在アクティブな経路定義を削除、または変更することはできません。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：経路を非アクティブ化する、経路を変更する、通信方式を変更する、のいずれかを行なった後、コマンドを再入力してください。

**SLS1605I** No matching *CCCCpath* definition to delete

説明：DEL パラメータで指定された経路定義は現在存在しません。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：正しい経路定義を指定して、コマンドを再実行してください。

**SLS1606I** Too many *CCCCpath* definitions specified

説明：経路定義の数が、許可されている最大数を超えました。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：使用しない定義や不要な定義を削除してから、任意の正しい経路定義を指定して、コマンドを再実行してください。

**SLS1607I** MONITOR STATUS:

*CCCCCCCC1* - *CCCCCCCC2*

説明：このメッセージは、Display MONitor コマンドに対して出されます。*CCCCCCCC1* はコンソールを示し、*CCCCCCCC2* は現在のモニタータイプを示しています。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS1608I** Undefined *CCCCCCCC* specified: *XXXXXXXXXX*

説明：パラメータ値(*CCCCCCCC*)が前もって定義されていません。*XXXXXXXXXX*は、指定されたものを示します。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS1609I** No valid parameters specified for *CCCCCCCC* command

**説明** : *CCCCCCCC* コマンドの入力を試みましたが、有効なパラメータが指定されていませんでした。直前のメッセージに、エラーの説明がされています。

**システムの処理** : このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : 有効なパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS1610I** Method *CCCC* is higher than limit defined for host *CCCCCCCC*

**説明** : COMMPATH コマンドは、別のアクティブホストによって指定された通信方式より上位または下位の通信方式を指定しました。たとえば、ホスト A が METHOD(CDS) を指定し、ホスト B が METHOD(LMU) を指定した場合、このメッセージではホスト A が識別されることになります。

**システムの処理** : 2つのホスト間で使用される通信方式は、2つのホストで指定された、共通する最も高いレベルになります。たとえば、ホスト A が METHOD(CDS) を指定し、ホスト B が METHOD(LMU) を指定した場合、2つのホストは CDS によって通信します。

**ユーザーの処置** : 通信レベルが受け入れ可能な場合は何もしないでください。そうでない場合は、メッセージに示されたホストで、METHOD パラメータを必要な通信のレベルに設定して、COMMPATH コマンドを再発行してください。

**SLS1611I** Invalid RETRY function - *CCCCCCCC*

**説明** : RETry コマンドに指定された機能 (*CCCCCCCC*) が無効です。

**システムの処理** : RETry コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : 『HSC オペレータガイド』を参照するか、または HSC Display CMd RETry コマンドを発行して、現在サポートされている RETry 機能を判別してください。

**SLS1613I** Data set *CCCCC1* {ENABLED|DISABLED}

**説明** : *CCCCC1* はデータセット名です。CDs Enable コマンドまたは CDs Disable コマンドが出され、処理が完了しました。

**システムの処理** : HSC は通常のアクティビティを再開します。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1614I** Auto Enable {ENABLED|DISABLED}

**説明** : Auto Enable コマンドが出され、有効または無効のいずれかになります。

**システムの処理** : HSC は通常のアクティビティを再開します。

**ユーザーの処置** : なし

## SLS1615I - SLS1619I

### SLS1615I      Journal {ABEND|Continue} option enabled

説明：Journal FULL=Abend コマンドまたは Continue コマンドが出され、正常に終了しました。

システムの処理：HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの処置：なし

### SLS1616I      Disable request rejected; last active CDS cannot be disabled

説明：使用禁止要求が、アクティブな最後の CDS に対して出されました。

システムの処理：要求は失敗します。処理は許可されません。HSC は、アクティブな CDS のコピーを少なくとも 1 つは備えていなければなりません。さもなければ、HSC は停止してしまいます。

ユーザーの処置：オペレータコマンド HSC Display CDS を出して、すべての CDS コピーの状況を確認してください。

### SLS1617E      Request failed; data set CCCCCC1 not known to this host

説明：CCCCC1 はデータセット名です。CDs Disable 要求が出されましたが、入力されたデータセットが、このホストに認知されていませんでした。

システムの処理：HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの処置：現在 HSC が認識しているデータセットのみが利用不可になります。Display CDS コマンドを使用して、現在の CDS 定義をリストに表示し、CDs Disable コマンドを再発行してください。

### SLS1619I      {ENABLE|DISABLE|EXPAND} request failed

説明：CDs Enable、Disable、または EXpand 要求の処理中にエラーが起きました。

システムの処理：HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの処置：要求に関係するほかの HSC エラーメッセージを確認してください。

**SLS1620I** Enable request validation for data set *CCCCCCI* failed; *CCCCCC2*

説明：CCCCCCI はデータセット名です。CCCCCC は次のいずれかになります。

- Allocation failed
- Deallocation failed
- Data set must be allocated
- Open failed
- Close failed
- Read failed
- Not a valid CDS
- Data set is in error
- Invalid flag

Enable CCCCCCI に対し、システムは、与えられたデータセット名の妥当性を検査するために、そのデータセットの割り振り、オープン、読み取り、検証を行いません。そのあと、データセットのクローズと割り振り解除を試みます。これらのテストに成功すると、CDS の使用許可と切り替えの一方または両方が行なわれます。これらのテストに失敗した場合、このメッセージには、失敗したテストが示されます。

システムの処理：HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの処置：それまでに出力された MVS コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS エラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1621I** To enable a new CDS data set, only one CDS copy can be inactive;currently multiple copies inactive

説明：CDs Enable コマンドで新しい CDS データセットをアクティブにする試行は、CDS のコピーが 2 つ以上アクティブでないため、失敗しました。

システムの処理：HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの処置：Display CDS コマンドを使用して、現在の CDS データセット定義を表示します。CDs Enable コマンドで既知の CDS コピーの 1 つをアクティブにし、次に最初の CDs Enable コマンドを再発行して新しい CDS データセットをアクティブにしてください。

**SLS1622I** Down-level host *CCCI* found active during attempt to *CCCCCCCC2*

説明：HSC 5.0 の機能で CDs コマンドの発行を試行しましたが、ホスト CCCI でダウンレベルの HSC システムがアクティブであることを検出しました。CCCCCCCC2 は次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

新しい CDS データセットを有効にする  
CDS を拡張する

システムの処理：HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの処置：ホスト CCCI でダウンレベルの HSC ( およびほかのホストのダウンレベルの HSC ) を停止し、CDs コマンドを再発行してください。

## SLS1623I - SLS1625I

**SLS1623I** CDS CCCC...CCCC inactive; all CDS copies must be enabled to expand CDS

**説明：**CDs EXpand コマンドで CDS の拡張を試行しましたが、CDS のコピーであるデータセット CCCC...CCCC がアクティブでないことが検出されました。CDS の拡張には、すべての CDS コピーがアクティブ (使用可能) である必要があります。

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**CDs Enable コマンドを使用して CDS CCCC...CCCC をアクティブにします。次に CDs EXpand コマンドを再発行してください。

**SLS1624I** Attempt to CCCCCCCC failed; could not read DHB

**説明：**CDs コマンドで HSC 5.0 機能の実行を試行しましたが、アクティブな CDS DHB レコードの読み取り中に失敗しました。CCCCCCCC は次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

新しい CDS データセットを有効にする  
CDS を拡張する

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**それまでに出力された IBM コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS 読み取りエラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1625I** CCCC..CCC1 obsolete; use CCCC..CCC2

**説明：**要求された関数 CCCC..CCC1 はサポートされなくなりました。指定された代替 CCCC..CCC2 を使用してください。以下に示すのは、要求された機能とその代替機能との対応表です。

LOad SLSDDQR	Display CDS
LOad SLSLDQR	Display Requests
LOad SLSMDQR	Display DRives

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1626I** CCCCCCCC Parms installed from data set DDDDDDDD

説明：

CCCCCCCC = 導入対象のパラメータの種類  
(LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPFDEF、  
UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF)

DDDDDDDD = データセット名

LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、VOLDEF、または MVCDEF のいずれかのコマンドに応答し、HSC は上記のデータセットに含まれたパラメーター文を正常にロードしました。このメッセージが出された後、ロードされたパラメータは HSC によってただちに使用されます。

システムの処理：HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの処置：なし

**SLS1627I** CCCCCCCC Parms not installed, Reason code XXXX

説明：LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、VOLDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、または MVCDEF のいずれかのコマンドに対する応答で、HSC は上記のデータセットに含まれたパラメータステートメントを正常にロードしませんでした。

CCCCCCCC = 導入対象のパラメータの種類  
(LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPFDEF、  
UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF)

XXXX = 16 進の理由コード

次の理由コードと定義は、パラメータがロードされなかった理由を示します。

- 0008 – 1 つ以上の文で構文エラーが発生しました。
- 0009 – 2 つの文間で矛盾が検出されました。
- 000A – サポートされていないパラメータが JES3 システムで指定された
- 000B – 提供された情報が無効
- 000C – データセットの読み取り中に入出力エラーが発生した
- 0010 – HSC がデータセットを割り振ることができなかった
- 0014 – HSC がデータセットをオープンできなかった
- 0018 – データセットを処理するための十分なメモリーがなかった
- 001C – エラー数が多すぎる

いずれの場合でも、このメッセージの前にメッセージ SLS1628I または SLS0002I が出力され、見つかったエラーの詳細が示されます。

システムの処理：HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの処置：パラメータデータセットの問題を解決し、コマンドを再試行してください。

**SLS1628I** CCCCCCCC: Record DDDDDDDD ... EEEE

説明 : LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF、SLSMERGE、または SCRPFDEF コマンドまたは制御文の処理時に、HSC にエラーが起きました。

CCCCCCC= コマンドまたは制御文の種類 (TREQDEF、VOLDEF、UNITDEF、SLSMERGE)

DDDDDDD= ファイル内のレコード番号を示す 10 進数値。

EEEE= 複数行からなるこのメッセージの次の行を識別するためのシステム生成番号。

レコード番号により、エラーが発生した文を識別できます。レコード番号がゼロ (0) の場合、データセットの問題、または 2 つ以上のレコードが関係するエラーが発生していることを示します。

このメッセージは 2 行に分かれたメッセージであり、2 行めはエラーの性質を示します。2 行目のテキストは次のいずれかです。

- ACS - unknown ACSid

ACS キーワードに指定された ACSid を HSC が認識していません。

- ACSlist - duplicate ACSids

ACSlist キーワードで指定された ACSid のリストは、重複する値を含んでいます。

- ACSlist - maximum number of ACSids exceeded

ACSlist キーワードで指定される ACSids の数が、許容最大数を超過しています。

- ACSlist - unknown ACSid

ACSlist キーワードで指定された 1 つまたは複数の ACSid を HSC が認識していません。

- ARCHAge - Must be between 1 and 999 days

ARCHAge パラメータの値が限界値を超過しています。

- ARCHPol - Number of STORclas names exceeds maximum

VTCS の CDS レベルに応じて、記憶クラス名の数は 2 つまたは 4 つに制限されています。

- ARCHPol - STORclas name is invalid

記憶クラス名の最初の文字が英字ではありません。

- *CCCCCC* value out of range; must be *D-DDD*

MVCPOOL パラメータで指定された値が、許容範囲内にありません。

*CCCCCC* = MVCFREE、MAXMVC、THRESH、または START パラメータ  
*D-DDD* = パラメータ値の許容範囲

- ファイルの終わりでコメントが閉じていません。
- CONSRC - invalid specification

記憶クラス名の最初の文字が英字ではありません。

- CONSRC - MIGpol does not specify > 1 STORclas name

MIGpol パラメータも必須です。また、3 つ以上の一意の名前を含む必要があります。

- CONSRC - No matching STORclas name on MIGpol parameter

指定された記憶クラス名が MIGpol パラメータの名前のいずれかと一致している必要があります。

- CONSRC - VSM(ADVMMGMT) FEATures not active
- CONTGT - invalid specification

記憶クラス名の最初の文字が英字ではありません。

- CONTGT - VSM(ADVMMGMT) FEATures not active
- DELSCR - invalid specification

DELSRC キーワードで指定された値が、NO または YES ではありません。

- Drives specified in list or range are not the same type of device
- DUPlex - invalid specification

DUPlex キーワードで指定された値が、YES または NO ではありません。

- Duplicate UNITATTR ADDRESS value encountered
- Error allocating dataset; Code *XXXX-XXXX*

*XXXX-XXXX* = DYNALLOC エラー / 理由コード

- Error opening dataset; Completion code *XXX-XX*

*XXX-XX* = OPEN 完了コードと理由コード

- Error near column *NNN:TTTTTTTT*

*NNN* = エラーが見つかった列番号  
*TTTTTTTT* = エラーテキスト

- CCCCCCCC {parameter|list|range}: TTTTTTTT の近くでエラーが発生しました。

CCCCCCCC - エラーになっているパラメータ、リスト、または範囲です  
TTTTTTTT - エラーテキストです (下記)

上記の 2 番目の 2 行メッセージで出力される可能性のあるエラーテキスト (TTTTTTTT) は次のとおりです。

- Cleaning Media invalid as media value
  - Co-requisite parameter missing
  - Invalid length of value
  - Invalid value
  - Mandatory parameter missing
  - Mutually exclusive parameters found
  - Positional error
  - Required value not found
  - Syntax error
  - Unknown keyword
  - Value supplied when none allowed
- エラーの数が多過ぎるため、ファイル処理が終了しました。
  - FUNCTION - Unrecognized value
  - I/O error reading dataset: CCCCCCCC  
CCCCCCCC = SYNADAF エラーメッセージ。
  - IMMEDmig - invalid specification  
IMMEDmig キーワードで指定された値が NO、KEEP、または DELETE ではありません。
  - メモリーが不足しています。
  - LKEYINFO: Supplied information is invalid  
LKEYINFO 文に提供された情報は無効です。
  - LMUADDR IP address invalid; CCCCCCCC  
LMUADDR パラメータが IP アドレスのように見えますが、IPv4 と IPv6 のいずれのアドレス形式にも準拠していません。
  - LMUADDR unknown hostname; CCCCCCCC  
LMUADDR が有効な IP アドレスではなく、有効なホスト名として解決できません。
  - LMUADDR no IPv6 support; CCCCCCCC  
LMUADDR パラメータが IPv6 アドレスを指定しましたが、ホストでは IPv6 プロトコルをサポートしていません。

- LMUADDR list contains more than maximum allowed items

4つのホスト名またはIPアドレスの最大値は、単一のLMUADDRキーワードに指定されます。

- LMUADDR unable to initialize the EZASMI API

TCP/IP サポートモジュールが使用できず、初期設定するためのソケット通信インターフェースが使用不可です。

- LMUPATH duplicate ACS ID found

ACS ID は、以前のLMUPATH文でも指定されています。

- LMUPATH Invalid ACS ID found

指定されたACS ID はHSCについて定義されていません。

- LMUPDEF: DOES NOT CONTAIN ANY LMUPATH STATEMENTS

LMUPDEF ファイルの読み取り中にLMUPATH文を検出できない場合は、このテキストは発行されません。LMUPATH文がファイルにある場合は、直前の注釈文を見直すことをお勧めします。注釈は、/\* で始まり \*/ で終わる注釈ブロック内にある必要があり、73-80 列は無視されます。

- MAXCLEAN incompatible with implied/default MEDIA

MEDIA キーワードが指定されておらず、しかも暗黙指定または省略時のメディアタイプはSTDでもDD3DでもSTK1UでもSTK2W(MAXcleanと互換性のある唯一のメディアタイプ)でもありません。MAXclean キーワードを除去するか、または互換性のあるメディア値を使用してMEDIA キーワードを指定してください。

- MAXCLEAN incompatible with MEDIA(XXXXXXXX)

XXXXXXXX は、MEDIA キーワードに指定される値です。STD、DD3D および STK2W (あるいは、その同義語または省略語のいずれか) だけが、MAXclean と互換性のあるメディア値です。

- MAXCLEAN valid only for Cleaning Cartridge Volsers (XXXXXX)

XXXXXX は、クリーニングカートリッジボリュームシリアル番号の形式を表します。その構成は、HSC のクリーナー接頭辞のあとに xxx が続いたものです。

- MAXCLEAN value not within allowable range

MAXclean キーワードが指定されましたが、その値は 1-32767 の許容範囲内にありません。

- MAXVtvsz exceeds that supported by CDS - Defaulted

MAXVtvsz パラメータに指定された値が CDS のレベルでサポートされている値を超えています。パラメータ値は、デフォルトで CDS レベルでサポートされている最大値になります。

- MAXVtvsz- invalid specification

MAXVtvsz キーワードで指定された値が、400、800、2000、または 4000 ではありませんでした。

- MEDIA - cleaner cartridge media invalid

STORclas 文のクリーナーカートリッジのメディアタイプが無効です。

- MEDIA - duplicate types in list

STORclas 文で重複メディアタイプが見つかりました。

- MEDIA - too many types in list

STORclas 文では、メディアタイプの数は 20 以下にする必要があります。

- MGMTCLAS is not valid with this FUNCTION

- MIGpol - Number of STORclas names exceeds maximum

VTCS の CDS レベルに応じて、記憶クラス名の数は 2 つまたは 4 つに制限されています。

- MIGpol - STORclas name is invalid

記憶クラス名の最初の文字が英字ではありません。

- MIGpol - VSM(ADV MGMT) FEATures not active

- MVCPOOL Names ALL and DEFAULTPOOL not allowed

- MVCPOOL values conflict with those on Record DDDDDDDD

MVCPOOL 文は、名前が同じ前の MVCPOOL 文とは異なる MVCFREE、MAXMVC、THRESH、または START 値を持つ必要があります。

DDDDDDDD = 前の MVCPOOL 文のレコード番号

- MVCPOOL/STORCLAS not valid with FUNCTION(SPECIFIC)

- MVCPOOL/STORCLAS/PREVV TSS not valid with FUNCTION(SCRATCH)

- NAME - invalid specification

NAME キーワードで指定された値が、8 文字を超えるか、無効な文字を含んでいます。NAME で指定された値は、A から Z で始まり、A から Z、0 から 9、\$、#、@ だけを含むことができます。

- パラメータは JES3 でサポートされていません。

- REPlicat - invalid specification

REPlicat キーワードで指定された値が、NO または YES ではありません。

- REPlicat(YES) - VSM(ADV MGMT) FEATures not active

- RESTIME - invalid specification

RESTIME の値は 1 から 9999 の間である必要があります。

- RESTIME - Mutually exclusive with IMMEDMIG(DELETE)

VTV を VTSS 内に常駐させるかどうかは指定できません。また、移行および削除をすぐに実行するかどうかも指定できません。

- RESTIME - VSM(ADVMMGMT) FEATures not active

- 文が長すぎます。

- STORclas - Migrate option invalid specification

MIGRATE パラメータに指定した値は無効です。

- STORclas - VSM(ADVMMGMT) FEATures not active

- Text indicating that unit, model, media type and rectech are invalid or incompatible

- 文を認識できません。

- Volser specification conflicts with that on Record *DDDDDDDD*

MVCPOOL 文の VOLSER 指定は、名前が異なる前の MVCPOOL 文で定義された VOLSER と部分的に重複します。

*DDDDDDDD* = 前の MVCPOOL 文のレコード番号

- VTSSSEL - VSM(ADVMMGMT) FEATures not ACTIVE

- VTVPAGE - invalid specification

VTVPAGE キーワードで指定された値が、STANDARD または LARGE ではありません。

- VTVPAGE value not supported by CDS - Ignored

LARGE のパラメータ値が CDS のレベルでサポートされていません。要求は無視され、STANDARD の値が使用されます。

- VTVPAGE(STANDARD) is invalid with MAXVtvsz > 800 - defaulting to LARGE

STANDARD のパラメータ値は、MAXVtvsz > 800 の場合は有効ではありません。要求は無視され、LARGE の値が使用されます。

- Wild card(s) not allowed in MVCPOOL

MVCPOOL 文では、VOLSER 指定にワイルドカードを使用することができません。

ここに記載していないテキストについての詳細は、このマニュアルのメッセージ SLS1973I を参照してください。

## SLS1629I - SLS1629I

**システムの処理**：表示されたレコード番号がゼロであったり、ファイルで 50 個のエラーが検出されたりしないかぎり、HSC はデータセットの処理を続けます。この 2 つの場合、データセットの処理は終了します。

**ユーザーの処置**：パラメータデータセットの問題を訂正し、コマンドを再試行してください。

**SLS1629I**      `CCCCCCCC: DDDDDDDD does not contain any stmts to process`

**説明**：

CCCCCCCC = 導入対象のパラメータの種類  
(LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRDEF、  
LKEYDEF、VOLDEF、UNITDEF)  
DDDDDDDD = データセット名

LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、SCRDEF、LKEYDEF、または VOLDEF のいずれかのコマンドに HSC が応答する際、上記のデータセットの中に適切なタイプの文がありませんでした。各コマンドに対する適切な文は次のとおりです。

- LMUPDEF - LMUPATH
- MGMTDEF - MGMTCLAS
- TREQDEF - TAPEREQ
- VOLDEF - VOLATTR
- UNITDEF - UNITATTR
- SCRDEF - SCRPOOL
- LKEYDEF - LKEYINFO

**システムの処理**：HSC は通常の操作を再開します。

**ユーザーの処置**：パラメータデータセットの問題を解決し、コマンドを再試行してください。

**SLS1630I** CCCCCCCC parameters are not loaded

説明：

CCCCCCCC = 表示対象のパラメータの種類 (LMUPDEF、MGMTDEF、SCRPDEF、TREQDEF、VOLDEF、UNITDEF、LKEYINFO)

Display LMUPDEF、Display MGMTDEF、Display SCRPEDEF、Display TREQDEF、Display UNITDEF、Display LKEYDEF、Display VOLDEF のいずれかのコマンドに HSC が応答する際、該当するタイプのパラメータがロードされていないことがわかりました。

システムの処理：HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの処置：なし

**SLS1631I** CCCCCCCC parameter status:

説明：

CCCCCCCC = 表示対象のパラメータの種類  
(LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、LKEYDEF、SCRPEDEF、VOLDEF、UNITDEF)

Display MGMTDEF、Display TREQDEF、Display UNITDEF、Display LMUPDEF、Display LKEYDEF、Display SCRPEDEF、Display VOLDEF のいずれかのコマンドに HSC が要求されたパラメータに関する情報を表示しました。このメッセージは、3-4 行からなるメッセージの最初の行です。続いて次の行が表示されます。

- LOADED FROM DDDDDDDD

パラメータのロード元のデータセット (適切であればメンバー名を含む)。

- TITLE: CCCCCCCC

パラメータのロード元のデータセットにあるタイトル (OPTIONS ステートメントで示されるもの)。パラメータに TITLE が含まれていない場合には、この行は表示されません。

- LOADED ON YYYY-MM-DD AT HH:MM:SS

パラメータが HSC によってロードされた日時。

システムの処理：HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの処置：なし

**SLS1632I** MODIFY command cancelled - a non-610 HOST active.

説明：MODIFY CONFIG コマンドが入力されましたが、1つ以上のホストが HSC610 より下位のレベルにあります。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：610 以外のホストを停止させて、MODIFY CONFIG コマンドを再入力してください。

**SLS1633I** SCRPFDEF parameters not installed from DDDDDDDD

説明：SCRPFDEF コマンドに対し、HSC が SCRPOOL 文がないことを検出したか、DDDDDDDD というデータセットに不正な SCRPOOL 文が少なくとも 1 つあることを検出しました。

システムの処理：HSC は、前の HSC スクラッチサブプールの設定を置き換えません。

ユーザーの処置：パラメータデータセットの問題を解決し、コマンドを再試行してください。

**SLS1634I** MODIFY command is cancelled - VTCS DR Test is active.

説明：MODIFY CONFIG コマンドが入力されましたが、VTCS DR Test がアクティブになっています。コマンドは実行されません。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：VTCS DR Test が終了するまで待ってから、コマンドを再入力してください。

**SLS1635D** To allow RESET to proceed; Reply Y to continue or N to cancel.

説明：CONFIG RESET コマンドを続行できるようにする前に、コマンドが誤って入力されたものでないことを確認するためにメッセージに応答することがオペレータに求められます。

システムの処理：なし。

ユーザーの処置：「Y」と応答して RESET コマンドを続行できるようにするか、「N」と応答して RESET オプションを取り消します。

**SLS1636D** To DELETE the ACS; Reply Y to continue or N to cancel.

説明：ACS を削除できるようにする前に、コマンドが誤って入力されたものでないことを確認するためにメッセージに応答することがオペレータに求められます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：「Y」と応答して DELETE ACS コマンドを続行できるようにするか、「N」と応答して取り消します。

**SLS1650E** ACS AA: Dual LMU {is|is not} configured; Master Is y, Standby is not ready

**説明**：スタンバイ LMU が作動不能です。これは、オペレータによる切り替え処理の結果の一時的な状況である可能性があります。

y は、マスター LMU ID の「A」か「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

**システムの処理**：処理はマスター LMU を使用して続けられます。

**ユーザーの処置**：スタンバイ LMU が、オペレータによる切り替え処理が原因で作動不能になった場合は、応答は不要です。

スタンバイ LMU が作動不能である原因が、障害によるものであることが明らかな場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

**SLS1651I** ACS AA: Dual LMU is configured; Master is y, Standby is ready

**説明**：このメッセージは、どの LMU がマスター LMU であるかを示し、同時にスタンバイ LMU の状況を示すものです。スタンバイ LMU が作動可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行させるためには、少なくとも 1 つのステーションがスタンバイ状況になければなりません。

AA が ACSid 番号です。

y は、マスター LMU ID の「A」か「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

**システムの処理**：処理はマスター LMU を使用して続けられます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS1652I** ACS AA: Switch aborted, C...C not standby station

**説明**：ステーション C...C が、SWitch コマンドが出された時点ではスタンバイ状態でしたが、現在はスタンバイステーションではありません。自動切り替えが起こったものと考えられます。

**システムの処理**：SWitch コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置**：SLS1650E または SLS1651I が出力されている場合、応答は不要です。ハードウェアエラーの疑いがある場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

**SLS1653D** ACS AA: *NN* {CAP|CAPs} active; confirm switch to standby LMU (Y/N)

**説明**：このメッセージは、ACS 内でアクティブな CAP の数を示すもので、オペレータが切り替え処理を終了できるようにする。

*NN* は、ACS 内でアクティブな CAP の数を示します。

**システムの処理**：HSC は、切り替えを進めるか (Y)、または SWitch コマンド処理を終了させるか (N) の応答待ち状態になります。

**ユーザーの処置**：すべての CAP ドアが確実に閉まっていることを確認してから、このメッセージに対して「Y」と応答するか、または「N」と答えて切り替えを中止してください。

**SLS1654I** ACS AA: Switch terminated due to operator response

**説明**：このメッセージは、オペレータの応答によって切り替え処理が取り消されたことを確認するためのものです。

**システムの処理**：SWitch コマンド処理は終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS1655I** ACS AA, Station C...C: Switch uncertain, standby LMU *CCCCCC* error

**説明**：HSC が、スタンバイ LMU に SWitch コマンドを送りましたが、エラーのために、有効な応答が得られませんでした。

*CCCCCC* は次のいずれかになります。

TIMEOUT, ACK-1, ACK-2, RESPONSE, READ-1, READ-2, NOISE, or EDIT-1

**システムの処理**：切り替えは起こる場合も、起こらない場合もあります。

**ユーザーの処置**：1 分間待ってください。メッセージ SLS1650E または SLS1651I が出力されなかった場合は、SWitch コマンドを再実行してください。このエラーについては、StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。

**SLS1656E** ACS AA: Switch initiated

**説明**：マスター LMU によって、SWitch コマンドが受け付けられました。

**システムの処理**：マスター LMU は再 IPL を実行し、スタンバイ LMU はマスター LMU を引き継ぎます。

**ユーザーの処置**：SLS1650E、SLS1651I、または SLS1667I が発行されている場合、応答は不要です。SLS1650E、SLS1651I、または SLS1667I が発行されていない場合は、問題があります。SWitch コマンドを再実行してください。コマンドの実行に失敗した場合は、マスター LMU の再 IPL を手動で実行することによって、切り替えを行なうことができます。障害については、StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。

**SLS1657I** ACS AA: Switch rejected, CCC...CCC

**説明** : スタンバイ LMU が、マスター LMU に再 IPL の実行を指示しましたが、エラーのために通信に失敗しました。

CCC...CCC は、次のいずれのかの理由を示します。

- Not "Dual LMU" – 「デュアル LMU」ではありません。
- Not standby Station – スタンバイステーションではありません。
- LAN link down – LAN リンクが停止しています。
- NAK from Master LMU – マスター LMU からの NAK です。
- SWITCH already active – SWITCH がすでにアクティブになっています。
- Master did not respond – マスターが応答しません。
- Both active and standby connections required – アクティブとスタンバイの両方の接続が必要です。
- Unknown error – 未知のエラーです。

**システムの処理** : SWitch コマンドの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : SLS1650E、SLS1651I、SLS1666E、または SLS1667I が発行されている場合、応答は不要です。そうでない場合は、SWitch コマンドを再実行してから、StorageTek ハードウェアサポートに障害について報告してください。スイッチは、マスター LMU、または RE ライブラリの SL コンソールを使用するスイッチを手動で IPL することで生成できます。

**SLS1658E** ACS AA: CCCCCC station C...C connected to LMU y as ZZZZZZ

**説明** : 論理的な矛盾が検出されました。

CCCCCC	ステーションの状況。接続側 LMU の状況によって「オンライン」か「スタンバイ」のいずれかになる
C...C	ステーションアドレス
y	LMU ID – 「A」または「B」
ZZZZZZ	LMU 状況 ( マスターまたはスタンバイ )

**システムの処理** : HSC は処理を続けようとしています。

**ユーザーの処置** : ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更した後、オンラインに戻してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

**SLS1659E** ACS AA: CCCCCC station C...C MMM...MMM

**説明**：論理的な矛盾が検出されました。

CCCCCC ステーションは、接続側 LMU の状況によって「オンライン」か「スタンバイ」のいずれかになります。C...C はステーションアドレスです。MMM...MMM 次のいずれか

- not a Dual LMU station – デュアル LMU ステーションではありません
- invalid Dual LMU ident – デュアル LMU ID が無効です

**システムの処理**：HSC は処理を続けようとしています。

**ユーザーの処置**：ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更した後、オンラインに戻してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

**SLS1660E** ACS AA: Master LMU W level XX, Standby LMU Y level ZZ

**説明**：LMU マイクロコードの矛盾が検出されました。

マスター LMU とスタンバイ LMU のマイクロコードが異なります。

W	マスター LMU ID – 「A」または「B」
XX	マスター LMU の互換性レベル
Y	スタンバイ LMU ID – 「A」または「B」
ZZ	スタンバイ LMU の互換性レベル

**システムの処理**：HSC の処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。デュアル LMU 構成の両方の LMU に、同じレベルの LMU マイクロコードを導入してください。2 つの LMU 上において HSC を異なる互換性レベルで実行できますが、これは推奨できる手順ではないので訂正してください。すべてのスタンバイ LMU ステーションをオフラインに変更することで、このメッセージの表示を回避できることもありますが、その場合は自動切り替えに支障がでます。

**SLS1661I** ACS AA, Station XXXX: LMU driver has been restarted

**説明**：ACS AA とステーション XXXX の LMU ドライバーが、異常終了のあとで再起動されました。直前のメッセージ SLS0680I が、異常終了について説明しています。

**システムの処理**：ステーションドライバーは、LMU に要求を送り、また、応答を受け取ります。

**ユーザーの処置**：すぐに処置を行なう必要はありませんが、LMU ドライバーの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

**SLS1662I** LMU driver monitor task has been restarted

**説明：**LMU ドライバーモニタータスクが、異常終了のあとで再起動されました。直前のメッセージ SLS0680I が、異常終了について説明しています。

**システムの処理：**ステーションドライバーのモニタータスクは、LMU ドライバータスクの起動、モニター、再起動を再び担当します。

**ユーザーの処置：**すぐに処置を行なう必要はありませんが、LMU ドライバーモニタータスクの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

**SLS1663I** ACS AA, Station C...C: Driver has abended

**説明：**ACS (AA) およびステーション (XXXX) の LMU ドライバーが、異常終了しましたが、再起動されていません。SLS0680I が異常終了について説明しています。

**システムの処理：**モニタータスクは、モニタータスクが異常終了して、オペレーティングシステムによりモニタータスクの再起動が禁止されている場合を除いて、LMU ドライバーを再起動させます。

**ユーザーの処置：**すぐに処置を行なう必要はありませんが、LMU ドライバーの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

**SLS1664A** ACS AA is disconnected {- unallocated}

**説明：**HSC が、現在 ACS (AA) に対して LMU ドライバーが作動していないことを判別しました。HSC は、現在の構成では、カートリッジ動作要求を自動化できません。「Unallocated」は、この ACS がオペレータによって NCO を介して削除されたことを示します。この ACS を、接続した状態のオンラインに戻すためには、「NCO ADD ACST」が必要です。

**システムの処理：**HSC は、およそ 5 分ごとにこのメッセージを出力し、状況が解決されなくても約 30 秒後にそれを消します。これは、ACS が切断されていることを注意する定期的なメッセージです。

**ユーザーの処置：**影響を受けた ACS に対するマウントとマウント解除を自動化するために HSC が必要な場合、オペレータは次のいずれかを行なうことをお勧めします。(1) ステーションをオンラインに変更する、(2) スタンバイステーションを有効にするようにデュアル LMU スイッチを強制変更する、または (3) HSC を再起動する。

**SLS1665E** ACS AA, Station XXXX: Driver CCC...CCC

説明 : ACS AA、ステーション XXXX で次のいずれかの条件 (CCC...CCC) が発生しました。

**attach failed**

連続 3 回の接続を試みましたが、ドライバータスクを確立できませんでした。

**inoperable, maximum attach attempts failed**

このドライバーを接続しようとする試みが合計 33 回行なわれましたが、すべて失敗しました。

システムの処理 :

**attach failed**

あるステーションについて、最初にこのメッセージが出されると、SLSLDMON は異常終了してダンプが取られます。そのあとで、接続の制限回数に達するまで、ドライバーの接続が繰り返し試行されます。同一のステーションについて、このメッセージが続けて出力されても、2 回目以降はダンプは取られません。

**inoperable, maximum attach attempts failed**

LSDMON は、このドライバーの接続をそれ以上試みません。このステーションを再び使用可能にするには、HSC を再起動する必要があります。

ユーザーの処置 :

**attach failed**

すぐに処置を行なう必要はありませんが、LMU ドライバーの異常終了、およびそのあとの SLSLDMON 異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

**inoperable, maximum attached attempts failed**

StorageTek ソフトウェアサポートに報告し、適切な時点で、HSC の再起動をスケジュールリングしてください。

**SLS1666E** ACS AA: RE LibID *CI* {is|is not} configured; Active *y* {is|not} ready, Standby not ready

**説明:** スタンバイライブラリ (*CI*) のライブラリコントローラ (LC) が作動不能です。これは、オペレータによる切り替え処理の結果の一時的な状況である可能性があります。

変数:

*AA* ACSid: 「00」 - 「FF」  
*CI* ライブラリ ID: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」  
*y* アクティブ LC の ID、 「A」 または 「B」 になりますが、LC エラーのために 「0」 になる場合もあります。

**システムの処理:** 処理はアクティブ LC を使用して続けられます。

**ユーザーの処置:** スタンバイ LC が、オペレータによる切り替え処理が原因で作動不能になった場合は、応答は不要です。  
 スタンバイ LC が作動不能である原因が、障害によるものであることが明らかな場合は、この問題を StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

**SLS1667I** ACS AA: RE LIBID *CI* is configured; Active *y* is ready, Standby is ready

**説明:** このメッセージは、どのライブラリコントローラ (LC) がアクティブ LC であることを示し、ライブラリ ID のスタンバイ LC の状況を示します。スタンバイが作動可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行させるためには、少なくとも 1 つのポート (2A または 2B) がスタンバイ状況である必要があります。

変数:

*AA* ACSid: 「00」 - 「FF」  
*CI* ライブラリ ID: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」  
*y* アクティブ LC の ID、 「A」 または 「B」 になりますが、LC エラーのために 「0」 になる場合もあります。

**システムの処理:**

処理はアクティブ LC で続けられます。

**ユーザーの処置:** なし

**SLS1700I** DHB eyecatcher bad in *CCC...CCC*

**説明:** DHB レコード (CDS のブロック 0) が妥当性検査のために渡されましたが、プログラムが、目印の 「DHB」 を見つけられませんでした。

**システムの処理:** この CDS のコピーは使用不能になります。これが最後の CDS コピーである場合、HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置:** 入力された CDS を調べて、正しいものを使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。さらに、それらが損傷したり、上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、損傷もない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS1702I Self correcting out-of-sync CDS block *blk-id*

**説明:** プライマリ CDS コピーとセカンダリ CDS コピーとを比較したときに、破損した CDS ブロック (*blk-id*) が見つかりました。

**システムの処理:** 不良コピーが正しいコピーに置き換えられます。

**ユーザーの処置:** なし

### SLS1703I *CCC...CCC* is being copied to *CCC...CCC*

**説明:** CDS データセットに対し、既存 CDS からレコードをコピーすることによる、使用許可処理を実行中です。これは、このホストに CDS Enable コマンドが出されたか、別のホストによって使用可能にされた新しい CDS をこのホストが認知したことの結果として起こりました。このメッセージに続き、コピーが終了すると SLS1704I が出力されます。さらに、マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、メッセージ SLS0715I が出力されます。

**システムの処理:** CDS のリザーブはこの時点で保持され、コピーが完了すると解放されます。HSC のアクティビティは、すべてのホストと新しい CDS 構成との同期がとれるまで、待ち状態になります。



**注:** 約 20 秒後にすべてのホストの同期がとれなかった場合、構成はコピー以前の状態に戻ります。つまり、使用可能にされた CDS が使用不可になり、使用不可にされた CDS が再び使用可能になります。

**ユーザーの処置:** なし

### SLS1704I CDS copy complete for *CCC...CCC*

**説明:** メッセージ SLS1704I の前には、メッセージ SLS1703I が必ず出力されます。メッセージに示された CDS に対して CDS 同期化処理が行なわれ、完了しました。新しく使用可能になった CDS データセットのデータは、アクティブであった CDS から再生されています。

**システムの処理:** HSC は、新しく割り振られた CDS を使用して、通常のアクティビティを再開します。

**ユーザーの処置:** なし

### SLS1705E All Control Data Set allocations failed, HSC cannot initialize

**説明:** PARMLIB CDSDEF (これが Reconfig の場合は RECDEF) 項目に指定されたすべてのデータセットの動的割り振りに失敗しました。

**システムの処理:** HSC は、少なくとも 1 つの CDS コピーがないと、初期設定を行なうことができません。

**ユーザーの処置:** このエラーは、PARMLIB 項目が存在しないか無効なために発生した可能性があります。MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べ、さらにメッセージ SLS1706E が存在すれば、そこから動的割り振り失敗の原因を判別してください。問題を解決して、HSC を再起動してください。

**SLS1706E** Allocation failed for CCC...CCC on volume volser, reason code XXXX, information code XXXX

**説明：**ボリューム (volser) にあるデータセット (CCC...CCC) の動的割り振りに失敗しました。ボリュームが指定されなかった場合は、空白またはアスタリスクになります。

**システムの処理：**初期設定は続けられますが、データセットの割り振りは行なわれません。これが CDs Enable コマンドからである場合、HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**SVC99 (動的割り振り) から理由コードと情報コードが返されます。最も一般的な理由コードの 1 つは 17xx であり、指定の CDS が見つからなかったことを示します。詳細についてと、理由コードの定義については、IBM SVC99 動的割り振りの資料を参照してください。

理由コードが 17xx 以外のとき、エラーの原因をより具体的に示す手がかりが情報コードに含まれていることがあります。次のキーを使用して、エラーがあるパラメータを判別してください。

鍵	フィールド
01	DDname
02	Dsn
04	Status
07	Unconditional Unallocation
10	Volser
15	Unit
55	Return DDname

**ユーザーの処置：**表示されたエラーメッセージから、動的割り振り失敗の原因を判別してください。PARMLIB または JCL の問題を解決してから、HSC を再起動させてください。これが CDs Enable コマンドからである場合、DSn パラメータの指定を訂正するか、カタログから外されたデータセットの NEWVol および可能性のある NEWUnit パラメータを指定してください。

### SLS1708I CCCCCCCC failed - RC=XXXXXXXX

**説明：**CDS のコピーを Enable または Disable にするコマンドの実行に失敗しました。あるいは、異常終了したプログラムのモジュール名と戻りコードが表示されます。したがって、CCCCCCCC は、Enable、Disable、モジュール名のいずれかになります。

**システムの処理：**メッセージに Enable または Disable が示された場合は、処理は何も行われません。モジュール名が示された場合は、HSC は異常終了します。

**ユーザーの処置：**戻りコードからトラブルの原因を判別してください。戻りコードのリストおよび説明についての詳細は、第 4 章を参照してください。問題を解決して、HSC を再実行してください。

### SLS1709I Attach failed for CCCCCCCC, RC=XX

**説明：**データベースサーバーを接続しようとしたが、失敗しました。

XX は、MVS SPL の System Macros に記載されている ATTACH マクロからの戻りコードを示します。

**システムの処理：**CDS のための入出力ルーチンは使用できません。したがって、HSC の初期設定はできません。

**ユーザーの処置：**接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。HSC は再起動しなければなりません。

問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

### SLS1710E Database switch failed

**説明：**CDS 回復中、代替コピーを使用可能にできませんでした。これは、動的割り振り、オープン、またはコピーのエラーによるものと考えられます。

**システムの処理：**使用可能なプライマリコピーがあれば、処理は続けられます。

**ユーザーの処置：**代替 CDS コピーの使用可否、オープンの失敗またはコピーでの入出力エラーの理由を判断してください。問題が解決できるものであれば、CDs Enable コマンドを出して、代替コピーを再びオンラインにしてください。

### SLS1711I Database services unavailable

**説明：**重大な内部エラーが起こり、HSC CDS のサービスが続けられなくなりました。

**システムの処理：**HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置：**StorageTek のソフトウェアサポートまたはハードウェアサポートに連絡してください。問題の診断に役立てるため、ダンプを保管しておいてください。

**SLS1712I** Hostid CCCCCCCC not found in CCC...CCC

**説明：**ホスト識別子 (CCCCCCCC) が、参照中の制御データセットのコピーに定義されているどのホスト識別子とも一致しません。ユーザーが間違った CDS の間違ったコピーを使用して実行しようとしているか、あるいは CDS が損傷しているか破壊されています。

**システムの処理：**これが最後の CDS コピーである場合、HSC の処理は終了します。

**ユーザーの処置：**入力された CDS を調べて、正しいものを使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。さらに、それらが損傷したり、上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、損傷もない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1713I** CDS CCC...CCC disabled

**説明：**CDS CCC...CCC が使用できなくなりました。

**システムの処理：**HSC から CDS が割り振り解除されます。

**ユーザーの処置：**システムログを見て、CDS が使用できなくなった理由を示すメッセージがないか調べてください。

**SLS1715I** CCCCCCCC initializing on: CCC...CCC1 CCC...CCC2 CCC...CCC3

**説明：**このホストは、メッセージに示された CDS のコピーを使用して初期設定されました。CCCCCCCC は HOSTid を示します。CCC...CCC1、CCC...CCC2、CCC...CCC3 は、CDS データセット名を示します。起動時にこのホストが初期設定に使用するコピーは、過去の HSC セッションのエラーまたはほかのホストのエラーによって、決まることがあります。HSC は、PARMLIB に示されたデータセットの一部しか使用しない場合があります。また、それらの順序は必ずしも同じであるとは限りません。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**なし

**SLS1717I** Standby CDS CCC...CCC disabled due to "DISABLE" parameter in the CDSDEF PARMLIB command

**説明：**ユーザーが、システムにスタンバイ CDS (DSN3) を定義するとき、CDSDEF ステートメントに DISABLE を指定しました。

**システムの処理：**その CDS コピーが有効な CDS であることを確認するために、それを読み取ろうとします。そのあと、そのコピーは非アクティブになり、割り振り解除されます。

**ユーザーの処置：**この CDS が必要な場合、CDS 切り替え時、あるいはプライマリ CDS かセカンダリーのいずれかが使用できなくなったときに、HSC がこの CDS を自動的に使用することはありません。したがって、オペレータコマンド CDs Enable を使用して手動で使用可能にする必要があります。

### SLS1718I CDS CCC...CCC disabled, not in use by other hosts

**説明：**メッセージに示されたコピーがほかのアクティブホストから使用されていなかったため、CDS の破壊と不一致を防ぐため、使用不能にされました。

**システムの処理：**CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

**ユーザーの処置：**この CDS コピーを使用した場合は、オペレータコマンド `CDs Enable` を使用してオンラインにしてください。

### SLS1719I CDS CCC...CCC disabling due to operator command

**説明：**CDS `CCC...CCC` は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

**システムの処理：**CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

**ユーザーの処置：**この CDS コピーを使用した場合は、オペレータコマンド `CDs Enable` を使用してオンラインにしてください。

### SLS1720E Database {switch|expand} not adopted by active host CCCCCCCC

**説明：**CDS 切り替えまたは拡張作業が正常に行なわれた後で、一定の時間が経過しても、ほかのアクティブホストがこの CDS を認知できませんでした。

**システムの処理：**メッセージを出したホストは操作を続けます。このホストは、さらに制約された CDS 構成に戻る場合があります。

**ユーザーの処置：**別のホストで HSC が突然終了した場合、それ以外のホストにはアクティブであるように見える場合があります。そのホストが終了したかどうかを確認してください。もし終了していれば、それを再起動するか、または `SLUADMIN (SET HSCLEVEL)` を実行してリセットしてください。複数のホストに `CDsEnable` または `Disable` コマンド、または `EXpand` コマンドが同時に入力された場合、このメッセージが表示されるはずのない 1 つ以上のホストに表示されることがあります。そのような場合、`Display CDS` コマンドを使用して CDS 構成を検査してください。構成が正しい場合、それ以上処理は必要ありません。複数のホストからコマンドが入力されたとき、すべてのホストがアクティブであるか、または CDS 構成が正しくない場合、内部の問題があります。MVS の場合は、オペレータコマンド `MVS DUMP` を出してそのホストを再起動してください。VM の場合は、オペレータコマンド `CP VMDUMP` コマンドを出してそのホストの仮想計算機を再起動してください。問題判別の材料としてダンプ、MVS `SYSLOG` または `SCP CONSLOG`、`LOGREC` または `EREP` データを収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1721I** CDS CCC...CCC disabled, not in use at prior HSC termination

**説明 :** CDS CCC...CCC は、HSC が最後に終了したときに使用されていなかったため、初期設定時に使用不能になりました。

**システムの処理 :** CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

**ユーザーの処置 :** この CDS コピーを使用するには、CDs Enable コマンドを使用してオンラインにしてください。

**SLS1722I** CDS CCC...CCC enabled, in use by other hosts

**説明 :** CCDS CCC...CCC がこのホストからは使用不能であり、ほかのホストに対してアクティブになっていることがわかりました。これは、ほかのホストから、オペレータコマンド CDs Enable が出されたために起こったものです。CDS データセットは、このホストからすでに使用できるようになっています。

**システムの処理 :** CDS は、このメッセージが表示されたホストからも自動的に使用可能になります。

**ユーザーの処置 :** なし

**SLS1723I** SVARSRV service detects invalid VALUEL XXXX

**説明 :** PARMLIB 項目の解析中、内部ルーチンに無効な長さが渡されました。

**システムの処理 :** HSC の初期設定は失敗します。

**ユーザーの処置 :** MVS SYSLOG または SCP CONSLOG のコピーと、HSC PARMLIB 項目のコピーを保存してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS1724I** CCCCCCCC1 is invalid on the CCCCCCCC2 statement

**説明 :** PARMLIB 項目の解析中、PARMLIB 文 (CCCCCCCC2) で無効なコマンド (CCCCCCCC1) が見つかりました。

**システムの処理 :** HSC の初期設定は失敗します。

**ユーザーの処置 :** メッセージに示された文で問題のあった項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

**SLS1725I** Command parsed with no keywords

**説明 :** PARMLIB 項目の解析中、キーワードを含まないコマンドが見つかりました。

**システムの処理 :** HSC の初期設定は失敗します。

**ユーザーの処置 :** PARMLIB コマンドの項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

### **SLS1727I** Invalid data set type (X) for dynamic allocation

**説明** : PARMLIB 項目の解析中、キーワードを含まないコマンドが見つかりました。

**システムの処理** : HSC の初期設定は失敗します。

**ユーザーの処置** : PARMLIB コマンドの項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

### **SLS1729E** The last copy of the CDS is in error; the HSC cannot continue

**説明** : エラーのため、最後に残った CDS コピーが失われました。

**システムの処理** : HSC の処理は続けられません。

**ユーザーの処置** : 直前のメッセージを見て、CDS が失われた理由を調べてください。それらの問題を解決して、HSC を再起動してください。問題を解決できない場合は、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG か HSC ジョブログ、またはその両方のコピーを入手してください。また再起動を試みる前に IEBGENER で、そのジョブが使用した各 CDS のコピーをダンプして、現在の状態を保存してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### **SLS1730I** Invalid return code from SLSDCOPY

**説明** : 内部エラーです。スタンバイ CDS への切り替え中、SLSDCOPY が未知の戻りコードを返しました。

**システムの処理** : コピー操作は終了します。CDS の正常なコピーが少なくとも 1 つあれば、HSC の処理は続けられます。正常なコピーが 1 つもない場合、HSC は終了します。

**ユーザーの処置** : HSC を再起動させてみてください。HSC がまだほかのホストで実行されているのであれば、再起動できるはずです。再起動できない場合、CDS のすべてのコピーが無効であると判断された可能性があります。今までに取られたシステムダンプとともに、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG と HSC ジョブログの一方または両方、さらにすべての CDS のコピーを入手し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

### **SLS1731I** Host-to-Host Communications registration failed, RC=XXXX

**説明** : ホスト間通信の登録に失敗しました。戻りコードは、通信コンポーネントから渡されています。

**システムの処理** : マルチホスト環境における、このホストとほかのアクティブホストとの間の通信は、CDS を介して行なわれます。

**ユーザーの処置** : 戻りコードを調べて指示に従ってください。問題を解決できない場合は、それまでに取られたシステムダンプとともに、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG の現在のコピーと HSC ジョブログの一方または両方を入手し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS1733E** Hostid required for JRNDEF PARMLIB entry

**説明 :** PARMLIB で見つかった JRNDEF 文に、HOSTID パラメータがありませんでした。

**システムの処理 :** システムはジャーナルファイルを所有するホスト、さらにジャーナル処理が要求されたことを知らないため、起動しません。

**ユーザーの処置 :** HOSTID パラメータを、正しいホストの JRNDEF 文に追加してください。

**SLS1735I** No journal files available

**説明 :** HSC が、このホストで有効な最後のジャーナルファイルを失いました。

**システムの処理 :** JRNDEF 文の FULL パラメータに Abend (省略時値) が設定されている場合、ジャーナルタスクと HSC は異常終了します。FULL パラメータに Continue が設定されている場合、ジャーナルタスクは異常終了しますが、HSC はジャーナルなしで続けられます。

**ユーザーの処置 :** この時点で有効なジャーナルファイルはどのホストにもありません。また、オフロードされたジャーナルファイルもすべて無効です。HSC システムのバックアップをすぐに取りする必要があります。また、「使用可能なファイルがない」理由を調べてください。ファイルがいっぱいになったため使用できなくなったのであれば、バックアップによりファイルはリセットされ、ジャーナル処理は自動的に続けられます。ファイルでの入出力エラーが原因であれば、そのファイルの割り振りをし直し、HSC を再起動してください。HSC が再び使用可能になったら、すぐにバックアップを作成してください。理由を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1737E** None of the Control Data Set copies is a valid primary CDS; HSC initialization terminated

**説明 :** オープンして読み取ることができた CDSDEF パラメータによって指定されたすべての CDS コピーについて、DHB 内の CDS データセット情報が検査されました。最後に使用されたプライマリ CDS またはセカンダリ CDS が最良の CDS コピーではなく、それ以降復元されていません。したがって、この CDS コピーを有効なプライマリ CDS として使用することはできません。このまま HSC を起動すると、CDS の保全性に重大な問題が起こることは避けられません。

**システムの処理 :** HSC の初期設定は終了します。

**ユーザーの処置 :** CDSDEF PARMLIB 制御文を調べ、不正なデータセット名が指定されていないかどうか確認してください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップしてください。次に HSC RESTORE ユーティリティを実行して、すべての CDS コピーを同期化してください。バックアップと復元を行ってから HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータにおける CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

**SLS1738E** The CDS copies appear to belong to separate library environments;  
HSC initialization terminated

**説明** : DHB の CDS データセット情報によると、CDSDEF パラメータで指定されたデータセットが、単一のライブラリ環境に属していないように見えます。この理由としては、次のものがあります。

(1) CDS コピーが別々のライブラリ環境に属しているように見える、またはリモートリンクが失われてから別々のホストで複数の HSC を実行させた結果そうなった。この場合、リンクの回復後に、別々の制御データセットを組み合わせる手順が取られていません。

(2) シャドウ通し番号が最上位になっている CDS コピーが、有効なプライマリ CDS コピーではなかった。これは、再構成後に取られた、以前のスタンバイ CDS コピーである可能性があります。

このまま HSC を起動すると、CDS の保全性に重大な問題が起こることは避けられません。

**システムの処理** : HSC の初期設定は終了します。

**ユーザーの処置** : CDSDEF PARMLIB 制御文を調べ、不正なデータセット名が指定されていないかどうか確認してください。

リンクに障害が起こったときに CDS コピーがホスト間で分割されている場合は、リンクが回復されてから『HSC システムプログラマーズガイド』の BACKUP ユーティリティの項に示された手順に従ってください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップしてください。次に HSC RESTORE ユーティリティを実行して、すべての CDS コピーを同期化してください。バックアップと復元を行ってから HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータにおける CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

**SLS1825I** Volume *volser* is not in the library

**説明** : ボリュームがライブラリにありませんでした。

**システムの処理** : ボリュームは処理されません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1900I** Invalid reply: CCCCCCCC

**説明** : WTOR に対する応答が無効でした。

**システムの処理** : HSC は WTOR を再表示します。

**ユーザーの処置** : 有効な値で応答してください。

**SLS1901I** A communications path switched from CCCC to CCCC; {initiated by|with} CCCCCCCC

**説明：**このホストの HSC が、通信方式の切り替えを実行しました。メッセージに「initiated by」が含まれている場合、切り替えはホスト (CCCCCCCC) によって開始され、このホストが切り替えを行なって応答したことを示します。「initiated by」が含まれていない場合、このホストの障害が起こったため、もう一方のホストに対して切り替えを実行するよう通知が行なわれたことを示します。直前の方式と現在の方式が表示されます。

**システムの処理：**通信方式の切り替えがこのホストのエラーによって起こった場合、使用可能な次に低いレベルの通信方式が探索されます。切り替えが別のホストによって開始された場合は、そのホストによって指定された新しい通信方式が使用されます。

**ユーザーの処置：**このホスト (または開始ホスト) でのエラーによって切り替えが起こった場合は、その原因となる問題を見つけて解決してください。必要であれば、COMMPATH コマンドを使用して以前の通信方式に戻してください。

**SLS1902D** Specified communications method is VTAM and VTAM is not active; reply RETRY or NOVTAM

**説明：**通信方式として VTAM が指定されていますが、HSC が VTAM ACB をオープンしようとしたとき、VTAM がアクティブではありませんでした。

**システムの処理：**VTAM がアクティブになるまで、使用可能な次に低いレベルの通信方式が使用されます。

**ユーザーの処置：**「RETRY」と応答して、HSC にもう一度 VTAM ACB をオープンさせてください。VTAM がアクティブであれば、VTAM 方式の切り替えが起こります。VTAM がアクティブになるまで HSC を待機させない場合は、「NOVTAM」と応答し、すでに選択されている通信方式を使用して処理を続けてください。

**SLS1903I** Communications method switch not initiated; host CCCCCCCC specified unacceptable parm: CCCC

**説明：**ホスト CCCCCCCC の HSC が通信方式の切り替えを要求しましたが、パラメータ CCCC は、このホストでは受け付けられませんでした。

**システムの処理：**要求は無視されます。

**ユーザーの処置：**方式の切り替えが要求されているため、要求元のホストにエラーメッセージが出されていないか調べ、それに従って対応しなければならない場合があります。対応が必要な場合は、このホストと要求元ホストの定義を、COMMPATH コマンドを使用して変更してください。

**SLS1904E** Communications error: *function* XXXXXXXX1 XXXXXXXX2 [XXXXXXX3]

説明：HSC ホスト間通信コンポーネントが、メッセージに表示された機能の処理エラーを検出しました。XXXXXXX1 と XXXXXXXX2 はそれぞれプライマリおよびセカンダリのエラーコードを示します。さらにエラー情報がある場合は、XXXXXXX3 で示されます。考えられる機能の値とエラーコードには次のものが含まれます。

可能な関数値	プライマリエラーコード (XXXXXXX1)	セカンダリエラーコード (XXXXXXX2)	そのほかの情報 (XXXXXXX3)
VTAM ALLOC	1 または 2	3	5
VTAM CLOSE	1	4	N/A
VTAM CNOS	1	3	5
VTAM DEALLOC	1 または 2	3	5
VTAM OPEN	1	4	N/A
VTAM OPRCNT	2	3	5
VTAM PREPRCV	2	3	5
VTAM RCVFMH5	1 または 2	3	5
VTAM RECEIVE	2	3	5
Issue VTAM RECEIVE	1	3	5
VTAM RECEIVE complete	1	3	5
VTAM RECEIVE WHATRCV	1	3	6
VTAM REJECT	1 または 2	3	5
VTAM RESETRCV	2	3	5
VTAM SEND	2	3	5
VTAM SEND FLUSH	1	3	5
VTAM SETLOGON	1	3	N/A



注：エラーコードを示すためにこのリストで使用している番号 (1-6) の定義についての詳細は、このあとの「値の定義」の項を参照してください。

プライマリおよびセカンダリエラーコードの値の定義を加え、そのほかのエラー情報には次のものが含まれます。

## プライマリエラーコード (XXXXXXXX1) の値の定義:

- 1 R15 からのプライマリ戻りコード (VTAM 要求の場合)
- 2 R0 からの回復処理戻りコード (VTAM SYNAD と LERAD 出口ルーチンの場合)

## セカンダリエラーコード (XXXXXXXX2) の値の定義:

- 3 RPLRTNCD フィールドからの値をもった 2 バイトと、RPL 内の RPLFDB2 フィールドからの値をもった 2 バイト
- 4 ACB 内の ACBERFLG フィールドからの値

## そのほかの情報 (XXXXXXXX3) の値の定義:

- 5 RPL6RCPR フィールドからの値をもった 2 バイトと、RPL 拡張子内の RPL6RCSC フィールドからの値をもった 2 バイト
- 6 RPL 拡張内の RPL6WHAT フィールドからの WHATRCV マスクの値

プライマリ (XXXXXXXX1) およびセカンダリ (XXXXXXXX2) エラーコードに加え、そのほかの情報 (XXXXXXXX3) が、適宜表示されます。このコードは 4 バイトで構成され、8 文字で表示されます。たとえば、データセットが一時的な場合は、

SLS1904E Communications error: VTAM ALLOC 00000000 0000000B 00040000

VTAM コード定義は、該当する VTAM のマニュアルに説明されています。

**システムの処理:** 処理を続けようとしています。エラーの重大度によっては、後の実行に影響が及ぶ場合があります。

**ユーザーの処置:** 問題を診断して解決してください。エラーによって通信方式の切り替えが起こった場合は、上位の COMM レベルに戻る (COMMPATH コマンドを使用する) 必要があるかどうか判断してください。

## SLS1905I Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明：コンポーネントの1つから予期しない戻りコードが返されました。

システムの処理：システムの操作は続けられ、そのコンポーネントに要求された機能はバイパスされます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

## SLS1906I Invalid message data:

```
CCCCCCCCCC  
ZZZZZZZZZZ  
NNNNNNNNNN
```

説明：ほかのホストに送信中の通信メッセージに、無効な文字がありました。CCCCCCCCCCは、メッセージデータのEBCDIC表現を示します。ZZZZZZZZZZとNNNNNNNNNNは、それぞれメッセージデータのゾーン部と数値部を示します。

システムの処理：システム操作は続けられ、通信メッセージは無視されます。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

## SLS1907I CDS output messages queue count for host HHHHHHHH is CCCCCCCC

説明：CCCCCCCCメッセージが、ホストHHHHHHHHのCDS出力メッセージの待ち行列にありました。

システムの処理：ホストHHHHのHSCがアクティブな場合は、メッセージが最終的に処理されます。ホストHHHHのHSCがアクティブでない場合は、メッセージが処理されずに蓄積されていきます。

ユーザーの処置：ホストHHHHHHHHがアクティブでなくVTCSがインストールされている場合は、HSC COMMPATH METHODパラメータを、LMUまたはVTAMのいずれかに設定することをお勧めしています。ホストHHHHHHHHがアクティブでない場合は、RECOVERコマンドを使用して待ち行列のメッセージを削除できます。



注意：このコマンドを使用する前に、『HSCオペレータガイド』でRECOVERコマンドを参照してください。

## SLS1950I Volume volser moved from location AA:LL:PP:RR:CC to location AA:LL:PP:RR:CC

説明：ボリュームvolserが、位置AA:LL:PP:RR:CCに移動されました。

システムの処理：ボリュームは要求どおりに移動されました。

ユーザーの処置：なし

**SLS1951I** Volume *volser* not in ACS AA

**説明：**コマンドまたはユーティリティーで要求されたボリューム *volser* は、AA がブランクの場合に CDS で見つからなかったか、または AA が表示された場合にターゲット ACS で見つかりませんでした。

**システムの処理：**このボリュームに対して、コマンドまたはユーティリティーの機能は実行されません。

**ユーザーの処置：**Flsm および TLsm を MOVE 文に指定する場合、それらが同じ ACS 機構内にあることを確認してください。あるいは、Display Volume を使用してそれが存在するかどうか、またどこに存在するかを判別できます。

**SLS1952I** {MOVE} Rejected; Conflicting audit in progress on {ACS|LSM}  
{ACSid|LSMid}

**説明：**SLUADMIN AUDIT ユーティリティーによって監査中のライブラリボリュームに対して、コマンドまたはユーティリティーの機能を実行しようとしてしました。

**システムの処理：**要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**AUDIT ユーティリティージョブが終了するまで待つて、この要求を再入力してください。

**SLS1953I** I/O error processing control database

**説明：**コマンドまたはユーティリティー機能の処理中に、制御データセットの I/O エラーが起きました。

**システムの処理：**コマンドまたはユーティリティーは、要求された機能が完了しないうちに終了します。

**ユーザーの処置：**I/O エラーの原因を判別してください。制御データセットの問題が解決してから、要求を再入力してください。

**SLS1954I** {MOVE} rejected; {ACS|LSM} {ACSid|LSMid} is {OFFLINE|INVALID|NOT CONNECTED}

**説明：**コマンドを完了させるために必要な指定のシステムコンポーネントが使用できないため、コマンドが拒否されました。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**ACS が接続されていて、LSM がメッセージに示されたとおりオンライン(使用可能)であることを確認してから、コマンドを再入力してください。ACSid または LSMid が間違っている場合は、正しい ACSid または LSMid を指定して、コマンドを再入力してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

### SLS1955I Cell AA:LL:PP:RR:CC is not a valid CELLid

**説明：**コマンドまたはユーティリティーで要求されたセル (AA:LL:PP:RR:CC) が、格納セルの無効な場所にあることがわかりました。

**システムの処理：**このセルに対して、コマンドまたはユーティリティーの機能は実行されません。

**ユーザーの処置：**正しい位置を判別して、この機能を再実行してください。

### SLS1956I Unable to select volume during CCCCCC of volume volser

**説明：**CCCCCC コマンドの処理中、ボリューム (volser) がすでに使用中であったため、これを選択して操作を完了させられませんでした。

**システムの処理：**CCCCCC コマンドの処理は、要求されたコマンドの有効範囲内にある次のボリュームに対して続けられます。

**ユーザーの処置：**ボリュームが使用されていないときに、CCCCCC コマンドを個別に入力してください。

### SLS1957I MOVE rejected; no target LSMs are connected, online, or valid

**説明：**指定の LSM にボリュームを移動させようとしたのですが、拒否されました。このコマンドが実行されたホストに接続されている LSM、オンラインの LSM、有効な LSM がありませんでした。

**システムの処理：**オペレータコマンドは終了します。

**ユーザーの処置：**このホストに1つ以上の LSM を接続して (Vary コマンドおよび MODify コマンドを参照)、オペレータコマンドを再入力してください。

### SLS1958I No free cells found in specified PANEL or LSM(s) to continue the MOVE function

**説明：**MOVE コマンドが出されましたが、指定のパネルまたは LSM に空のセルがありませんでした。この理由には次のものがあります。

- パネルまたは LSM が割り振り解除されている
- パネルまたは LSM がいっぱいである (空きセルがない)

**システムの処理：**MOVE 機能は、空のセルがないために終了します。

**ユーザーの処置：**ボリュームの移動先の LSM からボリュームをイジェクトしてセルを空にするか、あるいはその LSM 内の別のパネルまたは別の LSM を指定して MOVE コマンドを再入力してください。空きセルが存在するときの空きセルの不足は、COD (Capacity on Demand) やパーティション分割によって発生することがあります。これが理由の場合は、さらに容量を追加するか、パーティションを拡大します。

**SLS1959I** Volume in cell location *AA:LL:PP:RR:CC* does not physically match specified Volser *volser*

**説明**：ボリュームとその位置の検証処理中、制御データセットで指定された位置にボリュームがありませんでした。

**システムの処理**：ボリュームは、この操作中に移動されず、エラントボリュームになります。

**ユーザーの処置**：問題のあるボリュームを見つけてください。必要に応じて、このボリュームのあったパネルに対する監査を行なってください。

**SLS1960I** External label on volume *volser* is unreadable

**説明**：コマンドの実行中、ボリューム (*volser*) のラベルが読み取り不能になりました。

**システムの処理**：この操作中、ボリュームの移動は行なわれませんでした。制御データセットには、この状態を反映するマークが付けられます。

**ユーザーの処置**：メッセージに示されたボリュームをライブラリからイジェクトし、その外部ラベルを調べて、ラベルを読み取ることができない理由を判断してください。この状態がいくつかのボリュームで見られる場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

**SLS1961I** Cell *AA:LL:PP:RR:CC* is empty - found during *CCCCCCC*

**説明**：CCCCCCC コマンドの実行中、問題のセルが空であることがわかりました。

**システムの処理**：ボリュームはエラントになります。

**ユーザーの処置**：次のいずれかの処理を実行してください。

- メッセージに示されたセル (*AA:LL:PP:RR:CC*) を監査する
- ボリュームをマウントまたはイジェクトしてエラント回復を呼び出し、論理イジェクトが起こるようにする

**SLS1962I** CCCCCC of volser at AA:LL:PP:RR:CC failed; LMU/LSM error (XXXX)

**説明**：ボリューム *volser* またはセル *AA:LL:PP:RR:CC* に対するコマンド *CCCCCC* の実行に失敗しました。XXXX は、LMU/LSM エラーを示します。次の LMU/LSM エラーが考えられます。

6510 - 転送用のパススルーポートがありません  
6511 - LMU がオフラインになっています  
6512 - LMU との通信が失われました  
6514 - LSM のハードウェアエラーです  
6515 - LMU のハードウェアエラーです  
6528 - LMU サーバーが停止しています  
6592 - LSM がオフラインになっています  
65FF - 要求が除去されました

**システムの処理**：進行中の処理は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラントになる場合があります。

**ユーザーの処置**：Display Volume コマンドを使用して、ボリュームの状況と位置を調べてください。ボリュームがエラントボリュームになった場合は、次のいずれかの処理を行なってください。

- メッセージに示されたセル (*AA:LL:PP:RR:CC*) を監査する
- ボリュームをマウントまたはイジェクトしてエラント回復を呼び出し、論理イジェクトが起こるようにする

**SLS1963I** Unexpected RC received in module CCCCCCCC1 while processing CCCCCCCC2 (XXXXXXXX)

**説明**：モジュール *CCCCCCC1* が、*CCCCCCC2* 機能の実行中に予期しない戻りコード (*XXXXXXXX*) を返しました。機能が正常に行なわれたかどうかは不明です。

**システムの処理**：進行中であった処理の状態は不明であり、SNAP ダンプが取られています。

**ユーザーの処置**：SNAP ダンプを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS1964I** TPANEL specified for MOVE of volser conflicts with source location panel

**説明**：MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティー機能が、ソースボリュームのあるソースパネルと同じパネルを宛先に指定して要求されました。同じパネル内への移動はできません。

**システムの処理**：要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は行なわれません。

**ユーザーの処置**：ソースパネル以外の TPanel を指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

**SLS1965I** AT *HH:MM:SS* CCCCCCCC REQUESTED DDDDDDDD volser EEEEEEEE

**説明** : MONITOR コマンドへの応答として、ジョブ CCCCCCCC が、プログラムインタフェースまたは VM TMI 呼び出し介して、ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対する動作を要求したことを示します。

*HH:MM:SS* 要求が出された時刻を示します。単一の要求 (Eject など) が複数のボリュームを指定した場合は、その要求についての各メッセージに同じ時刻が表示されます。

*DDDDDDDD* 動作のタイプを示します。有効な値は、Mount、DISMount、MOVE、Eject です。

*EEEEEEEE* 関連する位置を示します。これは、CAPid (Eject)、LSMid (MOVE 先)、ドライブのデバイス番号 (Mount、DISMount) のいずれかになります。

**システムの処理** : なし

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1966I** CCCCCCCC task failed, attempting to restart

**説明** : タスク (CCCCCCCC) が初期化できなかつたか、不正な順序で正常終了または異常終了しました。タスクを再起動させるために、タスクを消去した後にもう一度生成が試みられます。

**システムの処理** : HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1967I** CCCCCCCC task restarted successfully

**説明** : 以前に失敗したタスクが消去された後に再生成され、正常に初期設定されました。

**システムの処理** : HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS1968E** CCCCCCCC task could not be restarted

**説明** : タスクの消去 / 再生成に失敗しました。このタスクに対する再生成が最大回数まで試みられましたが、タスクを再起動できませんでした。HSC は、このタスクの機能を再設定するため、すぐに停止、再起動されなければなりません。

**システムの処理** : HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : HSC を再起動して、再起動できないタスクの機能を回復してください。

**SLS1969I** User Exit CC module CCCCCCCC RRRRRRRR

**説明**：HSC のユーザー出口サービスが、次のいずれかの状態で応答しました。

**RRRRRRRR = ABENDED and DISABLED** の場合、  
ユーザー出口ルーチン CC のモジュール CCCCCCCC にエラーが発生したことを示します。

**RRRRRRRR = INACTIVE** の場合、  
ユーザー出口ルーチン CC のモジュール CCCCCCCC が非アクティブになったことを示します。

**RRRRRRRR = NOT DISABLED** の場合、  
ユーザー出口 CC の処理中に異常終了が発生したことを示します。

**システムの処理**：表示された状態が「INACTIVE」であれば、システムはこれを要求された処理とみなし、ユーザー出口モジュールの実行を行いません。

状態が「ABENDED and DISABLED」の場合、ユーザー出口ルーチンに処理エラーがあったため、ユーザー出口ルーチンの実行は行われなくなります。

状態が「NOT DISABLED」の場合、このユーザー出口ルーチンの処理中に異常終了が起こったことを示しますが、その異常終了はユーザー出口ルーチンそのものの境界外で発生しています。この場合、出口ルーチンは使用不能になりません。ただし、異常終了については調べる必要があります。

**ユーザーの処置**：表示された状態が「INACTIVE」であれば、これが要求された処理であり、それ以上の処理はありません。

表示された状態が「ABENDED and DISABLED」または「NOT DISABLED」の場合は、システムプログラマにただちに報告してください。

**SLS1970I** OPEN Error on User Exit Module Library: CCCCCCCC

**説明**：初期設定において、システムが CCCCCCCC DD JCL カードで指定されたユーザー出口モジュールのライブラリをオープンしようとしたとき、エラーが起きました。

**システムの処理**：システムは、指定のユーザー出口モジュールライブラリのかわりに、JOBLIB または STEPLIB から省略時のユーザー出口モジュールライブラリをロードしようとし、ユーザー出口ルーチンの動的ロード/再ロードは、オープンエラーのために実行できません。

**ユーザーの処置**：システムプログラマにただちに報告してください。ユーザー出口モジュールライブラリ名の綴りを訂正するか、オープンエラーの原因を解決してください。あるいは、その両方を行ってください。

**SLS1971I** HSC User Exit Service Error: User Exit CC Now INACTIVE

**説明:** 内部保守または検査プログラムが、ユーザー出口テーブルの重大な構造エラーを検出しました。

**システムの処理:** システムは、問題のあるユーザー出口 CC の状態を「非アクティブ」に変更し、次回の動的ロードの際にこのデータ構造エラーを訂正するための処理を行います。

**ユーザーの処置:** オペレータコマンド UEXIT を使用し、ユーザー出口 CC を動的に再ロードしてください。それでも問題が起こる場合は、システムプログラマにただちに報告してください。

**注:** ユーザー出口モジュールの動的ロード/再ロードは、「SLSUEXIT」DD 手順文が HSC JCL に含まれていた場合にしか実行できません。

**SLS1972D** ATTACH/Initialization of CCCCCCCC is OVERDUE; Retry or Cancel (R,C)

**説明:** HSC は、要求されたモジュール CCCCCCCC を ATTACH して初期設定しようとしていますが、予期した以上の時間がかかっています。ATTACH または初期設定処理は数分かかりますが、最終的に HSC の起動処理は異常終了することがあります。

**システムの処理:** 処理は続行します。応答は必須ではありません。このメッセージは、以下に説明があるとおりのさまざまなユーザー応答オプションを選んで入力できるようにするために出されます。

ユーザーが使用できる応答は次のとおりです。

**R**                    **Retry** (再試行) は、ATTACH および初期設定のタイマーを再開します。

**C**                    **Cancel** (キャンセル) は、強制的に HSC を異常終了し、システムダンプをとり、HSC 起動処理をキャンセルします。

**処理を行なわない場合**    HSC は、CCCCCCCC が ATTACH されて初期化されるまでさらに数分間待ち状態になります。それが正常に完了した場合、HSC は処理を続行します。正常に完了しなかった場合、HSC の起動処理は ABEND を発行した後、シャットダウン処理を開始します。

**SLS1973I** (...error text...)

説明：指定の値が無効であるか、または、要求でのモデル、デバイス、記録技法情報の間に不整合が存在します。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

**RECTECH is incompatible with UNIT**

RECTech パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**MODEL is incompatible with UNIT**

MODEL パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**MEDIA is incompatible with UNIT**

MEDIA パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH**

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および RECTECH 値と不整合です。

**UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL**

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および MODEL 値と不整合です。

**MEDIA is incompatible with RECTECH**

MEDIA パラメータに指定された値が、RECTECH パラメータに指定された値と不整合です。

**MEDIA is incompatible with MODEL**

MEDIA パラメータに指定された値が、MODEL パラメータに指定された値と不整合です。

**UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH**

RECTECH パラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIA パラメータと不整合です。

**MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA**

MODEL パラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIA パラメータと不整合です。

**MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH**

MEDIA パラメータに指定された値が、ドライブおよび RECTECH パラメータと不整合です。

**MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL**

MEDIA パラメータに指定された値が、ドライブおよび MODEL パラメータと不整合です。

**MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible**

MEDIA、RECTECH、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

**MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible**

MEDIA、MODEL、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

**MEDIA is invalid**

MEDIA パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**RECTECH is invalid**

RECTECH パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MODEL is invalid**

MODEL パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MEDIA and RECTECH are invalid**

MEDIA および RECTECH パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MEDIA and MODEL are invalid**

MEDIA および MODEL パラメータに指定された値が、未知のものか、または誤っています。

**UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed**

MVS UCB の装置タイプは、LMU のデバイスタイプと互換性がないものであることを示しました。HSC は、当該操作のために UCB のデバイスタイプを推測します。3480 は 18TRACK であるとみなされ、3490/3490E は 36ATRACK であるとみなされ、3590 は STK1R であるとみなされます。

**UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed**

デバイスの UNITATTR は、UCB または LMU が指示するものと一致しません。HSC は、UCB/LMU の指示どおりのタイプのデバイスを使用します。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

## SLS2008I CAP Status:

CAP ID	Size	Partid	Hostid	Priority	Mode	Status
CCCC1	CCCC2	PPP	CCCC3	DD	CCCC4	CCCC5 CCCC5

説明：これは、Display Cap コマンドに対する応答で、1 つまたは複数の CAP の状況を示しています。各 CAP の情報が 1 行に表示されます。ホストに CAP が接続されていない場合、CAP 状態メッセージの代わりに、「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPs available」というメッセージが表示されます。

CCCC1	CAPid (AA:LL:CC)
CCCC2	CAP サイズ。次のいずれかになります。 21-CELL: 標準 4410 CAP 20-CELL: WolfCreek CAP 30-CELL: WolfCreek オプション CAP 40-CELL: 拡張 CAP PCAP: 優先 CAP ( 拡張 /Wolfcreek) 14-CELL: 9740 14 セル CAP 10-CELL: 10 セルマガジン付き 9740 CAP 9740-TYPE: 9740 CAP (HSC がセルの数をまだ認識していない場合) 26-CELL: 2 つの 13 セルマガジン付き Streamline 3000 CAP 39-CELL: 3 つの 13 セルマガジン付き StreamLine 8500 CAP
PPP	CAP を所有するパーティションの PARTid。CAP がアクティブである場合にだけ表示されます。
CCCC3	CAP を所有するホストのホスト ID。CAP がアクティブである場合にだけ表示されます。
DD	CAP の優先順位。
CCCC4	CAP のモード。次のいずれかになります。 Entering: CAP はテープのエンターに使用中です。 Ejecting: CAP はテープのイジェクトに使用中です。 Draining: CAP はドレイン中です。 Cleaning: CAP のクリーニングが必要です。 Idle: CAP はアイドル状態です。 Unknown: エラーが起きました。CAP のタイプが不明。
CCCC5	CAP の状況。次のいずれかになります。 Manual: CAP が手動モードです。 Online: CAP がオンラインになっています。 Offline: CAP がオフラインになっています。 Active: CAP がタスクを実行中です。 Recovery: エラーが起きました。回復が必要。 Automatic: CAP が自動モードです。 Unknown: エラーが起きました。CAP の状況が不明。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2009I** EJECT|ENTER|VIEW rejected; unexpected RC *XXXX* from *FIGMNGR|SLSCGREC*

説明：構成管理 (FIGMNGR) サービスからの予期しない戻りコードが検出されたか、CAP サービスが CAP レコード (SLSCGREC) の探索中にエラーを検出したため、EJect、ENter、VIEw のうち、メッセージに示されたコマンドが拒否されました。

*XXXX* 呼び出し先サービスの戻りコード。

*FIGMNGR|SLSCGREC* 戻りコードを示した呼び出し先サービス。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2011I** The VIEW command is not supported for this library type

説明：SL8500 または SL3000 ライブラリ内のセルに対する VIEW を実行しようとしたが、このライブラリにライトまたはカメラがないため失敗しました。

システムの処理：VIEW コマンドは終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS2012I** DRAIN command rejected; CAP *AA:LL:CC* is OFFLINE

説明：指定された CAP はオンラインでないため、ドレインを行なうことができません。この CAP はオンラインでないために、エンターおよびイジェクトを行なうことができず、結果として、ドレインを行なう必要がありません。

*AA:LL:CC* は CAPid です。

システムの処理：DRAin 要求は拒否されます。

ユーザーの処置：正しい CAPid を指定してコマンドをもう一度出してください。

**SLS2013I** EJECT rejected; No SCRATCH volumes in ACSid AA or parser error, invalid CAPid length detected|CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype |internal error

説明：Eject コマンドが ACSidAA でスクラッチボリュームを見つけられませんでした。または、指定された CAPid の形式が AA:LL または AA:LL:CC の形式ではありませんでした。「EJECT rejected」、「CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype」、および「internal error」は HSC エラーで、StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

AA Eject コマンドの AA:LL:CC の部分の AA に指定された ACSid。  
 AA:LL:CC Eject コマンドで指定された CAPid。

システムの処理：Eject コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2014I** LSM AA:LL Status :  
 LSM Type : DDDD1

```
{Pending           |}- {Not Ready |} - {Automatic|}
  Maint Mode      |   Ready       Manual
  Offline         |
  Online
```

CAP ID	Size	Hostid	Priority	Mode	Status
CCCC1	CCCC2	CCCC3	DD2	CCCC4	CCCC5 CCCC5

```
[AUDIT in progress.]
Scratch volumes available...DDDD
Free cells available.....DDDD
Panel PP frozen - DDD1 total cells, DDD2 free cells
```

説明：これは、Display Lsm コマンドに対する応答で、1つまたは複数の LSM の状況を示しています。Lsm の指定時に *lsm-list* を使用しなかった場合、ライブラリ内のすべての LSM について、それぞれ 1 行の状況要約が表示されます。

表示される LSM 状況情報は、次のとおりです。

- Online/Offline/Pending Offline/Maintenance Mode Status
- Ready/Not Ready status
- Automatic/Manual Mode status
- Not configured status
- FREEZE status

表示される LSM タイプは、次のとおりです。

- 4410 Standard LSM

- 3000 StorageTek Library 3000
- 8500 Streamline
- 9310 PowderHorn
- 9360 WolfCreek
- 9740 TimberWolf

Display コマンドの形式によって、次の情報が含まれます。

- CAP の状況 :CAP id、サイズ、ホスト ID、優先順位、モード、状況が示されます。これは、Display Cap コマンドに対する応答で、1 つまたは複数の CAP の状況を示しています。各 CAP の情報が 1 行に表示されます。ホストに CAP が接続されていない場合、CAP 状態メッセージの代わりに、「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPS available」というメッセージが表示されます。

<i>DDDD1</i>	LSM タイプ。次のいずれかになります。 4410 Standard LSM 3000 StorageTek Library 3000 8500 Streamline 9310 PowderHorn 9360 WolfCreek 9740 TimberWolf
<i>CCCC1</i>	CAPid (AA:LL:CC)
<i>CCCC2</i>	CAP サイズ。次のいずれかになります。 21-CELL: 標準 CAP 20-CELL: WolfCreek CAP 30-CELL: WolfCreek オプション CAP 40-CELL: 拡張 CAP PCAP: 優先 CAP ( 拡張 /WolfCreek) 10-CELL: 10 セルマガジン付き 9740 CAP 14-CELL: 9740 14 セル CAP 26-CELL: 2 つの 13 セルマガジン付き SL3000 39-CELL: 3 つの 13 セルマガジン付き StreamLine 8500 CAP 9740-TYPE: 9740 CAP (HSC がセルの数をまだ認識していない場合)
<i>CCCC3</i>	CAP を所有するホストのホスト ID。CAP がアクティブである場合にだけ表示されます。
<i>DD2</i>	CAP の優先順位。
<i>CCCC4</i>	CAP のモード。次のいずれかになります。 Entering: CAP はテープのエンターに使用中です。 Ejecting: CAP はテープのイジェクトに使用中です。 Draining: CAP はドレイン中です。 Cleaning: CAP のクリーニングが必要です。 Idle: CAP はアイドル状態です。 Unknown: エラーが起きました。CAP のタイプが不明。

CCCC5 CAP の状況。次のいずれかになります。  
Manual: CAP が手動モードです。  
Online: CAP がオンラインになっています。  
Offline: CAP がオフラインになっています。  
Active: CAP がタスクを実行中です。  
Recovery: エラーが起きました。回復が必要。  
Automatic: CAP が自動モードです。  
Unknown: エラーが起きました。CAP の状況が不明。

- 監査が進行中の場合は、それを表示。
- 各 LSM で使用できるスクラッチボリュームおよび空の格納セル数。
- パネル上のセルの合計数 (DDD1) と空のセルの数 (DDD2) を示す、各凍結パネルを表示。

システムの処理 : HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置 : なし

**SLS2033I** {ENTER|EJECT} command rejected; LSMid AA:LL does not control a CAP

説明 : Eject コマンドまたは ENter コマンドに対し LSMid が指定されましたが、この LSM は CAP を制御しません。

システムの処理 : Eject コマンドまたは ENter コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置 : 適格 CAP の状況を調べる場合は、Display Cap コマンドを出してください。

適格 CAP を制御する LSMid を指定するコマンドをもう一度出してください。

**SLS2034I** MODIFY LSMid AA:LL offline command rejected; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCCCC

**説明**：まだアクティブな CAP が少なくとも 1 つあるときに、CAP を制御できる最後の SL8500 LSM をオフラインに更新しようとしてしました。

**システムの処理**：MODify lsm OFFline コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置**：LSM のすべての CAP が非アクティブになっていることを確認してください。または、アクティブな CAP を制御できる別の LSM に変更してください。ハードウェアエラーのためにそれ以上 CAP 処理を続けられない場合、FORCE キーワードを使用して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

**SLS2038I** DRAin command rejected; ENter|EJect command not active on CAPid AA:LL:CC.

**説明**：指定された CAP は現在、エンターまたはイジェクト処理を実行していません。あるいは、ENter または EJect コマンドが、DRAin コマンドが入力されたホストで処理中ではありません。

AA:LL:CC. は CAPid です。

**システムの処理**：DRAin 要求は拒否されます。

**ユーザーの処置**：ENter または EJect がアクティブなホストからコマンドをもう一度出してください。

**SLS2039I** {ENTER|EJECT} command rejected; no CAPs on {ACS AA|LSMid AA:LL} are eligible for selection

**説明**：ENter コマンドまたは EJect コマンドに特定の CAPid が含まれていませんでした。選択可能な CAP がありません。

CAP が選択可能であるためには、その CAP の優先値が 0 以外であり、状態がオンラインであり、かつアイドルでなくてはならず、かつ RECOVERY Mode であってはなりません。さらに ENter コマンドの場合、CAP は自動モードであってはなりません。

**システムの処理**：EJect コマンドまたは ENter コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置**：CAP の状況を調べる場合は、Display Cap コマンドを出してください。

CAP の優先値を 0 以外に設定する場合は、CAPPref コマンドを使用します。

CAP コマンドをオンラインにする場合は、MODify コマンドを使用します。

CAP を自動モードから手動モードに変更する場合は、CAPPref コマンドを使用します。

CAP が RECOVERY モードである場合は、回復処理が終わるまで待ちます。

択可能な CAP が用意できたら、コマンドをもう一度出してください。あるいは、特定の CAPid を指定してコマンドを出せば、選択処理は不要です。

**SLS2043I** Scratch warning thresholds have been set to *DDDD* for ACS *acsid*|LSM *lsmid* {*SUBPOOL subpool*} {*MEDIA media RECTECH rectech*}

説明：このメッセージは、スクラッチ警告限界値が、Warn コマンドによって調整されたことを示します。*DDDD* はしきい値であり、*acsid* または *lsmid* が、しきい値が設定された ACS または LSM です。*subpool* は、しきい値が適用されるサブプールです。*media* は、しきい値が適用されるメディアタイプです。*rectech* は、しきい値が適用される記録方式です。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS2050I** *CCCCCCCC* command not executed; reconfiguration is active

説明：再構成がアクティブな間はコマンドを実行できません。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：再構成が完了したらコマンドを再入力してください。

**SLS2075I** Manually mounted volume *volser* from cell location *AA:LL:PP:RR:CC* deleted from the CDS

説明：オフラインの LSM に手動でマウントされたボリューム *volser* が、手動でマウント解除されました。このボリュームはライブラリによって制御されなくなり、制御データセット (CDS) から削除されました。

システムの処理：ボリュームが CDS から削除され、処理が続けられます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2080I** Unable to mark volume ##### errant - volume is not selected.

説明：マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、選択された状況でないため、完了していません。

システムの処理：ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

ユーザーの処置：ボリュームが選択されない理由を確認して、適切な処理を行なってください。

**SLS2081I** Unable to mark volume ##### errant - VAT not owned by caller.

説明：マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、VAT は呼び出し者の所有にないため、完了していません。

システムの処理：ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

ユーザーの処置：カートリッジをマウントしたシステムと同じシステムから DISMOUNT を発行してください。

**SLS2082I** Unable to mark volume ##### errant - VAR not owned by caller.

**説明：**マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、VAR は呼び出し者の所有にないため、完了していません。

**システムの処理：**ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

**ユーザーの処置：**カートリッジをマウントしたシステムと同じシステムから DISMOUNT を発行してください。

**SLS2102D** Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not in CDS; reply I, A, R or E to Ignore, Add, Retry or Eject

**説明：**トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、指定のボリュームが制御データセットにありません。

**システムの処理：**マウント解除は、オペレータが I、A、R、または E のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

- Ignore 「I」**      マウント解除要求を無視する場合。
- Add 「A」**        ボリュームを CDS に追加し、そしてカートリッジを新しいホームセルにマウント解除する場合。
- Retry 「R」**        制御データセットの検索を再試行する場合。
- Eject 「E」**        カートリッジをイジェクトする場合。

**SLS2108D** Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - External media type unreadable; reply Retry/Bypass/Eject/Ignore (R,B,E,I)

**説明：**トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、外部メディアタイプを読み取れませんでした。

**システムの処理：**マウント処理は、オペレータが Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

- R**            マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。
- B**            マウントを再実行し、メディアタイプをバイパスする場合、「B」と応答してください。
- E**            ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。
- I**            マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

**SLS2114D** Enter of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - *volser* cannot be used; reply E,*volser* to enter cartridge or I to Ignore

説明：ドライブ *XXXX* またはドライブ ID *AA:LL:PP:NN* にマウントするボリューム *volser* を入力しようとしたが、そのボリュームは、トランスポートとの互換性がないか、メディアが読み取れないか、または別の処理用に選択されています。

システムの処理：マウントは、オペレータが「E,*volser*」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの処置：次のいずれかで応答してください。

**E,*volser*** 別のボリュームシリアル番号を入力する場合、またはエラー条件を解決してから同じボリュームを入力する場合。

**I** マウントを無視する場合。

**SLS2119I** Allocation record mismatch

説明：プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットとの間で、DALM ブロックの不一致が検出されました。これは警告メッセージであり、制御データセットの一方に、正しいレコード割り振りが含まれていないことを示しています。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：制御データセットが、バックアップすべき正しいデータセットであることを確認してください。そうでなければ、正しいデータセットを使用して、BACKUP ユーティリティを再サブミットしてください。

**SLS2124I** Manual Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Complete

説明：手作業によるマウント要求 SLS2911D が出されたため、あるいは MVS において、マウントされたボリュームがトランスポート上で検出されたため、ボリューム *volser* はトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* 上にオペレータによってマウントされた、と想定されました。

システムの処理：正常に処理は続行されます。このボリュームは CDS 内に保持されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2126D** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - Volume not in library; reply "I", "R", "T", "P", "T,capid" or "P,capid"

**説明:** ボリューム *volser* を指定のトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたますが、ボリューム *volser* がライブラリにありませんでした。*XXXX* はドライブ、*AA:LL:PP:NN* はドライブ *id* を示します。

**システムの処理:** マウント処理は、オペレータが応答するか、該当するボリュームが入力されるまで、待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** 次のいずれかで応答してください。

<b>I</b>	マウントを無視する場合。
<b>R</b>	マウントを再試行する場合。
<b>T</b>	ボリュームを一時的に入力する必要がある場合。HSC は、ドライブが存在する ACS 内でゼロ以外の CAPPref を使用して CAP を割り振ろうとします。HSC は PCAP を選択しません。
<b>P</b>	ボリュームを永続的に入力する必要がある場合。HSC は、ドライブが存在する ACS 内でゼロ以外の CAPPref を使用して CAP を割り振ろうとします。HSC は PCAP を選択しません。
<b>T,capid</b>	ボリュームを一時的に入力する必要がある場合。HSC は指定の CAPid を使用します。
<b>P,capid</b>	ボリュームを永続的に入力する必要がある場合。HSC は指定の CAPid を使用します。



**注:**

- CAPid を使用しないで「T」または「P」を入力すると、HSC は PCAP を選びません。PCAP を使用してカートリッジを挿入して MOUNT を実行する場合、「T,capid」または「P,capid」と入力する必要があります。
- テープ管理システムを備えていない導入先では、必ずこのメッセージに応答してください (I、R、T、P、T,capid、または P,capid)。応答しないと、ボリュームの入力後にジョブがスクラッチを要求したとき、カートリッジが選択されて上書きされることがあります。

**SLS2149I** *XXXX* OF *YYYYYYYY* VOLUMES IN THIS REPORT MEET OR EXCEED 100% OF THEIR WARRANTY LIFE, TOTAL VOLUMES: *ZZZZZZZZ*

**説明:** メディア保証期限 (MWL) の % 単位の比率は、LMU 互換性レベルが 21 以上のテープライブラリのボリュームをマウント解除する際に取得されます。このレポートで要求されたボリュームのうち、ボリュームの「*XXXX*」が保証期限の 100% 以上になっています。*YYYYYYYY* は、既知の MWL 値があるこのレポートのボリューム番号です。*ZZZZZZZZ* は、このレポートに表示されているボリュームの総数です。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** なし

### SLS2150I Volume(s) *volser*<-*volser*> not in library

**説明** : SLUADMIN ユーティリティー機能に要求された1つ以上のボリュームが、ライブラリーに定義されていませんでした。ユーティリティーコマンドにボリュームの範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合、この一連のボリュームについて、1つのメッセージが表示されます。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

### SLS2151I "SUMMARY(SUBPOOL)" specified and scratch subpool definitions not available

**説明** : VOLRPT ユーティリティー文にキーワード「SUMMARY (SUBPOOL)」が指定されましたが、SLSSCRPL DD 文またはアクセス可能な SLSUX03 モジュールのいずれにも、利用できるスクラッチサブプール定義がありませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は続行されます。スクラッチサブプールの合計が生成されます。

**ユーザーの処置** : なし

### SLS2152I CCCCCC1 keyword for CCCCCC2 not supported in the CCCCCC3 environment

**説明** : CCCCCC2 ユーティリティー制御文内で見つかった CCCCCC1 キーワードは、特定の CCCCCC3 環境ではサポートされません。

**システムの処理** : 戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : 制御文からキーワードを除去してから CCCCCC3 環境でユーティリティーを実行し直すか、または互換性のある環境でユーティリティーを実行してください。

### SLS2153I Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has MEDIA-Type mismatch with database

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に見つけました。ただし、制御データセットでのそのカートリッジの MEDIA タイプ指定は、LMU 視認制御機構の結果と一致していません。

制御文での APPLY(YES) の指定によるか、または省略時値によって AUDIT がアクティブになっている場合、そのボリュームのメディアタイプ指定は、LMU での結果に一致するよう変更されます。制御文に APPLY(NO) を指定して AUDIT がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出し、制御データセットは更新されません。

**システムの処理** : APPLY パラメータの指定によっては、制御データセット内のボリュームの MEDIA タイプ指定を変更できます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2154I** "SUMMARY" must specify either "TOTal", "SUBpool", or both

**説明：**VOLRPT ユーティリティーに対してキーワード「SUMMery」が指定されましたが、値が指定されていないか、無効な値が指定されていました。

**システムの処理：**戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**VOLRPT ユーティリティーに対して「TOTal」、「SUBpool」、または「TOTal,SUBpool」のいずれかを指定して、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS2155I** CCCCCCCC1 parameter CCCCCCCC2 already specified

**説明：**キーワード CCCCCCCC2 に対するパラメータ CCCCCCCC1 はすでに指定されています。

**システムの処理：**戻りコード 4 が設定され、ユーティリティーは続行します。

**ユーザーの処置：**必要ありません。このメッセージは警告だけが目的です。

**SLS2156I** No more SCRTCH volumes in ACS AA

**説明：**EJECT ユーティリティーが、イジェクト対象のスクラッチテープの数を指定して実行されました。HSC は、ACS (AA) 内の利用可能なすべてのスクラッチテープをイジェクトしましたが、要求されたテープの数に達しませんでした。

**システムの処理：**EJECT ユーティリティーは、戻りコード 4 で終了します。

**ユーザーの処置：**異なる ACS に対して、スクラッチテープのイジェクトを実行してください。

**SLS2157I** Unable to obtain storage for volume table

**説明：**要求されたボリュームを格納するテーブルを取得するための十分な記憶域がありません。このメッセージは、VM 環境だけに適用されます。

**システムの処理：**VOLRPT ユーティリティーは、戻りコード 8 で終了します。

**ユーザーの処置：**仮想計算機のサイズを大きくするか(4 メガバイト以上を推奨)、要求するデータの量を少なくしてください。

**SLS2158I** SLSVA DD missing, data reported may be incorrect

**説明：**報告されるボリュームシリアル番号がメディアタイプと記録技法を混合したものであるとき、SLSVA DD が必要です。すべてのボリュームシリアル番号が同じメディアおよび記録技法を持っている場合、このメッセージを無視してかまいません。混合されたメディアタイプが含まれる場合、VOLATTR 文の入ったファイルに SLSVA DD を入れなければなりません。検出されるはずの SLSVA データセットが HSC から検出されなかった場合は、HSC が非アクティブであったか、VOLRPT を実行する SLUADMIN プログラムと同じリリースレベルに HSC がありませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。報告されたデータは誤っている可能性があります。

**ユーザーの処置：**VOLATTR 文に SLSVA DD を入れてください。

**SLS2159I** CCCCCC of volume volser - Access denied

説明：ボリュームにアクセスしようとしたが、ユーザー出口 14 によって拒否されました。

システムの処理：ユーティリティーは、ボリュームを処理しないで続行します。CCCCC ユーティリティーで戻りコード 4 が設定されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2160I** volser not ejected, MEDIA MISCOMPARE

説明：イジェクト処理時、イジェクトしたいボリュームにおいて、CDS 内のメディア情報と LMU から返されるメディア情報との間に不一致があることが見つかりました。SLS0698I、SLS0699I の各メッセージが HSC のコンソールに表示される場合もあります。

システムの処理：EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。条件コードの 4 が設定されます。

ユーザーの処置：AUDIT ユーティリティーを実行し、メディアの不一致を訂正してください。

**SLS2169I** CCCCCCCC1 (CCCCCCC2) must have CCCCCCCC3

説明：DD 文 CCCCCCCC1 によって定義されたデータセット CCCCCCCC2 には、必要な DCB 属性 CCCCCCCC3 が設定されていません。

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：DD または FILEDEF 文で適切な DCB 属性を指定し、ユーティリティーを再実行してください。

**SLS2182I** Input CDS from CCCCCC CDS level RRRRRRRR is inconsistent with utility maintenance level

説明：リリースレベル RRRRRRRR の入力 CDS は、ユーティリティー保守レベルでは使用できません。CCCCCCC はデータセット名です。

システムの処理：プログラムは終了します。

ユーザーの処置：現在の CDS と互換性がある HSC のリリースレベルに対するロードライブラリーを使用して、ユーティリティージョブの再サブミットを行なってください。

**SLS2184I** Database error: CCCCCCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 CDS

**説明:** 制御データセット CCCCCCCC2 上でデータベースエラーが発生しました。CCCCCCCCCCCC1 に、このエラーの情報が示されます。

エラーが 70847084 (サブファイルが見つからない) の場合は、ユーティリティーの制御文のいずれかのパラメータが範囲外の可能性があります。このエラーの原因となる範囲外の状態例には、1 つの LSM しかないライブラリーに LSM(00:06) を指定した場合などが挙げられます。これ以外の状態の場合は、CCCCCCCC2 CDS に CDS 整合性エラーがある可能性があります。

**システムの処理:** ユーティリティーは、戻りコード 8 で正常終了します。

問題が無効なパラメータの場合は、パラメータを訂正して、必要なユーティリティーを再実行してください。無効なパラメータを指定したことが問題ではない場合、現在診断用に存在しているのと同様の CDS のコピーを作成してから、対応する CDS を復元し、必要なユーティリティーを再実行してください。

**SLS2189I** WARNING: CAP CCCCCCCC1 unexpectedly released during CCCCCCCC2 CCCCCCCC3 processing

**説明:** CAP CCCCCCCC1 は解放されましたが、CCCCCCCC2 ユーティリティーの CCCCCCCC3 処理ではそれが割り振られるものとみなしていました。

**システムの処理:** 8 の戻りコードが設定され、CCCCCCCC3 処理に応じてユーティリティーの処理は続行または終了します。

**ユーザーの処置:** 可能であれば、ユーザーは、割り振られる CAP が早まって解放されることがないようにしてからユーティリティーを再実行すべきです。

**SLS2195I** XXXXXXXX command rejected; CAPid AA:LL:CC is in AUTOMATIC mode

**説明:** 特定の CAPid でユーティリティーが実行されました。この CAP は現在自動モードのために利用することはできません。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** 異なる CAP を指定してユーティリティーを再実行するか、該当する CAP を自動モードにしてください。

**SLS2197I** CAPid AA:LL:CC is offline

**説明:** SLUADMIN ユーティリティー機能が特定の CAPid (AA:LL:CC) への機能経路を必要としましたが、その CAP はユーティリティーが実行されたホストに対してオフラインです。

**システムの処理:** ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置:** CAP をこのホストに対してオンラインにし (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS2198I** HSC Subsystem maintenance level is not correct for this utility

**説明：**このユーティリティーに対する HSC サブシステム保守レベルが正しくありません。SLUADMIN ユーティリティー機能では、HSC サブシステムとユーティリティーモジュールが特定のリリースか、PUT レベルでなければなりません。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置：**HSC とユーティリティーロードライブラリが同じライブラリ連結であることを確認してください。現在実行中の HSC に対応するライブラリを選択する必要があります。正しいロードライブラリに変更した後、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS2200I** Warning: Volume volser Media-type compare failed between VOLATTR and cartridge label

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能は、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) の付いたライブラリカートリッジを検出しました。ロボットは、ボリュームラベルが、VOLATTR 制御文の MEDia タイプ指定に一致しないメディアタイプであることを検出しました。

**システムの処理：**なしこれは、警告 / 通知メッセージにすぎません。

**ユーザーの処置：**VOLATTR MEDia タイプ指定またはボリュームのメディアタイプラベルが正しいかどうかを調べて確認してください。

**SLS2201I** (...error text...)

**説明：**指定の値が無効であるか、または、要求でのモデル、デバイス、記録技法情報の間に不整合が存在します。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

**RECTECH is incompatible with UNIT**

RECTECH パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**MODEL is incompatible with UNIT**

MODEL パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**MEDIA is incompatible with UNIT**

MEDIA パラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

**UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH**

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および RECTECH 値と不整合です。

**UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL**

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および MODEL 値と不整合です。

**MEDIA is incompatible with RECTECH**

MEDIA パラメータに指定された値が、RECTECH パラメータに指定された値と不整合です。

**MEDIA is incompatible with MODEL**

MEDIA パラメータに指定された値が、MODEL パラメータに指定された値と不整合です。

**RECTECH is incompatible with both UNIT and MEDIA**

RECTECH パラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIA パラメータと不整合です。

**MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA**

MODEL パラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIA パラメータと不整合です。

**MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH**

MEDIA パラメータに指定された値が、ドライブおよび RECTECH パラメータと不整合です。

**MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL**

MEDIA パラメータに指定された値が、ドライブおよび MODEL パラメータと不整合です。

**MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible**

MEDIA, RECTECH、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

**MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible**

MEDIA, MODEL、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

**MEDIA is invalid**

MEDIA パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**RECTECH is invalid**

RECTECH パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MODEL is invalid**

MODEL パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MEDIA and RECTECH are invalid**

MEDIA および RECTECH パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

**MEDIA and MODEL are invalid**

MEDIA および MODEL パラメータに指定された値が、未知のものか、または誤っています。

**UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed**

MVS UCB のデバイスタイプは、LMU のデバイスタイプと互換性がないものであることを示しました。HSC は、当該操作の UCB のデバイスタイプであるとみなします。

**UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed**

デバイスの UNITATTR は、UCB または LMU が指示するものと一致しません。HSC は、UCB/LMU の指示どおりのタイプのデバイスを使用します。

**システムの処理** : ユーティリティーは、それ以上処理を行なわないで終了します。

**ユーザーの処置** : エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS2202I** No scratch volumes (MEDIA/RECTECH); Scratch Redistribution will not run

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーは、指定された MEDIA または RECTECH (あるいはその両方) の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS 内ないと判断しました。

**システムの処理** : ユーティリティーは、それ以上処理を行なわないで終了します。

**ユーザーの処置** : SCRATCH ユーティリティーを使用して、ACS にスクラッチボリュームを定義してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS2203I** Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has unreadable MEDIA label

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを指定位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) で見つけましたが、そのカートリッジには、読み取り不能な外部メディアラベルが付いています。

制御文での APPLY (YES) の指定によるか、または省略時値によって監査がアクティブになっている場合、その事実を反映するよう、制御データセット内のボリュームエントリは更新されます。制御文に APPLY(NO) を指定して監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出し、制御データセットは更新されません。

**システムの処理** : APPLY パラメータの指定に応じて、制御データセット内のボリュームエントリは更新されます。

**ユーザーの処置** : メディアラベルが読み取り不能な理由を判別してください。

**SLS2204I** Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* is not in control database.  
MEDIA label unreadable

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、制御データセット内に存在しない、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを、指定位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に見つけました。しかし、カートリッジの外部メディアラベルは読み取り不能です。

制御文に APPLy (YES) が指定されて監査がアクティブになっている場合、カートリッジはイジェクトされます。制御文に APPLy(NO) が指定されて監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出します。

**システムの処理** : APPLy パラメータの指定によっては、ボリュームはライブラリからイジェクトされることがあります。

**ユーザーの処置** : カートリッジを調べて、外部メディアラベルが読み取り不能である理由を判別してください。

**SLS2205I** No more SCRTCH volumes (MEDIA/RECTECH) in ACS *AA*

**説明** : SLUADMIN ユーティリティは、指定された MEDia および RECtech (あるいはそのいずれか) の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS *AA* 内にないことを判別しました。

**システムの処理** : ユーティリティは、それ以上処理を行なわないで終了します。

**ユーザーの処置** : このユーティリティ処理を継続したい場合、SCRATCH ユーティリティを使用して、正しい MEDia および RECtech の基準を使用してスクラッチボリュームを ACS に定義してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください

**SLS2206I** Error ejecting Volume *volser* with unreadable MEDIA in cell  
*AA:LL:PP:RR:CC*

**説明** : SLUADMIN AUDIT ユーティリティは、セル *AA:LL:PP:RR:CC* にあるボリューム (*volser*) をイジェクトできません。このボリュームは、制御データセット内になく、しかも読み取り不能なメディア外部ラベルの付いているものです。そのカートリッジをイジェクトしようとしたましたが、監査に LMU エラーがあったため、カートリッジをイジェクトできませんでした。

**システムの処理** : この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。AUDIt ジョブは続けられます。

**ユーザーの処置** : エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。EJect コマンドでテープを除去する必要がある可能性があります。

**SLS2207I** BALTOL parameter value invalid

説明：BALtol パラメータが、指定のタイプではないか、値の範囲内にありません。

システムの処理：ユーティリティーは、それ以上処理を行なわないで終了します。

ユーザーの処置：BALtol パラメータに指定できる値は 1-999 です。BALtol パラメータの値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS2208E** VERIFY parameter invalid

説明：VERIFY パラメータが無効なプログラムで指定されています。

システムの処理：JOB は戻りコード 8 で終了します。

ユーザーの処置：VERIFY パラメータを削除するか、CA1 テープ初期設定のプログラム名を TMSTPNIT に変えてください。

**SLS2250I** Attempting cleanup of CAP AA:LL:CC

説明：CAPid AA:LL:CC に対して終了処理が試みられています。

システムの処理：CAP はスキャンされます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2251A** CAP ejecting; please empty cartridges out of CAP AA:LL:CC

説明：CAP に対する処理を行なおうとした際、選択された CAP でボリュウムが見つかりました。処理を続けるためには、ボリュウムを取り出す必要があります

システムの処理：CAP の処理は待ち状態になります。

ユーザーの処置：CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、CAP ドアを閉めてください。

**SLS2252A** CAP processing terminating; please empty cartridges out of CAP AA:LL:CC

説明：ライブラリサブシステムがシャットダウンしようとしていますが、CAP が使用中です。

システムの処理：終了処理は待ち状態になります。

ユーザーの処置：CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、ドアを閉めてください。

**SLS2253I** LMU error XXXXXXXX ACS AA

**説明：**HSC が ACS AA に対して要求を出す際、エラー XXXXXXXX が発生しました。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2254A** Empty CAP AA:LL:CC and close door

**説明：**CAP 処理の開始時または終了時に CAP にカートリッジが入っていることが検出されましたが、そのカートリッジは取り出さなければなりません。

**システムの処理：**処理は待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、ドアを閉めてください。

**SLS2255I** Module CCCCCCCC ABEND XXXXX, RC=XXXXXXXX; ZZ dump taken

**説明：**CAP を構成するソフトウェアが異常終了しました。CCCCCCCC は異常終了したモジュール、XXXXX はシステムまたはユーザーの異常終了コード、CCCCCCCC は理由コードを示します。また ZZ は、ダンプが取られていない場合は「NO」、ダンプが取られている場合は空白になります。

**システムの処理：**アプリケーションのエラー処理ルーチンが問題の解決を試みます。

**ユーザーの処置：**ダンプが取られた場合はそれを保管し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2256I** Automatic CAP Service {Available|Unavailable}

**説明：**自動 CAP サービスをサポートする CAP コンポーネント機能を実行しようとした。自動 CAP サービスは、ACS が接続されていない場合でも有効にできます。「Unavailable」と示されている場合、このサービスは機能しません。したがって、「automatic」状態の CAP は、自動エンターを処理しません。

**システムの処理：**HSC は機能し続けますが、自動 CAP サービスは行ないません。

**ユーザーの処置：**自動 CAP サービスが Available の場合は、処置を行なう必要はありません。

自動 CAP サービスが Unavailable の場合は、CAP を手動モードにして処理を続けられます。問題の原因を特定し、可能であれば訂正してください。ダンプが出力された場合はそれを保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

自動 CAP サービスを再アクティブ化するためには、HSC を停止して再起動します。

**SLS2257I** Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; unable to make CAP AA:LL:CC CCCCCC3

**説明** : CAP AA:LL:CC 上での操作 CCCCCC2 に失敗したため、CAP を CCCCCC3 (MANual または AUTO) 状態に置くことができませんでした。CCCCC1 は、操作 CCCCCC2 からの戻りコードです。

**システムの処理** : 指定された CAP は、CCCCC3 状態になりません。実行は続けられます。

**ユーザーの処置** : 戻りコードの原因を特定して可能であれば訂正した後、コマンドを再試行してください。

**SLS2258I** Auto CAP AA:LL:CC in recovery; remove cartridges found in CAP

**説明** : 自動モードでエンター処理を行なおうとしている CAP が、回復中であることがわかりました。

**システムの処理** : システムの処理は続けられます。CAP の最初のスロットに残っているカートリッジは処理されます。CAP のそれより前の空のスロットに残っているカートリッジは処理されません。

**ユーザーの処置** : 新しいカートリッジを CAP に入れる前に、該当する CAP 内のすべてのカートリッジを取り出してください。

**SLS2259A** CAP AA:LL:CC unlocked; Magazine(s) installed improperly or CAP not closed completely

**説明** : CAP AA:LL:CC 内にマガジンがないか、マガジンが正しく取り付けられていないか、または CAP が完全に閉じられていないかのいずれかです。CAP には、少なくとも 1 つのマガジンが入っていなければなりません。また、StreamLine 8500 CAP の場合を除き、そのマガジンは、CAP の一番下の位置になければなりません。

**システムの処理** : システムは、オペレータが CAP ドアをいったん開いて閉じるまで、待ち状態になります。CAP ドアが閉じられると、CAP をもう一度スキャンして、マガジンが正しく取り付けられているかどうか確認します。問題が解決していない場合は、このメッセージがもう一度発行されます。

**ユーザーの処置** : CAP にマガジンが入っていない場合、少なくとも 1 つのマガジンを挿入してください。StreamLine 8500 CAP の場合、マガジンは、上、中、下のいずれの位置にも配置できます。そのほかの CAP 場合、CAP の一番下から挿入してください。マガジンの下に空のスロットがある場合は、そのマガジンを移動してマガジンの下に空のスロットが残らないようにします。CAP ドアを閉じます。



**注** : A 上部の右隅に「N」という記号のないマガジンは、WolfCreek LSM には認識されません。これらのマガジンの 1 つが WolfCreek CAP の一番下のスロットに取り付けられている場合は、このメッセージが発行されます。これらのマガジンの 1 つが WolfCreek CAP に取り付けられていても、それが一番下のスロットでなければ、このメッセージは発行されません。ただし、そのマガジンよりも下に取り付けられているマガジンしか使用されません。

**SLS2260I** Auto CAP Enter of *volser* failed; {LSM PATH OFFLINE|ACS OFFLINE|CARTRIDGE MADE ERRANT|CAP OFFLINE|CAP ID INVALID}

**説明** : 次のいずれかの理由で、ボリューム *volser* が入力されませんでした。

- LSM 経路、ACS、LSM、CAP のいずれかがオフラインだった
- CAPid が無効か、カートリッジがエラントだった

**システムの処理** : システムの操作は続けられます。ボリューム *volser* は CAP 内に残ります。

**ユーザーの処置** : LSM 経路、ACS、LSM、CAP をオンラインにして、操作を再試行してください。

**SLS2261I** Auto CAP Enter - unexpected Return Code XXXXXXXX

**説明** : 自動 CAP エンター処理で、予期しない戻りコード XXXXXXXX を受け取りました。

**システムの処理** : 自動 CAP エンター操作は完了しません。ただし、システムの操作は続けられます。

**ユーザーの処置** : オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2262I** Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; CAP AA:LL:CC is unlocked

**説明** : 指定された操作 (CCCCC2) で、CAP AA:LL:CC のロックに失敗しました。戻りコードは CCCCCC1 です。

**システムの処理** : 指定された CAP はこのホストからロックされず、CDS で手動モードに設定されたままです。実行は続けられます。

**ユーザーの処置** : 必要に応じて、CAP ドアをいったん開いて閉じてください。

**SLS2263I** CAP AA:LL:CC in {AUTO|MANUAL} mode

**説明** : CAP AA:LL:CC が、メッセージに示されたモード (AUTO または MANual) に変わりました。示されたモードが AUTO (自動) の場合、CAP はロック解除され、カートリッジを挿入できます。示されたモードが MANual (手動) の場合、カートリッジを挿入するためには、ENter コマンドを出して CAP のロックを解除する必要があります。

**システムの処理** : CAP は、モードがマニュアルのときはロックされています。自動モードのときはロックされていません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2264E** Auto CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

**説明 :** HSC レベル 2 での終了処理中、自動モードの CAP AA:LL:CC がアクティブのままでした。

**システムの処理 :** HSC レベル 2 の終了処理は、CAP AA:LL:CC がアクティブでなくなるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置 :** CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合は、このメッセージの前に表示された、CAP 内のカートリッジを取り出すことを要求する各メッセージに対して、適切な処置をとってください。

**SLS2266E** Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:CC has an invalid media label and cannot be entered

**説明 :** カートリッジ (volser) が CAP セル AA:LL:CC:RR:CC で見つかりましたが、読み取り不能な光学式メディアラベルが付いているため、エンターできません。

**システムの処理 :** カートリッジの挿入処理は、カートリッジの見つかった CAP セル内にそれを残したまま、その CAP 内の次のカートリッジに進みます。

**ユーザーの処置 :** CAP からカートリッジを除去してください。カートリッジを挿入しなければならない場合は、メディアラベルを修正してください。

**SLS2267I** Eject of volser into PCAP - media type changed from MM1 to MM2

**説明 :** ボリューム (volser) を PCAP にイジェクトしようとしたましたが、メディアが不一致であったため失敗しました。

メディアの不一致エラーが起きるのは、検証される HSC 提供のメディアタイプ (MM1) が、視認制御機構 (MM2) が読み取るメディアタイプと一致しない場合です。LMU は、メディアの不一致エラーとして、その不一致を HSC に報告します。メディアの不一致エラーが起きるのは、HSC がメディア検証を実行するよう LMU に要求した場合だけです。

**システムの処理 :** 制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、視認制御機構が読み取るメディアタイプに変更されます。イジェクトは自動的に再試行されません。

このメッセージは、メディアの検証が機能しているときにのみ出され、イジェクトが自動的に再試行されるときにメディアの検証が行なわれます。再びメディアの不一致が起こった場合は、イジェクトは失敗し、PCAP はリリースされます。

**ユーザーの処置 :** MM1 と MM2 が同じ場合、LMU または視認制御機構にハードウェア問題が存在する可能性があります。自動的な再試行でイジェクトが失敗した場合は、非 PCAP にボリュームをイジェクトしてみてください。再試行でイジェクトできた場合は、処置を行なう必要はありません。

**SLS2268I** CAP reserved to another host group; unable to make CAP AA:LL:CC AUTO

**説明** : ACSLS などの別のホストグループが CAP AA:LL:CC を予約しているため、CAP を AUTO 状態に置くことができませんでした。

**システムの処理** : 指定された CAP は、AUTO 状態になりません。実行は続けられます。

**ユーザーの処置** : ほかのホストグループが CAP を解放するまで待つか、ほかのホストグループのソフトウェアまたはハードウェア機構を使用して CAP を解放します。

**SLS2269E** CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

**説明** : HSC レベル 2 での終了処理中、CAP AA:LL:CC がアクティブのままです。

**システムの処理** : HSC レベル 2 の終了処理は、CAP AA:LL:CC がアクティブでなくなるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合は、このメッセージの前に表示された、CAP 内のカートリッジを取り出すことを要求する各メッセージに対して、適切な処置をとってください。

**SLS2275I** CAP AA:LL:CC: unavailable for CCCCCC1 CCCCCC2

**説明** : CAP AA:LL:CC は、直前の CCCCCC1 の処理時に予定外に解放されたため、CCCCC2 処理で使用できません。このメッセージにはメッセージ SLS2189I が付随することがあります。

**システムの処理** : ユーティリティ処理の該当フェーズはバイパスされます。

**ユーザーの処置** : 可能であれば、ユーザーは、割り振られる CAP が早まって解放されることがないようにしてからユーティリティを再実行すべきです。

**SLS2276I** Drive XXXX is incompatible with media for volume volser

**説明** : CARTINIT ユーティリティはボリューム volser を、指定のトランスポート XXXX にマウントしようとしたますが、テープメディアとトランスポートは互換性がありません。

**システムの処理** : システムはカートリッジをイジェクトし、次のカートリッジから CARTINIT 処理を継続します。

**ユーザーの処置** : SLSTAPE DD 文に、初期設定しているメディアに一致するトランスポートを指定してください。

**SLS2277I** RECONFIG volume copy started using DDDDDDD

**説明** : DDDDDDD の方法は、RECONFIGuration ボリュームコピーに使用されています。DDDDDD は CDS I/O またはデータスペースの可能性があり、データスペースの方法は、パフォーマンスを向上させます。

**システムの処理** : ユーティリティは続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2278D** Creation of the RECONFIG utility Data Space failed - MMMMMMMM - CC  
- RRRRRRRR; reply CDS or Terminate (C/T)

**説明** : MMMMMMMM は、再構成ユーティリティーのデータスペースの作成に失敗した IBM マクロコールです。CC は失敗に関する戻りコードです。RRRRRRRR は失敗に関する理由コードです。戻りコードおよび理由コードについては、適切な IBM の資料を参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV で戻りコードが 08、理由コードが xx0005xx である場合は、データスペースがインストール条件 (IEFUSI exit) に違反しています。これは、保護キー 1-7 で HSC が実行中でないことを示しています。SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバーの MVS プログラム特性テーブルで、HSC 用保護キーの正しい仕様を確認してください。

**システムの処理** : 再構成 (Reconfig) ユーティリティーは、ユーザーが CDS 「C」または Terminate 「T」を返すまで待機します。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

- C ボリュームコピーステップを行なう CDS I/O の方法を使用して再構成 (Reconfig) ユーティリティーを続行する場合。この場合、ユーティリティーの実行時間が長くなります。
- T 再構成 (Reconfig) ユーティリティーを終了させる場合。

**SLS2279E** RECDEF dataset is not a newly recreated CDS

**説明** : 再構成 (Reconfig) ユーティリティーが、RECDEF CDS にレコードを検出しました。RECDEF CDS は新しく作成された CDS である必要があります。

**システムの処理** : 再構成 (Reconfig) ユーティリティーは、戻りコード 08 で終了します。

**ユーザーの処置** : SLICREAT ユーティリティーを実行して新しい CDS を作成してください。

**SLS2314I** CAP AA:LL:CC released or drained

**説明** : EJECT ユーティリティーの実行中に、割り当てられた CAP AA:LL:CC の解放またはドレインが行なわれたことが検出されました。

**システムの処理** : ほかの CAP がアクティブな場合、ユーティリティーの処理が続行します。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2315I** DDDDDDDD was selected as the CCCCCCCC control data set and was disabled

**説明**：ユーティリティ機能の実行中に、DHB ブロックまたは JCL によって、データセット DDDDDDDD が CCCCCCCC CDS であり、ユーティリティの処理中は使用できないことが検出されました。

**システムの処理**：ユーティリティは続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS2316I** Volume *volser* not ejected; CAP(s) released in ACSid AA

**説明**：EJECT ユーティリティの実行中に、ACSid AA に割り当てられた CAP の解放またはドレインが行なわれたことが検出されました。

**システムの処理**：ほかの ACS 内の CAP がアクティブな場合、ユーティリティの処理が続行します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS2317I** Unexpected EOF reading journal specified by SLSJRNdD DD statement

**説明**：RESTORE ユーティリティ処理で、ジャーナルファイル SLSJRNdD を読み取ろうとしたとき、ファイルの終わり条件が検出されました。(dd=01 - 99)。

**システムの処理**：ユーティリティは終了して、戻りコード U1096-0202 が返されます。

**ユーザーの処置**：指定のジャーナルファイルが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。正しくない場合、SLICREAT を使用してジャーナルファイルをフォーマットしてください。

指定のジャーナルファイルが正しくフォーマットされている場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS2318I** Volume *volser* is a VSM MVC cartridge; cannot be entered into Scratch List

**説明**：SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を、ライブラリースクラッチプールに追加しようとしたが、そのボリュームシリアル番号は、VSM MVC カートリッジとして定義されているため、スクラッチボリュームとして取り扱うことはできません。

**システムの処理**：ユーティリティの処理が続行します。

**ユーザーの処置**：このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRAtch 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS2319I** Volume *volser* already defined in VSM as scratch

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、VSM スクラッチプールに、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を追加しようとしたましたが、ボリュームはすでにスクラッチとして定義されていました。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : このエラーによって SCRArch Update ユーティリティーが取り消されることはありません。ただし、指定されているボリュームシリアル番号を調べて訂正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再サブミットすることもできます。

**SLS2320I** Volume *volser* not defined in VSM as scratch

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、VSM スクラッチプールから指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を除去しようとしたますが、そのボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されませんが、ユーザーは、指定のボリュームシリアル番号をチェックし、それを訂正してから、SLUADMIN SCRArch 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS2321I** Volume *volser* successfully added to VSM as scratch

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーにより、VSM スクラッチプールに指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が追加されました。

**システムの処理** : HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2322I** Volume *volser* successfully deleted from VSM scratch pool

**説明** : SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーにより、VSM スクラッチプールから、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が削除されました。

**システムの処理** : HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2323I** Volume *volser* is NOT eligible to be scratched

**説明：**SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、ライブラリスクラッチプールに、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を追加しようとしたましたが、*Volser* はスクラッチに不適格と設定されていました。

この *Volser* は次の理由のいずれかで「DO NOT SCRATCH」の状態に置かれました。

- この *volser* は VSM Multiple Volume Cartridge (MVC) である。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再サブミットできます。

**SLS2324I** Volume *volser* not scratched, DFSMSRMM API Error, *fffffff*, RC=*xx*, RS=*yy*

**説明：**SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、特定のボリュームシリアル番号 (*volser*) をスクラッチしようとしたましたが、DFSMSRmm がゼロ以外の戻りコードを戻したため、スクラッチできませんでした。*fffffff* は、失敗した RMM 機能です。この機能は、LISTVOLUME または CHANGEVOLUME のいずれかです。戻りコード *xx* および理由コード *yy* の詳細については、DFSMSRMM の資料を参照してください。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されません。問題を解決して、この *volser* に対してスクラッチ更新ユーティリティーを再実行してください。

**SLS2325I** Volume *volser* not scratched because it is not a scratch in the DFSMSrmm database.

**説明：**SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) をスクラッチしようとしたましたが、ボリュームが DFSMSrmm 制御データセットでスクラッチ状況ではなかったため、スクラッチできませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーの処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティーは取り消されません。ボリュームが DFSMSrmm 制御データセットでスクラッチ状況になった後、この *volser* に対してスクラッチ更新ユーティリティーを再実行してください。

**SLS2326I** VTV VVVVVV not scratched because of status change

**説明** : VTV VVVVVV のスクラッチを試みたときに、VTCS は最初にコマンドが発行されてから VTV の状態が変化したことを検知しました。

**システムの処理** : VTV はスクラッチされていません。

**ユーザーの処置** : なしこのメッセージは警告のためだけに表示されます。要求が検証される時間と、スクラッチコマンドが試みられる時間の間には大きな遅延が存在することもあるため、別の要求が VTV レコードを更新して、スクラッチ要求を無効にする可能性は十分あります。

検証が実行されたあと、スクラッチ要求が試みられる前に以下が発生すると、VTV の状態が変化する可能性があります。

- VTV がマウントされたが、マウント解除されていない。
- VTV が、アプリケーションプログラムによって読み出されるか書き込まれる (したがって、マウント済みかつマウント解除済み)。

**SLS2401E** User SCRATCH subpool definition unsuccessful - ccccccccccccccccccc2

**説明** : ユーザー SCRATCH サブプールの定義が失敗しました。その原因は ccccccccccccccccc2 で示され、次のいずれかになります。

**Bad number of subpools: n**

最大値の 255 個を超えるサブプール、または 0 個のサブプールを定義しようとした。n は指定されたサブプールの数です。

**Subpool defined out of order: n**

サブプールを順番に定義しませんでした。HSC に対して指定されるサブプール番号は 1 で始まり、順番になっている必要があります。n は、間違った順番で定義された最初のサブプールの番号です。

**Bad number of subpool entries 0**

0 のサブプール範囲を定義しました。

**Bad volser range: vvvvv1-vvvvv2**

無効なボリュームシリアル番号の範囲でサブプールを定義しました。無効なボリュームシリアル番号の範囲の始めと終わりは vvvvv1 と vvvvv2 で示されます。

**Bad label type: X“xx”**

無効なラベルタイプでサブプールを定義しました。無効なラベルタイプは 16 進数の xx で示されます。

**Subpools already defined**

サブプールを 2 回定義しました。1 つの実行では、サブプールは 1 回のみ定義できます。

**システムの処理** : サブプールは定義されません。

**ユーザーの処置** : 無効なサブプールの定義を修正して、HSC に定義の再サブミットをしてください。これを行なうには、HSC をいったん停止させて、また起動させる必要があります。

ります (定義が VM テープ管理インタフェースを介してサブミットされている場合を除きます)。

**SLS2402E** Scratch Pool Depletion Warning for ACS AA|LSM AA:LL {Subpool CCCCCC1} {Media CCCCCC2}, DDDDDDDDD Scratch Volumes remaining

**説明:** メディアタイプ CCCCCC2 のスクラッチ警告の限界値または間隔に達しました。指定の ACS (AA) または LSM (AA:LL) には (DDDDDDDDDD) スクラッチボリュームが残っています。サブプールに限界値を指定すると、そのサブプールは CCCCCC1 でも識別されます。

このメッセージは、スクラッチプールが最初のスクラッチ警告レベルに達したときに初めて出されます。このメッセージは、スクラッチプールが空の場合、スクラッチ間隔ごとに繰り返されます (スクラッチ限界値と警告の間隔について詳しくは、オペレータコマンド Warn および OPTion Warnmsg を参照してください)。

**システムの処理:** ACS または LSM は、ユーザーが Warn コマンドで指定したスクラッチボリューム数次の状態で稼働しています。すべてのスクラッチボリュームが使用済の場合、HSC は、スクラッチマウント要求を非ライブラリトランスポートに割り振ろうとします。

**ユーザーの処置:** (スクラッチ更新ユーティリティー機能を実行することによって) ACS または LSM のスクラッチプールに正しいメディアタイプのスクラッチカートリッジを加えるか、またはスクラッチ警告の限界値を低くしてください。

**SLS2405E** Configuration manager (FIGMGR) Error: Program - CCCCCC1, Function - CCCCCC2, Level - CCC3, Type - CCCCC4, RC - XXXX

**説明:** HSC 構成マネージャーが予期しないエラー状態を報告しました。

**システムの処理:** タスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

**ユーザーの処置:** ダンプを保存します。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2412I** Previously unselected volume VVVVVV incurred an error while the record was being CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

**説明:** ボリューム VVVVVV に対して、CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 処理よりも前のある時点で UNSELECT ユーティリティが実行されました。

ユーティリティがボリュームを選択解除したときに、エラーを検出した処理ではそのボリュームを選択していました。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 処理は次のように定義されます。

Unselected ( 選択解除 )

Made errant ( エラント化 )

Updated ( 更新 )

Inserted as scratch ( スクラッチとしてエンター )

Deleted ( 削除 )

**システムの処理:** 処理は完了していません。このあとに U1096 異常終了が続く場合があります、その場合は戻りコード 4004 の「volume not selected」が示されます。

**ユーザーの処置:** U1096 異常終了の戻りコード 4004 は、ユーザー処置の影響であり、現在のボリュームの状況には当てはまりません。カートリッジの状況を判別する必要があり、訂正処理が必要な可能性があります。システムログをスキャンし、このメッセージの前にボリュームに対して行なわれた最後のシステム処理を調べてください。ボリュームを表示し、HSC がどこにカートリッジがあると想定しているかを判別してください。この情報を使用して、View コマンドで考えられるカートリッジの位置を 1 つずつ調べます。View でボリュームがホームセルにないことが示され、Display Volume でホームセル内にあるけれども選択解除されていることが示された場合、主な解決法は 2 通りあります。

第 1 は、View で、システムログメッセージ、または取られた処理に基づいてライブラリ内のボリュームの物理位置が見つけれられた場合です。ボリュームが MVS のトランスポート上にある場合、そのトランスポートに対して Unload コマンドを出さなければなりません。またボリュームがオンラインになっている場合、Unload コマンドは、デバイスがもう割り振られなくなるまでそのデバイスのアンロードを延期します。ボリュームがどのシステムに対してもオンラインになっていない場合、ボリュームシリアル番号を指定しないで HSC DISMount コマンドを出します。VM では、デバイスがテープ管理仮想計算機 (VMTAPE など) に ATTACH されている場合、ボリュームシリアル番号を指定しないで HSC DISMount を出します。デバイスがどの仮想計算機にも ATTACH されていない場合は、デバイスを仮想計算機に一度 ATTACH してから DETACH することにより、テープをアンロードする必要があります。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、ATTACH は失敗します。ボリュームが CAP 内にある場合、HSC ENter コマンドを出してその CAP を割り振ってから、カートリッジを取り出してください。以下に示す処理手順に従って、制御データセットからボリュームリファレンスを論理的に削除してください。ハードウェア障害が原因でアクセス不能な位置にボリュームがある場合、(PTP、Transport、CAP、LSM)、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。

第2は、CAP 処理または手動モードのときに LSM からボリュームが取り出されたため、ライブラリの外部に置かれている場合です。通常、これはセルに対して AUDIt を実行すれば訂正できます。別の方法では、ボリュームに対して HSC Eject コマンドまたは MOunt コマンドを実行し、そのあとのメッセージに応答して、制御データセットから「論理」ボリュームリファレンスをイジェクトまたは削除します。

**SLS2450E** Error reading control database - RC = XXXX

**説明：**構成制御機能がデータベースサーバーからエラーを示す戻りコードを受け取り、処理を続けられませんでした。

**システムの処理：**構成制御機能は異常終了します。このエラーにより、トップレベルのほかの機能も異常終了する恐れがあります。

**ユーザーの処置：**制御データセットを含んでいるデバイスを検査してください。デバイスが操作可能な場合は、制御データセットの最新のバックアップを準備し、SLUADMIN RESTORE ユーティリティを実行してください。

SLS2459I Panel Mismatch - LSM AA:LL

```

                1111111111
Panel Number 01234567890123456789
LMU Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
CDS Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
    
```

説明：構成制御検査機能が、LMU のパネルタイプ定義と、LSM AA:LL で見つかったパネルタイプ定義との間に不一致を検出しました。各状況域は 2 行で示されます。最初の行はパネルタイプの上位、2 番目の行はパネルタイプの下位を表現します。上位の「C」および下位の「X」という文字は、次の数字に置き換えられます。

ブランク	パネルなし
	<i>大容量LSM (4410,9310)</i>
00	PowderHorn ウィンドウパネル
01	セルパネル
02	ドアに隣接するセル ( パネル 10)
03	ドアパネル
04	パススルー右パネル (WolfCreek のパネル 2 に接続している場合以外はマスター PTP パネル)
05	パススルースレーブパネル
06	通常のドライブパネル
07	ドアに隣接するドライブ ( パネル 10)
08	LCU パネル ( パネル 0)
09	クリップードアパネル ( パネル 11)
10	内部セル ( パネル 13-18)
11	内部セル ( パネル 19)
12	内部ドア ( パネル 12)
13	ワイドドライブパネル (20 ドライブ用の構成)
14	ドアに隣接するワイドドライブパネル (20 ドライブ用の構成) ( パネル 10)
	<i>WolfCreek LSMs (9360)</i>
20	パネル 0
21	パネル 2 ( スレーブパススルー付き )
22	パネル 0 ( マスターパススルー付き )
23	パネル 1 ( ドライブなし )
24	パネル 1 ( ドライブ付き )
25	パネル 2

26	パネル 2 ( マスターパススルー付き )
27	パネル 3
28	パネル 3 ( ドライブ付き )
29	パネル 4 (CAP 1 台付き )
30	パネル 4 (CAP 2 台付き )
31	パネル 3 ( セルなし )
32	パネル 3 ( ドライブ付き、セルなし )
33	パネル 3 ( ビューウィンドウ付き )
34	パネル 3 ( ドライブホール付き、ドライブなし )
35	パネル 4 (CAP 1 台付き、セルなし )
36	パネル 4 (CAP 2 台付き、セルなし )
37	パネル 4 (CAP 付き、オプションセルなし )
	<i>97XX LSMs (9740)</i>
40	9740 パネル (セルなし) (ウィンドウ付きのドア)
41	9740 パネル (4 列のセル付き、パススルーポートなし) (パネル 0 またはセル付きのドア)
45	9740 CAP パネル
46 秒	9740 ドライブパネル
47	9740 パネル (スレーブパススルー付き) (パネル 0)
48	9740 パネル (マスターパススルーポート付き) (パネル 2)
99	LMU の未知のパネルタイプ

**システムの処理 :** 構成制御検査機能は、すべての不一致を報告するための処理を続けます。HSC は起動したままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままです。

**ユーザーの処置 :** 2 つの状況域を比較すれば、LSM パネル構成のどこに相違があるかがわかります。実際の物理構成に基づき、(1) LMU 構成に合わせて LIBGEN パラメータを変更し、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成する、(2) StorageTek CSE に依頼して、LIBGEN パラメータに合わせて LMU 構成を変更する、のいずれかを行なってください。

**SLS2460I** Select override occurred for a CCCC record at address HHHHHHHH

**説明：**CCCC レコードの解放待ちになっていた構成管理プログラムはタイムアウトになりました。更新は行なわれなかったため、新しい要求は、アドレス HHHHHHHH のレコードにアクセスできました。

**システムの処理：**処理は続きます。特定のオペレータ介入が必要なことがあります。

**ユーザーの処置：**HSC アドレス空間のダンプをとり、StorageTek ソフトウェアサポートにご連絡ください。

**SLS2463I** Drive record for drive AA:LL:PP:NN not written; key CDS fields have changed

**説明：**HSC はドライブのレコードに再書き込みしようとしたが、ドライブの ID、ユニットアドレス、または削除された状況のいずれかが Set SLIDRIVS コマンドによって変更されました。

**システムの処理：**ドライブのレコードへの再書き込みはバイパスされます。

**ユーザーの処置：**ホストをリサイクルしてドライブのレコードをリフレッシュしてください。

**SLS2501I** CCCCCCCC1 task was found to be active during HSC termination; waiting for completion

**説明：**HSC のコンポーネントの終了中に、CCCCCCC1 に示されたタスクがアクティブであり、終了処理を続けるためにはこのタスクを終了する必要があることがわかりました。CCCCCCC1 には、次のいずれかのタスクが示されます。

- Automatic CAP
- Station Monitor
- Attach Monitor
- Listener
- Server
- VTCS Monitor

**システムの処理：**終了処理は、メッセージに示されたタスクの処理が終了するか取り消されるまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**可能であれば、タスクの処理を完了してください。ユーティリティを実行している場合は、ジョブをキャンセルする必要がある場合もあります。ジョブ名は、Display Status コマンドによって調べられます。アクティブなジョブがエンター処理の場合は、適切な CAP に対してドレインを行なってください。

- SLS2502I** HSC Initializing with a cold start because the release levels of the previous and current HSCs are different
- 説明:** HSC の初期化の過程で、前回アクティブであった HSC サブシステムのリリースレベルが、現在の HSC のリリースレベルと違うことが検出されました。内部コールドスタートが呼び出されて、メモリー内のすべてのデータ構造などが現在の HSC のリリースと互換性があるようにされます。
- システムの処理:** HSC の初期化が続行されます。
- ユーザーの処置:** なし
- SLS2526I** Reconfiguration function did not run successfully -- Component=MMMMMMMM, RC= XXXXXXXX
- 説明:** 再構成機能を実行しようとしたのですが、エラーが発生したため、構成機能を正常に実行させられませんでした。Component は、実行できなかった HSC コンポーネントの名前です。RC は、実行できなかった操作からの戻りコードです。
- システムの処理:** 再構成機能の処理は終了します。
- ユーザーの処置:** 名前が示されたコンポーネントに対する戻りコードをチェックしてください。適切な解決方法が見つからない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。
- SLS2528I** Reconfiguration function has skipped the copy to the new secondary CDS.
- 説明:** セカンダリ CDS は未定義であったため、新しいプライマリから新しいセカンダリー CDS への複写はスキップされました。
- システムの処理:** 再構成機能は処理を続け、条件コード 4 が設定されます。
- ユーザーの処置:** 導入システムで、シャドウコピーを使用する予定の場合、IEBGENER のようなユーティリティを使用して、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ (あるいはその両方) の制御データセットにコピーできます。
- SLS2550I** LLLLLLLL keyword value must be enclosed in double parentheses.
- 説明:** キーワード LLLLLLLL に対して指定する値は、二重かっこで囲む必要があります。
- システムの処理:** LIBGEN アセンブリーは、条件コード 12 で終了します。
- ユーザーの処置:** 必要な場所にかっこを挿入し、かっこの対応を確認し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS2557I** Door type of *dddd* not valid on this lsm type

説明：SLILSM マクロで無効なドアが指定されています。SLILSM マクロで定義された LSM の種類は、*dddd* ドアをサポートしません。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 0C が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS2559I** Passthru parameter *N* of WolfCreek LSM *LLLLLLLLL1* must be "MASTER" for connection to adjacent *MMMM* LSM *LLLLLLLLL2*

説明：ラベル *LLLLLLLLL1* の WolfCreek LSM に指定された *N* 番目のパススルーパラメータが「slave」に定義され、隣接する LSM はラベル *LLLLLLLLL2* の標準 (4410) LSM または Powderhorn (9310) LSM です。PTP を介して WolfCreek LSM を標準 LSM または Powderhorn LSM に接続する場合は、WolfCreek LSM が必ず「master」である必要があります。

システムの処理：LIBGEN アセンブリーは、条件コード 12 で終了します。

ユーザーの処置：WolfCreek LSM と、標準または Powderhorn LSM との間のパススルー関係を再定義し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS2580E** Insufficient space was allocated for the control data set; the number of blocks required is *DDDDD*

説明：データベースの作成中、CDS に割り振られた容量が使用中の LIGEN 定義に対して不十分であると SLICDATA が判断しました。

システムの処理：SLICREAT は終了します。

ユーザーの処置：データセットに適切な容量を再割り振りしてください。

**SLS2581A** No scratch volumes exist for device address *DDDD* recording technique *RRRRRRRR*; enter a scratch volser or I to Ignore

説明：SLIEXERS ユーティリティーの実行時に、指定のデバイス (*DDDD*) の記録技法 (*RRRRRRRR*) に一致するスクラッチテープは存在しないと判別されました。

システムの処理：SLIEXERS は、オペレータの応答を待ちます。

ユーザーの処置：スクラッチテープとして使用できる 6 桁のボリュームシリアル番号を使用するか、または稼働しているデバイス *DDDD* を無視するために「I」と応答してください。

**SLS2582I** The HSC is not at FULL service level

**説明：**指定のユーティリティーを実行しようとしたますが、HSC は正しいレベルにありませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置：**HSC を FULL サービスレベルにしてから、ユーティリティーを再実行してください。

**SLS2583I** Device address DDDD was Ignored|Verified|Not Available

**説明：**デバイス DDDD は、スクラッチテープが使用できないので無視されたか、SLIEXERS ユーティリティーで検証されたか、または SLIEXERS ユーティリティーで使用できませんでした。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS2584I** Error locating or attempting to use volser vvvvvv; Please enter another volser

**説明：**SLIEXERS ユーティリティーは、ACS 内で指定のボリュームシリアル番号 (vvvvvv) を見つけられなかったか、またはそのボリュームのメディアタイプがテープドライブに対して有効なものではありませんでした。

**システムの処理：**メッセージ SLS2581A が表示されます。

**ユーザーの処置：**メッセージ SLS2581A の指示どおりに処置してください。

**SLS2585E** Module is not APF authorized

**説明：**SLIEXERS ユーティリティーは、APF 許可のあるライブラリから実行しなければなりません。

**システムの処理：**ユーティリティーは処理を停止します。

**ユーザーの処置：**APF 許可のあるライブラリから SLIEXERS ユーティリティーを実行してください。

### **SLS2586E** HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is a duplicate

**説明** : ホスト ID (CCCCCCCC) に関連したすべてのトランスポートが相互比較されました。デバイス番号 XXXX は、当該ホストで重複していることが分かりました。

**システムの処理** : 処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : どの XXXX デバイスが LIBGEN において正しいかを確認してから、次に示す処理の 1 つを実行してください。

1. LIBGEN と SLICREAT を使用します。
  - LIBGEN 内にある誤った SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに関連した重複デバイス XXXX を変更または削除してください。
  - 新しい LIBGEN をアSEMBルし SLICREAT ユーティリティを実行して、データベースを再作成してください。
2. SET SLIDRIVS ユーティリティを使用して、現在のデータベース内の重複装置 XXXX を変更または削除してください。

### **SLS2587E** Invalid mix of LSM types found in an ACS

**説明** : PTP 経由で接続できない LSM が、同じ ACS に見つかりました。

**システムの処理** : RC=58305830 で、処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : LIBGEN を設定し直し、無効な LMS タイプを別の ACS に分離します。不正な LSM の混在には、次のようなものがあります。

1. SL3000 ライブラリは、1 つの ACS に 1 つの LSM しか設定できません。
2. SL8500 は、そのほかの SL8500 の ACS とともに、ACS にしか設定できません。

### **SLS2610I** CCCCCCCC command rejected; unable to activate CAPid AA:LL:CC; CAP {recovery|reserve} unsuccessful

**説明** : 特定の CAP (AAL:CC) に対して、ENter コマンドまたは EJect コマンドを実行しようとしたが、CAP を要求された状態にできませんでした。

**システムの処理** : ENter コマンドまたは EJect コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : コマンドを再入力してください。それでも同じ問題が繰り返し発生し、ソフトウェアの問題が考えられる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS2615I** EJECT subtask failure XXXX; EJECT attempting to continue

**説明：**EJect コマンドの CAP タスクの 1 つが、戻りコード XXXX が示す異常により、終了しました。

**システムの処理：**このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。コマンドの実行を継続できない場合は、イジェクトできなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS2616D** REPATH requested by EJECT for CAPid AA:LL:CC; Reply C to (C)ancel or R to (R)EPATH

**説明：**AA:LL:CC の CAP タスクが EJect コマンドの実行中に終了し、OPTion Repath が Reply に設定されました。

**システムの処理：**このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。コマンドの実行を継続できない場合は、イジェクトできなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

C Repath を取り消す場合。イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

R Repath を実行する場合。利用できる別の CAP があれば、この CAP のカートリッジがその CAP に転送されます。他に利用できる CAP がない場合、イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

**SLS2617I** CAPid AA:LL:CC not REPATHed

**説明：**EJect コマンドの実行中に CAP タスクが終了し、Repath 処理は行なわれませんでした。Repath が No に設定された、Repath に利用できる CAP がなかった、「Repath option reply」メッセージに対して取消しの応答「C」があった、のいずれかです。

**システムの処理：**イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS2618I** {ENTER|EJECT} cannot select CAPid AA:LL:CC; CCCCCCCCCCCC

**説明：**ENter コマンドまたは EJect コマンドに使用する CAP を選択できませんでした。CCCCCCCCCCCC は、CAP の状態、または CAPid がバイパスされたことについての説明です。

**システムの処理：**このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。それ以外の場合、コマンドは終了します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS2619I** ENTER failed; No free cells in LSM xx:xx

説明：ENTER コマンドは、空のセルを含まない LSM を要求しました。

システムの処理：ENTER コマンドは終了します。

ユーザーの処置：ボリュームの挿入先の LSM でセルを空にして、ENTER コマンドを再入力してください。

**SLS2620I** Unexpected return code XXXXXXXX processing {Volume|CAP} list; EJECT attempting to continue

説明：Eject コマンドの処理中、ボリュームまたは CAP リストを処理しているときに、予期しない戻りコード XXXXXXXX が検出されました。

システムの処理：他に CAP が存在すれば、Eject コマンドの処理を続けようとします。

ユーザーの処置：なし

**SLS2621I** EJECT rejected; Number of volumes specified (NNNN), exceeds EJLimit

説明：指定されたカートリッジの数が OPTion EJLimit を超えています。

システムの処理：Eject コマンドは終了します。

ユーザーの処置：指定するカートリッジの数を減らすか、OPTion EJLimit の値を大きくしてください。

**SLS2622I** {CAPPREF} error; {ACS IN PATH OFFLINE| LSM IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID| CARTRIDGE MADE ERRANT}

説明：CAPPref コマンドの実行中、次のいずれかの状態が原因でエラーが発生しました。

- 経路内の ACS がオフライン
- 経路内の LSM がオフライン
- 経路内の CAP がオフライン
- 経路内の CAP が無効

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：エラーの原因を取り除いた後、CAPPref コマンドをもう一度出してください。

**SLS2623I** {CAPPREF} rejected; AUTO CAP services are not available

**説明：**AUTO CAP サービスを使用できない最も可能性が高い理由は、コマンドで指定された CAP が、パーティション分割されている SL3000 または SL8500 ライブラリの共用資源であること、または以前に異常終了したことです。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**HSC は、指定された CAP で AUTO CAP サービスが有効になっていなくても引き続き実行されます。

AUTO CAP の異常終了後に AUTO CAP サービスを再起動するには、HSC を停止してから再起動する必要があります。AUTO CAP の異常終了によってダンプが出力されている場合はそれを保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS2624I** CAPPREF rejected; preference value not allowed for CAP AA:LL:CC

**説明：**コマンドにより、CAP (AA:LL:CC) に CAP 優先値が与えられようとしたましたが、この CAP (PCAP など) は、優先権を与えるのに適格ではありません。

**システムの処理：**このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置：**指定した CAP が PCAP でないことを確認し、CAPPREF コマンドをもう一度出してください。あるいは、CAPPREF コマンドを使用して PCAP を自動モードまたはマニュアルモードに変更する場合は、優先値に 0 を指定してください。

**SLS2625I** CCCCCC1 volser CCCCCC2 CCCCCC3

**説明：**

CCCCCC1 「Cartridge」または「Subpool」を示します。

volser カートリッジのボリュームシリアル番号、「SCRITCH」の表示、またはサブプール名です。

CCCCCC2 ボリュームシリアル番号が存在するときは「not EJECTed」、  
「SCRITCH」が存在するときは「count depleted」と表示されます。

CCCCCC3 MEDia キーワードが指定されていて、しかもそれ用のスクラッチが存在しないときにしか表示されません。

**システムの処理：**なし

**ユーザーの処置：**このメッセージは監査記録を残すためのもので、JOBLOG または SYSLOG を使用することによってカートリッジを見つけ出し、EJECT コマンドでイジェクトできます。

**SLS2627I** {ENTER|DRAIN} command rejected; CAP AA:LL:CC is in AUTO mode

**説明** : AUTO モードの CAP に対して ENter コマンドを出すことはできません。また、AUTO CAP がイジェクト中の場合を除き、DRAin コマンドも使用できません。

**システムの処理** : このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : カートリッジのイジェクト中には、AUTO CAP はロック解除され、挿入処理に利用できます。したがって、ENter コマンドは必要なく、また使用することもできません。

AUTO CAP に対してドレインを行なうことができるのは、その CAP がカートリッジをイジェクトしているときだけです。イジェクト中の CAP でドレインを行なう場合は、CAPid の後ろにキーワード Eject を指定してください。

CAP を AUTO モードから MANual モードに変更する場合は、CAPPref コマンドを使用します。

**SLS2628E** CAP AA:LL:CC task found active for the CCCCCCCC command; awaiting completion of the task

**説明** : CCCCCCCC コマンドの終了処理中、その CAP (AA:LL:CC) タスクがアクティブであることがわかりました。

**システムの処理** : このタスクが終了するまで、コマンドは完了しません。このメッセージは、タスクが終了するまで 3 分ごとに出力されます。このメッセージのあとに、タスクを DRAIN するか、タスクが完了するまで WAIT するかを選択するための SLS0031D メッセージが表示されます。DRAIN を選択すると、HSC はさらに HSC2628E メッセージを 3 分おきに出して、タスクの進行状況をユーザーに知らせます。

**ユーザーの処置** : この処理中のコマンドを完了するために必要な処理を行なってください。(該当する CAP を開く、空にする、閉じるなど)。

**SLS2629I** CAPid AA:LL:CC REPATHed

**説明** : Eject コマンドの CAP タスクの 1 つが終了し、Repath が ON または Reply に設定され、ユーザーが Repath に対して「R」と応答しました。

**システムの処理** : この CAP に対応するすべてのボリュームが、ほかの 1 つまたは複数のボリュームに割り当てられています。処理は継続しますが、この状況では正常時よりも多くのパススルーが行なわれる場合があります。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2630I** CAPREF command rejected; CAPid AA:LL:CC is already in {AUTO|MANUAL} mode

**説明** : CAP を AUTO モードまたは MANual モードに変更しようとしたが、この CAP はすでに要求されたモードになっています。

**システムの処理** : CAPPref コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS2631I** {CAPPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} rejected; XXX is not a unique CAPid

**説明**：コマンドには他と重複しない CAPid が必要ですが、XXX は CAP を一意に識別しません。LSM アクセスドアに拡張 CAP 機能が含まれているか、LSM が WolfCreek の場合は、CAPid を AA:LL:CC と指定する必要があります。LSM アクセスドアに含まれている CAP が 1 つだけの場合は、CAPid を AA:LL:CC、または単に AA:LL と指定できます。

**システムの処理**：このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置**：CAPid を上記のように指定して、コマンドをもう一度出してください。

**SLS2632I** CAPPREF for AA:LL:CC rejected; cannot specify AUTO/MANUAL when CAP is busy

**説明**：CAPPref コマンドに AUTO または MANual を指定するためには、操作対象の CAP に対するドレインが、すべてのシステムで行なわれなければなりません。

**システムの処理**：このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置**：操作対象の CAP のドレインがすべてのシステムで実行されるまで待ち、コマンドをもう一度出してください。AUTO または MANual を指定する必要がない場合は、CAP のドレインが行なわれる前にコマンドをもう一度出すことができます。

CAP がアクティブでない場合は、Display Cap コマンドによってその CAP の状態を調べてください。その CAP がアイドル状態であり、回復操作のためにスケジューリングされていることがわかった場合は、CAPPref コマンドをもう一度出す前に、その CAP に対して REL ease CAP コマンドを出してください。

**SLS2633E** UENT Control Block has no paired SRIB Control Block  
(uuuuuuuu;tttttttt;rrrrrrrr)

**説明**：一対になった SRIB 制御ブロックを持たない UENT (ユーティリティー入力) 制御ブロックが見つかりました。SRIB は実行したユーティリティーの詳細 (ジョブ名など) を保持するものです。

uuuuuuuu	UENT 制御ブロックのアドレス
tttttttt	一対になった SRIB 制御ブロックの検出に使用される UENT トークンです
rrrrrrrr	SRIB 検索ルーチンからの戻りコードです

**システムの処理**：「Display Status」コマンドが終了します。

**ユーザーの処置**：都合のよいところで、HSC を停止し、再起動してください。最初にアドレス空間のダンプを行なうと、後の診断に便利です。





**SLS2639I** {Display THReshld|Display SCRatch|Warn} command failed; Media type CCCCC is used for cleaning cartridges

説明：クリーナーカートリッジにしか使用できないメディアタイプ CCCCC を使用してスクラッチボリュームに対してコマンドを出しました。

システムの処理：このコマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：別のメディアタイプを指定してコマンドを再入力してください。

**SLS2640I** Display Status command

```
Requestor Action Element Volser Associated-Element
CCCCCCC1 CCCCCC2 XXXXXXX1 volser XXXXXXX2

CAP queue is CCCCCC3

LMU queue is CCCCCC3

Utility queue is CCCCCC3

Mount queue is CCCCCC3

Total pending mounts: DDD1

Total pending dismounts: DDD1

Total pending LMU requests: DDD1

Total utilities active: DDD1

Total CAPs active: DDD1

NCO conflict count = DDD2

CCCCCCC4 NCO conflict count = DDD3

End of Status display
```

説明：このメッセージは、HSC における未処理要求の状況を示します。

CCCCCCC1 要求発行者。内部または外部の発信元が考えられます。内部からの場合、Operator はオペレータコマンド、Clean はマウント/マウント解除による処理を表します。外部からのユーティリティーおよびマウント/マウント解除要求の場合は、システムジョブ名が使用されます。別の HSC ホストからのブロードキャストにより開始された処理の場合は、外部の名前が使用されます。また、外部のプログラム式インタフェース要求の場合は PGMI が使用されません。

CCCCCCC2 実行中の処理。Dismount、Enter、Eject、Modify、Mount、Move、Vary、View などがあります。

XXXXXXX1	物理要素 (CAPid、LSMid、ACSid、Station、DRIVEid、ライブラリ)。
volser	ボリュームシリアル番号。
XXXXXXX2	物理要素 XXXXXXXX1 またはアクション CCCCCC2 に関連する、識別された ACS オブジェクトまたは外部ホスト。
CCCCCCC3	処理状態： READY、NOT READY、PURGING、または RECOVERING
DDD1	保留状態の要求の合計数。保留状態でもアクティブでもない要求が見つかった場合、この項は表示されません。
DDD2	複合体で実行中の HSC 機能やユーティリティーの数。この行が表示されるのは DDD2 が 0 より大きい場合だけです。
DDD3	ホスト CCCCCC4 で実行中の HSC 機能やユーティリティーの数。この行が表示されるのは DDD2 が 0 より大きい場合だけです。
CCCCCCC4	ホスト名。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：複合体でアクティブな HSC 機能やユーティリティーがないときに「NCO conflict count = DDD2」メッセージ行が表示される場合は、SLS4424E のユーザーの応答の項にある、カウンタをリセットする手順を参照してください。

#### SLS2641I {ENTER|EJECT} ended; No CAPs were selected

説明：ENter コマンドまたは EJect コマンドの処理を行なうためには、少なくとも 1 つの CAP が利用できなければなりません。

システムの処理：ENter コマンドまたは EJect コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置：利用可能な CAPid を少なくとも 1 つ指定して、コマンドをもう一度出してください。

#### SLS2642I MODIFY command pending; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCC

説明：まだアクティブな CAP がある LSM をオフラインに更新しようとしてしました。

システムの処理：MODify lsm OFFline コマンドは、すべての CAP が非アクティブになるまで保留されます。

ユーザーの処置：LSM のすべての CAP が非アクティブになっていることを確認してください。ハードウェアエラーのためにそれ以上 CAP 処理を続けられない場合、FORCE キーワードを使用して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

**SLS2643I** MODIFY OFFLINE FORCE for LSM AA:LL rejected; MODIFY OFFLINE must be tried first

**説明** : FORCE オプションを使用して、LSM をオフラインにしようとした。しかし、その前に、FORCE オプションを使用しないで LSM をオフラインにする試みが行なわれていません。

**システムの処理** : MODify lsm OFFline FORCE コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : LSM に対して最初に MODify OFFline コマンドを出してください。FORCE オプションを指定した MODify lsm OFFline コマンドは、1) SLS2644I (HSC が LMU と通信できない) または 2) SLS0017I (LSM ロックが利用できない) のいずれかのメッセージを受け取るまで、実行しないでください。LSM がオフラインになっていると、MODify lsm OFFline FORCE コマンドが拒否されないことに気づけてください。

**SLS2644I** MODIFY command for LSM AA:LL failed; cannot communicate with LMU

**説明** : LSM をオフラインにしようとしたが、HSC が LMU と通信できません。

**システムの処理** : MODify lsm OFFline コマンドは失敗し、LSM の状況は変化しません。

**ユーザーの処置** : LSM を手動モードにする必要がある場合は、FORCE オプションを指定して、MODify lsm OFFline コマンドを出してください。

**SLS2645I** Unable to {DRAIN} {CAP} {AA:LL:CC}; {CAP} is in RECOVER processing

**説明** : CAP のドレインを行なおうとしたが、その CAP は現在回復処理中です。回復処理が完了するまで、その CAP に対してドレインを行なうことはできません。

**システムの処理** : DRAin コマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : 回復処理 (CAP のオープン、カートリッジの取出し、CAP のクローズ) を完了した後、DRAin コマンドをもう一度出してください。

**SLS2646I** Communications lost with LMU station XXXX

**説明** : Vary station コマンドからの戻りコードが、LMU ステーションとの通信が失われたことを示しています。

**システムの処理** : Vary station コマンドは失敗します。

**ユーザーの処置** : これはおそらくハードウェアエラーです。StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。LMU ステーションを FORCE オプションでオフラインに変更した場合は、このメッセージが出力されるのは正常です。

**SLS2647I** {ENTER|EJECT|CAPPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} command failed; LSM AA:LL is not available

**説明** : LSM AA:LL に対して CAP 関連コマンドを実行しようとしたのですが、その LSM はオンラインになっていません。

**システムの処理** : コマンドは終了します。

**ユーザーの処置** : LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージに対するコンソールログを調べてください。LMU エラーまたはハードウェアエラーが示されている場合があります。おそらく、LSM が非アクティブか、作動不能です。検出されたハードウェアエラーを修正し、コマンドをもう一度出してみてください。

**SLS2648I** DFSMS services not available

**説明** : ALLOC SMSACSR(ON) コマンドまたは SMSMOD(ON) コマンドが出されましたが、DFSMS サービスが実行できないか、または HSC/DFSMS インタフェースが活動化されていません。この状況は以下の場合に存在することがあります。

- このレベルの MVS コードが DFSMS をサポートしていません。
- このレベルの HSC コードが DFSMS をサポートしていません。
- DFSMS アドレス空間が初期化されていませんでした。
- ALLOC SMSMOD(ON) が発行されたときに ALLOC SMSACSR(ON) が有効になっていませんでした。

**システムの処理** : 次のいずれかの処理が行なわれる可能性があります。

- ALLOC SMSACSR(ON) が発行されたときに DFSMS サービスが使用できなかった場合、コマンドは終了します。
- ALLOC SMSMOD(ON) が発行されたときに HSC/DFSMS インタフェースが有効になっていなかった場合は、SMSMOD(ON) の状態が保存されますが、ALLOC SMSACSR(ON) が発行されるまで有効になりません。

**ユーザーの処置** : MVS コードおよび HSC がサポートしている DFSMS 処理のレベルを確認します。また、HSC/DFSMS インタフェース導入後、HSC が適切にリフレッシュされたことを確認します。DFSMS サブシステムが活動化されたことを確認します。HSC/DFSMS インタフェースが活動化されたことを確認します。

**SLS2649I** Threshold Value Summary:

LSM *LLL* Subpool *SSSSS* *MMMMM* *RRRRR* *DDDD1* *DDDD2*

説明：これは、Display THReshld コマンドからの出力です。この出力は指定したパラメータによって変わります。要約には次のような情報が含まれます。

***LLL***

LSMid

***SSSSS***

サブプール名

***MMMMM***

メディアタイプ

***RRRRR***

メディアの記録技法

***DDDD1***

スクラッチテープの数

***DDDD2***

スクラッチテープの限界値の数

さらに、ACS、LSM および、サブプールレベルの合計ライン数、または *Nothing to Display* テキストが表示されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS2651I** ACS AA: Switch aborted, CCC query error for ID III, return code XXXX

説明 : ID (III) の ACS または LSM (CCC) レコードの照会に対し、0 以外の構成戻りコード (XXXX) が返されました。構成戻りコードは次のいずれかです。

4502 - Plist が無効  
4504 - データベース読み取り / 書き込みエラー  
4512 - サブシステムが非アクティブである  
4522 - ACS の ID が無効  
4524 - LSM の ID が無効  
453C - データが無効  
453E - データ型がない  
4556 - 要求された FIGMGR 動作ではない  
4568 - データベースの解放に失敗した  
456B - CDS 上に予約がない  
456C - レコードがない  
456D - レコードがすでに選択済み  
456E - 出力用領域が不十分  
456F - 構成マネージャエラー

システムの処理 : SWitch 機能は異常終了します。

ユーザーの処置 : オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2654I** ACS AA has no requests queued

説明 : Display Requests コマンドにより、ACS の待ち行列に登録されている要求を表示しようとした。ASC AA の待ち行列に登録されている要求はありません。

システムの処理 : 処理は続行されます。

ユーザーの処置 : なし

**SLS2656I** ACS AA: CCCCCCCC1 CCC CCCCCCCC2 XX1 XX2 XX3

**説明** : Display Requests コマンドにより、ACS の待ち行列に登録されている要求を表示しようとした。このメッセージは、1つの要求の内容を示すものです。

AA は ACSid です。

CCCCCCCC1 は要求のタイプです。要求には、状況の変更、状況の照会、位置の移動があります。また LMU は、グローバルに認識される必要があるメッセージについてホスト間で通信するとき使用されます。要求のタイプには、次のものがあります。

Vary LSM	Mount
Dismount	表示
Swap	Move
Reserve CAP	Release CAP
Enter	Eject
Catalog	Read Config.
Read Volser Status	Read LMU Stats
Targeted Msg.Route	Host to Host Brdcst.
Quiesce Host	Read Trans.Carts
Read LSM Status	Read LMU Status
Query Request Status	Cancel
Catalog	Unlock CAP
CAP Status	

CCC は、要求の通し番号です。

CCCCCCCC2 は要求の状態を説明しています。ACTIVE (LMU に送信済み)、WAITING (LMU への送信待ち)、TEMP OUT (作動不能 LSM に対する要求) のいずれかです。

XX1 は発信元 LSM です。

XX2 は宛先 LSM です。このフィールドは、要求によっては示されない場合があります。

XX3 は、要求が待機している作動不能 LSM を示します。このフィールドの値が 10 の場合は意味がありません。

**システムの処理** : 処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし



## SLS2716I Database Information

説明：このメッセージは、特定のデータベース情報またはジャーナル情報を示す、複数行から構成される WTO を出力します。以下にメッセージの例を示します。

-SLS2716I Database Information

```

SYSNNNNN = DDD...DDD1
  PRIVOL = volser1 FLAGS(XX) {ACTIVE|INACTIVE|
    HOST-RESERVED|ERROR}
SYSNNNNN = DDD...DDD2
  SECVOL = volser2 FLAGS(XX) {ACTIVE|INACTIVE|
    HOST-RESERVED|ERROR}
SYSNNNNN = DDD...DDD3
  SBYVOL = volser3 FLAGS(XX) {ACTIVE|INACTIVE|
    HOST-RESERVED|ERROR}

JOURNAL1 = DDD...DDD4
JRVOL = volser4 - CURRENT NN % FULL
JOURNAL2 = DDD...DDD5
JRVOL = volser5 -
JOURNAL RECOVERY = (XX) {ABEND|CONTINUE|DISABLED}
  --or--
JOURNALING NOT ACTIVE FOR THIS SUB-SYSTEM

{
RECONFIGURATION IN PROCESS FOR HOST(S)
CCCCCCC6 CCCCCC7 . . . .

| A DISASTER/RECOVERY TEST IS ACTIVE |
THIS IS A DISASTER/RECOVERY CDS
}

CDS LEVEL = 0n0n0n    DATE = creation_d
CREATE = cccid        TIME = creation_t
VSM CDS LEVEL = 1
  --or--
VTCS RECORDS NOT FOUND IN THIS CDS
{
LAST CDS BACKUP = backup_d backup_t
LAST CDS RESTORE = restore_d restore_t
LAST NCS ON host
  START = ncs_strt_d ncs_strt_t
  END = ncs_end_d ncs_end_t

ENQNAME = qqqqname    - SMFTYPE = DDD
CLEAN PREFIX = cln     - LABTYPE = (XX) {SL|AL|NL|NSL}
RECOVERY = (00) RRRRRRRR - DELETE DISP = (XX,XX) deldisp
THIS HOSTID IS: CCCCCC1 - CDS BLOCK COUNT = nnnnnn

HOSTID ---- LEVEL----FLAG---DESCRIPTION
CCCCCCC2 n.n.n (XX) {ACTIVE PRIMARY <SECONDARY
                                     <STANDBY>> |

```

```

CCCCCCCC3 -.- (00) -INACTIVE-}
CCCCCCCC4 5.0.0 (F0) ACTIVE PRIMARY SECONDARY STANDBY
...
CCCCCCCC5 -.- (00) -INACTIVE-

```

## Database Information End

以下はその説明です。

```

DDD...DDDn (44) データセット名
volser      (6) ボリュームシリアル番号
XX          (2) 16進数のフラグ
BBBBBBB1 (16) 表示の最後にあるホストリストに対応する、再構成処理が
              アクティブのときのビットマップで、ホストで構成の
              更新が必要 (1) か不要 (2) かを示します。
qqqqname   (8) このデータベースの予約時に使用された ENQ 名
DDD        (3) SMFTYPE
cln        (3) クリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号接頭辞
RRRRRRRR (8) 回復特性 {NEITHER|JOURNAL|SECONDARY
              BOTH|ALL}
deldisp    (10) 削除処理 {SCRATCH|NONSCRATCH|ASCRTCH|VSCRATCH}
CCCCCCCn  (8) ホスト名
nnnnnn    (10) 現在の CDS における 4096 バイトの数
0n0n0n    (8) CDS での HSC レベル (020100 など)
n.n.n     (5) HSC レベル (2.1.0、4.1.0、5.0.0 など)
creation_d (8) CDS が作成された日付 (yyyymmdd)
creation_t (8) CDS が作成された時刻 (hh:mm:ss)
cccid     (8) SLICREAT プログラム用の変更 ID
I         (1) VSM CDS レベル (A、B、C、D、E、または F)
              または、VTCS がインストールまたは設定されていない
backup_d   (8) CDS が復元されたときに使用されたバックアップの作成日 (yyyymmdd)
backup_t   (8) CDS が復元されたときに使用されたバックアップの作成時刻 (hh:mm:ss)
restore_d  (8) CDS が復元された日付 (yyyymmdd)
restore_t  (8) CDS が復元された時刻 (hh:mm:ss)
ncs_strt_d (8) 最後の構成変更を開始した日付 (yyyymmdd)
ncs_strt_t (8) 最後の構成変更を開始した時刻 (hh:mm:ss)
ncs_end_d  (8) 最後の構成変更を終了した日付 (yyyymmdd)
ncs_end_t  (8) 最後の構成変更を終了した時刻 (hh:mm:ss)

```

システムの処理：なしこれは、通知メッセージです。

ユーザーの処置：なし

## SLS2717E - SLS2741E

**SLS2717E** CDS level *V1.R1.M1 bb* not supported by this HSC maintenance level

**説明**：この保守レベルまたはリリースレベルの HSC では、このレベルの制御データセットがサポートされていません。

*V1.R1.M1 bb* = 制御データセット内で見つかったバージョン、リリース、変更レベル

**システムの処理**：サブシステムは終了して、7004 戻りコードが返されます。

**ユーザーの処置**：この CDS レベルと互換性のある保守レベルのロードライブラリから HSC を起動する必要があります。必要な場合は、HSC ユーティリティを使用して、CDS をより新しい CDS レベルに変換できます。

**SLS2740I** CDS Directory recovery operation successful

**説明**：データベースディレクトリが正しく再構成されました。

**システムの処理**：なしこれは、通知メッセージです。

**ユーザーの処置**：なしこれは、通知メッセージです。

**SLS2741E** Journals specified but not allocated; RC=XXXXXXXX

**説明**：このメッセージは通常、LIBGEN でジャーナル処理が指定され、起動 PARMLIB で JRNDEF 文が指定されていない場合に出力されます。

またこれは、割り振りエラーでも出力されます。その場合、その前のコンソールメッセージにエラーについての説明があります。

**システムの処理**：HSC は終了します。

**ユーザーの処置**：エラーの原因が JRNDEF の欠落にある場合、必要な文を PARMLIB に追加してください。原因が割り振り失敗にある場合、その割り振り失敗の原因となった問題を解決してください。

**SLS2742E** Unexpected return code *NNNN* on *DB access request* in *module*;  
*resulting action*

**説明**：リストされたモジュールに指定されたデータベースのアクセス要求から、予期しない戻りコードを受け取りましたデータベースアクセス要求には次のものがあります。

**DBOPEN**

データベーススレッドをオープンします。

**DBCLOSE**

データベーススレッドをクローズします。

**DBREAD for subfile subfile-id**

指定のサブファイル内のデータベースレコードを読み取ります。

**DBWRITE for subfile subfile-id**

指定のサブファイル内にデータベースレコードを書き込みます。

**DBQSF for subfile subfile-id**

指定のサブファイルの属性を照会します。

*resulting action* に、処理がどのように続けられるかが説明されます。

**システムの処理**：HSC 処理は、*resulting action* に説明されたとおりに続きます。

**ユーザーの処置**：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS2850I** Errant recovery of *volser* - Volume may be within LSM AA:LL

**説明** : エラント回復処理で、エラントボリュームを見つけられませんでした。このボリュームは、自動化された操作を実行していない LSM に存在する可能性があります。

**システムの処理** : エラント回復処理は続けられます。

**ユーザーの処置** : LSM がただちに自動化状況に戻る場合は、このあとで表示される、該当ボリュームのエラント回復に対するユーザープロンプトのすべてに対して「Ignore」と応答するようにしてください。自動操作が復元され、この LSM に対してエラント回復処理が呼び出されたら、ボリュームを回復してください。そうしないと、同じボリュームに対して別のプロンプトが表示されます。LSM を長時間使用不能にする場合は、ボリュームを制御データセットから論理的にイジェクトする前にその場所を特定するため、問題の LSM 内のプレイグラウンド、パススルーポート、ハンドを検査する必要があります。

**SLS2901D** Mount of *volser1* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - *volser* different (*volser2*); reply Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

**説明** : ボリューム *volser 1* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、LMU は、別の外部ラベル *volser 2* が付いたボリュームを検出しました。

**システムの処理** : マウント処理は、オペレータが Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

- R                    マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。
- B                    マウントを再試行すること、そして読み取り不能の外部ラベルが付いていることをボリュームにマークする場合、「B」と応答してください。
- E                    ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。
- I                    マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

**SLS2905D** All cleaners {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} ACS AA over-use; reply "I"gnore, "T,cap,volser"=Temp enter, "R"etry, "U"se over-limit

**説明:** ACS AA 内のドライブと互換性があるすべてのクリーニングカートリッジが使用超過です。(使用限度の超過、または使用制限の超過、および使用済み)

制限を超えたクリーニングカートリッジの選択回数が、MAXclean (使用限度の回数) を超えました。使用済みクリーニングカートリッジが、クリーニング面を消耗しました。



**注意:** トランスポートのタイプごとに、異なるメディアタイプのクリーニングカートリッジが必要になります。

**システムの処理:** マウントが応答を待ちます。5分以内に応答がない場合は、省略時の処置である「限度を超えたクリーニングカートリッジ」を使用する選択がされます。

**ユーザーの処置:** 次のいずれかで応答してください。

- |                |   |
|----------------|---|
| I              | マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングのスケジュールがされません。   |
| T,capid,volser | 特定の CAP の特定のクリーニングカートリッジを一時的に指定して、ドライブをクリーニングします(注: 一時的に指定するクリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号は、クリーニング接頭辞から入力し始める必要はありません)。 |
| R              | クリーナーの検索を再試行します(新しくクリーニングカートリッジを挿入した場合に選択します)。  |
| U              | 限度を超えたクリーニングカートリッジを使用します。   |



**警告:** 限度を超えたクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント/ディスマウント機能」の項の「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください。

**SLS2911D** Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - manual volume at AA:LL:PP:RR:CC; reply Mount or Ignore (M/I)

**説明:** マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

**システムの処理:** マウント処理は、ユーザーが M または I と応答するか、LSM をオンラインにするまで、待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** ユーザーが何も応答しないで LSM をオンラインにすると、マウント処理は正常に行なわれます。

該当するボリュームを手動でマウントする場合は、「M」と応答してください。トランスポートの表示に従って位置 AA:LL:PP:RR:CC からカートリッジを取り出し、マウントを行なってください。

要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

**SLS2912I** Dismount of fixed volume *volser*; volume displaced from manual LSM cell *AA:LL:PP:RR:CC* to cell *AA:LL:PP:RR:CC*

説明：MNTD Float がオフに設定されたため、ボリューム *volser* は固定セルにあります。ボリュームをマウントし、そのボリュームをマウント解除するまでに、そのボリュームが割り振られている LSM がオフラインになりました。

システムの処理：ボリューム *volser* は、オンラインの自動 LSM に保持されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS2914I** Display of drives complete

説明：HSC によって制御されたドライブの表示が完了しました。この処理は、Display DRives コマンドによって要求されたものです。

システムの処理：Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS2915I** Nothing to display

説明：HSC によって制御されたドライブの表示が完了しました。この処理は、Display DRives コマンドによって要求されたものです。この機能によって検出されたドライブのアクティビティはありません。

システムの処理：Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS2916I** {Drive XXXX|Driveid *AA:LL:PP:NN*} < *volser* CCCCCCCC > or  
{Drive XXXX|Driveid *w/slot AA:LL:PP/SS*} < *volser* CCCCCCCC >

説明：Display DRives コマンドに対して、ドライブのステータスが表示されます。Dismount、Mounting、On drive、UNKNOWN のいずれかの状態値に該当するときに、ボリュームの *volser* と状態 (CCCCCCCC) が表示されます。

MEDia または RECTech パラメータが指定されている場合には、この指定に合致するドライブだけが表示されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS2918I** Found *DDD1* {over-use|over-limit|spent} cleaning cartridges in ACS *AA*; searched *DD2* LSMs for cleaner compatible with {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*}

**説明** : HSC は、ドライブと互換性があるクリーニングカートリッジを *DD2* 個の LSM で検索しているときに、ACS *AA* 内に限度を超えたクリーニングカートリッジを *DDD1* 個見つけました (制限を超えたクリーニングカートリッジの選択回数が、適用される MAX clean 値を超えています)。使用済みクリーニングカートリッジが、クリーニング面を消耗しました。超過使用クリーニングカートリッジは、制限を超えているか使用済みのいずれかです。



**注** : (検索された *DD2* 個の LSM 内には、ドライブと互換性のある使用超過、制限を超えた、または使用済みのクリーニングカートリッジが、少なくとも *DDD1* 個あります。ただし、互換性のあるクリーニングカートリッジがトランスポートをクリーニングするように選択されている場合は、ACS 内にさらに多くの使用超過のクリーニングカートリッジが存在する可能性があります)。

**システムの処理** : ドライブのクリーニング処理が続行されます。

**ユーザーの処置** : 今すぐに処置をする必要はありません。



**警告** : 使用超過のクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。『HSC システムプログラマーズガイド』の第 2 章「Host Software Component の機能」の「マウント/ディスマウント機能」の節にある「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください。

**SLS2919D** Cleaning cartridge *volser* select count *DDD* is greater than MAXclean; reply "E" to Eject or "K" to Keep cleaner

**説明** : クリーニングカートリッジ *volser* の選択回数 *DDD* は、適用される MAX clean 値を超えています (『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント/ディスマウント機能」の項の「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください)。このメッセージは、ドライブがクリーニングされた後、ディスマウントされる前に出されます。

**システムの処理** : クリーニングカートリッジ *volser* のマウント解除は応答を待ちます。5 分以内に応答がない場合は、省略時の処理である使用限度を超えたクリーニングカートリッジを入れたままにする選択がされます。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

- |   |   |
|---|---|
| E | カートリッジをマウント解除したときにクリーニングカートリッジを ACS からイジェクトします。                         |
| K | カートリッジをマウント解除したときにクリーニングカートリッジを ACS 内に入れたままにします。CAP 処理を行なってマウント要求に応えます。 |



**警告** : 使用限度を超えたクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

**SLS2920I** Cleaning cartridge *volser* has select count *DDD* which is greater than MAXclean; cartridge kept in ACS AA

**説明：**指定されたクリーニングカートリッジの選択回数 *DDD* は、適用される MAXclean 値を超えています。このメッセージは、ACS 内に使用限度を超えたクリーニングカートリッジを入れたままにするように HSC が指示された場合に出ます。このメッセージは、カートリッジをマウント解除する前に出ます (詳しくは、『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント/デスマウント機能」の項の「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください)。

**システムの処理：**HSC は続けてこのカートリッジをマウント解除します。

**ユーザーの処置：**今すぐに処置をする必要はありません。

使用限度を超えたクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

**SLS2934I** (...message text...)

**説明：**一般に、指定の値は無効であるか、または、要求でのボリューム、デバイス、メディア、記録技法の相互間に非互換性があります。message text は次のいずれかになります。

**MOUNT REJECTED - CLEANING CARTRIDGE IS NOT A SCRATCH VOLUME**

クリーニングカートリッジを使用して、スクラッチマウント要求を満たすことはできません。

**MOUNT REJECTED - VOLATTR MEDIA TYPE FOR SPECIFIED VOLUME IS INCOMPATIBLE WITH UNIT**

指定のボリュームの (VOLATTR 文で定義された) メディアタイプが、デバイスのメディアタイプと非互換です。

**MOUNT REJECTED - VAR MEDIA TYPE FOR SPECIFIED VOLUME IS INCOMPATIBLE WITH UNIT**

指定のボリュームの (CDS 内のボリューム属性レコードで定義された) メディアタイプが、デバイスのメディアタイプと非互換です。

**システムの処理：**指定のボリュームのマウントは拒否され、新たなボリュームを要求する元の処理メッセージが再び出されます。

**ユーザーの処置：**処理メッセージに応答し、デバイスのメディアタイプと互換性のあるボリュームを指定してください。

**SLS2962I** Mount of *volser* on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*} - media type changed from *MM1* to *MM2*

**説明**：ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとした最初の試みは、メディアの不一致エラーで失敗しました。

メディアの不一致エラーが起きるのは、検証される HSC 提供のメディアタイプ (*MM1*) が、視認制御機構 (*MM2*) が読み取るメディアタイプと一致しない場合です。LMU は、メディアの不一致エラーとして、その不一致を HSC に報告します。メディアの不一致エラーが起きるのは、HSC がメディア検証を実行するよう LMU に要求した場合だけです。

**システムの処理**：制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、視認制御機構が読み取るメディアタイプに変更されます。マウントは再試行されますが、メディア検証はバイパスされます。

このメッセージが出されるのは、メディア検証が有効になっているときだけなので、当該マウント要求で再度出されることはありません。そのあと、ほかのメッセージで、マウントが正常に完了したか、またはほかの問題が検出されたかが示されます。

**ユーザーの処置**：*MM1* と *MM2* が同じ場合、LMU または視認制御機構にハードウェア問題が存在する可能性があります。そうでない場合、応答は必要ありません。

**SLS2964E** {Drive *XXXX*|Driveid *AA:LL:PP:NN*} and volume *volser* are incompatible - request rejected {before|after} the mount was attempted

**説明**：マウントの試行の前または後に、トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* が許容するメディアおよび記録方式とボリューム *volser* の間に互換性がないことが検出されました。

**システムの処理**：マウントは拒否されます。ジョブはボリュームのマウント待ちになりますが、割り振られたデバイスにカートリッジを物理的にマウントできないため、マウントは不可能です。

**ユーザーの処置**：ジョブをキャンセルし、JCL、定義文 (VOLATTR、UNITATTR、TAPEREQ)、SMS ルーチンを訂正してから、ジョブを再実行してください。

**SLS2972I** Volume *volser* not *CCCCCCC*; No {CAPs|LSMs} were available in ACS *AA*

**説明**：ボリューム *volser* は、ACS *AA* で、すべての CAP または LSM が利用できなかったために、経路指定されなかったか、イジェクトされませんでした。

**システムの処理**：ほかのボリュームの処理が続けられます。

**ユーザーの処置**：ACS 内のオンラインの LSM または CAP を指定してください。

## SLS2973I - SLS2977I

**SLS2973I** Volume *volser* not CCCCCCCC; Volume not in the library.

説明：ボリューム *volser* はどの LSM 内にもありません。

システムの処理：ボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの処置：必要ありません。

**SLS2974I** Audit of LSM AA:LL is recommended

説明：MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティーが、移動元または移動先の位置でエラーを検出しました。このメッセージの前に、このエラーの本質を示すメッセージが出力されているはずですが。

システムの処理：カートリッジの MOVE は失敗します。

ユーザーの処置：可能であれば、メッセージに示された LSM の監査を行なってください。該当する LSM の全体監査ができない場合は、少なくともエラーが存在する場所の監査を行なってください。

**SLS2976I** MOVE incomplete; Volume *volser* stuck in LSM AA:LL {HAND *NN*|PANEL *NN*  
DRIVE *NN*|PTP PANEL *NN*}

説明：LSM のハードウェア割り込みのため、ボリュームの MOVE が完了しませんでした。該当するボリュームの位置が表示されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：このボリュームに関する直前の SLS0854D メッセージに対して「Delete」と応答しなかった場合は、Eject コマンドを使用してボリュームを削除できます。SLS0854D を受け取った場合は、「Delete」と応答してください。これにより、CDS からボリュームが削除されます。その後、メッセージに示された位置からボリュームを手動で削除し、ENter コマンドを使用して LSM に入力してください。

**SLS2977I** Panel index *DD* is invalid

説明：MOVE 要求のターゲットパネル *DD* は、LSM で使用できるパネル数を超過しています。

システムの処理：MOVE 機能は処理を終了します。

ユーザーの処置：LSM の範囲内のパネルインデックスを指定してください。



**SLS2984D** `volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; shortage AA; MMMMMMMM;  
RRRRRRRR; SSSSSSSS; reply I / T,capid,vol / R / M,vol`

**説明：**要求されたメディア、記録技法、サブプールのスクラッチマウントを満足するボリュームが ACS *AA* 内に見つかりませんでした。

<i>AA</i>	ACS 番号。
<i>MMMMMMMM</i>	メディアタイプです。
<i>RRRRRRRR</i>	記録方式です。
<i>SSSSSSSS</i>	サブプール名サブプール名が「SUBPOOL 0」の場合、スクラッチサブプール処理が有効になっていないか、または、スクラッチサブプール処理は有効になっていても要求でサブプールが指定されていませんでした。

**システムの処理：**マウント処理は、オペレータが「I」、「T,capid, vol」、「R」、または「M,vol」と応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置：**次のいずれかで応答してください。

**I (Ignore)**

Mount 要求を無視します。HSC は、マウントを保留のままにします。

**T,capid,vol (一時入力)**

指定の CAP と SUBPool から一時的に (指定のボリュームを) 入力して、マウント要求を満たします。

**R (再試行)**

(サブプールスクラッチリストに補充した後) スクラッチ検索を再試行します。

**M,vol (マウント)**

指定のボリュームをマウントして、要求を満たします。



**SLS4002I** CCCCCCCC CAP AA:LL:CC failed. CAP is unallocated.

説明：CCCCCCCC コマンドが、未割り振りの CAP を要求しました。

システムの処理：コマンドは終了します。

ユーザーの処置：CAP が未割り振りの理由を確認してください。問題が解決されたら、CAP オンラインを修正して失敗した CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

**SLS4011I** Invalid ID XXXXXX entered for DISPLAY CAP

説明：無効な ID が指定されました。XXXXXX は入力された ID です。ID は有効な ACSid、LSMid、または CAPid を指定する必要があります。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：有効な ID を指定した Display Cap コマンドを再入力してください。

**SLS4068I** Current TRACELKP Status:

TAPEREQ	{Traced NOT Traced}
UNITATTR	{Traced NOT Traced}
VOLATTR	{Traced NOT Traced}
LMUPATH	{Traced NOT Traced}
MVCPPOOL	{Traced NOT Traced}
MGMTCLAS	{Traced NOT Traced}
STORCLAS	{Traced NOT Traced}
LKEYINFO	{Traced NOT Traced}
LOOKFAIL	{Traced NOT Traced}

説明：TRACELKP コマンドが正常に終了しました。LOOKUP テーブルとトレース状況のリストが表示されます。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS4075I** Spent cleaning cartridge *volser* did not clean {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; cartridge {returned to home cell|left mounted|errant}

説明：クリーニングカートリッジ *volser* が、クリーニング面を消耗（使用済み）したためドライブをクリーニングしませんでした。

システムの処理：LMU が、使用済みクリーニングカートリッジをソースに戻します。それができない場合は、ボリュームがエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり HSC がイジェクトを試みます。

ユーザーの処置：使用済みクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。詳しくは、『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント/ディスマウント機能」の項の「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください。

**SLS4076I** Special use action by cartridge *volser* failed on {drive *XXXX*|driveid *AA:LL:PP:NN*}; cartridge {returned to home cell|left mounted|errant}

**説明**：特殊使用カートリッジは、示されたドライブ上でマウントされましたが、要求したアクションは失敗しました。特殊使用カートリッジは、9840 マイクロコードの更新カートリッジ、および 9840 ダンプ集合カートリッジを含みます。

**システムの処理**：LMU は、特殊使用カートリッジをホームセルに戻します。それができない場合は、ボリュームがエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり HSC がイジェクトを試みます。

**ユーザーの処置**：カートリッジがマウントされたままの状態の場合は、マウント解除します。特殊使用カートリッジをイジェクトします。それが 9840 ダンプ集合カートリッジである場合、収集するダンプがない可能性があります。それが 9840 マイクロコードの更新カートリッジの場合、必要な処置を判断するため StorageTek CSE に連絡してください。

**SLS4077E** Cleaning cartridge *volser* with select count *DDD* is {over-limit|spent}; cartridge ejected from ACS *AA*

**説明**：指定されたクリーニングカートリッジの選択回数は *DDD* です。クリーニングカートリッジが、制限を超えている（使用回数が適用される MAX clean 値を超えている）か、使用済み（クリーニング面が消耗された）です。このメッセージは、ACS 内に制限を超えたクリーニングカートリッジまたは使用済みクリーニングカートリッジをイジェクトするように HSC が指示された場合に出ます。このメッセージは、カートリッジをマウント解除およびイジェクトする前に出ます。

**システムの処理**：HSC は続けてカートリッジをマウント解除して、イジェクトします。

**ユーザーの処置**：CAP を空にするメッセージを受信したときに、カートリッジを取り出します。詳しくは、『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント/デスマウント機能」の項の「テープトランスポートの自動クリーニング」を参照してください。

**SLS4078I** Unable to dismount volume *volser* to home cell *AA:LL:PP:RR:CC*; ejecting volume on drive

**説明**：ボリュームの *volser* をマウント解除したところ、そのホームセル *AA:LL:PP:RR:CC* 内に別のボリュームが見つかりました。このメッセージは、ホームセル内に見つかったボリュームが記載された SLS4081E メッセージの前に表示されることがあります。SLS4081E メッセージが表示されない場合は、LSM にハードウェアの問題がある場合があります。

**システムの処理**：ボリューム *volser* は、ライブラリからイジェクトされます。

**ユーザーの処置**：このメッセージの前に SLS4081E メッセージが表示された場合は、ホームセルのボリュームを見つけて CDS に挿入するために、ホームセル位置 *AA:LL:PP:R:CC* を監査する必要がある場合があります。

SLS4081E メッセージが表示されない場合は、ホームセルの位置を監査して、ボリュームがそのセル内にあるかどうかを調べてください。ボリュームが何も見つからなかった場合は、StorageTek CSE に連絡し、必要な措置をご確認ください。

**SLS4080D** Requested {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} reserved by host  
CCCCCCCC; reply Ignore or Retry (I,R)

**説明** : HSC が、ドライブのマウントまたはマウント解除の予約を試みます。ほかのホストが、そのドライブを予約しています。

**システムの処理** : HSC は、ホストがドライブを解放するか、またはこのメッセージに回答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

**I (Ignore)**

マウントまたはデスマウント要求を取り消す場合

**R (再試行)**

ドライブの予約を試みる場合

HSC RECover *host-id* コマンドを使用して、ドライブの予約をクリアにするためにアクティブでないホストを回復します。

**SLS4081E** Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid  
AA:LL:PP:NN}; found *volser2* in home cell AA:LL:PP:RR:CC

**説明** : *volser1* および *volser2* に同じボリュームシリアル番号がある場合、重複したボリュームがライブラリに存在するか、2つの並行するマウント解除要求が LMU によって処理されています。*volser1* と *volser2* のボリュームシリアル番号が異なっている場合、ほかのボリュームが *volser1* ホームセルにあります。

**システムの処理** : *volser1* および *volser2* に、同じボリュームシリアル番号がある場合、ACS 内に重複したボリュームがあるか判断するためにドライブのスキャンが行なわれます。*volser1* と *volser2* が同じではない場合、*volser1* 用に新しいホームセルが取得されます。

**ユーザーの処置** : ホームセルロケーションの監査 AA:LL:PP:RR:CC は、*volser2* を見つけて CDS にエンターします。

**SLS4082I** Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid  
AA:LL:PP:NN}; expected *volser2*; drive found loaded

**説明** : HSC が、ドライブからボリューム *volser1* のマウント解除を試みましたが、ドライブがロードされました。ドライブの状況情報は、*volser2* がドライブ上でマウントされることを示します。異なる物理ボリューム *volser1* がドライブ上にあるか、内部ボリュームシリアル番号 *volser1* が外部ボリュームシリアル番号 *volser2* と一致しません。

**システムの処理** : HSC の処理は続けられます。

**ユーザーの処置** : ドライブ上のボリュームをマウント解除する必要がある場合、MVS UNLOAD コマンドを発行した後に HSC DISMount コマンドを発行してください。

**SLS4083I** Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; volume location information is incorrect; volume deleted from database

**説明** : HSC が、ボリューム *volser1* のマウント解除を試みましたが、ボリュームの状況情報はボリュームのエラントを示しますが、HSC はボリュームを見つけることができませんでした。

**システムの処理** : HSC は、ボリュームをデータベースから削除します。

**ユーザーの処置** : ボリュームがドライブ上で見つからず、ライブラリ内に存在すると考えられる場合、AUDIT ユーティリティを実行します。

**SLS4084D** Swap of volume to same {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; reply "S", "C", or "I" to Swap, Clean, or Ignore

**説明** : スワップ操作が、ボリュームがマウントされたのと同じドライブを指定します。

**システムの処理** : HSC は、このメッセージに応答するまで待ち状態になります。

**ユーザーの処置** : 次のいずれかで応答してください。

**S (Swap)**

ボリュームをディスマウントして、同じドライブに再マウントする場合

**C (Clean)**

クリーニングが完了したときに、ボリュームのディスマウント、クリーニングカートリッジのマウント、およびボリュームを再マウントする場合

**I (Ignore)**

スワップ要求を取り消す場合

**SLS4085I** Swap of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not on drive

**説明** : HSC が、ドライブからボリューム *volser* のマウント解除を試みましたが、ドライブが空であるか別のカートリッジがマウントされているかのいずれかです。

**システムの処理** : スワップ操作は失敗します。

**ユーザーの処置** : スワップ操作が必要な場合は、HSC コマンドを使ってスワップ操作を実行します。まず、HSC DISMount コマンドを発行して、ドライブから現在のボリュームを削除します。その後、HSC Mount コマンドを発行して、新しいドライブにボリュームをマウントします。

**SLS4086I** {Mount|Dismount} of volser {on|from} {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} sent to HSC

**説明：**マウント解除処理または MVS 以外のマウント処理が待ち行列に入ると、このメッセージが SMC に戻されます。

**システムの処理：**なし HSC は、要求されたマウント解除処理またはマウント処理を実行します。SMC にエラーメッセージが戻されることはありません。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4087I** Dismount request for {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - found {drive reserved|drive loaded on scan|drive loaded on dismount}; request terminated

**説明：**メッセージに表示された理由のため、HSC は、SMC から要求されたマウント解除操作を完了できませんでした。

**システムの処理：**マウント解除要求は終了します。ドライブへの次のマウントが SMC から要求された MVS マウントである場合、ドライブがアンロードされるか、ドライブの予約がなくなるまでシステムは処理を保留します。ドライブへの次のマウントが MVS マウントでない場合 (RTD マウントなど)、WTOR メッセージを発行して待機するか、ドライブを強制的にアンロードします。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4088I** Duplicate volser volser in cell AA:LL:PP:RR:CC and on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; ejecting volume on drive

**説明：**このメッセージは、デスマウント中に、ボリュームのホームセル内とドライブ上の両方に同じボリュームシリアル番号が見つかった場合に表示されます。

**システムの処理：**ドライブのボリュームは、ACS からイジェクトされ、ボリュームシリアル番号が CDS から削除されます。

**ユーザーの処置：**セルの監査は、CDS にボリュームを再度追加するようにメッセージで示します。

**SLS4150I** Number of drives per panel cannot be changed with FORHOST

**説明：**SET SLIDRIVS ユーティリティー制御文で指定されたドライブの数が、パネルに定義されているドライブの現在の数と一致しません。この SET SLIDRIVS 文には FORHOST パラメータが含まれています。唯一のホストに対するパネルのドライブの数の変更は、サポートされていません。

**システムの処理：**この制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置：**SET SLIDRIVS 文のドライブの数を修正して実際の数に合わせるか、文から FORHOST パラメータを削除してすべてのホストに対するドライブの数を変更し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS4151I** HSC Parmlib not accessible, data reported may be incorrect

**説明 :** HSC パラメータライブラリにアクセスできないため、報告されるデータは不完全であるか正しくない可能性があります。パラメータライブラリは SLSSCRPL DD 文で識別されているか、または、このホスト上のアクティブな HSC によってアクセスされています。

**システムの処理 :** ユーティリティの処理は続行されます。スクラッチサブプールテーブルは生成されず、ボリュームに対するスクラッチサブプール ID は報告されません。全体でのクリーニング回数の限度は判別できないため、使用の最大限度を超えたクリーニングカートリッジは報告されません。

**ユーザーの処置 :** SLSSCRPL DD 文を使用するか、正しいパラメータライブラリにアクセスしているアクティブな HSC を持つホストにあるユーティリティを実行して、HSC パラメータライブラリを識別してください。

**SLS4152I** Panel must be empty to use SET SLIDRIVS to change cell geometry

**説明 :** 2 つのパネルのセルが同じ形状であるか、変更されるパネルが空である場合にのみ、SET SLIDRIVS ユーティリティ制御文を使用して、あるタイプのドライブパネルを別のタイプに変更できます。

**システムの処理 :** ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** (1) パネルに定義されているドライブの数を変更してジョブの再サブミットを行なうか、(2) MNTD Float(OFF) を設定し、ボリュームを LSM に入力せずに、MOVE または EJECT コマンド (または EJECT ユーティリティ) を使用してすべてのボリュームをパネルから除去し、ジョブを再サブミットします。

**SLS4153I** New CDSLVL not allowed

**説明 :** SET CDSLVL は CDS を 1 レベル REGRESS または CONVERT するためだけに使用できます。例えば、レベル 2.0.0 の CDS を 2.1.0 に変換することや、レベル 2.1.0 の CDS を 2.0.0 に REGRESS できます。

**システムの処理 :** ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** 現在の CDS のレベルを調べます。レベルが 2.0.0 である場合は、CDS は 2.1.0 に変換できます。また、レベルが 2.1.0 である場合は、CDS は 2.0.0 に後退させることのみができます。CDS のレベルが 2.0.0 より前である場合は、このユーティリティはサポートされていません。

**SLS4154I** SET CDSLVL REGRESS is not allowed; host CCCCCCCC marked as active

**説明 :** HSC がいずれかのホストでアクティブなマークがつけられている間は、SET CDSLVL REGRESS ユーティリティは実行できません。

**システムの処理 :** ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** すべてのホストの HSC を停止させるか回復させて、ジョブを再サブミットしてください。

### SLS4155I SET CDSLVL CONVERT requires all active hosts to have coexistence PTFs applied

**説明 :** SET CDSLVL CONVERT ユーティリティーを実行するためには、すべてのホストが HSC 2.0.1 を実行しており、HSC 2.1 を共存させるための PTF が適用されている必要があります。

**システムの処理 :** ユーティリティー制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** すべてのホストを必要な HSC 保守レベルにして、ジョブを再サブミットします。

### SLS4156I SET CDSLVL REGRESS failed; invalid LSM or panel type found in CDS

**説明 :** SET CDSLVL REGRESS ユーティリティーは CDS を以前の CDS レベルに REGRESS させようとしたますが、CDS で定義された LSM またはパネルタイプが、以前の CDS レベルではサポートされていません。

例えば、9740 LSM および 20 ドライブのために構成されたドライブパネルは、CDS レベル 2.0.0 ではサポートされていません。したがって、9740 LSM および 20 ドライブパネルを含む 2.1.0 レベルの CDS は、CDS レベル 2.0.0 に REGRESS させることはできません。

**システムの処理 :** ユーティリティー制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** 以前の CDS レベルでサポートされていないすべての LSM は、CDS を以前のレベルに REGRESS させる前に、ライブラリ構成から削除する必要があります。LIBGEN、SLICREAT、および RECONFIG 処理を使用して、ライブラリ構成から LSM を削除できます。削除を終えた後に、CDS を以前の CDS レベルに REGRESS できます。

### SLS4157I SET SLIDRIVS requires host CCCCCCCC down or LSM AA:LL offline

**説明 :** SET SLIDRIVS ユーティリティーを実行して存在するドライブまたはパネルタイプを変更するには、対象となるすべてのホストがダウンしているか、LSM がオフラインになっている必要があります。

**システムの処理 :** ユーティリティー制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** 対象となるすべてのホストをダウンさせるか、LSM をオフラインに変更して、SET SLIDRIVS ユーティリティーを再サブミットしてください。

### SLS4158I HOST CCCCCCCC LSM(AA:LL) PANEL(PP) drive unit addresses changed:

From: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...

XXXX, ...

To: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...

XXXX, ...

**説明 :** SET SLIDRIVS コマンドが、ホストのユニットアドレスを変更しました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4159I** WARNING: REGRESS with HSC 2.1 created CDS

説明：CDS が、HSC 2.1 SLICREAT で作成されました。

システムの処理：CDS の REGRESS を続行します。ただし、CDS はいくつかのユーティリティーと互換性を持たずに、予期しない結果を引き起こす原因となる可能性があります。

ユーザーの処置：REGRESS された CDS は RECONFIG を介して実行する必要があります。新しい HSC 2.0 CDS を作成し、それらを RECONFIG RECDEF PARMLIB ステートメントで指定し、REGRESS された CDS を CDSDEF PARMLIB 文で指定してください。

**SLS4160I** Errant volume VVVVVV possibly located in drive AA:LL:PP:NN

説明：SET CDSLVL REGRESS を実行中に、示されたテープドライブにあると予測されるエラントのボリュームを、ユーティリティーが検出しました。そのドライブは、パネルの最初の 4 つのドライブのいずれかではありません。REGRESS が終了すると、CDS は、予測されるエラントの位置としてこのドライブの ID を格納することはできなくなります。また、HSC は、エラントのボリュームを回復する間、このドライブをチェックすることはできなくなります。

システムの処理：ユーティリティーは、予測されるエラントの位置として示されたドライブを除去し、処理を続行します。完了するときに、戻りコード 4 で終了します。

ユーザーの処置：LSM がアクティブな HSC にオンラインになると、エラントのボリュームの回復が自動的に実行されます。回復が試みられた後もボリュームがエラントのままである場合は、エラントのボリュームと示されたドライブを手動で見つけてください。エラントのボリュームが見つかったら、ドライブとライブラリから手動でそのボリュームを除去してください。ボリュームをイジェクトして CDS から論理的にそのボリュームを削除し、ボリュームをライブラリに再入力してください。

**SLS4161I** Number of drives is invalid

説明：パネルで定義されたドライブの数が、許容値でないか、LSM タイプに認められている最大数を超過しています

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティー機能が終了します。

ユーザーの処置：エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

**SLS4162I** Panel map not found for panel PP in LSM AA:LL panel type TT

説明：示されたパネルタイプのパネルセルマップがパネルマップテーブル内に見つかりませんでした。

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティー機能が終了します。

ユーザーの処置：ユーティリティーが正しいバージョンの HSC ソフトウェアで実行されているか確認してください。エラーが出続ける場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4163I** Insufficient space for CCCCCC dataset; number of blocks required is DDDDD

**説明**：割り振られたスペースが不十分であったため、CCCCCC データセットに対する処理を続けられませんでした。

**システムの処理**：プログラムは終了します。

**ユーザーの処置**：適切な大きさのスペースを与えて、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS4164E** CDS error - missing {ACS|LSM} for {LSM AA:LL|DRIVEID AA:LL:PP:NN|CAP ID AA:LL:CC}

**説明**：存在するどの ACS および LSM とも一致しないキーを持つレコードが見つかりました。

**システムの処理**：ユーティリティーは、戻りコード 8 を戻して終了します。エラーが SLUDBMAP (LIBGEN) で発生する場合は、ライブラリのエラーがない部分に文が生成されます。

**ユーザーの処置**：この状況を、StorageTek ソフトウェアサポートにお知らせください。MERGE ユーティリティーまたは再構成 (Reconfig) ユーティリティーで CDS を再作成する必要がある可能性があります。

**SLS4166E** Number of ACSs is greater than 100

**説明**：LIBGEN ユーティリティーの実行中に、合計数が 100 より多い ACS が見つかりました。

**システムの処理**：戻りコード 4 が発行され、ユーティリティーは終了します。99 (16 進数の 63) より大きい ACS ID については出力が生成されません。

**ユーザーの処置**：CDS 内に新しい最大数の 100 を超える数の原因となった「プレースホルダー」ACS が定義されている場合は、最大数以下の ACS 数で新しい CDS を作成し、CDS MERGE ユーティリティーを実行して既存の CDS から新しい CDS にデータを転送する必要があります。

**SLS4167E** ACS AA contains more than 100 LSMs

**説明**：LIBGEN ユーティリティーの実行中、ACS AA に 100 を超える LMS があることがわかりました。ACS FUTRACS が表示された場合、FUTRACS パラメータの LSM の部分が大きすぎることを示しています。

**システムの処理**：ユーティリティーは完了すると、その ACS が実際の ACS である場合は戻りコード 8 を、ACS が FUTRACS である場合は戻りコード 4 を発行します。生成された SLIACS マクロに、16 進数で 63 より大きい ID を持つ LSM は含まれませんが、それらに対しては SLILSM レコードが生成されます。

**ユーザーの処置**：実際の ACS に対してこのメッセージが表示される場合、LIBGEN ユーティリティーの出力を、LIBGEN アセンブリー処理への入力として使用することはできません。構成を調べて、未使用の LSM をなくし、修正した構成で新しい CDS を作成する方法を判断してください。そのあとで、CDS MERGE ユーティリティーを実行し、既存の CDS から新しい CDS にデータを転送してください。

**SLS4168I** FUTRACS would create more than 100 ACSs, resetting to NN

**説明:** LIBGEN ユーティリティーの実行中、既存の ACS の数に新しい ACS の数を加えると、システムの最大数 100 を超えることが判明しました。

**システムの処理:** ユーティリティーは FUTRACS パラメータを 100 と現在の ACS 数との差に設定し、処理を続けます。ほかのエラーコードが見つからない場合、ユーティリティーは、戻りコード 4 で終了します。

**ユーザーの処置:** なし

**SLS4169I** FUTRLSM would create more than 100 LSMs, resetting to NN

**説明:** LIBGEN ユーティリティーの実行中、ACS 内の既存の LSM の数に新しい LSM の数を加えると、システムの最大数 100 を超えることが判明しました。

**システムの処理:** ユーティリティーは FUTRLSM パラメータを、100 と、ACS 内の現在の LSM 数との差に設定し、処理を続けます。ほかのエラーコードが見つからない場合、ユーティリティーは、戻りコード 4 で終了します。

**ユーザーの処置:** なし

**SLS4196I** CDS {converted|regressed} from V.R to V.R format

**説明:** CDS が以前のフォーマットから新しいフォーマットに変換されました (またはその逆)。バージョンおよびリリース (V.R) は、以前の CDS と新しい CDS の両方について示されます。SET CDSLVL CONVERT または REGRESS ユーティリティーは、CDS の変換または後退に使用されます。CDS の新しいフォーマットへの変換は、新しい HSC リリースに移行するときに実行する必要がある場合があります。以前の HSC リリースにレベルダウンする移行では、以前のリリースへの CDS の後退は任意指定です。

**システムの処理:** なし

**ユーザーの処置:** CDS が変換された後は、この CDS フォーマットと互換性のある HSC サブシステムのみが起動できます。

**SLS4170D** Unable to dismount *volser* to home cell AA:LL:PP:NN. Reply A to allocate a new home cell or E to eject

**説明:** ボリューム *volser* をホームセルにマウント解除しようとしたのですが、ホームセルにはほかのボリュームが入っていて、FLOAT OFF が使用中でした。

**システムの処理:** マウント解除は、A または E の応答を待ちます。

**ユーザーの処置:** 「A」で応答すると、HSC はボリューム *volser* に異なるホームセルを割り振ることができます。「E」で応答すると、ボリューム *volser* はイジェクトされます。

### SLS4203I DDname CCCCCCCC allocated to dataset name DDD...DD

**説明：**ユーティリティーは、CCCCCCCCで示されるDD名を、データセット名DDD...DD(54文字までの文字列。データセットがPDSメンバーである場合はメンバー名も含まれます)に割り振りました。DD名CCCCCCCCはSLSCNTL、SLSSCRPL、SLSVAのいずれかである可能性があります。

この割り振りは、ユーティリティージョブで実行されたJCLによって行なわれたか、またはこのホストシステムでアクティブなHSCによって使用されているデータセットに基づいて動的に割り振られています。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。

**ユーザーの処置：**このメッセージは単に情報を知らせるためのものです。ユーティリティーが期待した結果を作成しない場合は、一連のSLS4203Iメッセージの内容を調べて、意図したデータセットが実際にジョブに割り振られているかどうかを確かめる必要があります。

### SLS4204E {ACS AA|LSM AA:LL} on MERGE control statement not found in {FROM|TO} CDS

**説明：**MERGE制御文に、指定されたCDSには存在しないACSまたはLSMが含まれています。

**システムの処理：**ユーティリティーは、検証処理を続行します。マージ処理は行なわれません。戻りコード8が設定されます。

**ユーザーの処置：**情報を修正し、ユーティリティージョブを再サブミットしてください。TO CDSがSLICREATユーティリティーで作成された場合には、正しいACSおよびLSMの情報を含んでいることを確認してください。

### SLS4205E LSM AA:LL in MERGE TO CDS is not empty

**説明：**MERGEユーティリティーは、マージ先となるLSMである示されたLSMのTO CDSに、1つ以上のボリュームが含まれていることを検出しました。

**システムの処理：**ユーティリティーは、検証処理を続行します。マージ処理は行なわれません。戻りコード8が設定されます。

**ユーザーの処置：**示されたLSMが意図したマージ先であることを確認してください。そうである場合は、マージ処理を続ける前に、すべてのボリュームをEjectまたはMOVEしてください。

**SLS4206I** LSM AA:LL in FROM CDS is not same type as LSM AA:LL in TO CDS

**説明：**CDS のマージ処理におけるマージ元の LSM とマージ先の LSM が同じ LSM タイプではありません。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。この LSM に対するマージ処理は実行されません。

この LSM が特定の FLSM/TLSM パラメータで要求された場合は、マージ処理は行なわれず、戻りコード 8 が設定されます。

一致しない LSM が ALL または FACS/TACS パラメータ文内にあり、VALIDate オプションが指定されなかった場合は、ほかの LSM についてマージ処理が行なわれ、戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**この LSM に対して FLSM/TLSM パラメータが指定された場合は、文を修正してユーティリティーの再サブミットをしてください。この LSM が指定された ACS 内にあるか、ALL グループの一部である場合は、この LSM がマージ処理でバイパスされることを確認してください。

**SLS4207I** Panel PP LSM AA:LL in FROM CDS is not same type as LSM AA:LL in TO CDS

**説明：**パネル PP のパネルタイプが、CDS のマージ処理の FROM と TO で異なります。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。一致しないパネルのボリュームはマージ処理が行なわれません。戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**パネルが TO CDS で正しく指定されているか確認してください。

**SLS4208I** LSM AA:LL does not exist in TO CDS

**説明：**MERGE TO CDS に LSM AA:LL がありません。マージ処理は、ALL オプションまたは FACS/TACS コントロール文を使用して指定されました。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。指定された LSM からのボリュームはマージ処理が行なわれません。戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**この LSM がマージ処理でバイパスされることを確認してください。

**SLS4209I** Duplicate volume volser found in FROM CDS; target location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

**説明：**マージ処理において、FROM CDS で指定されているマージ対象の LSM のボリューム (volser) が、すでに TO CDS に存在しています。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。マージ処理で、ボリュームの情報は TO CDS のマージ先の LSM にコピーされません。TO CDS の存在するボリュームは影響を受けません。戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置：**重複しているボリュームが意図したとおりに処理されることを確認してください。マージ処理を行なった後、重複したボリュームがあるすべてのマージ先位置で AUDIT ユーティリティー機能を実行して、LSM から重複したボリュームをイジェクトしてください。

## SLS4210I - SLS4212E

**SLS4210I** Volume *volser* found errant during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

**説明**：マージ機能は、FROM CDS 内に、TO CDS のホーム位置が *AA:LL:PP:RR:CC* であるエラントのボリューム (*volser*) を検出しました。

**システムの処理**：ユーティリティーは続行されます。VALIDate オプションが指定されなかった場合は、エラントのボリュームは TO CDS にコピーされ、エラントのマークが付きます。戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置**：マージ処理を行なった後に、TO CDS の指定されたセルの監査を実行して、エラントの状況をクリアします。

**SLS4211I** Volume *volser* found selected during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

**説明**：マージ機能は、FROM CDS 内に、TO CDS のホーム位置が *AA:LL:PP:RR:CC* である選択ボリューム (*volser*) を検出しました。

**システムの処理**：ユーティリティーは続行されます。VALIDate オプションが指定されなかった場合は、エラントのボリュームは TO CDS にコピーされ、選択済みのマークが付きます。戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置**：マージ処理を行なった後に、TO CDS の指定されたセルの監査を実行して、ボリュームの位置を検証します。

**SLS4212E** FROM CDS name is the same as TO CDS name

**説明**：FROM CDS にプライマリ、シャドウ、または待機バージョンの TO CDS と同じデータセット名があります。

**システムの処理**：CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置**：SLUADMIN ジョブステップの FROM CDS として指定されているファイル名を修正してください。

**SLS4213I** CDS Merge Phase *N* (CCCCCCCC) completed

**説明：**これは、SLUADMIN MERGECDS ユーティリティーのチェックポイントのメッセージで、フェーズ *N*、機能 CCCCCCCC が完了したことを示します。フェーズは次のとおりです。

**フェーズ 1 – 初期化**

マージ処理は、正常に TO CDS を予約し、FROM CDS を割り振り、初期化し、予約しました。

**フェーズ 2 – パラメータの妥当性検査**

マージ処理は、マージされるすべての LSM の妥当性検査をしました。

**フェーズ 3 – データスペースの作成**

マージ処理は、マージされる CDS 情報のデータスペースを正常に割り振り、取り込みました。

**フェーズ 4 – データスペースへの書き込み**

マージ処理は、マージされるデータをプライマリ CDS コピーに正常に書き込みました。VALIDate オプションが指定されている場合は、フェーズ 4 はバイパスされます。

**フェーズ 5 – 終了処理**

マージ処理は、プライマリ CDS をセカンダリバージョン (ある場合は) に正常にコピーし、終了処理を完了しました。

**システムの処理：**フェーズ 1 から 4 まで完了した後、マージ処理は続行します。フェーズ 5 が完了した後、マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4214E** Creation of CDS Merge utility Data Space failed -  
MMMMMMMM-CC-RRRRRRRR

**説明:** MMMMMMMMM は、MERGE ユーティリティーのデータスペースの作成に失敗した IBM マクロコールです。CC は失敗に関する戻りコードです。RRRRRRRR は失敗に関する理由コードです。戻りコードおよび理由コードについては、適切な IBM の資料を参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV で戻りコードが「08」、理由コードが「xx0005xx」である場合は、データスペースがインストール条件 (IEFUSI 出口) に違反しています。

これは、保護キー 1-7 で HSC が実行中でないことを示しています。SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバーの MVS プログラム特性テーブルで、HSC 用保護キーの正しい仕様を確認してください。

**システムの処理:** CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置:** 失敗の原因を特定し、CDS MERGE ユーティリティー要求を再サブミットします。

**SLS4215E** No DD statement(s) found for FROM CDS.

**説明:** MERGEcds コマンドに、FROM CDS に対する DD 文が含まれていませんでした。

**システムの処理:** CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置:** FROM CDS を指定する、SLSFCNTL に対する DD 文を提供してください。シャドウまたは待機 (あるいは両方) のコピーが有効である場合は、これらのファイルに対しても DD 文 (SLSFCTL2/SLSFSTBY) を提供してください。CDS MERGE ユーティリティーは現在のプライマリ CDS を判別し、マージ処理のための FROM CDS として使用します。

**SLS4216E** Missing or invalid SLSMERGE dataset found for MERGEcds

**説明:** SLSMERGE DD 文がなかったか、データセットが開けなかったか、パラメータが見つからず MERGEcds 文にキーワード「ALL」が指定されていませんでした。

**システムの処理:** CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置:** MERGEcds 文で「ALL」を指定するか、SLUADMIN ジョブに SLSMERGE DD 文を 1 つ以上のパラメーターとともに含めます。

**SLS4217E** MERGEcds ALL was specified with a SLSMERGE DD statement

説明：MERGEcds 文に ALL が指定されていますが、SLUADMIN ジョブに SLSMERGE DD 文が見つかりました。

システムの処理：CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの処置：MERGEcds 文から ALL キーワードを除去するか、SLUADMIN ジョブから MERGEDEF DD 文を除去します。

**SLS4218I** CDS Merge complete on CCCC...CCCC

説明：CDS マージ処理は、データセット名 CCCC...CCCC で CDS を正常に更新しました。

システムの処理：CDS Merge 処理は続行します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4219E** Unable to select a primary CDS for MERGEcds

説明：SLUADMIN への入力として指定されたすべての FROM CDS のコピーに対して、DHB の情報が検査されました。プライマリまたはセカンダリ CDS は、前回使われてから復元されていない場合は、最良の CDS コピーではありません。したがって、有効なプライマリ CDS とすることはできません。

システムの処理：CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの処置：SLUADMIN ジョブに指定された SLSFCNTL、SLSFCTL2、および SLSFSTBY データセットを検討してください。正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップし、HSC RESTore ですべての CDS コピーを同期化してください。そして、SLUADMIN ジョブを再起動してください。

**SLS4220I** Cleaner prefix XXX on FROM CDS does not match XXX on TO CDS

説明：マージされる 2 つの CDS のクリーナーの接頭辞が一致しません。

システムの処理：CDS Merge 処理は続行します。FROM CDS にカートリッジが見つかった場合は、メッセージ SLS4221E にリストされます。

ユーザーの処置：CDS Merge が VALIDate オプションで実行された場合は、FROM LSM からすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

CDS マージ処理が VALIDate オプションで実行されていなかった場合は、マージ処理が完了した後に TO LSM からすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

## SLS4221E - SLS4225E

### SLS4221E Volume VVVVVV in LSM AA:LL merged as non-cleaner

**説明：**ボリューム VVVVVV の接頭辞は FROM CDS のクリーナー接頭辞とは一致しますが、TO CDS のクリーナー接頭辞とは一致しません。

**システムの処理：**CDS Merge 処理は続行します。ボリュームは TO CDS に追加されますが、クリーニングカートリッジとしては使用されません。

**ユーザーの処置：**CDS マージ処理が VALIDate オプションで実行された場合は、FROM LSM からボリュームをイジェクトしてください。

CDS マージ処理が VALIDate オプションで実行されていなかった場合は、マージ処理が完了した後に TO LSM からすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

### SLS4222E Duplicate {FROM|TO} {ACS AA|LSM AA:LL} found on MERGE control statement

**説明：**MERGE 制御文に、FROM または TO ACS/LSM として、ACSid または LSMid が重複して定義されています。または、FROM/TO マージパラメータの ACSid が、別の FROM/TO LSMid と重複しています。

**システムの処理：**CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置：**エラーを訂正して、CDS マージを再サブミットしてください。

### SLS4223E Audit in progress on TO LSM AA:LL

**説明：**CDS マージ処理のターゲットである LSM AA:LL が監査の最中です。

**システムの処理：**VALIDate オプションが指定された場合は、戻りコード「4」が設定され、妥当性検査処理は続行します。そうでない場合は、CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置：**監査の終了後に CDS Merge を再サブミットしてください。LSM にボリュームが含まれる場合は、マージ先とすることはできません。

### SLS4225E Unexpected CDS Merge error - Component=MMMMMMMM, RC=XXXXXXXX

**説明：**CDS Merge 処理中に、予期しないエラーが起きました。MMMMMMMM は失敗した HSC コンポーネントの名前です。XXXXXXXX はこの操作の戻りコードです。

**システムの処理：**CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置：**名前が示されたコンポーネントに対する戻りコードをチェックしてください。この問題を解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4226I** SLSMERGE input parameter:XXXX...XXXX

説明：示されたパラメータ文が SLSMERGE データセットから読み込まれました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4227E** VAR area overflow during CDS merge

説明：TO CDS にボリュームを追加するスペースがありません。

システムの処理：CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの処置：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS4230I** CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 parameter not valid

説明：コマンドまたは制御文 CCCCCCCC1 のパラメータ CCCCCCCC2 は無効です。

システムの処理：ユーティリティの処理は続行されます。生成される報告は正しくない可能性があります。戻りコード X'04' が設定されます。

ユーザーの処置：エラーのコマンドまたは制御文を修正して、ユーティリティを再実行してください。

**SLS4231I** Panel PP on LSM AA:LL CCCCCCCC

説明：LSM AA:LL パネル PP が凍結されたか、凍結解除されたか、未割り振りにされたかについての確認メッセージです。未割り振りのパネルはバイパスされ、凍結したり凍結解除することはできません。

システムの処理：セット機能は完了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4232I** Entire LSM AA:LL CCCCCCCC

説明：LSM AA:LL 全体が凍結されたか、凍結解除されたかについての確認メッセージです。すでに要求された状態の場合は、メッセージはすでに凍結されたか凍結解除されたかを示します。

システムの処理：セット機能は完了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4233I** Unable to Freeze/Unfreeze an Unallocated or non-existent LSM or Panel

**説明：**未割り振りの LSM、または LSM 内で未割り振りのパネルを凍結、または凍結解除しようとしてしました。また、存在しない LSM またはパネルを凍結、または凍結解除しようとする、このエラーが表示されることもあります。未割り振りのパネルはバイパスされ、凍結したり凍結解除することはできません。

**システムの処理：**SET 機能は終了し、RC=8 を戻します。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4239E** {MVC|VTV} volume VVVVVV not configured in 'TO' CDS

**説明：**MERGECDs の処理中、ボリューム vvvvvv は、「TO」CDS で構成されていないためコピーできませんでした。MVC ボリュームまたは VTV ボリュームをコピーしないで削除することは、以下の両方に当てはまる場合のみ許可されます。

- DELVirt パラメータが指定されていて、なおかつ
- ボリューム vvvvvv は空である、または初期化されていないことを「FROM」CDS が示している。

VTV は、常駐しておらず、現在の MVC コピーがない場合は空だとみなされます。MVC は、現在の VTV が含まれておらず、以前に使用された場合はドレイン済みである場合に空だとみなされます。

**システムの処理：**ユーティリティーは続行されます。このマージ処理では、MVC または VTV ボリュームは「TO」CDS にコピーされません。戻りコード 8 が設定されます。

**ユーザーの処置：**マージ処理でボリューム vvvvvv を「TO」CDS にコピーすべき場合は、ボリューム vvvvvv が (必要に応じて) MVC または VTV の範囲に含まれるように「TO」CDS の構成を修正してから、マージを再実行します。

マージ処理で、「TO」CDS にコピーしないでボリューム vvvvvv を削除すべき場合は：

- DELVirt パラメータが指定されていることを確認します。
- ボリューム vvvvvv が VTV である場合は、「FROM」CDS が、VTV vvvvvv は非常駐であり、そこには現在の MVC コピーがないと表示することを確認してください。VTV vvvvvv がスクラッチである場合、DELETSCR ユーティリティーを使用して、常駐の VTV と MVC の MVC コピーを削除できます。
- ボリューム vvvvvv が MVC である場合は、「FROM」CDS が、MVC vvvvvv は空である (つまり 0 個の VTV を含んでいる) と表示することを確認してください。以前に MVC vvvvvv に VTV が含まれていた場合は、MVC RPT を実行してください。「Owner/Comment/Consolidate Time」列に値が表示される場合は、MVC vvvvvv をドレインする必要があります。ドレインすると、その列に表示される値はなくなります。
- ボリューム vvvvvv を削除するための条件が満たされたら、マージを再実行してください。

**SLS4244E** Parameter "ALL" specified, but no virtual data was defined in the "TO" CDS. No virtual data copied.

**説明：**「ALL」が指定されましたが、仮想設定データが「TO」CDSで検出されませんでした。仮想レコードは一切コピーされません。

**システムの処理：**ユーティリティーは、そのあとのフェーズ2を終了します。日付はマージされません。戻りコード8が設定されます。

**ユーザーの処置：**必要な場合は、SWSADMIN CONFIG 機能を実行して仮想情報を定義し、CDS マージを再サブミットして仮想情報をコピーしてください。

**SLS4247I** CCCCCCCC parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

**説明：**SLUADMIN ユーティリティー機能でパラメータに YES または NO 以外の値が指定されました。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置：**ユーティリティー制御文上のパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS4248I** Blank ACSDRV esoteric only valid with VSMONLY

**説明：**空の ACSDRV エソテリックが VSMONLY ではなく ACS に指定されました。LIBGEN または SET ACSDRV VSMONLY(YES) によって、VSMONLY になるよう ACS を設定することができます。

**システムの処理：**ユーティリティー機能は終了します。

**ユーザーの処置：**ユーティリティー制御文上のパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS4251D** Prior RELease AA:LL:CC executing; reply Cancel current command or Force release (C,F)

**説明**：直前の RELease コマンドが発行されているか、CAP の解放要求が別のホストまたはユーティリティ ESTAE 用に実行されています。

**システムの処理**：コマンドは、「C」または「F」と応答するまで待ち状態になります。

「C」と応答すると、RELease コマンドはキャンセルされ、直前の解放処理が引き続き実行されます。

「F」と応答すると、現行の解放処理はキャンセルされ、省略形の CAP 解放が行なわれません。



**注意**：「F」の応答は、CAP を使用不可にすることがあります。

**ユーザーの処置**：前の CAP タスクが完了しなかった理由を確認してみてください。未処理の CAP 操作または WTOR などが理由に挙げられます。その場合は、要求された CAP 操作を実行してください。たとえば、CAP からボリュームを削除して、CAP ドアを閉めるか未処理のメッセージに応答します。

未処理の処理メッセージまたは WTOR が存在しない場合は、解放コマンドが CAP カタログを実行している可能性があることに注意してください。特に LMU が複数の要求を処理している場合は、CAP カタログの処理には数分かかります。この場合、「C」を応答して前の解放処理が完了するまで待ちます。

要求された CAP 操作を実行できない場合（たとえば CAP ドアがロックされているため空にできない場合）は、「F」を応答して現在の解放処理をキャンセルします。その後、新しい解放処理が省略形の CAP 解放を実行します。

**SLS4252I** RELease AA:LL:CC command is waiting for {the CAP lock|LMU response}

**説明：**RELease コマンドが発行されてアクティブな CAP タスクの終了を通知しましたが、タスクはいまだに終了していません。

**システムの処理：**コマンドは待機します。

**ユーザーの処置：**前の CAP タスクが完了しなかった理由を確認してみてください。未処理の CAP 操作または WTOR などが理由に挙げられます。その場合は、要求された CAP 操作を実行してください。たとえば、CAP からボリュームを削除して、CAP ドアを閉めるか未処理のメッセージに応答します。

未処理の処理メッセージまたは WTOR が存在しない場合は、アクティブな CAP 処理が LMU からの応答を待っている可能性があることに注意してください。LMU が複数の要求を処理している場合は、この応答には数分かかります。

**SLS4266A** Cartridge *volser* in CAP AA:LL:CC has an invalid media label and cannot be entered

**説明：**CAP AA:LL:CC で見つかったカートリッジ (*volser*) のメディアラベルが読み込めなかったため、エンターできません。

**システムの処理：**カートリッジエントリは、それが見つかった CAP セルのカートリッジに残され、カートリッジを除去できるように CAP のロックが解除されます。

**ユーザーの処置：**CAP からカートリッジを除去してください。カートリッジを挿入しなければならない場合は、メディアラベルを修正してください。

**SLS4350I** CDS Merge terminated prematurely; merge complete on {NO CDS copies|PRIMARY CDS copy|ALL CDS copies}

**説明：**HSC サブシステムのマージ処理は、MERGE コーティリティーが異常終了したことを検出しました。マージ処理は、示された CDS をすでに更新しています。

**システムの処理：**CDS マージ処理は終了します。

**ユーザーの処置：**メッセージをチェックしてマージの状態を判断し、次のようにして処理を進めます。

- どの CDS も更新されていない場合は、マージ処理を始めから再起動できます。
- プライマリ CDS のみが更新された場合は、セカンダリコピーは自動的に使用不可にされます。この CDS をプライマリ CDS と同期できるようにできます。
- すべての CDS のコピーが更新された場合は、マージ処理は終了しており、処理を行なう必要はありません。

**SLS4351I** Inconsistent copy flag found on DDDDDDDD

説明：ユーティリティー機能は、DD 名 DDDDDDDD の CDS コピーで、矛盾したコピーフラグがオンになっていることを検出しました。

システムの処理：有効な CDS のコピーが存在する場合は、ユーティリティーは続行します。データセット DDDDDDDD は処理されません。

ユーザーの処置：次のいずれかを行なって、矛盾したコピーを同期させます。

- すべての CDS のコピーをバックアップから復元します。または
- 矛盾するコピーを HSC に有効にします。これによって矛盾したコピーは強制的に同期されます。

**SLS4352I** 'DIAGSCAN' parameter value invalid; must be 'ONLY' or 'ALSO'

説明：SLUADMIN AUDIT ユーティリティーで DIAGScan パラメータに ONLY または ALSO 以外の値が指定されました。

システムの処理：AUDit ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：ユーティリティー制御文上の DIAGScan パラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

**SLS4353I** No diagnostic cells for LSMid AA:LL, panel DD

説明：DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティーの機能が要求されました。指定の LSMid (AA:LL) およびパネル (DD) に診断セルがありませんでした。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS4354I** Diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC is empty

説明：DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティーの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (AA:LL:PP:RR:CC) は空でした。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS4355I** Cartridge in diagnostic cell *AA:LL:PP:RR:CC* has an unreadable external label

説明 : DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (*AA:LL:PP:RR:CC*) には、読み取りできない外部の VOLSER ラベルが付いていました。

システムの処理 : HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置 : そのカートリッジは、LSM が手動モードの間に診断セルに間違って配置された可能性があります。LSM を手動モードに戻すには、LSM に入り、カートリッジを取り出してください。それがデータカートリッジである場合は、VOLSER を判断し、カートリッジにラベルをつけて、LSM がオンラインに戻った後で CAP を通じて再度中に入れてください。

**SLS4356I** Volume *volser* is in diagnostic cell *AA:LL:PP:RR:CC*

説明 : DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (*AA:LL:PP:RR:CC*) には、外部の VOLSER ラベル *volser* が付いていました。

システムの処理 : HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置 : カートリッジが診断カートリッジ (通常、外部ラベルの形式は「DG nnn」で、nnn は 10 進数の数字が入ります) ではない場合は、そのカートリッジは、LSM がマニュアルモードの間に診断セルに間違って配置された可能性があります。LSM を手動モードに戻すには、LSM に入り、カートリッジを取り出し、LSM がオンラインに戻った後で CAP を通じて再度中に入れてください。

**SLS4357I** Unable to scan diagnostic cells in LSMid *AA:LL* (9740)

説明 : DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。指定された LSM (*AA:LL*) は、現在診断セルのスキャンをサポートしていない LSM のタイプ 9740 でした。

システムの処理 : HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置 : なし

**SLS4358I** No in-transit cartridges in LSMid *AA:LL*

説明 : INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されましたが、指定された LSM (*AA:LL*) には移動中のカートリッジがありませんでした。

システムの処理 : HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置 : なし

**SLS4359I** Unable to select in-transit volume *volser* in LSMid *AA:LL*

説明：INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されましたが、指定された LSM (*AA:LL*) で指定されたライブラリーのボリューム (*volser*) を選択できませんでした。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：ボリュームが選択されているかどうか確認し、選択されている場合は、SLUADMIN UNSELECT ユーティリティを実行して、ボリュームを空にし、INTRANS パラメーターで SLUADMIN AUDIT ユーティリティを再度実行することを検討してください。

**SLS4360I** DDname *CCCCCCCC* allocated to dataset name *DDD...DD*

説明：ユーティリティは、*CCCCCCCC* で示される DD 名を、データセット名 *DDD...DD* (54 文字までの文字列。データセットが PDS メンバーである場合はメンバー名も含まれます) に割り振りました。DD 名 *CCCCCCCC* は SLSCNTL、SLSSCRPL、SLSVA のいずれかである可能性があります。この割り振りは、ユーティリティジョブで実行された JCL によって行なわれたか、またはこのホストシステムでアクティブな HSC によって使用されているデータセットに基づいて動的に割り振られています。

システムの処理：ユーティリティは続行されます。

ユーザーの処置：このメッセージは単に情報を知らせるためのものです。ユーティリティが期待した結果を作成しない場合は、一連の SLS4203I メッセージの内容を調べて、意図したデータセットが実際にジョブに割り振られているかどうかを確かめる必要があります。

**SLS4361I** Ejected in-transit volume *volser* from LSMid *AA:LL*

説明：INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (*AA:LL*) で移動中のライブラリボリューム (*volser*) が検出され、イジェクトされました。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：そのボリュームをライブラリに再入力するかどうかを検討してください (注：オペレータは、カートリッジのイジェクトが通知され、CAP がいっぱいの場合あるいは SLUADMIN AUDIT ユーティリティが完了した場合には CAP を空にする必要があります)。

**SLS4362I** Error ejecting in-transit volume *volser* from LSMid *AA:LL*

説明：INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (*AA:LL*) で移動中のライブラリボリューム (*volser*) が検出され、イジェクトが試行されましたが、失敗しました。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：イジェクトエラーに関連するほかの HSC メッセージを検証してください。INTRANS パラメータでの SLUADMIN AUDIT ユーティリティの再実行を検討してください。

**SLS4363I** Ejected an in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

**説明 :** INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で読み取り不可能な外部ラベルが付いた移動中のカートリッジが検出され、イジェクトされました。

**システムの処理 :** HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置 :** ボリュームにラベルを付けて、ライブラリに再入力するかどうかを検討してください (注: オペレータは、カートリッジのイジェクトが通知され、CAP がいっぱいの場合あるいは SLUADMIN AUDIT ユーティリティが完了した場合には CAP を空にする必要があります)。

**SLS4364I** Error ejecting in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

**説明 :** INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で読み取り不可能な外部ラベルが付いた移動中のカートリッジが検出され、イジェクトが試行されましたが、失敗しました。

**システムの処理 :** HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置 :** イジェクトエラーに関連するほかの HSC メッセージを検証してください。INTRANS パラメータでの SLUADMIN AUDIT ユーティリティの再実行を検討してください。

**SLS4365I** Virtual Volume merge bypassed, VTCS has not been activated.

**説明 :** VTV および MVC のエントリを含む「マージ元」CDS を指定したマージ操作が要求されました。このシステムでは VTCS が活動化されていないため、これらの VTV および MVC のエントリは「マージ先」CDS にマージされません。

**システムの処理 :** HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置 :** なし

**SLS4370I** SLUINCT processing on XXXX {STARTED|ENDED}

**説明 :** SLUINCT 操作が要求され、ドライブ XXXX が要求されました。

**システムの処理 :** ユーティリティの処理を続行します。

**ユーザーの処置 :** なし

**SLS4400I** HSC dynamic reconfiguration initiated for {ACS *acs-id*|ADD ACS|DELETE ACS|the COMPLEX}

**説明**：HSC の動的再構成処理が、特定の ACS の更新、ACS の追加、ACS の削除、または複合体全体の更新のために開始されました。

**システムの処理**：動的再構成処理は続けられます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS4401I** {Transport|Drive record|LSM/rail} {AA:LL:PP:NN|AA:LL} successfully {added to|removed from|allocated to|unallocated from} current HSC configuration.

**説明**：動的再構成により、トランスポート、ドライブレコード、または LSM が追加または削除されました。Transport は、HSC の構成ドライブレコードとライブラリ内のトランスポートの両方が処理されたことを示します。Drive record は、HSC の構成のみが変更されたことを示します（たとえば、構成ドライブレコードを追加するために SLUADMIN が実行されたもののトランスポートは接続されていない場合など）。LSM/rail は、検出された SL8500 構成に基づいて LSM が処理されたことを示します。さらに、SL8500 パーティション分割のサポートによって、現在の HSC 構成に対して LSM の割り振り解除または割り振りが可能です。この状況で、LSM 構成データは依然として有効ですが、割り振り済みまたは未割り振りのいずれかとして認識されます。どちらも実行中の HSC 構成の一部とみなされますが、割り当て済みの LSM のみが、実行中のその HSC の使用可能リソースとみなされます。

**システムの処理**：HSC の構成変更処理は完了するまで続けられます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS4402I** CDS {drive|LSM} record {not found|previously removed} for existing {transport|LSM/rail; id={AA:LL:PP:NN|AA:LL}}

**説明**：動的再構成は、対応する構成レコードが CDS 内にない、接続テープトランスポートまたは LSM を SL8500 ライブラリ内で検出しました。ドライブレコードは、SLUADMIN により削除されたか、最初から CDS に存在しませんでした。LSM の場合、FUTURLS パラメータにより、対応するレコードが LIBGEN 内に確立されていません。

**システムの処理**：対応するドライブレコードが CDS に存在しない場合、HSC はトランスポートを現在の構成に追加できません。LSM の場合も同様です。WTOR SLS4405D が発行され、オペレータは処理を進めるか中止するかを聞かれます。

**ユーザーの処置**：SLS4405D メッセージに「N」と応答してから、対象のレコードを CDS に追加し、動的再構成を再起動します。「Y」と応答すると、再構成処理は進められますが、この場合、対象のドライブまたは LSM は現在の構成に追加されません。

**SLS4403I** CDS {drive|LSM} record found with no matching {transport|LSM/rail}; library location = {AA:LL:PP:NN|AA:LL}

**説明：**動的再構成は、対応するトランスポートまたは LSM が指定された場所がない、構成レコードを CDS 内で検出しました。これは次のいずれかの理由によります。1) トランスポートがライブラリから削除されたが、ドライブレコードは CDS から削除されなかった、2) ドライブレコードが CDS に追加されたが、トランスポートはライブラリに追加されなかった、3) LSM/ レールが HSC から取り外されている

**システムの処理：**この場合、WTOR SLS4405D が発行され、オペレータは処理を進めるか中止するかを聞かれます。

**ユーザーの処置：**この不整合が予測されたものでない場合、SLS4405D メッセージに「N」と応答してから、トランスポートをライブラリに接続し、動的再構成を再起動します。LSM の場合、CDS を動的に更新できないため、この不整合の発生は予測されています。「Y」と応答すると、次のことが行なわれます。1) ドライブレコードの追加、トランスポートの削除のどちらによるものであっても、ドライブレコードを「未構成」としてマークする、2) HSC の構成から LSM を削除する

**SLS4404I** {Drive {type|unit address|host definition|type and unit address}|{LSM {panel configuration|passthru configuration|panel and passthru configuration} successfully modified for {transport|LSM/rail} {AA:LL:PP:NN|AA:LL} during dynamic reconfig

**説明：**動的再構成により次のいずれかが正常に変更されました。1) 指定したドライブのタイプ、デバイスアドレス、またはホストの定義、2) 指定した LSM のパネルまたはパススルー構成、あるいはその両方

**システムの処理：**HSC は現在の構成を適切に更新済みです。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4405D** CDS / LMU conflicts exist; allow dynamic reconfig to proceed; Reply 'Y' or 'N'

**説明：**動的再構成は次のいずれかを行ないました。1) 対応するドライブレコードの存在しない接続トランスポートを検出した、2) 対応するトランスポートがライブラリに存在しない、CDS の構成ドライブレコードを検出した、3) 対応する SL8500 LSM が存在しない、CDS の LSM レコードを検出した、4) 対応する LSM レコードが CDS に存在しない、SL8500 LSM/ レールを検出した。メッセージ SLS4402I および SLS4403I の先頭には、SL8500 の特定の要素および位置が示されます。

**システムの処理：**動的再構成は、このメッセージに対する応答を受け取るまで待ち状態になります。60 秒経過しても応答を受け取らなかった場合、動的再構成は中止され、メッセージ SLS4405D はコンソールに表示されなくなります。

**ユーザーの処置：**「Y」と応答すると、動的再構成は適格な変更すべてを処理します。ほかの応答をすると、動的再構成は、理由 = オペレータの要求により、中止されます。

**SLS4406I** Dynamic reconfiguration processing did not occur, no changes found or unable to process

**説明**：動的再構成処理は、SL8500 または SL3000 ライブラリ内、あるいは HSC 内の構成変更が実行されなかったか、またはこれらの変更が処理不能であったと判断しました。考えられる状況には以下が含まれます：1) 対応するドライブレコードの存在しない新しいトランスポートが検出され、SLS4405D WTOR に対して「Y」と応答された、2) 対応する LSM レコードの存在しない新しい LSM が検出され、SLS4405D WTOR に対して「Y」と応答された、3) 処理対象の SL8500 または SL3000 ベースの要素が見つからない。

**システムの処理**：動的再構成処理は終了します。

**ユーザーの処置**：構成変更が予測されたものでない場合、CDS およびライブラリの両方ですべての変更が実施されていることを確認してください。

**SLS4407I** HSC dynamic reconfiguration processing has ended for {ACS *acs-id*|ADD ACS|DELETE ACS|the COMPLEX}

**説明**：特定の ACS の更新、ACS の追加、ACS の削除、または複合体全体の更新に関して、HSC の動的再構成処理が終了しました。場合によっては、ハードウェア再構成が実行されなかった可能性もあります。メッセージ SLS4505D が「N」応答を受け取ったか、構成変更が検出されませんでした。発生した可能性のある構成変更を確認するには、メッセージ SLS4407I に先立つ再構成メッセージを確認してください。これらのメッセージのメッセージ範囲は、SLS4400I から SLS4412I です。

**システムの処理**：動的再構成処理は終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS4408I** {LMU|Database|Configuration} request error during dynamic reconfig;  
rc = *nnnn*

**説明**：動的再構成処理中に、LMU、データベース、または構成の要求がエラー状況を返しました。問題のあるコンポーネントの戻りコード *nnnn* が、メッセージに表示されます。

**システムの処理**：動的再構成処理は終了します。

**ユーザーの処置**：エラーの正確な理由を判定するには、『HSC メッセージおよびコード解説書』を参照してください。必要に応じて、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4409I**

HSC dynamic reconfiguration has aborted; reason = *rrrr*

**説明** : 動的再構成は、次のいずれかの理由により、中止されました。

- オペレータ要求 : メッセージ SLS4405D に対して「N」と応答され、動的再構成が中止されました。
- タイムアウト : メッセージ SLS4405D に対する応答が、許可された 60 秒以内に返されませんでした。
- ACS を削除できない : 指定した ACS は、削除に不適合です。
- ACS を追加できない : 割り振られていない ACS か、今後の ACS であれば使用できます。
- LMU、データベース、または構成の要求エラー : エラーにより、動的な再構成の続行が妨げられています。
- SCR UPDATE|AUDIT|SCR REDIS|MOVE|SLUADMIN ユーティリティーが現在実行されていて、動的な再構成の続行を妨げています。
- 不明 : 異常終了などの予期しないエラーが検出されました。

**システムの処理** : 動的再構成処理は終了します。

**ユーザーの処置** : 上記すべてのエラーについては、以下を除き、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

- オペレータ要求、またはタイムアウト : 応答する必要はありません。
- ACS を削除できない、または追加できない : 考えられる原因と対処法については、メッセージ SLS4423E を確認してください。
- ユーティリティーまたは機能がアクティブである : 考えられる原因と対処法については、メッセージ SLS4424E を確認してください。

**SLS4410I** CDS drive record for library location AA:LL:PP:NN marked as unconfigured

**説明：**次のいずれかの理由により、動的再構成はドライブレコードを未構成としてマークしました。1) トランSPORTは削除されたが、ドライブレコードを CDS から削除するための SLUADMIN が実行されていない、2) SLUADMIN を使用してドライブレコードが CDS に追加されたが、対応するトランSPORTがライブラリに接続されていない。

**システムの処理：**ドライブレコードは HSC の構成に残りますが、未構成としてマークされ、有効なタイプまたは記録技法は反映されません。これらは、「unconfg」（未構成）という状況とともに表示されます。

**ユーザーの処置：**トランSPORTが対応するライブラリ位置 ID に接続されるか、SLUADMIN により削除される（不要の場合）まで、ドライブは、未構成状態のままとなります。

**SLS4411I** Drive record AA:LL:PP:NN remains unconfigured, no changes made.

**説明：**動的再構成は、最後に行なった再構成または初期設定のときからドライブが未構成のままであると判断しました。

**システムの処理：**ドライブレコードは処理されません。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4412I** HSC deleted volume VVVVVV from CDS for unallocated [LSMid AA:LL | cell AA:LL:PP:RR:CC]

**説明：**パーティション処理を介して割り当て解除された LSM に残っている CDS で、ボリュームが検出されました。または、要求プロセスの容量から割り振られていないセルの中にボリュームが検出されました。

**システムの処理：**ボリュームは、CDS から削除されます。

**ユーザーの処置：**ボリュームは、割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられている新しいホスト（またはホストグループ）によって「所有」されます。新しいホストは、HSC の監査を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

**SLS4413I** HSC failed to delete volume VVVVVV from CDS for unallocated  
[LSMid AA:LL | cell AA:LL:PP:RR:CC] RC= RCRRCRC

**説明：**HSC は CDS からボリュームを削除しようとしたのですが、できませんでした。戻りコードが失敗の理由を識別しますが、最も可能性のある理由は、ボリュームを削除しようとしたときに別の処理でボリュームを使用していたことです。

**システムの処理：**ボリュームは CDS に残り、「アクセス不能」になります。

**ユーザーの処置：**パーティション分割処理または要求処理の容量が完了したら、ボリュームは割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられているホストによって「所有」されます。このホストは、HSC の監査を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

**SLS4414I** Initial configuration for LSM AA:LL, total cells nnnnn, free cells nnnnn

**説明：**LSM AA:LL に、初めての Config 検証が実行されました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、初期値が表示されます。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4415I** Configuration change for LSM AA:LL, total cells [unchanged | increased | decreased] by nnnnn, free cells [unchanged | increased | decreased] by nnnnn

**説明：**Config 検証を行なったところ、LSM AA:LL の構成が変更されていることがわかりました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、セルカウントの差異が表示されます。

**システムの処理：**処理は続行されます。

**ユーザーの処置：**なし

**SLS4416E** Config verification  
for LSM AA:LL found something unexpected [for the following  
panel(s):  
p1[, p2, ... ]]

**説明：** 指定位置 (AA:LL、p1、p2 など) の構成検証中、カートリッジが予期せぬ場所にあつたり、カートリッジがセル内にあるがデータベースのボリュームシリアル番号と一致しないなど、予期せぬしないことが検出されました。

**システムの処理：** 処理は続行されます。

**ユーザーの処置：** まず、検出された問題を突き止めるために、表示されているパネル位置について、AUDIT ユーティリティに APPLY(NO) を付けて実行してください。ボリュームの特定の情報を調べるには、VOLRPT ユーティリティを実行する必要がある場合もあります。問題解決の一環として、AUDIT ユーティリティに APPLY(YES) を設定して実行してもかまいません。問題が解決したら、FREEZE OFF を指定して SET ユーティリティを実行する必要がある場合もあります。

- 問題を突き止めて解決するには、APPLY(YES) で CDS に何らかの変更を加える前に、まず AUDIT に APPLY(NO) を設定して実行することをお勧めしています。
- 構成変更中に、パネルは最初「凍結」状態に設定されています。構成変更が完了したときに予期しないことが検出された場合、パネルは「凍結」状態のままになります。この場合、問題が解決したら、示された場所に対して FREEZE OFF を指定して SET ユーティリティを実行する必要があります。

**SLS4417E** Database I/O error (RC=xxxxxxx) occurred with *rectype* records during config verification

**説明：**

- VAR レコード：ボリュームとセル位置状況を確認するために、ボリューム情報を収集したところ、制御データセットエラーが発生しました。ボリューム情報がないと、config 検証中にボリューム位置を確認できません。
- DCX レコード：位置インデックスのレコードを更新中に、制御データセットエラーが発生しました。この処理は完了しませんでした。

**システムの処理：**

- VAR レコード：処理は続行されます。
- DCX レコード：Config 検証が終了します。

**ユーザーの処置：**

- VAR レコード：制御データセットのエラーの原因を特定し、解決してください。
- DCX レコード：制御データセットのエラーの原因を特定し、解決してください。MODIFY CONFIG コマンドで、構成を更新してください。

**SLS4418E** LMURQST error (RC=xxxxxxx) occurred during config verification;  
verification cannot continue

説明：構成検証中に、エラーコード *XXXXXXXX* で、LMU への要求が失敗しました。

システムの処理：構成検証が終了します。

ユーザーの処置：LMURQST エラーの原因を特定し、解決してください。MODIFY CONFIG コマンドで、構成を更新してください。

**SLS4419I** CAPid AA:LL:CC status changed from (UNALLOCATED|ONLINE|OFFLINE) to  
(OFFLINE|UNALLOCATED)

説明：再構成中、SL8500 または SL3000 ライブラリから、SLC コンソールの CAP 状況が変更されました。

システムの処理：HSC 構成が、ライブラリから CAP 変更内容を受け入れ、このメッセージに反映されました。

ユーザーの処置：なし

**SLS4420E** Invalid cell status *n* for cell location AA:LL:PP:RR:CC

説明：構成検証の処理中、指定した位置に LMU が未知または無効なセル位置の状況を返しました。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：不正なセル位置の状況コードの原因を究明してください。

**SLS4421E** No more invalid cell status messages will be displayed

説明：不正なセル状況メッセージが、複数表示されています。ハードウェアまたはソフトウェア、あるいはその両方に問題があるかもしれません。コンソールがメッセージで氾濫しないように、これ以上の不正なセル状況メッセージが制限されます。

システムの処理：: 処理は続行されます。

ユーザーの処置：不正なセル位置の状況コードの原因を究明してください。

## SLS4422E An abend occurred during config verification while CCC...CCC

**説明：**構成検証が、異常終了により終了しました。CCC...CCCは、異常終了時点にアクティブ段階にあった処理を表しています。

- 構成レコードの処理中：事前に定義されていた構成を確認するために、構成レコードが待ち行列に入れられています。
- ボリュームレコードの処理中：ライブラリ内のボリューム位置を確認するために、ボリュームレコードを処理中です。
- ライブラリ構成の取得中：ライブラリ内の各パネルの現行のハードウェア構成を、ライブラリハードウェアから取得中です。
- ライブラリ構成の検証中：事前に定義された構成を、ライブラリの現行のハードウェア構成と比較中です。
- 検証の最終処理中：構成検証の最終段階に入り、取得した記憶域などのクリーンアップを行なおうとしています。

**システムの処理：**構成検証が終了します。

**ユーザーの処置：**対処は、異常終了時点にアクティブ段階にあった処理によって異なります。まず、異常終了の原因を究明して訂正してください。次に、次に示すように、その段階の処理に合った対処を施してください。

- 構成レコードの処理中：構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ボリュームレコードの処理中：構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ライブラリ構成の取得中：構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ライブラリ構成の検証中：差異が見つかった場合は、構成レコードが更新されている可能性があります。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成の検証または更新を完了してください。
- 検証の最終処理中：構成検証で構成の更新が完了しました。追加で必要な作業はありません。

**SLS4423E** SLS4423E {ACS|ACSTYPE} {AA|SL8500|SL3000} cannot be {deleted|added}

**説明 :** DELETE ACS の場合、次のいずれかの理由で、ACS を削除できません。

- ACS に、SL8500 または SL3000 以外の LSM が含まれている。
- ACS が割り振られておらず、上位の ACS 識別子が付いた割り振り済みの ACS がある。
- その ACS は、その構成内に唯一割り振られた ACS である。

ADD ACSTYPE の場合、次のいずれかの理由で、ACS を追加できません。

- 新しい ACS も未割り振りの ACS もありません。
- 新しい ACS もなく、未割り振りの ACS も新しい ACS から作成されていない。

**システムの処理 :** なし。ACS ADD も DELETE も行なわれません。

**ユーザーの処置 :** FUTRACS が SLILIBRY マクロに指定されていることを確認するために、CDS 構成マクロを見直してください。

**SLS4424E** Reconfiguration cannot proceed, utilities or functions are active on host <host name>

**説明 :** ホスト (host name) で適格な SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC 機能がアクティブになっています。HSC 複合体内のホストで実行中のこれらのユーティリティーまたは機能とともに、NCO を実行することはできません。以下に、適格なユーティリティーと機能のリストを示します。

AUDIT	DISPLAY	LMUPDEF	SCRATCH	SENER	UNSELECT
CAPPREF	DRTEST	MODIFY/F	SCREDIST	SET	VIEW
CLEAN	EJECT	MOUNT	SCRDEF	SWITCH	VOLDEF
DISMOUNT	ENTER	MOVE	SCRPOOL	UNSCRATCH	WARN

**システムの処理 :** HOST が NCO のリフレッシュを試みていて、SET ユーティリティーが実行中である場合、ユーティリティーが完了するまでこのメッセージが 5 秒おきに繰り返され、続いて NCO REFRESH の処理が続行され、正常に完了するはずですが、NCO の更新で、適格なユーティリティーまたは機能がアクティブであることが検出されると、NCO の更新は失敗し、実行されません。

**ユーザーの処置:** このユーティリティーまたは機能をキャンセルするか、それが完了するのを待ってから、必要に応じて **Modify Config** または **Modify Config Update** コマンドを再発行してください。このメッセージが発行されたときに、実行中のユーティリティーや機能がない場合は、下記の手順に従ってください。

- 複合体で実行中の HSC 機能やユーティリティーがないことを確認します。
- **Display Status** コマンドを発行し、ユーティリティーや機能のカウンタが 0 より大きいかわかります。
- カウンタが 0 より大きい場合は、**F CONFIG RESET** コマンドを発行します。
- **CONFIG RESET** 機能が完了したら操作を再開します。

**SLS4425E** LMU panel count for LSM {AA:LL} exceeds maximum panel count allowed in CDS. Reconfiguration cannot proceed

**説明:** SL8500 の動的再構成中に、指定した LSM のパネルカウントを付けて LMU が応答しましたが、指定した CDS LSM レコードの最大パネルカウントを超えています。DISPLAY CDS 内の CREATE フィールドが I825061 と同等の場合は、SL8500 の現行 CDS 内の最大パネル数は、LSM あたり 44 パネルです。

**システムの処理:** NCO 更新は実行されません。

**ユーザーの処置:** I813156 の最小レベルで、新しい CDS を作成する必要があります。新しい CDS を作成したら、I825061 CDS から I813156 CDS までの MERGECDS を完了させてください。MERGECDS が完了したら、MODIFY CONFIG コマンドがハードウェアの動的再構成を開始します。

**SLS4451I** Drive records are inconsistent with the CDS for LSM AA:LL; ACS disconnected

**説明:** CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードが矛盾していることが検出されました。これはおそらく SET SLIDRIVS ユーティリティーによるものです。

**システムの処理:** 影響のある ACS は切断されます。

**ユーザーの処置:** ホストがリサイクルされるまで、ACS を切断したままにしてください。

**SLS4453I** Logically deleted record found on CDS for DRIVEID AA:LL:PP:NN

**説明:** SET SLIDRIVS によって CDS 内のドライブレコードが削除されました。

**システムの処理:** LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。続くメッセージで、どちらの処理が行なわれるかが示されます。

**ユーザーの処置:** ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードをリフレッシュしてください。

**SLS4454I** {Unit address|DRIVEID} does not match CDS for HSC {drive  
XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}

**説明** : SET SLIDRIVS ユーティリティーによって CDS ドライブレコードが変更され、HSC メモリー内のコピーと矛盾した状態になりました。

**システムの処理** : LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。続くメッセージで、どちらの処理が行なわれるかが示されます。

**ユーザーの処置** : ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードをリフレッシュしてください。

**SLS4455E** Unexpected FIGMGR return code *NNNN* during Configuration processing

**説明** : 構成処理中に、FIGMGR サービスから予期しない戻りコードを受け取りました。

**システムの処理** : HSC は終了します。

**ユーザーの処置** : オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

**SLS4456I** Library configuration changes pending on HHHHHHHH

**説明** : ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

**システムの処理** : 構成の変更は続けられます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS4457E** Down level host found active when attempting to change library configuration

**説明** : ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できません。

**システムの処理** : 構成変更は実行されません。

**ユーザーの処置** : すべてのダウンレベルのホストがアクティブでないことを確認してから、NCO の構成を再開してください。

## **SLS4458E** Library configuration changes in progress on HHHHHHHH

**説明**：ホスト HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

**システムの処理**：構成変更はすでに実行中であるため、改めて実行されません。また、NCO が進行中であるため、一部のユーティリティーも実行されません。

**ユーザーの処置**：NCO の構成が完了するのを待ってから、必要に応じて再開してください。場合によっては、NCO は要求を待ち行列に入れ、NCO が完了したときに待ち行列を処理します。

ただし、SL3000 ACS のさまざまなオンライン時間で、NCO の更新が開始されない可能性があります。SL3000 で開始された NCO の表示内容は、その ACS の CAP 状況になるはずですが、特定の SL3000 ACS の HSC ログ内に、オンラインで変化した cap 状態がない場合は、次のオペレータコマンドを発行して ACS を更新する必要があります。

```
MODIFY CONFIG UPDATE ACS(NN)
```

これは、NCO REFRESH の間にオンラインで変化があった、新規に追加した SL8500 にも該当する場合があります。

場合によっては、REFRESH 側ホストが失敗したり、オペレータから CANCEL される場合もあります。ホスト (HHHHHHHH) が応答中でない場合、RECOVER host コマンド (FORCE オプションを指定) が必要となることがあります。FORCE オプションを使用する前に『HSC オペレータガイド』を参照してください。RECOVER HOST コマンドが必要であれば、MODIFY CONFIG RESET コマンドも必要な場合があります。DISPLAY CDS コマンドにより、NCO REFRESH をまだ完了していない HOST の REFRESH ビットマップが表示されます。

## **SLS4459I** Library configuration changes started

**説明**：このホストで、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が開始されました。

**システムの処理**：構成の変更は続けられます。

**ユーザーの処置**：なし

## **SLS4460I** Library configuration changes complete on HHHHHHHH

**説明**：ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が完了しました。

**システムの処理**：構成の変更は完了しました。

**ユーザーの処置**：なし

- SLS4461I** Library configuration changes in progress when HSC went down, configuration restarted
- 説明：HSC が停止したとき、このホストで Near Continuous Operation (NCO) のライブラリー構成変更が進行中でした。構成は再開しようとしています。
- システムの処理：構成の変更は続けられます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS4462I** Library configuration refresh started
- 説明：ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリー構成変更が、このホストで同期化中です。
- システムの処理：構成変更のリフレッシュが開始されました。
- ユーザーの処置：なし
- SLS4463I** Library configuration refresh complete
- 説明：ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリー構成変更が、このホストで同期化されました。
- システムの処理：構成変更のリフレッシュは完了しました。
- ユーザーの処置：なし
- SLS4464E** Library configuration XXXXXXXX aborted on HHHHHHHH
- 説明：ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリー構成 (「UPDATE」または「REFRESH」) が失敗しました。
- システムの処理：構成変更は、正常な完了に失敗しました。
- ユーザーの処置：失敗の理由については、前のメッセージを参照してください。不一致を訂正してから、NCO の構成を再実行してください。
- SLS4465I** Library configuration flags Reset complete
- 説明：MODIFY CONFIG RESET コマンドにより要求されたため、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリー構成の CDS フラグがリセットされました。
- システムの処理：構成変更のフラグは CDS でリセットされます。
- ユーザーの処置：なし

**SLS4466I** Library configuration flags not set, Reset not required

説明：Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成の CDS フラグが設定されていないため、MODIFY CONFIG RESET コマンドにより要求されたリセットは不要でした。MODIFY CONFIG RESET コマンドは、再構成を実行しようとしません。再構成を実行するには、MODIFY CONFIG コマンドを発行します。

システムの処理：MODIFY CONFIG RESET コマンドは完了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4467E** Down level CDS active, library configuration canceled

説明：ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できません。6.1.0 の CDS が必要です。

システムの処理：構成変更は実行されません。

ユーザーの処置：6.1.0 CDS でライブラリ生成処理を行ない、MERGECDS ユーティリティを実行して NCO を使用可能にします。

**SLS4468I** Library configuration util/func counters reset

説明：Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成ユーティリティおよび機能がリセットされました。

システムの処理：Modify Config Reset 機能は完了するまで続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS4469I** Library configuration initialization complete

説明：すべての ACS に対してライブラリ構成の HSC 初期化処理が完了しました。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4500I** YYYY-MM-DD, HH:MM:SS HSC subsystem SSSS active on hostid HHHH

説明：HSC が BASE サービスレベルに初期化された後で、さらに新しい日付けが午前 0 時に始まる際に発行されます。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4550E** Number of drive addresses is not consistent with previous SLIDRIVS for this panel

**説明 :** SLIDRIVS マクロのドライブアドレスの数が、同じパネルの前の SLIDRIVS マクロのアドレスの数と一致しません。

**システムの処理 :** 処理は続行されます。戻りコード 08 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** 不正な SLIDRIVS マクロのアドレスの数を修正し、LIBGEN のアセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS4551I** The LIBSIZE parameter has been discontinued and is ignored; it should be removed

**説明 :** LIBSIZE パラメータはすでに使用されていません。

**システムの処理 :** LIBGEN のアセンブリーは通常どおりに続行し、結果の LIBGEN モジュールは影響を受けません。

**ユーザーの処置 :** 都合のよいときに LIBSIZE パラメータを SLILIBRY マクロから削除します。LIBGEN のアセンブリーを再実行する必要はありません。

**SLS4552I** The minimum number of 4K blocks required for the CDS is DDDDD

**説明 :** 計算された CDS ブロックの最小数が報告されます。LIBGEN 構成のための CDS の最小サイズを報告させるだけの場合は、CDS DD ステートメントを含めずに SLICREAT を実行できます。

**システムの処理 :** なし

**ユーザーの処置 :** SLICREAT で初期化する前に、計算された値を使用して CDS のコピーを割り振ってください。

**SLS4553E** Number of drives on panel panel\_label in LSM lsm\_label is invalid; it should be 4, 8, 10, 12, 16, 20, 24, or 32

**説明 :** 示されたパネルで定義されたドライブの数が、そのパネルタイプで許容される数と一致しません。各 LSM で許容される (パネルタイプに応じた) ドライブの数:

4310 - 4、10、または 20

9310 - 4、10、または 20

9360 - 4

9740 - 4 または 10

8500 - 4、8、12、または 16

3000 - 4、8、12、16、24、または 32

**システムの処理 :** 処理は続行されます。戻りコード 12 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** エラーを修正し、LIBGEN アセンブリーを再サブミットしてください。

**SLS4554E** The LIBGEN load module release level is inconsistent with the SLICREAT release level

**説明**：互換性のない HSC リリースの LIBGEN マクロを使用して作成された SLICREAT が、LIBGEN ロードモジュールで実行されました。

**システムの処理**：SLICREAT 処理は終了します。戻りコード 0C が設定されます。

**ユーザーの処置**：SLICREAT ソフトウェアと同じ HSC リリースの MACLIB を使用して、LIBGEN ロードモジュールを再作成してください。

**SLS4555E** Missing DD or invalid file allocation for DDname CCCCCCCC

**説明**：SLICREAT は、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを検出できなかったか、または割り振れませんでした。

**システムの処理**：DD が SLSCNTL であるか、または PARM='STBYONLY' を指定した場合、戻りコード 12 が設定され、SLICREAT 処理が終了します。そのほかの場合は戻りコード 4 が設定され、処理が続行されます。

**ユーザーの処置**：DD 名が制御データセット (SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY) の場合は、ファイルの割り振りをチェックして、データセットが複数のエクステントを持たないこと、ブロックサイズが指定されていないか 4096 のブロックサイズが指定されていること、およびデータ編成が DA か PS であることを確認してください。ファイル割り振りを訂正して、すべての予期される DD 文とともに SLICREAT プログラムを戻します。

制御データセットの作成については、『*HSC 構成ガイド*』を参照してください。

**SLS4556E** Unable to create dataset for DDname CCCCCCCC

**説明**：SLICREAT は、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを作成できませんでした。

**システムの処理**：DD 名が SLSCNTL の場合は、戻りコード 12 が設定され、SLICREAT 処理が終了します。LIBGEN でジャーナル処理が指定されており、ジャーナルファイルが作成できなかった場合は、戻りコード 8 が設定されます。STBYONLY 処理の場合、SLICREAT は戻りコード 12 で終了します。そのほかの場合は戻りコード 4 が設定されます。

**ユーザーの処置**：ジョブからのほかのメッセージがないかチェックして、見つかった問題箇所を訂正し、SLICREAT ジョブを再サブミットするか、またはデータセットを削除して再定義してから、SLICREAT ジョブを再サブミットしてください。実行記録ファイルのみをフォーマットするには、すべての制御データセット DD 文と、再フォーマットしないジャーナル DD 文を削除して、SLICREAT ジョブを再サブミットします。制御データセットの作成については、『*HSC 構成ガイド*』を参照してください。

**SLS4557I** SLSCNTL DD not found, control dataset(s) not formatted

説明：SLICREAT は SLSCNTL DD 文を見つけられませんでした。

システムの処理：SLICREAT は制御データセットをフォーマットしません。必要な CDS サイズが計算され、報告されます。ジャーナルデータセットがフォーマットされて、処理が続行します。

STBYONLY 処理の場合、SLICREAT は戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4558E** CDS size could not be calculated

説明：SLICREAT は要求された CDS のサイズを計算できませんでした。

システムの処理：SLICREAT 処理は戻りコード 12 で終了します。

ユーザーの処置：SLICREAT によって出たエラーメッセージをすべてチェックし、示された問題を修正してください。

**SLS4559I** Additional control dataset successfully created

説明：SLICREAT は STBYONLY 要求を正常に処理し、追加の CDS を作成しました。

システムの処理：SLICREAT 処理は戻りコード 0 で終了します。

ユーザーの処置：なし

**SLS4560E** A CCCC LSM may not be connected to a CCCC LSM

説明：LIBGEN が異なる 2 種類の LSM 接続を検出しました。9740 LSM は 9740 LSM にのみ接続でき、8500 LSM は 8500 LSM にのみ接続できます。

システムの処理：処理は続行されます。戻りコード 0C が設定されます。

ユーザーの処置：エラーを起こした SLILSM マクロを修正し、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS4561E** Dataset specified by *CCCCCCC1* is an existing or CDS dataset; *CCCCCCC2* dataset not formatted

**説明 :** SLICREAT は *CCCCCCC1* DD 文で指定された既存のデータセットを識別しました。CCCCCCC2 は、処理されるデータセットが、制御またはジャーナルのいずれのタイプかを示します。制御データセットの場合、SLICREAT は既存のデータセットをフォーマットしません。ジャーナルデータセットの場合、SLICREAT は既存の CDS データセットをフォーマットしません。フォーマットされる前に、SLICREAT によっていずれかの出力ファイルにレコードが含まれていることが判別された場合、このメッセージが出されます。SLSJRNnn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

**システムの処理 :** DD 文が制御データセットの場合、データセットは1つもフォーマットされず、SLICREAT 処理が終了します。DD 文がジャーナルデータセットである場合、制御データセット (指定されている場合) と有効なジャーナルファイルがフォーマットされます。そのほかの場合は戻りコード 12 が設定されます。

**ユーザーの処置 :** 別のデータセットを割り当てるか、または指定されたデータセットを削除してから再定義し、SLICREAT を再実行してください。制御データセットの作成については、『HSC 構成ガイド』の第 5 章「制御データセットの初期設定」を参照してください。

**SLS4562D** *DDDDDDDD NNNNNNNN* is an existing CDS; reply "YES" if the CDS can be overwritten

**説明 :** SLICREAT は、*DDDDDDDD* DD 文で指定された既存の CDS データセット *NNNNNNNN* を識別しました。

フォーマットされる前に、SLICREAT によっていずれかの出力ファイルにレコードが含まれていることが判別された場合、このメッセージが出されます。SLSJRNnn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

このメッセージは、VM/HSC のみで出されます。

**システムの処理 :** SLICREAT は、オペレータの応答を待ちます。

**ユーザーの処置 :** データセットを上書きしてよい場合は「YES」と応答します。

: それ以外の応答を返した場合、SLICREAT 処理は終了します。SLICREAT SYSPRINT 出力メッセージに SLS4561E が記録されます。

**SLS4563E** The SMC is required for JES3; Start the SMC and resubmit the utility

**説明** : SLIVERFY が正しい JES3 マクロオフセットを見つけて HSC ライブラリのデバイスアドレスを実際のシステムデバイスと比較するためには、SMC が必要です。

**システムの処理** : SLIVERFY 処理は終了します。戻りコード 08 が設定されます。

**ユーザーの処置** : SMC を開始して、SLIVERFY ユーティリティーを再サブミットしてください。

**SLS4564E** Invalid ACS found; Number of SL8500 LSMs must be divisible by four.

**説明** : SL8500 LSM を含んだ ACS が見つかりました。この ACS に定義されている LSM 数は、4 で割り切れません。

**システムの処理** : SLICREAT 処理は終了します。

**ユーザーの処置** : 構成ファイルを訂正してください。LIBGEN と SLICREAT ユーティリティーを再実行してください。

**SLS4600E** A NON-SL8500 LSM CONFLICTS WITH SLIACS SPECIFICATION OF FUTRLSM

**説明** : LIBGEN が、SL8500 LSM 以外を含み、SLIACS マクロに FUTRLSM パラメーターも指定した ACS を検出しました。FUTRLSM は、SL8500 ACS にしか指定できません。

**システムの処理** : 処理は続行されます。戻りコード 0C が設定されます。

**ユーザーの処置** : FUTRLSM パラメータを削除してエラー内の SLIACS マクロを訂正し、このジョブを再サブミットしてください。

**SLS4601E** FUTRLSM COUNT PARAMETER MUST BE A MULTIPLE OF 4

**説明** : LIBGEN は SL8500 ACS について、ACS の FUTRLSM パラメータで指定された値が 4 の倍数でないことを検出しました。Sun StorageTek は、FUTRLSM パラメータを指定するときには、新しい LSM の数を、その ACS のために計画された LSM の数と同じにすることを勧めます。

**システムの処理** : 処理は続行されます。戻りコード 0C が設定されます。

**ユーザーの処置** : FUTRLSM の数の指定を修正し、ジョブを再サブミットしてください。

**SLS4602I** Drive records are inconsistent with the CDS for LSM AA:LL; LSM will remain offline

**説明** : LSM をオンラインに変更しようとしたときに、CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードが矛盾していることが検出されました。これはおそらく SET SLIDRIVS ユーティリティーによるものです。

**システムの処理** : LSM はオフラインのままにされます。

**ユーザーの処置** : ホストがリサイクルされるまで、LSM をオフラインのままにしてください。

## SLS4610I Hardware Exception Status:

説明 : HSC ハードウェア例外です。

このコマンドにより、LMU と、LSM、CAP、ロボットハンド、パススルーポート、およびステーションのそれぞれについてハードウェア状況を LMU に照会します。エラーは、次の形式でレポートされます。

LSM *AA:LL* error message, or  
*AA:LL:CC* error message

ここで、*AA* は ACS、*LL* は LSM、そして *CC* は CAP 識別子です。次のエラーメッセージがあります。

- CAP Not Allocated: これは CAP が別のパーティションに属していることを意味します。
- CAP Not Installed: これは CAP が物理的にインストールされていないことを意味します。
- CAP が動作不能です。
- CAP Door is Open
- CAP Door is Unlocked
- CAP is Reserved by Partition *nnn* Host *nn*: Display ACS コマンドを使用して ACS の現在のパーティション ID を確認し、Display CDS コマンドを使用してホストを表示してください。
- Pass Thru Port is Inoperative
- Robot Hand is Inoperative
- Robot Hand needs Maintenance
- LSM is Not Ready
- LSM is Offline
- LSM is Offline Pending
- LSM is in Maint Mode
- LSM Door is Open
- CAP status not Available for this LSM
- LMU Compat 10 or less; not all functions supported: LMU は、マイクロコードが更新されないかぎり、状況照会のいくつかに正しく応答することができません。この状況は、SLS4610I の直前に SLS0662I LMU 応答エラーの発行も引き起こします。
- Station *nn* has Inactive Connection: LMU へのハードウェア接続が利用できません。これは接続が確立されておらず、不要な場合は、正常な設定です。ステーション番号は 16 進数であるため、Station 0A は 10 番目のステーションであり、Station 10 は実際には 16 番目になります。

- Station *nm* Inoperative; Host not responding: ステーション番号は 16 進数であるため、Station 0A は 10 番目のステーションであり、Station 10 は実際には 16 番目になります。

次はメッセージの一覧です。

- No CAP problems were detected
- No Pass Thru Port problems were detected
- No Robot Hand problems were detected
- No LSM problems were detected
- No Station problems were detected

これらの結果は、単に LMU がハードウェアエラーを検出しなかったにすぎないことに注意してください。ソフトウェアの設定で何かが間違っているか、LMU が検出できなかった可能性があります。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

### SLS4633I Display Drives Command

```

DRIVE  LOCATION  VOLSER  STATUS  MODEL  MEDIA or
DRIVE  LOC/SLOT  VOLSER  STATUS  MODEL  MEDIA
UUUU   LLLLLLLLLL volser  SSSSSSSS 0000  MM...MM
or
DRIVE  LOCATION  MODEL  WORLD WIDE NAME  SERIAL NUMBER
UUUU  LLLLLLLLLLLL 0000  XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX NN...NN

```

説明：これは、Display DRives コマンドの DETail または IDentity オプションに対する応答として表示されるメッセージです。DETail に表示される内容は、LIBGEN エソテリックによって定義されたドライブの状況および関連情報です。IDentity に表示される内容は、トランスポートの識別に関連する LMU 情報です。表示される内容は次のとおりです。

#### UUUU

ドライブ ID。4 文字のドライブ ID (装置アドレス) です。

#### LLLLLLLLLLLL

ドライブ位置の AA:LL:PP:NN、スロット付きのドライブ位置の AA:LL:PP/SS、または NONLIB (ライブラリなし) です。

#### volser

ボリュームシリアル番号、または HSC がボリュームシリアル番号を特定できない場合は「?」です。

#### SSSSSSSS

ドライブの状況です。ドライブの状況は次のとおりです。

- On drive
- Dismount

- Mounting
- Not rdy
- Offline
- Online
- (ブランク)

**0000**

ドライブのモデルです。

**MMMMMMMMMMMMMMMM**

UNITATTR 文で指定または省略時値とされている、このドライブによってサポートされるメディアタイプです。UNITATTR がない場合は、サポートされるメディアは、LMU および UCB デバイスのタイプ (またはそのいずれか) によって判別されます。このドライブにマウントされているカートリッジのメディアタイプは反映されません。



注：ドライブのメディアタイプが判別できない場合は、メディアタイプの欄は空白になります。

**XXXXXXXXXXXXXXXXXX**

このトランスポートに割り当てられているワールド・ワイドネーム。

**NNNNNNNNNNNNNNNNNN**

トランスポートシリアル番号。

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4634I** Journal command is invalid when Journaling Technique is not enabled

説明：Journal コマンドが入力されましたが、CDS 実行記録技法は使用可能ではありません。

システムの処理：コマンドは実行されません。

ユーザーの処置：なし

**SLS4639I** CCCCCCCC command is no longer supported

CCCCCCCC コマンドは HSC によってサポートされなくなりました。この機能は HSC 製品から削除されています。

システムの処理：処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの処置：なし。メッセージが HSC PARMLIB 処理の一部として生成された場合は、問題となっているコマンドを HSC PARMLIB から削除してください。

**SLS4640I** ALLOC *pppppppp* is no longer supported. Use SMC commands.

**説明 :** ALLOC パラメータ *pppppppp* は、HSC でサポートされなくなりました。機能は SMC 製品に移行されています。この機能の制御には SMC コマンドを使用します。

**システムの処理 :** コマンドは、パラメータの処理を続行します。サポートされていない ALLOC パラメータは無視されます。

**ユーザーの処置 :** SMC コマンドを使用して、作業を制御してください。

**SLS4641I** {ALLOC|MNTD} *pppppppp* is supported only for downlevel SMC compatibility

**説明 :** 指定された ALLOC または MNTD コマンドのパラメータ *pppppppp* は、下位レベル SMC クライアントをサポートする場合にのみ、HSC で有効です。現行レベルの SMC システムがこの HSC とのインタフェースを実行する場合、このオプションを制御するには、SMC の、それぞれに対応する ALLOCDEF または MOUNTDEF コマンドを使用します。

**システムの処理 :** コマンドは、パラメータの処理を続行します。指定された ALLOC または MNTD コマンドのパラメータは、下位レベル SMC システムの場合は更新されますが、現行レベルの SMC システムの場合は処理に反映されません。

**ユーザーの処置 :** 現行 SMC システムでオプションを指定して処理を制御するには、SMC の、それぞれに対応する ALLOCDEF または MOUNTDEF コマンドを使用してください。

**SLS4642I** TREQDEF is supported only for downlevel SMC compatibility

**説明 :** TAPEREQ 定義をロードするための TREQDEF コマンドは、下位レベル SMC クライアントをサポートする場合にのみ、HSC で有効です。現行レベルの SMC システムがこの HSC とのインターフェースを実行する場合、これらの定義をロードするには、SMC の、対応する TREQDEF コマンドを使用します。

**システムの処理 :** コマンドは、処理を続行します。TAPEREQ 定義は HSC にロードされますが、下位レベル SMC システムが要求する場合にのみ使用されます。

**ユーザーの処置 :** SMC システムに TAPEREQ 定義をロードするには、SMC の、対応する TREQDEF コマンドを使用してください。

**SLS4643I** {CAPREF} rejected; AUTO CAP services are not supported on a PARTITIONED ACS

**説明 :** AUTO CAP 機能は、パーティション済み ACS にはサポートされていません。この ACS では、CAP を AUTO モードにすることはできません。

**システムの処理 :** このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置 :** この ACS では、AUTO CAP 機能を使用しなければ、HSC は処理を継続できます。

この ACS で AUTO CAP 機能を使用するには、ACS をパーティションしてはなりません。

**SLS4650E** This HSC release does not support Host/LMU Interface compatibility level *NN* at LMU station *XXXX*

説明：この HSC リリースは、LMU 端末 *XXXX* から返された Host/LMU インタフェース互換性レベル *NN* をサポートしません。

システムの処理：LMU はオンラインに変更されません。

ユーザーの処置：StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。この HSC リリースと互換性がある LMU に LMU マイクロコードレベルをインストールしてください。

**SLS4682D** ORH: EXTEND OR ABORT? ACS *AA*, SEQNO *BBCCC*, *CCC1*, *CCC2*, *volser*

説明：HSC が、応答待機時間間隔を過ぎた要求に対するシステムオペレータの処置を求めています。この要求の前に、メッセージ SLS068II が出されます。

<i>AA</i>	ACSid
<i>BB</i>	host-id
<i>CCC</i>	要求通し番号 (アクティブ要求待ち行列にない場合は欠落)
<i>CCC1</i>	要求が応答を待っている問い合わせ。次のものがあります。 <b>ACT</b> アクティブ要求待ち行列 <b>WTG</b> 待機要求待ち行列 <b>TMP</b> 一時停止待ち行列
<i>CCC2</i>	要求の種類。次のものがあります。 <b>DMT</b> ディスマウント <b>MNT</b> マウント <b>MOV</b> 移動 <b>SWP</b> スワップ
<i>volser</i>	カートリッジのボリュームシリアル番号

システムの処理：タスクは、オペレータが応答を入力するのを待ちます。

ユーザーの処置：次に示す単語の最初の 1 文字以上を応答として入力できます。

EXTEND	HSC は、LMU がこの要求を処理できるように、再び同じ応答待機時間間隔だけ待機します。与えられた LMU 要求に対して始めに SLS4682D が出る場合は、EXTEND を応答することを推奨します (各 LMU 要求は、一意の SEQNO によって識別されます)。また、デュアル LMU 切り替えが生じる場合も EXTEND を応答することを推奨します。
ABORT	HSC は選択されたボリュームを解放して、オペレータが手動で指定変更コマンドを入力してカートリッジを移動できるようにします。ABORT は HSC 内部問い合わせからこの要求を除去します。ABORT を応答した場合は、手動で処理する必要が生じることになります。ABORT を応答した場合は、SVCDUMP も生成します。LMU が再度初期化された場合や、前に要求が延長された場合は、ABORT で応答することをお勧めします。

**SLS4701E** Command not allowed from {COMMAND|UTILITY}

**説明**：ユーティリティーからのみ有効な UUI 要求がオペレータコマンドを介して入力されたか、オペレータコマンドからのみ有効な UUI 要求がユーティリティーを介して入力されました。

**システムの処理**：なし

**ユーザーの処置**：要求されたソースから UUI 要求を再入力してください。

**SLS4702E** Command not valid for {HSC|VTCS} source

**説明**：VTCS 機能用の UUI 要求が SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC コマンドを介してサブミットされたか、HSC 機能用の UUI 要求が SWSADMIN ユーティリティーまたは VT コマンドを介してサブミットされました。

**システムの処理**：要求は処理されません。

**ユーザーの処置**：適切なソースから要求を再サブミットしてください。

**SLS4703E** XML response format error

**説明**：XML 出力を特定した UUI 要求が入力されました。要求によって生成された XML 出力に異常がありました。

**システムの処理**：処理を継続しましたが、出力 XML にエラーがあります。

**ユーザーの処置**：すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4704E** UII callback exit not specified

**説明** : 有効なコールバック出口の種類 (テキスト、XML、または CSV) を指定していない UII 要求がサブミットされました。

**システムの処理** : 要求は処理されません。

**ユーザーの処置** : 有効なコールバック出口を指定している UII 要求を再サブミットしてください。

**SLS4705E** Completion code XXXX reason XXXXXXXX loading module CCCCCCCC

**説明** : VTCS 機能用に UII 要求が入力されましたが、要求モジュールをロードできませんでした。LOAD エラーから戻りコードと理由コードが列挙されます。

**システムの処理** : 要求は処理されません。

**ユーザーの処置** : エラーの原因を見直して修正し、要求を再サブミットしてください。

**SLS4706E** VSM not active or VTCS load library missing

**説明** : VTCS 機能用に UII 要求がサブミットされましたが、VTCS が非アクティブか VTCS 機能のロードモジュールをロードできませんでした。

**システムの処理** : UII 要求は処理されません。

**ユーザーの処置** : メッセージが SMC Route コマンドに対する応答として表示される場合、要求された「宛先」LIBRARY がローカルかリモートかを確認してください。LIBRARY がローカルの場合は、VTCS リンクライブラリを SMC サブシステムの STEPLIB 連結に追加してください。LIBRARY がリモートの場合は、HSC を実行しているホストにある HTTP サーバの STEPLIB 連結に VTCS リンクライブラリを追加してください。要求が VTCS サブシステムサービスを必要とする場合は、VTCS がアクティブであることを確認して要求を再サブミットしてください。要求が報告機能用である場合は、VTCS ロードモジュールがアクセス可能なロードライブラリで利用できることを確認してください。

**SLS4707E** Inconsistent CSV parameters

**説明** : CSV コールバック出口を指定した UII 要求が入力されましたが、CSV テンプレートデータはありませんでした。

**システムの処理** : 要求は処理されません。

**ユーザーの処置** : UII 要求を修正して、再サブミットしてください。

**SLS4708E** CSV tag name format error

**説明** : 関連する CSV 入力テンプレートを持つ UI 要求がサブMITされました。次のエラーの 1 つが、CSV 入力テンプレートで検出されました。

- 入力テンプレートの長さが、CSV 入力テンプレートの最大許容長さ (4096) を越えています。
- コロン区切りが 1 つ以上ある CSV 記述子要素が検出されました。
- CSV 記述子要素の下付き文字部分の形式が無効か、下付き文字の値が最大値 (255) を越えています。
- 指定されたタグ名の長さがタグ名の最大長さ (32) を越えているか、タグ名が省略されています。
- 下付き文字が、同じ CSV 記述子要素のヘッダータグ (親) とデータタグの両方に指定されました。

**システムの処理** : UI 要求は処理されません。

**ユーザーの処置** : UI CSV 入力テンプレートの形式を修正し、要求を再サブMITしてください。

**SLS4709E** Error processing CCCCCCCC DD; {I/O error|statement exceeds maximum length|statement format error

**説明** : SLUADMIN ユーティリティーまたは SWSADMIN ユーティリティーを介して UI 要求が入力され、CCCCCCCC DD 制御文の処理でエラーが検出しました。

**システムの処理** : CCCCCCCC DD からの入力文は、処理されません。

**ユーザーの処置** : 示された DD の入力文を修正し、ジョブを再サブMITしてください。

**SLS4723I** Volume VVVVVV used after SLUCONDB TTTTTT time

**説明** : VVVVVV 物理ボリュームまたは仮想ボリュームはスクラッチ選択の候補でした。選択した、物理ボリュームの日時、または VTV の最終使用日時が、SLUCONDB の実行が開始された日時よりあとであったか、SMC または DFSMSrmm からのスクラッチ抽出時刻よりあとでした。

TTTTTT は開始時刻または抽出時刻のいずれかです。

**システムの処理** : ボリュームはスクラッチのために選択されていません。ボリュームがテープ管理システムでスクラッチ状態にある場合、後続のスクラッチ同期によってボリュームがスクラッチされます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS4736E** Incompatible HSC found active on HOST HHHHHHHH

**説明**：初期化中に、互換性のない HSC レベルが示されたホストで実行されていることを HSC が検出しました。最も可能性の高い原因は、共存 PTF を適用せずに前のリリースを実行していたことです。

**システムの処理**：HSC は終了します。

**ユーザーの処置**：示されたホストの HSC を終了し、互換性のあるレベルの HSC で再初期化してください。

**SLS4737E** CDS directory recovery operation failed

**説明**：データベースディレクトリを再作成しようとしたが、エラーが発生して続行できなくなりました。

**システムの処理**：SVC ダンプが取られた後、HSC またはユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置**：バックアップから CDS を復元してください。ダンプを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4738I** CDS CCCC...CCCC disabled; inconsistent copy flag found on

**説明**：初期化中、またはデータベースの予約中に、部分的に完了した CDS マージ、コピー、またはそのほかの処理の結果と矛盾する CDS のコピーが見つかりました。

**システムの処理**：矛盾するコピーは使用不可になります。

**ユーザーの処置**：この CDS を強制的に有効なコピーと同期できるようにしてください。

**SLS4739E** Cannot enable new CDS *CCCC...CCCC1*; *CCCCCCCC2*

**説明：**CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット *CCCC...CCCC1* をアクティブにする試行は、データセットが不明であるか、CDS コピーとしての利用に適切でないため、失敗しました。*CCCCCCCC2* は次のいずれかの理由です。

Invalid BLKSIZE (BLKSIZE は 4096 である必要があります)  
Invalid DSORG (DSORG は PS である必要があります)  
More than one extent  
Invalid UCB type (データセットは DASD にある必要があります)  
Could not obtain VTOC info

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**名前を変えた既存の CDS コピーをアクティブ化する場合は、データセット名の変更が適切であること、および DS*n* パラメータが CDs Enable コマンドで正しく指定されていることを確認してください。新しい CDS コピーを再配置しようとして、理由が「Could not obtain VTOC info」である場合は、DS*n*、NEWLoc、NEWVol、NEWUnit のすべてまたは一部のパラメータが喪失しているか、正しく指定されていない可能性があります。そのほかの理由についてはすべて、DS*n* パラメータがデータセットを正しく指定している場合は、そのデータセットは CDS として使用するには不適切であるため、適切な属性を持つ新しい CDS データセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

**SLS4740E** New CDS *CCCC...CCCC* is of insufficient size; capacity is *DDD1* blocks, required capacity is *DDD2* blocks

**説明：**CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット *CCCC...CCCC* をアクティブにする試行は、データセットが十分な大きさでないため、失敗しました。*DDD1* の 4096 バイトのブロックのみを持つことができますが、現在の CDS には少なくとも *DDD2* ブロックが必要です。

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**より大きな新しい CDS データセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

**SLS4741E** BSAM Open failed for new CDS *CCCC...CCCC*

**説明：**CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット *CCCC...CCCC* をアクティブにする試行は、初期化中に失敗しました。BSAM Open 操作は失敗しました。

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4742E** BSAM Write failed for new CDS CCCC...CCCC, block DDDD

**説明：**CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC をアクティブにする試行は、初期化中に失敗しました。BSAM の書き込み作業は、ブロック番号 DDDD の書き込みに失敗しました。

**システムの処理：**HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

**ユーザーの処置：**エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。永続的な入出力エラーである場合は、新しい CDS データセットを削除し、再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4743I** CDS EXpand failed, block count not greater than current size.

**説明：**アクティブな CDS の拡張が試行されましたが、HSC は CDS の現在のサイズに変更はないと判断しました。

**システムの処理：**CDS EXpand は失敗します。

**ユーザーの処置：**より大きく新しいブロックサイズの CDS を割り振ってください。新しくサイズ変更した CDS に CDS Enable コマンドを発行してから、CDS EXpand コマンドを発行してください。

**SLS4744E** Expand of the Secondary CDS has failed.

**説明：**CDS EXpand でプライマリ CDS の読み取りおよびセカンダリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

**システムの処理：**CDS Expand コマンドが終了します。

**ユーザーの処置：**データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

**SLS4745E** Expand of Primary CDS has failed.

**説明：**CDS EXpand でプライマリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

**システムの処理：**CDS Expand コマンドが終了します。

**ユーザーの処置：**データベース I/O エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

**SLS4746E** Copies to Primary/Standby CDS have failed.

**説明：**プライマリ、またはスタンバイのいずれかの CDS へのセカンダリ CDS のコピーでエラーが発生しました。プライマリまたはスタンバイ CDS の状況を断定できません。

**システムの処理：**CDS Expand コマンドが終了します。

**ユーザーの処置：**データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

**SLS4747E** CDS DALM updates encountered an error.

**説明：**プライマリまたはセカンダリのいずれかの CDS への DALM レコードの更新でエラーが発生しました。DALM レコードの状況を断定できません。

**システムの処理：**CDS Expand コマンドが終了します。

**ユーザーの処置：**データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

**SLS4748I** CDS EXpand has completed successfully.

**説明：**すべての CDS に、新しいデータベースのサイズが反映されました。

**システムの処理：**HSC CDS は通常の作業に戻ります。

**ユーザーの処置：**適切であれば、新しい CDS の名前で HSC の起動パラメータを更新します。

**SLS4749I** CDS EXpand has completed unsuccessfully.

**説明：**CDS EXpand の作業中にエラーが発生しました。

**システムの処理：**HSC はこのメッセージに先立ち、EXpand 関連のメッセージを発行しています。

**ユーザーの処置：**データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

**SLS4750I** Expanded CDS recognized and adopted

**説明：**CDS の拡張が確認されました。これは、ほかのホストから、オペレータコマンド CDS EXpand が出されたために起こったものです。サイズが拡張した CDS はこのホストで承認されました。

**システムの処理**：HSC は作業を続行します。

**ユーザーの処置**：なし

#### **SLS4752I** Date conversion error on TMS extract file

**説明**：テープ管理インタフェースモジュールの戻りコードが、入力側のテープ管理システムからの日付が無効であるか、予期した形式でないことを示しました。

**システムの処理**：スクラッチ同期の実行は終了します。

**ユーザーの処置**：テープ管理の抽出ファイルが正しく指定されていることを確認してください。入力ファイルが正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

#### **SLS4800I** {License key | Emergency key | Trial period} expires in *nn* days: Product=*product-id*

**説明**：製品用のライセンスキー、緊急時キー、試用期間の期限が表示の日数で切れます。このメッセージは、製品の初期化中、またはライセンス有効期限の 60 日前の午前 0 時にライセンスキー処理のため発行されます。このメッセージは、製品の初期化中、または緊急時キー有効期限の 7 日前の午前 0 時に緊急時キーのため発行されます。このメッセージは、初期化中、または試用期間の全 75 日間の午前 0 時に試用期間処理のため発行されます。

**システムの処理**：製品または機能は作業を続行します。

**ユーザーの処置**：お客様は、StorageTek 社よりこの製品の永続ライセンスキーを取得する必要があります。有効期限を過ぎた製品の使用は、使用許諾書の違反となるおそれがあります。有効期限以前に製品の使用を中止するか、StorageTek 社より新しいライセンスキーを取得してください。

#### **SLS4801I** {License Key | Emergency Key | Trial period} has expired: Product=*product-id*

**説明**：ライセンスキー、緊急時キー、試用期間の検証 (製品の初期化中、および午前 0 時に実行されます) の最中に、識別されたキーが有効期限を過ぎているか、製品の試用期間を初期設定してから 75 日が経過していることがわかりました。

**システムの処理**：永続ライセンスキー製品は作業を続行し、さらに、製品の使用開始が正常に行なえます。しかし、有効期限を過ぎた製品の使用は、使用許諾書の違反となるおそれがあります。

緊急時キー、および試用期間の製品の使用が終了するとその後の製品の使用を開始することはできません。

**ユーザーの処置**：StorageTek 社より新しいライセンスキーを取得するまで、製品の使用を中止してください。

**SLS4802E** Product *product-id* is not licensed at this site

**説明**：有効なライセンスキーが見つかりました。しかし、お客様サイトの特定の製品にライセンスがないことがわかりました。

**システムの処理**：製品は作業を続行せず、製品の使用開始ができません。

**ユーザーの処置**：StorageTek に連絡をして、お客様サイトで登録されたすべての製品が使用可能な新しいライセンスキーを取得してください。

**SLS4803E** License Key validation error: Product=*product-id*

**説明**：製品のライセンスキーの確認中にエラーが発生しました。ライセンスキー情報が、喪失しているか、不正であるか、無効であるかのいずれかです。喪失したライセンスキー情報については、メッセージ SLS4802E で表示されます。

**システムの処理**：製品の初期化中にこの状況が検出された場合は、製品の実行は終了します。午前 0 時に検出された場合は、作業は続行します。

**ユーザーの処置**：製品の LKEYINFO 文にある情報を確認してください。すべての情報は、ライセンスキーの取得時に Sun Microsystems SMD に提供されたものと正確に一致している必要があります。エラーを訂正してください。

情報が正しいように思われる場合は、Sun Microsystems ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS4804I** License Key does not allow use of feature:  
Product=*product-id* Feature=*feature-id*.  
Feature disabled.

**説明**：製品のライセンスキーで認証されていない機能を有効にする試行がなされました。機能は *feature-id* で識別されます。

**システムの処理**：使用不可の機能で作業を続行します。

**ユーザーの処置**：HSC または LibraryStation の初期化パラメータから機能の仕様を削除するか、StorageTek 社の認証を受けたライセンスキーを取得してください。

**SLS4805I** vvvvvvvv keyType valid for product ppppppppp

説明：LKEYDEF コマンドが入力されました。キーが権限を与えた各製品に対して、メッセージ SLS4805I が出されました。vvvvvvv は、LKEYINFO 文の PROD 値です。ppppppppp は、キーが権限を与える製品名になります。keyType は次のいずれかになります。

License Key  
Trial Period  
Emergency Key

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4960I** Move "To" panel is frozen

説明：MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティー機能が、凍結パネルへの移動を指定しようとしてしました。

システムの処理：要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は行なわれません。

ユーザーの処置：凍結していない TPANEL を指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。パネルの凍結を解決するには、SET FREEZE(OFF) ユーティリティーを使用して凍結を解除してください。

**SLS4970I**

SEN QUEUE DISPLAY STATUS

CURRENT REQUESTORS 99999999

REQNAME RRRRRRRR LNRNAME LLLLLLLL TOKEN TTTTTTTT

FLAGS FFFFFFFF

EVENT EEEEEEEE

**説明：**これは Display SEN Queue コマンドからの出力です。この出力は指定したパラメータによって変わります。パラメータが指定されていない場合、SEN QUEUE 内のすべてのエントリが表示されます。REQname が指定された場合、REQname に一致した要求元だけが表示されます。LNRname が指定された場合、REQname を指定する必要があります。LNRname が指定された場合、REQname および LNRname に一致した要求元およびリスナーが表示されます。

99999999	SEN QUEUE に存在する要求元の数
RRRRRRRR	要求元の名前
LLLLLLLL	リスナーの名前
TTTTTTTT の近くで エラーが発生しました。	要求元トークンの 16 進数表示
FFFFFFF	SEN QUEUE ENTRY の処理フラグの記述
EEEEEEE	待機されるイベントの記述

システムの処理：なし

ユーザーの処置：なし

**SLS4971I** Significant Event Notification facility not active

説明：SEN Queue エントリについての表示を試みました。しかし、重要イベント通知機能はアクティブではありません。

システムの処理：DISPLAY SEN コマンドは拒否されます。

ユーザーの処置：実行している HSC バージョンが正しいか確認します。HSC の正しいバージョンを確実に実行している場合は、StorageTek HSC サポートに連絡してください。

**SLS4972I** SEN QUEUE IS EMPTY

説明：SEN Queue エントリについての表示を試みました。しかし、SEN QUEUE はエントリを含んでいませんでした。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：SEN QUEUE へのエントリを追加するためのタスクが確実に実行されているかどうかを確認します。タスクが正しく実行されている場合は、StorageTek の HSC サポートに連絡してください。

**SLS4973I** REQNAME nnnnnnnnn NOT FOUND

説明：SEN QUEUE にある特定の要求元についての表示を試みました。しかし、指定された要求元は検出できませんでした。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：要求元の名前を正しく入力してください。

**SLS4974I** LNRNAME nnnnnnnnn NOT FOUND

説明：SEN QUEUE の特定のリスナーを表示しようとしたのですが、しかし、指定されたリスナーは検出できませんでした。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：リスナーの名前のスペルが正しく入力されたことを確認してください。

**SLS5673I** HSC VCI Client Controller started

説明：HSC VTCS 通信インタフェースのクライアントコントローラーが開始されました。HSC は VSM システムに要求を発行する準備ができています。

システムの処理：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS5683I** Client Receive task attach failed

**説明**：クライアント受信タスクが接続に失敗しました。

**システムの処理**：HSC の処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：接続失敗の理由を特定してください。これより前のメッセージに、失敗の原因が示されています。

**SLS6001I** Vary online request cancelled by subsequent vary offline for ACS AA

**説明**：ステーションまたは ACS をオンラインに変更する要求の実行中に、ACS がほかの要求によってオフラインに変更されました。

**システムの処理**：オンラインへの変更要求は実行されません。

**ユーザーの処置**：ACS またはステーションをオンラインに変更する場合は、要求を再発行してください。

**SLS6002I** No stations defined for ACS AA

**説明**：ACS AA に対してオンラインへの変更要求が発行されましたが、この ACS のステーションが見つかりませんでした。

**システムの処理**：なし ACS は切断されたままとなります。

**ユーザーの処置**：SET SLISTATN を実行して、ACS のステーションを定義してから、Vary ACS コマンドを再発行してください。

**SLS6003I** Vary station not allowed for network attached ACS AA

**説明**：ネットワーク接続が LMUPATH パラメータを介して ACS AA に定義されたため、ステーション変更コマンドは適用できません。

**システムの処理**：: コマンドは処理されません。

**ユーザーの処置**：HSC は、LMU へのネットワーク TCP/IP ソケット通信を自動的に 30 分間再試行します。TCP/IP および LMU が機能していることを確認してください。

**SLS6004I** ACS AA forced offline due to configuration mismatch for station C...C

**説明**：ステーション C...C を介して LMU 接続を確立しようとしたのですが、CDS と LMU 構成定義の間に不一致が検出されました。前に発行されたメッセージに、不一致が発生した場所が説明されています。

**システムの処理**：この ACS のすべてのステーションがオフラインに強制変更されます。

**ユーザーの処置**：前のメッセージをチェックして、構成が不一致になった理由を判別してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

**SLS6005I** Network attach function CCCCCCCC failed for station C...C with errno NNNN

**説明：**ネットワーク接続機能 CCCCCCCC が失敗しました。

**システムの処理：**HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

**ユーザーの処置：**『IBM TCP/IP for MVS Application Programming Interface Guide』を参照して、失敗の原因を判断し、エラーの回復に適切な処理を行なってください。問題を修正すると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

**SLS6006I** Network attachment failed for station C...C because function CCCCCCCC could not be loaded.

**説明：**TCP/IP API ロードモジュールがロードできません。

**システムの処理：**ステーションがオフラインに変更されます。

**ユーザーの処置：**このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。問題が修正されたら、HSC のスターテッドタスクを再利用してください。

**SLS6007I** TCP/IP failure for station C...C detected

**説明：**非同期選択機能が失敗しました。

**システムの処理：**HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

**ユーザーの処置：**このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

**SLS6008I** Network attach function CCCCCCCC failed because station C...C is no longer connected

**説明：**LMU へのソケット接続が喪失しました。

**システムの処理：**HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

**ユーザーの処置：**このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

- SLS6009I** No stations were found offline for ACS AA
- 説明：ACS AA に対して Vary ACS ONline が発行されましたが、オフラインにマーク設定されたステーションはありません。
- システムの処理：なし
- ユーザーの処置：なし
- SLS6010I** ACS, STation, or station addresses required for Vary command
- 説明：Vary 要求を発行しようとしたのですが、ACS、STation キーワード、または装置番号のリストが指定されていませんでした。
- システムの処理：このコマンドは拒否されます。
- ユーザーの処置：ACS、Station、またはデバイス番号のリストのいずれかを指定して、コマンドを再入力してください。
- SLS6011I** VARY {ACS AA|STation C...C} OFFline not allowed; CAP is reserved to this host
- 説明：ACSid または最後のステーションのデバイスアドレスのいずれかを指定して、ACS をオフラインに変更しようとしたのですが、ACS 内の CAP がこのホストに予約されていることが検出されました。
- システムの処理：このコマンドは拒否されます。
- ユーザーの処置：コマンド Display CAP AA を発行して、ACS 内のすべての CAP の状況を表示してください。アクティブな CAP の CAP アクティビティを終了して、コマンドを再発行してください。
- SLS6012E** ACS nn: Recovery of network connection to station C...C is now active
- 説明：HSC TCP/IP インタフェースで、ステーション C...C について、エラーまたはタイムアウト状況が検出されました。ネットワークの回復を開始します。
- システムの処理：HSC は、自身のソケットとリモートステーションのソケットの間で接続を再度確立しようと 10 秒ごとに 30 分間、試行を続けます。
- ユーザーの処置：LMU 環境では、作業中のほかのホストが大きな影響を受けてない場合は、スタンバイのステーションに切り替えることができます。そうでない場合は、LMU またはホストでネットワークの問題を診断して修正します。問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。
- SLS6013I** ACS nn: Recovery of network connection to station C...C successful
- 説明：HSC はステーション C...C へのネットワーク接続を正常に回復しました。
- システムの処理：HSC は、回復中に蓄積された LMU 要求を再度実行します。
- ユーザーの処置：なし

**SLS6014E** ACS nn: Unable to reestablish network connection to station C...C

**説明** : ステーション C...C へのネットワーク接続を再確立する回復プロセスがタイムアウトになりました。

**システムの処理** : HSC は、それ以上のステーションへの接続の試行を中断しました。ステーションはエラー状態にあると思われます。単一 LMU 環境では、ACS にオフラインがマークされます。デュアル LMU 環境では、ネットワークの回復が両方のステーションでタイムアウトになった場合に、ACS にオフラインがマークされます。

**ユーザーの処置** : 単一 LMU 環境では、ACS はネットワーク問題が修正されるとオンラインになります。デュアル LMU 環境では、両方のステーションで回復の試行がタイムアウトになると、ACS がオンラインになります。どちらの場合も、すべての保留になっている LMU 要求はページされます。

**SLS6015I** ACS AA failed to come ONLINE because it is unallocated

**説明** : HSC が、ACS は UNALLOCATED (割り振られていない) 状態であると判断しました。HSC は、現在の構成ではカートリッジ動作要求を自動化できないので、ACS は OFFLINE のままになります。

**システムの処理** : なし。ACS は OFFLINE のままになります。

**ユーザーの処置** : この ACS を有効にするには NCO ADD ACS を実行します。そうでない場合、ほかの操作は不要で、ACS は OFFLINE のままになります。

**SLS6024I** {AUDIT|CAPPREF AUTO|ENTER|EJECT|MOVE|SCREDIST|VARY ONLINE}  
rejected for {CAP XX:XX:XX|ACS XX|STATION XXXX}, DR test active

**説明** : CAPPREF、ENTER、EJECT、MOVE、VARY の各コマンド、または AUDIT、EJECT、MOVE、SCREDIST の各ユーティリティー機能が要求されましたが、アクティブな DR テストと競合するため実行されませんでした。機能が許可されなかった CAP、ACS または STATION が記録されています。

**システムの処理** : HSC の処理は続けられます。DR テストが終了するまで、要求された機能は実行されません。

**ユーザーの処置** : DR テストが終了するまで待機してから、本番用サイトの HSC で要求された機能を試行します。DR テストサイトの HSC では、要求された機能は実行できません。

**SLS6027I** ENTER rejected; TLSM ACS AA does not equal CAP ACS AA

**説明** : ENter コマンドを処理しようとしたのですが、TLSM パラメータで指定された LSMid が CAP とは別の ACS に存在するため、拒否されました。

**システムの処理** : このコマンドは拒否されます。

**ユーザーの処置** : 同じ ACS 内にある CAPid および TLSM LSMid を指定するコマンドを再入力してください。

**SLS6028I** No scratch volumes meet eject criteria in ACS AA

**説明 :** SCRTCH パラメータが指定され、EJect コマンドが出されました。ACS AA から CAP が要求されたか、CAP 識別子が指定されず、コマンドが省略時の値 ACS 00 に設定されました。ACS AA には、EJect コマンドのパラメータで要求されたスクラッチボリュームが含まれていませんでした。

**システムの処理 :** EJect コマンドは続行されます。

**ユーザーの処置 :** ACS AA に含まれるスクラッチボリュームのスクラッチボリュームの基準を指定して、EJect コマンドを再入力します。

**SLS6029I** RELEASE AA:LL:CC rejected; host CCCCCCCC is active

**説明 :** 指定されたホスト用に RELease コマンドが発行されましたが、そのホストはアクティブであると識別されました。

**システムの処理 :** :CAP が解放されていません。

**ユーザーの処置 :** 当該ホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。

ホストがアクティブな場合は、特定されたホストで RELease コマンドを発行してください。

ホストが非アクティブな場合にかぎり、RECover ホストコマンドに FORCE オプションを指定して実行してください。そのあと、ホストオペランドを指定して RELease コマンドを再発行してください。



**注意 :** FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定して RECover を発行するにあたっては、指定のホストが非アクティブにあることを確認してください。

アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上の HSC を再起動する必要があります。RECover ホストコマンドの実行時にホストがアクティブな場合は、テープのアクティビティー中またはホストの HSC を再起動するときに予期せぬ異常終了が発生する可能性があります。

**SLS6040I** RELEASE AA:LL:CC rejected; CAP is active on host CCCCCCCC

**説明 :** RELease コマンドが CAP AA:LL:CC に発行されましたが、CAP はホスト CCCCCCCC でアクティブになっています。

**システムの処理 :** CAP が解放されていません。

**ユーザーの処置 :** 当該ホストがアクティブであることを、物理的に確認してください。

ホストがアクティブな場合は、特定されたホストで RELease コマンドを発行してください。

ホストが非アクティブな場合は、ホストオペランドを指定して RELease コマンドを発行してください。

**SLS6045I** RELEASE AA:LL:CC cancelled

説明：DRAIN コマンドまたは 2 つ目の RELease コマンドが同じ CAP に CAP 回復を開始したときに、RELease コマンドが実行されていました。

システムの処理：RELease コマンドは取り消されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS6050I** MMMMMMMM macro failure RC=XXXX, reason code=XXXXXXXX

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムは、システムマクロ (MMMMMMMM) を呼び出すエラーを受信しました。戻りコード (XXXX) の内容は R15 です。理由コード (XXXXXXXX) の内容は R0 です。

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：問題を診断して解決してください。(指定されたマクロについては、該当マニュアルを参照してください)。そのあと、ユーティリティーを再度実行してください。

**SLS6051I** Insufficient work area length for CCC entries;increase value in program for max entries

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムによって作成されたデータスペースの作業域の大きさは、抽出された CDS または TMC (CCC) レコード数を収容するのに十分ではありません。データスペースのサイズをフィールド DATSPASZ の値に増やす必要があります。

システムの処理：戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：フィールド DATSPASZ でデータスペースサイズの値を増やし、SLUCONDB プログラムの組み立てとリンクを行ない、ユーティリティーを再実行します。

**SLS6052I** No CCC records found to extract

説明：SLUCONDB ユーティリティープログラムは、CDS または TMC (CCC) レコードの抽出を試行しましたが、レコードは抽出されませんでした。

システムの処理：戻りコード 4 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置：結果が正しいかどうかを判断し、そうでなければ問題を特定し、ユーティリティーを再実行します。

**SLS6053I** QCDS error (RC=DDDD) for function CCCCCCCC

**説明** : SLUCONDB ユーティリティープログラムが SLSUREQ QCDS 機能 (CCCCCCCC) を呼び出すエラー (DDDD) を受信しました。

**システムの処理** : 戻りコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

**ユーザーの処置** : 問題を診断して解決してください。指定された機能についての戻りコードの詳細は、『HSC システムプログラマーズガイド』を参照してください。そのあと、ユーティリティーを再度実行してください。

**SLS6054E** VTCS CCCCCC CDS level is incompatible with utility maintenance level.

**説明** : CCCCCC CDS は、現在 MERGE ユーティリティーではサポートされていないタイプであることがわかりました。VTCS 関連のマージ処理は、「マージ先」および「マージ元」の CDS の拡張モードフォーマットをサポートします。

**システムの処理** : マージ処理は、VTCS 関連のリソースを「マージ先」CDS に組み込みません。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS6055I** Merge unlinking VTV VVVVVV from MVC MMMMM Maximum supported copies reached.

**説明** : マージ処理は、「マージ先」および「マージ元」の CDS のマージ処理の間、MVC MMMMM から VTV VVVVVV コピーのリンクを切断しています。「マージ元」から移行される VTV コピーと同じ数を「マージ先」CDS がサポートしていないことをマージが検出しました。余分なコピーは、各 MVC からリンク解除されません。

**システムの処理** : 「マージ先」CDS への書き込み処理は続行されます。

**ユーザーの処置** : なし

**SLS6086I** Hostid CCCCCCCC already defined in the CDS

**説明** : 新しいホストのホスト ID CCCCCCCC が、データベースの既存のホスト ID と重複しています。

**システムの処理** : ユーティリティーの処理は終了します。

**ユーザーの処置** : 新しいホスト ID を選択して、ユーティリティーを再サブミットします。

**SLS6970E** CDS free block calculation failed with RC=X'rrrrrrrrr'

説明：構成変更によって CDS を更新する前に、CDS 内の空きブロックの数を特定するため、CONFIG 処理が HSC サービスを呼び出しました。このサービスは、戻りコード X'rrrrrrrrr' で失敗します。

システムの処理：CDS は構成変更によって更新されません。CONFIG 処理は RC=12 で終了します。

ユーザーの処置：この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

**SLS7001E** parm too short

説明：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの処置：欠落している PARM 情報を指定して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7002E** parm too long

説明：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの処置：余分な PARM 情報を削除して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7003E** invalid option

説明：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの処置：AB、PC、または RR、あるいはすべてのオプションを指定して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7004E** 機能が正しくありません

説明：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの処置：機能値 COPY または TEST を指定して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7005E** logic error - invalid function

**説明**：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7006E** CVTJESCT address is zero

**説明**：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7007E** JESSCT address is zero

**説明**：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7008E** subsystem ssss not active

**説明**：JCL が指定した情報の検証中、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：間違ったサブシステム名が、PARM 文に指定されました。名称を訂正して、PIT コピーを再実行してください。

**SLS7009E** ASCB not found

**説明**：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7010I** SSCVT located for subsystem ssss

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7011I** ASCB for HSC job name *jjjjjjjj* has asid *aaaa*

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7012E** DCV address is zero

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7013E** DCV primary info address is zero

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7014E** JCL CDS name does not match primary CDS name

説明：JCL が指定した情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：SLSCNTL DD に指定された CDS 名は、このサブシステムで使用されているプライマリー CDS ではありません。SLS7025I メッセージとともに一覧表示されているデータセット名を SLSCNTL DD に指定して、PIT コピーを再実行してください。

**SLS7015I** JCL CDS name matches primary CDS name

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7016E** qname is blank or binary zeros

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：( まだ指定されていない場合は ) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7017E** {ADDRSSU LEVEL UNKNOWN | ADDRSSU LEVEL UNSUPPORTED}

説明：不明、またはサポートされていないレベルの DFSMSdss が検出されました。DFSMSdss は、DFSMS 1.3 以降でなくてはなりません。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：サポートされているレベルの DFSMSdss で PIT コピーを再実行するか、SIBBATCH または FDRSNAP を代わりに使用してください。

**SLS7018E** LVT address is zero

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：( まだ指定されていない場合は ) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7019E** invalid PIT copy method

説明：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの処置：DSS、FDR、または SNP の PIT コピー方法を指定して、PIT コピーを再実行してください。

- SLS7020E** JCL CDS name does not match DHB CDS name
- 説明：JCL が指定した情報の検証中、エラーが発生しました。
- システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。
- ユーザーの処置：SLSCNTL DD に指定された CDS 名は、このサブシステムで使用されているプライマリ CDS ではありません。SLS7025I メッセージとともに一覧表示されているデータセット名を SLSCNTL DD に指定して、PIT コピーを再実行してください。
- SLS7021I** JCL CDS name matches DHB CDS name
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7022E** DEB address is zero
- 説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。
- システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。
- ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。
- SLS7023E** UCB address is zero
- 説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。
- システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。
- ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。
- SLS7024E** SLSCNTL DD dummied
- 説明：JCL が指定した情報の検証中、エラーが発生しました。
- システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。
- ユーザーの処置：DD 文のダミーを解除して、SLSCNTL DD 文に正しいプライマリ CDS データセット名を指定し、PIT コピーを再実行してください。

**SLS7025I** primary CDS NAME = *primarycdsdatasetname*

**説明**：これは情報メッセージです。指定したサブシステムのプライマリ CDS のデータセット名が、このメッセージに表示されます。SLS7014E または SLS7020E メッセージが発行された場合は、このデータセット名を SLSCNTL DD に指定してください。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7026E** invalid option value

**説明**：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=8 を戻します。

**ユーザーの処置**：AB、PC、または RR、あるいはすべてのオプションを指定して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7027E** duplicate option value

**説明**：JCL が指定した PARM= 情報の検証中、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=8 を戻します。

**ユーザーの処置**：重複するオプション値を削除して、PIT コピーを再実行します。

**SLS7028I** *mmmmmmmm*

**説明**：これは情報メッセージです。このメッセージ本文 (*MMMMMMMM*) は、次のいずれかから構成されます。

- HSC subsystem name = *ssss*
- COPY function is in effect(COPY 機能が使用可能)
- TEST function is in effect(TEST 機能が使用可能)
- FDRSNAP method is in effect(FDRSNAP メソッドが使用可能)
- DFSMSDSS method is in effect(DFSMSDSS メソッドが使用可能)
- SNAPSHOT method is in effect(SNAPSHOT メソッドが使用可能)
- reserve retry WTOR option is enabled( 予約試行の WTOR オプションが使用可能)
- PIT copy WTOR option is enabled(PIT コピーの WTOR オプションが使用可能)
- ABEND option is enabled(ABEND オプションが使用可能)
- no options specified( どのオプションも指定されていない)

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし SLUPCOPY を 1 度呼び出すだけで、メッセージ SLS7028I が 1 つ以上発行されます。

**SLS7029E** subsystem asid is zero

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7031I** point-in-time copy successful

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は正常に終了し、RC=0 を戻します。

ユーザーの処置：なし実際の PIT コピーは成功します。

**SLS7032I** point-in-time copy aborted

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は終了し、RC=20 を戻します。

ユーザーの処置：なし実際の PIT コピーは異常終了します。

**SLS7033I** simulated point-in-time copy aborted

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は終了し、RC=20 を戻します。

ユーザーの処置：なしシミュレーションした PIT コピーは異常終了します。

**SLS7034I** simulated point-in-time copy complete

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は正常に終了し、RC=0 を戻します。

ユーザーの処置：なしシミュレーションした PIT コピーは成功します。

**SLS7035E** point-in-time copy invalid

**説明**：PIT コピーから、ゼロ以外の完了コードが返されました。PIT コピーが、無効です。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=12 を戻します。

**ユーザーの処置**：無効な PIT コピーデータセットを削除し、SIBBATCH、DFSMSdss、または FDRSNAP メッセージから問題の原因を究明し、問題を修正して、PIT コピーを再実行してください。それでも問題が直らない場合は、無効な PIT コピーデータセットを保管し、SIBBATCH または SLUPCOPY 問題については Sun StorageTek ソフトウェアサポートに、DFSMSdss 問題については IBM に、FDRSNAP 問題については Innovation Data Processing に連絡してください。

**SLS7040I** JCL CDS name = *jclcdsdatasetname*

**説明**：これは情報メッセージです。SLSCNTL DD 文に指定されたデータセット名が、メッセージ本文に表示されているはずですが、メッセージ SLS7014E および SLS7020E に関する問題を解決するにあたって役立つことがあります。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7041I** SSCVT ssss has an active LVT

**説明**：これは情報メッセージです。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7042I** ASCBJBNI = *jobname*

**説明**：これは情報メッセージです。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7043I** ASCBJBNS = *taskname*

**説明**：これは情報メッセージです。

**システムの処理**：処理は続行されます。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7044I**      `ADDRSSU LEVEL = ppvvrmm`

説明：これは情報メッセージです。*pp* は製品番号、*vv* はバージョン番号、*rr* はリリース番号、*mm* は DFSMSdss の修正レベルです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7050E**      `ESTAE failed.R15=XXXXXXXX`

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7051E**      `RDJFCB failed.R15=XXXXXXXX`

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7052E**      `LOCASCB failed.R15=XXXXXXXX`

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7053E**      `ATTACH failed.R15=XXXXXXXX`

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7054E** OPEN failed.R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7055E** RESERVE failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7056E** CDS DHB READ failed.R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7057E** {MAINLINE | ERROR MSG} DEQ failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7058E** DETACH failed.R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7059E** {MAINLINE | ERROR MSG} CLOSE failed.R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7060E** ADRDSSU LOAD failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：各ソフトウェア製品が、PIT コピーに使用されているシステム上に実際にインストールされていることを確認してから、必要なプログラムライブラリがシステムのリンクリストにあることを確認してください。

**SLS7061E** FDRSNAP LOAD failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：各ソフトウェア製品が、PIT コピーに使用されているシステム上に実際にインストールされていることを確認してから、必要なプログラムライブラリがシステムのリンクリストにあることを確認してください。

**SLS7062E** SIBBATCH LOAD failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：各ソフトウェア製品が、PIT コピーに使用されているシステム上に実際にインストールされていることを確認してから、必要なプログラムライブラリがシステムのリンクリストにあることを確認してください。

**SLS7063E** unable to acquire reserve

説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。

ユーザーの処置：RR オプションを付けて PIT コピーを再実行するか、HSC プライマリ CDS に対する RESERVE アクティビティが減るまで待ちます。

**SLS7070I** read jfcb successful for SLSCNTL DD

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7071I** open successful for SLSCNTL DD

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7072I** reserve successful for SLSCNTL DD

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7073I** CDS DHB read successful

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7074I** attach successful

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7075I** TCB user CC=uuuu, system CC=yyyy

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

- SLS7076I** detach successful
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7077I** {MAINLINE | ERROR MSG} DEQ successful for SLSCNTL DD
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7078I** {MAINLINE | ERROR MSG} CLOSE successful for SLSCNTL DD
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7080I** ESTAE routine: no SDWA
- 説明：SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。System Diagnostic Work Area (SDWA) がありません。
- システムの処理：JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。
- ユーザーの処置：必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。
- SLS7081I** ESTAE routine: SDWA present
- 説明：SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。System Diagnostic Work Area (SDWA) があります。
- システムの処理：JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。
- ユーザーの処置：必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7082I** ESTAE routine: DEQ successful

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS が正常に DEQueued されました。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7083I** ESTAE routine: CLOSE successful

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS が正常に CLOSED されました。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7084E** ESTAE routine: DEQ failed.R1=XXXXXXXX R15=XXXXXXXX

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS の DEQ が失敗しましたが、SLUPCOPY タスクが終了した時点でオペレーティングシステムはプライマリ CDS を DEQ する必要があります。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7085E** ESTAE routine: CLOSE failed.R15=XXXXXXXX

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS の CLOSE が失敗しましたが、SLUPCOPY タスクが終了した時点でオペレーティングシステムはプライマリ CDS を CLOSE する必要があります。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7090A** reply Y to initiate point-in-time copy

**説明:** オペレータの応答が必要です。

**システムの処理:** 応答を受け取るまで、処理が待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** 実際の PIT コピーを実行するには、このメッセージに「Y」と応えてください。この PIT コピーを中断するには、それ以外の文字でこのメッセージに答えてください。

**SLS7091A** reply Y to simulate point-in-time copy

**説明:** オペレータの応答が必要です。

**システムの処理:** 応答を受け取るまで、処理が待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** PIT コピーをシミュレートするには、このメッセージに「Y」と応えてください。シミュレーションした PIT コピーを中断するには、それ以外の文字でこのメッセージに答えてください。

**SLS7092A** reply Y to retry HSC primary CDS reserve

**説明:** オペレータの応答が必要です。

**システムの処理:** 応答を受け取るまで、処理が待ち状態になります。

**ユーザーの処置:** RESERVE を試行するには、このメッセージに「Y」と応えてください。実際の PIT コピーまたはシミュレーションした PIT コピーを実行せずに試行を中断して処理を終了するには、それ以外の文字でこのメッセージに答えてください。

**SLS7100I** SLUPCOPY version *v.rr* processing begins

**説明:** これは情報メッセージです。*v* はバージョン番号、*rr* は SLUPCOPY のリリース番号です。

**システムの処理:** 処理は続行されます。

**ユーザーの処置:** なし

**SLS7101E** lvt address does not point to an lvt

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7102I** HSC qname = *qqqqqqqq*

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7103E** ascb address from HSC lvt is zero

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7104I** UCB located successfully

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7105E** DPV eyecatcher does not match

説明：非論理的な条件または予期しないデータ値が、処理中に発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：(まだ指定されていなかった場合は) AB オプションを指定して PIT コピーを返してから、必要な SLUPCOPY 出力と SYSMDUMP データセットを Sun StorageTek ソフトウェアサポートにすべて送信してください。

**SLS7106I** original last backup date and time = *yyyymmddhh:mm:ss*

説明：これは情報メッセージです。この PIT コピーの前に、最後にバックアップが成功した日時が表示されます。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7107I** updated last backup date and time = *yyyymmddhh:mm:ss*

説明：これは情報メッセージです。プライマリ CDS 内の最後にバックアップした日時が、この PIT コピーの日時に更新されます。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7108I** DPV restore required

説明：これは情報メッセージです。プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時は、メッセージ SLS7106I で以前表示された元の値に回復する必要があります。そのあとのメッセージ SLS7172I は、回復が成功したことを確認するためのものです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7109I** detach bypassed

説明：これは情報メッセージです。

システムの処理：処理は続行されます。

ユーザーの処置：なし

**SLS7110E** missing DD: *ddddddd*

説明：JCL が指定した情報の検証中、エラーが発生しました。

システムの処理：処理は終了し、RC=12 を戻します。

ユーザーの処置：DFSMSdss または FDRSNAP に SYSPRINT DD 文を指定し、SIBBATCH に SYSPRINT または SYSTEM DD を指定し、すべての PIT コピー方法に SLSCNTL と SLSVDI DD 文の両方を指定してから、PIT コピーを再実行してください。

**SLS7111I** SLUPCOPY version *v.rr* processing ends

**説明**：これは情報メッセージです。*v*はバージョン番号、*rr*はSLUPCOPYのリリース番号です。

**システムの処理**：処理が終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7112I** SLUPCOPY version *v.rr* abended by request

**説明**：これは情報メッセージです。*v*はバージョン番号、*rr*はSLUPCOPYのリリース番号です。このメッセージは、AB オプションが使用可能で、対象のエラー状態のいずれかが発生すると発行されます。

**システムの処理**：処理が終了します。

**ユーザーの処置**：なし

**SLS7150E** CDS DPV READ failed.R15=XXXXXXXX

**説明**：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=16 を戻します。

**ユーザーの処置**：なし最後のバックアップ日時はプライマリ CDS で更新されなかったため、回復する必要がありません。

**SLS7151E** CDS DPV WRITE failed.R15=XXXXXXXX

**説明**：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=16 を戻します。

**ユーザーの処置**：なし最後のバックアップ日時はプライマリ CDS で更新されなかったため、回復する必要がありません。

**SLS7152E** CDS DPV RESTORE failed.R15=XXXXXXXX

**説明**：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。

**システムの処理**：処理は終了し、RC=16 を戻します。

**ユーザーの処置**：プライマリ CDS 内の最後にバックアップした日時が間違っており、無効な PIT コピーの日時が反映されています。必要に応じて、CDS の SLUADMIN BACKUP を実行し、最後のバックアップ日時の値を訂正してください。

- SLS7153E** SYNAD MSG BUFF = *mmm...mmm*
- 説明：IBM サービスを使用しようとして、エラーが発生しました。
- システムの処理：処理は終了し、RC=16 を戻します。
- ユーザーの処置：84-127 バイトの SYNAD メッセージバッファが表示されます。このエリアの内容の詳細な説明については、『z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets』内の SYNADAF マクロの説明を参照してください。
- SLS7170I** CDS DPV read successful
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7171I** CDS DPV write successful
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし
- SLS7172I** CDS DPV restore successful
- 説明：これは情報メッセージです。
- システムの処理：処理は続行されます。
- ユーザーの処置：なし PIT コピーが不正なため、プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時が、(以前メッセージ SLS7106I に表示された通りに) 元の値に正常に回復されました。
- SLS7180I** ESTAE routine: DPV restore not required - DPV never updated
- 説明：SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。CDS が更新されなかったため、プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時を、(以前メッセージ SLS7106I に表示された通りに) 元の値に回復する必要がありませんでした。
- システムの処理：JCL が SYSMDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し(メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。
- ユーザーの処置：必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSMDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7181I** ESTAE routine: DPV restore not required - PIT copy successful

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。PIT コピーが成功した後に CDS が更新されたがエラーが発生したため、プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時を、(以前メッセージ SLS7106I に表示された通りに)元の値に回復する必要がありませんでした。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し(メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず)作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7182I** ESTAE routine: DPV restore required

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時を (以前メッセージ SLS7106I に表示された通りに)元の値に回復する必要があります。メッセージ 7186 が発行されていないかぎり、CDS の SLUADMIN BACKUP を実行し、必要に応じて最後のバックアップ日時の値を訂正してください。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し(メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず)作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7183E** ESTAE routine: DPV restore not attempted - logic error

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。論理エラーが検出されたため、ESTAE 回復ルーチンはプライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時の回復を試みませんでした。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し(メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず)作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7184E** ESTAE routine: DPV restore not attempted - not reserved

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。CDS は予約されなくなるので、ESTAE 回復ルーチンはプライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時の回復を試みませんでした。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7185E** ESTAE routine: DPV restore not attempted - DCB not open

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。CDS DCB はこれ以上オープンされることがないため、ESTAE 回復ルーチンはプライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時の回復を試みませんでした。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7186I** ESTAE routine: DPV restore successful

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。プライマリ CDS 内の最後のバックアップ日時が (以前メッセージ SLS7106I に表示された通りに) 元の値に正常に回復されます。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7187E** ESTAE routine: DPV restore failed. R15=XXXXXXXX

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。ESTAE 回復ルーチンは、失敗したプライマリ CDS 内で最後のバックアップ日時の回復を試みました。必要に応じて、CDS の SLUADMIN BACKUP を実行し、最後のバックアップ日時の値を訂正してください。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し (メッセージ SLS7188I に表示)、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

**SLS7188I** ESTAE routine: processing ends

**説明:** SLUPCOPY 内の ESTAE 回復ルーチンが、ユーザー 555 異常終了以外の異常終了に呼び出されました。

**システムの処理:** JCL が SYSDUMP DD をダミーせずに、ダンプデータセットの異常な後処理が削除されていなかった場合、処理は終了し、障害状態のダンプが (AB オプションにかかわらず) 作成されます。

**ユーザーの処置:** 必要なすべての SLUPCOPY 出力、および SYSDUMP データセットを、Sun StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。



## 第 3 章 異常終了理由コードリストとその説明

---

### はじめに

この章には、異常終了理由コードとその説明のリストを記載してあります。理由コードは、発行モジュール、コンポーネント、またはユーティリティによって、個別の項にグループ分けしてあります。

- オペレータコマンド
- マウント / ディスマウント
- ユーティリティ
- CAP 共通
- サブシステム割り振りモジュール
- ボリューム / セル
- 構成制御
- 初期設定 / 終了
- 導入コンポーネント
- TMS / ユーザーインタフェース
- LMU ドライバー
- サブシステムデータベースモジュール
- WTO サーバー
- ASCOMM
- サブシステムサービスモジュール
- 回復 コンポーネント
- ホスト通信
- UUI

**注：**異常終了理由コードは、4 バイトフィールド (1 バイトあたり 2 文字) です。左端の 2 バイトは、次のいずれかを含みます。

- 関連したメッセージ番号
- 戻りコード
- そのほかの補足情報

右側の 2 バイトは、異常終了コードです (先行ゼロは切り捨てられます)。たとえば、異常終了コード 1729070d は、次のように解釈できます。

<b>1729</b>	異常終了コード 070d に関連したメッセージ番号
<b>070d</b>	異常終了コード

## オペレータコマンドによって出される理由コード

- 0001** データベースボリュームの読み取り要求が、オペレータコマンドの DISPLAY VOLUME の結果として出されました。DVLRD から出された戻りコードが無効です。  
R2 = DVLRD 戻りコード
- 0002** SLSSPARS ルーチンによって構文エラーが検出されました。しかし、SLSOCLEX は、構文エラーの発生した地点を判別できませんでした。  
R9 = ORQX  
R8 = SLSYKEYH
- 0003** HSC オペレータコマンドルーチンが ESTAE 環境を確立できませんでした。コマンド処理は、ESTAE なしでは継続不能です。  
R2 = ESTAE マクロからの戻りコード
- 0004** パラメータ ID が、SLSPARSE ルーチンによって返されました。しかし、SLSOCLEX は、そのパラメータ ID と、提供されている解析テーブル上のパラメータ項目を一致させられませんでした。  
R8 = SLSYKEYH
- 0005** SRMM からゼロ以外の戻りコードが返されました。
- 0006** SLSONTAB からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = SLSONTAB 戻りコード
- 0008** SLSONTAB からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = SLSONTAB 戻りコード
- 000A** VSSTA からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = VSSTA 戻りコード
- 000C** VCSTA からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = VCSTA 戻りコード
- 000E** 一致する ACSid を見つける前に、LCB 待ち行列の終わりに達しました。
- 0010** SLSONTAB からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = SLSONTAB 戻りコード
- 0012** SLSONTAB からゼロ以外の戻りコードが返されました。R2 = SLSONTAB 戻りコード
- 0014** SLSFCNF FUNC=STATNID からゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R2 = SLSFCNF 戻りコード

- 0015** デバイスアドレスをドライブ ID に変換するために、構成制御要求が発行されました。SLSFCONF FUNC=DRIVEID から無効な戻りコードが返されました。
- R2 = SLSFCONF 戻りコード
- 0016** SLSFCONF FUNC=ATHSMODE からのゼロ以外の戻りコード。
- R2 = SLSFCONF 戻りコード
- 0017** ホスト通知メッセージの書き込み要求を LMU サーバーが出しました。LMURQST BCSTWRT から出された戻りコードが無効です。
- R2 = LMURQST 戻りコード
- 0018** ドライブにクリーニングのフラグを付けるために、構成制御要求が出されました。IFFLGDRIV から無効な戻りコードが返されました。
- R2 = FFLGDRIV 戻りコード
- 0019** CAP 要求の機能が無効です。
- 0020** 無効な LMU エラー戻りコードが返されました。
- 0021** PATH エラー – SPPEDEF SPPEID フィールドが破壊されました。

## マウントまたはディスマウントによって出される理由コード

- 0075** SLSMAIM が、ASCOMM 要求を受け取りました。しかし、要求に無効な DRIVEid が含まれています。これはプログラム論理エラーです。
- 0076** SLSMAIM が、ASCOMM 要求を受け取りました。しかし、要求によって無効な機能が示されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0077** LMU サーバー機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0078** マウントまたはディスマウントがマウント機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0079** MAIL を受け取りました。しかし、マウントもディスマウントも、またスワップも設定されていませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0080** マウントまたはディスマウント ITT ルーチンが呼び出されたとき、ITT に指定されていたルーチンが正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。  
R3 = ITT のアドレス
- 0081** マウントまたはディスマウントがボリュームまたはセル機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0082** マウントまたはディスマウントがセル走査を要求しました。与えられた LCCE が無効でした。これはプログラム論理エラーです。  
R4 = LCCE のポインター
- 0083** マウントまたはディスマウントが回復機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0084** マウントまたはディスマウントが RECVOL 機能を要求しました。戻り時に、返された位置が無効でした。これはプログラム論理エラーです。  
R2 = RITT のアドレス
- 0085** マウントまたはディスマウントが CAP 共通機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0086** マウントまたはディスマウントが解析機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0087** マウントまたはディスマウントが構成機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス

- 0088** ボリュームがどのオフライン LSM 内にあるかを通知するメッセージを発行するためにマウント/マウント解除が必要でした。ただし、MFCR が VAT を指し示していませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0089** マウントまたはディスマウントが ESTAE を確立または削除しようとした。しかし、ESTAE マクロはゼロ以外の戻りコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトに、ESTAE 戻りコードが入っています。これはプログラム論理エラーです。
- R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 009E** ある ACS に対して、モジュールが高い LSMid の生成を試行し、ICOINLSM を越える LSMid を生成しました。これはプログラム論理エラーです。
- R4 = LSM の LSM アドレス
- 009F** マウントまたはディスマウントがデータベースサーバー機能を要求しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
- R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0100** マウントまたはディスマウントが STIMERM 機能を要求しました。戻り時に、ゼロ以外の戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトに、STIMERM の戻りコードが含まれます。これはプログラム論理エラーです。
- 0101** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。POST されている ECB リストの ECB の 1 つがないまま実行されているようです。これはプログラム論理エラーです。
- 0102** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。これは、CAP がオープンされていることを示すフラグを設定しないで、CAP 終了を実行しようとした。これはプログラム論理エラーです。
- 0103** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。これは、メッセージを出そうとした。しかし、メッセージを要求した要求元が正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0104** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。これは、LMU エラーメッセージを出そうとした。しかし、メッセージを要求した要求元が正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0105** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。スワップ要求に有効なデバイス番号が含まれていません。これはプログラム論理エラーです。
- 0106** マウントまたはディスマウントに論理エラーがあります。リンケージ支援ルーチンが、サポートされていない機能に対して呼び出されました。
- 0107** マウントまたはディスマウントが SLSMHTH タスクで受け取った異常終了コードが多過ぎます。これはプログラム論理エラーです。
- 0108** マウントまたはディスマウントが SVC91 の SVCUPDT からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。
- 0109** マウントまたはディスマウントが SVOLACC から無効な戻りコードを受け取りました。

- 010A** 仮想マウントの要求が受け取られましたが、テキストに SLSTMAIN のアドレスが含まれていませんでした。
- 0110** SLSMDRVR の PARMLIST. が無効です。
- 0111** CDS に無効なボリュームシリアル番号を追加しようとした。

## ユーティリティーによって出される理由コード

- 0150 SLUIO に認知されていない機能コードが渡されました。
- 0151 ユーティリティーサーバーのための ASCOMM タスクを開始できませんでした。
- 0152 フェーズ 2 サーバー SLSUAUDT2 から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
- 0153 フェーズ 3 サーバー SLSUAUDT3 から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
- 0154 フェーズ 4 サーバー SLSUAUDT4 から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
- 0155 ユーティリティープログラムから ASCOMM データ域 (UADDA または USUDA) 内に認知されていない機能コードが返されました。
- 0156 サブルーチン SLSUAAVL に認知されていないボリューム特性があります。
- 0157 SLSUALSM 接続の障害です。
- 0158 SLSUALSM タスクから認知されていない応答コードが返されました。
- 0159 この LSM に対する LSM エントリアドレスが登録されていません。
- 0160 SLSUAPAV サブルーチンから、認知されていない戻りコードが返されました。
- 0161 セルカタログでの LSM 走査 (LCCD) で、未知の戻りコードが返されました。
- 0162 ASCOMM データ域 (UICDA) 内に認知されていない機能コードが返されました。
- 0163 予想した戻り値記述子ブロックをキーワードテーブルから入手できませんでした。
- 0164 Init Carts サーバー SLSUINCT から、ASCOMM 応答域 (UICRA) 内に認知されていない応答が返されました。
- 0165 予想した ACS/LSM 表項目を入手できませんでした。
- 0166 SLUBKP10 からゼロ以外の戻りコードが返されました。
- 0167 SLSJINTA からエラー戻りコードが返されました (初期設定がアクティブです)。
- 0168 SLUEJCT から SLSUEJCT に無効な CAPid が渡されました。
- 0169 SLSUSCRD ユーティリティーサーバーから予期しない戻りコードが返されました。
- 0170 SUSCUP ユーティリティーサーバーから予期しない戻りコードが返されました。
- 0171 ASCOMM トークンが無効です。トークンフィールドはオーバーレイされた可能性があります。

- 0172** ボリュームまたはセルから予期しない戻りコードが返されました。
- 0174** ユーティティ解析エラーレポーターが、解析テーブルに解析エラーフラグを付けずに呼び出されました。
- 0176** 指定のボリュームの常駐する ACS に CAP が見つかりません。
- 0177** SLUEJCT のフィールド UECDFUNC から SLSUEJCT のフィールド UECDA へ無効な機能コードが返されました。「reserve CAP」、「eject」、または「release CAP」にするべきで、ほかのものにするべきではありません。
- 0178** UCTA から無効な ACSid が返されました。
- 0179** 論理エラーです。ファイルの終わりです。
- 0180** 無効な応答を受け取りました。
- 0181** SET ユーティティが、予期された目印と一致しない目印を持つブロックを読み取りました。
- R2 = ブロック  
R3 = 目印  
R14 = 読み取りを行なうアドレス
- 0182** 必要なキーワードが見つかりません。
- R2 = キーワード  
R8 = SLSYKEYH ( 解析テーブル )
- 0183** データベースブロック内で一致するホスト ID を検索しているときに、論理エラーが発生しました。
- R14 = 問題が検出されたアドレス
- 0184** 長過ぎるメッセージを生成するために SLUIO が要求されました。
- 0185** UENTCFGGA チェーンに、監査される LSM 用の正しい FLSM レコードがありません。
- R8+70x = FACS チェーン  
R9+Cx = LSM id  
R5 = UCTL  
R8 = UENT
- 0186** 表索引の障害です - デバイスタイプテーブルと UCATYPE
- R2= UCB
- 0187** ACS のための LSM レコードの数がこの ACS (ACSCTLSM) 内の LSM の数と一致していません。
- 0188** FIGMGR から予期しない戻りコードが返されました。
- 0190** PGMI QDSN 要求から予期しない戻りコードが返されました。
- 0191** ASCOMM から予期しない戻りコードが返されました。タスクの終了が予期された時の正常戻りコード、または予期しないタスク終了のいずれかです。
- 0192** ASCOMM SLUMERGE から無効なパラメータタイプを受け取りました。

- 0200** TIOTに SLSCNTL DD 項目が見つかりましたが、UCB アドレスフィールドに2進数のゼロがあります。
- 0201** 論理ルーチン OPEN で、DFSORT による E35 ユーザー出口の最初の呼び出し時に、出力レコードが渡されなかったことがわかりました。
- 0202** 論理ルーチン READ がファイルの終わりに達しました。コード 0202 は破壊されたデータセットを示します。問題判別のためにデータセットのコピーを作成して、復元または再作成してください。
- 0203** 論理ルーチンは DELTABLK です。ソートされたと思われるデルタレコードの順序が間違っていることがわかりました。
- 0204** 論理ルーチンは DELTABLK です。現在のデルタレコード内にある「事後」イメージテキストが、その「事後」イメージを受け取る制御データベースブロック内のスペースよりも、大きくなっています。
- 0205** 論理ルーチンは APPLY です。DD 名 SLSDELTA を持つソートされたデルタデータセットが空です。
- 0206** 無効な UEVT チェーンです。UEVT チェーンが破壊されています(チェーンヘッダーがゼロか、UEVT エントリの1つが「UEVT」を目印として含んでいません)。
- 0207** 無効な UEST チェーンです。UEST チェーンが破壊されています(チェーンヘッダーがゼロか、UEST エントリーの1つが「UEST」を目印として含んでいません)。
- 0208** ESTAE 経路指定が正しく確立されませんでした。ESTAE マクロ発行からの戻りコードにゼロ以外の値が返されました。
- 0209** 空きセルの検索と割り振りマップの調整の際に論理エラーが起きました。
- 0210** 読み取り / 書き込みの戻りコードがゼロでないか、ファイルの終わりです。

## CAP 共通によって出される理由コード

- 0252** LMU が MOVE 要求完了の ECB 通知処理に 10 分以上要しました。
- 0253** LMU サーバーでエンター処理を開始しようとしたときにエラーが起きました。情報コード内に、LMU サーバーからの戻りコードが含まれます。
- 0256** ボリュームまたはセルのボリューム入力機能、ボリューム更新機能、またはセル獲得機能から予期しない戻りコードが返されました。
- 0257** カートリッジの挿入時に、SLSCNCAP から予期しない戻りコードが返されました。
- 0258** オペレータからボリュームシリアル番号を入手するときに、SLSCGVOL から予期しない戻りコードが返されました。
- 0259** ボリュームの入力中に SLSCCVOL から予期しない戻りコードが返されました。
- 025A** オペレータからボリュームシリアル番号を入手した後、正しくないセル項目が CAP カタログに残されていました。
- 025B** エラーカートリッジにならなかった移動エラーの後で、ボリュームまたはセルを通して VAR を削除しようとしたとき、エラーが起きました。
- 025C** ボリュームレコードを作成しようとしたとき、スペース不足やカートリッジの重複以外の戻りコードが返されました。情報コード内に不良戻りコードが含まれます。
- 025D** LMU サーバーインタフェースルーチン SLSCNCAP の使用を試みたときに、予期しない戻りコードが返されました。情報コード内に不良戻りコードが含まれます。
- 025E** A CAP END が要求されましたが、1 つまたは複数の CAP 制御ブロック状況フィールドが間違っってセットされました。
- 0260** 初期設定において、対応する LSM のない ACS が見つかりました。
- 0261** SLSCMCAP でのエラー発生後に、ボリュームが選択解除されようとなりました。情報コードは VVUNS RC です。
- R2 = SLSCMCAP 戻りコード
- 0262** SLSCASET に無効な PARMLIST が渡されました。
- 0263** 現在の CAP 操作を打ち切ろうとしているときに、予期しない戻りコードが返されました。HSC は終了処理中でした。
- 0266** 読み込み不可能なメディアタイプでボリュームの追加または更新を試みました。読み込み不可能なメディアの入力は、事前に防ぐ必要があります。

## サブシステム割り振りモジュールによって出される理由コード

- 0352** ボリューム検索が、データベースボリューム読み取り機能からエラー条件を受け取りました。
- 0353** ボリューム検索が、ボリュームまたはセルスクラッチ優先からエラー条件を受け取りました。
- 0367** ボリューム参照が、SLSTGVSP から予期しない戻りコードを受け取りました。

## ボリュームまたはセルによって出される理由コード

- 0400** セル割り振りマップ (VCAM) に、認知されていないパネルタイプがあります。
- 0404** ESTAE を確立できません。
- 0405** クロック値を入手できません。
- 0406** VCSCN マクロによって生成された SLSVCSCN パラメータ域に、認知されていない機能コードがあります。
- 0408** セル走査作業域 (VCSCNIWK) が、正しい形式になっていません (見出し ID フィールドが正しくありません)。
- 0410** HSC 終了時に、選択されたボリュームを選択解除できません。
- 0412** SLSVQCHK ルーチンが予期しない戻りコードを返しました。
- 0414** ボリュームシリアル番号が、VAT 待ち行列上にありましたが、データベースには存在しません。
- 0415** ボリュームまたはセル機能が、無効なボリュームまたはセル戻りコードを返しました。
- R2 = 戻りコード
- 0416** クリーニングカートリッジの選択解除中、クリーナー選択カウントが負の数またはゼロでした。
- 0418** 不当な機能コードで SLSVINSP が呼び出されました。
- 0420** 構造の境界外での記憶が試みられました。
- 0422** 無効な VCPANLST (含むまたは含まないを示すボリュームまたはセルパネルリスト) を MOVE ルーチンを受け取りました。
- 0424** FDRIVE レコードのドライブタイプを読み込んだ時に、FIGMGR から無効な戻りコードを受け取りました。

## 構成制御によって出される理由コード

- 0450 ACS 索引が無効です。
- 0451 LSMid (LRQST の) が無効です。
- 0452 セルプール獲得に失敗しました。
- 0453 CAPid (LRQST の) が無効です。
- 0454 CAP が別のホストに予約されています。
- 0455 SLSCAPA から無効な LSMid が返されました。
- 0456 LMU ではステーションをオフラインに構成変更できますが、HST ではできません。
- 0457 ドライブテーブル (FDRVT) に一致する HOST ID がありません。
- 0458 LSMid (HST の) が無効です。
- 0459 ブロードキャストのための LMU レジスターに障害がありました。
- 0460 リスナーサブタスクが制御を受け取りましたが、終了 ECB も LMU ブロードキャスト ECB も通知されていません。
- 0461 LMSid (LST の) が無効です。
- 0462 ホスト ID が LSM ロックワードと一致しません。
- 0463 TCB アドレスが LSM ロックワードと一致しません。
- 0464 LMU ドライバーから予期しない戻りコードが返されました。
- 0465 LSM の選択解除が失敗しました (しかし入出力エラーはありませんでした)。
- 0466 ITT レコードを削除できません。
- 0467 制御データベースの解放 (DRLSE マクロ) が失敗しました。
- 0468 制御データベースの入出力エラーです。
- 0469 LMURQST ブロードキャスト読み取り要求が失敗しました。
- 0470 ドライブ ID が無効です。
- 0471 FIGMGR Plist 内で無効データが検出されました。
- 0472 FIGMGR UPDATE が失敗しました。
- 0473 構成処理の間に、予期しない FIGMGR 戻りコードが返されました。

## 初期設定または終了によって出される理由コード

- 0501** HSC 初期設定または終了ルーチンが、ESTAE 環境を確立できませんでした。ESTAE なしでは処理を続けられません。  
R2 = ESTAE マクロからの戻りコード
- 0502** プライマリ JES 名が SSCVT チェーンの中に見つかりません。
- 0504** SSCVT の初期設定または終了フラグが、起動中にそのほかのプロセスによって更新されました。
- 0506** SSCVT の初期設定または終了フラグが、シャットダウン中にそのほかのプロセスによって更新されました。
- 0508** SSCVT の初期設定または終了フラグが、シャットダウン中にそのほかのプロセスによって更新されました。
- 0510** 初期設定または終了サービスルーチンが、サブシステムの初期設定中にロードされませんでした。

## 導入システムコンポーネントによって出される理由コード

- 0550** パラメータの数が無効です。指定のモジュールが、最終パラメータアドレスの高位ビットがセットされていないパラメータリストで呼び出されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0551** LIBGEN - パススルーポートが無効です。処理中の LIBGEN が無効です。パススルーポートの隣接 LSM が LIBGEN 内にありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0552** DSCB を読み取るために OBTAIN が出されました。ゼロ以外の戻りコードが返されました。これは重大障害レベルのエラーです。  
R11 = 戻りコード
- 0553** 無効な戻りコードが返されました。導入機能が呼び出されましたが、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R10 = 戻りコード  
R14 = 機能の呼び出し後のアドレス
- 0554** 無効な IEFEB4UV 戻りコードが返されました。IEFEB4UV がデバイス名を参照するために呼び出されましたが、ゼロまたは 4 以外の戻りコードが返されました。これは重大障害レベルのエラーです。  
R11 = 戻りコード
- 0555** デバイスタイプが無効です (VM のみ)。SLICDATA がデバイス特性獲得のためのテーブル参照を実行しましたが、CDS を含むデバイスを見つけられませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0556** SLICDATA は、あるパネルタイプのパネルマップを見つけようとしたが、見つかりませんでした。
- 0557** SLICDATA は、見つからなかったライブラリ要素に関するエラーをディメンションサービスから受け取りました。
- 0558** SLICDATA は、ドライブレコードを組み立てる時に、予期しないエラーが発生しました。

## TMS またはユーザーインタフェースによって出される理由コード

- 0600** ESTAE マクロは配置に失敗しました。
- 0601** SLSTLMS ファイルに対する OPEN は失敗しました。
- 0602** 回復不能な IUCV エラーが起きました。
- 0603** SLSTLMS ファイルに対する ALLOC は失敗しました。
- 0605** ユーザーインタフェースがデータベースサーバー機能を実行しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0606** ユーザーインタフェースがボリュームまたはセル機能を実行しました。戻り時に、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
- 0607** ユーザーが PGMI インタフェースの「call until EOF」形式を呼び出しましたが、PGMI 要求が完了する前に終了しました。

## LMU ドライバーによって出される理由コード

- 0650** 構成制御要求が出されましたが、戻りコードが無効でした。理由コードの上位 2 バイトには、構成戻りコードの上位 2 バイトが含まれます。
- 0651** SLSLQ で、呼び出し元が、要求された SLSLQ 操作を正しく直列化しなかったことがわかりました。VIA CS 論理によって検出されました。
- 0652** 要求待ち行列に要求があるかどうか確認するために、チェックが行なわれました。要求はありましたが、LQUEUE POP の実行は失敗しました。
- 0653** SLSLATOQ が LCBLOCK を保有しているかどうかを確認するテストが行なわれました。保有していませんでした。
- 0654** ESTAE 環境が以前に確立されていますが、ESTAE 環境を取り消そうという試みが失敗しました。ドライバーは終了処理を実行中でした。
- 0655** 割り振られているはずのステーションを割り振り解除しようとしているとき、SVC 99 からエラーコードが返されました。
- 0656** ESTAE 回復ルーチンの確立を 3 回試みましたが、ESTAE サービスから戻りコード 00 が出されませんでした。
- 0657** 呼び出されたエントリポイントに対応する LRT 項目に、ソースタイプ記述ビットが含まれていません。
- 0661** LRQ は完了したと思われていたのですが、アクティブ、待ち、停止待ち行列のいずれかの状態、または LCB ロックが保持されませんでした。
- 0663** ESTAE を確立できません。
- 0664** ESTAE 取り消しが失敗しました。起動時に回復ルーチンを確立したあと、ESTAE ルーチンの取り消しの失敗がわかりました。
- 0665** LMU 応答エラーです。LMU サーバーのアクティブ要求待ち行列に存在しない通し番号を含む応答が受け取られました。
- 0666** ESTAE 起動に失敗しました。ESTAE 回復ルーチンの確立を 3 回試みましたが、ESTAE サービスから戻りコード 00 が出されませんでした。
- 0667** ドライバー接続に失敗しました。SLSLDRV の接続を 3 回試みましたが、接続に失敗したか、または SLSLDRV を正しく初期設定できませんでした。
- 0668** 仮想記憶域間通知エラーです。LMU ドライバーのシミュレート書き込みルーチンが仮想記憶域間通知を発行しようとしたときに、エラーが起きました。
- 0669** 仮想記憶域間通知エラーです。LMU ドライバーのシミュレート読み取りルーチンが仮想記憶域間通知を発行しようとしたときに、エラーが起きました。
- 0670** LMU ドライバーの待ち行列探索が、待ち行列に入れられているよりも多くの要素を走査しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列は破壊されています。
- 0671** LMU ドライバーが、待ち行列に要素を追加しようとしたときに、エラーが起きました。その要素はすでに待ち行列にあったか、または待ち行列の見出しが破壊されています。

- 0672** LMU ドライバーが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。その要素は待ち行列にありませんでした。
- 0673** LMU ドライバーが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列の数字が最大値を超えています。
- 0674** STIMERM が失敗しました。LMU ドライバーが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列の数字が最大値を超えています。
- 0675** SLSFLSMM から無効な戻りコードが与えられました。
- R14 = 戻りコード
- 0676** ユーザー異常終了が起きました。ローカル作業域の WABNDMSG に、ユーザー異常終了を起こすゼロ以外の値が存在しています。
- 0677** ユーザー異常終了が起きました。ローカル作業域の WABNDMSG に、ユーザー異常終了を起こすゼロ以外の値が存在しています。
- 0678** ユーザー異常終了が起きました。以前の異常終了または中断などのあとで、SLSLDRV を再起動したときに、UCB が再初期設定されませんでした。
- 0679** LMU 要求または、要求修飾子の入力が見つかりません。
- 067A** シミュレーションが要求されましたが、シミュレーター LINK モジュールをロードできませんでした。

## サブシステムデータベースモジュールによって出される理由コード

- 0700** 内部エラーです。DPV が使用可能でないのに、CDS を予約しようとしました。
- 0701** 訂正不能な CDS の破壊です。データベースモジュールが CDS の破壊を検出しました。SLSDRDIR がエラーを訂正できませんでした。この理由コードは、CDS 容量割り振りが不十分な状態での、SLICREAT の実行中に発生する場合があります。
- 0702** 訂正不能な CDS の破壊です。データベースモジュールが CDS の破壊を検出しました。SLSDRDIR が CDS を再作成できましたが、破壊されたままです。
- 0704** 内部エラーです。非所有者がデータベース予約を解放しようとしました。
- 0705** サブファイルを拡張するときに、FREE データベースブロックを見つけられませんでした。より大きな CDS を割り振る必要があります。
- 0707** ボリュームの VARINUSE フラグが、再書き込み処理中にオンになっていません。
- 0708** 与えられた置換 VAR に、異なるボリュームシリアル番号が含まれています。
- 070A** ブロックを同期化しようとしたときに、BDAM または入出力エラーが起きました。
- 070B** VAR 域を走査しようとしたときに、BDAM または入出力エラーが起きました。
- 070C** 内部エラーです。DEEREPL にはバッファがありません。
- 070D** 最後の CDS コピーにエラーがあります。システムを停止させてください。
- 070E** DHB への再書き込み中に入出力エラーが起きました。
- 070F** ホスト ID が、渡された DHB レコード内のどのホスト ID とも一致しません。
- 0710** 割り振りに使用できる ITT ブロックがありません。これはプログラム論理エラーです。
- 0711** 内部エラーです。ブロック番号が索引の範囲を超えています。
- 0712** 内部エラーです。呼び出し元が無効なトークンを指定しました (ITT のメモリアドレスに一致しません)。
- 0713** 内部エラーです。指定されたオフセットの長さが許容値を超えています。
- 0714** 内部エラーです。DCH アイボールが無効です。
- 0715** 内部エラーです。DCH がキャッシュされていません。
- 0716** 内部エラーです。VAR 区域がオーバーフローしました。

- 0717** 内部エラーです。呼び出し元が、アクティブ中のホストか、存在しないホストのいずれかを指定しました。
- 0718** 内部エラーです。指定のホスト用に ITT エクステンションを獲得できませんでした (a)。現在のホストに ITT エクステンションがありません (b)。
- 071A** 内部エラーです。CDS レコードの目印が、それに対して定義されている 4 文字のサブファイル ID と一致しませんでした。
- 071B** 内部エラーです。SCAN に対して指定された OPTION フィールドが無効です。
- 071C** 内部エラーです。内部サブルーチンの NEXTRITT ルーチンが、OK または EOF 以外のものを返しました。
- 071D** 内部エラーです。SCAN 初期設定時に呼び出し元によって指定された LSM の 1 つが無効です。
- 071E** CDS を読み取ろうとしたときに、予期しないエラーが起きました。
- 071F** このタスクによって RESERVE が保持されずに SLSDAWRC が呼び出されました。
- 0720** ハートビートを接続しようとしたのですが、失敗しました。R2 = ATTACH 戻りコード
- 0723** 内部エラーです。ESTAE を確立できません。この理由コードはメッセージ 723E とともに表示されます。
- 0724** 内部エラーです。プログラムが、ユーザー出口 SLSUX06 に無効な項目タイプを渡しました。この理由コードはメッセージ 724E とともに表示されます。
- 0725** 指定の ACS でエラントレコードを見つけようという試みが失敗しました。ACS は、メッセージ 725I に示されます。
- 0726** 内部エラーです。呼び出し元が無効な ACS を指定しました。この理由コードはメッセージ 726I とともに表示されます。
- 072A** ゼロ以外の戻りコードが FIGMGR 呼び出しから返りました。
- 072B** FLSM レコードに、相対パネルに一致するパネルタイプが見つかりませんでした。
- 0731** 内部エラーです。DRPHY の呼び出し元が、データベース読み取りルーチンの SLSDRDSR に、無効なパラメータデータを与えました。
- 0732** 内部エラーです。BDAM パラメータが無効です。
- 0733** 一方のジャーナルに、以前入出力エラーがあったため、ジャーナルを切り替えられませんでした。
- 0735** 両方のジャーナルに入出力エラーがあります。
- 0736** ジャーナル切り替えの後で、新しい現行ジャーナルが、リセットされていないことを示しています。
- 0748** 呼び出し元が、ILLTERNT フィールドが DES 区域にない VAR を渡しました。メッセージ 748I が出力されます。

- 0749** 呼び出し元が、X'00' という回復ルーチン値で、ITT レコードを書き込もうとしました。
- 074A** SLSDIOM がアクティブな CDS 要求により終了しました。
- 074B** プライマリ CDS がアクティブでないときに、CDS を予約しようとした。
- 074C** エラー分析中、CDS を予約しようとしたが、失敗しました。
- 074D** 内部エラーです。CDS レベル HCSRQST のエラーです。
- 074E** 内部エラーです。無効な DCVINFO が指定されました。

## WTO サーバーによって出される理由コード

**0750** サブシステムメッセージ書き出しルーチンによって、インタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。

R2 = より詳細なエラー理由コード

**0751** 複数行の出力を要求しているときに、WTO からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。これは内部エラーです。

R14 = 戻りコード

## ASCOMM によって出される理由コード

- 0802** ASCOMM 終了処理はすでに開始されています。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって再試行を行いません。この異常終了では、ASCOMM ドライバータスクは終了しません。
- 0803** SLSQWRK の接続が失敗しました。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって、QMTB を解放し、再試行を行いません。この異常終了では、ASCOMM ドライバータスクは終了しません。
- R14 = 違反を生じたアドレス
- 0804** ESTAE を確立できません。ASCOMM は ESTAE を確立または削除しようとしたが、ゼロ以外の戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトに、ESTAE 戻りコードが入っています。これはプログラム論理エラーです。
- R14 = 命令アドレス
- 0805** QXTRACT サービスが ASCOMM に付加されていないタスクによって、呼び出されました。これは重大障害レベルのエラーです。
- 080C** QMTB のオプションが無効です。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって、QMTB を解放し、再試行を行いません。この異常終了では、ASCOMM ドライバータスクは終了しません。
- 080E** QMTB 待ち行列で無効な要素が見つかりました。このルーチンの ESTAE のシステムダンプに、無効な記憶域アドレスが含まれています。
- 0810** 呼び出し元によって指定された応答トークンを、ASCOMM 内部テーブル内に見つけられませんでした。応答を出したタスクは終了します。
- 0811** 応答の長さが、元の要求で指定されているサイズを超えています。応答を出したタスクは終了します。
- 0815** 呼び出し元で指定されたタスクトークンがゼロでした。応答を出したタスクは終了します。
- 0820** 呼び出し元で指定された応答トークンがゼロでした。応答を出したタスクは終了します。
- 0827** リンケージ索引を割り振れませんでした。ASCOMM の初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行なわれません。
- 0829** ASCOMM ドライバの接続が失敗しました。ASCOMM の初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行なわれません。
- 0830** ASCOMM ドライバの初期設定が失敗しました。ASCOMM の初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行なわれません。
- 0833** 無条件 SETLOCK の障害です。
- 0834** LVT を見つけられませんでした。SRB は終了します。

## サブシステムサービスモジュールによって出される理由コード

- 0900** 許可されている最大値を超える保管域または作業域を割り振ろうという試みが、SLSCALLによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = 呼び出されているモジュール  
R12 = 呼び出しを行なっているモジュール  
R14 = 戻りアドレス
- 0901** 保管域または作業域として 72 バイト未満の領域を割り振ろうという試みが、SLSCALLによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = 呼び出されているモジュール  
R12 = 呼び出しを行なっているモジュール  
R14 = 戻りアドレス
- 0902** 部分保管域スタックを解放しようという試みが、SLSBSADBによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0903** 部分保管域スタックを解放しようという試みが、SLSBSADSによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0904** 最大値を超える初期保管域スタックを割り振ろうという試みが、SLSMAINPによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0905** ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行なわれましたが、指定されたパラメータが無効でした。R1 がゼロ以外の値であったか、または R0 がゼロでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0906** ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行なわれましたが、使用できる DPV がありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
- 0907** ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行なわれましたが、ENQ または DEQ 要求が出されて、無効な戻りコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0908** SSAT サービスの呼び出しが行なわれましたが、指定された項目が無効です。これはプログラム論理エラーです。
- R2 = 無効な項目
- 0909** SSAT SET サービスの呼び出しが行なわれましたが、要求元がすでに SET を処理中であることが、アクティブな ENQ により示されました。これはプログラム論理エラーです。
- 0910** 内部サブルーチン PARSK000 からの戻りコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えています。
- R2 = 戻りコード
- 0911** SLSSATS が ESTAE の作成または削除を試みましたが、ESTAE がゼロ以外の戻りコードを返しました。これはプログラム論理エラーです。
- R2 = 戻りコード

- 0912** 内部サブルーチン PARSK000 からの戻りコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えています。  
R2 = 戻りコード
- 0913** ボリュームまたはセルルーチンの呼び出しで、無効な戻りコードが返されました。  
R14 = ボリュームまたはセルルーチンを呼び出している区域
- 0914** SLSSHSRQ ルーチンへの呼び出しで、無効な機能が要求されました。
- 0915** SLSSHSRQ ルーチンへの呼び出しで、無効な要求または応答が指定されました。
- 0916** ほかのホストからの要求を扱うためのタスクが接続されました。この ATTACH で、ゼロ以外の戻りコードが返されました。  
R14 = 戻りコード
- 0917** SRIBRQ マクロが出されましたが、指定された機能コードが無効です。  
R10 = SRIBPL のアドレス
- 0918** 当該モジュールに対し、ESTAE を確立しようとしているときに、エラーが起きました。  
R15 = 戻りコード
- 0919** 当該モジュールに対し、ESTAE を確立しようとしているときに、エラーが起きました。  
R15 = 戻りコード
- 0920** STIMERM シミュレーション中にエラーが起きました。ERRET が、STIMERM マクロに指定されていませんでした。  
R15 = 戻りコード
- 0921** TIMERM CPOOL FREE ルーチンでエラーが起きました。セルを解放できませんでした。  
R15 = 戻りコード
- 0922** SLSSACCM 処理中にエラーが起きました。  
R8 = SRCSACTB テーブル  
R7 = SRCSACEL 要素  
R2 = 戻りコード  
R15 = 戻りコード
- 0923** SLSSUXQP 処理中にエラーが起きました。  
R5 = ユーザー出口エントリコード  
R8 = SACCUM のためのトークン

- 0924** SLSSUXCP 処理中にエラーが起きました。  
R7 = ユーザー出口エントリ BUXCHB  
R8 = BUXCHT のためのアドレス
- 0925** SLSCALL に渡されたエントリポイントのアドレスがゼロでした。  
R9 = 呼び出されているモジュールがゼロを含みます。  
R12 = 呼び出しを行なっているモジュール  
R14 = 戻りアドレス
- 0926** LSMid が無効です。
- 0927** モジュール ATTACH 要求のタイムアウト。  
R4 = SLS1972D メッセージに先立つモジュール ATTACH 要求
- 0928** サブルーチンで未知の戻りコードが受け取られました。戻りコードは、  
SCCELLV パラメータリストの SCELBDRC フィールドに入れます。
- 0929** 要求元は、無効な宛先の位置またはターゲットの活動を指定しました。
- 0930** SRMM RESOLVE のデバイスアドレスから予期しない戻りコードを受け  
取りました。
- 0931** UENT (ユーティリティ入力) 制御ブロックチェーンでエラーが検出  
されました。
- 0942** Verify Subsystem SSREQ を使用して HSC のサブシステムの索引値を検索  
するときに SSI 要求が失敗しました。

## 回復コンポーネントによって出される理由コード

- 8502** ホスト回復 RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、無効なホスト ID が含まれていました。同じホスト回復で、ホスト ID が LVTHID と一致していませんでした。これは重大障害レベルのエラーです。
- R9 = RRPL
- 8506** 回復 RRPL が渡されましたが、無効な ACHS ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。
- R9 = RRPL
- 850A** 回復 LSM RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、無効な LSM ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。
- R9 = RRPL
- 850E** クリーンな CAP RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、無効な CAP ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。
- R9 = RRPL
- 8516** ボリュームまたはセル機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
- 851A** 構成機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
- 851E** CAP 共通機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
- 8522** 完全なボリューム RRPL が SLSRMQUE に渡されました。しかし、呼び出し元が LSM をロックしています。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = RRPL
- 8526** 無効な RRPL が指定されました。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = RRPL
- 852A** LMU サーバー機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。
- 852E** RCVTERRA により許可されたエラーの数を超えました。
- 8532** 回復 ITT 回復ルーチンが呼び出されましたが、異なる ITT 回復ルーチンを指定した ITT が渡されました。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = RITT  
R10 = RITP
- 8536** ホスト回復の実行を受け持つタスクが異常終了しました。これはプログラム論理エラーです。
- R9 = RRPL

- 853A** 完全なボリューム RRPL が SLSRMQUE に渡されました。しかし、呼び出し元が LSM をロックしています。これはプログラム論理エラーです。  
R9 = RRPL
- 853E** データベースサーバー機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
- 8542** 無効なパラメータリストが回復機能に渡されました。これはプログラム論理エラーです。
- 8546** 回復機能が要求されました。しかし、無効な戻りコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、戻りコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
- 854A** 回復機能で、無効なソースまたは宛先レコードを持つ DES が検出されました。これはプログラム論理エラーです。  
R3 = チェックされている位置  
R9 = DES
- 854E** 回復機能でタスクを付加できませんでした。これはプログラム論理エラーです。  
R14 = Attach 戻りコード
- 8552** 回復機能が無効な LTCE を受け取りました。これはプログラム論理エラーです。  
R2 = LTCB  
R3 = LTCE
- 8556** CAP または LSM の回復が要求されましたが、LSMid テーブルでその LSM を見つけられませんでした。  
R2 = LSMid  
R6 = LSMid テーブル
- 855A** CAP または LSM の回復が要求されました。しかし、指定された ITT にゼロのルーチンタイプがありました。  
R9 = RRPL

## ホスト通信によって出される理由コード

- 9200** ESTAE エラーが起きました。  
R2 = ESTAE エラー戻りコード
- 9201** ATTACH エラーが起きました。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。SLSHINIT は、初期設定にエラー戻りコードを返します。  
R2 = ATTACH エラー戻りコード
- 9202** 未知の ECB が通知されました。ディスパッチされたタスクは、通知された ECB を判別できませんでした。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9203** 未知の戻りコードです。SLSHSWT は、呼び出し元にエラー戻りコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9204** CDS 方式の下方切り替えが行なわれようとしてしました。SLSHSWT は、呼び出し元にエラー戻りコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9205** 現在通信方式は未知のものです。SLSHSWT は、呼び出し元にエラー戻りコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9206** 出口作業待ち行列にエントリを追加できません。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9207** VTAM 出口作業待ち行列にエントリを追加できません。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。
- 9208** VTAM 出口作業待ち行列のエントリタイプは未知のものです。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行なわれます。



## 第 4 章 HSC 戻りコード

---

### はじめに

この章には、HSC 戻りコードの要約を示してあります。これらのコードは、カテゴリ別に表形式で編成してあります。カテゴリには次のものがあります。

- オペレータコマンドの戻りコード
- 初期設定または終了の戻りコード
- マウントまたはディスマウントの戻りコード
- マウントまたはディスマウントトレース識別番号
- ユーティリティーの戻りコード
- AUDIT ユーティリティーの戻りコード
- ユーティリティー応答コード
- ユーティリティー条件コード
- CAP 処理の戻りコード
- ボリュームまたはセルの戻りコード – パラメータリストなし
- ボリュームまたはセルの戻りコード – パラメータリスト付き
- ボリュームまたはセルの戻りコード – GTRACE Id
- 構成の戻りコード
- LMU サーバーの戻りコード
- データベースサーバーの戻りコード
- アドレス空間通信の戻りコード
- アドレス空間通信の機能コード
- 回復の戻りコード
- ホスト通信サービスの戻りコード
- 統合ユーザーインタフェース (UI) の戻りコード
- 統合ユーザーインタフェース (UI) の理由コード

## 戻りコードリストと説明

表 2. オペレータコマンドの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	ORCOK	OK 戻りコード
X'000A'	ORCNOSSI	SMF SSI モジュールがロードされていません
X'0004'	ORCMORE	さらに処理が必要です
X'000B'	ORCNOSLT	SSVT にスロットがありません
X'000C'	ORCNOCMD	コマンド SSI モジュールがロードされていません
X'000D'	ORCABEND	オペレータコマンドルーチンが異常終了しました。SDUMP が取られました
X'000E'	ORCFORCE	オペレータコマンドコンポーネントが WMSG031D への応答「TERM」で強制終了しました
X'000F'	ORCXCLSV	同時には指定できないパラメータが指定されました

表 3. 初期設定または終了の戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	BRCOK	操作がエラーなしで行なわれました
X'0004'	BRC4	戻りコード 4(致命的エラーではありません)
X'0008'	BRC8	操作でエラーが発生しました
X'0012'	BRC12	SLSBCITP 初期設定モジュールが失敗しました
X'0016'	BRC16	初期設定または終了モジュールがロードされていません
X'0508'	BRCFLOWAD	いずれかの初期設定モジュールのロードエラーです
X'0509'	BRCFMODL	呼び出されたモジュールが不正な戻りコードを返しました

表 4. マウントまたはディスマウントの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	MRCOK	正しい戻りコードです
X'0704'	MRCSTOP	処理が停止されます

表4. マウントまたはディスマウントの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'0708'	MRCNOACS	ローカル HCT が見つかりません (SLSMINIT)
X'070C'	MRCNOHCT	ACS エントリが見つかりません (SLSMINIT)
X'0710'	MRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'0714'	MRCRETRY	再試行
X'0718'	MRCRVFWC	間違ったセル内のボリュームを回復します
X'071C'	MRCRVFCC	ボリューム CAP セルを回復します
X'0720'	MRCVAS	ボリュームはすでに選択されています
X'0724'	MRCVNE	ボリュームがエラントではありません
X'0728'	MRCERSEL	ボリュームがエラントで、選択されています
X'072C'	MRCRTRYI	非互換のスクラッチマウントを再試行します
X'0730'	MRCUSE	制限を超えたクリーナーを使用しています
X'0734'	MRCEJECT	イジェクト応答
X'0738'	MRCKEEP	保持応答
X'073C'	MRCFSPNT	ドライブが使用済みクリーニングカートリッジのロードに失敗しました
X'0740'	MRCRTNVL	ディスマウント時に LMU volser が一致しません
X'0744'	MRCLSMOF	LSM がオフラインです
X'0748'	MRCACSOE	ACS が切断されています
X'074C'	MRCVNOD	ディスマウントするボリュームがドライブに存在しません
X'0750'	MRCDRVLD	ドライブのセル走査がロードされたことを表示しています
X'0754'	MRCLMUER	セル走査で LMU エラーが返されました
X'0758'	MRCVERNT	ボリュームがエラントです
X'075C'	MRCVTCSN	仮想マウントです - VTCS がアクティブではありません

表 5. ユーティリティの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	URCOK	正しい戻りコードです
X'1501'	URCUACT	ALS 終了処理時にユーティリティ機能がアクティブになっています
X'1502'	URCSCU	スクラッチ更新を処理中です
X'1503'	URCSRD	スクラッチ再分配を処理中です
X'1504'	URCAUD	AUDIT ユーティリティを処理中です
X'1505'	URCTRM	ユーティリティを終了中です
X'1506'	URCSUB	サブシステムがアクティブではありません
X'1507'	URCDSFAL	データスペースの RECONFIG が失敗しました
X'1508'	URCDSTRM	データスペースの RECONFIG が終了しました
X'1509'	URCDVARF	データスペースの RECONFIG の DVAR がいっぱいです
X'150A'	URCDSFMM	データスペースの RECONFIG のサブファイルレコード番号と CDSDEF および RECDEF が不一致です
X'150B'	URCDSNNW	データスペースの RECONFIG の RECDEF がありません

**表 6. AUDIT ユーティリティの戻りコード**

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	URCAOK	正しい戻りコードです
X'2001'	URCADUP	重複が見つかりました
X'2002'	URCAADD	ボリュームが追加されました
X'2003'	URCACHG	ボリュームが更新されました
X'2004'	URCASEL	ボリュームが選択されています (使用不能)
X'2005'	URCAEJE	カートリッジのイジェクトが失敗しました
X'2006'	URCABGNC	CAP を獲得できませんでした
X'2007'	URCAMED	ボリュームまたは MEDIA が不一致です
X'2008'	URCAUMED	MEDIA が読み取り不能です - 既存のテープ
X'2009'	URCAMEDE	MEDIA が読み取れません - 新規のテープ
X'2010'	URCAMEJE	カートリッジのイジェクトに失敗しました - MEDIA
X'2011'	URCAVOLR	ボリュームが読み取れなくなりました
X'2050'	URCETRM	ASCOMM によって、早期終了が通知されました
X'2098'	URCALER	LMU または LSM エラーが起きました
X'2099'	URCAIOE	I/O エラーが検出されました

**表 7. CAP 処理の戻りコード**

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	CRCOK	CAP がエラーなしで要求を終了させました
X'2504'	CRCLSM	LSMid が無効です
X'2508'	CRCLSMOF	LSM が手動モードです (オフライン)
X'250C'	CRCATHS	IATHSid が無効です
X'2510'	CRCATHOF	ACS が切断されています (オフライン)

表 7. CAP 処理の戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'2514'	CRCBSYCP	指定の CAP は使用中です
X'2518'	CRCBADCP	CAP ACS とボリューム、セル、またはドライブの ACS が一致していません
X'251C'	CRCRLSCP	CAP が解放されています
X'2520'	CRCIDLCP	CAP が使用されていません
X'2524'	CRCNOCAP	使用可能な (優先順位が 0 よりも大きい) CAP がありません
X'2528'	CRCLMUER	LMU 要求が失敗しました
X'252C'	CRCVBSY	VOLSER がすでに選択されています
X'2530'	CRCVDUP	要求されたボリュームシリアル番号が重複しています
X'2534'	CRCERRNT	カートリッジがエラントです
X'2538'	CRCOPRAB	オペレータが処理を中止しました
X'253C'	CRCVRCER	ボリュームまたはセル制御エラーです
X'2540'	CRCNOSPC	ACS に使用可能なセルがありません
X'2544'	CRCDCRER	データベースサーバーエラーです
X'2548'	CRCFCRER	構成制御エラーです
X'254A'	CRCRECEER	エラントボリュームの回復エラーです
X'2550'	CRCINVFN	要求された CAP 機能が無効です
X'2554'	CRCMTCAP	CAP を空にするようオペレータに要求します
X'254C'	CRCLNOCP	LSM が CAP を制御しません
X'2558'	CRCVOL	volser が無効です
X'2560'	CRCNOVOL	CAP ドアが、ボリュームのない状態で閉められました
X'2564'	CRCCAPOF	CAP LSM がオフラインになっています
X'2566'	CRCCOFFP	CAP がオフライン保留になっています
X'256C'	CRCOPRRT	オペレータが要求を再試行しました
X'2570'	CRCNCNCL	要求を取り消すことができません
X'2574'	CRCTFULL	ターゲットがいっぱいです

表 7. CAP 処理の戻りコード( 続き)

戻りコード値	名前	説明
X'2578'	CRCABEND	CAP の異常終了 - ソフトウェア障害です
X'257C'	CRCOPRDE	オペレータがボリュームを削除しました
X'2584'	CRCLSMPO	LSM の経路がオフラインです
X'2588'	CRCAUTER	非特定要求で AUTO が指定されました
X'258C'	CRCCAPER	4410 にゼロ以外の CAP が指定されました
X'2590'	CRCCAUTO	CAP が AUTO モードです
X'2594'	CRCSTTER	CCAPDS と CDS 間の状況エラーです
X'2598'	CRCINVID	CAPid が無効です
X'25A0'	CRCNAUTO	CAP AUTO サービスが使用できません
X'25A4'	CRCPRFNA	この CAP に対する CAP Pref が不正です
X'25A8'	CRCANCEL	Cancel コマンドを受け取りました (x22)
X'25AC'	CRCNOACT	指定された CAP をアクティブにできませんでした
X'25B0'	CRCSTAT	すでになっている状態に CAP を変更しようとしてしました (CAP がすでにオンになっている場合に F CAP ON)
X'25B4'	CRCAMBIG	ACS と LSM が別々に CAP を識別しません
X'25B8'	CRCRECVR	CAP が回復処理中です
X'25BC'	CRCNOTAC	メディアがドライブと非互換です
X'25C0'	CRCVREAD	LS エンター時の無効 VOLSER
X'25C4'	CRCACDNY	ユーザー出口 14 により、アクセスが拒否されました
X'25C8'	CRCURMED	読み取り不可のメディア (LMU から)
X'25CE'	CRCCAPNO	CAP Not Operational

表 8. ボリュームまたはセルの戻りコード - パラメーターリストなし

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	VR15GOOD	レジスター 15 は正しい戻りコードを示します
X'40F1'	VR15BAD	レジスター 15 はエラー戻りを示します
X'40F2'	VR15ACTV	レジスター 15 は終了時にアクティブな VAT が存在することを示します
X'40F3'	VR15NOTF	レジスター 15 は VAT 待ち行列にない VAT が存在することを示します
X'40F4'	VR15NOTO	レジスター 15 は所有されていない VAT が存在することを示します
X'40F5'	VR15SPE1	レジスター 15 は無効な番号のサブプール項目が存在することを示します
X'40F6'	VR15SPE2	レジスター 15 は無効な番号または順序のサブプールが存在することを示します
X'40F7'	VR15SPE3	レジスター 15 は無効なサブプール項目範囲が存在することを示します
X'40F8'	VR15SPE4	レジスター 15 は無効なラベルタイプが存在することを示します
X'40F9'	VR15SPE5	レジスター 15 はすでに定義されているサブプールが存在することを示します
X'40FA'	VR15SPE6	レジスター 15 は順序外にサブプールが存在することを示します
X'4100'	VR15ATFL	ATTACH SLSVSCCHK が失敗しました
X'4104'	VR15DOWL	VCAM のレベルが低いことを示します
X'4108'	VR15IOER	VCAM の処理中に I/O エラーがありました

表9. ボリュームまたはセルの戻りコード - パラメータリスト付き

戻りコード値	名前	説明
VR15GOOD	VRCOK	機能は正常に実行されました
X'4001'	VRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'4002'	VRCVAS	ボリュームがすでに選択されています
X'4003'	VRCVER	ボリュームがエラントです
X'4004'	VRCVNS	ボリュームが選択されていません
X'4005'	VRCVNO	VAT が呼び出し元によって所有されていません
X'4006'	VRCRNO	VAR がシステムによって所有されていません
X'4007'	VRCIVC	不当な VAR の変更が行なわれました
X'4008'	VRCVSC	ボリュームがすでにスクラッチになっています
X'4009'	VRCLNC	位置がセル内にありません
X'4010'	VRCVDP	ボリュームが重複しています
X'4011'	VRCNSC	スクラッチボリュームがありません
X'4012'	VRCAIP	監査処理中です
X'4013'	VRCNCA	使用可能なセルがありません
X'4014'	VRCCIN	セル ID を割り振れません
X'4015'	VRCCAF	セルがすでに解放されています
X'4016'	VRCILI	LSMid が無効です
X'4017'	VRCICI	セル ID が無効です
X'4018'	VRCVNE	ボリュームはエラントではありません
X'4019'	VRCIPI	パネルインデックスが無効です
X'401A'	VRCBAL	空きセルの数が不均衡です
X'4020'	VRCCVL	セルにボリュームがあります
X'4021'	VRCCNV	セルにボリュームがありません
X'4022'	VRCTRM	セル走査が終了しました
X'4023'	VRCIET	エラントレコードが無効です
X'4024'	VRCISP	スクラッチサブプールインデックスが無効です
X'4025'	VRCILB	ラベルタイプが無効です

表 9. ボリュームまたはセルの戻りコード - パラメータリスト付き (続き)

戻りコード値	名前	説明
X'4026'	VRCLWS	ラベルにサブプール修飾子がありません
X'4027'	VRCNCL	クリーニングカートリッジがありません
X'4028'	VRCSCS	スクラッチクリーナーに不当な試みが行なわれました
X'4029'	VRCNCM	通信を行なうことができません
X'4030'	VRCNSV	スクラッチボリュームではありません
X'4031'	VRCSAE	エラント回復によってボリュームが選択されました
X'4032'	VRCNAP	スクラッチ選択として承認されません
X'4033'	VRCABT	スクラッチ選択を中止します
X'4034'	VRCMVC	VSM MVC のスクラッチは不正です
X'4037'	VRCDRTST	DR テストによってスクラッチ要求が妨げられます
X'4098'	VRCIOS	データベースの I/O エラーです (ボリュームは選択されています)
X'4099'	VRCIOE	データベースの I/O エラーです

表 10. 構成の戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	FRCOKAY	機能は正常に完了しました
X'0004'	FRCMORE	さらにデータがあります (FIGMGR LOOP=Y)
X'4502'	FRCIPLST	Plist が不正です
X'4504'	FRCDBIO	データベースの読み書きエラーです
X'4508'	FRCNHOST	HCT 内に一致する HOST ID がありません
X'450C'	FRCILTIV	ILLT が無効か、またはサポートされていません
X'4510'	FRCCPOOL	セルプールに使用可能な記憶域がありません
X'0000'	FRCSACT	サブシステムがアクティブです
X'4512'	FRCSIAT	サブシステムが非アクティブです
X'0000'	FRCAACT	ACS が接続されています

表 10. 構成の戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'4514'	FRCAIAT	ACS が切断されています
X'0000'	FRCLACT	LSM が自動モードです
X'4516'	FRCLIAT	LSM が手動モードです
X'4518'	FRCCIAT	CAP がアクティブではありません
X'451A'	FRCCMANL	CAP が手動モードです
X'451C'	FRCCACT	CAP がアイドル状態になっていません
X'451D'	FRCCOFF	CAP がオフラインになっています
X'451E'	FRCCLEAN	ドライブのクリーニングが必要です
X'4520'	FRCALFLG	ドライブにはすでにフラグが付けられています
X'4522'	FRCAINV	ACS の識別子が無効です
X'4524'	FRCLINV	LSM の識別子が無効です
X'4526'	FRCCINV	CAP の識別子が無効です
X'4528'	FRCUINV	デバイスアドレスが無効です
X'452C'	FRCDINV	ドライブの識別子が無効です
X'452E'	FRCMINV	LSM のモードが無効です
X'452F'	FRDMAIV	ACS のモードが無効です
X'4530'	FRCLKIV	ロックトークンモードが無効です
X'4532'	FRCALOK	LSM ロックが使用不能です
X'4534'	FRCNLOK	LSM が前もってロックされていません
X'4536'	FRCRECFD	待ち行列レコードが見つかりました
X'453A'	FRCLTKN	トークンが正しくありません
X'453C'	FRCLDATA	データが無効です
X'453E'	FRCTNFND	データタイプが見つかりません
X'4542'	FRRCRCAP	CAP を解放できませんでした
X'4544'	FRNCNAP	使用可能な CAP がありません
X'4545'	FRNCNPAC	指定された LSM にアクセス可能な CAP がありません
X'4546'	FRCHCAP	CAP がこのホストによって所有されていません

表 10. 構成の戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'4548'	FRCACAP	CAP を活動化できませんでした
X'4550'	FRCABNR	CAP が活動化されましたが、回復が必要です
X'4552'	FRCNUCB	このホストで生成された UCB がありません
X'4554'	FRCNATT	SLSFLSMC を接続できませんでした
X'4556'	FRCNMODE	要求されたのは、この FIGMGR モードではありません
X'455A'	FRCPANIV	パネルが無効です
X'455C'	FRCROWIV	行が無効です
X'455E'	FRCCOLIV	列が無効です
X'4560'	FRCLMUC	LMU 構成の読み取りエラーです
X'4562'	FRCNFER	構成の一致エラーです
X'4564'	FRCNBRD	ホスト間ブロードキャストエラーです
X'4566'	FRCLMUL	LMU エラーにより LSM ステータス が変更されました
X'4568'	FRCNRLS	データベース解放が失敗しました
X'456A'	FRCVRYFL	LMURQST ステーション構成変更が 失敗しました
X'456B'	FRCNRSRV	CDS 上に予約がありません
X'456C'	FRCNRECF	レコードが見つかりません
X'456D'	FRCSELECT	レコードがすでに選択されています
X'456E'	FRCNAREA	構成変更後の出力用スペースが不十分 です
X'456F'	FRCLOGIC	構成マネージャーエラーです
X'4570'	FRCNFTW	ACS には 9740 LSM が含まれています
X'4571'	FRCNF20	LSM には 20 ドライブのパネルがあり ます
X'4572'	FRCDRVNM	CDS とメモリー内のドライブの不一 致です
X'4573'	FRCDRVTY	ドライブタイプが変更されました

表 11. LMU サーバーの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	LMUOKAY	機能が正常に終了しました
X'6500'	LMUESINV	移動元が無効です
X'6501'	LMUESEMP	移動元が空です
X'6502'	LMUESVNM	移動元のボリュームシリアル番号が一致しません
X'6503'	LMUESVNR	移動元のボリュームシリアル番号が読み取り不能です
X'6504'	LMUESUVL	予期しないボリュームシリアル番号が移動元にあります
X'6505'	LMUETINV	宛先が無効です
X'6506'	LMUETFUL	宛先がいっぱいです
X'6507'	LMUESTNA	移動元と宛先が同じ ATHS にありません
X'6508'	LMUESTNL	移動元と宛先が同じ LSM にありません
X'6509'	LMUESTNS	移動元と宛先が同じタイプではありません
X'6510'	LMUENPTP	xfer に使用できるパススルーポートがありません
X'6511'	LMUENLMU	LMU がオンラインになっていません
X'6512'	LMUELLMU	LMU との通信が失われました
X'6513'	LMUEMIHX	未着割り込みハンドラによって取り消されました
X'6514'	LMUELSME	LSM のハードウェアエラーです
X'6515'	LMUELMUE	LMU のハードウェアエラーです
X'6516'	LMUECMNT	CAP が保守モードにあります
X'6517'	LMUECDOP	CAP のドアが開いています
X'6518'	LMUEENTP	エンター要求が保留になっています
X'6519'	LMUEEJTP	イジェクト要求が保留になっています
X'6520'	LMUECCTP	CAP カタログが保留になっています
X'6521'	LMUEDLDE	ドライブロードエラーです
X'6522'	LMUEDULE	ドライブアンロードエラーです
X'6523'	LMUEDALC	ドライブ割り振りエラーです

表 11. LMU サーバーの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'6524'	LMUECRST	このホストにすでに CAP が予約されています
X'6525'	LMUECRSO	CAP がホストに予約されています
X'6526'	LMUECNRT	CAP がこのホストに予約されていません
X'6527'	LMUEMPND	CAP との間の移動が保留になっています
X'6528'	LMUEDEAD	LMU が停止しています
X'6529'	LMUEIOPT	無効なオプションフラグが指定されました
X'652A'	LMUECRHG	CAP がそのほかのホストグループに予約されています
X'6530'	LMUEIOPC	オプションコードが無効です
X'6531'	LMUESTBY	ステーションがスタンバイになっています
X'6532'	LMUEVUXR	VOLSER が突然読み取り可能になりました
X'6533'	LMUEECBI	ECB パラメータが無効です
X'6534'	LMUEEC2I	ECB2 パラメータが無効です
X'6535'	LMUEVTMI	VIEW 時間が無効です
X'6536'	LMUEBVOB	不良 VIEW オブジェクトがあります
X'6537'	LMUEDDSV	装置は VIEW をサポートしていません
X'6538'	LMUECMPT	互換性レベル機能の不一致です
X'6540'	LMUESTNF	初期設定用のステーションが見つかりません
X'6541'	LMUELAF	LMU リスナーの接続に失敗しました
X'6542'	LMUETAF	LMU タイマーの接続に失敗しました
X'6543'	LMUEDAF	LMU ドライバーの接続に失敗しました
X'6544'	LMUESAF	LMU ステーションシミュレーターの接続に失敗しました
X'6545'	LMUELSAF	LMU シミュレーターの接続に失敗しました
X'6546'	LMUEWAF	LMU ワーカーの接続に失敗しました

表 11. LMU サーバーの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'6547'	LMUEMNS	HSC に LMU レベルがサポートされていません
X'6548'	LMUENHCT	LVT に HCT アドレスがありません
X'6549'	LMUEORIP	オフライン要求はすでに進行中です
X'6550'	LMUENOFF	ステーションがオフラインになっていません
X'6551'	LMUENONL	ステーションがオンラインになっていません
X'6552'	LMUELDNE	LMU が存在しません
X'6553'	LMUENSTA	ステーションが存在しません
X'6554'	LMUENSPN	移動元と宛先が同じパネルにありません
X'6555'	LMUESOFF	ステーションがオフラインになっています
X'6558'	LMUEINVF	機能が正しくありません
X'6568'	LMUENMSG	ブロードキャストメッセージがありません
X'6574'	LMUEICIV	VOLSER に無効な文字があります
X'6575'	LMUEICIM	メッセージに無効な文字があります
X'6578'	LMUENSEQ	ステーションをオンラインに変更する際の通し番号がありません
X'6579'	LMUEVSTO	ステーションに対するオンライン構成変更がタイムアウトになりました
X'657B'	LMUEVACC	強制的にオフラインにされ、要求が取り消されました
X'657C'	LMUENVST	要求によってオンラインに変更されたステーションが見つかりません
X'657D'	LMUEBCON	TCP または IP の接続が失敗しました
X'6582'	LMUEMFAC	カートリッジに対して操作が行なわれました
X'6584'	LMUEIBID	ブロードキャスト ID が無効です
X'6586'	LMUEDNRW	ドライブが巻き戻されていません
X'6590'	LMUEUAST	ステーションを割り振れません
X'6591'	LMUEOFST	ステーションのオープンに失敗しました
X'6592'	LMUELSMO	LSM がオフラインです

表 11. LMU サーバーの戻りコード( 続き)

戻りコード値	名前	説明
X'6593'	LMUESHPF	ホスト経路グループ設定が失敗しました
X'6595'	LMUEEOTR	エンター操作が終了しました
X'6596'	LMUERDNW	解放が作動しませんでした
X'6598'	LMUEINVR	LMU から受け取った応答が無効です
X'65A0'	LMUELON	LSM がオンラインです
X'65A1'	LMUELPON	LSM がオンライン保留になっています
X'65A2'	LMUELPOF	LSM がオフライン保留になっています
X'65A3'	LMUELNON	LSM が作動不能です
X'65A4'	LMUELNOF	LSM がオフラインになっていません
X'65A5'	LMUELMM	LSM が保守モードです
X'65A6'	LMUEIOE	LSM の I/O エラーです
X'65A7'	LMUECINV	取消要求が無効です
X'65A8'	LMUEKILD	要求が取り消されました
X'65A9'	LMUECRNA	取り消される要求がアクティブではありません
X'65AA'	LMUECLAT	指定した要求を取り消すのが遅すぎました
X'65AB'	LMUEFOFF	LSM がオフラインに強制変更されました
X'65AC'	LMUESMMC	メディアが一致しません
X'65AD'	LMUESMVM	メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
X'65AE'	LMUESIMD	非互換のメディアまたはドライブです
X'65AF'	LMUEMMAG	CAP マガジンが欠落しています
X'65B0'	LMUERQBE	すべての要求待ち行列項目に対応するのにバッファの大きさが十分ではありません
X'65B1'	LMUERQBR	qcount、rqueues の要求にはバッファが必要です
X'65B2'	LMUEMNTO	保守ドアが開いています
X'65E0'	LMUEAUTO	自動操作が完了しました
X'65F1'	LMUETERM	サーバーが終了処理中です

表 11. LMU サーバーの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'65FF'	LMUEPRGD	要求が除去されました

表 12. データベースサーバーの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	DRCOK	操作はエラーなしで行なわれました
X'7004'	DRCPRMER	データベースに永続的な I/O エラーがあります
X'7008'	DRCNODDN	ファイルの DDNAME 文がありません
X'700C'	DRCRNF	レコードが見つかりません
X'7010'	DRCLOGIC	論理エラーです - パラメータが無効です
X'7014'	DRCNTRSV	このタスクまたはこのタスクの親タスクのいずれによってもデータベースが予約されていません
X'7024'	DRCHACT	ホストがアクティブになっています
X'7028'	DRCHQIS	ホストが非アクティブになっています
X'702C'	DRCHNON	ホストが存在しません
X'7030'	DRCINOB	ITT ブロックがありません
X'7034'	DRCSHIO	訂正不能の CDS の I/O エラーです
X'7038'	DRCRETIO	I/O 経路が切断されました
X'703C'	DRCENBAD	DEERE からの不良 ENABLE です
X'7040'	DRCBDEYE	レコード内の目印が無効です
X'7044'	DRCHRCVH	このホストは回復されています
X'704C'	DRCABEND	ユーザー出口が異常終了しました
X'7050'	DRCALLOC	動的割り振りに失敗しました
X'7054'	DRCOPNER	オープンエラーです
X'7058'	DRCATTCH	DIOM 接続に失敗しました
X'705C'	DRCPARME	PARMLIB 項目にエラーが見つかりました
X'7060'	DRCNVS	名前付き変数サービスのエラーです
X'7064'	DRCUNALO	データベースが割り振り解除されています
X'7068'	DRCERROR	データベースがエラー状況にあります

**表 12. データベースサーバーの戻りコード(続き)**

戻りコード値	名前	説明
X'7078'	DRCLNMM	長さが不一致です
X'707C'	DRCFMMM	予約
X'7080'	DRCEOSF	サブファイルの終わりです
X'7084'	DRCSFNF	サブファイルが見つかりません
X'7088'	DRCINVLN	RECLN が 1 未満または 4000 を超えています
X'708C'	DRCDSUTR	すべての CDS コピーに問題があります
X'7090'	DRCDSMLT	CDS コピーが単一の CDS からのものではありません
X'7094'	DRCNRDIR	SLSDRDIR がディレクトリを再作成できませんでした
X'7098'	DRCFCORR	破壊が見つかりました。読み取りを再試行します。
X'709C'	DRCFSHSQ	シャドウ手順が同期していません
X'70A0'	DRCHSTIC	起動時に非互換のホストが見つかりました
X'70A4'	DRCRDEOF	ブロック読み取りが CDS 内にありません
X'70A8'	DRCNCBAD	新しい CDS は使用不可のデータセットです。
X'70AC'	DRCNCsiz	新しい CDS に十分なサイズがありません
X'70B0'	DRCNCIOE	新しい CDS の初期化中に I/O エラーが発生しました
X'70B4'	DRCDEXSI	CDS の現在のサイズは変更されていません。
X'7400'	DRCDUPL	レコードの追加時に重複レコードが見つかりました
C'E'	DRCENA	使用許可切り替えが始まりました
C'D'	DRCDISA	使用禁止切り替えが始まりました

**表 13. アドレス空間通信の戻りコード**

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	ORCOK	機能が完了しました
X'8004'	QRCNOALS	ALS がアクティブになっていません

表 13. アドレス空間通信の戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'800C'	QRCINVFC	機能コードが無効です
X'8010'	QRCNOLVT	PC ルーチンが LVT を見つけられませんでした
X'8014'	QRCQNOA	ASCOMM がアクティブになっていません
X'8018'	QRCINVOP	QUAB オプションが無効です
X'801C'	QRCINVTK	トークンが無効です
X'8020'	QRCEDTIS	終了専用タスクが出されました
X'8024'	QRCTABND	ASCOMM サーバータスクが異常終了しました
X'8028'	QRCXDPER	DATA または RSP 内の XDPLST オフセットが不正です
X'8078'	QRCGMFAL	CSA への GETMAIN 要求が失敗しました

表 14. アドレス空間通信の機能コード

戻りコード値	名前	説明
1	QFCXUSER	HSC ユーザーインタフェース要求
2	QFCUNSEL	選択解除
3	QFCSVARS	名前付き変数サービス
4	QFCSVXIQ	VOL または CELL 照会サブプールサービス
5	QFCSVXST	ボリュームまたはセル設定スクラッチ限界値
9	QFCSLCD	ロード、呼び出しまたは削除サービス
12	QFCUINCT	カートリッジの初期設定
21	QFCUCFGR	MVS/CSC 構成の検証
24	QFCUEJCT	カートリッジイジェクト
35	QFCUAUDT	AUDIT
36	QFCUSCUP	スクラッチ更新
48	QFCXTLMS	VM テープ管理インタフェース
49	QFCUENTR	エンターユーティリティーサーバー
64	QFCUMERG	CDS マージ

表 14. アドレス空間通信の機能コード(続き)

戻りコード値	名前	説明
68	QFCUVOLR	ボリュームレポート
70	QFCUSCRD	スクラッチ再分配
80	QFCUMOVE	カートリッジの移動
124	QFCTOCMD	オペレータコマンド
127	QFCAVLKP	割り振りボリューム検索
130	QFCJVLKP	ジョブ処理ボリューム検索
131	QFCJTLKP	ジョブ処理テープ要求検索
132	QFCJDLKP	ジョブ処理ドライブ検索
134	QFCMRQST	マウントまたはディスマウント要求
135	QFCMEJW	マウントまたはディスマウントイジェクトウエイター
140	QFCEVLKP	JES3 ボリューム検索
150	QFCFMGR	構成マネージャー
151	QFCMVPST	マウント探索および通知
152	QFCSTRAC	メモリー間 SLSTRACE
160	QFCSTSR	VTCS QUIM サーバー要求ハンドラ

表 15. 回復の戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	RRCOK	正しい戻りコードです
X'8504'	RRCINIT	初期設定が中止されます
X'8508'	RRCVOLER	ボリュームがエラントです
X'850C'	RRCHOACT	ホストがアクティブになっています
X'8510'	RRCNOITT	ホスト回復のための ITT レコードがありません
X'8514'	RRCACHDI	ACS が切断されています
X'8518'	RRCLSMOF	LSM がオフラインです
X'851C'	RRCVOLDE	ボリュームが存在しません
X'8520'	RRCDBERR	データベースエラーです
X'8524'	RRCNOCAP	使用可能な CAP がありません
X'8528'	RRCSTDO	サブシステムが終了しつつあります

表 15. 回復の戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'852C'	RRCABEND	SLS ABEND を受け取りました。上位 2 バイトには、異常終了時の R15 の下位 2 バイト (理由コード) が入ります
X'8530'	RRCBHOST	ホスト ID が無効です
X'8534'	RRCVOLNE	ボリュームはエラントではありません
X'8538'	RRCVOLUN	ボリュームを選択解除する必要があります
X'8540'	RRCHRCAC	ホスト回復がすでに進行中です
X'8544'	RRCLMUER	LMU エラーです
X'8548'	RRSELERR	エラントボリューム回復によって選択されました
X'854C'	RRCVOLME	ドライブでボリュームをマウントしエラントにします
X'85FC'	RRCMVSAB	MVS ABEND を受け取りました - 上位 2 バイトには異常終了フラグビットとシステム完了コードが入ります
X'8550'	RRCDRVLD	ドライブはロードされましたが、メッセージの要求がありません
X'8554'	RRCVLMSM	強制巻き戻し後のボリュームが間違っています

表 16. サービスコンポーネントの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	SRCOK	サービスが正常に完了しました
X'0004'	SRCMORE	さらに処理が必要です
X'9000'	SEIDPGMI	PGMI または TMI 移動タイプ要求
X'9001'	SRCVRNF	ボリュームが CDS 内にありません
X'9002'	SRCRNRF	セルが格納セルではありません
X'9003'	SRCSEERR	FROM ボリュームが選択できませんでした
X'9004'	SRCACSI	ACS ID が無効です
X'9005'	SRCACSD	ACS ID が切断されています
X'9006'	SRCINVL	LSM ID が無効です
X'9007'	SRCLMOF	LSM ID がオフラインになっています

表 16. サービスコンポーネントの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'9008'	SRCLMUE	LMU エラーです
X'9009'	SRCNCEL	サービスに使用できるセルがありません
X'9010'	SRCNLSM	サービスに使用できる LSM がありません
X'9011'	SRCAUDA	対立する AUDIT ユーティリティーがアクティブになっています
X'9012'	SRCAREC	LSM x の監査を行なってください
X'9013'	SRCNMAT	ボリュームが位置に一致しません
X'9014'	SRCEXUR	外部ラベルを読み取れません
X'9015'	SRCCEMY	セルが空です
X'9016'	SRCTPCF	「宛先」 パネルが移動元パネルと対立します
X'9017'	SRCTLOF	「宛先」 LSM がオフラインになっています
X'9018'	SRCSTUC	カートリッジがスタックしています
X'9019'	SRCLOFF	LMURQST LSM オフライン標識 VAR
X'901A'	SRCVRAC	指定された ACS 内でボリュームが見つかりません
X'901B'	SRCNSUBS	HSC サブシステムがアクティブではありません
X'901C'	SRCESNES	ESTAE が設定されていません
X'901D'	SRC SABND	サービスが異常終了しました
X'9020'	SRCBDVL	VALUEL に指定された長さが短すぎて値を入れられません
X'9021'	SRCNOMA	指定された NAME に一致するものが見つかりませんでした
X'9030'	SRC SACIL	INLEN に指定された長さが無効です
X'9031'	SRC SACOL	OUTLEN に指定された長さが無効です
X'9032'	SRC SACTB	指定の累積テーブルに一致するものが見つかりませんでした
X'9033'	SRC SACEL	無効な要素が見つかりました
X'9034'	SRC SACPL	無効なパラメータリストが見つかりました

表 16. サービスコンポーネントの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'9035'	SRCSACDT	無効なデータタイプが見つかりました
X'9036'	SRCSACER	SLSSACCM の論理エラーです
X'9040'	SRCMINL	最小値として指定された長さが適切ではありません
X'9041'	SRCINVC	コマンドが無効です
X'9050'	SVXINEND	リストの終わりです
X'9051'	SVXIVFUN	SVXINQ 機能コードが無効です
X'9052'	SVXINOMT	サブプール名に一致するものが見つかりませんでした
X'9053'	SVXINOAC	ACS に一致するものが見つかりませんでした
X'9054'	SVXINOLM	LSM に一致するものが見つかりませんでした
X'9055'	SVXINSBF	サブプールデータが見つかりませんでした
X'9056'	SVXINOSP	バッファにスペースがありません
X'9057'	SVXINCAL	SVXINQ 要求が無効です
X'9058'	SVXINMSC	MSC が見つかりません
X'9060'	SRCINVMN	モニター文字列が無効です
X'9070'	SRCNOMON	モニターサービスを使用できません
X'9071'	SRCNOSTR	使用可能な記憶域がありません
X'9080'	SRCSVINV	コンソール ID が無効です
X'9090'	SRCUXBUX	BUXCHT に非アクティブのものが存在しません
X'9091'	SCRUXNUM	ユーザー出口番号が間違っています
X'9092'	SRCUXMOD	モジュールが見つかりませんでした
X'9093'	SRCUXERR	モジュールのロードエラーです
X'9094'	SRCUXPLT	機能またはパラメータリストが間違っています
X'9095'	SRCUXSTA	要求に対する状況が無効です
X'9096'	SRCUXLOK	ロックに失敗しました
X'9097'	SRCUXLGC	論理エラーが起きました
X'9098'	SRCUXDDN	SLSUEXIT DD が欠落しています

表 16. サービスコンポーネントの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'9099'	SRCUXNOD	動的ロードは許可されていません
X'909A'	SRCABEND	ソフトウェア障害
X'90A0'	SRCSNPTH	パス指定で CAP ではなく SPATH が使用可能です
X'90B0'	SRCNAV	サービスが使用不可です
X'90B9'	SRC90B9	異常終了しました - ESTAE を呼び出します
X'90FF'	SRCUNKN	SLSSMOVE で未知のエラーが起きました
X'9101'	SRC SABAN	スクラッチ要求が試行されませんでした - サービスは起動されません
X'9102'	SRC SABRL	スクラッチ要求が正しくありませんでした - 再試行が行なわれ待ち行列にロックされます
X'9103'	SRC SABLK	スクラッチ要求が処理されませんでした - 待ち行列にロックされます
X'9104'	SRC SABAO	サブタスクの接続が時間切れになりました
X'9105'	SRC SABDN	デタッチ要求が試行されませんでした - サービスは起動されません
X'9106'	SRC SABDO	サブタスクのデタッチが時間切れになりました
X'9107'	SRC SABTS	サブタスクが中断したままです
X'9108'	SRC SABS N	重複するかまたは同じ名前のサブタスクがあります - 接続は行なわれません
X'9109'	SRC SABAT	MVS ATTACH マクロの不良戻りコードが返されました
X'9110'	SRC SABIM	初期設定と接続を行なえません。最大許容時間を経過しました
X'9120'	SRC CVFNS	FLSM レコードが指定されていません
X'9121'	SRC CVIFR	無効な FLSM レコードが指定されました
X'9122'	SRC CVILN	位置または FLSM LSM 番号が異なります
X'9123'	SRC CVIPT	無効なパネルタイプ
X'9124'	SRC CVCNA	セルを割り振れません

表 16. サービスコンポーネントの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'9130'	SRCACDNY	アクセスが拒否されました
X'9131'	SRCWRTPR	書き込み禁止です

表 17. ホスト通信サービスの戻りコード

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	HCSEOK	機能が正常に終了しました
X'9201'	HCSEININT	サービスが初期設定されませんでした
X'9202'	HCSETRMP	終了処理がすでに進行中です
X'9203'	HCSEINVF	無効な機能が要求されました
X'9204'	HCSEINVL	指定されたメッセージデータの長さが無効です
X'9205'	HCSEINTRG	事前に登録されていません
X'9206'	HCSENOMS	メッセージを得られません
X'9207'	HCSESWND	通信方式の切り替えが必要です
X'9208'	HCSEINVT	メッセージタイプが無効です
X'9209'	HCSEINVH	ホスト指定タイプが無効です
X'920A'	HCSENHST	一致するホストが見つかりません
X'920B'	HCSENCMS	ホストについての CDS メッセージがありません
X'920C'	HCSEINVM	通信方式が無効です (経路が定義されていません)
X'920D'	HCSEUNKM	未知の通信方式が指定されています
X'920E'	HCSEHMLM	ホストの通信方式の制限を超えました
X'920F'	HCSEACTV	アクティブな VTAMPATH に処理が試みられました
X'9210'	HCSEACTL	アクティブな LMUPATH に処理が試みられました
X'9211'	HCSEDAALL	現在の通信方式の DEL ALL が指定されました
X'9212'	HCSEMXLP	LMUPATH 定義の最大値を超えました
X'9213'	HCSEINVA	ACSid が無効です (通信方式が LMU ではありません)
X'9214'	HCSEUNDA	ACSid が定義されていません (LMUPATH)

表 17. ホスト通信サービスの戻りコード(続き)

戻りコード値	名前	説明
X'9215'	HCSENMVP	削除すべき一致する VTAMPATH がありません
X'9216'	HCSENMLP	削除すべき一致する LMUPATH がありません
X'9217'	HCSESWTE	切り替えルーチンでエラーが返されました
X'9218'	HCSEINVP	指定されたメッセージ優先順位が無効です
X'9219'	HCSEINVB	渡された制御ブロックが無効です
X'921A'	HCSEIMLM	通信方式の限界が無効です
X'921B'	HCSEMLM	ホスト項目の通信方式の限界を超えました
X'921C'	HCSEHNVL	LMU を介してホストを使用できません
X'921D'	HCSENSCA	アクティブな送信対話がありません
X'921E'	HCSEISWF	「切り替え元」パラメータが無効です
X'921F'	HCSEABND	異常終了が起きました

**表 18. 統合ユーザーインターフェイス (UI) の戻りコード**

戻りコード値	名前	説明
X'0000'	NRCOKAY	機能は正常に完了しました
X'0004'	NRCWARN	警告 :
X'0008'	NRCERROR	コマンドの処理エラー
X'0020'	NRCFATAL	UI の致命的または環境エラー
X'0028'	NRCTOKEN	UI のトークン識別子が存在しません
X'0030'	NRCCANCL	UI の要求がキャンセルされたか、HSC が非アクティブです

表 19. 統合ユーザーインタフェースの理由コード

戻りコード値	名前	説明
X'0004'	NRCLLEN	UUI 要求の長さエラー
X'0008'	NRCEXIT	UUI の出口が指定されていません
X'000C'	NRCPARSE	UUI 要求の解析エラー
X'0010'	NRCREQNM	UUI 要求が検出されません
X'0014'	NRCORIG	UUI 要求の発信元
X'0018'	NRCAUTH	UUI に権限がありません
X'001C'	NRCUTILL	UUI ユーティリティーのレベルが LVT ではありません
X'0020'	NRCADVM	UUI の高度管理機能
X'0024	NRCSRCE	UUI の要求元 (HSC/VTCS)
X'0028'	NRCXML	UUI の XML 形式エラー
X'002C'	NRCUNSUP	UUI が機能をサポートしていません
X'0030'	NRCINVPR	UUI の無効なパラメータ値
X'0034'	NRCNOVSM	UUI の VSM が非アクティブかライブラリがありません
X'0038'	NRCCSV	UUI の CSV 指定エラー
X'003C'	NRCCSVF	UUI の CSV 形式エラー
X'0040'	NRCRMTDD	UUI はリモート DD (DCB) を開けません
X'0044'	NRCSRVLV	UUI の HSC が svc レベルを要求しません

## 付録 A メッセージルートコードおよび記述コード

---

この付録には、メッセージ番号の経路コードおよび記述子コードに対する相互参照リストを示しています。

メッセージに関連するルートコードがこの表にない場合は、そのメッセージはコマンドに対する応答です。この場合、メッセージはそのコマンドが発行されたコンソールにのみルーティングされます。

**表 20. メッセージ経路コードと記述子コード**

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0001I		5
SLS0002I		5
SLS0003I		5
SLS0004I		5
SLS0005I		5
SLS0006I		5
SLS0007I	11	5
SLS0010I		5
SLS0011I		5
SLS0013I		5
SLS0015I	2,11	5
SLS0016I	2,11	5
SLS0017I	2,11	5
SLS0018I		5
SLS0019I	2,11	5
SLS0020I		5
SLS0021I		5
SLS0022I		5
SLS0023I		5
SLS0024I	11	5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0028I	11	5
SLS0029I	11	5
SLS0030I		2
SLS0031D	2,3,5,11	2
SLS0032I	2,11	4
SLS0033A	9	2
SLS0034I	9,11	5
SLS0035A	3,5,11	2
SLS0036I	3,5,11	4
SLS0037I	3,5,11	4
SLS0040I		5
SLS0041I		5
SLS0042I	3,11	4
SLS0045I		5
SLS0046I		5
SLS0047I		5
SLS0048I	11	5
SLS0049I	11	5
SLS0050I		5
SLS0053I		5
SLS0054I	3,11	5
SLS0055I		5
SLS0056I		5
SLS0057I	2,11	4
SLS0059I	3,11	5
SLS0060I		5
SLS0061I		5
SLS0062I		5
SLS0063I		5
SLS0068I		5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0069I	2,11	5
SLS0070I	3,11	5
SLS0071I	2,11	5
SLS0072I	5,11	5
SLS0075D	3,5,11	2
SLS0076I	2,11	4
SLS0077I	3,5,11	4
SLS0078I	3,5,11	4
SLS0079I	3,5,11	4
SLS0080I	3,5,11	4
SLS0081I	3,5,11	4
SLS0082I	3,5,11	4
SLS0083I	3,5,11	4
SLS0085I	3,5,11	4
SLS0086I	3,5,11	4
SLS0087I	3,5,11	4
SLS0088D	3,5,11	2
SLS0089E	3,5,11	3
SLS0090I	3,5,11	4
SLS0091I	3,5,11	4
SLS0092I	3,5,11	4
SLS0093I	3,5,11	4
SLS0094E	3,5,11	11
SLS0096I	3,5,11	4
SLS0098A	3,5,11	2
SLS0099I	3,5,11	4
SLS0100D	3,5,11	2
SLS0101I		5
SLS0103E	3,11	11
SLS0104D	3,5,11	2

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0105A	3,5,11	2
SLS0107D	3,5,11	2
SLS0108D	3,5,11	2
SLS0109D	3,5,11	2
SLS0110I	3,5,11	4
SLS0111I	3,5,11	4
SLS0112E	3,11	11
SLS0113D	3,5,11	2
SLS0114D	3,5,11	2
SLS0115I	3,5,11	4
SLS0116I	3,5,11	4
SLS0117E	3,11	11
SLS0118D	3,5,11	2
SLS0119D	3,5,11	2
SLS0120E	3,11	11
SLS0121I	3,11	4
SLS0122D	3,5,11	2
SLS0123I	3,11	4
SLS0124I	3,5,11	4
SLS0125D	3,5,11	2
SLS0127I	3,11	4
SLS0128A	3,5,11	2
SLS0129I	2,11	4
SLS0130I	3,5,11	4
SLS0131I	3,11	4
SLS0132I	3,5,11	4
SLS0133I	3,5,11	4
SLS0134D	3,5,11	2
SLS0135I	3,5,11	4
SLS0136D	3,5,11	2

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0137E	3,11	11
SLS0138D	3,5,11	2
SLS0139I	3,5,11	4
SLS0140I	3,5,11	4
SLS0141I	3,5,114	4
SLS0142I	3,5,11	4
SLS0143I	3,5,11	4
SLS0144I	3,5,11	4
SLS0145I	3,5,11	4
SLS0146I	3,5,11	4
SLS0147I	3,5,11	4
SLS0148I	3,11	4
SLS0149I	3,11	4
SLS0154A	2,11	2
SLS0250D	3,5,11	2
SLS0251E	3,5,11	3
SLS0252I	3,5,11	4
SLS0254I	3,5,11	4
SLS0255E	3,5,11	3
SLS0256I	3,5,11	4
SLS0257I	3,5,11	4
SLS0258I	3,5,11	4
SLS0259A	3,5,11	2
SLS0261A	3,5,11	2
SLS0262A	3,5,11	4
SLS0263D	3,5,11	2
SLS0265A	3,5,11	2
SLS0266I	3,5,11	4
SLS0267A	3,5,11	2
SLS0268I	3,5,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0269I	3,5,11	4
SLS0301I	11	4
SLS0303I	3,11	4
SLS0306I	3,11	4
SLS0308I	3,11	4
SLS0310I	3,11	4
SLS0313E	2,11	11
SLS0315I	2,5	4
SLS0316I	2,5	4
SLS0317I	3,5,11	4
SLS0318I	2,5	4
SLS0319I	2,5	4
SLS0320I	2,11	4
SLS0360E	2,3,11	11
SLS0381A	2,3,11	11
SLS0404I	5,11	4
SLS0410I	3,5,11	4
SLS0411I	3,5,11	4
SLS0451I	2,11	4
SLS0452I	2,11	4
SLS0453I	3,11	4
SLS0454I	2,11	4
SLS0455I	2,11	4
SLS0456I	3,11	4
SLS0457I	3,11	4
SLS0458I	3,11	4
SLS0460I	2	4
SLS0500I	2	4
SLS0501I	2,11	4
SLS0503I	2,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0504I	2,11	4
SLS0505I	2,11	4
SLS0506I	2,3,5	4
SLS0507I	2,11	4
SLS0508I	2,11	4
SLS0509I	2,11	4
SLS0510I	2,11	4
SLS0511I	2,11	4
SLS0512E	2,11	3
SLS0518D	2,11	2
SLS0519I	2,11	4
SLS0520I	2,11	4
SLS0521I	2,11	4
SLS0522I	2,11	4
SLS0523I	5,11	4
SLS0524I	5,11	4
SLS0525I	2,11	4
SLS0527I	2,3,5	4
SLS0529I	5,11	4
SLS0530I	2,11	4
SLS0531E	2,5,11	3
SLS0545I	2,3,5,11	4
SLS0548I	3,11	4
SLS0600I		5
SLS0601I		5
SLS0602I		5
SLS0603I		5
SLS0604I		5
SLS0605I		5
SLS0606I		5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード( 続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0607I		5
SLS0608I		5
SLS0609I		5
SLS0610I	11	5
SLS0611I		5
SLS0612I	11	5
SLS0613I		5
SLS0651I	3,11	4
SLS0652I	3,11	4
SLS0653I	3,11	4
SLS0655I	3,11	4
SLS0660I	3,11	4
SLS0661E	3,11	11
SLS0662I	3,11	4
SLS0663I	3,11	4
SLS0664I	3,11	4
SLS0665E	3,11	11
SLS0666A	3,11	2
SLS0667I	3,11	4
SLS0668I	3,11	4
SLS0669A	3,11	2
SLS0670I	3,11	4
SLS0671I	3,11	4
SLS0672E	3,11	11
SLS0673I	3,11	4
SLS0674I	2,11	4
SLS0675E	3,11	3
SLS0676I	2,11	4
SLS0677I	3,11	4
SLS0678I	3,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0679E	2,11	11
SLS0680I	2,11	4
SLS0681I	3,11	4
SLS0682D	3,11	2
SLS0683I	3,11	4
SLS0684I	3,11	4
SLS0685I	3,11	4
SLS0686I	3,11	4
SLS0687I	11	4
SLS0688I	3,11	4
SLS0689I	3,11	4
SLS0690E	3,11	3
SLS0691I	2,3,5,11	
SLS0696A	3,11	4
SLS0697I	3,11	4
SLS0698I	3,11	4
SLS0699I	3,11	4
SLS0702I	2,11	4
SLS0704E	2,11	3
SLS0707I	11	4
SLS0708I	11	4
SLS0712I	11	4
SLS0713I	11	4
SLS0714I	11	4
SLS0715I	2,11	4
SLS0717I	2,11	4
SLS0719I	2,11	4
SLS0720I	2,11	4
SLS0721I	11	4
SLS0723I	2,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0724I	2,11	4
SLS0725E	2,5,11	3
SLS0726I	2,11	4
SLS0730I	2,3,5,11	4
SLS0745I	5,11	4
SLS0746I	5,11	4
SLS0747I	2,5,11	4
SLS0750I	2,11	4
SLS0751I	2,11	4
SLS0752I	2,11	4
SLS0760I	2,11	4
SLS0761E	2,11	3
SLS0762E	2,11	3
SLS0764I	2,5,11	4
SLS0765E	2,5,11	11
SLS0766E	2,5,11	3
SLS0767E	2,5,11	3
SLS0768E	2,5,11	3
SLS0769I	2,5,11	4
SLS0770I	2,5,11	4
SLS0805I	2,11	4
SLS0810I	2,11	4
SLS0850I	2,11	4
SLS0851I	2,11	4
SLS0852I	2,11	4
SLS0853I	2,11	4
SLS0854D	3,5,11	2
SLS0856D	3,5,11	2
SLS0857I	11	4
SLS0858I	11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0860D	3,5,11	2
SLS0863I	2,11	4
SLS0864I	3,5,11	4
SLS0865I	2,11	4
SLS0866I	2,11	4
SLS0867E	3,5,11	11
SLS0868I	3,11	4
SLS0869D	3,5,11	2
SLS0870I	3,5,11	4
SLS0871I	3,5,11	4
SLS0873I	3,5,11	4
SLS0900I	3,11	4
SLS0901D	3,5,11	2
SLS0902D	3,5,11	2
SLS0903D	3,5,11	2
SLS0904I	3,11	4
SLS0905D	3,5,11	2
SLS0906E	3,5,11	11
SLS0907I	3,5,11	4
SLS0908I	3,5,11	4
SLS0909D	3,5,11	2
SLS0910I	3,5,11	7
SLS0911D	3,5,11	2
SLS0912I	3,5,11	4
SLS0913I	3,5,11	4
SLS0917I	11	4
SLS0923I	3,11	4
SLS0925D	3,5,11	2
SLS0926I	3,5,11	4
SLS0927A	3,5,11	2

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0928A	3,5,11	2
SLS0929I	3,5,11	4
SLS0931I	3,5,11	4
SLS0934D	3,5,11	2
SLS0935D	3,5,11	2
SLS0936D	3,5,11	2
SLS0937D	3,5,11	4
SLS0950I	2,11	7
SLS0951I	2,11	7
SLS0952I	2,11	7
SLS0953I	2,11	4
SLS0954D	2,11	2
SLS0955E	2,11	11
SLS0973I	5,11	7
SLS0974A	5,11	7,11
SLS1000I	11	5
SLS1001I	11	5
SLS1002I	11	5
SLS1003I	11	5
SLS1004I	11	5
SLS1005I	11	5
SLS1007I	2,3,11	5
SLS1010I		5
SLS1011I		5
SLS1012I		5
SLS1014I	11	5
SLS1015I		5
SLS1016I		5
SLS1018I		5
SLS1026I		5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1027I		5
SLS1028I		5
SLS1030I		5
SLS1031I	11	5
SLS1032I	11	5
SLS1033I	11	5
SLS1034I	11	5
SLS1035I		5
SLS1037I	11	5
SLS1038I	11	5
SLS1039I	11	5
SLS1040I	11	5
SLS1041I	11	5
SLS1042I	11	5
SLS1050I	11	5
SLS1051I	11	5
SLS1052I	11	5
SLS1071D	2,3,11	2
SLS1072I	11	4
SLS1074I	11	5
SLS1075D	3,5,11	2
SLS1250D	3,5,11	2
SLS1300D	2,3,11	2
SLS1301I	2,3	4
SLS1317I	2,11	4
SLS1320I	1,3,5,11	2,7
SLS1403I	5,11	11
SLS1406I	5,11	11
SLS1407I	3,5,11	4
SLS1408I	3,5,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1409I	5,11	11
SLS1450I	11	4
SLS1500I	2,11	4
SLS1501I	2,11	4
SLS1502I	11	4
SLS1505I	2,3,5,11	4
SLS1506I	2,3,5,11	4
SLS1507I	2,11	5
SLS1508I	2,11	5
SLS1509I	2,11	5
SLS1510I	2,11	5
SLS1512I	2,11	5
SLS1513I	2,3,5,11	4
SLS1515I	2,11	4
SLS1519I	2,11	5
SLS1600I	11	5
SLS1601I	11	5
SLS1602I		5
SLS1603I		5
SLS1604I		5
SLS1605I		5
SLS1606I		5
SLS1607I		5
SLS1608I		5
SLS1610I		5
SLS1611I		5
SLS1612I		5
SLS1613I		5
SLS1614I		5
SLS1615I		5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1616I		5
SLS1617E		5
SLS1618I		5
SLS1619I		5
SLS1620I		5
SLS1625I		5
SLS1626I		5
SLS1627I		5
SLS1628I		5
SLS1629I		5
SLS1630I		5
SLS1631I		5
SLS1616I		5
SLS1650E	2,3,11	11
SLS1651I	2,3,11	4
SLS1652I	2,3,11	4
SLS1653D	2,3,11	2
SLS1654I	2,3,11	4
SLS1655I	2,3,11	4
SLS1656E	2,3,11	11
SLS1657I	2,3,11	4
SLS1658E	2,3,11	11
SLS1659E	2,3,11	11
SLS1660E	2,3,11	3
SLS1661I	2,11	4
SLS1662I	2,11	4
SLS1663I	2,3,11	11
SLS1664A	2,3,11	11
SLS1665E	2,11	4
SLS1700I	2,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1702I	2,11	4
SLS1703I	2,11	11
SLS1704I	2,11	4
SLS1705E	2,11	11
SLS1706E	2,11	11
SLS1708I	2,11	5
SLS1709I	2,11	11
SLS1710E	2,11	11
SLS1711I	2,11	11
SLS1712I	2,11	4
SLS1713I	2,11	5
SLS1714I	2,11	5
SLS1715I	11	4
SLS1717I	2,11	4
SLS1718I	2,11	4
SLS1719I	2,11	4
SLS1720E	2,11	5
SLS1721I	2,11	4
SLS1722I	2,11	4
SLS1723I	2,11	4
SLS1724I	2,11	4
SLS1725I	2,11	5
SLS1727I	2,11	11
SLS1729I	2,11	11
SLS1730I	2,11	4
SLS1731I	2,11	11
SLS1733I	2,11	11
SLS1735I	2,11	4
SLS1737E	2,11	3
SLS1738E	2,11	3

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1900I	2,11	5
SLS1901I	2,11	4
SLS1902D	2,11	4
SLS1903I	2,11	4
SLS1904E	2,11	3
SLS1905I	2,11	4
SLS1906I	2	4
SLS1950I		5
SLS1951I		5
SLS1952I		5
SLS1953I	2,11	5
SLS1954I		5
SLS1955I		5
SLS1956I		5
SLS1957I		5
SLS1958I		5
SLS1959I	5	5
SLS1960I	5	5
SLS1961I	5	5
SLS1962I	2,11	4
SLS1963I	2,11	4
SLS1964I		5
SLS1965I		4
SLS1966I	2,11	4
SLS1969I	2,11	4
SLS1970I	11	4
SLS1971I	2,11	4
SLS1972D	2,11	4
SLS2008I	11	5
SLS2009I	11	5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2011I		5
SLS2012I		5
SLS2013I		5
SLS2014I	11	5
SLS2033I		5
SLS2034I		5
SLS2038I		5
SLS2039I		5
SLS2075I	11	2
SLS2080I	3,5,11	4
SLS2081I	3,5,11	4
SLS2082I	3,5,11	4
SLS2102D	3,5,11	2
SLS2108D	3,5,11	2
SLS2114D	3,5,11	2
SLS2124I	3,5,11	4
SLS2126I	3,5,11	2
SLS2154I	11	5
SLS2155I	11	5
SLS2169I	11	5
SLS2250I	3,11	4
SLS2251A	3,5,11	2
SLS2252A	3,5,11	2
SLS2253I	3,11	4
SLS2254A	3,5,11	2
SLS2255I	3,5,11	2
SLS2256I	3,5,11	2
SLS2257I	3,5,11	4
SLS2258I	3,5,11	4
SLS2259A	3,5,11	2

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2260I	3,5,11	2
SLS2261I	3,5,11	2
SLS2262I	3,5,11	4
SLS2263I	3,5,11	4
SLS2264E	3,11	11
SLS2267I	3,5,11	4
SLS2276I	3,5,11	4
SLS2303I	3,11	4
SLS2305I	3,11	4
SLS2375I	20	10
SLS2412I	3,5,11	4
SLS2450E	2,11	3
SLS2459I	2,11	4
SLS2460I	2,11	4
SLS2463I	2,3,11	4
SLS2501I	2,11	4
SLS2502I	2,11	4
SLS2526I	2,11	4
SLS2528I	2,11	4
SLS2550I	3,5,11	2
SLS2559I	3,5,11	2
SLS2580E	3,5,11	2
SLS2581A	3,5,11	2
SLS2610I		5
SLS2615I		5
SLS2616D		5
SLS2617I		5
SLS2618I		5
SLS2620I		5
SLS2621I		5

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2622I		5
SLS2623I		5
SLS2624I		5
SLS2625I	11	5
SLS2627I		5
SLS2628I		5
SLS2629I	11	5
SLS2630I		5
SLS2631I		5
SLS2632I		5
SLS2633E		4
SLS2635I		5
SLS2636A	9	2
SLS2637I		4
SLS2639I	5	4
SLS2640I		5
SLS2641I		5
SLS2642I		5
SLS2643I		5
SLS2644I		5
SLS2645I		5
SLS2646I		5
SLS2647I	2,11	4
SLS2648I	2,11	4
SLS2651I	2,3,11	4
SLS2654I		5
SLS2656I		5
SLS2701E	2,11	11
SLS2702E	2,11	11
SLS2716I		4,8,9

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード(続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2740I	5	11
SLS2741E	2,11	11
SLS2850I	3,5,11	4
SLS2901D	3,5,11	2
SLS2911D	3,5,11	2
SLS2912I		5
SLS2914I	11	5
SLS2915I	11	5
SLS2916I	11	4
SLS2934I	3,5,11	4
SLS2962I	3,5,11	4
SLS2964E	3,5,11	11
SLS2972I	11	5
SLS2973I	11	5
SLS2974I	2,11	4
SLS2976I	2,11	4
SLS2977I	2,11	4
SLS2978A	9	2
SLS2979I		4
SLS2980I		5
SLS2984D	3,5,11	2
SLS2985I		5
SLS2986I		5
SLS4266A	3,5,11	2
SLS4306I	1,3,11	2,7
SLS4308I	1,3,11	2,7
SLS4310D	1,3,11	2
SLS4451I	2,3,11	4
SLS4453I	2,3,11	4
SLS4454I	2,3,11	4

表 20. メッセージ経路コードと記述子コード( 続き)

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS4455E	2,3,11	4
SLS4650E	2,3,11	3
SLS4736E	2,11	11
SLS4737E	2,11	11
SLS4738I	2,11	11
SLS6001I	3,11	4
SLS6002I	3,11	4
SLS6004I	3,11	4
SLS6009I	11	5
SLS6010I	11	5
SLS6011I	11	5

## 付録 B メッセージの変更点の要約 – HSC 6.2

---

この付録では、HSC 6.2 で追加、削除、変更および置換されたメッセージの内容を要約します。

## メッセージの変更点

### 追加されたメッセージ

メッセージ番号	メッセージ番号	メッセージ番号	メッセージ番号
SLS0183I	SLS0692I	SLS0693I	SLS1666E
SLS1667I	SLS1907I	SLS2149I	SLS2269E
SLS2326I	SLS2978A	SLS4078I	SLS4166E
SLS4167E	SLS4168I	SLS4169I	SLS4239E
SLS4170D	SLS4251D	SLS4252I	SLS4469I
SLS4639I	SLS4701E	SLS4702E	SLS4703E
SLS4704E	SLS4705E	SLS4706E	SLS4707E
SLS4708E	SLS4709E	SLS4723I	SLS4752I
SLS5024E	SLS5047I	SLS5626I	SLS5627I
SLS5628I	SLS5629I	SLS5630I	SLS5631I
SLS5632I	SLS5633I	SLS5634I	SLS5650I
SLS5651I	SLS5660I	SLS5661I	SLS5662I
SLS5663I	SLS5664I	SLS5665I	SLS5670I
SLS5671I	SLS5672I	SLS5674I	SLS5675I
SLS5676I	SLS5677I	SLS5678I	SLS5679I
SLS5680I	SLS5681I	SLS5682I	SLS5684I
SLS5685I	SLS5690I	SLS6029I	SLS6040I
SLS6045I	SLS6970E		

### 削除されたメッセージ

- SLS0104D

## 変更されたメッセージ

メッセージ番号	メッセージ番号	メッセージ番号	メッセージ番号
SLS0040I	SLS0041I	SLS0056I	SLS0068I
SLS0116I	SLS0151I	SLS0557I	SLS0601I
SLS0604I	SLS0605I	SLS0693I	SLS0699I
SLS1000I	SLS1003I	SLS1004I	SLS1007I
SLS1161I	SLS1502I	SLS1628I	SLS1656E
SLS1657I	SLS1666E	SLS1667I	SLS1907I
SLS2501I	SLS2623I	SLS2640I	SLS2716I
SLS2916I	SLS4400I	SLS4407I	SLS4408I
SLS4409I	SLS4424E	SLS4633I	

## 置き換えられたメッセージ

なし



## 用語集

---

次の用語は、本文で使用されている意味に基づいて定義されています。用語が見つからない場合は、索引を確認してください。

### 記号

**μ-ソフトウェア** — マイクロプログラム。事前に計画された機能の実行と機械命令の実現に使用される一連のマイクロ命令。

### 数字

**18トラック** — 18本のトラックを使う記録方式。テープには、正方向の動きでのみ書き込みが行なわれる。

**18track** — RECtech パラメータに指定できる総称値の1つ。すべての18トラックトランスポートを含む。

**2次記録** — 制御データセットおよび制御データセットのコピー(セカンダリ)の両方を維持する回復技法。

**3000ライブラリ** — StreamLine ライブラリ (SL3000) を参照。

**3480** — (1) MEDia パラメータの指定値の1つ。標準記憶容量のカートリッジテープのみを含む。(2) 標準テープの別名。

**3480X** — ICRC をサポートする 3480 のアップグレード。

**3490** — 3480X にとって換わる IBM カートリッジドライブ。ICRC をサポートするが、36トラックまたは LONG テープをサポートしない。IBM 3480X と同等のもの。

**3490E** — (1) 3490 に代わる IBM カートリッジドライブ。ICRC、36トラックおよび LONG テープをサポートする。18トラックについては、読み取りはできるが書き込みはできない。(2) MEDia パラメータ

の指定値の1つ。拡張記憶容量のカートリッジシステムテープのみを含む。(3) ECART の別名。

**3590** — 128トラックの記録方式をサポートし、10GB の非圧縮データを保持する IBM カートリッジドライブ。3490E と同じ形式の因数を持つ。

**36トラック** — 36本のトラックを使う記録方式。合計36本のうち、18本のトラックにデータが正方向の動きで書き込まれ、ほかの18本のトラックが逆方向で書き込まれる。

**36Atrack** — RECtech パラメータの指定値の1つ。4490 (Silverton) の36トラックトランスポートのみを含む。

**36Btrack** — RECtech パラメータの指定値の1つ。9490 (Timberline) の36トラックトランスポートのみを含む。

**36Ctrack** — RECtech パラメータの指定値の1つ。9490EE (TimberlineEE) のトランスポートのみを含む。

**36track** — RECtech パラメータに指定できる総称値の1つ。すべての36トラックトランスポートを含む。

**4410 LSM** — 標準 LSM を参照。

**4480 カートリッジサブシステム** — 18トラック記録形式の読み取り/書き込み機能を提供するカートリッジテープトランスポート。StorageTek の4480 カートリッジサブシステムは、3480 デバイスと同等。

**4490 カートリッジサブシステム** — 36トラック記録形式の読み取り/書き込み機能と拡張容量テープを提供するカートリッジテープトランスポート。4490 トランスポートは、18トラック形式で記録されたデータも読み取れる。StorageTek の4490 カートリッジサブシステムは、3490E デバイスと同等。

**8500 ライブラリ** — StreamLine (SL8500) を参照。

**9310 LSM** — PowderHorn LSM を参照。

**9360 LSM** — WolfCreek LSM を参照。

**9490 カートリッジサブシステム** — 36トラック記録形式の読み取り / 書き込み機能と拡張容量テープを提供し、また 4490 カートリッジサブシステムにおけるパフォーマンスを向上するカートリッジテープトランスポート。9490 トランスポートは、18トラック形式で記録されたデータも読み取れる。StorageTek 9490 Cartridge Subsystem のパフォーマンス (データ転送速度、ロード / アンロード速度) は、3490E デバイスよりも優れている。

**9490EE カートリッジサブシステム** — 拡張テープ (EETape) カートリッジの読み取り / 書き込み機能を持つ高パフォーマンステープトランスポート。機能的には IBM 3490E デバイスに相当する。

**9740 LSM** — TimberWolf LSM を参照。

## A

**AC** — 交流

**ACS** — 自動カートリッジシステムを参照。

**ACSid** — ACSid (*acsid*) は LMU を識別するための 00-FF の 16 進値のこと。ACSid は、ライブラリ生成 (LIBGEN) プロセスでの SLIALIST マクロ定義により決定する。このマクロでリストされた最初の ACS は 00 という 16 進値の識別子を獲得し、2 番目の ACS は 01 という 16 進値の識別子を獲得する、という方法ですべての ACS が識別される。

**APF** — 許可プログラム機能。

**APPL** — HSC での VTAM APPLID 定義のこと。

## B

**BDAM** — 基本直接アクセス方式を参照。

**BOT** - テープの開始点 (BOT) を参照。

**BSAM** - 基本順次アクセス方式を参照。

## C

**CA-1 (TMS)** — コンピューターアソシエーツテープ管理。

**CAP** — カートリッジアクセスポートを参照。

**CAPid** — CAPid は、LSM 内に常駐する CAP の位置を一意に定義する ID。CAPid は *AAL:CC* という形式で表わされる。*AA* は ACSid、*L* は LSM 番号、*CC* は CAP 番号。一部のコマンドとユーティリティーでは、CAPid の省略形 *AAL* も使用できる。

**CAW** — チャンネルアドレスワードを参照。

**CD** — カートリッジドライブを参照。

**CDRM** — クロスドメインリソースマネージャー定義 (既存の CDRM を使用していない場合)。

**CDRSC** — クロスドメインリソース定義。

**CDS** — 制御データセットを参照。

**CE** — チャンネル終了。

**CEL** — お客様エミュレーションラボセル。テープカートリッジを格納するために使われる LSM の格納スロット。

**CFT** — お客様フィールドテスト。

**CI** — 変換プログラム / 解釈プログラム (JES3)。

**CSE** — お客様サービス技術員。

**CSI** — 統合システム目録。

**CSL** — カートリッジスクラッチローダーを参照。

**CSRC** — 中央サポート遠隔センター (遠隔診断センターを参照)。

**CST** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。標準記憶容量のカートリッジテープのみを含む。(2) 標準テープの別名。(3) カートリッジシステムテープを参照。

**CSW** — チャンネル状況ワードを参照。

**CU** — 制御デバイスを参照。

## D

**DAE** — ダンプ分析重複回避機能。

**DASD** — 直接アクセス記憶デバイス。

**DC** — 直流。

**DCB** — データ制御ブロックを参照。

**DD3** — MEDia および RECtech パラメータに指定できる総称値の 1 つ。すべてのタイプのヘリカルカートリッジと記録技法を含む。

**DD3A、DD3B、DD3C、DD3D** — MEDia パラメータの指定値の1つで、特定のタイプのヘリカルカートリッジのみを含む。別名はそれぞれ A、B、C および D。

**DDR** — 動的デバイス再構成を参照。

**DFP** — データ機能プロダクト。記憶デバイス、記憶管理、記憶デバイス階層管理からアプリケーションを切り離すプログラム。

**DFSMS ACS ルーチン** — システムが、データセットにデータクラス、記憶クラス、管理クラス、および記憶グループを割り当てるための一連の命令。

**DFSMS** — MVS/ESA SP と DFSMS/MVS、DFSORT および RACF の実行環境を参照。この環境は、ハードウェア、ソフトウェアおよびポリシーを組み合わせて、記憶容量の管理の自動化、集中化を行なう。

**DHB** — データベースハートビートレコードを参照。

**DOMed** — 以前、実行中に強調表示されたが、現在は通常の輝度で表示されているコンソールメッセージのことを示す。

**DRIVEid** — DRIVEid は、LSM 内の位置によってテープトランスポートの位置を一意に定義する。DRIVEid は、*AAL:PP:NN* 形式で、*AA* には ACSid、*L* には LSM 番号、*PP* にはドライブがあるパネル、*NN* にはパネル内のドライブ番号が入る。

**DSI** — 動的システム切り替え (JES3)。

## E

**ECAP** — 拡張 CAP を参照。

**ECART** — (1) カートリッジシステムテープで、その長さは 1100 フィートあり、4490 および 9490 カートリッジドライブで使用できる。このテープは、2 色 (黒と黄褐色) のケースによって視覚的に識別される。(2) MEDia パラメータの指定値の1つ。36トラックの拡張記憶容量カートリッジシステムテープのみを含む。(3) 拡張記憶容量カートリッジシステムテープを参照。

**ECCST** — (1) MEDia パラメータの指定値の1つ。拡張記憶容量のカートリッジシステムテープのみを含む。(2) ECART の別名。(3) 拡張記憶容量カートリッジシステムテープを参照。

**EDL** — 適格デバイスリストを参照。

**EDTGEN** — 適格デバイステーブル生成。割り振りに適したデバイスの導入時の定義および命名を置き換えるのに使われる処理。

**EETape** — 拡張テープを参照。

**enable** — ソフトウェアモジュールの変更やハードウェアのスイッチ (回路ジャンパー) 位置の変更によって、システム、制御デバイス、またはデバイス動作を変更すること。

**EOF** — ファイルの終わり。

**EOT** — テープの終わりマーカー。

**EPO** — 非常電源切断。

**EREP** — 環境記録、編集、印刷プログラム。

**ERP** — エラー回復手順を参照。

**ETAPE** — (1) MEDia パラメータの指定値の1つ。拡張記憶容量カートリッジシステムテープのみ含む。(2) ECART の別名。(3) 拡張記憶容量カートリッジシステムテープを参照。

**ExtendedStore ライブラリ** — パススルーポートを介して ACS 内のほかの LSM (CD 付) に接続されている、カートリッジドライブ (CD) のない1つまたは複数の LSM。このような LSM は、あまりアクティブでないデータセットを格納しているカートリッジのアーカイブ保存用に使用される。この LSM には、標準 CAP または拡張 CAP から直接カートリッジを挿入/イジェクトできる。

## F

**FDRPAST™** — Innovation Data Processing, Inc. の製品。2 台のディスク装置の交換を中断せずに行なうことができる。

**FIFO** — 先入れ先出し法。

## G

**GB** — ギガバイト、1,000,000,000 (10<sup>9</sup>) バイト。

**GDG** — 世代別データグループ。MVS データセットの命名規則。基本データセット名に通し番号を付けることによって、そのデータセットが作成された世代をたどれるようにする。

**GDG 分離** — 異なる世代のボリュームが異なる場所に常駐するために世代データグループが分離された場合に発生する。通常、GDG のすべての世代は単

一のドライブにマウントされ、ジョブに必要なドライブの数を減らす。

**GTF** — 汎用トレース機能。ソフトウェアの機能とイベントをトレースするための MVS 機能。

## H

**HDA** — ヘッド/ディスク機構。

**Helical (ヘリカル)** — RECTech パラメータに指定できる総称値の 1 つ。すべてのヘリカルトランスポートを含む。

**Host Software Component (HSC)** — 自動ライブラリに接続されたホストシステム上で実行される、自動カートリッジシステムの一部。このコンポーネントは、オペレーティングシステムとそのほかの自動ライブラリとの間のインタフェースとして機能する。

**HOSTid** — HOSTid は、SLIBRY LIBGEN マクロの HOSTID パラメータ内で識別されるホスト ID。HOSTid は、JES では SMF システム識別子。

**HSC** — Host Software Component を参照。

**HWS** — 最高限度セットアップを参照。

## I

**ICRC** — 改良カートリッジ記録機能を参照。

**ID** — 識別子または識別。

**IDAX** — インタープリタ動的割り振り出口。これは、要求されたデータセットの管理のために DFSMS ACS ルーチン呼び出すために MVS JCL インタープリターと動的割り振り機能が発行する DFSMS/MVS サブシステム要求 (SSREQ 55) の副次機能である。

**IDRC** — 改良データ記録機能。

**IML** — 初期マイクロプログラムロードを参照。

**INISH デッキ** — JES3 初期設定文のセット。

**IPL** — 初期プログラムロードを参照。

**ips** — インチ/秒。

**IVP** — 導入検査プログラム。ライブラリのインストール後に、ライブラリが正しく機能することを確認するためにユーザーが実行するプログラムパッケージ。

## J

**JCL** — ジョブ制御言語を参照。

**JST** — ジョブ要約テーブル (JES3)。

## K

**KB** — キロバイト、1000 (10<sup>3</sup>) バイト。

## L

**LAN** — ローカルエリアネットワークを参照。

**LCU** — ライブラリ制御デバイスを参照。

**LED** — 発光ダイオードを参照。

**LIBGEN** — ホストソフトウェアに対して、自動ライブラリの構成を定義する処理。

**Linear Tape Open (LTO)** — HP 社、IBM 社、Seagate 社が共同で開発した新しいテープストレージ技術。LTO 技術は、ユーザーが複数のソースの製品およびメディアを使用できるオープンフォーマットである。

**LMU** — ライブラリ管理デバイスを参照。

**LMUPATH** — LMUPDEF コマンドで指定される定義データセットに含まれる HSC 制御文。LMUPATH 文により、ユーザーは、ネットワーク LMU 添付を定義できる。

**LMUPDEF** — LMUPATH 制御文を含む定義データセットのロードに使用する HSC のコマンド。

**LONG** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つで、拡張記憶容量のカートリッジシステムテープのみを含む (LONGItud と混同してはならない)。 (2) ECART の別名。 (3) 拡張記憶容量カートリッジシステムテープを参照。

**LONGItud** (1) RECTech パラメータに指定できる総称値の 1 つ。18トラックおよび36トラックのトランスポートすべてを含む。 (2) MEDia パラメータに指定できる総称値の 1 つ。すべての標準および拡張記憶容量カートリッジシステムテープを含む。

**LSM** — ライブラリ記憶モジュールを参照。

**LSM 番号** — LSM の識別に使用される方法。

LIBGEN の実行中に SLIACS マクロ LSM パラメータを定義すると生成される。最初にリストされた LSM は 0 (16 進数) という LSM 番号を獲得し、2 番目にリストされた LSM は 1 という 16 進数の番号を獲得

するという方法で、すべての LSM が識別される (最大値は 24、つまり 16 進数の 17)。

**LSMid** — LSMid (*lsm-id*) とは ACSid と LSM 番号で構成される 16 進値。ACSid と LSM 番号は、*AA:LL* (*AA* は ACSid、*LL* は LSM 番号) のようにコロンで区切られる。LSMid により、ライブラリの中の LSM は一意に識別される。

**LTO** — Linear Tape Open を参照。

**LTOx** — 容量 10GB - 1.5TB の LTO データカートリッジであるか、または LTO クリーニングカートリッジであるかを指定するメディアタイプ。

## M

**MB** — メガバイト、1,000,000 (10<sup>6</sup>) バイト。

**MDS** — 主デバイススケジューラー (JES3)。

**MEDia** — メディアタイプの指定に使用されるパラメータ。

これは、MEDia パラメータの指定値である MEDIA1 または MEDIA2 と混同してはならない。

**MEDIA1** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。標準記憶容量カートリッジテープのみ含む。(2) 標準テープの別名。

**MEDIA2** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。拡張記憶容量カートリッジシステムテープのみ含む。(2) ECART の別名。(3) 拡張記憶容量カートリッジシステムテープを参照。

**MIM** — マルチイメージマネージャー。Computer Associates International, Inc. 製のソフトウェア。

**MODEL** — モデル番号の指定に使用されるパラメータ。

**MSM** — 複数セッション管理。Computer Associates International, Inc. 製のソフトウェア。

## N

**Near Continuous Operation (NCO)** — ライブラリのハードウェアおよび環境を中断することなくライブラリに対して動的に変更を行なう機能および技法。ほとんどの場合、これらの手順は HSC を再起動あるいは終了せずに実行できます。

## O

**OCR** — 光学式文字認識。

## P

**P/DAS** — Peer-to-Peer Remote Copy Dynamic Address Switching。PPRC ボリュームの交換を中断せずに行なう IBM の機能。

**PARMLIB 制御文** — パラメータライブラリ (PARMLIB) 制御文は、HSC の初期設定時に有効になる各種操作パラメータを静的に指定するために使う。システムの要件を確認してから適切な制御文を指定することで、使用データセンターに合わせて HSC をカスタマイズできる。

**PCAP** — 優先 CAP を参照。

**Peer-to-Peer Remote Copy (PPRC)** — ストレージサブシステム間でディスクボリュームのミラー化を行なう IBM の機能。

**PowderHorn (9310) LSM** — 高速ロボットを備える高パフォーマンス LSM。PowderHorn は、最大約 6000 カートリッジまで収容可能である。

**PPRC** — Peer-to-Peer Remote Copy を参照。

**PTF** — プログラム一時修正を参照。

**PTP** — パススルーポートを参照。

**PUT** — プログラム更新テープを参照。

## Q

**QSAM** — 待機順次アクセス方式を参照。

## R

**RACF** — 資源アクセス管理機能を参照。

**RDC** — 遠隔診断センターを参照。

**RECtech** — 記録技法の指定に使用されるパラメータ。

**RedWood** — (1) ヘリカル記録方式をサポートする StorageTek トランスポートのプログラム名。(2) SD-3 を参照。

## S

**SCP** — システム制御プログラムを参照。

**SD 3** — ヘリカル記録方式をサポートする StorageTek トランスポートのモデル番号

**SDLT** — SuperDLT を参照。

**SDLTx** — SDLT データカートリッジの容量が 125GB か 160GB かを指定するメディアタイプ。

**SEN** — 重要イベント通知を参照。

**SER** — ソフトウェア拡張要求。

**ServiceTek (機械開始保守)** — ACS 固有の機能であり、専門システムが、サブシステムの状態とパフォーマンスをモニターして、問題の発生で操作に被害が及ばないように、オペレータに注意を促す。顧客は保守限界値レベルを設定できる。

**Silverton** — 4490 カートリッジサブシステムを参照。

**SL3000 ライブラリ** — Streamline (SL3000) ライブラリを参照。

**SL8500 ライブラリ** — Streamline (SL8500) ライブラリを参照。

**SMC** — ストレージ管理コンポーネント。

**SMF** — システム管理機能。システムの機能に影響を与えるシステム処理の記録に使用される MVS 機能。

**SMP** — システム修正変更プログラム。

**SMP/E** — 拡張システム修正変更プログラムを参照。

**SMS** — 記憶管理サブシステム。

**SPE** — 小型プログラミング拡張機能を参照。

**SSD** — ソリッドステートディスク。

**STAM** — 共有テープ割り振り管理プログラムを参照。

**Standard** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。標準記憶容量のカートリッジテープのみを含む。(2) カートリッジシステムテープを参照。

**STD** — (1) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。標準記憶容量のカートリッジテープのみを含む。(2) 標準テープの別名。

**STK1** — MEDia および RECtech パラメータに指定できる総称値の 1 つ。すべてのタイプの T9840A カートリッジと記録技法を含む。

**STK1R** — MEDia および RECtech パラメータに指定でき、特定のタイプの T9840A カートリッジと記録技法のみを含む 1 つの値。STK1R は R と省略表記できます。

**STK1U** — MEDia パラメータの指定値の 1 つで、指定したタイプの T9840A、T9840B、および T9840C クリーニングカートリッジのみを含む。STK1U は U に省略可。

**STK1Y** — MEDia パラメータの指定値の 1 つで、特定のタイプの T9840D クリーニングカートリッジのみを含む。STK1Y は Y と省略表記できます。

**STK2** — MEDia パラメータに指定できる総称値の 1 つ。すべてのタイプの 9940 カートリッジと記録技法を含む。

**STK2P** — MEDia および RECtech パラメータで指定でき、特定のタイプの 9940 カートリッジまたは記録技法のみを含む値。STK2P は P と省略表記できません。

**STK2W** — MEDia パラメータで指定でき、特定のタイプの 9940 クリーニングカートリッジのみを含む値。STK2W は W と省略表記できます。

**StreamLine CAP** — 13 セルの取り外し可能なマガジン を 3 つ装備する CAP。同一構成のオプション CAP を追加することができる。

**StreamLine (SL3000) ライブラリ** — メインフレーム、Windows、UNIX、またはスーパーコンピュータの環境で 200 から 4500 のカートリッジ数に対応するモジュール式ライブラリ。SL3000 ではホットスワップ構成要素と複数のロボットを使用する。

**StreamLine (SL8500) ライブラリ** — メインフレーム、Windows、UNIX、またはスーパーコンピュータの環境で 1,500 から 200,000 以上のカートリッジ数に対応するモジュール式ライブラリ。SL8500 ではホットスワップ構成要素と複数のロボットを使用する。

**SuperDLT** — 次世代の Digital Linear Tape (DLT) 製品。ミッドレンジオペレーティングシステムでは標準的である。

**SYNCSORT** — Syncsort, Inc. 製のソフトウェア。分類、組み合わせ、コピーユーティリティプログラム

## T

**T10000 テープドライブ** — 500GB (T10000A)、1TB (T10000B)、または 5TB (T10000C) のカートリッジ容量と最大 120MB/秒のデータ転送速度を備えたカートリッジテープドライブ。さらに T10000 は、最低 2 世代のメディア再利用性とデバイススペースの暗号化を提供する。

**T9840A カートリッジサブシステム** — T9840A カートリッジを読み取る、エンタープライズおよびオープンシステム環境用の高パフォーマンステープトランスポート。T9840A は 10 台のドライブと 20 のドライブパネルの構成で定義される。T9840A は、カートリッジスクラッチローダー付きのスタンドアロンサブシステムとして実行でき、あるいは StorageTek ACS にも接続できる。

**T9840B** — T9840B カートリッジの読み取り / 書き込みを行なう StorageTek のカートリッジトランスポート。

**T9840C** — T9840C カートリッジの読み取り / 書き込みを行なう StorageTek のカートリッジトランスポート。

**T9840D** — T9840D カートリッジの読み取り / 書き込みを行なう StorageTek のカートリッジトランスポート。

**T9940A** — 60GB の T9940A カートリッジの読み取り / 書き込みが可能な StorageTek の容量中心のカートリッジトランスポート。

**T9940B** — 200GB の T9940B カートリッジの読み取り / 書き込みが可能な StorageTek の容量中心のカートリッジトランスポート。

**TAPEREQ** — TREQDEF コマンドで指定される定義データセットに含まれる SMC 制御文。TAPEREQ 文では、特定のテープ要求が定義される。これは、2 つの部分に分けられる。入力 (ジョブ名、ステップ名、プログラム名、データセット名、有効期限、保持期間、および特定の要求や不特定 (スクラッチ) 要求に対する指示) と出力 (メディアタイプおよび記録方式機能)。

**TDMF™** — Transparent Data Migration Facility。Softek Storage Solutions Corp の製品で、2 台のディスク装置を安全に交換することができる。

**Timberline EE** — 9490EE カートリッジサブシステムを参照。

**Timberline** — 9490 カートリッジサブシステムを参照。

**TimberWolf (9740) LSM** — 最大 494 個のカートリッジの記憶容量を持つ高パフォーマンス LSM。最大で 10 台のドライブ (STD、4490、9490、9490EE、T9840A、および SD-3) を構成できる。TimberWolf LSM では、別の TimberWolf との接続のみ可能。

**TimberWolf CAP** — TimberWolf CAP には、10 個のセルの取り外し可能マガジンまたは 14 個のセルの永続ラックが含まれる。構成を定義する必要はなく、HSC は LMU から直接 CAP 情報を受け取る。

カートリッジアクセスポート、標準 CAP、拡張 CAP、優先 CAP、WolfCreek CAP、WolfCreek オプション CAP も参照。

**TP** — Tape-to-Print。

**TREQDEF** — TAPEREQ 制御文を含む定義データセットのロードに使用する SMC コマンド。

**Tri-Optic ラベル** — カートリッジ背面の外部ラベルで、人間と機械の両方で読み取り可能。

**TT** — Tape-to-Tape。

## U

**UNITATTR** — HSC に対してトランスポートのメディアタイプと記録方式を定義する SMC 制御文。

## V

**VAR** — ボリューム属性レコードを参照。

**VAT** — ボリューム属性テーブルエントリを参照。

**VOLATTR** — VOLDEF コマンドで指定される定義データセットに含まれる HSC 制御文。VOLATTR 文は、指定されたボリュームのメディアタイプと記録技法を HSC に対して定義する。

**VOLDEF** — VOLATTR 制御文を含む定義データセットのロードに使用する HSC コマンド。

**VOLSER** — テープボリュームの識別に使用する 6 文字の英数字ラベル。

## W

**WolfCreek (9360) LSM** — 少ない容量の高パフォーマンス LSM。WolfCreek LSM のカートリッジ記憶容量は、500、750、および 1000 個 (それぞれモデル番号 9360-050、9360-075、9360-100 に対応)。WolfCreek LSM は、4410、9310、またはほかの WolfCreek LSM へのパススルーポートによって接続できる。

**WolfCreek CAP** — 標準 WolfCreek CAP は、20 個のセルからなるマガジンスタイル CAP と優先 CAP (PCAP) を格納している。

カートリッジアクセスポート (CAP)、標準 CAP、拡張 CAP、優先 CAP、WolfCreek オプション CAP、TimberWolf CAP も参照。

**WolfCreek オプション CAP** – WolfCreek オプション CAP は、30 個のセルからなるマガジンスタイルの CAP を含み、これが標準 WolfCreek CAP に追加されている。

カートリッジアクセスポート (CAP)、標準 CAP、拡張 CAP、優先 CAP、WolfCreek CAP、TimberWolf CAP も参照。

**WTM** – テープマークの書き込みを参照。

**WTO** – オペレータへの書き込み。

**WTOR** - 応答付きオペレータへの書き込み。

## Z

**ZCART** – (1) カートリッジシステムテープで、その長さは 2,200 フィート (670.56 m) あり、9490EE カートリッジドライブでのみ使用できる。(2) MEDia パラメータの指定値の 1 つ。36 トラックの 9490EE カートリッジシステムテープのみを含む。(3) 拡張テープも参照。

## あ

**アーカイビング** – バックアップファイルとそれに関連したジャーナルを通常は指定期間保管すること。

**アクセス方式** – データを主記憶デバイスと入出力デバイス間で移動する技法。

## い

**イジェクト** – オペレータが LSM からカートリッジを取り出すことができるよう、LSM ロボットがカートリッジアクセスポート (CAP) 内にカートリッジを配置する処理。

**インデックス** – カートリッジスクラッチローダーが実行する機能。入力または出力スタックでカートリッジ位置を 1 つ下に移動する。スクラッチローダーは、連続した複数のインデックスを実行できる。

**インライン診断** – サブシステムコンポーネント内の機能ソフトウェアで、タイムシェアリングベースで動作中に、サブシステムコンポーネントを検査する診断ルーチン。

## え

**エソテリック** – デバイスをクラスにグループ分けするためのユーザー定義の名前。

**エラー回復手順 (ERP)** – エラーを隔離し、可能であればエラーからの回復を行なうための手順。

**遠隔診断センター (RDC)** – StorageTek の遠隔診断センター。DC の操作員は、遠隔地の顧客先に導入されたシステムから通信回線を介して Storage Tek 社のシステムやソフトウェアにアクセスし、テストすることができる。RDC は Central SupportRemote Center (CSRC) とも呼ばれる。

## お

**オペレーティングシステム (OS)** – システム全体でプログラムの実行を制御しているソフトウェア。

## か

**カートリッジ** – テープが格納されているプラスチックのケース。約 4 インチ (100 ミリ) x 5 インチ (125 ミリ) x 1 インチ (25 ミリ) サイズ。テープは、トランスポートにロードされると、自動的に装着される。自動装着用にプラスチック製ローダーブロックが付属している。カートリッジの背には、VOLSER を記入した Tri-Optic ラベルが付いている。

**カートリッジ ドライブ (CD)** – 対応する電力および空気の供給を行なう、2 つまたは 4 つのカートリッジトランスポートを含むデバイス。

**カートリッジアクセスポート (CAP)** – オペレータが、自動操作中に複数のカートリッジを挿入およびイジェクトできるようにする機構。CAP は、LSM のアクセスドアに位置する

標準 CAP、拡張 CAP、優先 CAP、WolfCreek CAP、WolfCreek オプション CAP または TimberWolf CAP も参照。

**カートリッジシステムテープ** – 標準テープとしても知られている。4480、4490、または 9490 カートリッジサブシステムで使用できる基本テープカートリッジメディア。1 色のカートリッジケースによって視覚的に識別できる。

**カートリッジスクラッチローダー** – カートリッジドライブのオプション機能。すでにマウントされているテープカートリッジを自動的にロードしたり、1 つのテープカートリッジを手動でロードできる。

**介入要求** – 手動の操作が必要であること。

**改良カートリッジ記録機能 (ICRC)** - 改良型のデータ記録モード。これを使用可能にすると、実効カートリッジデータ記憶容量が増え、また呼び出し時の実効データ速度が増える。

**拡張 CAP (ECAP)** - 拡張 CAP は、40 セルマガジンス  
タイトル CAP が 2 つと、1 セル優先 CAP (PCAP) を持  
つ。40 セル CAP はそれぞれ、10 のセルを持つ取り  
外し可能なマガジンを 4 つ保持している。拡張 CAP  
が装備された LSM アクセスドアには、カートリッ  
ジ格納のためのセルはない。

カートリッジアクセスポート、標準 CAP、優先  
CAP、WolfCreek CAP、WolfCreek オプション CAP、  
または TimberWolf CAP も参照。

**拡張記憶容量カートリッジシステムテープ** - 記憶  
容量を増強されたカートリッジシステムテープ。  
4490 および 9490 カートリッジドライブで使用でき  
る。このテープは、2 色 (黒と黄褐色) のケースに  
よって視覚的に識別される。

**拡張システム修正変更プログラム** - IBM がライセ  
ンスを提供するプログラムで、ソフトウェアおよび  
ソフトウェア保守機能の導入に使用される。

**拡張テープ (EETape)** - ZCART に対する同義語で、  
9490EE ドライブでのみ使用できるカートリッジ。  
EETape (ZCART) では、ECART よりも記憶容量を  
多く提供する。

**拡張容量テープ** - 拡張記憶容量カートリッジシ  
ステムテープを参照。

**仮想記憶マネージャー (VSM)** - メディアとトラン  
スポートの使用を改善するために VTSS バッファ  
ーのボリュームとトランスポートを仮想化する記憶ソ  
リューション。

**仮想サムホイール** - 物理的に書き込みが禁止され  
ていないボリュームに、読み取り専用のアクセスの  
みを許可する HSC 機能。

**仮想テープストレージサブシステム (VTSS)** - 仮想  
ボリューム (VTV) と仮想ドライブ (VTD) を含む  
DASD バッファ。VTSS は、トランスポートエ  
ミュレーションを実現するマイクロコードを備え  
た、StorageTek 製の RAID 6 ハードウェアデバイス。  
RAID デバイスはディスクからテープデータを読み  
取り、データをディスクに書き込むことができる。  
また、実際のテープドライブ (RTD) からデータを読  
み取ったり、ドライブにデータを書き込むことも可  
能。

**仮想テープ制御システム (VTCS)** - Virtual Storage  
Manager (VSM) ソリューションのプライマリホス  
トコード。このコードは、別のアドレス空間で動作す  
るが、HSC と密接に通信を行なう。

**管理クラス** - 記憶管理責任者によって割り当てら  
れる管理属性の集まり。データセットの割り振り  
とスペース使用の制御に使用される。

## き

**キーワードパラメータ** - コマンドまたはユーティ  
リティーの構文で、キーワードとそれに関連した値  
を含むオペランド ( 定位置パラメータを参照)。

値は等号「KEYWORD=value」または括弧  
「KEYWORD(value)」によってキーワードに連結す  
る。キーワードパラメータは順不同に指定できる。  
HSC では、1 つのキーワードを繰り返し指定できる  
(このような指定方法が許容されている)。この場合、  
キーワードには、コマンド内で最後に指定されたも  
のに関連する値が割り当てられる。

**記憶管理コンポーネント (SMC)** - NCS への割り振  
り機能の実行に必要な NCS ソフトウェアコンポー  
ネントで、以前は、HSC と MVS/CSC が実行していた  
機能。SMC は HSC や MVS/CSC 搭載の MVS ホス  
トに常駐し、これらの製品と通信し、ポリシー、ポ  
リウム位置、およびドライブの所有権を決定す  
る。

**記憶クラス** - 名前付きの記憶域属性リスト。パ  
フォーマンスゴールを識別し、データセットの可用  
性要件を識別する。

**記憶グループ** - 記憶管理責任者によって定義され  
た記憶ボリュームと属性の集合。

**記憶容量** - メディア容量を参照。

**機械開始保守** - ServiceTek を参照。

**基本順次アクセス方式 (BSAM)** - 順次アクセスデ  
バイスまたは直接アクセスデバイスを使用して、連  
続してデータブロックの格納と検索を行なうアクセ  
ス方式。

**基本直接アクセス方式 (BDAM)** - 直接アクセスデ  
バイス上のデータセットの特定のブロックを直接検  
索または更新するために使用するアクセス方式。

**強制割り振り** - ユーザーが特定のデバイスを要求  
したことを意味する MVS の用語。

**共有テープ割り振り管理プログラム (STAM)** — Computer Associates International, Inc. 製のソフトウェア。

**切り替え** — スタンバイ LMU がマスター LMU の機能を引き受けること。

**記録密度** — 単一の線形トラック内のビット数。記録メディアの単位長さあたりで測定される。

## け

**形式** — データメディア上のデータの配置またはレイアウト。

**限度超過クリーニングカートリッジ** — MNTD MAXclean 設定あるいは VOLATTR MAXclean 設定のいずれかにより指定された値 (限度) を超えて使用されたクリーニングカートリッジ。このタイプのカートリッジでは、テープトランスポートを十分にクリーニングできない場合があるが、マウントが可能でクリーニング処理の実行を試みる。使用済みクリーニングカートリッジも参照。

## こ

**小型プログラミング拡張機能 (SPE)** — 複数の製品またはコンポーネントに影響を与えるためにリリース済みのプログラムに補足される機能。

**混合構成** — ACS 制御下のカートリッジドライブと、ライブラリ制御外のカートリッジドライブを含む導入システム。このような構成では、ホストソフトウェアコンポーネント (HSC) は割り振りをいずれか一方へ変更する。

## さ

**サーボ** — センサー機構からのフィードバックを使用して、機械的な動作を制御するデバイス。

**最高限度セットアップ (HWS)** — JES3 において、ジョブで予約されるデバイス数を減らす HWSNAME 初期設定文で指定される設定。JES3 では、各ジョブステップを確認して各デバイスタイプに必要な装置の最大数を決定し、デバイスを予約することでこのタスクを完了する。

## し

**磁気記録** — 磁化可能な材料の一部を選択的に磁化することによってデータを記憶する技法。

**磁気テープ** — 磁気記録によってデータを記憶するための磁化可能な表面層を持つテープ。

**磁気テープドライブ** — 磁気テープを動かしたり、その動きを制御する機構。

**資源アクセス管理機能 (RACF)** — データセットへのアクセスを制御する安全保護ソフトウェア。

**指示割り振り** — ドライブの優先順位付けを参照。

**システム** — Computer Associates International, Inc. 製のソフトウェア

**システム管理記憶域** - 記憶管理サブシステムによって管理される記憶域。可用性、パフォーマンス、スペースおよび安全保護アプリケーションに必要なサービスの提供を試みる。

**システム制御プログラム** — システム資源へのアクセスを制御し、実行タスク間でそれらの資源を割り振るプログラムを示す一般的な用語。

**実効記録密度** — 記録メディアの単位長さあたりのユーザーバイト数。

**自動カートリッジシステム (ACS)** — 1 つまたは 2 つの LMU と、その LMU に接続された 1 から 16 までの LSM からなるライブラリサブシステム。

**自動モード** — LSM と接続しているホストとの関係を表す用語。自動モードで動作している LSM は、オペレータによる介入なしに、カートリッジ処理を行なう。このモードは、オンラインで変更されている LSM の通常の運用モードであり、

**自動ライブラリ** — ライブラリを参照。

**ジャーナル** — ジャーナル処理に関するログ。データセットに格納されているこのログには、最新のバックアップが作成された時点以降に完了した処理や制御データセットの変更内容が記録されている。

**ジャーナル処理** — バックアップ制御データセットの作成と、そのデータセットに対するすべての変更 (トランザクション) ログの維持を含む回復技法。

**重要イベント通知 (SEN)** — アプリケーションが特定の HSC または VTCS のイベントを通知するように要求できる HSC 機能。

**出力スタック** — 処理後のカートリッジを受け取って保持するためのカートリッジローダーの一部分。

**手動モード** — LSM と、接続されたすべてのホストとの間の関係。手動モードで稼動している LSM は既にオフラインに切り替えられており、カートリッジ操作を実行するには操作員の介入が必要となる。

**初期値** — 明示的に変更されるまで使用される値。変更後も初期値を保存するには、別のコマンドで明示的に保存を指定する必要がある。実質的には、HSCの初期値とはHSCがインストールされたときの値を指す。

**初期プログラムロード (IPL)** — マシンリセットを起動し、システムプログラムをロードすることによって、コンピュータシステムが動作できるようにするプロセス。診断プログラムを備えたプロセッサは、IPL実行時に診断プログラムを起動する。ソフトウェアを実行するデバイスは通常、IPL実行時に機能ソフトウェアをフロッピーディスクからリロードする。

**初期マイクロプログラムロード (IML)** — 機械リセットを活性化し、システムプログラムをロードして、コンピュータシステムの操作の準備をする処理。診断プログラムを備えたプロセッサは、IML実行時に診断プログラムを起動する。ソフトウェアを実行するデバイスは、IML実行時に通常フロッピーディスクから機能ソフトウェアを再ロードする。

**ジョブ制御言語** — ジョブを識別するのに使われる文や、オペレーティングシステムに対して要件を記述する文をジョブで示せるよう設計された問題指向の言語。

## す

**スクラッチテープサブプール** — すべてのスクラッチテープのサブセット。サブプールは、物理的特徴 (ボリュームの種類 {リールまたはカートリッジ}、リールのサイズ、長さ、物理的な位置など) が類似している1つまたは複数のVOLSER範囲で構成されている。一部の導入システムでは、ラベルタイプ (AL、SL、NSL、NL) などのような別の特徴によってスクラッチプールがさらに区分されていることがある。

サブプールは、あるデータセットをなんらかの理由で特定の範囲のボリューム上でのみ作成したい場合に使用する。特定のデータセットに対して、それに必要なサブプールに属さないボリュームがマウントされると、そのボリュームはディスマウントされ、再びマウント処理が行なわれる。

**スタンバイ CDS** — 有効なレコードを1つと、データベースハートビート (DHB) のみを含む任意選択のデータセット。DHBには、HSCで記録された制御データセット名が含まれ、正しいプライマリ CDS、セカンダリ CDS およびスタンバイ CDS を識別するのに使用される。

**スタンバイ LMU** — マスター LMU の障害、あるいはオペレータによる SWitch コマンドの発行の際に、代替として機能する準備のできている、デュアル LMU 構成の冗長 LMU。

**スタンバイ** — ステーションの状態の1つ。オンライン状態になっているが、デュアル LMU ACS のスタンバイ LMU に接続している情報を表す。

**ステーション** — ホストコンピュータと LMU 間のハードウェア経路で、HSC と LMU は、これを通して制御情報を送信する。

## せ

**制御データセット (CDS)** — 自動ライブラリの機能を制御するために、ホストソフトウェアによって使用される、構成およびボリュームに関する情報すべてを収めたデータセット。ライブラリ制御データセットとも呼ぶ。

プライマリ CDS、セカンダリ CDS およびスタンバイ CDS も参照。

**制御データセットの空きブロック** — 今後のサブファイル拡張に使用できる CDS ブロック。

**制御データセットの回復域** — 複数の CDS ブロックに影響する更新の保全性を維持するために予約された CDS の一部分。

**制御データセットのサブファイル** — 関連した情報を含むデータブロックとポインターブロックからなる CDS の一部分。

**制御データセットのデータブロック** — ライブラリとその構成または環境に関する情報を含む CDS ブロック。

**制御データセットのディレクトリ** — サブファイルの位置情報を持つ区画からなる CDS の一部。

**制御データセットのポインターブロック** — サブファイルに属するデータブロックをマップするためのポインターを含む CDS ブロック。

**制御データセット割り振りマップ** — 個々のブロックが、使用中なのか開放されているのかをマーク付けする CDS サブファイル。

**制御デバイス (CU)** — (1) マイクロプロセッサベースのデバイスで、論理的には (1つまたは複数の) ホストチャンネルと、2個から16個までのトランスポートの間に位置する。これは、チャンネルコマンドのトランスポートコマンドへの変換、トランス

ポート状況の（1つまたは複数の）チャンネルへの送信および（1つまたは複数の）チャンネルとトランスポート間でのデータの受け渡しを行なう。(2)1つまたは複数のデバイスの入出力操作を制御するデバイス。ホスト間回復。障害があるほかのホストの回復を実行するホストの機能。

**セカンダリ CDS** – プライマリ CDS の任意選択の重複コピー。

**接続モード** – ACS とホストとの関係を表す用語。接続モードでは、ホストと ACS との間で通信が可能である（この ACS に対して1つ以上のステーションがオンラインになっている）。

**切断モード** – ACS とホストとの関係。切断モードでは、ホストと ACS とが通信できない（この ACS に対してオンラインになっているステーションはない）。

## た

**待機順次アクセス方式 (QSAM)** – 基本順次アクセス方式 (BSAM) の拡張バージョン。この方式を使うと、処理待ちになっている入力データブロックから、またはすでに処理済みで補助記憶デバイスまたは出力デバイスへの転送待ちになっている出力データブロックから、待ち行列が形成される。

**ダンプ** – 記憶域の全体または一部の内容を、通常、内部記憶域から外部のメディアへ書き出すこと。記憶域のほかの目的への使用や、障害やエラー対策のため、あるいはデバッグに付随して行なわれる。

## ち

**チェック** – エラー状況を検出すること。

**チャンネル** – ホストおよび記憶デバイスを入出力制御デバイスと接続するデバイス。

**チャンネルアドレスワード (CAW)** – チャンネルプログラムが開始される主記憶域内の位置を指定する記憶域内の領域。

**チャンネルコマンド** – CU がチャンネルから受け取るコマンド。

**チャンネル状況ワード (CSW)** – 入出力操作の終了に関する情報を提供する記憶域内の領域。

**中央サポート遠隔センター (CSRC)** – 遠隔診断センターを参照。

**超過使用クリーニングカートリッジ** – クリーニング面を消耗し、これ以上テープトランスポートをク

リーニングできなくなったクリーニングカートリッジ。限度超過クリーニングカートリッジも参照。

**超過使用クリーニングカートリッジ** – 使用量 (選択) のカウントが MAXclean の値 (限度超過クリーニングカートリッジを参照) を超えている、あるいはクリーニング面を使用し尽くした (使用済みクリーニングカートリッジを参照) カートリッジ。

## て

**データ** – 意味が割り当てられている、または割り当てることのできる文字またはアナログ数量などの任意の表現。

**データ圧縮** – アルゴリズムを使ったデータ縮小技法。ホストからのデータをコード化して、コード化していないデータより小さいスペースに格納する。元のデータは、デコンパクションと呼ばれる逆プロセスによって回復される。

**データ圧縮率** – ホスト上でのデータのバイト数をコード化したデータのバイト数で割った値。データ圧縮率は、処理されるデータの性質によって異なる。データストリームがランダムであるほど、圧縮が難しくなる。

**データクラス** – 割り振り属性およびスペース属性の集まり。記憶管理責任者によって定義され、データセットの作成に使用される。

**データストリーミング** – 文字形式、または2進数形式の指定された形式で伝送されるデータの連続したストリーム。

**データ制御ブロック (DCB)** – データの格納と取り出しのときにアクセスルーチンで使われる制御ブロック。

**データセット** – データの格納と取り出しにおける主要単位。規定の方法で配置されたデータの集合で、システムがアクセスする制御情報により記述される。

**データベースハートビートレコード (DHB)** – HSC で記録された制御データセット名を含み、正しいプライマリ CDS、セカンダリ CDS およびスタンバイ CDS を識別するレコード。

**テープカートリッジ** – 磁気テープを入れるコンテナ。磁気テープは、コンテナから取り出さなくても処理できる。

**テープデバイス** – テープドライブとそれに関連した電源デバイス / 電子デバイスを搭載するデバイス。

**テープドライブ** — 磁気テープ駆動デバイス。テープでのデータの書き込みおよび読み取りを行なうための機構を装備している。

**テープの開始点 (BOT)** — 書き込まれたデータが始まるテープ上の位置。

**テープマークの書き込み (WTM)** — テープ上に特殊な磁気マークを記録するために実行される操作。この磁気マークによって、テープ上の位置が識別される。

**定位置パラメータ** — コマンドおよびユーティリティの構文で、キーワードではなくコマンドストリング内の位置で識別されるオペランド (キーワードパラメータを参照)。

定位置パラメータは、構文図にあるとおりの順序で入力しなければならない。

**適格デバイスリスト** — (1) 割り振り要求を満足させることのできるトランスポートのグループ。(2) JES の場合、UNIT パラメータを表示しているデバイスリストは、JCL を呼び出して指定される。EDL には、I/O GEN に応じてライブラリおよび非ライブラリのトランスポートの両方を格納できる。

**デバイスアフィニティ** — すべてのカートリッジを (読み取りあるいは書き込み目的のため) 単一ドライブにマウントし、通常ジョブに必要なドライブ数を少なくさせる要求。

**デバイスグループ** — 適格デバイスのサブセット。デバイスグループはエソテリックデバイス名で定義されるが、別のデバイスグループに共通デバイスが存在する場合、暗黙に作成されることもある。

**デバイスパラメータ値** — JCL UNIT パラメータの値を意味する JCL 用語。値は、ドライブの単一アドレス、エソテリックリストまたは汎用リストになる。

**デバイス番号** — 処理デバイスに接続されたデバイスを一意に識別する 4 桁の 16 進数。

**デバイス分離** — ドライブ除外を参照。

**デバイス割り振り** — ボリュームの位置 (特定要求の場合) または有効なサブプール規則 (スクラッチ要求の場合) に基づいて、マニュアルトランスポートまたは特定の ACS 内のトランスポートを選択させるために MVS デバイス選択処理に影響を与える HSC 機能。

**デフォルト値** — 値を指定しないときに使用される値。

**デュアル LMU HSC** — デュアル LMU 構成でのスタンバイ LMU への切り替えを自動化するリリース 1.1.0 以降の HSC。

**デュアル LMU** — 冗長 LMU 機能を提供するハードウェア/ソフトウェアの機能。

## と

**凍結パネル** — カートリッジを移動できないパネル。この制約には、次の結果としての新規カートリッジ位置のパネルへの割り振りが含まれる。

- MOVE コマンド、ユーティリティまたは PGMI 要求
- ACS へのカートリッジのエントリ
- フロート、スクラッチマウント解除またはスクラッチ再分配処理

**動的デバイス再構成 (DDR)** — ジョブを異常終了させたり、初期プログラムロード手順を繰り返すことなく、マウント解除可能なボリュームを移動し、必要に応じて別デバイスに割り振る機能。

**特殊使用カートリッジ** — T9840A ドライブで使用されるカートリッジタイプの汎用記述。次のとおりです。

- T9840A クリーニングカートリッジ
- T9840A マイクロコードロードカートリッジ
- T9840A ダンプ集合カートリッジ

特殊使用カートリッジをマウントしようとする、LMU エラー応答コード 1012 が生成される。

エラーコードは「特殊使用カートリッジのロード障害」として定義されている。

特殊使用クリーニングカートリッジでエラーコードを受信した場合は、イジェクトされるか、あるいは使用不可とマークされ、(MNTD EJctauto 設定に応じて) ACS 内に保存される。HSC では、使用不可のカートリッジはマウントされない。

**ドライブ除外** — (以前はデバイス分離) Storage Management Component (SMC) の除外条件に基づき、割り振り要求についてドライブを排除する SMC の機能。詳細については、『SMC 構成および管理ガイド』を参照。

**ドライブの優先順位付け** — (以前は指示割り振り) 割り振り条件に基づき、ボリュームの配置を含め特定のドライブの選択に影響を与える Storage Management Component (SMC) の機能。詳細については、『SMC 構成および管理ガイド』を参照。

**ドライブパネル** – テープトランスポートを含む LSM の壁。T9840A トランスポートの場合、ドライブパネルでは 1 パネルにつき 10 あるいは 20 のトランスポートを含み、ほかのすべてのトランスポートの場合は 1 パネルにつき 4 つまでのトランスポートを含む。

**トランザクション** – 制御データセットでの一連の短い処理。通常、トランザクションのアクションは特定の機能 (Mount、ENter など) に関連している。

**トランスポート** – カートリッジのテープの装着、読み取り / 書き込みヘッド上でのテープの走行、テープへのデータの書き込みおよびテープからのデータの読み取りを行なう電気機械デバイス。

## に

**入力スタック** – カートリッジが事前にマウントされているカートリッジローダーの一部。

## は

**パススルーポート (PTP)** – 複数の LSM を持つ ACS において、異なる LSM 間でカートリッジを受け渡し可能にする機構。

**発光ダイオード (LED)** – 状況パネル上のインジケータとして使用される電子装置で、デバイスのオン / オフ状況を示す。

**バッファ** – データをデバイス間で転送するときに、データ転送速度の差やイベントの発生回数を補正するために使用されるルーチンまたは記憶域。

## ひ

**標準 (4410) LSM** – 最大 6000 個のカートリッジ記憶容量を持つ LSM。

**標準 CAP** – 標準 CAP には、21 個のカートリッジを収納できる (それぞれに、7 つのセルからなる列が 3 つある)。標準 CAP が装備された LSM アクセスドアには、カートリッジ格納のためのセルがある

カートリッジアクセスポート、拡張 CAP、優先 CAP、WolfCreek CAP、WolfCreek オプション CAP、または TimberWolf CAP も参照。

## ふ

**物理テープの終わり** – それより先にテープを移動させることはできないテープ上の一地点。

**プライマリ CDS** – アクティブな制御データセット。ライブラリ内のすべてのカートリッジの目録、ライブラリ構成、ライブラリハードウェアおよび複数プロセッサのリソース所有権を含み、複数のプロセッサで実行中の HSC 間の通信の手段として使用される。

**プレイグラウンド** – プレイグラウンドはセルの予約領域で、ロボットが LSM 初期設定中にハンド内で見つけたカートリッジを置く場所。通常の LSM 初期設定回復処理では、プレイグラウンドセルからホームセルへ、あるいは予定した宛先にカートリッジが移動するが、異常環境下ではカートリッジはプレイグラウンド内に残る。

**プログラム一時修正 (PTF)** – プロダクトの欠陥を修正するため顧客に提供される修正保守単位、または小型プログラミング拡張機能 (SPE) パッケージ手段。

**プログラム更新テープ (PUT)** – PTF が集められ収録されたテープ。PTF のセットが収録されているテープ。PUT は、保守ライセンス契約を結んでいる顧客に定期的に配布される。

**ブロック** – 1 つの単位として記録された連続するレコードの集まり。ブロックはブロック間隔によって区切られる。各ブロックには、1 つまたは複数のレコードが格納されている。

## へ

**ペアード CAP モード (paired-CAP mode)** 1 つの 80 セル CAP として扱われる、拡張 CAP 機能のあるペアード CAP モードの 2 つの 40 セル CAP。

## ほ

**保護ファイル** – 読み取り専用のテープボリュームについて使われる用語。読み取り専用テープボリュームでは、データの書き込みやデータの消去はできない。

**保守機能** – CU と LMU に含まれるハードウェア。その制御パネルを通して CSE と RDC は、診断の実行、状況の収集、各デバイスとの通信ができる。

**ホストシステム** – 別のコンピュータまたは制御デバイス上で使えるように、プログラムと操作環境を提供するデータ処理システム。

**ボリューム** – マウントまたはマウント解除の 1 単位となるデータキャリア。(「カートリッジ」を参照)。

**ボリューム属性テーブルエントリ (VAT)** – HSC の内部テーブルで、通信中のレコードトークンおよびボリューム属性レコード (VAR) を含む。VAT は、内部サービス呼び出しに通信領域として使用される。

**ボリューム属性レコード (VAR)** – HSC の内部レコードで、ライブラリに入力されたカートリッジのデータベース常駐情報を含む。

## ま

**マイクロソフトウェア** – 記号の項の  $\mu$ -ソフトウェアを参照。

**マスター LMU** – デュアル LMU 構成で現在の ACS の機能を制御している LMU。

## め

**メディアの不一致** – VOLATTR 制御文に定義されたメディア値と、CDS VAR レコードに記録されているメディア値とが一致しないときに生じる状態。

**メディア容量** – 記憶メディアに入れられるデータ容量。バイト単位で表される。

## も

**モデム** – 変復調デバイス。通信回線 (電話回線) を介したデータ伝送のために、コンピュータのデジタルデータをアナログデータに変換する電子デバイス。受信側では、モデムはアナログデータをデジタルデータに変換する。

**モニター** – 指定のシステム活動を観察、記録および検査して、予期された操作から著しく逸脱している場合はそれを判別するデバイス。

## ゆ

**ユーティリティ** – ユーティリティプログラム。操作員がライブラリのリソースを管理し、ライブラリ全体のパフォーマンスを監視するためのプログラム。

**優先 CAP (PCAP)** – 拡張 CAP の一部である 1 個のセルからなる CAP。PCAP を使用すると、処理を直接要求する単一カートリッジを挿入あるいはイジェクトできる。

カートリッジアクセスポート、標準 CAP、拡張 CAP、WolfCreek CAP、WolfCreek オプション CAP、または TimberWolf CAP も参照。

## ら

**ライブラリ** – 1 つまたは複数の ACS、接続されたカートリッジドライブ、ACS に置かれたボリューム、ACS とそれに関連するボリュームの制御および管理を行なうホストソフトウェアおよび ACS の状態を記述するライブラリ制御データセットからなる導入システム。

**ライブラリ管理装置 (LMU)** – 1 台から 16 台までの LSM を制御し、ホスト CPU との通信を行なう ACS の一部分。

**ライブラリ記憶モジュール (LSM)** – カートリッジ用の格納デバイスと、そのカートリッジを移動させるのに必要なロボットからなる。LSM という用語は、LCU と LSM を組み合わせたものを指すこともある。

**ライブラリ制御装置 (LCU)** – カートリッジのピック、マウント、マウント解除、交換を制御する LSM の一部分。

**ライブラリ制御データセット** – 制御データセットを参照。

## ろ

**ローカルエリアネットワーク (LAN)** – ネットワーク内のデバイスが、データ伝送を目的として相互にアクセスできるコンピュータネットワーク。LMU とこの LMU に接続する LCU は、ローカルエリアネットワークに接続される。

**ローダー** – カートリッジスクラッチローダーを参照。

**ロード開始点** – 磁気テープ上の記録領域の先頭。

**ロードされたドライブ** – トランスポートの状態の 1 つ。テープカートリッジがトランスポートに挿入されていて、テープがテープの開始点位置にスレッドされている。

**論理イジェクト** – ボリュームを LSM の位置から物理的にイジェクトするのではなく、制御データセットから取り除く処理。

**論理テープの終わり** – 書き込まれたデータが通常に終了するテープ上の地点。

## わ

**割り振り** – カートリッジドライブで、ライブラリの内側か外側かを (SMC 割り振りの場合は SMC ノ

ソフトウェアで、または HSC なしの MVS 割り振りの  
場合は MVS で) 選択すること。

# 索引

---

## 数字

- 4480 カートリッジサブシステム、定義 499
- 4490 カートリッジサブシステム、定義 499
- 9490EE カートリッジサブシステム、定義 500
- 9490 カートリッジサブシステム、定義 500
- 9840 カートリッジサブシステム、定義 505

## A

- ACSid、定義 500
- ACS — 自動カートリッジシステムを参照。

## B

- BDAM、定義 500
- BSAM、定義 500

## C

- CAPid、定義 500
- CAP 共通メッセージ (0250-0274) 63
- CD — カートリッジドライブを参照
- CDS — 制御データセットを参照。
- CST、定義 500
- CU — 制御デバイスを参照。

## D

- DFP (データ機能プロダクト)、定義 501
- DFSMS
  - ACS ルーチン、定義 501
  - 定義 501
- DOM された、定義 501
- drive exclusion, defined 511
- drive loaded、定義 513

## E

- ECART
  - 定義 501
- ECCST、定義 501
- ETAPE、定義 501
- ExtendedStore ライブラリ、定義 501

## F

- FDRPAS、定義 501

## H

- Helical (ヘリカル)、定義 502
- HOSTid、定義 502
- Host Software Component (HSC)
  - 定義 502

## I

- INISH デッキ、定義 502

## L

- LAN、定義 502
- LCU — ライブラリ制御デバイスを参照。
- LIBGEN
  - 定義 502
- LMUPATH 制御文
  - 定義 502
- LMUPDEF コマンドおよび制御文
  - 定義 502
- LMU ドライバーメッセージ (0650-0699) 116
- LMU — ライブラリ管理デバイスを参照。
- LONGItud、定義 502
- LSMid、定義 503
- LSM — ライブラリ記憶モジュールを参照。

## M

MEDia、定義 503

MODEl、定義 503

## N

Near Continuous Operation (NCO)  
定義 503

## P

P/DAS、定義 503

Peer-to-Peer Remote Copy (PPRC)、定義 503

PowderHorn (9310) LSM、定義 503

## R

RECtech、定義 503

## S

ServiceTek (機械開始保守)、定義 504

## T

T9840A カートリッジサブシステム、定義 505

T9840C カートリッジサブシステム、定義 505

T9940A カートリッジサブシステム、定義 505

T9940B カートリッジサブシステム、定義 505

TimberWolf (9740) LSM、定義 505

TimberWolf CAP、定義 505

Tri-Optic ラベル、定義 505

## V

VOLSER  
定義 505

VOLSER、定義 512

## W

WolfCreek (9360) LSM、定義 505

WolfCreek CAP、定義 505

WolfCreek オプション CAP、定義 506

## Z

ZCART、定義 506

## あ

アクセス方式、定義 506

## い

異常終了理由コード

ASCOMM によって出される 437

CAP 共通によって出される 424

LMU ドライバーによって出される 431

TMS /ユーザーインターフェースによって出される 430

WTO サーバーによって出される 436

オペレータコマンドによって出される 416, 443

構成制御によって出される 427

サブシステムサービスモジュールによって出される  
438

サブシステムデータベースモジュールによって出され  
る 433

サブシステム割り振りモジュールによって出される  
425

初期設定/終了によって出される 428

導入システムコンポーネントによって出される 429

ホスト通信によって出される 443

ボリューム/セルによって出される 426

マウントコマンドまたはデismountコマンドに  
よって出される 418

ユーティリティーによって出される 421

インストールメッセージ (0550-0599) 102

インデックス、定義 506

## え

エソテリック、定義 506

遠隔診断センター (RDC)、定義 506

## か

カートリッジ

ECART、定義 501

ZCART、定義 506

限度超過クリーニングカートリッジ、定義 508

使用済みクリーニングカートリッジ、定義 510

超過使用クリーニングカートリッジ、定義 510

定義 506

特殊使用カートリッジ、定義 511

カートリッジアクセスポート (CAP)

TimberWolf、定義 505

WolfCreek オプション、定義 506

WolfCreek、定義 505

定義 506

標準、定義 512

カートリッジスクラッチローダー (CSL)、定義 506

カートリッジドライブ (CD)、定義 506

ガイド

読者の定義 ix

回復メッセージ (0850-0899) 151  
改良カートリッジ記録機能 (ICRC)、定義 507  
拡張CAP (ECAP)、定義 507  
拡張記憶容量カートリッジシステムテープ (ECCST)、定義 507  
拡張テープ (EETape)、定義 507  
仮想サムホイール、定義 507

## き

キーワードパラメータ、定義 507  
記憶  
    クラス、定義 507  
    グループ、定義 507  
記号、 $\mu$ -ソフトウェア、定義 499  
記述子コード、メッセージ 473

## け

経路コード、メッセージ 473  
限度超過クリーニングカートリッジ  
    定義 508

## こ

構成制御メッセージ (0450-0499) 93  
このマニュアルの対象読者 ix

## し

指定割り振り、定義 508  
自動カートリッジシステム (ACS)、定義 508  
ジャーナル、定義 508  
ジャーナルメッセージ (0760-0799) 148  
重要イベント通知 (SEN)  
    定義 508  
出力スタック、定義 508  
手動モード  
    定義 508  
使用済みクリーニングカートリッジ  
    定義 510  
初期値、定義 509  
初期プログラムロード (IPL)、定義 509  
初期マイクロプログラムロード (IML)、定義 509  
ジョブ制御言語 (JCL)  
    定義 509

## す

スタンバイ CDS  
    定義 509  
スタンバイ LMU  
    定義 509  
スタンバイ、定義 509  
ステーション、定義 509

## せ

制御データセット (CDS)  
    回復域、定義 509  
    サブファイル、定義 509  
    定義 509  
    ディレクトリ、定義 509  
    データブロック、定義 509  
    ポインターブロック、定義 509  
    割り振りマップ、定義 509  
制御デバイス (CU)、定義 509  
セカンダリ CDS  
    定義 510  
世代別データグループ (GDG) 分離、定義 501  
接続モード、定義 510  
切断モード、定義 510

## た

待機順次アクセス方式 (QSAM)、定義 510  
ダンプ、定義 510

## ち

超過使用クリーニングカートリッジ  
    定義 510

## て

定位置パラメータ、定義 511  
データベースハートビート (DHB) レコード、定義 510  
適格デバイスリスト、定義 511  
デバイス AFFinity、定義 511  
デバイスグループ、定義 511  
デバイス番号、定義 511  
デュアル LMU、定義 511

## と

動的デバイス再構成 (DDR)、定義 511  
導入検査プログラム (IVP)、定義 502  
特殊使用カートリッジ、定義 511

ドライブの優先順位付け、定義 511  
ドライブパネル 512  
ドライブパネル、定義 501  
トランスポート、定義 512

## に

入力スタック、定義 512

## は

排出、定義 506  
パススルーポート (PTP)、定義 512

## ひ

標準 (4410) LSM、定義 512  
標準 CAP、定義 512

## ふ

プライマリ CDS  
定義 512  
プレイグラウンド、定義 512

## へ

ペアード CAP モード、定義 512

## ほ

ホストシステム、定義 512  
ボリューム/セル制御メッセージ (0400-0449) 92

## ま

マスター LMU  
定義 513

## め

メッセージ  
HSC 4.0 における変更点 495  
解説 5  
記述子コード 473  
経路コード 473  
構文 1  
説明 2  
フォーマット 1  
変数の定義 3  
リスト 5  
メディアの不一致、定義 513

メディア容量、定義 513

## も

戻りコード、HSC  
AUDIT ユーティリティ 449  
CAP 処理 449  
LMU サーバー 457  
アドレス空間通信 462, 463  
オペレータコマンド 446  
回復 464  
構成 454  
サービスコンポーネント 465  
初期設定/終了 446  
データベースサーバー 461  
ホスト通信サービス 469  
ボリューム/セル (パラメータリスト付き) 453  
ボリューム/セル (パラメータリストなし) 452  
マウント/マウント解除 446  
ユーティリティ 448

## ゆ

優先 CAP (PCAP)、定義 513

## ら

ライブラリ  
定義 513  
ライブラリ管理デバイス (LMU)  
スタンバイ、定義 509  
定義 513  
ライブラリストレージモジュール (LSM)  
TimberWolf (9740)、定義 505  
WolfCreek (9360)、定義 505  
定義 513  
番号、定義 502  
標準 (4410)、定義 512  
ライブラリ制御デバイス (LCU)、定義 513

## ろ

論理排出、定義 513

## わ

割り振り、定義 513